

国語年鑑

2009 年版

—電子版—

KOKUGO-NENKAN

2009

—electronic publication—

Japanese Language Studies
Annual Survey and Bibliography

国立国語研究所

The National Institute for Japanese Language

この年鑑を使う人のために

この『国語年鑑』2009年版（電子版）は、2008年1月1日から12月31日までの国語関係資料に基づき、「動向」「文献」に分けて編集した。この電子版刊行の経緯については、あとがきに記した。

この電子版（PDF）には「しおり」をつけている。PDF画面左側の「しおり」のタブを開いて項目をクリックすると、本文の該当箇所へ移動することができる。

[第1部 動向]

日本語研究の動向や日本語をめぐる社会の動きを把握するにあたっての参考に供するため、第2部の目録を資料とした文献の動向について述べた。

[第2部 文献]

1. 刊行図書及び雑誌文献は、分野別に掲載した。二つ以上の分野にかかわっている文献は、重出させることはせず、最も適当と思われる一分野の中に掲げた。
2. 各分野内を更に小分類し、◇を冠した中見出し、（ ）で囲んだ小見出しを付した。
3. 2007年12月31日以前に発表され、前年版までに掲載されていない文献は「追補」として別に示した。
4. 収載漏れの文献について御連絡、御寄贈を頂ければ幸いである。
5. 表示できない文字は、=のあとに〔 〕で囲んだ説明を付した。
6. 「刊行図書」「雑誌文献」それぞれの利用上の注意は以下のとおりである。

《刊行図書》

○二つ以上の分野にかかわっている図書のうち、論文集の形をとっている図書は、原則として以下のように分類した。

* 書名にある特定の分野名（又はその下の小分類名）がうたわれている場合は、他分野の論文が含まれていても、その分野に分類した。例：『国語語彙史の研究』→「語彙・用語」中の「◇語彙史」、『日本近代語研究』→「国語史」中の「◇上代語～現代語」

* 書名にある特定の分野名がうたわれていない場合（『〇〇大学創立△△周年記念論文集』など）、複数の分野名がうたわれている場合（『文法と音声』など）は、採録した論文のすべて又は大部分が同一分野の場合はその分野に、そうでない場合は「国語（学）」中の「◇論文集」に分類した。ただし史的研究で複数分野（「音韻史」「文字史」など）の論文が採録された場合は「国語史」に分類した。

○定価は原則として本体価格を示したが、「追補」では発行時点の税込価格が示されている

場合もある。

○各文献内の記載は以下の順である。

題目番号・書名・外国語書名・(著編者)・発行所・(発売所)・発行年月・判型・総ページ数(「8,325,5」は、順に前付け・本文・後付けのページ数である)・定価

ただし欧文文献の場合は、

著編者：書名—出版地，出版者，発行年月，総ページ数，定価

の順である。適宜，解説，目次を付した。

○*印が付されている図書は，国立国語研究所研究図書室（平成21年4月に，「図書館」より名称変更）に所蔵されていないものである。収載漏れの図書と併せ，御寄贈を頂ければ幸いである。

《雑誌文献》

○採録に当たっては，主として，国立国語研究所研究図書室所蔵の雑誌を調査対象とした。

○各文献内の記載は以下の順である。

題目番号・題名・(筆者)・掲載雑誌名・巻号・発行年月・掲載ページ

ただし外国語文献(中国語文献を除く)の場合は、

筆者：題名・掲載雑誌名・巻号・発行年月・掲載ページ

の順である。

○類似した雑誌名が存在する場合などを考慮して，掲載雑誌名に続く()内に発行所を，〈 〉内に別名を記したものもある。

7.「総合雑誌 特集・連載・対談目録」では，2008年1月から12月までに出版された以下の10誌を対象として，日本語に関する内容を含む情報を一覧にした。

『潮』『現代』『諸君!』『新潮45』『正論』『世界』『中央公論』『文芸春秋』『Voice』『論座』(五十音順)

なお『論座』は10月号をもって休刊した(2009年には、『現代』が1月号、『諸君!』が6月号をもって休刊した)。

この年鑑(電子版)の編集は，新野直哉・熊谷康雄が担当し，梶玲子・中野真樹・渡辺由貴が補佐した。

目次

第1部 動向

1. 刊行図書の動向	6
2. 雑誌文献の動向	11
3. 総合雑誌記事の動向	16

第2部 文献

刊行図書一覧

国語(学)	23	マス・コミュニケーション	69
国語史	32	国語問題	70
音声・音韻	34	国語教育	72
文字・表記	35	外国人に対する日本語教育	78
語彙・用語	38	言語(学)	85
文法	44	辞典・用語集	100
文章・文体	47	参考資料	110
方言・民俗	50	国語研究資料	115
ことばと機械	56	(2009年版追補)	130
コミュニケーション	59		

雑誌文献一覧

国語(学)	144	コミュニケーション	229
国語史	151	マス・コミュニケーション	248
音声・音韻	160	国語問題	251
文字・表記	164	国語教育	256
語彙・用語	168	外国人に対する日本語教育	290
文法	181	言語(学)	322
文章・文体	197	参考資料	355
古典の注釈	205	書評・紹介	357
方言・民俗	214	(2009年版追補)	367
ことばと機械	221		

総合雑誌／特集・連載・対談目録	402
-----------------	-----

あとがき	415
------	-----

第 1 部

動 向

1. 刊行図書の動向

はじめに

表 1 は、2000年版から本2009年版までに掲載された、1999年から2008年までの10年間に刊行された図書のデータをまとめたものである。現行の分野を更にA群（中核的領域）・B群（関連領域）に二分した。また各年版の「追補」収録の図書（2009年版を例に取れば、2007年12月31日以前に刊行された図書）はそれぞれの刊行年の数値に加算し、集計した。このデータに基づき、動向の概観と変化の傾向の分析を行う。

1. 1999～2008年を概観する

まずこの10年間に刊行された図書の文献数について分野ごとの全体比に注目し、動向の概観と変化の傾向の分析を試みる。なお2008年は、後述のように次年以降の増補によりある程度の数値の変化が予想されるため、暫定的なデータであることをお断りしておく。

まず、A群・B群それぞれ全体の比率の推移をまとめたのが図 1 である。A : B の比率は、1999～2001年はほぼ 1 : 4、2002～2005年はほぼ 1 : 3 で安定してきた。しかし2004年以降はB群上昇・A群低下というカーブを描き、2006・2007年は両者の比率がほぼ 1 : 4 に戻った。そして2008年はA群上昇・B群低下のカーブに転じ、比率は再度 1 : 3 に近づいている。ただし大きく捉えると、B群は80%の、A群は20%の付近を中心にしてほぼ安定した状態にあるといえよう。

次にA群・B群、それぞれの状況を図 2・図 3 で見てみよう。

まず、A群についてまとめたのが図 2 である。この10年間一貫して二大勢力を形成してきたのは〔語彙・用語〕〔方言・民俗〕である。前者は、横ばい→急増→再度横ばい→落ち込み→再度急増、と変化が大きい。2008年の増加の中で特に目立つのは、地名に関する図書が31件と例年になく多くなっていることである。「平成の大合併」による地名の激変がほぼ落ち着いたのをうけて、その功罪を検証したり、消滅した過去の地名を記録に残しておこうとしたりする意図が背景にあると思われる。〔方言・民俗〕は2002、2004年に急上昇した以外は常に減少傾向にあったが、2008年は前年と比べ伸びを示している。

次にB群についてまとめたのが図 3 である。前年に比べ伸びたのは〔国語(学)〕〔国語教育〕〔言語(学)〕〔参考資料〕といったところであるが、この10年間で見ると、〔国語(学)〕〔参考資料〕はほぼ横ばい、〔国語教育〕は2005年まで増加傾向が続いたのち一転減少傾向、〔言語(学)〕は出入りがありながらも増加傾向と、それぞれ異なった動きを見せている。一方2001年までは突出して二大勢力であった〔辞典・用語集〕〔国語研究資料〕は、その後急落→反転と同じような変化を見せてきたが、2008年はそろって前年に比べ減少している。いずれも高額になる場合が多く、2008年後半に顕著となった「不況」の影響で売り上げが望めないため刊行が控えられる、という背景が考えられる。前者については電子辞書やウェブ辞書に押され「紙の辞書」が売れなくなってきている¹ことも要因であろう。

(文献数 単位:件)

表1 1999～2008年の刊行図書文献数

分野	1999年		2000年		2001年		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		分野別 合計
	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	
採録文献の発行年																					
国語史	28	2.2	23	1.8	25	1.9	28	2.3	20	1.7	29	2.7	40	3.3	19	1.5	23	1.8	12	1.0	247
音声・音韻	6	0.5	5	0.4	6	0.5	6	0.5	15	1.3	13	1.2	10	0.8	11	0.9	6	0.5	8	0.7	86
文字・表記	29	2.3	30	2.4	25	1.9	27	2.2	38	3.3	18	1.7	33	2.8	29	2.3	32	2.5	34	2.8	295
語彙・用語	64	5.0	61	4.8	61	4.7	76	6.3	68	5.9	63	5.9	70	5.9	59	4.6	71	5.6	90	7.4	683
文法	14	1.1	25	2.0	22	1.7	35	2.9	40	3.5	34	3.2	27	2.3	34	2.7	35	2.7	25	2.1	291
文章・文体	20	1.6	25	2.0	14	1.1	21	1.7	22	1.9	17	1.6	20	1.7	29	2.3	22	1.7	25	2.1	215
方言・民俗	113	8.8	98	7.8	90	7.0	106	8.8	74	6.5	87	8.2	73	6.1	73	5.7	58	4.5	64	5.3	836
A群合計	274	21.3	267	21.2	243	18.9	299	24.8	277	24.2	261	24.5	273	22.8	254	19.9	247	19.3	258	21.3	2653
国語(学)	62	4.8	55	4.4	56	4.3	51	4.2	59	5.2	50	4.7	56	4.7	79	6.2	59	4.6	69	5.7	596
ことばと機械	14	1.1	15	1.2	13	1.0	7	0.6	19	1.7	14	1.3	7	0.6	23	1.8	26	2.0	20	1.6	158
コミュニケーション	92	7.2	83	6.6	92	7.1	106	8.8	106	9.3	91	8.5	116	9.7	101	7.9	143	11.2	122	10.0	1052
マス・コミュニケーション	6	0.5	2	0.2	3	0.2	2	0.2	4	0.3	5	0.5	8	0.7	4	0.3	7	0.5	3	0.2	44
国語問題	18	1.4	23	1.8	23	1.8	19	1.6	19	1.7	19	1.8	25	2.1	25	2.0	26	2.0	11	0.9	208
国語教育	118	9.2	113	9.0	138	10.7	141	11.7	158	13.8	137	12.9	198	16.6	155	12.1	98	7.7	111	9.1	1367
外国人に対する日本語教育	18	1.4	20	1.6	24	1.9	37	3.1	23	2.0	39	3.7	56	4.7	63	4.9	60	4.7	61	5.0	401
言語(学)	76	5.9	96	7.6	98	7.6	87	7.2	117	10.2	139	13.0	128	10.7	191	15.0	163	12.7	170	14.0	1265
辞典・用語集	269	21.0	249	19.7	251	19.5	230	19.1	181	15.8	129	12.1	140	11.7	137	10.7	197	15.4	169	13.9	1952
参考資料	48	3.7	53	4.2	43	3.3	38	3.2	44	3.8	45	4.2	46	3.8	50	3.9	49	3.8	59	4.9	475
国語研究資料	289	22.5	286	22.7	305	23.7	188	15.6	137	12.0	137	12.9	143	12.0	195	15.3	204	15.9	161	13.3	2045
B群合計	1010	78.7	995	78.8	1046	81.1	906	75.2	867	75.8	805	75.5	923	77.2	1023	80.1	1032	80.7	956	78.7	9563
年別合計	1284	100	1262	100	1289	100	1205	100	1144	100	1066	100	1196	100	1277	100	1279	100	1214	100	12216

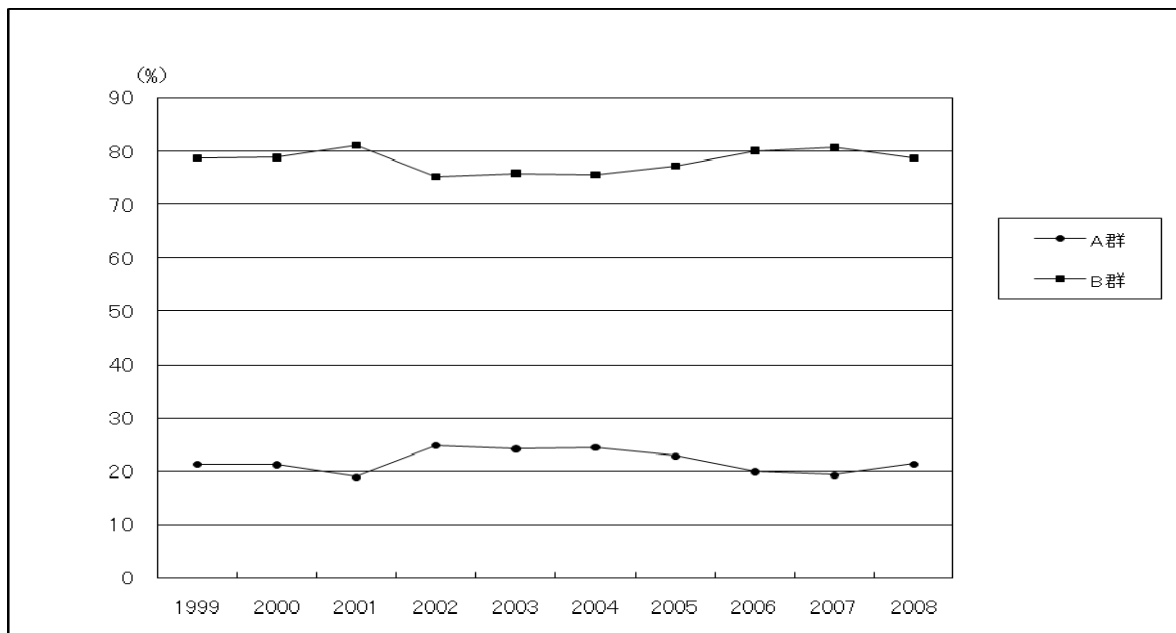


図1 A群とB群の文献量の推移

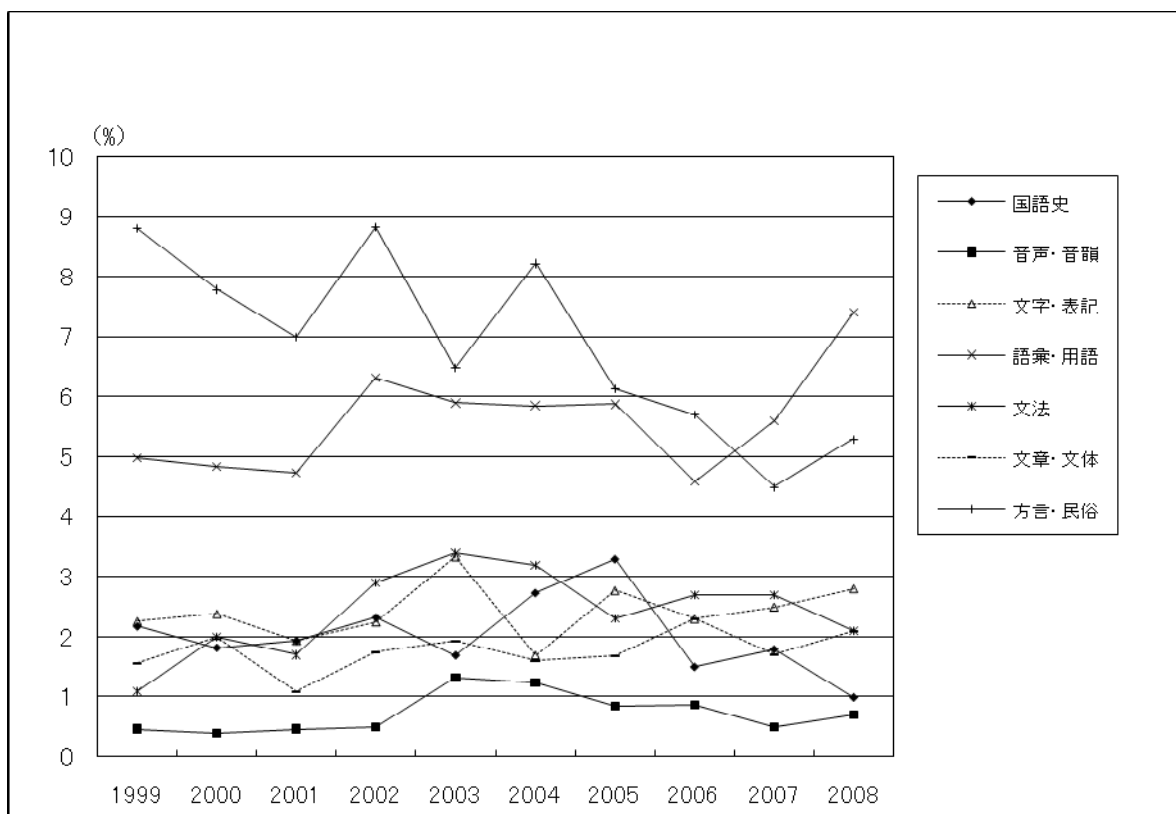


図2 A群各分野の文献全体における比率

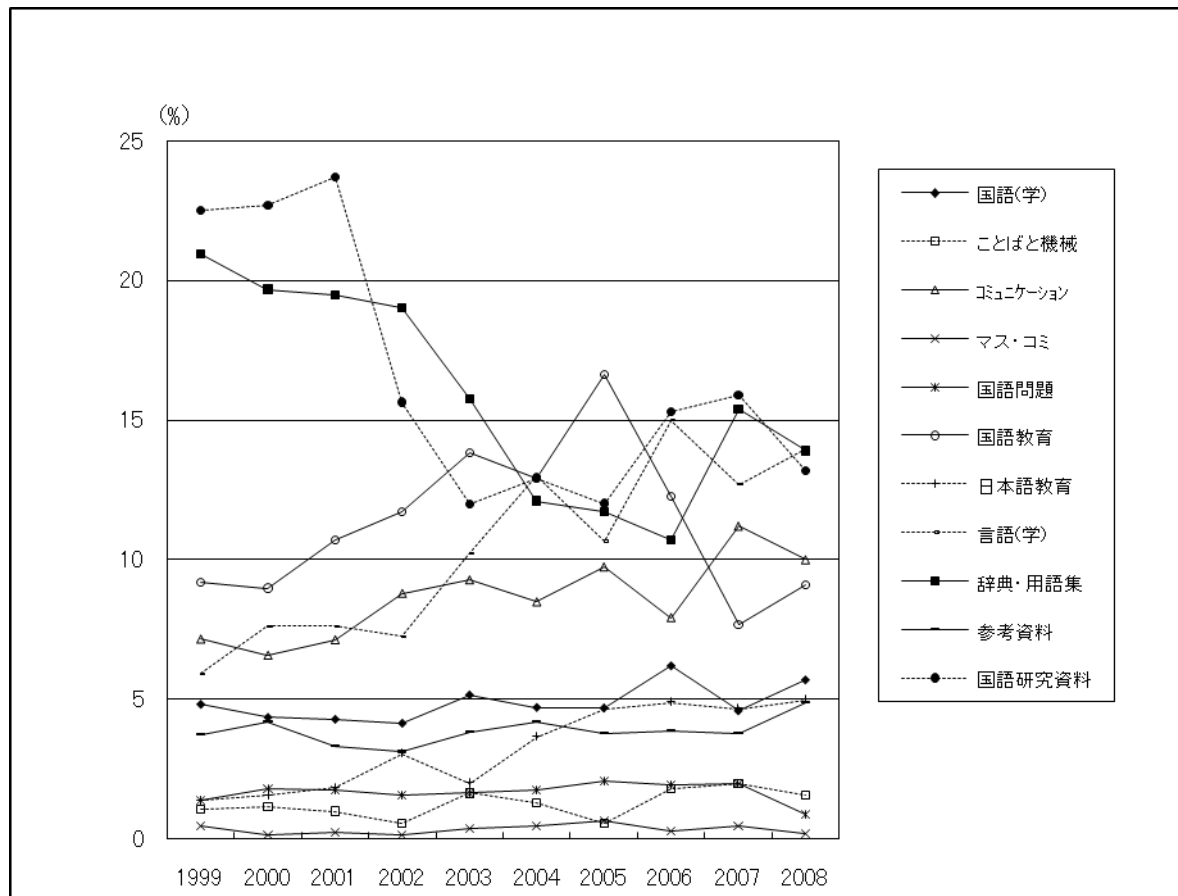


図 3 B 群各分野の文献全体における比率

2. 2009年版での追補の概観

次に、前回掲載したデータに今回追加された（つまり、本 2009 年版の「追補」に掲載された）文献数を表 2 に示した。

総数は132件で、2008年版での追補総数141件からやや減少している。2004年以降の6年間で見ると、追補総数は順に247→151→137→249→141→132と推移しており、年による変動が大きい。[コミュニケーション] [辞典・用語集] [言語(学)] といった分野の追補文献数が多いが、これらは例年掲載文献数の多い（つまり刊行される冊数の多い）分野であり、したがって例年追補される数も多い。

文献全体の発行年で見ると、2007年刊のものが74件で全体の約56%を占めている。2008年版に掲載された2007年刊行の図書は1205件で、今回それに約6%増補したことになる。

（新野直哉・中野真樹）

¹ 池田理恵子（2008）「新聞記事の動向」『国語年鑑2008年版』，国立国語研究所編，大日本図書，pp. 43-45。

表2 2009年版追補刊行図書文献の発行年

(単位：件)

採録文献の発行年		～	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	分野別
分野		1999	年	年	年	年	年	年	年	年	合計
A 群	国語史									1	1
	音声・音韻										0
	文字・表記										0
	語彙・用語	1					1			2	4
	文法		1	1		1	1	1	1	2	8
	文章・文体									1	1
	方言・民俗	3							2	4	9
	A群合計	4	1	1	0	1	2	1	3	10	23
B 群	国語(学)				1			1	3	6	11
	ことばと機械									1	1
	コミュニケーション				1				1	16	18
	マス・コミュニケーション									1	1
	国語問題									1	1
	国語教育		1							7	8
	外国人に対する日本語教育							1	2	5	8
	言語(学)	1					2	1	2	15	21
	辞典・用語集	10		1		1	3	2	7	7	31
	参考資料								1	1	2
	国語研究資料	2	1							4	7
	B群合計	13	2	1	2	1	5	5	16	64	109
年別合計		17	3	2	2	2	7	6	19	74	132

2. 雑誌文献の動向

はじめに

表 1 は、2000年版から本2009年版までに掲載された、1999年から2008年までの10年間に発表された雑誌文献のデータをまとめたものである。現行の分野を更にA群（中核的領域）・B群（関連領域）に二分した。また各年版の「追補」収録の文献（2009年版を例に取れば、2007年12月31日以前に発表された文献）はそれぞれの発表年の数値に加算し、集計した。

このデータに基づき、動向の概観と変化の傾向の分析を行う。

1. 1999～2008年を概観する

まずこの10年間に発表された雑誌文献数について分野ごとの全体比に注目し、動向の概観と変化の傾向の分析を試みる。なお2008年は、後述のように次年以降の増補によりある程度の数値の変化が予想されるため、暫定的なデータであることをお断りしておく。

まず、A群・B群それぞれ全体の比率の推移をまとめたのが図 1 である。1999年から2000年にかけてはA群が上昇しB群が低下したものの、それ以降はほぼ一貫してB群上昇・A群低下の傾向が続いている。その結果A : Bの比率は、1999年の4 : 6から2007年には3 : 7にまで開いた。

ここで図書の動向と比較してみる。図書では2001年から2002年にかけてA群が上昇・B群が低下し1 : 3の比率になったのち、雑誌文献同様ほぼ一貫してB群上昇・A群低下の傾向が続き、2006・2007年は両者の比率が1 : 4（2 : 8）にまで開いている。しかし2008年は、雑誌文献はさらにB群上昇・A群低下の傾向が続いて差が広がったのに対し、図書は逆にわずかながらA群上昇・B群低下のカーブに転じている。A群20%・B群80%の付近を中心に、ほぼ安定した状態が続いているといえる。伊藤・五味（2008）の「A群の20%とB群の80%は増減の限界点にあたっているように見える」という指摘¹が的中した形である。雑誌文献は今後も同じB群上昇・A群低下の傾向がどこまで続くのか、そして図書同様A : Bの比率は1 : 4（2 : 8）のラインが限界点なのか、注目されるところである。

次にA群・B群、それぞれの状況を図 2・図 3 で見てみよう。

まず、A群についてまとめたのが図 2 である。1999年以降二大勢力を形成してきた[文法][語彙・用語]は、2002～2006年は同じような形のカーブを描いてきたが、それ以降は低下傾向が続く[文法]に対し[語彙・用語]はほぼ横ばいで、両者の差が詰まってきている。この2分野に伸びが見られないことが、前述のA群全体の比率低下に大きく影響している。

次にB群についてまとめたのが図 3 である。2005年以降、[国語教育][日本語教育][言語(学)]がそれぞれ12～15%で三つ巴のトップ争いを展開している。この3分野の文献だけで全文献数の約4割に達しており、今日の雑誌文献においてはこの3分野が中心的な位置を占めているということになる。

表 1 1999～2008年の雑誌文献数

分野	1999年		2000年		2001年		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		分野別 合計
	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	文献数	%	
	(文献数 単位:件)																				
国語史	119	3.8	162	5.8	145	5.1	107	3.8	119	3.8	100	3.3	122	3.7	145	4.2	171	4.8	153	4.5	1343
音声・音韻	63	2.0	75	2.7	49	1.7	51	1.8	62	2.0	67	2.2	62	1.9	52	1.5	50	1.4	54	1.6	585
文字・表記	74	2.4	65	2.3	67	2.4	70	2.5	85	2.7	64	2.1	60	1.8	64	1.8	62	1.7	51	1.5	662
語彙・用語	277	8.9	211	7.6	231	8.1	230	8.1	259	8.2	256	8.4	249	7.6	213	6.1	224	6.2	206	6.1	2356
文法	399	12.8	393	14.1	414	14.6	330	11.6	385	12.2	372	12.2	375	11.4	332	9.6	297	8.3	263	7.7	3560
文章・文体	163	5.2	94	3.4	100	3.5	125	4.4	129	4.1	122	4.0	113	3.4	127	3.7	117	3.3	123	3.6	1213
方言・民俗	165	5.3	174	6.3	148	5.2	143	5.0	100	3.2	164	5.4	158	4.8	146	4.2	156	4.3	107	3.1	1461
A 群合計	1260	40.3	1174	42.2	1154	40.6	1056	37.2	1139	36.1	1145	37.5	1139	34.6	1079	31.1	1077	30.0	957	28.1	11180
国語(学)	32	1.0	63	2.3	42	1.5	39	1.4	40	1.3	64	2.1	60	1.8	86	2.5	81	2.3	100	2.9	607
古典の注釈	176	5.6	93	3.3	89	3.1	85	3.0	103	3.3	120	3.9	155	4.7	169	4.9	162	4.5	154	4.5	1306
ことばと機械	70	2.2	77	2.8	85	3.0	89	3.1	104	3.3	73	2.4	91	2.8	77	2.2	100	2.8	112	3.3	878
コミュニケーション	268	8.6	265	9.5	277	9.8	267	9.4	281	8.9	255	8.4	271	8.2	284	8.2	308	8.6	299	8.8	2775
マス・コミュニケーション	29	0.9	22	0.8	22	0.8	28	1.0	34	1.1	20	0.7	34	1.0	40	1.2	35	1.0	43	1.3	307
国語問題	60	1.9	32	1.1	45	1.6	55	1.9	65	2.1	62	2.0	72	2.2	89	2.6	69	1.9	68	2.0	617
国語教育	446	14.3	393	14.1	336	11.8	421	14.8	549	17.4	500	16.4	423	12.9	494	14.2	536	14.9	520	15.3	4618
外国人に対する日本語教育	267	8.5	241	8.7	300	10.6	261	9.2	338	10.7	308	10.1	405	12.3	496	14.3	518	14.4	469	13.8	3603
言語(学)	376	12.0	297	10.7	350	12.3	399	14.1	365	11.6	391	12.8	476	14.5	468	13.5	529	14.7	510	15.0	4161
参考資料	10	0.3	11	0.4	5	0.2	5	0.2	7	0.2	12	0.4	9	0.3	26	0.7	22	0.6	21	0.6	128
書評・紹介	132	4.2	116	4.2	136	4.8	131	4.6	129	4.1	100	3.3	153	4.7	164	4.7	154	4.3	147	4.3	1362
B 群合計	1866	59.7	1610	57.8	1687	59.4	1780	62.8	2015	63.9	1905	62.5	2149	65.4	2393	68.9	2514	70.0	2443	71.9	20362
年別合計	3126	100	2784	100	2841	100	2836	100	3154	100	3050	100	3288	100	3472	100	3591	100	3400	100	31542

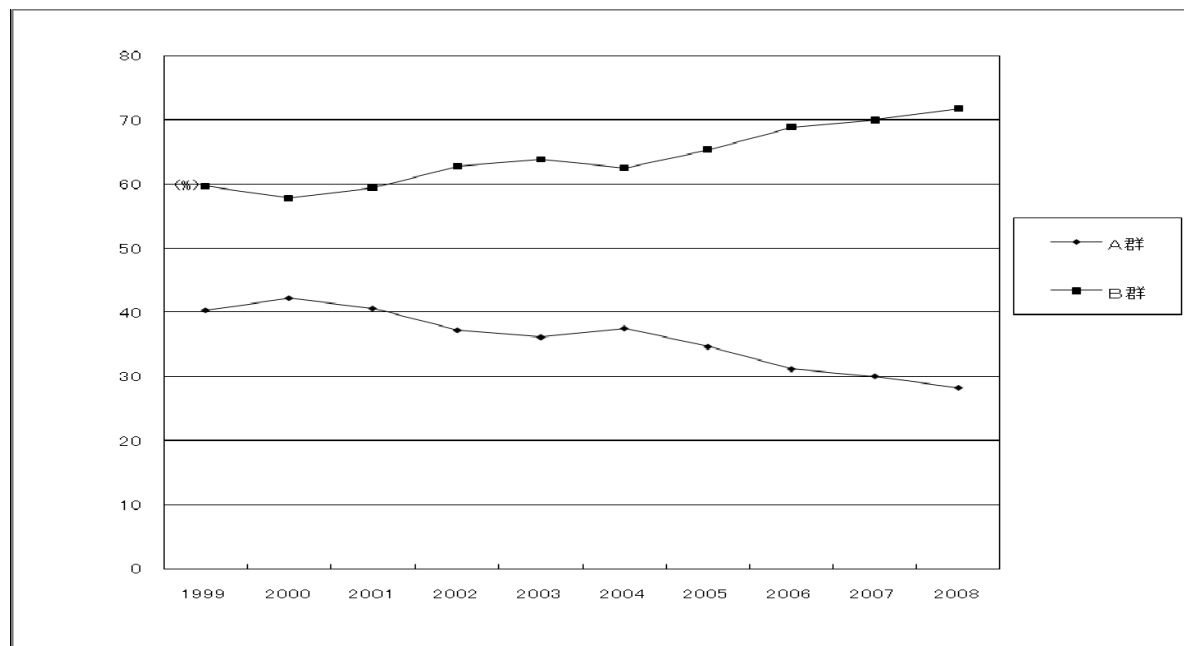


図1 A群とB群の文献量の推移

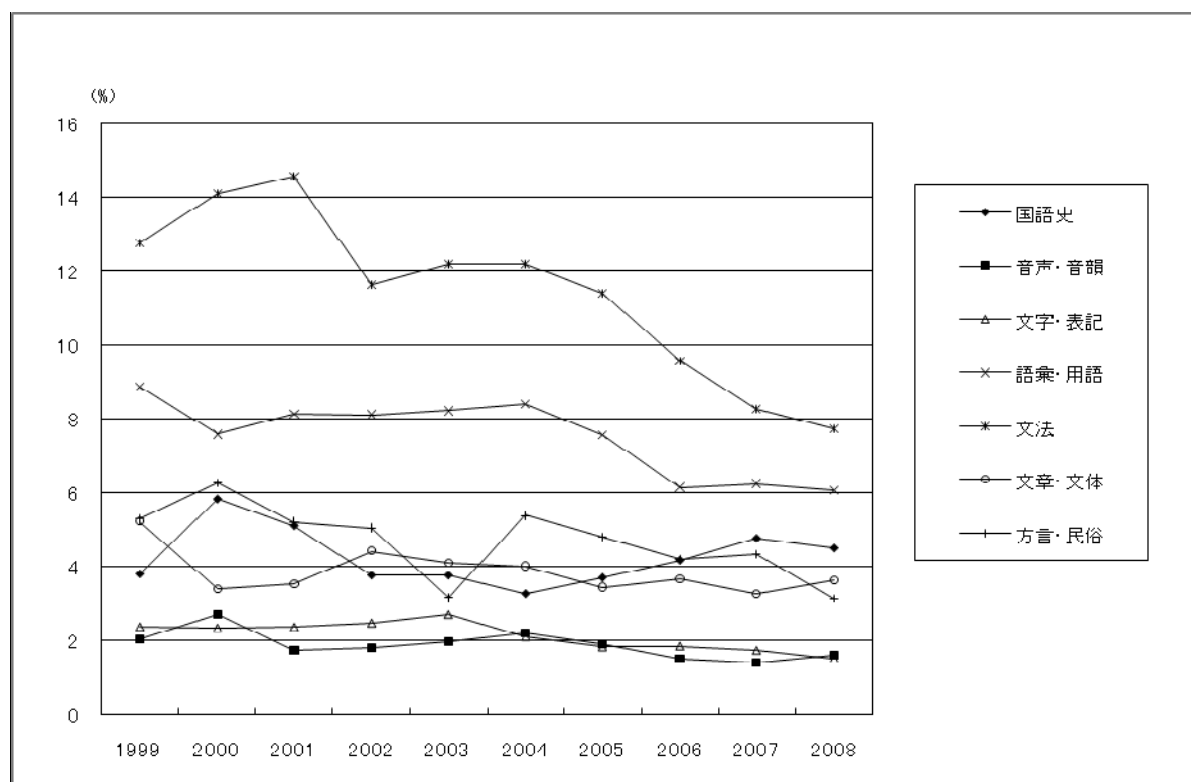


図2 A群各分野の文献全体における比率

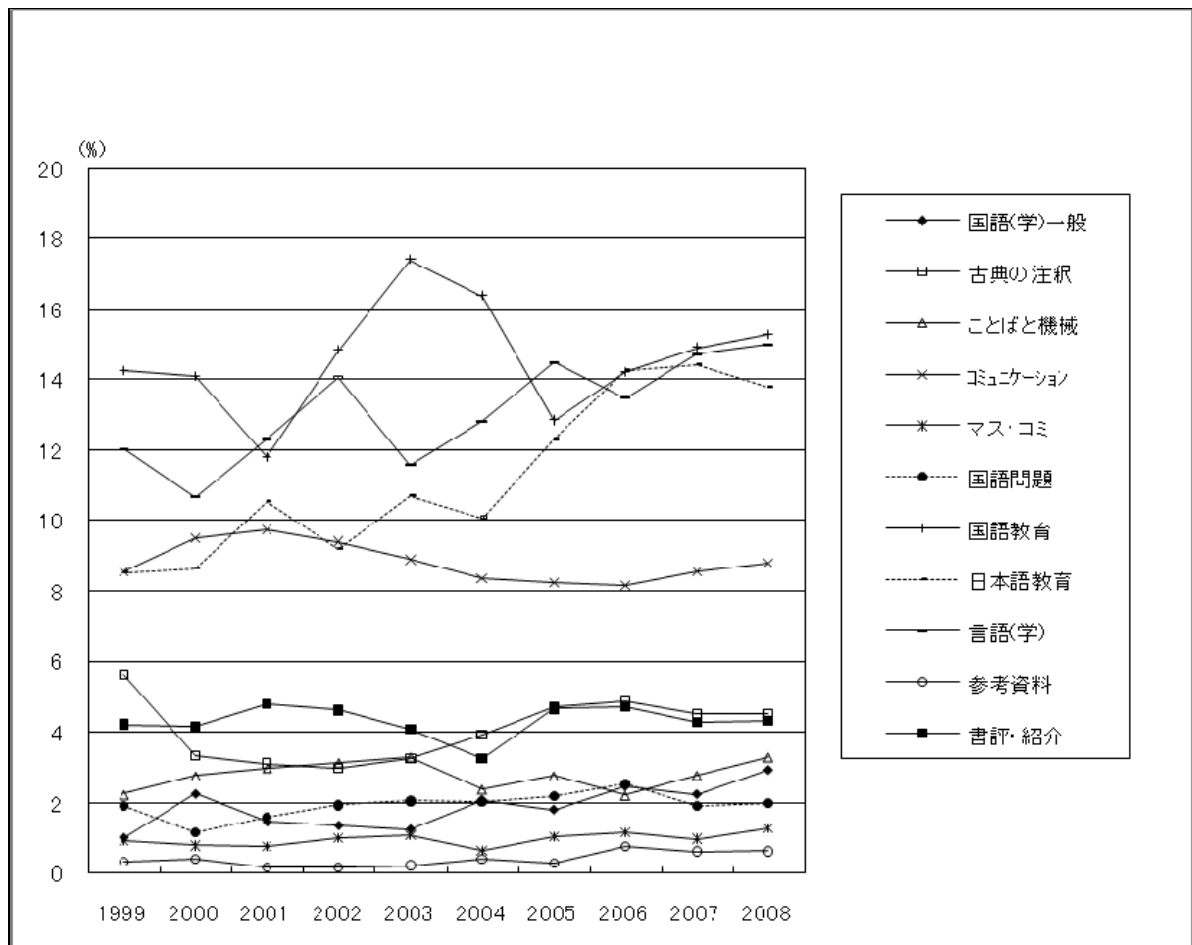


図 3 B群各分野の文献全体における比率

2. 2009年版での追補の概観

次に、前回掲載したデータに今回追加された（つまり、本 2009 年版の「追補」に掲載された）文献数を表 2 に示した。

総数は 531 件で、2008 年版での追補総数 870 件と比べると約 61% に減少している。2004 年版以降の 6 年間で見ると、追補総数は順に 287→982→1701→864→870→531 と推移しており、年による変動が大きい。2009 年版は [言語(学)] の追補文献数が特に多くなっている。

文献全体の発行年で見ると、2007 年のものが 145 件で全体の約 27% である。図書では 2007 年発行のものが約 56% と過半数を占めているのに比べると、比率は半分以下となっている。つまり雑誌文献は図書と比べ、発表後年数を経ってから『国語年鑑』に掲載されるケースが多いということである。これは、ある雑誌の受け入れを研究所図書館（平成 21 年 4 月から「研究図書室」に改称）が新規に開始する際に、最新号に加えバックナンバーもまとめて（20 年分以上という場合もある）受け入れるケースがままあることが大きな要因である。そのようなケースが多い年は、追補文献数も増加するわけである。

（新野直哉・中野真樹）

¹ 伊藤雅光・五味由香（2008）「雑誌文献の動向」『国語年鑑2008年版』，国立国語研究所編，大日本図書，p. 15。

表2 2009年版追補雑誌文献の発行年

(単位：件)

採録文献の発行年		～	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	分野別 合計
分野		1998	年	年	年	年	年	年	年	年	年	
A 群	国語史	2		3	2	2		3	1	3	5	21
	音声・音韻	1				1			2	3	3	10
	文字・表記	1				1			1	2	2	7
	語彙・用語	2	1	1		2	3	4	4	11	15	43
	文法	10	1	2		4	3	4	9	12	22	67
	文章・文体	2	1		3	1	2	1	1	1	2	14
	方言・民俗	3	2			1		1	1	2	3	13
	A群合計	21	5	6	5	12	8	13	19	34	52	175
B 群	国語(学)							1	3	2	5	11
	古典の注釈	1				1	1	5	6	8	3	25
	ことばと機械	1						1			2	4
	コミュニケーション	17	4	2	1	4	3	8	3	10	11	63
	マス・コミュニケーション											0
	国語問題	1	1				1		1		1	5
	国語教育	3	2	1	1	1	2	4	12	8	15	49
	外国人に対する日本語教育	4	2		5	7	3	3	3	2	19	48
	言語(学)	38	3	2	3	2	7	10	17	19	35	136
	参考資料				2				1			3
	書評・紹介	1			1		3		2	3	2	12
	B群合計	66	12	5	13	15	20	32	48	52	93	356
年別合計		87	17	11	18	27	28	45	67	86	145	531

3. 総合雑誌記事の動向

はじめに

ここでは、以下の月刊総合雑誌 10 誌を対象とした日本語関連記事データに基づき、2008 年の総合雑誌記事の傾向を概観する。なお、『国語年鑑』に掲載しているのは、特集・連載・対談記事のみである。これらの全データについては、「総合雑誌／特集・連載・対談目録」をご覧ください。

『潮』『現代』『諸君！』『新潮 45』『正論』『世界』『中央公論』『文芸春秋』『Voice（ボイス）』『論座』（以上、五十音順）

総合雑誌 10 誌は、朝日・毎日・読売などの一般紙に広告が掲載され、一般にも広く読まれているという基準で選定した。なお『論座』は 2008 年 10 月号をもって休刊となった。

1. 特集・連載・対談の状況

まず、総合雑誌の特集・連載・対談記事について、2002 年～2007 年の傾向をふまえて、分野別の記事の傾向に注目しながら 2008 年の状況を概観する。

1. 1. 特集の状況

「文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉」（2-4, 10 月）は、「素晴らしき日本語の世界」というタイトルの号であり、日本語に関する特集記事が多数収録されている。「私の文章読本 日本語の達人が選ぶ古今の名文」「わがお国ことば讃」「私が好きな日本語」などの日本語に関する特集がある。

また、2008 年 1 月に『広辞苑』第 6 版が刊行されたことが話題になり、総合雑誌でも「ザ・メーカーキング・オブ・広辞苑」（論座 153, 2 月）の特集が組まれている。

平成 20 年という節目の年ということもあり、昭和期を回顧するような特集記事も見られる。「平成二十年 偉大なる昭和の面影」（諸君！40-2, 2 月）の特集には、「昭和天皇、秘められし『言語空間』」などの記事が掲載された。2007 年にも昭和期の語彙を扱う連載が 2 本始まるということがあったが¹、近年は昭和期への注目が高まり、昭和期の日本語に関する記事も多くなっている。

1. 2. 連載の状況

語彙に関する連載が多いという傾向は、2008 年も変わらない。本年鑑において総合雑誌のデータ収集を開始して以来継続して見られる「言の葉のしずく」「言葉と世界」（諸君！）「流行語辞典」（潮）の他、「さすらいの仏教語」（中央公論）「昭和のことば」（文芸春秋）「現代用語クロニクル」（論座）などがその例で、上位 10 位までの中の 6 件を占めている。

また、「連続企画 知的生活への誘い」（中央公論）では、毎号「知的整理法革命」（中央公論 123-5, 5 月）、「本当に書きたい人のための実践的ブックガイド」（中央公論 123-12, 12 月）な

どの特集が組まれているが、その中に国語・言語に関する記事が 14 件あった。

表 1 特集一覧

※記事数の上位 10 位タイまで掲載。表内は、記事数順→発行年月順→特集名五十音順。

特集名	掲載誌名	記事標題例	記事数
私の文章読本 日本語の達人が選ぶ古今の名文	文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉2-4, 2008-10 (素晴らしき日本語の世界)	私の文章勉強, ふしぎに雅量あることば, 文語の力	29
わがお国ことば讀	(同上)	栃木弁の微妙さ, 岡山弁の四大特徴, 日本でいちばんのんびりした方言	21
日本語の世界	(同上)	語源・曼陀羅, 一〇〇年目の女ことば, 若者言葉と方言への期待	12
黄金世代の勉強術 12 人の賢者が勧める	文芸春秋 86-1, 2008-1	メールをやめて手紙を書こう, 国語辞典で遊ぶ, 俳句で日本語を究める	6
知的整理法革命	中央公論 123-5, 2008-5	獄中で会得した読書ノート作成の極意 (※連載; 連続企画 知的生活への誘い)	6
手紙を書いてみよう	文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉2-4, 2008-10 (素晴らしき日本語の世界)	私の「手紙のススメ」, 知っておきたい筆ペンのマナー	5
私が好きな日本語	(同上)	日本語の素晴らしさ, さすが! 日本語の魅力	5
ザ・メイキング・オブ・広辞苑	論座 153, 2008-2	新語候補 10 万語から 1 万語に絞るまでの舞台裏, 収拾がつかなくなる料理“語”	4
ふたたび“輝く雲”をつかむために(2)	正論 431, 2008-2	「江戸の教え」はこんなにも豊かでした, 私の「大好きなこの国」はどこへ向かおうとしているのか	4
ゼロ年代の言論 Are you ready?	論座 156, 2008-5	言論のハイパーインフレ畑でつかまえて, 「空気」に抗う批評	4
美しい日本語の話し方	文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉2-4, 2008-10 (素晴らしき日本語の世界)	自然な発声とイントネーション, 論理的な日本語は美しい	4
漢字の世界	(同上)	「代用」でなく「本物」の漢字を	4
日本語で遊ぶ	(同上)	ボケ防止のための言葉遊び, 言葉遊びで広がる癒しの世界	4

表 2 連載一覧

※記事数の上位 10 位タイまで掲載。表内は、記事数順→連載名五十音順。

連載名	掲載誌名	記事標題例	記事数
連続企画 知的生活への誘い	中央公論	何歳になっても思考力は鍛えられる (※特集; 知的整理法革命), 私小説のすすめ 作家見習いの記 (特集; これであなたも作家になれる)	14
言の葉のしずく	諸君!	ぼうぶら, 後期高齢者, バック・シャン	12
さすらいの仏教語	中央公論	利益, 不思議, 彼岸	12
昭和のことば	文芸春秋	東京, 大衆, カタカナのエ	12
日本語万華鏡	新潮 45	漢字の音読みと訓読みって何なの?, 指示語と自己中心語のしくみ, 人間のことばと動物の「ことば」	12
流行語辞典	潮	デパ弁; 哲学カフェ; 低カロリーパン; ドラマーシャル; 姫系; エコフル	12
西館好子につぼん子守唄紀行	正論	命の絆を作る・小名浜の子守唄, 怪しげなレトリックの産物・大阪天満の子守唄	10
言葉と世界	諸君!	比較, 朗読, 出典のなかの読書	9
現代用語クロニクル	論座	「平等」喪失の時代, ××離れ, 「世紀末」の寿命	8
退屈老人雑録 (※連載の 3 回目までは「退屈老人日記」の連載名)	諸君!	<Book Plaza>漢字で書く日本語の辞書, <Book Plaza>日本語が亡びる?	8

1. 3. 対談の状況

「国語, 道徳, そして教養 真の独創性を育むには何を学ばせるべきか」(中央公論 123-6, 6月)「ぼくらはなぜ全集を立ち上げたのか」(特集; あえていま教養のスタンダードを探る 中央公論 123-11, 11月)など, 2007年に引き続き, 教養や読書生活に関する対談記事が目立つ。

また, 2008年には, 楊逸氏が中国人で初めて芥川賞を受賞したことが話題となった。その日本語感覚や日本語学習方法も注目を集め, 同氏が「未熟な日本語こそが最大の武器になる 中国人芥川賞作家に迫る」(中央公論 123-11, 11月)や「私たちの日本語練習ノート」(文芸春秋 86-13, 12月)の対談・鼎談に参加している。対談記事以外にも, 「史上初の中国人芥川賞作家・楊逸「純文学への一撃」」(連載; 大型ノンフィクション チャイニーズ世界の旅—新華僑の未来図(1) 現代 42-9, 9月)に同氏に関連する記事が見られる。

2. 分野別記事数とその特徴

次に, 特集・対談・連載記事以外の記事も全て含んだ, 10誌の言葉に関連する記事データ全506件を概観する。表3は, 2002年~2008年の分野別記事数一覧, 図1は分野別記事数の比率を折れ線グラフで示したものである。ここでは, 特に注目される分野について触れる。

まず, 2008年においてもっとも記事数が多かったのは[日本語の歴史]で, 採録記事数全体の

17.8%を占めており、次いで多いのは[コミュニケーション] (15.2%), [語彙] (13.4%) となっている。

表 3 2002 年～2008 年の分野別記事数 (記事数 単位：件)

発行年	2002 年		2003 年		2004 年		2005 年		2006 年		2007 年		2008 年	
	記事数	%	記事数	%	記事数	%	記事数	%	記事数	%	記事数	%	記事数	%
日本語一般	30	10.2	5	3.7	14	7.5	39	11.6	30	9.6	17	4.1	19	3.8
日本語の歴史	11	3.7	21	15.9	17	9.1	21	6.3	28	8.9	48	11.7	90	17.8
音声	2	0.6	0	0.0	0	0.0	5	1.5	3	1.0	0	0.0	0	0.0
文字	11	3.7	4	3.0	6	3.2	6	1.8	6	1.9	13	3.2	14	2.8
語彙	42	14.3	31	23.4	36	19.4	61	18.2	38	12.1	61	14.8	68	13.4
文法	3	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
文章・文体	21	7.1	5	5.7	9	4.8	25	7.4	4	1.3	7	1.7	30	5.9
方言	10	3.4	3	2.2	5	2.7	5	1.5	4	1.3	17	4.1	37	7.3
ことばと機械	2	0.6	1	0.7	9	4.8	20	6.0	29	9.2	40	9.7	30	5.9
コミュニケーション	68	23.2	26	19.6	38	20.4	67	20.0	50	15.9	66	16.1	77	15.2
マスコミュニケーション	9	3.0	4	3.0	3	1.6	4	1.2	6	1.9	10	2.4	5	1.0
国語教育	41	14.0	10	7.5	17	9.1	20	6.0	49	15.6	9	2.2	12	2.4
日本語教育	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	1.0	0	0.0	1	0.2
言語一般	17	5.8	6	4.5	12	6.5	26	7.7	30	9.6	64	15.6	63	12.5
辞書・辞典	2	0.6	0	0.0	0	0.0	6	1.8	0	0.0	7	1.7	13	2.6
書評・紹介	23	7.8	16	12.1	20	11.0	31	9.2	34	10.8	52	12.7	47	9.3
合計	292	100.0	132	100.0	186	100.0	336	100.0	314	100.0	411	100.0	506	100.0

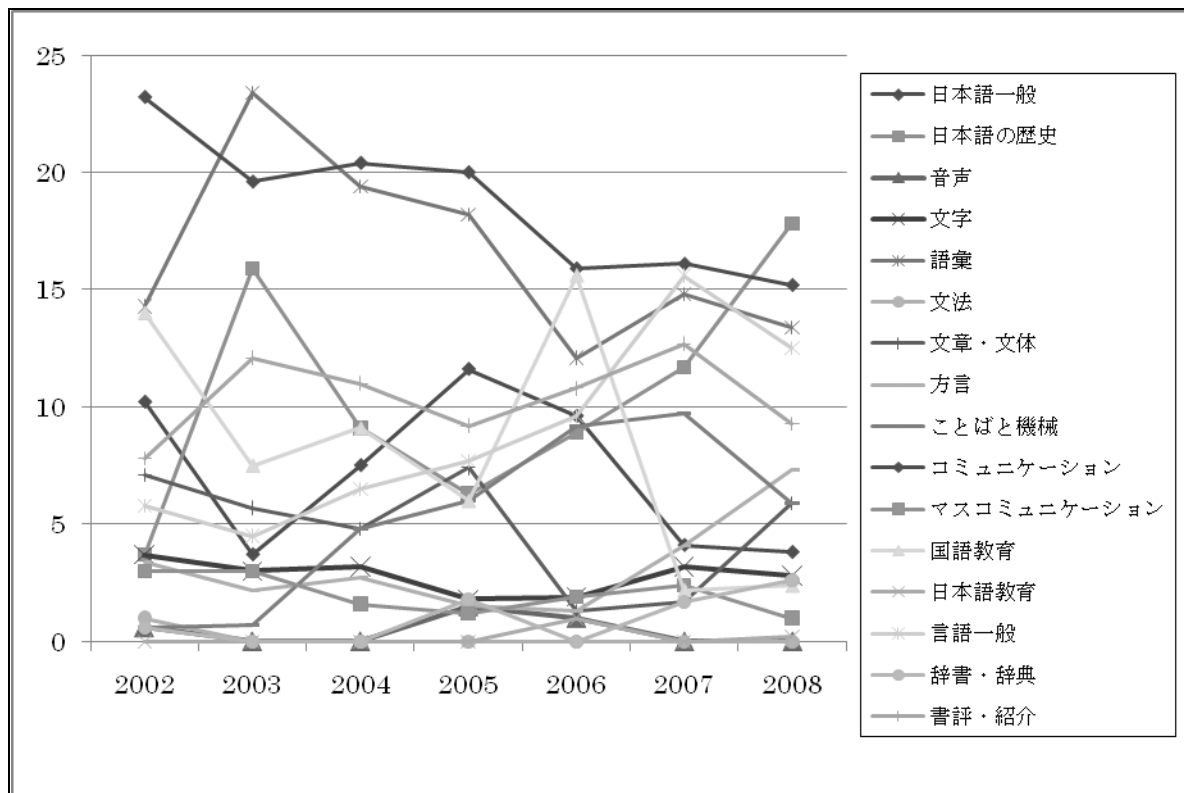


図 1 2002 年～2008 年の分野別記事数の比率

[日本語の歴史]

[日本語の歴史]に関する記事は例年多数見られるが、2008年に過去最高の17.8% (90件)となった要因としては、「1. 1. 特集の状況」でも触れた、近年の、昭和期に対する関心の高まりや、「文芸春秋 SPECIAL <季刊秋号>」(2-4, 10月)において、「私の文章読本 日本語の達人が選ぶ古今の名文」「日本語の世界」などの特集が生まれ、多くの[日本語の歴史]関連の記事が掲載されたことが考えられる。

[コミュニケーション]

[コミュニケーション]は、2004年以降減少傾向にあるとはいえ、依然として記事全体の中で高い比率を占めている。[コミュニケーション]の分野のうち、多いのは「読む」ことに関する記事と、「書く」ことに関する記事である。近年は、インターネットの発達で、多くの人が情報の発信者となることが可能となり、読み書きへの注目が高まっていることも、その要因の一つであると思われる。「書く」ことに関しては、「特集;これであなたも作家になれる」(中央公論 123-12, 12月)をはじめとして、自費出版、私小説、自分史に関する記事が見られた。

[語彙]

[語彙]も、毎年、記事全体の中で高い比率を占める分野である。記事数は2002年以降、常に上位3位以内に入っている。「1. 2. 連載の状況」でみたように、語彙に関する連載が多いことが要因であろう。

表 4 2002 年～2008 年の上位 3 位の分野

	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年
1 位	コミュニケー ション	語彙	コミュニケー ション	コミュニケー ション	コミュニケー ション・国語教 育	コミュニケー ション	日本語の歴史
2 位	語彙	コミュニケー ション	語彙	語彙	日本語の歴 史・語彙	言語一般	コミュニケー ション
3 位	国語教育	日本語の歴史	日本語の歴史 国語教育	日本語一般	日本語一般・言 語一般・ことば と機械	語彙	語彙

ここで、上位 3 分野以外で記事数の増加が注目される分野についても触れたい。

[方言]

[方言]は、2005 年は 1.5% (5 件)、2006 年は 1.3% (4 件) と低い比率で推移していたが、2007 年に 4.1% (17 件) となった。2008 年にはさらに比率が上がって 7.3% (37 件) となる。これは「文芸春秋 SPECIAL 〈季刊秋号〉」(2 - 4, 10 月) に、特集「わがお国ことば讃」で方言に関する記事が 21 件掲載されていたこと、2007 年に始まった連載「西館好子のにっぽん子守唄紀行」(正論) が 10 月まで続いたことが大きな要因とみられる。

[辞書・辞典]

「1. 1. 特集の状況」でも触れたとおり、2008 年 1 月に『広辞苑』第 6 版が刊行されたことが話題となり、7 件の『広辞苑』関連の記事が見られる。過去、[辞書・辞典] 分野に関する記事が全くない年もあった(2003 年、2004 年、2006 年) が、2007 年に記事全体に占める比率は 1.7% (7 件) となり、2008 年にはさらに増加して 2.6% (13 件) となった。

(渡辺由貴)

¹ 渡辺由貴 (2008) 「総合雑誌記事の動向」『国語年鑑2008年版』, 国立国語研究所編, 大日本図書, pp. 31-33。

第2部

文 献

刊行図書一覧

□国語（学）

◇国語（日本語）一般

- 1 愛と日本語の惑乱（清水義範） ベストセラーズ 2008-11 B6 243p 1800 円
- 2 お言葉ですが…別巻 1（高島俊男） 連合出版 2008-5 B6 270p 2200 円
- 3 齧ってみようか日本語（彦野坂一） 文芸社 2008-8 B6 297p 1500 円
- 4 「汚い」日本語講座〈新潮新書 293〉（金田一秀穂） 新潮社 2008-12 B40 207p 680 円
- 5 ことばの泉 4 お茶の香り（藤沢近人） ブイツーソリューション（星雲社） 2008 -1 A5 9, 225p 800 円
- 6 ことばの泉 5 茶腹もいっとき（藤沢近人） ブイツーソリューション（星雲社） 2008-4 A5 9, 217p 800 円
- 7 ことばの泉 6 茶殻の味わい（藤沢近人） ブイツーソリューション（星雲社） 2008-7 A5 9, 217p 800 円
- 8 ことばの泉 7 茶柱が立つとき（藤沢近人） ブイツーソリューション（星雲社） 2008-10 A 5 9, 227p 800 円
- 9 新・にほんご紀行（山口仲美） 日経 B P 社（日経 B P 出版センター） 2008-3 B6 367p 14 00 円
- 10 *世相とことば（青柳亨） 西田書店 2008-4 B6 194p 1300 円
- 11 その日本語が毒になる！〈PHP 新書 521〉（吉村達也） P H P 研究所 2008-5 B40 198p 700 円
- 12 対話 言葉と科学と音楽と（谷川俊太郎；内田義彦） 藤原書店 2008-4 B6 247p 2200 円
[雑誌『広告批評』に掲載(1980~82年)された対話3本をまとめたもの]
- 13 *正しいか？誤りか？ それは問題じゃない 話しことばのフィールドワーク（斎藤孝滋） フェリス女学院大学 2008-10 B6 157p 700 円
- 14 日本語の泉（山崎馨） 和泉書院 2008-2 B6 3, 161p 1500 円
- 15 日本語のゆくえ（吉本隆明） 光文社 2008-1 B6 242p 1500 円
- 16 日本語を書く作法・読む作法（阿刀田高） 時事通信出版局（時事通信社） 2008-1 B6 221p 1600 円
- 17 日本人の言葉と心（重松英樹） 太陽出版 2008-3 B6 230p 1700 円
- 18 日本人の脳に主語はいらない〈講談社選書メチエ 410〉（月本洋） 講談社 2008-4 B6 248p 1600 円
- 19 ひらがなでよめばわかる日本語（中西進） 新潮社 2008-6 A6 223p 400 円
[『ひらがなでよめばわかる日本語のふしぎ』（小学館 2003 年刊）の増訂]
- 20 ひらがなの輝き ことばの感性をみがく技術（江口孝夫） リヨン社（二見書房） 2008-7 B6 173p 1500 円
- 21 夕陽を浴びる平成のことば達（長島猛人） 家政教育社 2008-1 B6 小 210p 1200 円
- 22 NHK 気になることば 調べてナットク意外な発見！（NHK アナウンス室編） 東京書籍 2008-12 B6 255p 1400 円

- 23 Japan Foundation: Japanese Studies in South and Southeast Asia; Directory of Japan Specialists and Japanese Studies Institutions in South and Southeast Asia (Japanese Studies Series 38) ., 2008. B5, 244p.
- 24 *ことばとこころ 随筆集 (村上京子) アジア文化総合研究所出版会 2008-12 B6 238p 2714 円
- 25 ことばの教養 (中公文庫) (外山滋比古) 中央公論新社 2008-10 A6 231p 571 円
『ことばのある暮らし』(中公文庫 1988 年刊), 『男の神話学』(中公文庫 1982 年刊)の 2 冊をもとに再編集したもの]
- 26 鱗の眩きその二 (永井潔) 光陽出版社 2008-3 A5 205p 1500 円
- 27 知って納得 社会も読める 校閲部長の言葉の手帳 (清湖口敏) 産経新聞出版 (日本工業新聞社) 2008-9 B6 221p 800 円
『産経新聞夕刊』(大阪発行)の連載「語誌ッ拾遺帳」(平成 16 年 4~20 年 7 月)に加筆修正したもの]
- 28 日本語の作法 (外山滋比古) 日経 B P 社 (日経 B P 出版センター) 2008-10 B6 173p 1200 円
[「日経ビジネス アソシエ」2005 年 10 月 4~2008 年 7 月 1 日号に掲載された連載コラムの抜粋]
- 29 日本語は死にかかっている (NTT ライブラリーレゾナント 047) (林望) NTT 出版 2008-10 B6 232p 1500 円
- 30 猫を償うに猫をもってせよ (小谷野敦) 白水社 2008-7 B6 254p 1800 円
- 31 文学鶴亀 (武藤康史) 国書刊行会 2008-2 B6 332, 14p 2200 円
- 32 ことばの森 歌ことばおぼえ書 (久保田淳) 明治書院 2008-4 B6 243p 3800 円
- 33 きのうち京あした (湖の本エッセイ 44 京味津津 1) (秦恒平) 湖の本版元 2008-7 A5 168p 2300 円
- 34 言葉の森 涉獵 論考と随想 *Ranging over Languages' Woods; Studies & Essays* (筑木力) ほおずき書籍 (星雲社) 2008-6 A5 278p 1800 円
- 35 日本語が亡びるとき 英語の世紀の中で (水村美苗) 筑摩書房 2008-10 B6 330p 1800 円

◇国語学

- 36 日本語の正体 (町田健) 研究社 2008-10 B6 5, 206p 2000 円
1. 言語の本質 2. 日本語の特徴 音と文字 3. 日本語の単語 4. 日本語の文 5. 日本語の正体
- 37 GIS の理論 (シリーズ GIS 1) (村山祐司; 柴崎亮介編) 朝倉書店 2008-4 A5 7, 188p 3800 円

◇国語学史

- 38 日本語と日本思想 本居宣長・西田幾多郎・三上章・柄谷行人 (浅利誠) 藤原書店 2008-2 B6 310p 3600 円
[藤原書店の季刊誌『環』25~28・30~32 号掲載の「日本語で思考すること—日本語によって作られた思想家たち」を加筆補正した上で単行本化したもの]
- 39 西洋人の日本語発見 外国人の日本語研究史 (講談社学術文庫 1856) (杉本つとむ) 講談社 2

008-1 A6 394p 1200 円

[原本は創拓社 1989 年刊, 第二章は八坂書房刊『杉本つとむ著作選集 10』収録の同題論文を
改編したもの]

- 40 宣長学論究 (岩田隆) おうふう 2008-3 A5 351p 15000 円
- 41 ことだまのおぼつかなさに ことばという対象をめぐって (森岡健二) 大空社 2008-3 A5
288p 5000 円
- 42 横浜開港と宣教師たち 伝道とミッション・スクール (有隣新書 66) (横浜プロテスタント史研究
会編) 有隣堂 2008-9 B40 209p 1000 円
1. J・C・ヘボン 施療・辞書編纂・聖書翻訳 (佐々木晃)
- 43 金田一京助と日本語の近代 (平凡社新書 432) (安田敏朗) 平凡社 2008-8 B40 284p 880
円
1. 問題のありか 「イノセント」であること 2. アイヌ語との出会い 日本帝国大学言語学の
射程 3. 「言語」論とその展開 戦前・戦中の議論を軸に 4. 歴史認識・社会論 敗戦直後の
議論を軸に 5. あらたな国語を求めて(1) 現代かなづかいをめぐって 6. あらたな国語を求
めて(2) 標準語論と敬語論をめぐって

◇論文集

- 44 Sano, Tetsuya ; Endo, Mika ; Isobe, Miwa ; Otake, Koichi ; Sugisaki, Koji ; Suzuki, Takeru 編: An
Enterprise in the Cognitive Science of Language; A Festschrift for Yukio Otsu (Hituzi
Linguistics in English 8) . --東京, Hituzi Syobo, 2008-3. A5, 19, 628p. 18000 円
Nishiyama, Yuji: Non-referentiality in Certain Noun Phrases Sugioka, Yoko: Remarks on
Asymmetry and Recursion in Compound Formation Ishii, Yasuo: Haig/Kuroda's Paradigm Re-
considered Suzuki, Takeru: A Developmental View of VP Architecture; Why Are Arguments
Projected the Way They Are? Nakajima, Naoki: A Composite Path PP in Japanese; The C
ase of NP *kara* NP *made* Isobe, Miwa: Reconstruction in Child Japanese; A Preliminary S
tudy Otaki, Koichi: The Acquisition of Japanese Numeral Quantifiers by Second Langua
ge Learners Takita, Kensuke: Order in Narrow Syntax and PF; Toward a Theory of Word O
rder Variations Monou, Tomoko ; Komachi, Masayuki: Unaccusatives in Japanese; A Processi
ng Study Sugiyama, Yukiko: Examination of Partial Vowel Devoicing in Japanese Yuhara,
Ichiro: No Isomorphism between Syntax and Semantics; Some Notes on Predicates with
'Subcategorized Dative Object' Kakihana, Shinichiro: Children's Use of *Dakuten* Dia
critic and *Yo-on* Combinations in Learning to Read *Kana* Syllabary Furukawa, Yukio: In
visible Domain Restriction of an NP; Evidence from the Specificity Condition Hirose,
Yuki: An Influence of Lexical Accent on Structural Disambiguation; How Speaker's Inte
ntion and Listener's Expectation Meet Nakamura, Keiko: Code-Switching in a Japanese-
English Bilingual Child; A Longitudinal Study Zushi, Mihoko: A Romance Perspective on
Tokoro-Clauses Kumagai, Yoshiharu: Verbalizing the Same Experience; An Exploration o
f Information Structure in Japanese and English Narratives Fukuhara, Masao: A note o
n Nominative Case Assignment in Japanese Watanabe, Akira: Some Notes on Vague Quanti
ty Expressions Nakayama, Mineharu: Bound Variable Interpretations in L2 and Universa

- 1 Grammar Hirakawa, Yahiro: The Adversative Subject of a Causative Construction in Japanese Matsuoka, Kazumi ; Inami, Shin'nosuke: Subject-orientation of Focus Particles in Early Speech of Japanese Children Terao, Yasushi: Remarks on Comparative Analysis between Children's and Adults' Speech Errors in Japanese Hoshi, Koji: (Anti-)Haig-Kronda's Generalization on NQs and Scrambling Revisited Matsufuji, Shigeko: A Note on the Acquisition of *Hotondo* by Japanese Children Koizumi, Masatoshi ; Kimura, Naoki ; Kim, Jungho: Syntactic Positions of Arguments in Japanese Clause Structures; A Psycholinguistic Perspective Ito, Masuyo: Japanese-speaking Children's Interpretation of the Focus Particle 'Even' Reveals Their (In)sensitivity to Implicatures Sugisaki, Koji: Structure Dependence in the Acquisition of Japanese Yamakoshi, Kyoko: Children's Interpretations of Quantifier Scope Interactions in Japanese Fukazawa, Haruka: Relativization and Conjunction; Complex Constraint Interactions in Optimality Theory Terada, Hiroko: Acquisition of Japanese Deverbal Compounds Okabe, Reiko: The Acquisition of *Zibun* Revisited Yoshida, Masaya: When Negative Statements Are Easier: Processing of Polarity Items in Japanese Goro, Takuya: Boolean Conjunction in Child Japanese
- 45 Miyagawa, Shigeru ; Saito, Mamoru (eds.): The Oxford Handbook of Japanese Linguistics. --New York, Oxford University Press, 2008. B5, 12, 553p.
- Harley, Heidi: 2. On the Causative Construction Heycock, Caroline: 3. Japanese *-WA*, *-GA*, and Information Structure Ito, Junko ; Mester, Armin: 4. Lexical Classes in Phonology Kishimoto, Hideki: 5. On Verb Raising Koizumi, Masatoshi: 6. Nominative Object Kubozono, Haruo: 7. Japanese Accent Maki, Hideki ; Uchibori, Asako: 8. *GA/NO* Conversion Miyamoto, Edson T.: 9. Processing Sentences in Japanese Murasugi, Keiko: 10. The Acquisition of Japanese Syntax Nakanishi, Kimiko: 11. The Syntax and Semantics of Floating Numeral Quantifiers Nishiyama, Kunio: 12. V-V Compounds Richards, Norvin: 13. *WH*-Questions Shimoyama, Junko: 14. Indeterminate Pronouns Takahashi, Daiko: 15. Noun Phrase Ellipsis Takano, Yuji: 16. Ditransitive Constructions Venditti, Jennifer J. ; Maekawa, Kikuo ; Beckman, Mary E.: 17. Prominence of Marking in the Japanese Intonation System Watanabe, Akira: 18. The Structure of DP
- 46 * 言語・文化研究の諸相 藤井健夫教授退任記念論集 (中林真佐男 ; 林桂子 ; 倉本充子編著) 大阪教育図書 2008-3 A5 388p 4500 円
日本人英語話者の断り行動 (木下英文) 和英辞書作成の工夫 (東森めぐみ) 脳科学と外国語指導 (林桂子) 英語教育における WBT 利用の意義 (倉本充子) 付随的語彙学習における語彙注釈の利用とその効果 (氏木道人) インドにおける言語政策と外国語教育 (中林真佐男)
- 47 言葉と認知のメカニズム 山梨正明教授還暦記念論文集 (ひつじ研究叢書 言語編 70) *Linguistic and Cognitive Mechanisms: Festschrift for Professor Masa-aki Yamanashi on the Occasion of His Sixtieth Birthday* (児玉一宏 ; 小山哲春編) ひつじ書房 2008-9 A5 7, 665p 17000 円
痕跡的認知と言語表現 (仲本康一郎) 日本語の介在使役構文をめぐって (沢田淳) Aoyama, Yasutaka: Logic and the Ever-Elusive Pursuit of Meaning; Language Specificity as a Co

- gnitive Linguistic Constraint upon Analytic Philosophy 移動動詞に対する実験的分析
 (李在鎬) アマルガム構文としての『「全然」+「肯定」』に関する語用論的分析(尾谷昌則)
 日本語壁塗り交替の分析 構文文法の観点から(永田由香) 五感の動詞の意味拡張 知覚
 者の意味役割の二重性とメタファーの観点から(高嶋由布子) 比較副詞の容認可能性と文脈
 (高水徹) 品詞と擬音語・擬態語(呂佳蓉) 「論文はしんどい」 感覚・情動表現への認
 知的フレーム分析(野沢元) Fukada, Chie: Embodiment and Objectification in Japanese M
 imetics 日英語の対比表現に見られる非明示的否定性と量・質・態度に関する変化のメカニ
 ズム(有光奈美) メタファーの研究は何のために? メタファーの研究が面白く、かつ重要
 である本当の理由について(黒田航) 助数詞の選択と文脈の影響について(浜野寛子) 換
 喩検出を目的とした自己組織化マップ SOM による物体の形状マップ形成(黒沢義明; 原章; 市
 村匠) Yasuhara, Kazuya: Ad Hoc Categories and Contextual Reference: A Cognitive Seman
 tics Account 記号の恣意性と有縁性(菅井紫野) 「名詞+スギル」に関する一考察(奥田
 芳和) テイルの意味 事態解釈の観点から(山本雅子) 副詞が表す話者の態度と副詞を利用
 した意見文の分類(金丸敏幸) 書き言葉の「というか」 文法化をめぐる問題(北野浩章)
 複合辞の本性について その構成と単位性(田野村忠温) 日本語のカテゴリー帰属表現に
 ついて(今井忍) 「漢語動名詞+「先」」の意味分析 新聞コーパスの実例に基づく多義の
 研究(服部匡) 「～モ」のアクセントをめぐる 現代共通語・京都語・倉敷語および平家
 正節データを対照して(前田広幸) 最小対における音韻システムの歪みと不均衡(北原真冬)
 名詞一語が「文」となるのはいつか(横森大輔) 対人コミュニケーション能力について(小
 山哲春) テキスト理解の規定因 読み手の受容スタイルと論証パターンから(甲田直美)
 会話における「指示」と発話の文法構造(林誠) 山梨正明教授略歴・業績一覧
- 48 ことばの世界とその魅力〈人文社会科学講演シリーズ 3〉(阿子島香編代表 萩原理; 佐藤伸宏;
 嶋陸奥彦; 千種真一編) 東北大学出版会 2008-4 B6 212p 1700 円
 1. 「あいうえお」の言語学(後藤斉) 2. 古くて新しい古典文法(大木一夫) 3. 詩の言葉の
 魅力(佐藤伸宏) 5. 漢字の魅力と魔力 「反切」の成立とその応用(花登正宏)
- 49 ことばの響き 英語フィロロジーと言語学 *Words at Heart* (今井光規; 西村秀夫編著) 開文
 社出版 2008-9 A5 237p 2800 円
 言語変異と辞書(西村秀夫) プラハ言語学派と言語類型論 言語性格学から構成的類型論へ
 の発展(本城二郎)
- 50 大東文化大学外国語学部創設三十五周年記念論文集 *35th Anniversary Bulletin for The Fac
 ulty of Foreign Languages Daito Bunka University* (大東文化大学外国語学部創設三十五周
 年記念論文集刊行委員会編) 大東文化大学外国語学部 2008-3 A5 382p 非売
 琉球二字官話集と琉球官話 pp. 95-111 (瀬戸口律子) 条件と可能性・蓋然性のモダリティ
 「かもしれない」「かねない」とその周辺 pp. 135-163 (田中寛) ニュース番組における
 アナウンサー・キャスターの発話速度 2006 年 5 月 3 日のニュース番組を資料として pp. 19
 1-209 (福盛貴弘) <第 2 部 記念講演・シンポジウム・寄稿論文編> 日本語における漢字
 語と現代中国語 pp. 311-319 (中川正之) 中日頻度副詞“總是”と「いつも」の対照研究
 pp. 321-338 (楊凱榮) 再談汉语“的”和日语的的区别 pp. 339-357 (陆丙甫)
- 51 二松学舎創立百三十周年記念論文集 1 (二松学舎編刊) 2008-3 A5 296, 57p 非売

万葉作者未詳歌論 卷十一・卷十二を中心として pp. 5-24 (針原孝之) 中国語・朝鮮語話者による日本語表記の誤り(1) 漢字の読み表記を中心に pp. 125-151 (林謙太郎) 接頭辞ダダの成立と展開 pp. 1-19 (島田泰子) 言語から見た自己認識と自己変革の方法について pp. 41-57 (塩田今日子)

52 Hudson, Mutsuko Endo ; Jun, SunAh ; Sells, Peter ; Clancy, Patricia M. ; Iwasaki, Shoichi ; Sohn, SungOck(eds.): Japanese Korean Linguistics 13. --Stanford, Center for the Study of Language and Information, 2008. A5, 16, 462p.

<1. Historical Linguistics, Phonetics and Phonology> Cho, Young-Mee Yu ; Saiki, Mariko: Preservation of Lexical Prominence in Vocative Chant Frellesvig, Bjarke ; Whitman, John: The Japanese/Korean Vowel Correspondences Hisagi, Miwako ; Nishi, Kanae ; Strange, Winifred: Acoustic Properties of Japanese and English Vowels: Effects of Phonetic and Prosodic Context Jun, Sun-Ah ; Koike, Chisato: Default Prosody and Relative Clause Attachment in Japanese Kawahara, Shigeto: On the Proper Treatment of NonCrispEdges Vance, Timothy J.: Romanization and Phonemicization of Japanese <2. Morphology, Morphosyntax and Syntax> Hayashishita, J.-R.: On Adnominal 'Focus-Sensitive' Particles in Japanese Hoji, Hajime: Reconstruction Effects in Passive and Scrambling in Japanese Kim, Chonghyuck: Classifiers and Plural Marking Ko, Heejeong: Subject Scrambling Sato, Yutaka: A Phonologically Null Copula Functioning as a Light Verb in Japanese Yoon, James Hye Suk ; Park, Chongwon: Process Nominals and Morphological Complexity <3. Semantics, Acquisition and Psycholinguistics> Hara, Yurie: Scope Inversion in Japanese; Contrastive Topics Require Scalar Implicatures Lee, Chungmin: Motion and State; Verbs *tul-/n a-(K)* and *hairu/deru(J)* 'enter' / 'exit' Oshima, David Y.: Semantic Divergence of *-(R) are*; From a Different Perspective Tsujimura, Natsuko: Motion Verbs, Telicity, and Argument Projection <4. Grammaticalization and Functional Grammar> Okada, Judy: Morpheme Insertions in Japanese Causative and Potential Expressions Yoshida, Nina A.: Nominialized Predicates as Directives in Japanese Discourse <5. Pragmatics, Discourse and Sociolinguistics> Cook, Haruko Minegishi: The Pragmatics of Japanese Sentence-final Forms Naruoka, Keiko: Expressive Function of Japanese Adnominal Demonstrative *Konna/Sonna/Anna* Okamoto, Shigeko ; Sato, Shie: Culture and International Styles; The Interpretation of Reactive Tokens in Japanese Conversations

53 Masataka, Nobuo (ed.): The Origins of Language; Unraveling Evolutionary Forces. --Tokyo, Berlin, Heidelberg, New York, Springer, 2008. B5 小, 8, 157p.

Kita, Sotaro: 3. World-View of Protolanguage Speakers as Inferred from Semantics of Sound and Symbolic Words: A Case of Japanese Mimetics. pp. 25-38 Mazuka, Reiko ; Kondo, Tadahisa ; Hayashi, Akiko: 4. Japanese Mother's Use of Specialized Vocabulary in Infant-Directed Speech; Infant-Directed Vocabulary in Japanese. pp. 39-58

54 Otsu, Yukio (ed.): The Proceedings of the Ninth Tokyo Conference on Psycholinguistics. --東京, Hituzi Syobo, 2008-11. A5, 4, 366, 4p. 9800 円

Chiu, Rosalynn S. ; Ono, Hajime ; Sakai, Hiromu: Processing of Gapless Dependency without

- Thematic Cues; A Study on Negative Adverbs in Japanese Fukushima, Mami ; Labelle, Marie ; Ménard, Lucie: The Development of the Vowel System in 5 Year-Old Simultaneous French/ Japanese Bilingual Children Takamine, Kaori: *Rare*: Two Types of Root Modals in Japanese Takita, Kensuke: String-Vacuous Scrambling and Cyclic Linearization
- 55 開放系言語学への招待 文化・認知・コミュニケーション (唐須教光編) 慶応義塾大学出版会 2008-9 A5 9, 241p 2400 円
1. 形式と意味 開放系カテゴリーの展開 (谷みゆき) 2. 言語と文化の相同性 (花崎美紀)
 3. 言語とコンテキスト (井上逸兵) 4. 言語と身体性 (井上京子) 5. 言語とアフォーダンス (出原健一) 6. ナラティブ考 コミュニケーション行為としての語りをめぐって (松木啓子)
 7. 助言のディスコース (阿部圭子) 8. サイバースペースコミュニケーション (八木橋宏勇)
 9. スモールトーク (井出里咲子) 10. スポーツ・コメンタリー メディアが創るスポーツという物語 (多々良直弘) 11. 教室のディスコース (奥聡一郎)
- 56 言語研究の現在 形式と意味のインターフェース *The State of the Art in Linguistic Research: The Interface of Form and Meaning* (金子義明 ; 菊地朗 ; 高橋大厚 ; 小川芳樹 ; 島越郎編) 開拓社 2008-3 A5 19, 480p 8000 円
- 言語の基本演算を巡る覚え書 (福井直樹) Harada, Kazuko I.: Language Acquisition and Derivational Complexity; From a Minimalist Perspective 同じか違うかに関わる原理 (原口庄輔) 提示文としての中立叙述文 (長谷川信子) シェイクスピアのソネットの翻訳の問題 (黒田成幸) いわゆるナ形容詞の結果述語を巡って (三原健一) Murasugi, Keiko: Sentential Modifiers in a Discourse-Pro Language Saito, Mamoru: Argument Ellipsis, Radical Pro-Drop, and (the Absence of) Agreement Dobashi, Yoshihito: Some Notes on Prosodic Hierarchy 日本語における比較相関構文について (石居康男) 評価的同格構文について (菊地朗) Miyoshi, Nobuhiro: A Note on Free Word Order and Null Anaphora グローバル社会における英語教育の展望 (内藤永) Nishiyama, Kunio: Japanese Object Honorification and the Nature of Agreement Takahashi, Daiko: Scope Interaction in DPs with NP-Deletion in Japanese 「どうせ」とその対応英語表現 Wierzbicka 意味論からみる語彙と文化 (高橋潔) Takahashi, Mika: ECM in Japanese and Movement to the CP Edge 主部内在関係節と知覚動詞補部節の統語分析 (富沢直人)
- 57 * 言語とコミュニケーション 1 その文化と思想 弘前大学人文学部言語文化研究プロジェクト (弘前大学人文学部編) 弘前大学人文学部言語文化研究会 2008-3 B5 96p
- 現生人類単一起源説と言語系統論の関係 (山本秀樹) 日本語の右方転移文の構造と談話機能 (木村宣美)
- 58 * 言語の研究 ユーラシア諸言語からの視座 (フォーラム 16) (寺村政男 ; 久保智之 ; 福盛貴弘編) 大東文化大学語学教育研究所 2008-10 B5 434p
- アイヌ語の人称接辞体系の変遷について (板橋義三) 「ハ」の主題的意味と対照的意味 (平野尊識) 日本語指示詞の意味論と統語論 (田窪行則) 言語行動としての高校野球・選手宣誓 (陣内正敬) 再訪 熊本県天草方言の動詞テ形における形態音韻現象 (有元光彦) 形式名詞「分」の名詞用法 (江口正) 硬口蓋方向への調音点の移動に関する考察 (今村亜子) 長崎方言における人名のアクセント型 (松浦年男)

- 59 言語文化学への招待 〈大阪大学新世紀レクチャー〉(木村健治; 金崎春幸編) 大阪大学出版会
2008-3 A5 7, 321p 2500 円
〈2. 言語文化システム論〉1. 言語・文化・記号(金崎春幸) 〈4. 言語コミュニケーション論〉
1. ことばによるコミュニケーション(沖田知子) 2. 談話を分析する(三牧陽子) 3. 日本語の多様性と共生を生きる日本社会(山下仁) 〈5. 言語文化教育論〉3. 多言語・多文化化する日本とこれからの言語政策(大谷晋也) 〈6. 言語情報科学〉1. 言語の意味・概念への計算機科学からのアプローチ(林良彦) 2. コーパス言語学 データは何を語るか(田畑智司)
3. 語彙意味から見た文法(由本陽子) 〈7. 言語認知科学〉1. 認知意味論へのいざない 写像と心的領域を中心に(杉本孝司) 2. メタファー研究の方法(大森文子) 3. 構文文法の可能性(春木仁孝)
- 60 ことば・空間・身体(篠原和子; 片岡邦好編) ひつじ書房 2008-3 A5 8, 258p 6800 円
序章 空間概念の歴史的変遷素描(片岡邦好) 〈第 1 部 談話における空間・身体 心理学/言語人類学的アプローチ〉1. 忘却か? 方略か? ナラティブ話者の一貫した言及回避の謎に迫る(古山宣洋; 関根和生) 2. 発語とジェスチャーはいかに話者の空間座標軸を表現するか? 日本語における左右概念をめぐる個人内・個人間相互作用(細馬宏通) 3. 空間談話におけるメンタル・マップの協同構築 日本人ロック・クライマーによる直示移動動詞「行く/来る」の用法について(片岡邦好) 4. 絶対と相対の狭間で 空間指示枠によるコミュニケーション(井上京子) 〈第 2 部 空間・身体からの意味拡張 認知言語学的アプローチ〉6. 日本語接続助詞に関する一考察 「うち」「なか」を中心に(松中義大) 7. 時間メタファーにおける「さき」の用法と直示的時間解釈(篠原和子) 8. 現実と理想のメタファー 主観性および身体性との関連から(鍋島弘治朗)
- 61 ことばのダイナミズム 〈成蹊大学アジア太平洋研究センター叢書〉(森雄一; 西村義樹; 山田進; 米山三明編) くろしお出版 2008-9 A5 14, 369p 3800 円
〈第 1 部 談話のダイナミズム〉談話における融合とカテゴリー化(Lee, David 長谷川明香訳) 定型の前置き表現のダイナミズム(多門靖容) 〈距離〉と〈領域〉の語用論 日韓対照ポライトネス論のために(滝浦真人) 接続助詞「から」と「ので」を含む複文の認知的分析 発話の場のダイナミズムと文法(宇野良子) 〈第 2 部 レトリックのダイナミズム〉換喩の認知言語学(西村義樹) 相互作用と形容詞(篠原俊吾) 並列型トートロジーとレトリック(酒井智宏) 〈第 3 部 語の分析〉カテゴリーのダイナミズム 「人間」を中心に(粕山洋介) ミトオスの意味構造 使用依拠モデルに基づくネットワークの記述(鷺見幸美) 形容詞「正しい」の意味分析(李澤熊) 自明派生語の意味記述の問題 接尾辞サによる形容詞派生名詞の場合(山田進) 自己表現のダイナミズム 「自分」「われ」「おのれ」を中心に(森雄一)
- 62 日本文学はどこに行くのか 日本文学研究の可能性 〈フェリス女学院大学日本文学国際会議 6〉(フェリス女学院大学編) フェリス女学院大学 2008-3 A5 200p
『源氏物語』における〈涙〉表現 「音泣く」に秘められた力学(鈴木貴子) 〈4. 基調講演〉
「もののあはれ」の表現とその翻訳 「源氏物語千年紀」を前にして(芳賀徹)
- 63 日本文化の鉅脈 茫洋と閃光と 〈近畿大学日本文化研究所叢書 3〉 *Rich Lodes in Japanese Culture* (近畿大学日本文化研究所編) 風媒社 2008-3 A5 288p 3800 円

<1. 文学・歴史>3. 近世の「面白し」 歌川広重の旅日記を読む pp. 51-77 (岸文和) 5. 明治後期・大正期東京語の対称詞 pp. 95-110 (永田高志) <2. 思想・社会>4. 柳宗悦の近代への対峙 pp. 217-237 (関口千佳)

- 64 レキシコンフォーラム 4 *Lexicon Forum* (影山太郎編) ひつじ書房 2008-9 A5 4, 299p 4800 円

<特集; 複合動詞と複雑述語>複合動詞における項の具現 統語的複合と語彙的複合の差異 (由本陽子) Hoshi, Hiroto: Functional Categories and Complex Predicates テクル・テイクの動詞共起制限の派生 (中谷健太郎) Akita, Kimi: The Dative Paradox; The Case of Japanese Psych-Verbs 拡大主要部理論に基づく「句の包摂」現象の分析 (堀内仁) 状態述語としての「VN する」「意味する」と「位置する」を中心に (中村たか子) 韓国語母語話者による和製英語の理解 (玉岡賀津雄; 林炫情; 池映任; 柴崎秀子) <Notes & Discussion> Kishimoto, Hideki: Some Lexically-Derived Differences in NPI Licensing <チュートリアル>語彙概念構造 (LCS) 入門 (影山太郎) クオリア構造入門 (小野尚之)

◇個人全集・著作集

- 65 国語論集 5 (『国語論集』編集委員会編) 北海道教育大学釧路校国語科教育第 1 研究室 2008-3 A5 98p
- 66 吉田金彦著作選 1 万葉語の研究 上 (吉田金彦) 明治書院 2008-7 A5 15, 355p 15000 円
[『地名語源からの万葉集』(東京堂出版 1997 年刊の新版)]
1. しな立つ着く澗さの瀉 2. 磯のさき・いそ越道 3. とこの山なるいさや川 4. あどの水門・あど川 5. かにのはの田居 6. いはれの池 7. 天の香具山とかまに 8. おし照る難波の海 9. 鹿子ぞ鳴くなる 10. 真若の浦 11. 紫の小瀉の海
- 67 吉田金彦著作選 2 万葉語の研究 下 (吉田金彦) 明治書院 2008-7 A5 12, 397p 15000 円
[『埋もれた万葉の地名』(東京堂出版 1998 年刊)の新版]
1. 万葉集さいはての歌 2. 石走る近江と垂水と澗 3. 衣手を打廻の里 4. たまはやす武庫の渡り 5. 天さがる鄙の都 6. 明石大門に入る日 7. 姫路たゆらぎ山 8. 家持の「伊佐左村竹」 9. つのさはふ石見の海 10. 八雲立つ出雲 11. 枕詞「ちはやぶる」の成り立ち
- 68 吉田金彦著作選 4 額田王紀行 (吉田金彦) 明治書院 2008-7 A5 8, 381p 15000 円
[『沼の司祭者 額田王』(毎日新聞社 1993 年刊)の新版]
1. 熟田津の研究 2. 伊予温泉歌の研究 3. 蒲生野遊獵の歌 4. 万葉の「むらさき」 5. へそ形の林のさき
- 69 吉田金彦著作選 3 悲しき歌木簡 (吉田金彦) 明治書院 2008-7 A5 8, 345p 15000 円
[『秋田城木簡に秘めた万葉集』(おうふう 2000 年刊)の新版]
1. 秋田城出土仮名木簡の研究 2. 仮名木簡の歌と家持の歌との比較 3. 考古・歴史学からの歌木簡 4. 家持の秋田決死行 5. 大伴家持の死をめぐって 6. 笠女郎、愛の旅路 7. 笠女郎、空閨の怨歌 8. 家持と笠女郎の最期 9. 後半生の歌を集めた大伴家持集 10. 「醜の御楯」考

□国語史

◇国語史一般

- 70 日本語史のインタフェース〈シリーズ日本語史 4〉(金水敏; 乾善彦; 渋谷勝己) 岩波書店 2008-7 A5 14, 253p 3600 円

1. 日本語史のインタフェースとは何か 2. 言語資料のインタフェース 3. 日本語書記の史的展開 4. 新たなことばが生まれる場 5. ことばとことばの会おうところ 6. 言語変化のなかに生きる人々 7. 役割語と日本語史

- 71 日本語史要講(小田勝) 三恵社 2008-3 B5 154p 1600 円

◇上代語～現代語

- 72 恋の万葉集〈高岡市万葉歴史館論集 11〉(高岡市万葉歴史館編) 笠間書院 2008-3 B6 348p 2800 円

万葉恋歌の誕生 人麻呂歌集の文学史的意義(大浦誠士) 恋歌の表現 人目と人言・夢・死と色(清水明美) 忘れ草 忘れ草と中国古典(川崎晃)

- 73 万葉語文研究 4(万葉語学文学研究会編) 和泉書院 2008-12 A5 202p 3500 円

大伴百代の恋の歌 卷四・五五九歌を中心に(大島信生) 「挾乱」改訓考(新谷秀夫) 『経国集』卷十三「夜聞擣衣詩」(一五三)攷 その表現と解釈について(渡辺寛吾) 続日本紀宣命における「治」字の刑罰用法(白石幸恵) 『遊仙窟』本文語彙と和訓 疊語を中心に(張黎) カの接続(蔦清行) 書紀歌謡 85 番の「奴底」について α群の字音表記の在り方から考える(亀山泰司) 「あぢむらこま」から「アヂムラサワキ」へ 4・四八六における訓釈をめぐって(内田賢徳)

- 74 論集上代文学 30(万葉七曜会編) 笠間書院 2008-5 A5 285p 8800 円

「かづらく」考(小野寛) 古事記のヤマト(上)(金井清一) 垂仁紀古写本訓点の敬語表現(生死の敬避表現)(林勉) 『七代記』と「日本記」 改編される『日本書紀』(神野志隆光)

- 75 ことばと資料私注(大塚光信) 清文堂出版 2008-10 A5 2, 292p 5800 円

<第 1 部>1. シャチコハル 2. クタビルルとツカルル 3. シツケ 漢語と和語 4. マイナイと賄賂 和語と漢語とのあいだ 5. 沈思と笑止 擬(もどき)漢語 6. Iantar 日葡辞書の訳語 <第 2 部>7. 初期国字本の刊行期についての一試論 8. 『エソポのハブラス』 9. 『エヴォラ本 日葡辞書』 10. コリヤード『懺悔録』 <第 3 部>11. 室町小歌私解 12. 狂言のことば 13. キリシタンの日本語研究

- 76 ことばにみる江戸のたばこ(たばこと塩の博物館編) 山愛書院(星雲社) 2008-2 B6 221p 2381 円

- 77 近代語研究 14(近代語学会編) 武蔵野書院 2008-10 A5 4, 457p 14000 円

抄物のカタチヨミとその類縁表現(山田潔) 「うずくまる」考(岩下裕一) 助詞バシについての一考察 抄物を中心に(小林正行) 御伽草子に見る室町時代語の様相 形容詞を中心に(坂詰力治) 「善悪」の副詞用法の発達と衰退(玉村禎郎) 『天草版平家物語』<重衡東下り・千手>の段と能「千手重衡」 不干ハビアンの“語り”の文体に占める本段の普遍性と特殊性(小林千草) 狂言台本における「聞ク」と「問フ」「尋ヌル」(小林賢次) 『節用集』寛永六年刊本類の本文系統(佐藤貴裕) 『唐詩選講釈』と『唐詩選広解』の指定表現について 近世口語体資料としての再評価(浅川哲也) 狩谷椽斎『古京遺文』を批判する 異

体字解説への誘い (杉本つとむ) 江戸語で書き継がれた『路女日記』(大久保恵子) 近世後期江戸語・明治期東京語における助詞モノヲとモノについて (宮内佐夜香) 文末表現「げす」の評価に関して (長崎靖子) 『吳淞日記』に見られる言文一致の萌芽 (山口豊) 『吾輩ハ猫デアル』の一・二人称代名詞 明治東京知識層の言葉(一) (小松寿雄) 国定読本における助詞「へ」使用率の変化について 第一期から第六期 (園田博文) 明治期における会話書『独習新案日韓対話』(成玗珂) 接続助詞モノデについて 『銀の匙』を中心に (鈴木英夫) 「マス」から「デス」へ 丁寧体の変容 (田中章夫) 「お～いただきますようお願い申し上げます」と「お～くださいますようお願い申し上げます」(北沢尚) 駅名における分割地名の構造 (鏡味明克) 文章の文体と単語の文体 国研コーパスを利用して (宮島達夫) B. H. チェンバレンの試みた口語 日本語文例集と出典テキストとの異同から (常盤智子) 『和英語林集成』「手稿」のローマ字綴りとその位置 (木村一) 幕末における時長表現語 「時刻」、そして「時限」から「時間」へ (松井利彦)

◇日本語系統論

- 78 稲作渡来民 「日本人」成立の謎に迫る (講談社選書メチエ 411) (池橋宏) 講談社 2008-4 B6 264p 1700 円
6. 渡来民によって日本語はどう変わったか pp. 212-244
- 79 ささがねの蜘蛛 意味不明の枕詞・神話を解いてわかる古代人の思考法 (古事記・日本書紀・万葉集と古代タミル語の饗宴 1) (田中孝頭) 幻冬舎 2008-12 B6 487p 2980 円
- 80 日本語の起源 その具体的全体像 (芝丞) 三一書房 2008-10 A5 251p 2600 円
- 81 日本語の起源と発生 基礎編 (日本語語源解説シリーズ入門巻) (飯野睦毅) 東陽出版 2008-11 B6 296p 1800 円

□音声・音韻

◇音声・音韻一般

- 82 一般音声学講義 (城生百太郎) 勉誠出版 2008-5 A5 279p 3500 円
序章 音声言語への注目 1. 音声学とは 2. 調音音声学および生理音声学 3. 音響音声学 4.
聴覚音声学 5. 母音論 6. 子音論 7. アクセント論 8. イントネーション論 9. 音韻論 10.
音節論 11. 音変化
- 83 Kubozono, Haruo (ed.): *Asymmetries in Phonology: An East-Asian Perspective* (Linguistics Workshop Series 8) . --東京, Kurosio Publishers, 2008. A5, 8, 195p.
Nasu, Akio: *Phonological Markedness and Asymmetries in Japanese Mimetics* Hirayama, Ma
nami: *Asymmetries in Voiced Stop Gemination* Otake, Takashi: *Asymmetry of Phoneme Perc
eption in L2 Listening* Tajima, Keiichi: *Asymmetry in Second-language Syllable Percep
tion* Vance, Timothy J. ; Matsugu, Yuka: *The /y/-/w/ Asymmetry in Japanese Loanwords* Ku
bozono, Haruo: */ai/-/au/ Asymmetry; A phonetic Account* Pintér, Gábor: *Asymmetrical Phon
ologization in Japanese; A Case Study* Ogawa, Shinji: *Accentual Asymmetry in Trimoraic
Sino-Japanese Words*

◇音声

- 84 Vance, Timothy J.: *The Sounds of Japanese*. --Cambridge, Cambridge University Press, 2008. B
5, 20, 263p.
[付・CD1 枚]
- 85 新ことばの科学入門 第 2 版 (Raphael, Lawrence J. ; Borden, Gloria J. ; Harris, Katherine S.
著 広瀬肇訳) 医学書院 2008-10 B5 16, 309p 6200 円
[Raphael, Lawrence J. ; Borden, Gloria J. ; Harris, Katherine S. : *Speech Science Primer: Phy
siology, Acoustics, and Perception of Speech*, 5th. ed., USA, Lippincott Williams & Wilki
ns, 2007 の翻訳]
- 86 「声」の秘密 (カープ, アン著 梶山あゆみ訳) 草思社 2008-10 B6 295p 2200 円
[Karpf, Anne: *The Human Voice.*, 2006 の翻訳]

◇音韻史

- 87 万葉集字余りの研究 (山口佳紀) 塙書房 2008-5 A5 7, 362, 19p 9500 円
本書のはじめに 1. 『万葉集』字余りの研究・序説 2. 短歌の字余り 3. 長歌・旋頭歌の字余
り 4. [非単独母音性の字余り句]について 本書のまとめとして
- 88 古今和歌集といろは歌 唇音 m と非唇音 n の交替 (光田慶一) 武蔵野書院 2008-6 B6 156p
1200 円

◇アクセント・イントネーション・リズム

- 89 リズム・アクセントの「ゆれ」と音韻・形態構造 (田中真一) くろしお出版 2008-12 A5 4,
246p 3800 円
1. 研究課題 2. 音節形成の位置と作用域 3. 外来語アクセントと音韻構造 4. 音韻・形態構造
とアクセント 5. ソノリティーと音節量 6. 本研究の課題のまとめ

□文字・表記

◇文字

- 90 一海知義著作集 10 漢字の話 (一海知義) 藤原書店 2008-11 B6 491p 6500 円
- 91 魚偏漢字の話 (加納喜光) 中央公論新社 2008-8 B6 221p 1700 円
- 92 漢字 面白すぎる博学知識 どんどん身につく! ためになる! (KAWADE 夢文庫) (鈴木昭夫; 日本語倶楽部編) 河出書房新社 2008-3 A6 222p 514 円
- 93 漢字道楽〈講談社学術文庫 1883〉(阿辻哲次) 講談社 2008-7 A6 243p 880 円
[原本は 2001 年 6 月刊]
- 94 漢字のしくみ 図解雑学 絵と文章でわかりやすい! (山本史也) ナツメ社 2008-7 B6 231p 1380 円
- 95 漢字は日本語である〈新潮新書 253〉(小駒勝美) 新潮社 2008-3 B40 200p 680 円
- 96 漢字を楽しむ〈講談社現代新書 1928〉(阿辻哲次) 講談社 2008-2 B40 218p 720 円
- 97 * 「漢和辞典」に載っているヘンな漢字 (高井ジロル著 進藤英幸監修) 二見書房 2008-6 B6 159p 1200 円
- 98 訓読みのはなし 漢字文化圏の中の日本語〈光文社新書 352〉(笹原宏之) 光文社 2008-5 B40 274p 820 円
- 99 凄い漢字 見ているだけで面白い! (Ishimizu) P H P 研究所 2008-4 B6 148p 950 円
- 100 * 動物の漢字 駱駝ってなんて読む? (学習研究社編刊) 2008-2 B5 48p 2200 円
- 101 * 人に関する漢字 欠伸ってなんて読む? (学習研究社編刊) 2008-2 B5 48p 2200 円
- 102 身近な漢字を楽しむ (小山光一) 文芸社 2008-9 B6 267p 1400 円
[「日本農業新聞」(2007 年 7~12 月)に「漢字の散歩道」として連載したもの]
- 103 よく出てくるこの漢字、読めますか?〈知的生きかた文庫〉(北原保雄監修) 三笠書房 2008-9 A6 251p 533 円
[「よく出てくるこの漢字、わかりますか?」を改筆・再編集のうえ、改題したもの]
- 104 オープン・フォーラム「漢字文化の今 5」報告書 漢字文化の継承と発展 京都大学 21 世紀 COE プログラム「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点 漢字文化の全き継承と発展のために」(高田時雄拠点リーダー) 京都大学人文科学研究所 2008-3 A4 70p
- 105 「漢字文化三千年」国際シンポジウム報告書 京都大学 21 世紀 COE プログラム「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点 漢字文化の全き継承と発展のために」(高田時雄拠点リーダー) 京都大学人文科学研究所 2008-2 A4 223p
- 106 「美空ひばり」の「のどぼとけ」(宮路清麿) 日本文学館 2008-11 B6 200p 1300 円
- 107 変体仮名とその覚え方 (板倉聖宣) 仮説社 2008-3 B6 126p 1600 円
[教育研究誌『たのしい授業』(仮説社)の 1988 年 1~8 月号に「<変体仮名の歴史>の研究から」と題して連載されたもののうちの 4~8 月号分]
- 108 書き文字から印刷文字へ 活字書体の源流をたどる〈女子美術大学図書館講義録 書物を構成するもの 2〉(森啓; 高宮利行; 桑山弥三郎; 板倉雅宣) 女子美術大学 (日本エディタースクール出版部) 2008-3 B5 135p 2400 円
- 109 文字の美・文字の力 (杉浦康平編) 誠文堂新光社 2008-12 A5 187p 2800 円

◇文字史

- 110 漢字の文明 仮名の文化 文字からみた東アジア〈図説中国文化百華 1〉(石川九楊) 農村漁村文化協会 2008-12 A5 206p 3048 円
- 111 漢字を飼ひ慣らす 日本語の文字の成立史(犬飼隆) 人文書館 2008-9 B6 241p 2300 円
1. 日本語の文字体系と書記方法の個性 2. 日本語には固有の文字がなかった 3. 古典中国語の文字を借りて日本のことがらを書く 4. 訓よみ 漢字に日本語をあてて読み書きする 5. 音よみ 古代中国語を日本語のなまりで発音する 6. 万葉仮名 漢字で日本語の発音を書きあらわす 7. 漢字と日本語との接触 八世紀の兄弟姉妹概念と語彙 8. 漢字で日本語の文を書きあらわす 古事記の選録者たちの工夫 9. 日常業務と教養層の漢字使用 平仮名・片仮名の源流 10. 仮名で日本語の文を書きあらわすには? 補説. 古代の漢字資料としての出土物
- 112 甲骨文字に歴史をよむ〈ちくま新書 732〉(落合淳思) 筑摩書房 2008-7 B40 228p 720 円
- 113 なりたちで覚える漢字(福中宏允) 幻冬舎 2008-12 B6 小 227p 952 円
- 114 成り立ちで知る漢字のおもしろ世界 武器・ことば・祭祀編 白川静著『字統』『字通』準拠(伊東信夫) スリーエーネットワーク 2008-1 B6 234p 1300 円
- 115 日本語と漢字文明 漢字を受け入れ、仮名をつくった独創性 *A View of History Is Different from the Facts. Let's Hear What China Got to Say, and We Have to Get Japanese Way.* (黄文雄) ワック 2008-11 B6 285p 1600 円

◇表記

- 116 *ひらがなカタカナローマ字のであい(くまだしずこ) 文芸社 2008-6 A6 42p 1000 円

◇表記の歴史

- 117 書記言語としての「日本語」の誕生 その存在を問い直す(福島直恭) 笠間書院 2008-11 A5 5, 314, 3p 2500 円
〈第 1 部 「日本語」以前の日本語〉1. 文字の獲得と書記言語の成立 2. 平安和文の口頭言語的性格の検証(1) 文同士の関係表示と文という単位の曖昧性 3. 平安和文の口頭言語的性格の検証(2) 和文に現れる従属節の特徴 〈第 2 部 「日本語」という名の標準語の誕生〉4. 言文一致と「日本語」の誕生 5. 「日本語」の書記言語的特徴 6. 「日本語」というイリュージョン 〈第 3 部 文字獲得に伴うもうひとつの虚構の誕生 「定家仮名遣い」の実態と意義〉7. 定家仮名遣いの位置づけ 8. 定家仮名遣いによらない表記 舞の本の調査から 9. 定家仮名遣いの社会的意義 終章. イリュージョンとしての「日本語」
- 118 万葉集の表記と訓詁(大島信生) おうふう 2008-9 A5 257p 12000 円
〈第一部 万葉集の表記と訓詁〉1. 「与」の表記について 助詞トの場合 2. 「空蟬与人」の訓釈をめぐって 3. 卷七・一四〇三番「神」の訓をめぐって 4. 卷七・一三七七番、一三七八番「斎」の訓をめぐって 5. 「如数書吾命」の訓—卷十一・二四三三番の解釈をめぐって 6. 「打靡」の訓詁をめぐって 7. 卷四・六〇五番「神理」の訓釈 〈第二部 万葉集の表記と本文〉1. 君不座者心神毛奈思 2. 卷三・四三一番の結句について 3. 卷八・一五六〇番「始見之埒」について 4. 七夕歌訓詁二題 卷十・二〇〇五番、二〇一二番 5. 「いろぐはし子」攷—卷十・一九九九番、卷十三・三二九五番 6. 卷九・一七九九番「尔保比去名」をめぐって 付論 余明軍の旅人挽歌
- 119 万葉集を読む〈歴史と古典〉(古橋信孝編) 吉川弘文館 2008-9 B6 11, 283p 2800 円
〈3. 万葉集以後〉1. 文字 仮名の発現 pp. 226-252 (沖森卓也)

120 丁寧を読む古典 (小松英雄) 笠間書院 2008-11 B6 7, 293p 1900 円

イントロダクション 1. 仮名文テキストの表現を読み解く方法 「をくらのやま」と「をくらやま」との違いに反応できる感覚 2. 仮名はどういう特質をもつ文字だったのか 仮名ならではの表現技巧と草仮名ならではの表現技巧 3. 和歌における仮名文字の運用 仮名文の初読 (recto) と次読 (verso) 4. 古典文法で説明できない構文 一字一句にこだわって読み解く 5. ウタガタの姿 (形状) と形 (語形) 文献学的アプローチの結実 補章. 助動詞キの運用で物語に誘い込む 物語冒頭文における助動詞キの表現効果

121 消された漱石 明治の日本語の探し方 (今野真二) 笠間書院 2008-6 A5 11, 428, 8p 4800 円

◇漢字など表記の仕方

122 ナンドク 難読漢字自習帳 (ドリル) (松井高志) バジリコ 2008-4 B6 118p 800 円

◇文字研究史・学史

123 白川静 漢字の世界観 〈平凡社新書 440〉 (松岡正剛) 平凡社 2008-11 B40 269p 780 円

□語彙・用語

◇語誌・語源

- 124 美しい日本語の風景 (中西進) 淡交社 2008-3 A5 215p 2000 円
125 語源研究 46 (日本語語源研究会編刊) 2008-3 B5 172p
126 にほん語おもしろい (坪内忠太) 新講社 2008-11 B6 247p 1300 円

◇語の種別

(多義語・同義語・類義語・反対語・同音語)

- 127 今さらこんなこと他人には聞けない 言葉の違いの大疑問! (日本の常識研究会編著) ベストセラーズ 2008-3 A6 254p 714 円
128 誰よりもキミが好き! 日本語力を磨く二義文クイズ (山内博之) アルク 2008-10 B6 178p 1200 円
129 似たもの言葉のウソ! ホント? (梅津正樹編著) 東京書籍 2008-7 B6 293p 1400 円
130 似ている言葉のビミョーな違いがわかる本 知ってスッキリ! 知らなきゃマジかく! (PHP 文庫) (柴田謙介) PHP 研究所 2008-1 A6 276p 533 円

(位相語)

- 131 The 武士語 (中経の文庫) (もんじろう運営委員会編 山本博文監著) 中経出版 2008-9 A6 191p 505 円
132 お公家さんの日本語 (堀井令以知) グラフ社 2008-8 B6 171p 1400 円
133 これは知らなかった!! 食のことば 言い得て妙 (くらしのことばシリーズ 2) (三宮庄二; 幸田美智子) 宮帯出版社 2008-3 B6 128p 980 円
134 日本酒ことば入門 (篠田次郎) 無明舎出版 2008-7 B6 222p 1700 円
135 武士語でござる (八幡和郎監修) ベストセラーズ 2008-6 B6 176p 780 円
136 武士語で候。(もんじろう運営委員会) 総合法令出版 2008-9 B6 173p 790 円
137 めっぼう使える 江戸語会話 (野火迅) アスペクト 2008-10 B6 225p 1429 円
138 使ってみたいイキでイナセな江戸ことば (柳亭左龍) 小学館 2008-9 B6 223p 1300 円

(専門語)

- 139 裁判員時代の法廷用語 法廷用語の日常語化に関する PT 最終報告書 (日本弁護士連合会裁判員制度実施本部法廷用語の日常語化に関するプロジェクトチーム編 後藤昭監修) 三省堂 2008-4 A5 220p 2000 円
140 西洋美術のことば案内 (高橋裕子) 小学館 2008-3 A5 159p 2000 円
141 やさしく読み解く 裁判員のための法廷用語ハンドブック (日本弁護士連合会裁判員制度実施本部法廷用語の日常語化に関するプロジェクトチーム編) 三省堂 2008-5 B6 9, 147p 1200 円

(オノマトペ 擬声語・擬態語)

- 142 ちんちん千鳥のなく声は 日本語の歴史 鳥声編 (講談社学術文庫 1926) (山口仲美) 講談社 2008-11 A6 317p 1050 円
[原本は『ちんちん千鳥のなく声は 日本人が聴いた鳥の声』(大修館書店 1989 年 4 月刊)]

(新語・流行語・外来語)

- 143 Daulton, Frank E.: Japan's Built-in Lexicon of English-based Loanwords (Second Language

Acquisition 26) .--Clevedon, Buffalo, Tronto, Multilingual Matters, 2008. A5, 7, 185p.

- 144 消えゆく日本語への哀惜(おもい) (百瀬義隆) 文芸社 2008-9 B6 164p 1100 円
- 145 *時事日本語の研究 *A Study in Contemporary Japanese* (高橋永行編集執筆) 米沢女子短期
大学国語学研究室 2008-1 B5 49p
- 146 KY 式日本語 ローマ字略語がなぜ流行るのか (北原保雄編著 「もっと明鏡」委員会編) 大修
館書店 2008-2 B6 6, 135p 680 円

(その他の語種)

- 147 アイドルのウエストはなぜ 58 センチなのか 数のサブリミナル効果 (飯田朝子) 小学館 200
8-3 B6 222p 750 円
- 148 *知っておきたい単位の知識 200 身近にあるけど意外に知らない、単位の面白ワールドへよう
こそ! (伊藤幸夫; 寒川陽美) ソフトバンククリエイティブ 2008-5 B6 206p 952 円
- 149 数詞考 (関口駿一) 真珠書院ブックサービス (真珠書院) 2008-2 A5 12, 230p 8000 円
<第 1 部 数詞考>1. 日本語数詞とその研究の歴史 2. 日本語数詞における“iuoa の法則”
3. 数詞以外に認められる“iuoae の法則” 4. “iuoae の法則”の法則性 5. ルーツ 6. “iuo
ae の法則”が日本文化、日本人の自然観にもたらしたもの <第 2 部 MN 考>1. 日本語にお
ける子音間の関係 2. M と N 3. K と T と H(P) 4. Y と W

◇慣用句・ことわざ

- 150 会話・スピーチで使える! 場面別 ことわざ・名言・四字熟語 (小学館辞典編集部編) 小学
館 2008-10 B6 319p 1400 円
- 151 ついつい会話に使ってみたくなる四字熟語 知識の時代から活用の時代へ! 使える四字熟語 1
186 (田中春泥) ベレ出版 2008-10 B6 292p 1500 円
- 152 四字熟語で読む論語 (諏訪原研) 大修館書店 2008-12 B6 6, 224p 1400 円
- 153 言うてはいけない! その「ことわざ成句」(主婦の友社編刊) 2008-1 B6 191p 1000 円
- 154 故事成語で中国を読む (多久弘一) 筑摩書房 2008-5 A6 269p 680 円
[1997 年刊を文庫化したもの]
- 155 “ことわざ DE 心理学”のすすめ 現代日本社会・文化における知的大人となるためには.. (穴
田義孝) 文化書房博文社 2008-7 B6 264p 2300 円
- 156 世界 ことわざの泉 (河北新報出版センター編 山形孝夫監修) 2008-10 B6 221p 1600 円
- 157 中国名言集一日一言 (井波律子) 岩波書店 2008-1 B6 5, 385, 41p 2700 円
- 158 飛んで火に入ることわざばなし 親子いっしょにひざを打つ (福井栄一) 日本教育研究センタ
ー 2008-5 B6 2, 180p 1200 円

◇語彙 (用語) 調査

- 159 基本語データベース 語義別単語親密度 1 あ〜さ (天野成昭; 小林哲生編著 NTT コミュニケ
ーション科学基礎研究所監修) 学習研究社 2008-10 B5 20, 458p 2 冊 6000 円
- 160 基本語データベース 語義別単語親密度 2 た〜わ (天野成昭; 小林哲生編著 NTT コミュニケ
ーション科学基礎研究所監修) 学習研究社 2008-10 B5 3, 433p
- 161 日本語の語彙特性 9 単語親密度 増補 <NTT データベースシリーズ> *Lexical Properties of
Japanese; Word Familiarity Database* (天野成昭; 笠原要; 近藤公久編著) 三省堂 2008-7
B5 37, 247p 25000 円

[付・CD-ROM1 枚]

◇固有名

(固有名・命名・由来一般)

- 162 あんまりな名前 (藤井青銅) 扶桑社 2008-7 B6 215p 1200 円
163 語感力 幸福になる名前、ヒットする商品名が隠しもつ力 (小松輝幸) ベストセラーズ 2008-9 B6 157p 1429 円

[付・CD-ROM1 枚]

- 164 ビジネスの「コトバ学」〈日経プレミアシリーズ 014〉(則定隆男) 日本経済新聞出版社 2008-8 B6 247p 850 円

(人名)

- 165 九州の苗字を歩く 大分・宮崎編 (岬茫洋) 梓書院 2008-12 A5 334p 2381 円
166 *埼玉苗字辞典 4 ハーワ (茂木和平著刊) 2008-10 A5 6227-8484p 21000 円
167 発見! 日本一楽しい名字の地図帳 (森岡浩監修) イースト・プレス 2008-12 B6 240p 476 円
168 *苗字の謎が面白いほどわかる本 (丹羽基二) 中経出版 2008-10 A6 253p 571 円
169 名字の秘密 (宝島社文庫) (多田茂治; 金容権) 宝島社 2008-8 A6 254p 457 円
『名字の由来がわかる本』(2004 年 12 月刊)を改訂・改題し文庫化したもの]
170 よくわかる長野県の名字 *Family Name of Nagano* (森岡浩) しのき書房 2008-12 B6 223p 1600 円

(地名)

- 171 *アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 企画展図録別冊 2008・渡島/檜山/津軽海峡 (北海道立アイヌ民族文化研究センター編) 北海道立アイヌ民族文化研究センター 2008-9 A4 19p
172 大阪 地名の由来を歩く (ベスト新書 195) (若一光司) ベストセラーズ 2008-9 B40 255p 743 円
173 大阪地名の謎と由来 (綱本逸雄; 明川忠夫; 斎藤幸雄; 梅山秀幸著 池田末則監修) プラネットジヤース 2008-2 A5 119p 1500 円
174 *紀南の地名 2 (紀南地名と風土研究会編刊) 紀南地名と風土研究会; 紀伊民報 2008-12 A5 108p 1429 円
175 金属・鉱物地名を解き明かす (宮川長二) 美研インターナショナル (星雲社) 2008-7 A5 255p 2000 円
176 *くまもと城下の地名 (鈴木喬編著 松本寿三郎; 熊本地名研究会監修) 熊本日日新聞社 (熊日情報文化センター) 2008-9 B6 214p 952 円
177 *群馬の地名を探る 群馬地名研究会二十周年誌 (群馬地名研究会) 群馬地名研究会 2008-11 B5 334p
178 こうして新地名は誕生した! (ベスト新書 183) (楠原佑介) ベストセラーズ 2008-4 B40 221p 724 円
179 国名から世界の歴史がわかる本 えっ、「タイ」という国名は漢字の「大」に由来するってホント?! (博学こだわり倶楽部編) 河出書房新社 2008-2 A6 222p 514 円

- 180 *上州の小字地名考 続々 群馬県立文書館所蔵の絵図面を活用して(飯塚正雄著刊) 2008-10 B5 215p
- 181 *志和の歴史的風土と地名(高橋宏寿著 紫波町志和公民館編刊) 2008-11 A4 158p 2500円
- 182 *仙台城下の地名(太宰幸子) 大崎八幡宮仙台・江戸学実行委員会;大崎八幡宮 2008-12 A5 70p 600円
- 183 小さな地名の調べかた メディモリで調べ、アカレンで踊り、ダテマエで待つ〈いずみブックレット 2〉(上野智子) 和泉書院 2008-10 A5 89p 1000円
- 184 地図から消えた地名 消滅した理由とその謎を探る(今尾恵介) 東京堂出版 2008-12 B6 286p 1800円
- 185 地名でたどる小さな歴史 2〈ビジュアル・ブックス 10〉(橘川真一編著) 神戸新聞総合出版センター 2008-7 B6 141p 1000円
- 186 地名の社会学〈角川選書 424〉(今尾恵介) 角川学芸出版(角川グループパブリッシング) 2008-4 B6 258p 1500円
- 187 *地名の変化にみる、いわきの近代化(いわき総合図書館編) いわき未来づくりセンター 2008-10 A4 254 図版 8 1000円
- 188 「地名」は語る 珍名・奇名から歴史がわかる〈祥伝社黄金文庫〉(谷川彰英) 祥伝社 2008-3 A6 229p 543円
- 189 *十勝アイヌ語地名手帖(早田国光著刊) 2008-9 A5 229p 2000円
- 190 日本紀行 語源探訪 姉の地を訪ねて(菊地勇喜) 農林統計出版 2008-12 A5 10,517p 6500円
- 191 日本人として知っておきたい地名の話(北嶋広敏) 毎日新聞社 2008-2 B6 308p 1500円
- 192 日本の神話と地名のはなし(由良弥生) ランダムハウス講談社 2008-10 B6 269p 1300円
- 193 *はかた地名考 23(小沢憲二著刊) 2008-2 A5 152p
[電子複写]
- 194 *はかた地名考 24(小沢憲二著刊) 2008-8 A5 164p
[電子複写]
- 195 *はかた地名考 25(小沢憲二著刊) 2008-11 A5 156p
[電子複写]
- 196 *阪南市地名の起源を見直す(中川義朗) 中井書店 2008-10 B6 242p 1600円
- 197 *ふるさとの地名逍遥(桜井松夫編) 上小郷土研究会 2008-8 A5 368p 2500円
- 198 南九州の地名 *This Book Describes the Toponyms of Southern Kyushu in the Aspects of Geography, Industry, Transportation, Governing System and Mythology* (青屋昌興) 南方新社 2008-6 A5 280p 2800円
- 199 *李寧熙が解いた古代地名を歩く(仕田原猛著刊) 2008-5 A5 336p
- 200 『魏志倭人伝』『隋書倭国伝』の地名が語る記紀の虚構(丸山清治) 文芸社 2008-5 B6 106p 1100円
- 201 *豊浦町・洞爺湖町・伊達市・壮瞥町のアイヌ語地名考(森美典著刊) 2008-1 B5 318p
(その他の固有名)

- 202 色の名前に心を読む 色名学入門 (近江源太郎) 研究社 2008-4 A5 4, 161p 2000 円
- 203 社名・商品名検定キミの名は (朝日新書 091) (朝日新聞 be 編集グループ) 朝日新聞社 2008-1 B40 258, 3p 740 円
- 204 誰かに教えたいくなる「社名」の由来 新進企業と老舗企業 (本間之英) 講談社 2008-3 A6 276p 686 円
[『誰かに教えたいくなる社名の由来』(2002 年 4 月刊), 『誰かに教えたいくなる社名の由来 Part-2』(2003 年 10 月刊) 『誰かに教えたいくなる 老舗の底力』(2006 年 4 月刊)を修正・加筆・再編集したもの]
- 205 *有名企業社名とマークの秘密 243 社一挙掲載 (本間之英) 学習研究社 2008-4 B6 237p 476 円

◇語彙史

- 206 国語語彙史の研究 27 (国語語彙史研究会編) 和泉書院 2008-3 A5 294p 9000 円
<特集・近代語>三遊亭円朝講談『塩原多助一代記』のことば 速記本・全集本・文庫本の比較 (山内洋一郎) 連合関係からみた明治期の漢字列と振仮名との結びつき (今野真二) 敬語の補助動詞「〜テミエル」の近現代史 (江端義夫) 近世中期以降上方語・関西語における打消条件句の推移 (矢島正浩) ヘボンの漢字表記 『和英語林集成』「原稿」を資料として (木村一) 物集高見『日本文典』(香川大学神原文庫所蔵)について (山東功) 「ませんか」は横浜言葉か? 「ませんでした」の昔と今 (安田尚道)
語の変容と類推 語形成における変形について (蜂矢真郷) 忍耐語彙考 (吉井健) 複数と例示 接尾語ラ追考 (小柳智一) 景戒の漢字受容 『日本霊異記』の類義字をとおして (浅野敏彦) 指示語「サテ」の歴史的用法と変化について 『源氏物語』を中心に (岡崎友子) 『今昔物語集』における漢語の連体修飾 「一ノ」と「一ナル」との関連から (覚野吾郎) 新シク型形容詞の派生について 中世室町期におけるク活用形容詞からの派生を中心に (山本佐和子) 易林本節用集研究覚書六題 (佐藤貴裕)
- 207 古語雑談 (平凡社ライブラリー-655) (佐竹昭広) 平凡社 2008-11 A6 214p 1200 円
[岩波新書 1986 年 9 月刊を文庫化したもの]
- 208 王朝物語のしぐさとことば (糸井通浩; 神尾暢子編) 清文堂出版 2008-4 A5 4, 251p 2500 円
<序章>不可能の自覚 語りと副詞「え」の用法 (糸井通浩) <結章>王朝の感覚語彙 共通感覚と個別感覚 (神尾暢子)
- 209 詞書の語彙論 (若林俊英) 笠間書院 2008-11 A5 365, 6p 11000 円
- 210 Sanada, Haruko: Investigations in Japanese Historical Lexicology (Göttinger Linguistische Abhandlungen 6) Revised Edition. --Göttingen, Peust & Gutschmidt, 2008. A5, 18, 210p.
- 211 漢字文化圏諸言語の近代語彙の形成 創出と共有 (関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ 6) (沈国威編著) 関西大学出版部 2008-9 A5 2, 469p 4300 円
中国における近代知の受容と日本 (沈国威) 近代日本語における「時」の獲得 新漢語「時間」と「期間」の成立をめぐる (松井利彦) 日本語の「洋語」と中国語 その対応の考察 (高野繁夫) 「テレビ」と「電視」 「電視」は和製漢語か (宮島達夫) 『清議報』に見える日本語からの借用語 (朱京偉) 和製漢語「洋学」の成立 中国語新語「西学」の成立を

兼ねて(孫建軍) 漢字文化圏における Political Economy と Economics の翻訳(李憲昶)
中国語における「聯邦」 語誌および関連訳語をめぐって(千葉謙悟) 日本の流行語の台湾
での使用状況 戦後の漢字表記語を中心に(王敏東; 陳盈如) 井上哲次郎の欧州留学と日記
中の西洋人氏名・欧文書名について(真田治子) 神経の概念の初期的流入に関する日中比較
研究(松本秀士) 清代帆船の日本漂着筆談史料(松浦章) 梁啓超の『和文漢讀法』とその
「和漢異義字」について 『言海』との接点を中心に(陳力衛)

212 西鶴文学の地名に関する研究 7 セータコ〈研究叢書 377〉(堀章男) 和泉書院 2008-6 A5
8,750p 20000 円

◇語彙研究史

213 *近代的国語辞典の祖谷川士清(竹内令著刊) 2008-1 A5 69p

□文法

◇文法一般

- 214 煩惱の文法 体験を語りたがる人びとの欲望が日本語の文法システムをゆさぶる話〈ちくま新書 730〉(定延利之) 筑摩書房 2008-7 B40 200p 680 円
1. 知識の文法と体験の文法 2. ワクワク型の体験 3. ヒリヒリ型の体験 4. 環境とのインタラクション
- 215 現代日本語文典 21 世紀の文法 *A Grammar of Present-day Japanese* (小泉保) 大学書林 2008-8 A5 11,188p 2700 円
- 216 コトバの力 日本語を正しく・わかりやすく・切れ味よく・ふさわしく(下川浩) 国際語学社 2008-4 A5 265p 2000 円
[「生きたコトバづかい」(2006 年刊)の改訂新版]
- 217 日本語文法〈学びのエクササイズ〉(天野みどり) ひつじ書房 2008-3 A5 9,145p 1200 円
- 218 体系 日本語文法(村田美穂子) すずさわ書店 2008-7 A5 325p 3800 円
序章 「見えるもの」「変わらないもの」 <1. 基本の整理>1. 主語 第一の呪縛を解く 2. 品詞 第二の呪縛を解く 3. 小さい単位 4. 大きい単位 5. テンス:第三の呪縛を解く <2. 品詞>6. 詞の顔ぶれ 7. 辞の顔ぶれ <3. ことがら>8. ことがらの素材 9. ことがらの部材 <4. 態度表明>10. 予告や確認 11. 責任範囲 12. 問いと答え 13. 確実性 14. 見解や判断 15. 評価 16. 距離感 終章 日本語らしさの正体

◇品詞・活用, 表現法

- 219 心理動詞と動作動詞のインターフェイス(吉永尚) 和泉書院 2008-4 A5 6,206p 4800 円
1. 動詞連用形接続について 2. 付帯状況を表すテ形動詞と動詞の意味分類 3. 継起用法・因果用法の相違点と動詞分類との関係 4. 並列用法と動詞分類との関係 5. 動詞連用形接続についての総括 6. 心理動詞の動詞的性質について 7. 心理表現文の「視点」について 8. 事象認知の日中対照
- 220 日本語形容詞の記述的研究 類型論的視点から(八亀裕美) 明治書院 2008-1 A5 9,216p 10000 円
1. はじめに 2. 形容詞の基本的な性質 3. 形容詞の文中での機能 4. 日本語の形容詞述語文 5. これからの形容詞研究のために 6. おわりに 補章(1)現代日本語の文法的カテゴリー 補章(2)標準語の文法と方言の文法
- 221 文章は接続詞で決まる〈光文社新書 370〉(石黒圭) 光文社 2008-9 B40 253p 760 円
序章 接続詞がよいと文章が映える 1. 接続詞とは何か 2. 接続詞の役割 3. 論理の接続詞 4. 整理の接続詞 5. 理解の接続詞 6. 展開の接続詞 7. 文末の接続詞 8. 話し言葉の接続詞 9. 接続詞のさじ加減 10. 接続詞の戦略的使用 11. 接続詞と表現効果
- 222 Verhoeven, Elisabeth ; Skopeteas, Stavros ; Shin, YongMin ; Nishina, Yoko ; Helmbrecht, Johannes (eds.): *Studies on Grammaticalization* (Trends in Linguistics; Studies and Monographs 205) . --Berlin, New York, Monton de Gruyter, 2008. B5 小, 324p.
<3. Verbal Categories>Tsunoda, Tasaku: Predicting a Future Change;Relative Clauses of Japanese <4. Grammaticalization and Constructions>Nishina, Yoko: Grammaticalization of Honorific Constructions in Japanese

- 223 現代日本語における名詞文の時間表現 (田村澄香) 溪水社 2008-12 A5 6, 215p 3500 円
序論. <第 1 部 名詞文の時間表現の体系>1. 特定の時間位置に位置付けのない名詞文 2. 特定の時間位置に位置付けのある名詞文 <第 2 部 時制形式の選択に関する考察>3. 話し手の発話時以前の認識の考察 「不確かな認識の判明」とは何か 4. 「X ハ Y」の時間的内容の考察 「時制形式の交替現象」および「想起」とは何か 結論
- 224 事象アスペクト論 (岩本遠億編著) 開拓社 2008-11 A5 14, 400p 5000 円
序章 流れ行く時間の中で <第 1 部 理論的背景>1. 事象アスペクト研究の流れ 2. 事象投射理論 <第 2 部 「動き」と「変化」>3. シテイルの多義性と状態化の類型 <第 3 部 事象の限界性>4. 両義的限界性と変化の段階性 5. 限界点を越える 「V-すぎる」の意味計算と解釈コスト 結論
- 225 発話機能論 (山岡政紀) くろしお出版 2008-6 A5 8, 187p 2800 円
1. 発話機能論を始めるに当たって 2. 発話機能論の歴史 3. 発話行為と発話機能の比較 4. 発話機能の基本原則 <命令>・<服従>を例として 5. 発話機能の範疇群 {策動}を中心に 6. 授受構文の構造 7. 授受構文による {策動}
- 226 留学生の日本語は、未来の日本語 日本語の変化のダイナミズム (金沢裕之) ひつじ書房 2008-9 B6 7, 289p 2800 円
1. 本書の基本的な考え方 2. 「なく中止形」 3. 丁寧表現の推移 4. 授受表現の動向 5. ナル的表現 6. 新語・新用法 7. その他の“ゆれ” 8. まとめ

◇構文

(文の構造)

- 227 イメージ・スキーマに基づく格パターン構文 日本語の構文モデルとして (ひつじ研究叢書 言語編 64) (伊藤健人) ひつじ書房 2008-9 A5 9, 241p 5600 円
<第 1 部 従来の構文モデル その可能性と限界>1. 序論 2. 構文文法の概要 Goldberg(1995)を中心に 3. Goldberg(1995)の構文モデルの可能性と限界 <第 2 部 新たな構文モデル イメージ・スキーマに基づく格パターン構文>4. 構文の形式と意味、及び、構文の意味拡張 5. 構文の意味を動機付けるもの イメージ・スキーマ 6. 日本語の構文 イメージ・スキーマと格パターンの統合体 7. 格助詞と構文 8. まとめ
- 228 構造から見る日本語文法 (言語・文化選書 6) (三原健一) 開拓社 2008-6 B6 11, 173p 1600 円

(文の成分)

- 229 König, Ekkehard ; Gast, Volker (eds.): Reciprocals and Reflexives; Theoretical and Typological Explorations (Trends in Linguistics; Studies and Monographs 192) .--Berlin, New York, Mouton de Gruyter, 2008. B5 小, 652p.
Everaert, Martin: Domain Restrictions on Reciprocal Interpretation. pp. 557-576
- 230 現代日本語文法 6 第 11 部 複文 (日本語記述文法研究会編) くろしお出版 2008-6 A5 13, 311p 2800 円
1. 複文の概観 2. 補足節 3. 名詞修飾節 4. 条件節 5. 時間節 6. 目的節 7. 様態節 8. 等位節・並列節
- 231 叙述類型論 (益岡隆志編) くろしお出版 2008-6 A5 4, 221p 2800 円

<1. 導入編> 叙述類型論に向けて (益岡隆志) <2. 論文編> 属性叙述と語形成 (影山太郎)
「って」提題文の表す属性と使用の広がり (岩男考哲) 状態述語文の時間性と叙述の類型
(真野美穂) 事象叙述述語による属性叙述 ハンガリー語動詞過去分詞形による名詞修飾を
通して (江口清子) 事象叙述の有題文と無題文 自然会話を用いたケーススタディ (砂川有
里子) 対人認知の心理過程と言語表現 (唐沢穰; 菅さやか) <3. 研究史> 叙述類型研究史
(国内編) (岩男考哲) 叙述類型研究史 (海外編) (真野美穂)

- 232 文補語標識「こと」「の」の意味的相違に関する研究 (渡辺ゆかり) 溪水社 2008-10 A5 7, 199p 3200 円
1. 研究課題 2. 文補語標識「こと」「の」の文法範疇 3. 先行研究 4. 中古語における文補語標識「こと」 5. 中世語, 近世語における文補語標識「こと」 6. 近代語における文補語標識「こと」 7. 用言後接型準体助詞「の」の成立と拡張 8. 現代語におけるヲ格文補語標識「こと」「の」 9. 現代語におけるガ格文補語標識「こと」「の」 10. 本研究のまとめ
- 233 日本語における文の原理 日本語文法学要説 (竹林一志) くろしお出版 2008-11 A5 7, 165 p 2200 円
1. 文の本質的機能 2. 日本語に主語はあるか? 3. 述語の本質と諸相 4. 連用修飾表現の本質的機能 5. 日本語は「ナル」型言語か?
- 234 第一・第二言語における日本語名詞修飾節の習得過程 *The Acquisition Process of Japanese Noun-modifying Clauses by First and Second Language Learners* (大関浩美) くろしお出版 2008-12 A5 7, 307p 3800 円
1. 問題のありか 2. 日本語の名詞修飾節の構造 3. 名詞修飾節の習得に関する先行研究 4. 研究の枠組み 5. 研究 1 : L1 習得研究 6. 研究 2 : L2 習得研究 7. 総合的考察 8. おわりに 今後の課題と日本語教育への示唆

◇文法史

- 235 中世文法史論考 (山田潔) 清文堂出版 2008-1 A5 3, 330p 9000 円
1. 動詞の活用と解釈 2. 補助動詞の史的考察 3. 形容詞・副詞の考察 4. 推量系助動詞の考察 5. 接続表現と助詞 6. 『長崎版日葡辞書』の語法

◇敬語

- 236 ポライトネス入門 *Politeness* (滝浦真人) 研究社 2008-9 A5 10, 165p 1800 円
- 237 私たちと敬語 (国立国語研究所編) ぎょうせい 2008-3 A5 127p 476 円
- 238 古記録資料の敬語の研究 (穂田定樹) 清文堂出版 2008-3 A5 5, 302p 8700 円
<第 1 章 御堂関白記の敬語の研究> 1. 御堂関白記の尊敬語 2. 御堂関白記の謙讓語 3. 御堂関白記の引用部の待遇表現 4. 御堂関白記の待遇意識 <第 2 章 小右記の尊敬語> 1. 「仰・被仰」「命・被命」「宣」「日」 2. 「給・賜」「被給・被賜」 3. 「御」「坐」 4. 「給」と「被」(付属的用法) <第 3 章 平安古記録資料の敬語表現とその語彙> 1. 小右記の「覧」とその語彙 2. 平安時代儀制書における「覧」 3. 漢文体の「致す」 4. 小右記の待遇表現

□文章・文体

◇文章表現

- 239 恵比須顔と仏頂面 顔を描く日本語 (中村平治) 海鳥社 2008-4 A5 86p 1000 円
- 240 日本語の文章理解過程における予測の型と機能 (ひつじ研究叢書 言語編 66) (石黒圭) ひつじ書房 2008-3 A5 17,430p 8000 円
- <第 1 部 文章理解と理解過程>1. 本書の目的と構成 2. 文章理解の考え方 <第 2 部 先行研究における予測の考え方>3. 予測にかかわる先行研究概観 <第 3 部 本書の予測の考え方>4. 本書で扱う予測の範囲 5. 予測の類型 6. 調査の方法 <第 4 部 関係連続の予測>7. 設定 8. 終了 <第 5 部 接続関係の予測>9. 成分の説明の予測 10. 文の説明の予測 11. 理由の予測 12. 順接の予測 13. 逆接の予測 14. 並立の予測 15. 複数の予測 <第 6 部 内容の予測>16. 具体的内容の予測 <第 7 部 予測の精度>17. 予測の精度と形態的指標 <第 8 部 外れた予測と理解>18. 外れた予測を下地にした理解 19. 予測を外すレトリック <第 9 部 予測と文章>20. 文章全体の理解とグローバルな予測 <第 10 部 総合的考察>21. 本研究のまとめ
- 241 日本のことば遊び 新装増補版 (小林祥次郎) 勉誠出版 2008-4 B6 307p 1800 円
- 242 文彩百遊 楽しむ日本語レトリック (遊子館 books 1) (荻生待也編著) 遊子館 2008-1 B6 246p 1800 円

◇文体

- 243 文語名文百撰 日本語はこんなに美しい (文語の苑制作 愛甲次郎編) 海竜社 2008-6 B5 222p 1905 円
- 244 世にも美しい文語入門 (愛甲次郎) 海竜社 2008-1 B6 244p 1500 円
- 245 ここからはじまる文章・談話 (高崎みどり; 立川和美編) ひつじ書房 2008-4 A5 6,267p 2000 円
- はじめに 1. 新しいコミュニケーションツールのことばについての分析 ケータイメールを中心として PC メール・チャット・ブログなどを材料に 2. 広告のことばの分析 ネット広告と雑誌広告を材料に 3. 日常会話の分析 小学校教員の談話データを材料に 4. 目的をもった会話の分析 相談談話をモデルとして 5. 小説の文体分析 色々な作品を材料に 6. 新しい形態の文章の文体分析 『電車男』を材料に 7. 新聞記事の分析 社会面の記事二種を材料に 8. 随筆の分析 『文芸春秋』巻頭随筆を材料として 9. 古典文学作品の分析 『枕草子』第一段「はるはあけぼの」を材料に 10. 狂言の分析 「附子」を材料に

◇作品・作家の文体

- 246 言葉を持つ (竹西寛子) 岩波書店 2008-2 B6 2,208p 2400 円
- [九つの講演録(抄録を含む)に著者が加筆修正したもの]
- 247 万葉集の様式と表現 伝達可能な造形としての<心> (大浦誠士) 笠間書院 2008-6 A5 6,415,4p 12500 円
- 248 修辞論 (近藤信義編) おうふう 2008-12 A5 446p 12000 円
- 修辞論小考 (近藤信義) 音喩と口語 (古橋信孝) 喩の遊び 音に懸ける (藤井貞和) 古代修辞のフォノロジー 万葉の音風景 (山田直巳) 「よし」型枕詞の生成と展開 間投助詞「よし」の形容詞化 (広岡義隆) 枕詞からみた人麻呂の詩法 (西條勉) 「心もしのに」

家持詠の方法 (池田三枝子) 『歌経標式』の<喩> 「直語」「古事」「新意」(多田一臣)
 如取若葦 力競べ譚とその表現 (三浦佑之) オモロ「ゑげ上がる三日月や」 巡行に立つ
 神女 (島村幸一) <語誌編>あれ(荒れ・生れ) (斎藤英喜) いつ・いつく・ゆつ (吉田修
 作) いむ・いみ (上野誠) うつせみ・うつつ・うつら (梶川信行) うまし (大館真晴)
 うら (倉住薫) かなし (中野方子) きく・きこゆ (青木周平) くはし (清水章雄)
 さく・さかゆ (岡部隆志) さぶ (谷口雅博) さや・さやけし (真下厚) さわく・うぐつ
 く (居駒永幸) しづく (月岡道晴) しめ (増田茂恭) すが・すがし (吉村誠) たる(足
 る・垂る) (高橋六二) にほふ (増井元) めづ (古館綾子) ゆた・ゆたけし (針原孝之)
 をち・をつ (飯泉健司)

- 249 うつほ物語の表現形成と享受 (江戸英雄) 勉誠出版 2008-9 A5 365p 9500 円
- 250 王朝物語史論 引用の『源氏物語』(星山健) 笠間書院 2008-12 A5 2, 328, 9p 8800 円
- 251 *落窪物語の表現論理 (神尾暢子) 新典社 2008-2 A5 254p 7500 円
- 252 *源氏物語と和歌 (小嶋菜温子; 渡部泰明編) 青簡舎 2008-12 A5 453p 11000 円
 <1. 源氏物語と和歌 拓かれていく地平>源氏物語の和歌 (西山秀人) <2. 源氏物語の和歌
 を問う> 歌語「こひぢ」考 六条御息所は「恋路」にまどうか (高柳祐子)
- 253 源氏物語の季節と物語 その類型的表現 (新典社新書 15) (渋谷栄一) 新典社 2008-8 B40
 159p 1000 円
- 254 古今集の桜と紅葉 (佐田公子) 笠間書院 2008-12 A5 10, 456, 8p 3500 円
- 255 古今和歌集論 万葉集から平安文学へ (宇佐美昭徳) 笠間書院 2008-6 A5 300, 10p 7500
 円
- 256 やまとことば表現論 源俊頼へ (岡崎真紀子) 笠間書院 2008-12 A5 10, 449, 19p 11000 円
- 257 *とはずがたりの表現と心 「問ふにつらさ」から「問はず語り」へ (標宮子) 聖学院大学出
 版会 2008-2 A5 531, 24p 9000 円
- 258 秋成文学の生成 (飯倉洋一; 木越治編) 森話社 2008-2 A5 410p 6500 円
 <第五章 秋成和文の誕生>風景の変容 『藤篋冊子』の生成 (鈴木よね子) 秋成和文の生
 成 『文反古』を中心に (飯倉洋一)

◇ジャンルによる文体

- 259 一億人の季語入門 (角川学芸ブックス) (長谷川權) 角川学芸出版 (角川グループパブリッシ
 ング) 2008-5 B6 253p 1429 円
 [次の二つの連載を再構成したもの。『角川俳句大歳時記』(全 5 巻、角川学芸出版、2006 年)
 の付録「実作への葉一季語の使い方」(1)～(5)、俳句総合誌『俳句』(角川学芸出版)2007 年
 1～12 月号「一億人の季語入門」]
- 260 枕詞便覧 (内藤弘作) 早稲田出版 2008-5 B6 518p 2500 円
- 261 ゆたかなる季語 こまやかな日本 (宮坂静生) 岩波書店 2008-4 B6 16, 177, 9p 2100 円

◇文章・文体史

- 262 木簡から探る和歌の起源 「難波津の歌」がうたわれ書かれた時代 (犬飼隆) 笠間書院 2008
 -9 B6 216p 1900 円
 1. 難波宮跡から出土した「歌木簡」 2. 紫香楽宮跡から出土した「両面歌木簡」 3. 典礼の席
 でうたう「歌」 4. 出土物に書かれた「歌」たち 5. 観音寺遺跡から出土した「難波津の歌」

木簡の価値 6. 「歌」の記録と和歌の表記 7. 五重塔の天井に書かれた「難波津の歌」と和歌
8. 典礼の場から文学サロンへ、そして贈答歌へ 9. 「難波津の歌」の世界と『万葉集』の世界

263 歴史の文体 小説のすがた 明治期における言説の再編成 (谷川恵一) 平凡社 2008-2 B6
364p 3600 円

口方言・民俗

◇方言一般

- 264 現代方言の世界〈シリーズ現代日本語の世界 6〉(大西拓一郎) 朝倉書店 2008-6 A5 9,120 p 2300 円
1. 方言とは何か 2. 日本語の方言 3. 方言の形成 4. 方言の分布 5. 地理情報としての方言
6. 方言の現在・過去・未来
- 265 複数の日本語 方言からはじめる言語学〈講談社選書メチエ 427〉(工藤真由美;八亀裕美) 講談社 2008-11 B6 205p 1500 円
1. 「あっこに花子ちゃんがいてる」 存在をいかに言い表すか 2. 「桜の花が散りよる/散つとる」 標準語は世界標準じゃない! 3. 「落ちよった!」 目撃者の文法・エヴィデンシャリティ 4. 「生ちゅとーてーさやー」 テンスが伝えるのは時間だけじゃない 5. 「花子、美人でら」 美しいのは今日だけ? 現象と本質の違い 6. 「おかあさん、干してある」 「シテアル」にひそむ地域差 7. 「花子、元気ない」は「花子は元気だ?」 ふらふらする形容詞と形容動詞 8. 「全部食べれれんかった」 可能をいかに言い表すか 9. 「ねえ花子、明日学校来る = [下降調イントネーションをあらわす下向きの矢印]」 質問が尻上がりイントネーションとは限らない 10. 「みんなでシュラスカリア、アジューダしよる」 言語接触と日本語
- 266 方言研究の前衛 山口幸洋博士古希記念論文集(山口幸洋博士の古希をお祝いする会編) 桂書房 2008-9 A5 18,484p 5000 円
現代日本標準語の成立流布を考える 三河ルーツ説(山口幸洋) ある台湾人における言語生活の道程 その素描(真田信治) 四国方言における禁止表現と禁止表現行動(岸江信介) 日本語の受動表現は文法か(丹羽一弥) 漱石作品における「てしまう」「ちまう」「ちゃう」『行人』を中心として(田島優) 言語接触論者から見た山口幸洋の言語研究(ロング, ダニエル) 若年層にみる最近の福岡方言の動き(二階堂整) 自然会話における共通語アクセントと方言アクセントの並存(村中淑子) 静岡方言の文法・語彙 山口幸洋博士による解明とその継承(大西拓一郎) 四日市市における遊びことばの分布(余健;岡田愛弓) 言語行動の多様性に関する研究の射程(西尾純二) 樺太方言と北海道方言の関係に関する一考察 サハリンの現地調査資料を手がかりとして(朝日祥之) 文末詞「ガ」の対照の試み(松丸真大) 富山市方言における用言のアクセント 終止連体形の音調交替を中心に(小西いずみ) アクセントの切換えにおける中間方言形の形成(阿部貴人) 日本語地域方言と海外「日本文化」教育 中国黒龍江省での事例からみる、社会言語学的な日本語地域方言の教育について(市島佑起子) 談話研究 その従来の視点と将来への展望(亀山大輔) 談話からみる徳島県のアスペクト表現の今昔(津田智史) 気づかれにくい方言「それで」(沖裕子) 名古屋方言話者の言葉の変化と言葉に対する意識(太田有多子) 愛知県岡崎市方言の談話資料(久木田恵) 人類学、考古学は日本語アクセント分布とどう関わるか(3) イデオロギーとしての<自律変化説>(杉崎好洋) 標準語との接触による地域語の変容と話し手の意識の類型化 関西と奄美の事例をもとに(高木千恵) 大阪方言アクセントの変遷に関する一考察 高起無核化現象を中心にして(武田佳子) 雲伯方言地域における特徴的な方言形式について JR山陰本線グロットグラムに見る「ダヘン」「ガン」「コラン」「ダニカン・タニカン」(都染直也)

- 方言形成における「伝播」と「接触」(日高水穂) 方言イントネーションの記述について
(木部暢子) 女性器の方言にみる列島の地域史 方言分布論序説(中井精一)
- 267 方言の形成〈シリーズ方言学 1〉(木部暢子;高橋顕志;安部清哉;熊谷康雄著 小林隆編著)
岩波書店 2008-3 A5 19, 221p 3400 円
1. 方言形成における中央語の再生 2. 内的変化による方言の誕生 3. 接触変化から見た方言
の形成 4. アジアの中の日本語方言 5. 方言形成研究の方法としてのシミュレーション
- 268 社会方言学論考 新方言の基盤 *Papers in Social Dialectology: Foundations of New Dialect*
(井上史雄) 明治書院 2008-5 A5 14, 421p 6000 円
〈第 1 部 社会方言学の 4 分野〉1. 日本語習得の基盤と社会言語学 2. 国際化する日本語の音
声教育 3. 地域方言と社会方言の連続性 社会言語学の研究分野 4. 現代方言のキーワード
5. 言語変化の構造 6. 日本の社会言語学の動向と柴田武博士 〈第 2 部 新方言の調査と理
論〉7. 新方言入門 8. 新しい時代と新しいことば 9. 共通語化が進んでも方言は生まれ続け
ている 10. 方言とことばの乱れ イッコウエの普及 11. 日本語考現学 東京と地方の言語
変化 12. 標準語・方言・新方言の 1 世紀 13. ネオ方言と新方言 14. 新方言と均質化 15. 東
京知識層の文体差と方言意識 〈第 3 部 文法と敬語の変化〉16. 東海道沿線における東西方
言の交流 文法の新方言 17. 敬語の西高東低 現代敬語の動き 18. 丁寧表現の現在 デ
ス・マスの行方 〈第 4 部 音韻の変異と認知〉19. ガ行子音の変化とその要因 20. 近代の言
語変化 音声資料の活用 21. 西洋語の発音の影響 22. 方言音声の使いわけ能力 23. 母音の
イメージと東北弁 24. 方言音認知のメカニズム 25. アクセント・イントネーションの認知
〈第 5 部 イントネーションの変化〉26. 「尻上がり」イントネーションの社会言語学 27. 少
数発話の調査 尻上がりイントネーションの認知 28. 多数発話の調査 尻上がりイントネ
ーションの離散性 29. イントネーションの社会性 離散性と多様性
- 269 日本方言研究会研究発表会発表原稿集 第 86 回('08. 5. 16 日本大学), 第 87 回('08. 11. 1 岩手大
学) *Conference Paper of the Dialectological Circle of Japan* (日本方言研究会編刊)
2008-5, 11 B5 88, 84p

◇各地の方言

(広域)

- 270 出身地(イナカ)がわかる! 気づかない方言(篠崎晃一著 毎日新聞社著刊) 2008-8 B6 17
5p 900 円
- 271 日本海沿岸地域方言の地理的・年齢的分布 日本海グロットグラム *Age-Area Distribution of
Dialects on NIHON-KAI Coast; NIHON-KAI Glottograms* (井上史雄研究代表) 明海大学 20
08-3 A4 4, 246p
[平成 18・19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]
- 272 太平洋沿岸方言音声の研究 上(大橋勝男) おうふう 2008-11 A5 780p 68000 円
1. 当方言会話の一端 2. 当方言の話し調子一般 3. 文アクセント 4. 発音
- 273 太平洋沿岸方言音声の研究 下(大橋勝男) おうふう 2008-12 A5 835p 68000 円
5. 音転現象 6. 語・話部アクセント 7. 結語
- 274 日本海沿岸方言音声の研究(大橋勝男) おうふう 2008-5 A5 707p 68000 円
1. 当方言会話の一端 2. 当方言の話し調子一般 3. 文アクセント 4. 発音 5. 音転現象 6.

語・話部アクセント 7. 結語

(北海道の方言)

- 275 北海道・新十津川方言の現在〈移民言語 1〉(真田信治編) 大阪大学大学院文学研究科日本語学研究室 2008-3 A4 192p
- 276 グラフで見る高校生と北海道方言 北海道方言の地理的分布と勢力の現況 *A Look by Graphs Highschool Student and Hokkaido Dialect: Geographical Distribution and the Present Situation of Power of Hokkaido Dialect* (見野久幸編著刊) 2008-2 A4 180p
[平成 19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)(6)「日本海沿岸の新方言伝播の地理的歴史的研究」研究成果報告書]

(東北地方)

- 277 *お国ことばで川柳 2 NHK あおもり (渋谷伯龍) 北方新社 2008-6 B6 174p 1000 円
- 278 *お国ことばで川柳 3 NHK あおもり (渋谷伯龍) 北方新社 2008-6 B6 173p 1000 円
- 279 種市のことば 解説編 附 譬と警句 (堀米繁男編) 種市町歴史民俗の会 2008-8 B5 227p
- 280 船形山の民俗 吉田潤之介採訪資料〈東北文化資料叢書 3〉(鈴木岩弓編) 東北大学大学院文学研究科東北文化研究室 2008-3 B5 285p
- 281 思いっきり山形 んだんだ弁! おぐのほそ道(みづ)(上川謙市編著 大類孝子訳・朗読 山口純子訳) 彩流社 2008-7 A5 142p 2500 円
[付・CD1 枚]
- 282 *ことばの水洗い 置賜方言こぼれ話(菊地直著刊) 菊地直 2008-11 A5 164p 1143 円
- 283 会津方部 方言の手引書(蜷気楼) 歴史春秋出版 2008-8 A5 202p 1200 円
[本の内容を吹き込んだ CD34 枚組(定価 6000 円)は別売]
- 284 福島県いわき市方言の研究 関東・東北接触地域の世代別多人数調査(大橋純一編) いわき明星大学大学院人文学研究科日本文学専攻 2008-6 A4 148p

(関東地方)

- 285 *本庄方言で語るふるさとの伝承昔話(大野きよし) 大野清 2008-1 A5 143p 800 円

(中部地方・北陸)

- 286 富山湾沿岸グロットグラム調査報告書(中井精一研究代表刊) 2008-3 A4 3, 138p
[平成 19 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(1)「日本海沿岸社会の地域特性と言語に関する類型論的研究」研究成果報告書]
- 287 *石川県能美市粟生町方言ノート 1(加藤信雄著刊) 2008 A4 70p
[付・「ba」考, 屋号考]
- 288 能登内浦地域言語地図〈日本言語文化調査報告 4〉(中井精一; 柄沢朋子編) 富山大学人文学部日本語学研究室 2008-3 A4 121p
- 289 *西原の方言と昔話(西原中学校編刊) 2008-1 B5 69p
- 290 山梨の人と文化 風土が生んだ文学と芸能〈山梨学講座 6〉(山梨県生涯学習推進センター) 山梨ふるさと文庫 2008-9 B6 297p 1500 円
〈5. 地域に根付いた伝統芸能〉講演「奈良田の方言と伝説」(石川博)
- 291 やっぱ岐阜弁やて!(松尾一) まつお出版 2008-1 B6 149p 1000 円
[「岐阜弁やて!」(1998)を大幅に改訂、増補し改題したもの。「やっぱ岐阜は名古屋の植民地!?!」

(2007) から一部転載した]

- 292 ぎふ・ことばの研究ノート 7 岐阜と愛知の方言地図集 (山田敏弘編) 山田敏弘 2008-3 B5
4, 118p
- 293 静岡県庵原郡(富士川町・由比町・蒲原町)言語地図〈甲南大学方言研究会叢書 11〉(永井景子;
都染直也編) 甲南大学方言研究会 2008-1 B5 143p
- 294 *八幡野の方言これでわかった! おまいも読んでみらっしゃい 中学生の質問に答える「やわ
たの方言集」伊東市八幡野(小林一之編著) 城ヶ崎文化資料館 2008-1 A5 104p

(近畿地方)

- 295 近代文学のなかの“関西弁” 語る関西/語られる関西〈いずみブックレット 3〉(日本近代文学
会関西支部編) 和泉書院 2008-11 A5 74p 1100 円
- 296 日本海沿岸部の新方言伝播の地理的・年齢的分布 滋賀(湖西)グロットグラム *Age-Area Distr
ibution of Dialects on NIPPON-KAI Coast; SHIGA-KOSEI Glottograms* (井上史雄編刊 山下暁
美; 半沢康編著) 2008-3 A4 4, 11p
[平成 17 年度科学研究費補助金基盤研究(C)「日本海沿岸の新方言伝播の地理的歴史的研究」
研究成果報告書]
- 297 兵庫県高砂市言語地図〈甲南大学方言研究会叢書 10〉(大高陽子; 松下真由美; 都染直也編) 甲
南大学方言研究会 2008-1 B5 102p

(中国地方・瀬戸内)

- 298 *「地域の言葉—鳥取東部」会話集 1 基礎資料(谷守正寛編) 鳥取大学 2008-3 A4 38p
[平成 19 年度鳥取大学地域貢献支援事業報告書]
- 299 J R 山陰本線石見福光 - 松江 - 伯耆大山間グロットグラム集〈甲南大学方言研究会報告 18 島根
県方言の研究 2・鳥取県方言の研究 3〉(都染直也編) 甲南大学方言研究会 2008-3 A4 17
3p
- 300 出雲弁検定教科書(有元光彦; 友定賢治編) ワン・ライン 2008-9 B5 127p 1762 円
[付・CD1 枚]
- 301 出雲弁談義(藤岡大拙) ハーベスト出版 2008-9 B6 230p 1429 円
- 302 島根県のことば〈日本のことばシリーズ 32〉(平山輝男編著) 明治書院 2008-4 A5 4, 240p
4500 円
- 303 *岡山人じゃが 4 「地域」って奥深い(岡山ペンクラブ編) 吉備人出版 2008-4 B6 220p
1200 円

(四国地方)

- 304 東祖谷のことば 豊饒な吉野川を持続可能とする共生環境教育(現代 GP)(岸江信介; 吉広綾子;
鈴木寛子; 津田智史; 清水勇吉編) 徳島大学国語学研究室 2008-3 A4 2, 223p
- 305 大洲のことば(岸江信介; 津田智史; 坂東正康; 岡部修典; 越智彩乃; 玉井紗也香編) 徳島大
学国語学研究室 2008-3 A4 2, 183p

(九州地方)

- 306 博多華丸・大吉式 ハカタ語会話 *Hakata Hanamaru・Daikichi Type Hakatago* (博多華丸・大吉
編著) マイクロマガジン社 2008-4 A5 167p 1300 円
- 307 博多弁訳般若心経 一口博多にわか・博多謎々 仏教編・人生編(松崎紋太) アルファ企画 2

008-7 A5 150p 1500 円

- 308 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 18 福岡・大分・宮崎〈国立国語研究所資料集 13-18〉(国立国語研究所編) 国書刊行会 2008-7 A5 279p 6800 円
[付・CD-ROM1 枚, CD1 枚]
- 309 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 19 佐賀・長崎・熊本〈国立国語研究所資料集 13-19〉(国立国語研究所編) 国書刊行会 2008-6 A5 289p 6800 円
[付・CD-ROM1 枚, CD1 枚]
- 310 残しておきたい鹿児島弁 6 (橋口満) 高城書房 2008-7 B6 255p 1500 円
- 311 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 20 鹿児島・沖縄〈国立国語研究所資料集 13-20〉(国立国語研究所編) 国書刊行会 2008-4 A5 273p 6800 円
[付・CD-ROM1 枚, CD1 枚]

(琉球方言 (奄美沖縄))

- 312 沖縄 ことば絵ブック (下川裕治監修) 角川書店 (角川グループパブリッシング) 2008-6 A5 159p 1200 円
- 313 *南西日本語会話 中級編 *Conversation Book of Southwest Japanese* (中松竹雄) 沖縄言語文化研究所 2008-2 A5 112p 1000 円
- 314 *南西日本語の研究 *Study of South-West Japanese* (中松竹雄) 沖縄言語文化研究所 2008-1 A5 278p 3600 円
- 315 八重山、与那国島調査報告書 2〈地域研究シリーズ 35〉(沖縄国際大学南島文化研究所編刊) 2008-3 B5 105p
与那国方言の動詞継続相のアクセント対立 (西岡敏)
- 316 琉球の方言 32 2007 年度 (法政大学沖縄文化研究所編刊) 2008-3 B5 114p
沖永良部島方言語彙のアクセント資料(7) (上野善道) 『久高島方言辞典』福治友邦・加治工真市共著」出版のために (加治工真市; 福治友邦) 与那国島方言の系統的位罫 (ローレンス, ウェイン) 伊良部島方言の動詞屈折形態論 (下地理則)
- 317 琉球民俗誌 新装版 (金関丈夫) 法政大学出版局 2008-5 B6 294p 3000 円
- 318 沖縄フィールド・リサーチ 2 2007 年度日本・アジア文化調査実習報告書 (島村恭則; 日高水穂編) 秋田大学教育文化学部 2008-3 A4 8, 191p

◇方言の史的研究

- 319 九州・琉球方言の文献方言史的研究 (迫野虔徳研究代表刊) 2008-5 A4 87p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]
- 320 沖縄古語の深層 おもろ語の探究〈叢書・沖縄を知る〉(間宮厚司著 法政大学沖縄文化研究所監修) 森話社 2008-6 B6 189p 1800 円
- 321 *一茶俳句の中の信濃方言 (川村喬一編刊 川村良江編) 2008-6 A5 76p
- 322 琉球和名集 影印・翻字・索引・研究〈東アジア語彙研究資料 2〉(東京学芸大学古辞書研究会編刊 高橋忠彦; 高橋久子編) 2008-11 B5 461p
[平成 17 年度文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成 寧波を焦点とする学際的創生」との共同研究]

◇方言研究史

- 323 服部四郎 沖縄調査日記〈汲古選書 47〉(服部旦編 上村幸雄解説) 汲古書院 2008-9 B6 8,
295p 2800 円

◇民俗

- 324 かたる〈シリーズことばの世界 2〉(日本口承文芸学会編) 三弥井書店 2008-1 A5 238p 1
900 円
- 325 つたえる〈シリーズことばの世界 1〉(日本口承文芸学会編) 三弥井書店 2008-2 A5 246p
1900 円
- 326 *柳田国男入門(鶴見太郎) 角川学芸出版(角川グループパブリッシング) 2008-9 B6 20
2p 1400 円
- 327 憑り来ることばと伝承 託宣・神功皇后・地域(吉田修作) おうふう 2008-5 B6 334p 38
00 円

□ことばと機械

◇コンピュータ言語学

- 328 人工知能と教育工学 知識創産指向の新しい教育システム (岡本敏雄; 香山瑞恵編) オーム社
2008-2 A5 8, 376p 5800 円

◇言語の機械処理 (言語情報処理)

- 329 Crystal, David: Txtng; The Gr8 Db8. --Oxford, New York, Oxford University Press, 2008. A5, 9, 2
39p.
- 330 日本語方言の層位 GAJ-Sugdaz 2007 (高橋顕志研究代表) 群馬県立女子大学文学部国文学科
高橋顕志研究室 2008-3 A4 235p
- 331 コーパス利用による日常会話の文法・語法の研究 (大曾美恵子研究代表刊) 2008-3 A4 8, 15
2p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金基盤研究(C) 研究成果報告書]
- 332 代表性を有する書き言葉コーパスを活用した日本語教育研究 (砂川有里子; 井上優; 小林ミナ;
滝沢直宏; 投野由紀夫; 山内博之) 文部科学省研究費補助金特定領域研究「日本語コーパス」
日本語教育班 2008-3 A4 269p
[平成 19 年度科学研究費補助金特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパ
スの構築: 21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]
- 333 英語学習者コーパス入門 SLA とコーパス言語学の出会い (グレンジャー, シルヴィアン編著 船
城道雄; 望月通子監訳) 研究社 2008-3 A5 21, 272p 3500 円
[Granger, Sylviane: *Learner English on Computer*, Addison Wesley Longman, 1998 の翻訳]
- 334 コーパスを用いた日本語研究の精密化と新しい研究領域・手法の開発 2 (田野村忠温; 服部匡;
杉本武; 石井正彦) 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「日本語コーパス」日本語学
班 2008-4 A4 207p
[平成 19 年度科学研究費補助金特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパ
スの構築: 21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]
- 335 国会会議録を使った日本語研究 (松田謙次郎編著) ひつじ書房 2008-5 A5 14, 272p 5000
円
1. 国会会議録検索システム総論 2. 国会会議録はどれほど発言に忠実か? 整文の実態を探
る 3. 連体修飾となる《具体》について 国会会議録からの推測 4. 国会会議録における行
政分野の外来語 5. 東京出身議員の発話に見る「ら抜き言葉」の変異と変化 6. 「が/の」交
替における個人内変化の研究 7. 国会会議録によるさ入れ言葉の分析 8. 国会「討論」におけ
る反対意見表明 9. 国会会議録における気づかない方言 「あっている」についての一考察
10. 自然言語処理での国会会議録の利用
- 336 英語コーパスと言語教育 データとしてのテキスト (石川慎一郎) 大修館書店 2008-7 A5
10, 265p 2600 円
- 337 コーパスを利用した国語辞典編集法の研究 (荻野綱男編) 文部省科学研究費特定領域研究「日
本語コーパス」辞書編集班 2008-2 A4 151p
[平成 19 年度科学研究費補助金特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパ
スの構築: 21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]

- 338 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』における書籍サンプルの多様性（柏野和佳子；丸山岳彦；秋元祐哉；稲益佐知子；佐野大樹；田中弥生；山崎誠） 国立国語研究所 2008-3 A4 35p
[平成 19 年度科学研究費補助金特定領域研究「代表制を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築：21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]

◇機械翻訳

- 339 Rodrigo, Elia Yuste (ed.): Topics in Language Resources for Translation and Localisation (Benjamins Translation Library 79) .--Amsterdam, John Benjamins, 2008. B5, 220p.
Bey, Youcef ; Boitet, Christian ; Kageura, Kyo:9. BEYTrans; A Wiki-based Environment for Helping Online Volunteer Translators. pp. 135-150 Kato, Naotaka ; Arisawa, Makoto:11. Tagging and Tracing Program Integrated Information. pp. 173-194

◇言語情報の検索法

- 340 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』形態論情報規程集（小椋秀樹；小磯花絵；富士池優美；原裕） 文部科学省科学研究費特定領域研究「日本語コーパス」データ班 2008-3 A4 2, 143, 55p
[平成 19 年度科学研究費補助金特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築：21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]
- 341 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』におけるサンプル構成比の算出法 2 コーパスの設計とサンプルの無作為抽出法（丸山岳彦；秋元祐哉） 文部科学省科学研究費特定領域研究「日本語コーパス」データ班 2008-3 A4 51p
[平成 19 年度科学研究費補助金特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築：21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]
- 342 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』における電子化フォーマット ver. 2.0（山口昌也；高田智和；北村雅則；間淵洋子；小林正行；西部みちる） 文部科学省科学研究費特定領域研究「日本語コーパス」データ班 2008-3 A4 4, 161p
[平成 19 年度文部科学省科学研究費特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築 21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]
- 343 特定領域研究「日本語コーパス」平成 19 年度公開ワークショップ(研究成果報告会) 予稿集 平成 20 年 3 月 15, 16 日（文部科学省科学研究費特定領域研究「日本語コーパス」総括班編刊） 2008-3 A4 230p
- 344 文系のための情報処理入門 パソコンを活用して研究を進めよう（中村康夫；安道百合子） 和泉書院 2008-7 A4 5, 99p 2500 円
- 345 漢字文化の全き継承と発展のために 京都大学 21 世紀 COE プログラム「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点」報告書 *Toward an Overall Inheritance and Development of Kanji Culture* (京都大学 21 世紀 COE プログラム東アジア世界の人文情報学研究教育拠点) 2008-3 A4 161p
- 346 日本語教育のための合成語のデータベース構築とその分析（山下喜代研究代表刊） 2008-3 A4 4, 192p
[平成 17～19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書 付・CD-ROM1 枚]

◇その他

347 パソコンは日本語をどう変えたか 日本語処理の技術史〈ブルーボックス B-1610〉(YOMIURI PC 編集部) 講談社 2008-8 B6 253p 900 円

[『YOMIURI PC』2007 年 1~10 月号掲載「誰が日本語を作ったか」を大幅に加筆・修正したもの]

1. 「漢字」がコンピューターに登場した日 2. 国産機種で広まった日本語処理 3. ワープロ専用機と「かな漢字変換」の進化 4. DOS/V が夢見た「世界標準」 5. 「工業規格」が使用漢字を決めた 6. 「ケータイ文字入力」が日本語表現を変えた 7. フォント製作技術の最前線 8. 大規模文字セット 深遠なる漢字の世界 9. 漢字新時代 JIS2004 の静かなる船出 10. パソコンは日本語力を低下させたか?

□コミュニケーション

◇コミュニケーション一般

- 348 「ニッポン学」の現在 GENJI からクール・ジャパンへ (明治大学国際日本学部編) 角川学芸出版 (角川グループパブリッシング) 2008-5 B6 285p 1800 円
- 349 グローバル社会における異文化間コミュニケーション (西田ひろ子編著) 風間書房 2008-2 A5 7, 310p 3500 円
- 350 コミュニケーション能力育成再考 ヘンリー・ウィドウソンと日本の応用言語学・言語教育 (シリーズ言語学と言語教育 11) *Applied Linguistics and Language Teaching in Japan; A Widdowsonian Perspective; Explorations into the Notion of Communicate Capacity* (村田久美子; 原田哲男編著) ひつじ書房 2008-3 A5 11, 253p 3800 円
1. 日本の応用言語学と言語教育におけるヘンリー・ウィドウソン氏の貢献 コミュニケーション能力の解釈を中心に (村田久美子; 原田哲男) 2. コミュニケーション推進能力としての推論能力 (青木昭六) 4. 学習体験としてのグループインタビュー 状況論的観点からの考察 (海野多枝) 5. コミュニカティブランゲージティーチングとコミュニケーションテクノロジー (高瀬貴美子) 6. オーセンティックなテキストと教育的要素 日本の大学英語講座におけるドラマの適切性を考える (スチュワート, アリソン マスワナ紗矢子訳) 7. Content-Based Instruction (CBI) の理論と実践 日本の大学における英語リスニング指導を中心に (原田哲男) 9. 国際語としての英語 過去・現在・未来 (矢野安剛) 10. 異文化理解の視点よりみた批判的談話分析 (CDA) の可能性と問題 (村田久美子)
- 351 コミュニケーション力 豊かに生きるための知的技法 (児島建次郎編著 山田匡一; 寺西裕一; 都築由美共著) ミネルヴァ書房 2008-3 A5 290p 2600 円
- 352 多文化・共生社会のコミュニケーション論 子どもの発達からマルチメディアまで (横浜社会人大学講座 5 フェリス・カルチャーシリーズ 4) (フェリス女学院大学編) 翰林書房 2008-6 B6 297p 2800 円
- <言語コミュニケーション・サスペンスシリーズ園緑の事件簿 I > 「逢うや逢わずや誘拐事件」声紋分析による発音規則の解明 (斎藤孝滋) 書くことは伝えること・考えること 新聞記者が伝授する実践的文章論 (竹信三恵子) マス・コミュニケーションの社会学 マス・メディアの現実構成作用とメディア・リテラシー (諸橋泰樹)
- 353 ニッポンには対話がない 学びとコミュニケーションの再生 (北川達夫; 平田オリザ) 三省堂 2008-4 B6 207p 1500 円
- 354 人・言葉・社会・文化とコミュニケーション *Perspectives on Human Communication in Japanese Society* (橋本満弘; 畠山均; 清水孝子; 八尋春海編著) 北樹出版 2008-4 A5 210p 2300 円
- <第 2 編 日常生活における言語表記と表現> 1. 日常会話とは何か コミュニケーションにおける言語の役割の視点から (畠山均) 2. 日本人の言語観再考 ことわざを手がかりとして (片山博) 3. 福岡県における交通表示の言語表記に関する調査 (八尋春海) <第 3 編 伝達と理解について> 1. <対話> とコミュニケーション 五木寛之氏とバーニー・シーゲル氏の場合 (清水孝子) 2. 誤解の検証 言語と文化の枠を超えて (筒井久美子) 3. 政治とエンターテインメント 小泉純一郎人気に学ぶ政治コミュニケーション (平野順也) <第 4 編 明治の言

論メディア：「新聞」と「演説」>1. 明治の言論とメディア 演説の流行（橋本満弘） 2. 洋学紳士：馬場辰猪の『雄弁法』 日本における先駆的著書（橋本満弘） <第1編 九州におけるコミュニケーションの史的研究>1. 通事(詞)考 長崎を中心にして（越中哲也）

355 わかりやすいコミュニケーション学 基礎から応用まで *Introduction to Communication Studies* 改訂版（岡野雅雄編著） 三和書籍 2008-4 A5 5, 214p 2400 円

1. 言語コミュニケーション（岡野雅雄） 2. 非言語コミュニケーション（佐久間勲） 3. 異文化コミュニケーション（田崎勝也） 4. 相互行為とコミュニケーション ゴフマンとエスノメソドロロジーの視点（鶴田幸恵） 5. マス・コミュニケーション 過去・現在・未来（諸橋泰樹） 6. 説得的コミュニケーション 応用例としての広告効果（浅川雅美） 7. 健康コミュニケーション（抱井尚子）

◇言語生活

356 Duff, Patricia A. ; Hornberger, Nancy H. (eds.): *Encyclopedia of Language and Education* 8; Language Socialization Second Edition. --New York, Springer, 2008. B5 小, 22, 379p.

<5. Language Socialization in Particular Communities of Practice> Cook, Haruko Minegishi: 23. Language Socialization in Japanese pp. 313-326

357 Webster, Jonathan J. (ed.): *Meaning in Context; Strategies for Implementing Intelligent Applications of Language Studies*. --New York, Continuum, 2008. B5, 313p.

Matthiessen, Christian M. I. M. ; Teruya, Kazuhiro ; Wu, Canzhong: 6. Multilingual Studies as a Multi-dimensional Space of Interconnected Language Studies. pp. 146-220

358 言語と社会の多様性〈大学院メディア・コミュニケーション研究院研究叢書 69〉 *Celebrating Linguistic Diversity, Plurilingualism, Lifelong Language Learning!*（橋本聡；原田真見編著） 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 2008-3 A5 162p

日本語の多様性 pp. 1-12（山下好孝） 日本人が英語を話すということ 英語第 2 公用語論 および小学校英語教育 pp. 77-93（河合靖）

359 言語とパワー（フェアクロー，ノーマン著 吉村昭市；脇田博文；水野真木子訳 貫井孝典訳・監修） 大阪教育図書 2008-3 A5 20, 341p 3600 円

[Fairclough, Norman: *Language and Power*. , Second Edition, Longman, 2001) の全訳]

360 社会言語学会大会発表論文集 第 21 回('08. 3. 22~23 東京女子大学), 第 22 回('08. 9. 13~14 愛知大学) (社会言語学会事務局編刊) 2008-3, 9 A4 394, 280p

361 接触場面の言語管理研究 6 言語生成と言語管理の学際的研究〈千葉大学社会文化科学研究科研究プロジェクト報告書 198〉 *An Inter Disciplinary Study on Generation and Management of Language* (村岡英裕編) 千葉大学大学院社会文化科学研究科 2008-2 A4 3, 134p

362 ソシオセマンティクスを創る IT・ウェブ社会から読み解く人々の意味世界〈SFC 総合政策学シリーズ〉(深谷昌弘編) 慶応義塾大学出版会 2008-4 A5 9, 299p 3400 円

<第 1 部 ソシオセマンティクスと Web 社会調査法の開拓的研究>1. ソシオセマンティクスはどのような学問か(深谷昌弘) 2. 情報理論的コミュニケーション論の再検討 その概要と限界(深谷昌弘) 3. 新しい理論パラダイム 意味づけ論(深谷昌弘) 4. テキスト意味空間分析・ソシオセマンティクス・総合政策学(深谷昌弘) <第 2 部 テキスト意味空間分析システムの開発とその応用>5. 日本語テキスト分析ツール TextImi の開発(中野智仁) 6. 意味視

- 点からのテキスト解析(1) 定性分析手法「文脈取り」の可能性と有用性 (市川寛子) 7. 意味視点からのテキスト解析(2) TextImi による日本語の表現パターンの抽出 (舘野昌一) 8. 意味チャンクを単位とした意見情報一覧表示モジュールの構築と評価 (秋山優) 9. テキスト意味空間分析のさらなる応用(1) カルチュラルセマンティクス 文化意味論の試み (榎田晶子; 深谷昌弘) 10. テキスト意味空間分析のさらなる応用(2) コーパスから表現の型を取り出す文法研究 (佐治伸郎)
- 363 日本海沿岸社会の地域特性と言語 平成 19 年度ワークショップ報告書 (中井精一編刊 柄沢朋子編) 2008-3 A4 108p
[平成 19 年度科学研究費補助金基盤研究(B) (1) 「日本海沿岸社会の地域特性と言語に関する類型論的研究」研究成果報告書]
- 364 ニュータウン言葉の形成過程に関する社会言語学的研究 (ひつじ研究叢書 言語編 58) (朝日祥之) ひつじ書房 2008-2 A5 12, 240p 8600 円
<第 1 部 ニュータウン研究の目的と意義>1. ニュータウンの定義とフィールドの紹介 2. 言語変種の形成過程をとらえる視点 3. フィールドへのアプローチの方法 <第 2 部 言語意識レベルにおける言語変種の形成過程>4. 言語意識を取り上げる目的と方法 5. ニュータウン居住者の言語変異に対する言語意識 6. ニュータウン居住者の言語意識を決める社会的要因 7. 言語意識のレベルにおける言語変種の形成過程 <第 3 部 言語構造レベルにおける言語変種の形成過程>8. 言語使用から言語変種の形成過程をとらえる目的と方法 9. 引用形式から見た使用実態 10. 動詞の否定辞から見た使用実態 11. 言語構造のレベルにおける言語変種の形成過程 <第 4 部 ニュータウンにおける言語変種の形成過程>12. 西神ニュータウンで生まれた言語変種の形成過程 まとめと今後の課題
- 365 Yuasa, Ikuko Patricia: Culture and Gender of Voice Pitch; A Sociophonetic Comparison of the Japanese and Americans., 2008. B5 小, 162p.
- 366 杉野 俊子: Nikkei Brazilians at a Brazilian School in Japan; Factors Affecting Language Decisions and Education. --Tokyo, Keio University Press, 2008-8. B5 小, 14, 252p. 6000 円
- 367 Kouwenberg, Silvia; Singler, John Victor (eds.): The Handbook of Pidgin and Creole Studies (Blackwell Handbooks in Linguistics) .--Oxford, Blackwell, 2008. B5, 15, 688p.
- 368 海外の日本語メディア 変わりゆく日本町と日系人 (田村紀雄) 世界思想社 2008-2 A5 10, 330p 2800 円
- 369 外国人集住地域における日系ブラジル人の教育と保育 『調査と社会理論』・研究報告書 25 外国人集住地域の社会学的総合研究 5) (小内透編刊) 北海道大学大学院教育学研究院教育社会学研究室 2008-3 A4 244p
- 370 外国人の日本語「いいまちがい」大全集 (対訳ニッポン双書) *Japanese Made Funny* (ディラン, トム) IBCパブリッシング 2008-3 B40 215p 1400 円
[2001 年 12 月に株式会社ザー・イースト・パブリケーションより発行された]
- 371 サハリンに残存する日本語の地位に関する調査研究 (朝日祥之研究代表) 国立国語研究所 2008-3 A4 3, 166p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金若手研究(B)研究成果報告書]

- 372 多言語・多文化社会へのまなざし 新しい共生への視点と教育 (赤司英一郎; 荻野文隆; 松岡栄志編) 白帝社 2008-3 A5 5, 307p 2600 円
＜2. 多言語・多文化社会の歴史と現在＞「豊饒」が空を飛ぶ日 漢字コードをめぐる三つの物語 (松岡栄志) ＜3. 学校の中の多文化状況＞日本国内における外国人児童生徒教育の現状と課題 (斎藤ひろみ) ＜2. 多言語・多文化社会の歴史と現在＞「IT でつながる」から「IT でつなぐ」へ (木村守)
- 373 単純接触効果研究の最前線 (宮本聡介; 太田信夫編) 北大路書房 2008-3 A5 8, 195p 3200 円
＜11. 言語の単純接触効果＞1. 言語心理学から始まった 2. 計量国語学の引力 3. 大規模コーパスを使う 4. 言語政策とのリンク
- 374 遠きにありてつくるもの 日系ブラジル人の思い・ことば・芸能 (細川周平) みすず書房 2008-7 B6 11, 469, 5p 5200 円
＜2. ことば＞3. 借用語を抱きしめて コロニア語の成立と展開 4. 諸君! 弁論大会と民族主義 5. 日本ツピ同祖論 幻語学による移民創成神話
- 375 日系ブラジル人のデカセギと国家の対応 外国人集住地域における日系ブラジル人の教育と保育 (『調査と社会理論』研究報告書 26 外国人集住地域の社会学的総合研究 6) (小内透編刊) 北海道大学大学院教育学研究院教育社会学研究室 2008-3 A4 132p
- 376 アメリカで育つ日本の子どもたち バイリンガルの光と影 (佐藤郡衛; 片岡裕子編著) 明石書店 2008-3 A5 237p 2400 円
- 377 実例・差別表現 あらゆる情報発信者のためのケーススタディ 改訂版 (堀田貢得) ソフトバンククリエイティブ 2008-5 B6 383p 2400 円
- 378 * 言語発達障害 1 改訂 (大貝茂編著 安原佳子; 高橋泰子; 喜舎場国夫共著) 建帛社 2008-4 B5 180p 2500 円

◇言語活動

- 379 Geyer, Naomi: Discourse and Politeness; Ambivalent Face in Japanese. --London, Continuum, 2008. B5 小, 217p.
- 380 DVD だからよくわかる 基本の手話 (田中清監修) 西東社 2008-8 A5 215p 1500 円
[付・DVD1 枚]
- 381 et(エ) 128 件の記号事件ファイル (松田行正構成・文・造本) 牛若丸 (星雲社) 2008-12 B6 小 351p 2800 円
- 382 * 暗号技術入門 秘密の国のアリス 新版 (結城浩) ソフトバンククリエイティブ 2008-12 A5 404p 3000 円
- 383 驚きの手話「パ」「ポ」翻訳 翻訳で変わる日本語と手話の関係 (坂田加代子; 矢野一規; 米内山明宏著 関西手話カレッジ; 手話文化村編) 星湖舎 2008-3 A5 190p 2500 円
[付・DVD2 枚]
- 384 きちんと伝わる はじめての手話 (米内山明宏監修) ナツメ社 2008-4 A5 223p 1300 円
- 385 大学生のための手話ハンドブック 心をつたえるコミュニケーション (加登田恵子編著 柴田すみ子) ふくろう出版 2008-4 B5 80p 1429 円
- 386 * 日本各地の手話言語に関するデータベースの作成 平成 19 年度総括・分担研究報告書 厚生

- 労働科学研究費補助金感覚器障害研究事業 (福田友美子編刊) 2008-3 A4 31p
- 387 視覚障がいと点字の世界 心をつたえるコミュニケーション (中村実枝編著) ふくろう出版
2008-4 B5 101p 1429 円
- 388 からだに関わる日本語とその手話表現 1 (脇中起余子) 北大路書房 2008-10 A5 27, 352p
2300 円
- 389 からだに関わる日本語とその手話表現 2 (脇中起余子) 北大路書房 2008-10 A5 27, 358p
2300 円
- 390 説話・伝承の脱領域 説話・伝承学会創立二十五周年記念論集 (説話・伝承学会編) 岩田書院
2008-4 A5 529p 16800 円
<文献から出発して>あいづち考 境界的言語表現研究の試み (永池健二)
- 391 手話通訳者のための言語学と人権 (小嶋栄子; 石川芳郎) 文理閣 2008-3 B6 155p 1048 円
- 392 ことば遊びの日本語表現 (半沢幹一; 深津謙一郎; 倉田静佳) おうふう 2008-5 B5 65p 1
200 円
- 393 ことば遊びへの招待 (新典社新書 20) (小野恭靖) 新典社 2008-10 B40 123p 800 円
- 394 雑談力 おしゃべり・雑談のおそるべき効果 (マイコミ新書) (川上善郎) 毎日コミュニケー
ションズ 2008-7 B40 205p 780 円
- 395 質的調査法を学ぶ人のために (北沢毅; 古賀正義編) 世界思想社 2008-5 B6 10, 268p 220
0 円
<第 2 部 質的調査の応用と展開>5. 会話分析とは何か 会話をデータ化すること pp.
85-107 (阿部耕也)
- 396 談話分析のアプローチ 理論と実践 (林宅男編著) 研究社 2008-12 A5 5, 307p 3000 円
1. 意味の表現と理解の原理 2. 会話における言語使用のメカニズム 3. 言語形式の機能 4.
言語使用の社会・文化的側面
- 397 Mori, Junko ; Ohta, Amy Snyder (eds.): Japanese Applied Linguistics; Discourse and Social Pe
rspectives. --London, New York, Continuum, 2008. B5 小, 13, 364p.
<1. Reexamination of Language in Action> Ono, Tsuyoshi ; Jones, Kimberly: 1. Conversatio
n and Grammar; Approaching So-Called Conditionals in Japanese Mori, Junko ; Nakamura, K
anae: 2. Negotiating Agreement and Disagreement in Japanese; An Analysis of Designedly
Ambiguous Turn Completion Points Cook, Haruko Minegishi: 3. Construction of Speech S
tyles; The Case of the Japanese Naked Plain Form <2. Ideologies, Diversities, and Ide
ntities> Wetzels, Patricia J.: 4. *Keigo* Ideology Okamoto, Shigeko: 5. The Use of ''Region
al'' and ''Standard'' Japanese in Conversations; A Case Study from Osaka Okada, Misa
o: 6. When the Coach is a Woman; The Situational Meanings of So-Called Masculine Direc
tives in a Japanese Boxing Gym Matsumoto, Yoshiko: 7. Discursive Practices and Changi
ng Identities in Elderly Japanese Women <3. Japanese as an Additional Language> Oh
ta, Amy Snyder: 8. Laughter and Second Language Acquisition; A Study of Japanese Foreig
n Language Classes Yotsukura, Lindsay Amthor: 9. Making Inquiries: *Toiawase* Strategies
by Japanese L1 and L2 Callers to Japanese Educational Institutions Kanno, Yasuko: 1
0. Transnationalism, Imagined Communities, and Language Minority Education in Japan

<4. Critical Reflection on Language Pedagogy> Yoshimi, Dina Rudolph: 11. Learner Competence as a Resource in the Japanese as a Foreign Language Classroom; Issues in Oral Assessment Kubota, Ryuko: 12. Critical Approaches to Teaching Japanese Language and Culture

398 Nakayama, Akiko: The Communication of Closeness in Japanese. --Tokyo, Kuroshio, 2008-10. A5, 8, 285p. 3800 円

399 秋田大学ことばの調査 4 (日高水穂編刊) 2008-8 B5 119p

談話における「かすらせ声」の特徴と機能 (持田祐美子)

400 言いさし発話の解釈理論 「会話目的達成スキーマ」による展開 (荻原稚佳子) 春風社 2008-10 A5 340p 4381 円

1. 研究テーマとその意義 2. 省略と発話解釈に関する先行研究と問題点 3. 発話解釈理論の構築 4. 会話目的達成スキーマによる言いさし発話解釈 5. 会話目的達成スキーマの実証調査 6. 会話目的達成スキーマの文化差への影響 7. 言いさし発話の解釈理論

401 「単位」としての文と発話〈シリーズ文と発話 2〉(串田秀也; 定延利之; 伝康晴編) ひつじ書房 2008-9 A5 21, 265p 3200 円

「言いさし文」の談話機能 (白川博之) 談話におけるエコー表現 相手の発話を受ける「ね」「ねえ」「か」を中心に (森山卓郎) 談話論からみた「文」と「発話」(沖裕子) 発話内における単位認定の問題点について 談話から見た文法単位の再検討 (金田純平) 音声談話における発話の終了性を備えた単位に関する一考察 (小磯花絵) 相互行為の中の子どもの発話 (高木智世) 会話における発話単位の協調的構築 「引き込み」現象からみる発話単位の多面性と聞き手性再考 (岩崎志真子) 会話の中で相手の名前を呼ぶこと 名前による呼びかけからみた「文」単位の検討 (森本郁代)

402 日本語会話における言語・非言語表現の動的構造に関する研究〈ひつじ研究叢書 言語編 57〉(坊農真弓) ひつじ書房 2008-2 A5 7, 191p 7200 円

1. 序論 2. 言語・非言語表現のデータとラベリング 3. 相互行為における視点概念 4. 視線配布と話者交代 5. 聞き手の会話参与 6. 結び

403 マルチジャンル談話論 間ジャンル性と意味の創造 (メイナード, 泉子 K.) くろしお出版 2008-11 A5 8, 269p 4200 円

1. マルチジャンルという現象 2. 理論的背景 3. 会話と描写の交渉 話す声が聞こえる修飾節 4. 言語行為の交渉 アイデンティティ表現としての「だ」 5. 発話とジェスチャーの間指差しの表現性 6. バーバルとビジュアルの交渉 雑誌広告の世界 7. マルチジャンルの意味創造 歌番組のスペクタクル 8. 間ジャンル性の操作 落語の世界とドラマの世界 9. マルチジャンルのディスコース現象

404 読書世論調査 2008 年版 第 61 回読書世論調査 第 53 回学校読書調査 (毎日新聞社編刊) 2008-3 A5 115p 3000 円

◇言語技術

(言語技術一般)

405 1分でわかる 「ビジネス敬語」必携マスターBOOK 脱・タメ語&学生言葉 ビジネス敬語が使える〈Business Rules and Skills〉(伊藤智恵子) 技術評論社 2008-4 B6 126p 952 円

- 406 NHK ことばおじさんのナットク日本語塾 2 〈ステラ Mook〉 (NHK サービスセンター編刊) NHK
サービスセンター 2008-11 B5 小 129p 762 円
- 407 アウトな敬語、セーフな敬語 意外とみんな乱れてる?! (西原鈴子監修) PHP 研究所 2008
-12 B6 小 190p 1000 円
- 408 生きるための日本語力 (川本信幹) 明治書院 2008-9 B6 205p 1200 円
- 409 王道 日本語ドリル 〈集英社新書 0428E〉 (金武伸弥) 集英社 2008-2 B40 230p 720 円
- 410 大人力を鍛える敬語トレーニング (本郷陽二) 池田書店 2008-4 B6 159p 680 円
- 411 きちんとした日本語がいい人生をつくる ことばを大切に生きることの効用 (難波菊次郎) P
HP 研究所 2008-9 B6 205p 1200 円
- 412 *嫌われる敬語好かれるタメ語 *Smart Guide to Using Formal and Casual Expressions in J
apanese* (内山辰美) 中経出版 2008-12 B6 190p 1300 円
- 413 敬語 こんな時には、こう言う! (日本語倶楽部編) 河出書房新社 2008-3 B6 251p 476 円
- 414 *敬語の 5 分類とその使い方 (くもん出版編刊) 2008-4 B5 47p 2200 円
- 415 敬語の基本教えます 図でよくわかるハギノ式敬語習得法 〈かに心書〉 (萩野貞樹) リヨン社
(二見書房) 2008-3 B40 227p 850 円
- 416 敬語の常識・非常識 問題形式であなたの「敬語力」を再チェック! (ジパング編著) 日東書
院 2008-2 B6 190p 950 円
- 417 敬語力の鍛え方 できる人のひとつ上の正しい言葉づかい (唐沢明) ソーテック社 2008-6
B6 206p 1300 円
- 418 言葉美人の知的な敬語 (北原保雄) ベストセラーズ 2008-2 B6 175p 1260 円
- 419 これならわかる図解日本語 〈日本語検定〉 (須永哲矢著 川本信幹監修) 東京書籍 2008-9 B
6 147p 1300 円
- 420 さすが!と言われる ビジネス敬語のルールとマナー 適切な敬語であなたの仕事力アップ!
(吉川香緒子監修) 高橋書店 2008-4 A5 159p 1000 円
- 421 *仕事ができる人の敬語術・79 の極意 「とんでもございません」は正しいか (唐沢明監修)
永岡書店 2008-12 A6 255p 486 円
- 422 知らないとゼツタイ恥をかく 敬語のマナー 〈角川文庫 15075〉 (日本語力向上会議編) 角川学
芸出版 (角川グループパブリッシング) 2008-3 A6 190p 476 円
- 423 すべらない敬語 〈新潮新書 245〉 (梶原しげる) 新潮社 2008-1 B40 201p 680 円
- 424 絶対!恥をかかない敬語の使い方 (本郷陽二監修) 日本文芸社 2008-9 B6 199p 724 円
- 425 その国語力で裁判員になれますか? (入部明子) 明治書院 2008-4 B6 133p 1000 円
- 426 そのバイト語はやめなさい プロが教える社会人の正しい話し方 (小林作都子) 日本経済新聞
出版社 2008-3 A6 222p 648 円
[日本経済新聞社 2004 年刊のものに一部加筆をしたもの]
- 427 大学生のための敬語速修ノート コミュニケーション常識の理解と実践トレーニング (速水博
司) 蒼丘書林 2008-3 A5 94p 860 円
- 428 *大学生の日本語トレーニング 大学生活について学びながら読解力・語彙力を養う (世界思想
社編刊) 2008-11 B5 95p 1200 円
- 429 楽しく身につく日本語教室 〈角川ソフィア文庫〉 (樺島忠夫) 角川学芸出版 (角川グループパ

- ブリッシング) 2008-12 A6 220p 552 円
- 430 つい口に出る「微妙」な日本語 その言い方は他人にどう聞こえているか〈ソフトバンク新書 070〉(浜田秀彦) ソフトバンククリエイティブ 2008-3 B40 220p 730 円
- 431 使える日本語〈セオリーMook セオリービジネス 2〉(鈴木章一編) 講談社 2008-3 A4 120 p 762 円
- 432 適当な日本語〈アスキー新書 076〉(金田一秀穂) アスキー・メディアワークス(角川グループパブリッシング) 2008-8 B40 207p 752 円
- 433 デキる人は敬語でキメる〈角川 one テーマ 21 C-156〉(日本語力向上会議) 角川学芸出版(角川グループパブリッシング) 2008-9 B40 190p 686 円
- 434 日本語教室 Q&A〈角川ソフィア文庫〉(佐竹秀雄) 角川学芸出版(角川グループパブリッシング) 2008-10 A6 216p 590 円
『サタケさんの日本語教室』(1994 年 3 月刊)を改題したもの]
- 435 日本語検定公式テキスト 「日本語」初級 5・6 級受検用(安達雅夫; 須永哲矢; 速水博司; 日本語検定委員会著 川本信幹監修著) 東京書籍 2008-9 A5 154p 1300 円
- 436 日本語検定公式テキスト 「日本語」中級 3・4 級受検用(安達雅夫; 須永哲矢; 速水博司; 日本語検定委員会著 川本信幹監修著) 東京書籍 2008-9 A5 147p 1400 円
- 437 日本語検定公式テキスト 「日本語」上級 1・2 級受検用(安達雅夫; 須永哲矢; 速水博司; 日本語検定委員会著 川本信幹監修著) 東京書籍 2008-9 A5 167p 1500 円
- 438 日本語脳ドリル 味わいの和ことば 800 元気脳練習帳(学研編 川島隆太監修) 学習研究社 2008-3 B5 112p 1000 円
- 439 日本語の使い方 新版(西田直敏; 西田良子) 創元社 2008-1 B6 10, 204p 1600 円
- 440 日本人が知らないと恥をかく「言葉の常識力」〈知的生きかた文庫〉(「言葉の森」倶楽部) 三笠書房 2008-2 A6 252p 533 円
- 441 日本人ならおさえておきたい「国語」の常識力(話題の達人倶楽部編 プライム涌光責任編集) 青春出版社 2008-7 B6 237p 476 円
- 442 脳力がみるみるアップする 正しい敬語 100 問 100 答 目上の人に対しても恥ずかしくない正しい日本語・敬語を一問一答式で完全マスター! (西村幸子監修) 青志社 2008-11 B6 小 2 30p 857 円
- 443 恥をかかない大人の敬語力(山本文郎監修) 泉書房 2008-9 A5 186p 1000 円
- 444 美人の敬語 仕事ができる愛される生き方美人の言葉術〈宝島社新書 267〉(本郷陽二) 宝島社 2008-4 B40 191p 648 円
- 445 不愉快な敬語 品格を高める会話、人格が疑われる言葉づかい(小林作都子) PHP 研究所 2008-10 B6 158p 1100 円
- 446 国語だから 黄金の国語勉強法(小林朝夫) ロングセラーズ 2008-11 238p 1300 円
- 447 ほめことば練習帳〈幻冬舎新書 077〉(山下景子) 幻冬舎 2008-3 B40 202p 760 円
- 448 みがこう、あなたの日本語力(川本信幹) 東京書籍 2008-9 A5 215p 1400 円
- (話し方)
- 449 日常生活で使ってみたい「侍」の日本語 武士の言葉を現代に応用した実戦会話術(市川スガノ) 日本文芸社 2008-5 B6 197p 720 円

- 450 声で人を読む発想 コミュニケーションで主導権を握る声の読み方、使い方 (谷川須佐雄) アールズ出版 2008-10 B6 191p 1300 円

(書き方)

- 451 1 行読んでおぼえる常用漢字 子供から大人まで「学力」「語彙力」を伸ばす例文 939 (藁谷久三) 梧桐書院 2008-3 A5 222p 1300 円
- 452 漢字の達人 日本語力が面白いほど身につく! 〈竹書房文庫〉(漢字こだわり研究会) 竹書房 2008-9 A6 255p 571 円
- 453 国語道 【国語力の極意】免許皆伝への道 (リベラル社編刊) (星雲社) 2008-7 B6 小 1 74p 880 円
- 454 日本語がとことんわかる本ベスト ちょっと迷う漢字の書き分け編〈講談社+α 文庫〉(日本社) 講談社 2008-12 A6 251p 667 円
[『目からウロコ! 日本語がとことんわかる本』(講談社+α 文庫 1995 年刊)から抜粋し、一部加筆・再編集したもの]
- 455 キャリアアップ国語表現法 8 訂版 (丸山顕徳編著) 嵯峨野書院 2008-3 B5 156p 1700 円
- 456 言語表現技術ハンドブック 改訂版 (大阪工業大学言語表現技術研究会編) 晃洋書房 2008-4 A5 10,166,2p 1900 円
- 457 時速 1000 字で書く技術 (後藤禎典編著) すばる舎 2008-1 B6 207p 1400 円
- 458 大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編 (橋本修; 安部朋世; 福嶋健伸編著) 三省堂 2008-9 A5 79p 1900 円
[「テキスト」と「トレーニングシート(A4 判, 56P)」の 2 分冊]
- 459 大学における書く力考える力 認知心理学の知見をもとに (井下千以子) 東信堂 2008-9 A5 9,260p 3200 円
- 460 文章の品格 (林望) 朝日出版社 2008-11 B6 106p 1200 円
[『NHK 知るを楽しむ 日本語なるほど塾』(日本放送協会 2006 年 2 月刊)の「リンボウ先生の手取り足取り書き方教室」を大幅に加筆し編集したもの]
- 461 文章のレッスン (前田巍) 大修館書店 2008-4 B6 9,332p 2000 円
- 462 文書表現技術ガイドブック *Documentation: A Guidebook for Technicalwriters* (岸学編著 テクニカルコミュニケーター協会監修) 共立出版 2008-1 A5 7,152p 2200 円
- 463 保育学生のための実践国語表現 (原田留美) おうふう 2008-1 B5 70p 1000 円
- 464 やさしい文章表現法 新版 (中西一弘編) 朝倉書店 2008-5 A5 10,217p 2600 円
- 465 論文作成デザイン テーマの発見から研究の構築へ (細川英雄) 東京図書 2008-4 A5 13,172p 1800 円
- 466 知っ得 電子メディア時代の文章法 (国文学編集部編) 学燈社 2008-5 A5 210p 1800 円
[『国文学』増刊(2000 年 2 月刊)の改装版]

◇言語生活史

- 467 古代東アジアの情報伝達 (藤田勝久; 松原弘宣編) 汲古書院 2008-4 A5 293p 7000 円
2. 古代日本の情報伝達
- 468 文献学〈放送大学教材 テレビ〉(杉浦克己) 放送大学教育振興会 2008-3 A5 295p 3100 円

◇言語生活研究史

469 江戸の寺子屋と子供たち 古川柳にみる庶民の教育事情 新装版 (渡辺信一郎) 三樹書房 20
08-10 B6 290p 2400 円

□マス・コミュニケーション

◇マス・コミュニケーション一般

470 メディア・コミュニケーション学 *Media Communication* (橋元良明編著) 大修館書店 2008-4 A5 11,240p 1800 円

471 メディアとことば 3 特集; 社会を構築することば (岡本能里子; 佐藤彰; 竹野谷みゆき編) ひつじ書房 2008-3 A5 5,239p 2400 円

ドイツメディア言語学の現況 携帯メールテキストの日独比較を出発点に (渡辺学) 日本語のビジュアル・グラマーを読み解く 新聞のスポーツ紙面のレイアウト分析を通して (岡本能里子) 「身内」の不祥事報道における新聞の隠蔽・自己正当化戦略 第三者名義株式保有問題を題材に (布尾勝一郎) 子ども向け情報における「遊び」と「商品」の境界 1980 年代初頭『コロコロコミック』「遊び方情報」記事から (森山由紀子) <女ことば/男ことば>の成立期の研究 1940 年前後のラジオドラマのことばの分析をとおして (佐竹久仁子) 電子メディアを通じてことばはいかにして話されるのか (平本毅) ファンサイトにおけるナラティブと引用 オンライン・コミュニティ構築の視点から (佐藤彰)

◇広告・宣伝

472 広告の誕生 近代メディア文化の歴史社会学 (岩波現代文庫学術 207) (北田暁大) 岩波書店 2008-12 A6 8,249,5p 1000 円

□国語問題

◇国語問題一般

473 May, Stephen ; Hornberger, Nancy H. (eds.): Encyclopedia of Language and Education 1; Language Policy and Political Issues in Education Second Edition. --New York, Springer, 2008. B5 小, 20, 459p.

<4. Focus on Selected Regions of the World> Fujita-Round, Sachiyo ; Maher, John C. : 29. Language Education Policy in Japan pp. 393-404

◇言語政策

474 日本人の国語力と言葉遣い 平成 19 年度 国語に関する世論調査〈世論調査報告書〉(文化庁文化政策課編) ぎょうせい 2008-8 A4 105p 1429 円

[平成 20 年 3 月調査]

475 新・武器としてのことば 日本の「言語戦略」を考える *Language as a Weapon* (鈴木孝夫) アートデイズ 2008-10 B6 222p 1600 円

[新潮選書『武器としてのことば』(1985 年刊)を大幅に書き換えたもの]

1. 日本はいま、どんな国か 2. 日本語の国際化 3. 受信から発信へ 西欧中心主義からの離脱
4. 「言語政策」はなぜ必要か

◇文字・表記・発音の問題

476 現代漢字の世界 シリーズ現代日本語の世界 3 (田島優) 朝倉書店 2008-10 A5 11, 192p 2900 円

1. 「当用漢字表」と漢字 2. 教育漢字 3. 「常用漢字表」と漢字 4. 人名用漢字 5. JIS 漢字
6. 「当用漢字表」・「常用漢字表」と人名用漢字・JIS 漢字

477 漢字の未来 新版(野村雅昭) 三元社 2008-4 A5 317p 2900 円

[旧版(1988 年刊)に付章を加えたもの]

<1. 漢字はなぜ日本語で問題となるか> 1. 古代日本語と漢字のであい 2. 漢字の日本語への定着 3. ハレの文字とケの文字 4. ヨーロッパ合理主義によるめざめ 5. 日本語の近代化 6. 国字改良論と擁護論 7. 改良運動の展開 8. 表記の民主化と反動 <2. 現代日本語の漢字の機能> 1. 漢字使用の実態 2. 文字の位置 3. 漢字の役割 4. 表記のゆれと漢字 5. 漢字の造語力と語彙体系 6. 造語の将来 <3. これからの日本語と漢字> 1. 常用漢字表の役割 2. 表記の伝統と規範 3. 国語教育と漢字 4. 情報化社会と漢字 5. 国際化社会と漢字 6. 漢字はなくなるか 7. 日本語の将来 <付章 21 世紀の漢字論> 1. 漢字に未来はあるか 2. 正書法と漢字 3. 漢字の位置

478 かなづかい入門 歴史的仮名遣 vs 現代仮名遣〈平凡社新書 426〉(白石良夫) 平凡社 2008-6 B6 238p 740 円

479 99 式ローマ字つづりテキスト ローマ字へのいざない 99 式ローマ字つづり 発表 10 年記念 (大橋敦夫; 田中実; 宮沢良行編著) 日本ローマ字会 2008-12 A5 49p

◇国語問題の歴史

480 沖縄文化研究 34 (法政大学沖縄文化研究所編刊) 2008-3 B6 419p
方言論争を究明する (船津好明)

481 方言札 ことばと身体〈沖縄・問いを立てる 2〉(近藤健一郎編) 社会評論社 2008-8 B6 2

15p 1800 円

1. 近代沖縄における方言札の出現 (近藤健一郎) 2. 「南嶋詩人」、そして「国語」 八重山地域における近代学校/<声>と<文字>の相克 (村上呂里) 4. 翻訳的身体と境界の憂鬱 (仲里効) 5. 沖縄教職員会史再考のために 六〇年代前半の沖縄教員における渴きと恐れ (戸邊秀明)

482 日本・ベトナム比較言語教育史 沖縄から多言語社会をのぞむ (村上呂里) 明石書店 2008-2
A5 455p 9000 円

483 日本植民地下の台湾先住民教育史 (北村嘉恵) 北海道大学出版会 2008-2 A5 9,353, 29p 6
400 円

□国語教育

◇国語教育一般

- 484 * 一流国語教師の実践に学ぶ (一流教師を目指す会著 福原忠編著 瀬川栄志監修) 明治図書出版 2008-1 A5 241p 2360 円
- 485 * 「学校重要新語」完全マスタ-Book 新出の用語・類似の用語を早わかり (教育開発研究所編) 教育開発研究所 2008-2 B5 16,206p 2381 円
- 486 教育用語集 2010 年度 教員採用試験〈オープンセサミシリーズ〉(東京アカデミー編) ティーエーネットワーク (七賢出版) 2008-10 A5 211p 1300 円
- 487 教育用語の基礎知識 2010 年度版〈教員採用試験必携シリーズ 5〉(時事通信出版局編刊) (時事通信社) 2008-12 B6 251p 1400 円
- 488 国語科教育の原点追究と改革課題〈国語教育立国論 2〉(瀬川栄志) 明治図書出版 2008-2 A5 205p 2360 円
- 489 * コミュニケーション力をきたえる授業 11 (菊池省三監修) フレーベル館 2008-4 B5 55,16p 3200 円
- 490 博報「ことばと文化・教育」研究助成研究成果論文集 第 2 回 (博報児童教育振興会編刊) 2008-9 B5 175p
- 491 平成 20 年改訂 小学校教育課程講座 国語 (寺井正憲編著) ぎょうせい 2008-12 A5 9,272p 1600 円
- 492 母語教育という思想 国語科解体/再構築に向けて〈Sekaishiso Seminar〉(難波博孝) 世界思想社 2008-6 B6 4,355p 2500 円
- 493 メディアリテラシーは子どもを伸ばす 家庭でできること、学校でできること (清水克彦; 岸尾祐二) 東洋館出版社 2008-3 B6 186p 1600 円
- 494 国語科教育の未来へ 国語科・日本語科・言語科 (浜本純逸) 溪水社 2008-10 A5 7,406p 4800 円

◇国語科学習指導一般

- 495 新しい時代のリテラシー教育 (桑原隆編) 東洋館出版社 2008-3 A5 449p 4500 円
- 496 カリキュラム開発のための国語科教科書の基礎的研究 (原卓志研究代表) 鳴門教育大学言語系 (国語) 教育講座 2008-3 A4 147p
[平成 19 年度学長裁量経費 (研究プロジェクト経費) プロジェクト報告書]
- 497 言語活動の充実を図る「視点と方法」のある授業 「とらえかたツール」で授業を変える〈学校の共同研究〉(山口大学教育学部附属光小学校) 明治図書出版 2008-6 B5 102p 1900 円
- 498 * 国語科教育における動画リテラシー教授法の研究 (羽田潤) 溪水社 2008-3 B5 226p 2800 円
- 499 国語科指導開発事典 月刊国語教育 2008 年 5 月号別冊 28 巻 3 (尾木和英; 町田守弘編監修) 東京法令出版 2008-5 B5 147p 1715 円
- 500 国語科・理論と実践の接点 新学習指導要領をふまえて 新訂 (大越和孝) 東洋館出版社 2008-4 A5 4,244p 2900 円
- 501 国語教育実践学の研究 (有沢俊太郎) 風間書房 2008-1 A5 9,339p 11000 円
- 502 * 国語教育と PBL コミュニケーション能力育成のために (望月謙二) ブイツーソリューション

- ン (星雲社) 2008-4 A5 139p 1000 円
- 503 国語教育を国際社会へひらく 浜本純逸先生退任記念論文集 *Japanese Language Education and Globalization* (浜本純逸先生退任記念論文集編集委員会編) 溪水社 2008-3 A5 6, 37 1p 4800 円
- 504 心を育む国語科授業を創る 中学校編 (花田修一編著) 明治図書出版 2008-1 A5 153p 19 60 円
- 505 コンピュータを活用した国語力の育成 (井上一郎編著) 明治図書出版 2008-2 B5 118p 24 60 円
- 506 小学校「国語の知識」を定着させる授業づくり いま求められる国語力の基礎基本 文科省全国 学力調査対応 (成田雅樹) 明治図書出版 2008-1 A5 167p 1900 円
- 507 なぜ辞書を引かせると子どもは伸びるのか 子どもの「学ぶ力」を育む、辞書引き学習法の決定 版! (深谷圭助) 宝島社 2008-3 B6 187p 1300 円
- 508 *板書技法と手書き文字文化 (福岡教育大学編) 木耳社 2008-11 B5 119p 1800 円
- 509 *論理力をはぐくむ国語の授業 (長崎伸仁; 山口国語授業研究会) 三省堂 2008-3 B5 182p 2300 円
- 510 小学校学習指導要領 付学校教育法施行規則(抄) 平成 19 年 3 月改正版 (文部科学省編) 国 立印刷局 2008-3 A5 105p 240 円
- 511 小学校学習指導要領 新旧比較対照表 ひと目でわかる 2 色刷り (日本教材システム編集部編) 日本教材システム (教育出版) 2008-4 B5 246p 952 円
国語 pp. 37-64
- 512 小学校学習指導要領解説 国語編 (文部科学省編) 東洋館出版社 2008-8 A4 151p 116 円
- 513 小学校新学習指導要領ポイントと授業づくり 平成 20 年版 国語 (国語力向上モデル研究会編 著) 東洋館出版社 2008-11 B5 4, 180p 1900 円
- 514 新学習指導要領 小学校国語科の実践指針 (小森茂) 明治図書出版 2008-9 A5 114p 1760 円
- 515 中学校学習指導要領解説 国語編 (文部科学省編) 東洋館出版社 2008-9 A4 133p 137 円
- 516 *文科省全国学力調査小学校国語 B 問題を授業する 「活用」の力とはなにか (大熊徹編著) 明治図書出版 2008-1 A5 113p 1660 円
- 517 *文科省全国学力調査中学校国語 B 問題を授業する 「活用」の力とはなにか (岩間正則編著) 明治図書出版 2008-1 A5 119p 1600 円

◇表現と理解

- 518 *必ず「PISA 型読解力」が育つ七つの授業改革 「読解表現力」と「クリティカル・リーディング」を育てる方法 (有元秀文) 明治図書出版 2008-2 A5 117p 1760 円
- 519 *表現力を鍛える説明文の授業 「読みの実感」を率直に表現させるだけで説明文の授業が面白 く、楽しくなる! (長崎伸仁編著) 明治図書出版 2008-5 A5 140p 1860 円
- (聞くこと・話すこと)
- 520 *朗読聴取に関する教育心理学的研究 (藪中征代) 風間書房 2008-2 A5 245p 9000 円
- (読むこと)
- 521 *小学校国語科における多様な読書活動を取り入れた読解指導・読書指導に関する研究 比べ読

- み、多読を取り入れた活動を中心に (大阪市教育センター) 大阪市教育センター 2008-3
A4 32p
- 522 PISA 型読解力が絶対育つ授業実践事例集 単元計画・指導案・発問のつくり方がわかる (有元秀文編) 教育開発研究所 2008-10 B5 183p 2400 円
- 523 PISA 型「読解力」を育てる授業提案 (下長小学校著 白石範孝監修) 東洋館出版社 2008-3
A5 218p 2000 円
- 524 *活動する国語 パフォーマンス単元で読解力を育む (服部英雄) 東洋館出版社 2008-10 A
5 203p 1900 円
- 525 *小学校の「国語・読解問題」を 9 つのコツで完全攻略〈新「勉強のコツ」シリーズ〉 (伴一孝編) P H P 研究所 2008-4 A5 190p 1200 円
- 526 「読解力」で授業をかえる 確かな学力をはぐくむことばの指導 (田中孝一; 小森茂編著) ぎ
ょうせい 2008-1 B5 237p 2476 円
- 527 「読解力」とは何か 3 小学校の全教科で PISA 型読解力を育成する (横浜国立大学教育人間科
学部附属横浜小学校編) 三省堂 2008-2 B5 165p 1900 円
- 528 「読解力」を高める国語科授業の改革 PISA 型読解力を中心に (鶴田清司) 明治図書出版 2
008-4 A5 160p 2100 円
- 529 *日本一わかりやすい国語の読解力の授業 (個別指導塾まつがく編) 創拓社出版 2008-5 B5
171p 1200 円
- 530 *向山型一字読解指導 (東田昌樹著 椿原正和監修) 明治図書出版 2008-1 A5 111p 1560
円
- 531 *豊かな言語活動で読解力を育てる 活用する力が高まる授業 小学校国語 (横浜市小学校国語
教育研究会) 東洋館出版社 2008-2 B5 151p 2000 円
- 532 「読むこと」の学習指導の改善 説明的文章を通して〈国語研究部研究紀要平成 19 年度〉 (練馬
区立小学校教育会国語研究部編刊) 2008-2 A4 60p
- 533 新聞を活用した読解力向上ワーク PISA 型読解力がグングン身につく〈誰にでもできる NIE ガイ
ド 3〉 (岸尾祐二; 李貞均) 東洋館出版社 2008-6 B5 87p 1600 円
- 534 声を届ける 音読・朗読・群読の授業 (高橋俊三) 三省堂 2008-4 A5 230p 2400 円
[付・CD1 枚]
- 535 パッと使える「こんな場面にこんな群読」〈小中学校学級担任テーマブック〉 (重水健介編著)
フォーラム・A 2008-4 A5 110p 1800 円
- 536 *学力を高める「朝の読書」 一日 10 分が奇跡を起こすー検証された学習効果 (山崎博敏編著)
メディアパル 2008-7 A5 79p 1100 円
- 537 *読書会をひらこう (長尾幸子) 全国学校図書館協議会 2008-7 A5 47p 800 円
- 538 *読書教育 フランスの活気ある現場から (辻由美) みすず書房 2008-4 B6 213p 2400 円
(書くこと)
- 539 低学年の書くことの指導 (北海道国語教育連盟著 瀬川栄志監修) 明治図書出版 2008-7 B5
124p 2260 円
- 540 中学年の書くことの指導 (北海道国語教育連盟著 瀬川栄志監修) 明治図書出版 2008-7 B5
124p 2260 円

- 541 高学年の書くことの指導 (北海道国語教育連盟著 瀬川栄志監修) 明治図書出版 2008-7 B5
124p 2260 円
- 542 *作文カンファレンスによる表現指導 (木村正幹) 溪水社 2008-12 A5 158p 1800 円
- 543 小学校作文の生活 子どもを育て、教師と保護者の絆を深める日記指導 (国語教育叢書) (白石
寿文; 権藤順子編著) 銀の鈴社 2008-3 A5 253p 2000 円
- 544 新 作文だいすき書き方プリント 小学 1 年生 (酒井英克編著) フォーラム・A 2008-8 B5
95p 1400 円
- 545 新 作文だいすき書き方プリント 小学 2 年生 (酒井英克編著) フォーラム・A 2008-8 B5
119p 1400 円
- 546 新 作文だいすき書き方プリント 小学 3・4 年生 (酒井英克編著) フォーラム・A 2008-8
B5 135p 1400 円
- 547 スラスラ書ける読書感想文 小学校 1・2 年生 (上条晴夫企画・監修) 永岡書店 2008-6 B5
141p 800 円
- 548 スラスラ書ける読書感想文 小学校 3・4 年生 (上条晴夫企画・監修) 永岡書店 2008-6 B5
159p 800 円
- 549 スラスラ書ける読書感想文 小学校 5・6 年生 (上条晴夫企画・監修) 永岡書店 2008-6 B5
159p 800 円
- 550 *向山型作文指導 (東田昌樹著 椿原正和監修) 明治図書出版 2008-1 A5 117p 1660 円

◇ことばの教育

- 551 今から始める言語論理教育 (児童言語研究会言語論理教育編集委員会編) 一光社 2008-5 A5
293p 1900 円
- 552 敬語指導の基礎・基本 小学校編 (須田実編著) 明治図書出版 2008-12 A5 162p 2060 円
- 553 「言語力」をつける社会科授業モデル 小学校編 (岩田一彦; 米田豊編著) 明治図書出版 20
08-3 A5 166p 1960 円
- 554 国語科教育はなぜ言葉の教育になり切れなかったのか (渋谷孝) 明治図書出版 2008-3 A5
266p 2760 円
- 555 ことばの力を育む (大津由紀雄; 窪菌晴夫) 慶応義塾大学出版会 2008-4 B5 195p 1600 円
- 556 *言葉を鍛える授業のアイデア 中学編 (山田高広) 明治図書出版 2008-7 A5 138p 18
00 円
- 557 子どもの日本語力を高める 教室ですぐ使えるコピー資料集 (子どもの日本語力を高める会編
著) 子どもの未来社 2008-3 A5 207p 1600 円
- 558 低学年の国語 “言葉のきまり&漢字”の授業づくり (田中元康) 明治図書出版 2008-7 A5
126p 1760 円
- 559 *豊かな「ことば」を求めて 学びながら、教えながら (中谷雅彦) 溪水社 2008-3 A5 18
8p 2500 円
- 560 *暮らしと文化の漢字 1 薬缶ってなんて読む? (学習研究社編刊) 2008-2 B5 48p 2200
円
- 561 *暮らしと文化の漢字 2 十二単ってなんて読む? (学習研究社編刊) 2008-2 B5 48p 220
0 円

- 562 「小学生の漢字力に関する実態調査」2007 報告書 (Benesse 教育研究開発センター編) ベネッセコーポレーション 2008-1 B5 47p
- 563 新学習指導要領対応! 小学校で読ませたい常用漢字 言葉の力を付ける, 読める, 分かる, 活用する (釘持勉) 明治図書出版 2008-8 A5 111p 1560 円
- 564 子どもの書字と発達 検査と支援のための基礎分析 (河野俊寛) 福村出版 2008-7 A5 203p 3800 円
- 565 文法教育における構文的内容の取り扱いの研究 (山室和也) 溪水社 2008-12 A5 12, 301p 4500 円

◇文学教育

- 566 「おおきなかぶ」のおはなし 文学教育の視点から (田中泰子) 東洋書店 2008-2 A5 63p 600 円
- 567 教科書の文学を読みなおす (島内景二) 筑摩書房 2008-9 B6 158p 720 円

◇古典教育

- 568 古文を楽しく読んでみる (松尾佳津子) ベレ出版 2008-10 B6 286p 1600 円

◇国語教科書 (論)・教材 (研究)

- 569 教科書に載った小説 (佐藤雅彦編) ポプラ社 2008-4 B6 225p 1300 円

◇特別支援教育

- 570 言語・コミュニケーション発達の理解と支援プログラム LC スケールによる評価から支援へ *Language and Communication* (大伴潔; 林安紀子; 橋本創一; 菅野敦編著) 学苑社 2008-7 A5 221p 2800 円
- 571 * 自閉症児の語用論的能力に関する実証的研究 指示詞コ・ソ・アからの検討 (伊藤恵子) 風間書房 2008-12 A5 172p 6500 円
- 572 聴覚障害教育の基本と実際 改訂版 (中野善達; 根本匡文編著) 田研出版 2008-6 A5 246p 2500 円
- 573 * 聴覚障害児・者支援の基本と実践 (奥野英子編著) 中央法規出版 2008-3 B5 249p 2800 円
- 574 * 聴覚障害乳幼児の新しい言語療法/金沢方式を実践して 改訂版 (能登谷晶子; 石崎孝彦編) 金沢方式研究会 2008-10 A4 152p

◇海外・帰国子女の言語教育

- 575 学校・大学・地域の連携・協働による外国人児童の学習環境づくりに関する実践的研究 (土屋千尋研究代表刊) 2008-3 A4 4, 98p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]
- 576 言語少数派生徒を対象とした教科学習支援における指導ストラテジーの分析 (清田淳子研究代表) お茶の水女子大学大学院日本語教育コース 2008-3 A4 41p
[平成 18 年・19 年度科学研究費補助金若手研究(スタートアップ)研究成果報告書]
- 577 母語を活用した教科学習の過程と結果の分析 日本語を母語としない児童生徒の場合 (岡崎眸研究代表刊) お茶の水女子大学大学院日本語教育コース 2008-3 A4 209, 28p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金萌芽研究研究成果報告書]

◇言語発達研究 (言語能力)

- 578 赤ちゃんはコトバをどのように習得するか 誕生から 2 歳まで (ベネディクト, ド・ボワソン=バルディ著 加藤晴久; 増茂和男訳) 藤原書店 2008-1 A5 249p 3200 円
[Bénédicte de Boysson-Bardies: *Comment la Parole Vient aux Enfants: De la Naissance jusqu'à Deux Ans*, Éditions Odile Jacob, 1996 の翻訳]
- 579 言語の生得性とモジュール性 誰も覚えていない言語獲得の秘密 (中井悟) 昭和堂 2008-10 A5 209p 4200 円
- 580 子どもとことばの出会い 言語獲得入門 (オグレイディ, ウィリアム著 内田聖二監訳) 研究社 2008-9 A5 10, 288p 3200 円
[O'Grady, William: *How Children Learn Language*, Cambridge University Press, 2005 の全訳]
- 581 児童心理学の進歩 47 2008 年版 *Annual Review of Japanese Child Psychology* (日本児童研究所編 稲垣佳世子; 高橋恵子責任編集) 金子書房 2008-6 A5 337p 10000 円
1. 言語獲得 (針生悦子)
- 582 新・子どもたちの言語獲得 (小林春美; 佐々木正人編) 大修館書店 2008-3 B6 10, 303p 2300 円
- 583 日本教育心理学会総会発表論文集 第 50 回 ('08. 10. 11~13 東京学芸大学) *Proceedings of the 50th Annual Meeting of the Japanese Association of Educational Psychology* (日本教育心理学会総会準備委員会編刊) 2008-9 B5 110, 155, 805p
- 584 日本発達心理学会大会論文集 第 19 回 ('08. 3. 19~21 追手門学院大学) *The 19th Annual Meeting of Japan Society of Developmental Psychology* (日本発達心理学会大会委員会編刊) 2008-2 B5 814p
- 585 *保育内容ことば (成田徹男編) みらい 2008-4 B5 206p 2000 円
- 586 言語・コミュニケーション発達スケール LC スケール (大伴潔; 林安紀子; 橋本創一; 池田一成; 菅野敦) 学苑社 2008-7 B5 9, 130p 4800 円
[付・別冊「絵図版」(B5 判, p. 81)]
- 587 言語獲得期の発達 *Development at a Period of Early Language Acquisition* (小山正編) ナカニシヤ出版 2008-9 A5 5, 231p 2800 円

◇国語教育の歴史・研究史

- 588 *芦田恵之助先生に学びて (芦田恵之助先生研究同好会編著) 溪水社 2008-11 A5 186p
- 589 国語科の成立 (甲斐雄一郎) 東洋館出版社 2008-10 A5 413p 5400 円
- 590 唱歌と国語 明治近代化の装置〈講談社選書メチエ 406〉(山東功) 講談社 2008-2 B6 220p 1500 円
- 591 「国語」入試の近現代史〈講談社選書メチエ 405〉(石川巧) 講談社 2008-1 B6 232p 1500 円
- 592 金子彦二郎の作文教育 中等教育における発想力・着想力の指導 (田中宏幸) 溪水社 2008-2 A5 279p 3500 円
- 593 大正期における読み方教授論の研究 友納友次郎の場合を中心に (益地憲一) 溪水社 2008-3 A5 6, 251p 4000 円
- 594 児童の文章表現力の発達に関する研究 (有富洋) 溪水社 2008-11 A5 11, 371p 4800 円

□外国人に対する日本語教育

◇日本語教育一般

- 595 お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成 19 年度活動報告書 海外研修事業編 *Developing International Communication Skills in Japanese Cultural Studies* (お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事務局編刊) 2008-3 A4 391p
[文部科学省研究拠点形成費等補助金(若手研究者養成費)研究成果報告書]
- 596 お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成 19 年度活動報告書 シンポジウム編 *Developing International Communication Skills in Japanese Cultural Studies* (お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事務局編刊) 2008-3 A4 193p
[文部科学省研究拠点形成費等補助金(若手研究者養成費)研究成果報告書]
- 597 教室文化と日本語教育 学習者と作る対話の教室と教師の役割 (塩谷奈緒子) 明石書店 2008-4 A5 387p 6500 円
- 598 ことばの教育を实践する・探究する 活動型日本語教育の広がり (細川英雄; ことばと文化の教育を考える会編著) 凡人社 2008-10 A5 6,241p 2400 円
- 599 多文化共生社会に根ざす協働学級の構築に関するカリキュラム開発実践研究 (宇都宮裕章研究代表) 静岡大学 2008-3 A5 331p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書]
- 600 多様化する言語習得環境とこれからの日本語教育 *Japanese Language Education in Diverse Learning Environments* (坂本正; 小柳かおる; 長友和彦; 畑佐由紀子; 村上京子; 森山新編) スリーエーネットワーク 2008-5 A5 8,263p 2000 円
- 601 日本語教育学会大会予稿集 2008 年度春季('08.5.24~25 首都大学東京), 2008 年度秋季('08.10.11~12 山形大学) (日本語教育学会大会委員会編) 日本語教育学会 2008-5,10 B5 288,220p
- 602 日本語能力試験分析評価に関する報告書 平成 17 年度 *Report on the Analysis and Evaluation of the Japanese-Language Proficiency Test 2005* (日本語教育学会編 日本語能力試験実施委員会; 日本語能力試験企画小委員会監修) 国際交流基金; 日本国際教育支援協会 (凡人社) 2008-2 B5 567p 8000 円
- 603 ヨーロッパ日本語教育 12 2007 日本語教育シンポジウム報告・発表論文集 *Japanese Language Education in Europe* (英国日本語教育学会編刊) 英国日本語教育学会; ヨーロッパ日本語教師会 2008-5 B5 小 220p
- 604 越境する市民活動 外国人相談の現場から 行政区を超えた連携 東京都町田市・神奈川県相模原市〈シリーズ多言語・多文化協働実践研究 3〉(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2008-4 A5 140p 非売
- 605 共生社会に向けた協働のモデルを目指して 長野県上田市在住外国人支援から見えてきた課題と展望〈シリーズ多言語・多文化協働実践研究 2〉(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2008-3 A5 135p 非売
- 606 コーディネーターってなんだ!? 多文化社会での役割・専門性・育成プログラム〈シリーズ多言

- 語・多文化協働実践研究 6) (東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2008-7 A5 127p 非売
- 607 地域日本語教育から考える共生のまちづくり 言語を媒介とともに学ぶプログラムとは〈シリーズ多言語・多文化協働実践研究〉(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2008-6 A5 123p 非売
- 608 時はいま、「協働実践研究」はじめの一步 非収奪型研究と社会参加〈シリーズ多言語・多文化協働実践研究 1〉(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2008-3 A5 123p 非売
[第 1 回協働実践研究フォーラム・全体会]
- 609 共生—ナガノの挑戦 (チャレンジ) 民・官・学協働の外国籍住民学習支援 (平高史也; 野山広; 春原直美; 熊谷晃編) 信濃毎日新聞社 2008-3 A5 225p 1400 円
- 610 在日外国人と日本社会のグローバル化 神奈川県横浜市を中心に〈神奈川大学人文学研究叢書 24〉(神奈川大学人文学研究所編) 御茶の水書房 2008-2 A5 8, 246, 2p 4600 円
9. ニューカマーのことばと暮らし 横浜における市民と行政の取り組み pp. 213-244 (富谷玲子)
- 611 外国につながる子どもたちをどう支えるのか 当事者も参加した拠点・ネットワークの構築 川崎市での実践〈シリーズ多言語・多文化協働実践研究 4〉(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2008-5 A5 111p 非売
- 612 海外の「日本語学習熱」と日本 (嶋津拓) 三元社 2008-4 B6 246p 2400 円
- 613 Heinrich, Patrick; Sugita, Yuko(eds.): Japanese as Foreign Language in the Age of Globalization (Monographien aus dem Deutschen Institut für Japanstudien 43) .--München, Iudicium, 2008. A5, 266p.
Spolsky, Bernard: Japanese in European Language Education Policy Carroll, Tessa: Japanese as a Foreign Language in the Early Twenty-First Century; Policy, Learners and Native Speakers Galan, Christian: Japanese as Foreign Language in European Universities; New Studies and/or New Teaching Paradigm? Shikama, Ayako: Integration Policy towards Migrants in Japan with a Focus on Language Heinrich, Patrick: Establishing Okinawan Heritage Language Education Eschbach-Szabo, Viktoria: Speech Perception across Languages and Writing Systems; Lessons for Japanese as Foreign Language from a Commercial Research Project Sugita, Yuko: Collective Action Choices in Japanese Workplace Interaction Neustupný, Jiří V. Heinrich, Patrick; Schorr, Roman(transl.): On Research on Contact Situations Fan, Sau Kuen: Teaching Japanese Interaction as a Process of Language Management Shport, Irina A.: Acquisition of Japanese Pitch Accent by American Learners Yoshioka, Keiko: Reference Introduction in Speech and Gesture; A Comparison of Dutch and Japanese Ando, Yuka: The Case Particle *ni* and Its Acquisition Dillmann, Gerhard: ''Estimations'' in Japanese: Some Empirical Investigations and Consequences for Japanese as Foreign Language
- 614 外国語としての日本語教育 多角的視野に基づく試み *Japanese as a Foreign Language Education; Multiple Perspectives* (畑佐由紀子編) くろしお出版 2008-5 A5 4, 313p 3800

円

<第 1 部 日本語教育事情>1. 米国における外国語としての日本語教育 (畑佐由紀子) 2. AP ジャパニーズと学校間の連結 (クランパー, マイケル; 田伏素子) <第 2 部 日本語教授法と実践報告>3. 日本語学習者のためのストラテジー指導 その方法とその中に秘められたもの (コーエン, アンドリュー) 4. 日本語・日本文化教育とアニメ 『千と千尋の神隠し』の場合 (牧野成一) 5. アニメを利用した日本語教育 学生の評価と Oral Summary の分析を中心として (柴田智子) 6. 短編を通して「日本」を教える 5 技能融合・5C 実践の短編講読講座 (ハドソン遠藤陸子) 7. 日本研究と言語教育の狭間で 上級日本語コンテンツ・ベース・コース「戦争と日本人」の考察 (近松暢子) 8. 初級レベルにおける「内容重視教育」を目指して (瀬瀬憲子; 長谷川敦志; 安田真乃; 松本一美) <第 3 部 日本語教育におけるテクノロジーの応用>10. さくぶん.org インターネット電子掲示板 作文から作品へ (得丸智子; 本林響子; 堀川有美; 中根育子; 陳淑娟) 11. 日本語教育への社会文化的アプローチ 初級日本語ポッドキャストプロジェクト (佐藤慎司; 深井美由紀) 12. インディペンデントスタディーの実践報告 インターネットニュースを使用して (榊原芳美) <第 4 部 日本語習得および談話研究>13. 留学中の自己観察の有効性 動機づけ・ストラテジー使用アンケートからの考察 (村上千智) 14. 中国帰国生徒の日本語学習への投資 (米本和弘) 15. カタカナ表記における促音挿入 英語母語話者の場合 (池田真弓) 16. 話しことばの文体 二人の日本語学習者の文体の選択とシフトの動機についての考察 (村松千恵) 17. 日本語母語話者のミーティングにおける会話の分析 意見対立の場面に注目して (高宮優実)

- 615 第二言語習得・教育の研究最前線 2008 年版 *The State of the Art in Second Language Acquisition and Instruction Research* (日本言語文化学会増刊特集号編集委員会編刊) 2008-11 B5 253p 1400 円

『言語文化と日本語教育』2008 年 11 月増刊特集号]

<1. 談話と語用論>【講演録】日本語の談話における数表示「タチ」のシフト (牧野成一) 謝罪研究の概観と今後の課題 日本語と英語の対照研究を中心とした考察 (大谷麻美) <2. 言語教育>【講演録】ピア・レスポンスの現状と今後の課題 (池田玲子(東京海洋大); 原田三千代) <3. 習得と誤用の条件>【講演録】第二言語習得過程における言語転移の認証を求めて 名詞修飾における「の」を中心に (奥野由紀子) 第二言語習得における臨界期仮説・年齢要因 日本語を対象とした研究に向けて (長谷川朋美) <4. 言語習得研究の理論と技法>【講演録】脳科学と言語研究 言語活動は複雑で分からないことばかり (大北葉子) プロトコル分析は何を明らかにしたか 習得メカニズムを探る研究の概観から (張文麗)

- 616 一橋日本語教育研究報告 2 (一橋大学大学院言語社会研究科第 2 部門) 一橋大学大学院言語社会研究科第 2 部門 2008-12 A4 159p

可能表現の意味的類型に関する一考察 可能動詞と「V-ラレル」を述語にする可能表現を中心に (高恩淑) 日本語教科書に見られる例文の不自然さとその原因に関する一考察 中国の『新編日語』の副詞を対象に (劉時珍) 日本語教室のコミュニケーションと「笑い」(尾崎(長山)由美子) 中国朝鮮族日本語学習者の発話に見られる日本語の敬語表現の問題について (玄英蘭) 小・中学校における外国人児童の日本語習得および教室適応に関する研究 (趙順姫) 非母語話者に対する日本語母語話者の言語調整ストラテジー (筒井千絵) 安全でかつ患者

の気持ちに寄り添える看護のための一考察 外国人看護師への専門分野の日本語教育並びに看護観の視点から (松田まどか) 口語文の使用とコミュニケーションの変化 『万朝報』の調査より (舞木右)

- 617 文化、ことば、教育 日本語/日本の教育の「標準」を越えて (佐藤慎司; ドーア根理子編著) 明石書店 2008-9 A5 296p 3800 円
＜第 1 部 理論的枠組み＞1. ことばと文化の標準化についての一考 (久保田竜子) ＜第 2 部 言説分析＞2. 言語をどのようにして教えるのか 翻訳という実践系 (酒井直樹 佐藤慎司; ドーア根理子訳) 3. 「通じること」の必要性について 標準化のイデオロギー再考 (ドーア根理子) 4. 日本語における女性の言葉遣いに対する「規範」の再考察 (岡本成子) 5. 日本人の思考の教え方 戦後日本語教育学における思考様式言説 (牲川波都季) ＜第 3 部 テキスト分析＞6. 「日本語を学ぶ」ということ 日本語の教科書を批判的に読む (熊谷由理) 7. 日本文化を批判的に教える (久保田竜子) ＜第 4 部 エスノグラフィー＞8. 年少者日本語教育はどのように語られているか 関係論的観点からの批判的検討 (神吉宇一) 9. 作り作られる国語/日本語 言語標準の歴史と保育所での実践 (佐藤慎司) 10. 日本語教室におけることばと文化の標準化過程 教師・学生間の相互行為の分析から (熊谷由理) 11. 日本語教育における母語指導に関する言説についての一考察 中国帰国者と在日ベトナム人を対象とした日本語教室の実践を事例として (大久保祐子) 12. 沖縄日系ディアスポラ、国語、学校 ことばの異種混濁性と単一化の民族誌的考察 (高藤三千代)
- 618 日本語教育と音声 *Japanese Language Education and Speech Communication* (戸田貴子編著) くろしお出版 2008-3 A5 5,267p 2800 円
＜第 1 部 日本語教育と音声の関わり＞1. 日本語音声の研究と教育における課題 (戸田貴子) 2. 日本語学習者の音声に関する問題点 (戸田貴子) 3. 大人になってからでも発音の習得は可能か (戸田貴子) 4. 「発音の達人」とはどのような学習者か (戸田貴子) ＜第 2 部 日本語音声の研究と教育＞5. 外来語研究の視点 日本語教育の立場から (カッケンブッシュ知念寛子) 6. プロソディーの基礎研究と日本語教育 (窪園晴夫) 7. VT(ヴェルボ・トナル)法による日本語音声指導 (川口義一) ＜第 3 部 日本語音声の習得＞8. 中国語母語話者における日本語の有声・無声破裂音の混同 (劉佳琦) 9. 韓国語を母語とする上級日本語学習者によるザ行音の習得 (許舜貞) 10. 「い形容詞+ナイ」の表現意図と韻律的特徴 北京語・上海語話者を対象とした録音実験から (湧田美穂) 11. 「ヨクナイ」の表現意図の聞き取り 日本語母語話者と韓国人日本語学習者を対象とした聴取実験から (湧田美穂; 戸田貴子) 12. 日本語学習者の韻律の習得に教室内指導が果たす役割 複合語のアクセントを例として (福井喜代美)

◇教授法、指導参考書

- 619 Ebi, Martina: *Praktische Grammatik der Japanischen Sprache.* --Wilhelmsfeld, Gottfried Egert Verlag, 2008. A5, 18, 266p.
- 620 教室参加者の共同構築的情報インデックスを付した日本語授業コーパスのための調査研究 (村岡英裕研究代表刊) 2008-9 A4 2,180p
[平成 16~19 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書。付・CD-ROM1 枚]
- 621 共生日本語教育の教員養成に関する研究 (岡崎眸研究代表) お茶の水女子大学大学院人間文化

- 創成科学研究科比較社会文化学専攻日本語教育コース 2008-3 A4 97p
- 622 この言葉、外国人にどう説明する？ ことばの説明・文例集（鈴木智美；春原憲一郎；星野恵子；松本隆；初山洋介） アスク 2008-7 B6 191p 1600 円
- 623 第二言語としての日本語教室における「ピア内省」活動の研究〈シリーズ言語学と言語教育 14〉
A Research on Reflective Activity in a Class Japanese as the Second Language; An Activity Design for the "Peer-Reflection"（金孝卿） ひつじ書房 2008-2 A5 172p 6200 円
- 624 日本語教育における協働志向の実践研究に関する調査研究 実態調査と方法論の検討（金田智子 研究代表） 国立国語研究所日本語教育基盤情報センター 2008-3 A4 91p
[平成 16～18 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]
- 625 *日本語教師のための「活動型」授業の手引き 内容中心・コミュニケーション活動のすすめ（蒲谷宏；津村奈央；須賀和香子；塩谷奈緒子著 細川英雄編） スリーエーネットワーク 2008-12 B5 225p 2000 円
- 626 日本語教師のためのテスト作成マニュアル（伊東祐郎） アルク 2008-10 A5 167p 2200 円
- 627 非母語話者日本語教師再教育における聴解指導に関する実証的研究〈シリーズ言語学と言語教育 15〉
An Empirical Study on In-Service Education for Non-Native Japanese Language Teachers through Process-Oriented Listening Instruction（横山紀子） ひつじ書房 2008-2 A5 2,196p 6700 円
- 628 *目指せ、日本語教師力アップ！ OPI でいきいき授業（嶋田和子；松本功） ひつじ書房 2008-9 A5 285p 2400 円
- 629 発話リズムと日本語教育（小熊利江） 風間書房 2008-7 A5 200p 7000 円
- 630 書き込み式でよくわかる日本語教育文法講義ノート この 1 冊を仕上げて教育現場へ出よう（沢野美由紀著 山下暁美編著） アルク 2008-5 A5 167p 1800 円
- 631 日本語教師を目指す人のための 日本語学入門（近藤安月子） 研究社 2008-10 A5 172p 1800 円
- 632 ブラジルで日本語を教える人の質問 70 *70 Perguntas de Pessoas que Ensinam Japonês no Brasil* バイリンガル版（Endo, Cristina Maki；Matsubara Morales, Leiko；Edna Iko Yoshikawa, Mayumi；Miura, Takashi；Muto, Yoshiko） 日伯文化連盟；Japan Foundation 2008 B5 19,240p
- 633 教材開発 〈国際交流基金日本語教授法シリーズ 14〉（国際交流基金） ひつじ書房 2008-5 B5 109p 800 円
- 634 二言語話者による日本語習得の実態に関する研究（土屋順一研究代表刊） 2008-3 A4 73p
[平成 16～19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]
- 635 日本語 e ラーニング教材設計モデルの基礎的研究〈シリーズ言語学と言語教育 13〉 *Fundamental Study on Instructional Design Model for Japanese Language-Learning*（加藤由香里） ひつじ書房 2008-2 A5 9,233p 8600 円
- 636 留学生の日本語能力測定のためのテスト項目プールの構築（伊東祐郎研究代表刊） 2008-3 A4 185p
[平成 16～19 年度科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書 付・CD-ROM 一枚]

- 637 第二言語としての日本語の発音とリズム *Pronunciation and Rhythm of Japanese as a Second Language* (鶴谷千春) 溪水社 2008-5 A5 6, 153p 1900 円
- 638 日本語教育スタンダード試案 語彙 (金庭久美子; 田尻由美子; 橋本直幸著 山内博之編著) ひつじ書房 2008-5 A5 116p 1000 円
- 639 認知言語学から見た日本語格助詞の意味構造と習得 日本語教育に生かすために〈シリーズ言語学と言語教育 16〉 *A Cognitive Linguistic View of Japanese Case Particles; Their Semantic Constructions and Acquisition for Teaching Japanese* (森山新) ひつじ書房 2008-10 A5 7, 310p 5600 円
- 〈第 1 部 認知言語学の紹介〉1. 認知言語学とは 2. 格に対する認知言語学の考え方 〈第 2 部 格助詞の意味構造と習得〉3. 格助詞ガの意味構造 4. 格助詞ヲの意味構造と習得との関係 5. 格助詞ニの意味構造と習得 6. 格助詞デの意味構造と習得との関係 7. 格助詞へ・カラ・マデの意味構造 〈第 3 部 類似する格助詞の意味構造の違い〉8. 場所を表すデとニの違い 9. 対象、場所、時を表すヲとニの違い 10. 場所のニとへ、ヲとカラ、ニとマデ、対象のヲとガの違い 〈第 4 部 日本語教育への応用〉11. 日本語教育への応用

◇各国の日本語教育

- 640 *海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査 2006 年 *Survey Report on Japanese-Language Education Abroad* (国際交流基金編) 国際交流基金 2008-3 A4 190p
- 641 タイ国日本研究国際シンポジウム論文報告書 2007 *International Symposium on Japanese Studies in Thailand 2007* (タイ国日本研究国際シンポジウム論文報告書編集委員会編) チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座 2008-3 A5 307p
- 〈日本語・日本文化〉話しことば教育の体系化と会話の構造分析 言語行動と状況によるシラバス作成の提案 (筒井佐代) タイにおける日本語の受容 外来語・外国語としての日本語の姿 (中山英治) 作文推敲過程からみる自己訂正、教師添削の効果 気づきの観点から (石橋玲子) タイ人学習者のための間投助詞「ネ」の指導方法 機能と出現位置を中心に (チューシー, アサダーユット) 〈日本語・日本文学〉日本語中級・上級文法構築の提案 指示語を例として (吉田一彦)
- 642 中国で日本語を教える 蘇州・南京編 *在中国教日語* (大川豊) 長崎出版 2008-7 B6 283p 1200 円
- 643 異文化間コミュニケーションからみた韓国高等学校の日本語教育 〈シリーズ言語学と言語教育 12〉 *Japanese Language Education in Korean High Schools; From a Cross-Cultural Communication Perspectives* (金賢信) ひつじ書房 2008-2 A5 393p 8800 円
- 644 トルコ・ボアジチ大学の筑波大学 日本語・日本文化学類の出張講義 〈世界の中の筑波大学 3〉 (江藤秀一編) 筑波大学人文・文化学群日本語・日本文化学類 2008-3 B6 小 2, 27, 63p

◇日本語教育の歴史

- 645 *日本植民地教育政策史料集成 45 台湾篇 第六集 教科書編纂・各科教育関係資料(含国語教育) (阿部洋ほか編) 龍溪書舎 2008-3 A5 496p 25000 円
- [複製]
- 『台湾に於ける国語教育の展開』(国府種武著第一教育社昭和 6 年刊)
- 646 *日本植民地教育政策史料集成 46 台湾篇 第六集 教科書編纂・各科教育関係資料(含国語教

- 育) (阿部洋ほか編) 龍溪書舎 2008-3 A5 373p 25000 円
[複製]
『台湾に於ける国語教育の過去及現在 上』(国府種武著台湾子供世界社昭和 11 年刊)
- 647 * 日本植民地教育政策史料集成 47 台湾篇 第六集 教科書編纂・各科教育関係資料(含国語教育) (阿部洋ほか編) 龍溪書舎 2008-3 A5 373-616p 25000 円
[複製]
『台湾に於ける国語教育の過去及現在 下』(国府種武著台湾子供世界社昭和 11 年刊)
- 648 * 日本植民地教育政策史料集成 48 台湾篇 第六集 教科書編纂・各科教育関係資料(含国語教育) (阿部洋ほか編) 龍溪書舎 2008-3 A5 542p 25000 円
[複製]
『日本語教授の実際』(国府種武著東都書籍昭和 14 年刊)
- 649 * 日本植民地教育政策史料集成 49 台湾篇 第六集 教科書編纂・各科教育関係資料(含国語教育) (阿部洋ほか編) 龍溪書舎 2008-3 A5 402, 76p 25000 円
[複製]
『言葉の指導』(台北第一師範学校附属公学校研究部著第一教育社昭和 5 年刊). 『国語保育園保育細案』(台北州著立川文明堂昭和 17 年刊)
- 650 最新日本語教授法精義〈日本語教育史資料叢書 第 6 期 日本語教授法と言語政策〉(工藤哲四郎著 桜井隆監修) 冬至書房 2008-5 A5 4, 3, 5, 229p 5 冊 75000 円
[帝教書房昭和 17 年刊の複製]
- 651 支那語国民に対する日本語の教育〈日本語教育史資料叢書 第 6 期 日本語教授法と言語政策〉(野村瑞峯著 桜井隆監修) 冬至書房 2008-5 A5 168, 1p
[啓明会昭和 17 年刊の複製]
- 652 戦争と日本語〈日本語教育史資料叢書 第 6 期 日本語教授法と言語政策〉(釘本久春著 桜井隆監修) 冬至書房 2008-5 A5 22, 329p
[龍文書局昭和 19 年刊の複製]
- 653 大東亜共栄圏と国語政策〈日本語教育史資料叢書 第 6 期 日本語教授法と言語政策〉(保科孝一著 桜井隆監修) 冬至書房 2008-5 A5 2, 2, 464p
[純正社昭和 17 年刊の複製]
- 654 大東亜共通語としての日本語教授の建設 別名 台湾に於ける音声国語教授の新研究〈日本語教育史資料叢書 第 6 期 日本語教授法と言語政策〉(平松誉資事著 桜井隆監修) 冬至書房 2008-5 A5 14, 7, 363p
[光昭会昭和 17 年刊の複製]
- 655 「総力戦」下の人材養成と日本語教育〈比較社会文化叢書 11〉(松永典子) 花書院 2008-2 A5 202p 2380 円

□言語 (学)

◇言語一般

- 656 語学者の散歩道 (柳沼重剛) 岩波書店 2008-6 A6 7,250p 1000 円
[研究社出版 1991 年刊の増訂]
- 657 こころ〈シリーズことばのスペクトル〉(東洋学園大学ことばを考える会編) リーベル出版 2008-3 B6 481p 2500 円
<2. しくみ>「こころ」と外国語学習 (富山真知子) 話し手のこころと言語表現 (長谷川瑞穂) こころの科学としての現代言語学 (松本純一) <3. すがた>ことばの教育で子どものこころに種まきを (坂本ひとみ)
- 658 言葉とは何か〈ちくま学芸文庫〉 *Qu'est-ce que le Langage?* (丸山圭三郎) 筑摩書房 2008-4 A6 222p 900 円
[夏目書房 1994 年刊、筑摩書房 2001 年改訂新版刊の文庫化]
- 659 Ogura, Tamiko ; Kobayashi, Harumi ; Inagaki, Shunji ; Hirakawa, Makiko ; Arita, Setsuko ; Terao, Yasushi: Studies in Language Sciences 7; Papers from the Seventh Annual Conference of the Japanese Society for Language Sciences. --東京, Kurosio, 2008-7. A5, 12, 307p. 4200 円
<1. Plenary>Yoshida, Kensaku: The Effects of Teaching Practice on the Development of Students' English Proficiency <2. Invited Symposium>Fukazawa, Haruka ; Kitahara, Mafuyu ; Ota, Mitsuhiro: Optimality Theory in Cognitive Science <3. Symposium>Minami, Masahiko: Bilingual Children's Styles of Story Construction and Their Linguistic and Educational Implications Kajiwara, Makiko ; Minami, Masahiko: Narrative Construction by Bilingual Children; Reference Topic Management <4. General Session Papers: First Language Acquisition>Tsuji, Hiromi ; Stainthorp, Rhona: An Investigation of Maternal Communication Styles during Conversations with Young Children; Drawing on an Analysis of the Expression of Communicative Intentions in Japanese Dyads Burdelski, Matthew: Socializing Two-year-old Children to Public Presentation of self; Service Encounters Wakabayashi, Tomoko ; Fernald, Anne: Mothers' Perspective-taking in Stories Told to 3-Year Olds; Implications for Cultural Asymmetries in Japanese and American Socialization for Empathy and *Omoiyari* Matsui, Tomoko ; Miura, Yui: Young Children's Assessment of Linguistically Encoded Reliability of Speaker Knowledge <4. General Session Papers: Second Language Acquisition and Bilingualism>Hirose, Yuki ; Goya, Taisuke ; Ofuru, Yukiko: The Attachment Preference and the Role of Referential Information in Second Language Parsing Kashiwagi, Akiko ; Nakayama, Mineharu: NPs in L2 Japanese Sentence Processing Akiho-Toyoda, Noriko: Acquisition of a Reverse Order Strategy in Narrative Temporality Development by Japanese-English Bilinguals Yoshioka, Keiko: Gesture in L1 and L2; Reference to Ground Information in Narrative Furukawa, Tomoki: Misunderstandings Arising from Different Uses of Back-channeling by Native Speakers and Chinese Learners of Japanese Butler, Yuko Goto ; Lee, Jiyoung: The Validity of Self-assessments among Elementary School Students <4. General Session Papers: Syntax/Semantics/Cognit

- ive Approach>Pardeshi, Prashant ; Wang, Lumming ; Horie, Kaoru: An Anatomy of the 'Oblique' Category on the Noun Phrase Accessibility Hierarchy; A Typological Study of Relative Clauses in Marathi, Chinese, Japanese, Adioucrou and English Nakamoto, Keiko ; Kuroda, Kow: Representing Selectional Restrictions in Terms of Semantic Frames Equated with Situational Schemas; A Case Study with the Japanese Verb *Osou* Takahashi, Maiko ; Tanaka, Akihiro: The Role of Phonological Encoding and Attentional Resources in Sentence Comprehension after Reading Silently and Orally
- 660 語りのポリティクス 言語/越境/同一性をめぐる 8 つの試論 *Politique(s) du Discours* (岩野卓司 ; 若森栄樹編著) 彩流社 2008-4 A5 262p 2500 円
- 661 規則のパラドックス 言語は無意味か (大石敏広) 晃洋書房 2008-1 A5 5, 165p 2100 円
- 662 声なきことば・文字なきことば〈明治大学公開文化講座 27〉(明治大学人文科学研究所編刊) (風間書房) 2008-3 B40 3, 200p 762 円
声なきことば: テレパシー研究の真相. 旧石器時代人と無文字の世界. 中世人の声をめぐって.
- 663 言葉の働く場所 (松永澄夫編著) 東信堂 2008-12 B6 9, 249p 2300 円
意味世界は価値世界である. 言葉への旅路. 絆を支えに自己はつくられる. サウンド・バイト・メディアは考える力を奪う. 「言葉は命」を实践したい. 神が私を知っている. 思考が言葉で変様するとき.
- 664 ことばをめぐる哲学の冒険 (長谷川宏) 毎日新聞社 2008-6 B6 287p 1800 円
- 665 自然と言語 (チョムスキー, ノーム著 ベレッティ, アドリアナ; リッツィ, ルイジ編 大石正幸; 豊島孝之訳) 研究社 2008-8 B6 8, 260p 2800 円
[Chomsky, Noam; Belletti, Adriana; Rizzi, Luigi: *On Nature and Language*. The Press Syndicate of the University of Cambridge, 2002 の翻訳]
- 666 精神史における言語の創造力と多様性 *Language, Culture and European Tradition IV: Diversity and Creativity* (納富信留; 岩波敦子編著) 慶応義塾大学言語文化研究所 (慶応義塾大学出版会) 2008-3 A5 237p 2800 円
言葉で創造する哲学 古代ギリシアにおける精神の展開 (納富信留) 言葉が語り出されるとき……(3) (斎藤慶典) 論理の言語と言語の論理 (飯田隆)
- 667 土屋俊 言語・哲学コレクション 1 真の包括的な言語の科学 *A Potpourri of Philosophical Essays on Language, Mind and Humanity vol. 1; The True and Comprehensive Science of Language* (土屋俊) くろしお出版 2008-12 A5 13, 415p 3800 円
1. 日本語の意味論をもとめて 2. 論理的意味論とその応用 3. 真の包括的な言語の科学への道 4. 現代日本の言語学
- 668 東京大学 21 世紀 COE プログラム「心とことば—進化認知科学的展開」 2003-2007 年度最終報告書 (東京大学大学院総合文化研究科「進化認知科学研究センター」) 2008-3 A4 159p
[付・CD-ROM 1 枚]
- 669 日本言語学会大会予稿集 第 136 回 ('08. 6. 21~22 学習院大学), 第 137 回 ('08. 11. 29~30 金沢大学) (日本言語学会編刊) 2008-6, 11 B5 443, 455p
- 670 日本語の哲学 哲学雑誌 第 123 巻 第 795 号 *Philosophy on/by Japanese* (哲学会; 吉田聡編) 有斐閣 2008-9 A5 267p 3800 円

日本語による哲学への序説 (雨宮民雄) 量化と受身 (飯田隆) 文法という思想 山田孝雄
の喚体と述体をめぐって (滝浦真人)

- 671 日本心理学会大会発表論文集 第 72 回 ('08. 9. 19~21 北海道大学) *The 72nd Annual Corentio
n of the Japanese Psychological Association Proceedings* (日本心理学会大会準備委員会
編刊) 2008-7 B5 171, 19, 63, 19, 1474p

[付・CD-ROM1 枚]

- 672 認知言語学のための 14 章 第 3 版 (Taylor, John R. 著 辻幸夫; 鍋島弘治朗; 篠原俊吾; 菅井
三実訳) 紀伊国屋書店 2008-2 A5 460p 3800 円

[*Linguistic Categorization.*, 3rd. ed., Oxford University Press, 2003 の翻訳]

- 673 認知言語学論考 7 2007 *Studies in Cognitive Linguistics* (山梨正明; 辻幸夫; 西村義樹;
坪井栄治郎編) ひつじ書房 2008-9 A5 301p 4200 円

様態副詞から文副詞へ 日本語の副詞「明らかに」の歴史的变化を追って (永沢済) 命名と
名前 命名論の新たな地平 (大月実) カテゴリーとしての詩 余白の生み出す民俗詩学 (浜
田秀)

- 674 ことばと言葉 進化と認知科学のアプローチ *Evolutionary and Cognitive Approaches to La
nguage* (長谷川寿一; ラマール, C.; 伊藤たかね編) 東京大学出版会 2008-10 A5 3, 23
6p 3200 円

序章 言語の不思議へのアプローチ (長谷川寿一; ラマール, C; 伊藤たかね) <1. 進化か
らことばを見る>1. 生命進化とことばの進化的基盤 言語能力獲得にいたる生命進化の諸相
(斎藤成也) 2. ことばへの前適応とことばの創発 言語の起源をさぐる生物学 (岡ノ谷一夫)
3. ヒトの進化とことばの出現 ヒトの進化と言語獲得の背景 (長谷川真理子) <2. ことば
のしくみ>4. 組みたてた文の「接着剤」 言語変化と機能語 (ラマール, C) 5. ことばの構
造と声 音からせまる言語学 音韻論の方法論 (田中伸一) 7. 「行く」と「来る」の言語比
較 “come” が「来る」でないとき 直示移動動詞の普遍性と多様性 (中沢恒子) 8. 「～な
いと」「～なきゃ」「～なくちゃ」の文法 話しことばの談話データを用いた文法研究 日常会
話で構文機能が強化する? (藤井聖子) <3. ことばの認知と処理>9. 脳から見る文構造 こ
とばの脳内処理 日本語使役構文の事例から (伊藤たかね) 10. 文法を現象させる声 文法
と音声 その関係をあらわし、また複雑にするもの (広瀬友紀) 11. ことばとモノのあいだ
事物の認識の普遍性と言語, 文化の影響 (今井むつみ) 12. 計算から迫ることばの姿 言
語の分節に普遍的に観察される統計的性質 音素から形態素へ、単語へ、そして句へ (田中久
美子)

- 675 プルーストとイカ 読書は脳をどのように変えるのか? (ウルフ, メアリアン著 小松淳子訳)
インターシフト (合同出版) 2008-10 B6 377p 2400 円

[Wolf, Maryanne: *Proust and the Squid; The Story and Science of the Reading Brain*, Anne
Edelstein, 2007 の翻訳]

- 676 言語と思考を生む脳 (シリーズ脳科学 3) *Language and Thought in the Brain* (入来篤史編
甘利俊一監修) 東京大学出版会 2008-11 A5 11, 217p 3200 円

◇言語学

- 677 記号の系譜 社会記号論系言語人類学の射程 (小山亘) 三元社 2008-1 A5 537p 4600 円

- 678 言語学基本問題集 *Basic Linguistics Exercises* (佐久間淳一編) 研究社 2008-8 A5 5, 2
65p 1900 円
- 679 ことばと論理 このままでいいのか言語分析〈開拓社言語・文化選書 7〉(児玉徳美) 開拓社
2008-10 B6 10, 192p 1600 円
- 680 ことばに魅せられて 対話篇 (大津由紀雄) ひつじ書房 2008-5 A5 165p 1600 円
- 681 ことばの宇宙への旅立ち 10 代からの言語学 *Invitation to the Universe of Language* (大津
由紀雄) ラボ国際交流センター; 東京言語研究所 (ひつじ書房) 2008-2 B6 231p 1500
円
- 682 言葉の暴力 「よけいなもの」の言語学〈叢書・ユニベルシタス 893〉(ルセルクル, ジャン=ジ
ャック著 岸正樹訳) 法政大学出版局 2008-8 B6 7, 446, 11p 5200 円
[Lecerclre, Jean-Jacques: *The Violence of Language.*, Routledge, 1990 の全訳]
- 683 思考と発話 明示的伝達の語用論 (カーストン, ロビン著 内田聖二; 西山佑司; 武内道子; 山
崎英一; 松井智子) 研究社 2008-3 A5 18, 616p 8000 円
[Carston, Robyn: *Thoughts and Utterances; The Pragmatics of Explicit Communication.*, 1st
ed., Oxford, Blackwell Publishing, 2002 の全訳]
- 684 新・言語研究のすすめ〈上智大学外国語学部シリーズ〉(上智大学外国語学部言語学副専攻編)
上智大学外国語学部 2008-3 A5 226p
- 685 セレンディピティー 言語と愚行 (エコ, ウンベルト著 谷口伊兵衛訳) 而立書房 2008-9
A5 134p 2500 円
[Eco, Umberto: *Serendipities; Language and Lunacy.*, New York, Columbia University Press,
1998 の翻訳]
- 686 Miyakoda, Haruko: Phonological Acquisition, Speech Errors and Markedness. --Sagamihara,
青山社, 2008. A5, 5, 137p. 2381 円
- 687 最適性理論 生成文法における制約相互作用 (プリンス, アラン; スモレンスキー, ポール著
深沢はるか訳) 岩波書店 2008-9 A5 13, 390p 6200 円
[Prince, Alan; Smolensky, Paul: *Optimality Theory; Constraint Interaction in Generative
Grammar.*, Oxford, Blackwell Publishing Ltd, 2004 の翻訳]
- 688 英語音声学入門 新装版 (竹林滋; 斎藤弘子) 大修館書店 2008-1 A5 7, 230p 2400 円
[付・CD-ROM2 枚(12cm), 1982 年版の新装版]
- 689 ABC 民衆の知性のアルファベット化〈岩波モダンクラシックス〉(イリイチ, I. ; サンダース,
B. 著 丸山真人訳) 岩波書店 2008-10 B6 16, 191, 43p 2800 円
[Illich, Ivan and Sanders, Barry: *ABC; The Alphabetization of the Popular Mind.*, Berkele
y, North Point Press, 1988 の翻訳]
- 690 意味の意味 新装 (オグデン, C. ; リチャーズ, I. 著 石橋幸太郎訳 外山滋比古解説) 新泉
社 2008-4 B6 471, 27p 4500 円
[Ogden & Richards: *The Meaning of Meaning.*, Routledge & Kegan Paul Ltd, 1923 の翻訳]
- 691 概念化と意味の世界 認知意味論のアプローチ〈講座認知言語学のフロンティア 3〉(深田智;
仲本康一郎) 研究社 2008-5 A5 12, 301p 3000 円
- 692 ネーミングの言語学 ハリー・ポッターからドラゴンボールまで〈開拓社言語・文化選書 8〉(窪

- 園晴夫) 開拓社 2008-10 B6 11, 176p 1600 円
- 693 生成文法理論の極小プログラムにおける第一言語獲得の実証的研究 (原田かづ子研究代表刊)
2008-4 A4 3, 133p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]
- 694 認知文法のエッセンス (テイラー, ジョン R.; 瀬戸賢一) 大修館書店 2008-8 A5 11, 381p
2600 円
[Taylor, John: *Cognitive Grammar*, OUP, 2002 をベースとした書き下ろし]
- 695 名詞文法と語群研究 (志賀謙) 鳳書房 2008-7 A5 12, 473p 3500 円
- 696 問題を通して学ぶ 生成文法 *Learning Generative Grammar through Solving Problems* (阿部
潤) ひつじ書房 2008-3 A5 5, 169p 1600 円
- 697 Tokizaki, Hisao: Syntactic Structure and Silence; A Minimalist Theory of Syntax-Phonolog
y Interface (Hituzi Linguistics in English 9) . --東京, ひつじ書房, 2008-2. A5, 14, 195p.
9400 円
- 698 語の有縁性と比喩表現について フランス語、イタリア語、ルーマニア語、スペイン語、ポルト
ガル語における動物名、植物名、身体部位名、色彩語、数詞、国籍名、地方名、言語名による
比喩表現を中心として (小倉博史) 駿河台出版社 2008-2 A5 186p 3200 円
- 699 比喩と認知 心とことばの認知科学 (ギブズ, レイモンド.W. Jr. 著 小野滋; 出原健一; 八木健
太郎訳 辻幸夫; 井上逸兵監訳) 研究社 2008-6 A5 8, 534p 5500 円
[Gibbs, Raymond W. Jr.: *The Poetics of Mind: Figurative Thought, Language, and Understanding*, Cambridge/New York, Cambridge University Press, 1994 の全訳]
- 700 ドイツ方言学 ことばの日常に迫る *Deutsche Dialektologie* (河崎靖) 現代書館 2008-11
B6 213p 2300 円
- 701 ことばをつくる 言語習得の認知言語学的アプローチ (トマセロ, マイケル著 辻幸夫; 野村益
寛; 出原健一; 菅井三実; 鍋島弘治朗; 森吉直子訳) 慶応義塾大学出版会 2008-6 A5 43
3p 3500 円
[Tomasello, Michael: *Constructing a Language: A Usage-Based Theory of Language Acquisition*, Cambridge, Massachusetts and London, England, Harvard University Press, 2003 の全
訳]

◇言語史

- 702 アジア学への誘い アジア研究班・論文集 (明治大学政治経済学部創設百周年記念叢書 国際地
域の社会科学 3) (明治大学政治経済学部創設百周年記念叢書刊行委員会編) 御茶の水書房
2008-3 A5 3, 296p 1800 円
訓読み, 借用 印欧語比較言語学の一断面 (中村幸一)
- 703 * 共時態・通時態・歴史 言語変化の問題 *Sincronia, Diacronia e Historia* (Coseriu, Eugen
io 著 佐藤好正訳) 佐藤工房 2008-6 A5 304p
[私家版]
- 704 * 言語変化の説明論考 *On explaining language change* (Lass, Roger 著 佐藤好正訳) 佐藤
工房 2008-12 A5 290p
[私家版]

- 705 言葉は身振りから進化した 進化心理学が探る言語の起源〈シリーズ認知と文化 7〉(コーバリ
ス, マイケル著 大久保街亜訳) 勁草書房 2008-12 B6 14, 384, 8p 3700 円
[Corbalis, Michael C.: *From Hand to Mouth; The Origins of Language*. Princeton University
Press, 2002 の翻訳]
- 706 白川静著作集別巻 甲骨金文学論叢 上(白川静) 平凡社 2008-6 A5 526p 12000 円
- 707 農耕起源の人類史〈地球研ライブラリー 6〉(ベルウッド, ピーター著 長田俊樹; 佐藤洋一郎
監訳) 京都大学学術出版会 2008-7 A5 20, 560p 5200 円
[Bellwood, Peter: *First Farmers; The Origins of Agricultural Societies*, 2005 の翻訳]
9. 語族は人類の先史に対してどのような意味をもつのか 10. 農耕の拡散 考古学と言語学の
比較から 11. 遺伝子、古人骨、人々の身体特徴からさぐる
- 708 文字はこうして生まれた(シュマンツ=ベッセラ, デニス著 小口好昭; 中田一郎訳) 岩波書
店 2008-5 B5 8, 201p 4500 円
[Schmandt-Besserat, Denise: *How Writing Came About*, Austin, the University of Texas Pr
ess, 1996 の全訳]
- 709 よくわかる! 古代文字の世界 古代文字だけが知っている、オリエント国家興亡の真実(飯島紀)
国際語学社 2008-6 A5 10, 192p 2200 円
- 710 日本語の歴史 別巻 言語史研究入門〈平凡社ライブラリー634〉(亀井孝; 大藤時彦; 山田俊雄
編集委員) 平凡社 2008-1 A6 507p 1600 円
[付・平安時代仮名(省画)異体一覧表、平安時代仮名(草体)異体一覧表。 第2版第1刷(197
6年12月刊)を底本として文庫化したもの]
〈第1部 言語史の原理〉1. 言語の歴史とはなにか 2. 言語史の資料と性格 3. 言語史の研究
法 4. 言語地理学の寄与 〈第2部 文献学の方法〉1. 書承の資料 書籍を中心として 2. 書
承における文字の批判的処置 3. 仮名と表記法

◇言語教育

(言語教育一般)

- 711 Honna, Nobuyuki: *English as a Multicultural Language in Asian Contexts; Issues and Ideas*.
--Tokyo, Kurosio, 2008-9. A5, 4, 182p. 3200 円
- 712 ICTを活用した外国語教育 *Information and Communication Technology* (CIEC 外国語教育研究
部会著 吉田晴世; 松田憲; 上村隆一; 野沢和典編著) 東京電機大学出版局 2008-7 A5
8, 263p 3000 円
- 713 Kanno, Yasuko Hogan Brun, Gabrielle Series Editor: *Language and Education in Japan; Unequa
l Access to Bilingualism* (Palgrave Studies in Minority Languages and Communities) .-
-Hampshire, Palgrave Macmillan, 2008-1. A5, 12, 206p.
- 714 異文化間教育学の研究〈龍谷叢書 14〉(小島勝編著) ナカニシヤ出版 2008-12 A5 9, 370p
5700 円
5. 異言語間教育 真なる多言語共生社会の創出を志向する教育(山本雅代) 7. 地域社会にお
ける異言語間教育の役割と設計(足立祐子) 8. 異言語間教育における関係性からみた英語教
育(井狩幸男) 9. 多言語主義のゆくえ アメリカの場合(末藤美津子) 10. 聴覚障害者の
ことばと文化を視野に入れた異文化間教育(加藤三保子)

- 715 英語がうまくなる人、ならない人〈NHK 出版生活人新書 269〉(田村明子) 日本放送出版協会
2008-10 B40 173p 660 円
- 716 英語教育熱 過熱心理を常識で冷ます(金谷憲) 研究社 2008-11 B6 169p 1400 円
- 717 英語は道具力(猪口孝) 西村書店 2008-7 B6 205p 900 円
- 718 外国語学習の科学 第二言語習得論とは何か〈岩波新書 新赤版 1150〉(白井恭弘) 岩波書店
2008-9 B40 15, 188, 14p 700 円
- 719 学習者コーパスに基づく英語ライティング能力の評価法に関する研究(成田真澄研究代表刊)
2008-6 A4 134p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]
- 720 キャリア・イングリッシュ・アイランド 英語の運用能力を発言力・行動力に転化するための取組 活動報告書 2004-2007(キャリア・イングリッシュ・アイランド運営委員会編) 東京女子大学 2008-3 A4 111p
[平成 16 年度採択文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代 GP)「仕事で英語が使える日本人の育成」]
- 721 キャリアデザインにつながる多言語教育〈日本私学教育研究所 調査資料 244〉(日本私学教育研究所編刊) 2008-3 A4 130p
- 722 教育・学習〈講座社会言語科学 4〉(西原鈴子; 西郡仁朗編) ひつじ書房 2008-8 A5 3, 268 p 3200 円
〈第 1 部 言語教育・応用言語学〉応用言語学 ことばを学習する側の視点から(西原鈴子) これからの英語教育 コミュニケーション能力の視点から(阿知波真知子) これからの国語教育(吉岡泰夫; 朝日祥之) これからの日本語教育(石井恵理子) 〈第 2 部 言語の習得と認知〉第二言語習得論の現在(畑佐由紀子) カテゴリー的知覚の「壁」と日本語教育メディア(西郡仁朗) 眼の動きと読解(鈴木美加) 〈第 3 部 学習と教育〉相互作用と学習 ディスコース・ポライトネス理論の観点から(宇佐美まゆみ) 教師の資質・成長過程と、その支援方法(横溝紳一郎) 言語能力の評価(根岸雅史) 〈第 4 部 言語政策と教育〉言語政策と言語計画と国語政策(柳沢好昭) バイリンガル教育と社会(ロング, ダニエル)
- 723 劇場を世界に 外国語劇の歴史と挑戦 *All the World's a Stage*(谷川道子; 柳原孝敦編著) エディマン(新宿書房) 2008-10 A5 436p 3000 円
- 724 言語テスト学入門 テスト作成の基本理念と研究法(尾崎茂) 大学教育出版 2008-5 B6 129p 1400 円
- 725 語学はやり直せる! 〈角川 one テーマ 21〉(黒田龍之助) 角川書店(角川グループパブリッシング) 2008-2 B6 212p 686 円
- 726 国際人として英語を使ってみませんか(中野美知子) 三修社 2008-10 B6 146p 1600 円
- 727 国際ネットワークを重視した小中高一貫英語教育システムの構築 国語力強化と連携して *Constructing an Integrated System of English Education at Japanese Primary, Junior High and Senior High Schools ; With Emphasis on International Networking and Close Links with First Language Education*(椎名紀久子研究代表刊) 2008-3 A4 17, 432p
[平成 16~19 年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書]
- 728 小中高校生の相互理解をめざして 国際文化フォーラム 20 年の歩み〈ことばと文化 2〉(中野佳

代子編) 国際文化フォーラム 2008-3 B5 247p 非売

- 729 叙述と修飾〈英語学モノグラフシリーズ 5〉(岸本秀樹;菊地朗著 原口庄輔;中島平三;中村捷;河上誓作編) 研究社 2008-10 A5 8,230p 2800 円
- 730 早期英語教育にモノ申す(末木佐知) ソニー・マガジズ 2008-4 B6 189p 780 円
- 731 *大学の英語教育を変える コミュニケーション力向上への実践指針(山地弘起編著) 玉川大学出版部 2008-5 A5 217p 3300 円
- 732 第二外国語マスター法(権藤三鉦) 文芸書房 2008-1 B6 108p 600 円
- 733 多言語多文化学習のすすめ 世界と直接対話するために(武蔵大学人文学部編 西村淳子監修) 朝日出版社 2008-4 A5 6,376p 2600 円
- 734 日本の「ダメ英語」を叩きなおす(平岡塾) 主婦と生活社 2008-2 B6 214p 1200 円
- 735 米国の日本語教育に学ぶ 新英語教育(米原幸大) 大学教育出版 2008-7 B6 182p 1600 円
- 736 脱・日本語なまり 英語(+ α)実践音声学〈大阪大学新世紀レクチャー〉 *Get Rid of your Japanese Accent:An Introduction of Practical Phonetics for Japanese* (神山孝夫) 大阪大学出版会 2008-4 A5 12,207p 2000 円
- 737 韓国語教育論講座 4 文化論 文学・映画・漫画・メディア・飲食論 歴史学 翻訳論 言語存在論 文献解題(野間秀樹編著) くろしお出版 2008-1 A5 11,815p 5400 円

(各国の言語政策とそれに伴う教育)

- 738 Creese, Angela ; Martin, Peter ; Hornberger, Nancy H. (eds.): *Encyclopedia of Language and Education* 9; *Ecology of Language* Second Edition. --New York, Springer, 2008. B5 小, 20, 369 p.
<1. Historical and Theoretical Perspectives> Kaplan, Robert B. ; Baldauf, Richard: 4. An Ecology Perspective on Language Planning pp. 41-52 <4. Classroom Language Ecologies > Kanno, Yasuko: 18. Language Minority Education in Japan pp. 237-248
- 739 Kaplan, Robert B. ; Baldauf Jr, Richard B. (ed.): *Language Planning and Policy in Asia* 1; Japan, Nepal, Taiwan and Chinese Characters 〈Language Planning and Policy〉. --Britol, Buffalo, Tronto, Multilingual Matters Ltd, 2008. B5, 5, 301p.
Kaplan, Robert B. ; Baldauf Jr, Richard B. : *Language Policy and Planning in Japan, Nepal and Taiwan + Chinese Characters; Some Common Issues* Gottlieb, Nanette: *Japan; Language Policy and Planning in Transition*
- 740 イスラーム世界のことばと文化〈世界のことばと文化シリーズ〉 *Language and Culture in Islam* (佐藤次高;岡田恵美子編著) 成文堂 2008-3 A5 6,307p 2800 円
- 741 英国の学校教育における非英語母語話者に対する言語教育政策の現状と課題(渡部孝子研究代表刊) 2008-3 A4 4,74p
[平成 17~19 年度科学研究費補助金(萌芽研究)研究成果報告書]
- 742 英語世界のことばと文化〈世界のことばと文化シリーズ〉 *Language and Clture in English World* (矢野安剛;池田雅之編著) 成文堂 2008-4 A5 12,349p 3000 円
<3. 非西欧世界における英語の受容>9. 日本における英語の受容 PP. 111-124 (スノードン, ポール) <5. グローバリゼーションと英語のゆくえ>21. アメリカ人と日本人のコミュニケーション 異なるものから学び, 対立を超えた理解へ PP. 309-324 (花光里香) 22. 国際化

と英語教育 PP. 325-345 (照屋佳男)

- 743 オーストラリアの言語教育政策 多文化主義における「多様性」と「統一性」の揺らぎと共存
Language Education Policies in Australia; Diversity and Unity in Multiculturalism (青木麻衣子) 東信堂 2008-12 A5 9, 277p 3800 円
- 744 海域世界のネットワークと重層性 <日本海総合研究プロジェクト研究報告 3> (川村朋貴; 小林功; 中井精一編 浜下武志監修) 桂書房 2008-5 A5 269p 3000 円
<第 2 部 近・現代>10. 東アジア地域共同体と漢字文化圏 (中井精一)
- 745 学力と教育に関する国際的調査と事例研究 教育改善のためのヒント <研究報告 69> (中央教育研究所編刊) 中央教育研究所 2008-10 B5 84p 1000 円
- 746 カナダの公用語政策 バイリンガル連邦公務員の言語選択を中心として *The Official Languages Policy of Canada; Language Choice of Bilingual Federal Public Servants* (矢頭典枝) リーベル出版 2008-2 A5 19, 329p 3480 円
- 747 国民語が「つくられる」とき ラオスの言語ナショナリズムとタイ語 <ブックレット《アジアを学ぼう》11> (矢野順子) 風響社 2008-11 A5 63p 800 円
- 748 「言の葉」のフィンランド 言語地域研究序論 (吉田欣吾) 東海大学出版会 2008-11 A5 24, 529p 6000 円
- 749 ことば・ひと・越境 2008 年東海大学日本語文学系国際学術研究会会議論文集 ('08. 3. 8~9) *語言/人 越境時* (古川ちかし; 川口隆行 編) 東海大学日本語文学系 2008-3 A4 11, 181p
- 750 ことばと社会 11 多言語社会研究 2008 (ことばと社会編集委員会編) 三元社 2008-12 A5 155p 2200 円
<特集; 移民と言語(1)> 移民と言語 人は移動するという前提から言語と社会をとらえる (定松文) イギリスにおける「移民」マイノリティと言語 (浜井祐三子) 在米ラテンアメリカ系住民のエンパワーメントとバイリンガル教育 マイノリティ言語をめぐる価値転換の軌跡 (牛田千鶴) 移民女性と識字問題について 夜間中学に学ぶ在日コリアン一世の識字戦略 (金美善) 「承認」を求める仲介と活動資本としての言語 フランスにおける西アフリカ出身女性仲介者の経歴分析から (園部裕子) <連載報告・多言語社会ニッポン> 琉球弧の言語 (10) うちなあぐち復興ぬ取り組みすぬたみぬ検証とう提案 (うちなあぐちの本格的復興の為の検証と提案) (比嘉清) <連載報告・多言語社会ニッポン> 朝鮮語=韓国語(10) 伊丹市中村地区と“日韓ピピンパップ(ごちゃませ)演劇”『焼肉ドラゴン』(藤井幸之助) <「多言語社会研究会」報告> Nihon no Rômazi Undô no Rekisi to Genzai no Rômazi Undô ga Kakaeru Syomondai (Matuura, Akira)
- 751 少数言語の視点から カタルーニャ語を軸に *Des del Punt de Vista de la Lengua Minoritària; El Català com a Lengua Minoritària* (中嶋茂雄) 現代書館 2008-9 B6 220p 2300 円
- 752 多文化社会アメリカの二言語教育と市民意識 <21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 28> (小林宏美) 慶応義塾大学出版会 2008-1 A5 15, 232p 3400 円
- 753 中国の少数民族教育と言語政策 増補改訂版 (岡本雅享) 社会評論社 2008-4 A5 590, 44p 8200 円

[初版は 1999 年刊]

- 754 比較教育学研究 37 *Comparative Education* (日本比較教育学会紀要編集委員会編) 東信堂 2008-6 A5 4, 204p 1700 円
〈特集; 対外言語政策〉イギリスの英語普及政策 ブリティッシュ・カウンシルの視点を中心に (柴田政子) ドイツの対外文化政策と言語教育 ゲーテ・インスティトゥートの言語・文化交流プログラムに焦点を当てて (中山あおい) フランス語の対外普及政策とフランス・アイデンティティ アンシャン・レジームから 21 世紀まで (古賀毅) イタリアの対外言語政策の推移と動向 ダンテ協会とイタリア文化会館を中心に (中嶋佐恵子) スペインの対外言語政策 インスティトゥト・セルバンテスの活動 (安藤万奈) 韓国の対外言語政策における韓国語「世界化」戦略と世宗学堂の設立 (石川裕之) 中国の対外言語教育政策 現状と課題 (日暮トモ子) 国際文化交流事業としての「日本語の普及」 その変遷と現状 (嶋津拓)
- 755 国際シンポジウム 日中両国の方言の過去、現在、未来 (金沢大学日中無形文化遺産プロジェクト報告書 2) (日中無形文化遺産研究会編) 金沢大学文学部 2008-3 A4 86p
[金沢大学連携融合事業]
- 756 「漢字廃止」で韓国に何が起きたか (呉善花) PHP 研究所 2008-10 B6 229p 950 円

◇関連外国語

- 757 言語世界地図 (新潮新書 266) (町田健) 新潮社 2008-5 B40 215p 700 円
[月刊誌「フォーサイト」(2003 年 9~2007 年 10 月号)に連載されたものを再構成し、加筆したもの]
- 758 世界の言語入門 (講談社現代新書 1959) (黒田龍之助) 講談社 2008-9 B40 232p 720 円
- 759 DNA・考古・言語の学際研究が示す新・北海道史 アイヌ民族・アイヌ語の成立史 (崎谷満) 勉誠出版 2008-4 B5 11, 324p 7000 円
- 760 アイヌ語文法の基礎 (佐藤知己) 大学書林 2008-4 A5 15, 392p 8500 円
- 761 *中国語暮らしのことば (中国語友の会編) 大修館書店 2008-5 B5 125p 1800 円
- 762 *小道迷子のことわざで中国語 (渡辺豊沢) 三修社 2008-1 A5 190p 1900 円
- 763 アイヌ語地名で旅する北海道 (朝日新書 103) (北道邦彦) 朝日新聞社 2008-3 B40 259p 740 円
- 764 アイルランド語文法 コシュ・アーリゲ方言 *Learning Irish* (オシール, ミホール著 京都アイルランド語研究会編訳) 研究社 2008-1 B5 16, 393p 5400 円
[付・CD-ROM1 枚(12cm)]
- 765 ドイツ語を考える ことばについての小論集 (三瓶裕文; 成田節編) 三修社 2008-3 A5 264p 3300 円
辞書記述・構成の将来的可能性の一考察 (中村哲夫) 日本で日本人にドイツ語を教えるために (田中一嘉)
- 766 フィンランド語は猫の言葉 新装版 (稲垣美晴) 猫の言葉社 2008-4 B6 269p 1600 円
- 767 フランス語のはなし もうひとつの国際共通語 *The story of French* (Nadeau, Jean-Benoit. 著 Barlow, Julie; 中尾ゆかり訳 立花英裕監修) 大修館書店 2008-4 B6 16, 385p 2400 円
- 768 *ポルトガル語の色彩 (浜岡究) 現代書館 2008-3 B6 258p 2300 円

- 769 ニューエクスプレス エスペラント語 (安達信明) 白水社 2008-10 A5 152p 2500 円
[付・CD-ROM1 枚]
- 770 雨森芳洲と玄徳潤 朝鮮通信使に息づく「誠信の交わり」(信原修) 明石書店 2008-5 A5 4
33p 6500 円
- 771 英学の時代 その点景〈学術叢書〉(高橋俊昭) 学術出版会(日本図書センター) 2008-2 A
5 5,298p 4800 円
- 772 近代日本のドイツ語学者(上村直己) 鳥影社 2008-10 A5 429p 2800 円
- 773 東京外国語学校史 外国語を学んだ人たち(野中正孝編著) 不二出版 2008-11 A5 12,1606
p 9800 円
- 774 *統治初期の日本人による台湾客家語音韻、語彙の学習 「広東語」『台湾土語叢誌』、『広東語
会話篇』を手がかりに(羅濟立) 致良出版社 2008 A5 436p
- 775 日本英学史叙説 英語の受容から教育へ(庭野吉弘) 研究社 2008-5 A5 4,512p 5600 円
- 776 日本人は英語をどう学んできたか 英語教育の社会文化史 *A Socio-Cultural History of Eng
lish Language Education in Japan* (江利川春雄) 研究社 2008-11 A5 9,283p 2800 円
- 777 翻訳文学のあゆみ イソップからシェイクスピアまで(新熊清) 世界思想社 2008-10 A5 5,
258p 2300 円
- 778 英語ベストセラー本の研究〈幻冬舎新書 083〉(晴山陽一) 幻冬舎 2008-5 B40 235p 780
円

◇対照研究

- 779 日中文化の交差点 国際日本学とは何か? *Intersection of Japanese and Chinese Culture:
What Is International Japanese Studies?* (王敏編) 三和書籍 2008-3 A5 3,337p 350
0 円
 <1. 日中比較文化篇>日中齟齬の文化的研究 時間と空間の認知傾向を中心にして(李国
棟) <2. 日中比較コミュニケーション篇>日中のコミュニケーション方略に関する一考察
謝罪の発話行為における「談話の収束方法」と「話者交替数」に着目して(高橋優子) グロ
ーバル化社会における日本語教育の目標及びそのモデルの立体的構築(王秀文) <総論>比
較を伴った文化交流 戦前の「日本教習」と日本留学を中心に(王敏)
- 780 *金沢大学日中無形文化遺産研究会編: 日中両国の方言の過去、現在、未来;国際シンポジウム
(平成 19 年 11 月 23 日金沢大学サテライトプラザ). --金沢, 2008-3. A4, 86p.
[日中無形文化遺産金沢大学連携融合事業]
- 781 近代日中語彙交流史 新漢語の生成と受容 改訂新版(沈国威) 笠間書院 2008-8 A5 10,4
73p 4800 円
 <研究編>序論 1. 日本語借用語研究概説 2. 日本語借用語の研究史 3. 日本語との出会い
4. 西学東漸と日本語借用語 5. 中国語における日本語の受容について <語誌編> <資
料編>
- 782 日本の諺・中国の諺 両国の文化の違いを知る(陳力衛) 明治書院 2008-6 B6 241p 1300
円
- 783 日本語と中国語の可能表現 *Ability Expressions* (日本対照言語学会) 白帝社 2008-10 A5
6,251p 2800 円

- <日中対照研究>可能性表現とその周辺 中国語の“可能”と日本語の「可能だ」を中心に(曹大峰) 「見える」と“看得见”について(王学群) 日中対照研究から見る可能表現 「見える、見られる、見ることができる」(張岩紅) <不可能>の言語化に関する日中両語の対照研究(姚艷玲) <日本語研究>有对自动词无表记表示的可能义—结果可能义(张威)
- 784 中国語談話言語学概論(王福祥著 高橋弥守彦; 続三義訳) 白帝社 2008-2 A5 11, 620p 13000 円
[王福祥著『话语语言学概论』(外语教学与研究出版社出版, 1994 年刊)の翻訳]
- 785 韓国語から見えてくる日本語 韓流日本語鍛錬法〈にほんご Café〉(松本隆) スリーエーネットワーク 2008-2 A5 108p 1000 円
- 786 日本語と朝鮮語の対照研究 2 東京大学 21 世紀 COE プログラム「心とことば—進化認知科学的展開」研究報告書 *A Contrastive Study of Japanese and Korean* (生越直樹研究代表刊) 2008-2 B5 308p
- 787 *標準日韓・韓日コンパクト辞典 発音記号・カナ読み付 *A Compact Dictionary of Japanese-Korean/Korean-Japanese* (朱信源編著) 白帝社 2008-3 A6 1009p 2600 円
- 788 *日・韓文法の対照言語学的研究(柴公也) イルボノベンク 2008-2 A5 485p
- 789 統辞論における中国語名詞句の意味と機能(小野秀樹) 白帝社 2008-10 A5 9, 237p 4571 円
- 790 韓日新聞社説における「主張のストラテジー」の対照研究〈ひつじ研究叢書 言語編 59〉(李収貞) ひつじ書房 2008-2 A5 3, 189p 7200 円
1. 序論 2. 文章構造研究に関する先行研究 3. 韓日の新聞社説の文章のマクロ構造 4. 韓日の新聞社説の文章のミクロ構造 5. 本研究の結論と今後の課題
- 791 対人行動の日韓対照研究 言語行動の基底にあるもの *대인행동의 일한대조연구 언어행동의 기저에 있는 것* (尾崎喜光編著) ひつじ書房 2008-10 A5 10, 273p 5000 円
2. 相手所有物を使う際の言葉の有無に関する日韓比較(生越直樹) 6. 依頼行動と感謝行動の日韓比較(尾崎喜光) 7. 会話における話題選択の日韓比較(熊谷智子; 石井恵理子)
- 792 場面描写と視点 日韓両言語の談話構成とその習得(金慶珠) 東海大学出版会 2008-2 A5 7, 185p 7000 円
- 793 日韓文化財論集 1〈奈良文化財研究所学報 77〉 *Memoirs of Cultural Heritage Studies in Korea and Japan* (奈良文化財研究所著刊) 2008-3 B5 5, 398p
慶州月城塚字出土の四面墨書木簡 pp. 299-322 (市大樹)
- 794 踊る羊と実る稲 日欧比較文化・日英比較言語への招待〈学術叢書〉(平出昌嗣) 学術出版会(日本図書センター) 2008-3 A5 281p 3500 円
- 795 日英の言語・文化・教育 多様な視座を求めて *Japanese English Language Culture Education* (日英言語文化研究会編) 三修社 2008-3 A5 374p 5800 円
<1. 言語と文化>「日本人論」から見た文化と言語の問題(浅野博) 日英語比較と背景文化 “wear” の日本語訳と「腰」の意味範囲をめぐって(奥津文夫) <2. 言語表現と意味>英語の心を読む その実践(行方昭夫) 表層の意味と裏の意図 日英語の談話における話し手の合図(村田年) Manga に見る日英語比較 数量的分析と転移比較の観点から(三宅美鈴) インターネット広告の談話分析 日本語とアメリカ英語の場合(足利俊彦) <3. 言語表現

の文法>眠り姫の庭に眠る廷臣たちを求めて 日英言語文化研究ノートから(山岸勝栄) 「物語」における時制交替の日英語比較(小島章子) <4. 言語表現と語彙>意味記述におけるコアの有効性と英語教育における応用可能性(田中茂範) 現代のオノマトペに見られる日英語の相違 副詞使用型と動詞・形容詞使用型の文化的差異(吉村耕治) 英語のイディオムと日本語の慣用句に使用される身体語彙の計量的比較分析(長谷川修治) <5. 文学>殺し文句 藤村とフォークナー(池内正直) 児童文学の翻訳を通してみる日英語の比較(大須賀直子) 翻訳における文化的要因と動的等価性 D. H. ロレンスの「二羽の青い鳥」をめぐる(石川慎一郎) <6. 言語教育と文化>英語教育におけるネイティブ志向は有益か(矢野安剛) EIAL の一例としての「日本英語」 その目指すべき方向を求めて(森住衛) <7. 英語教育と文化>日本人英語学習者のライティング能力 英作文と日本語作文の関係(馬場千秋) 英語受容語彙知識の階層性(相沢一美) 文脈の種類と語彙学習 例文と文章それぞれの語彙学習の比較(葉田野不二美) 日本人英語学習者のための電子辞書使用 読解活動に着目して(大崎さつき; 中山夏恵) EFL 教材に見るジェンダーと対立表現 紙ベース教材と CALL 教材の比較(河内山有佐) 中学校英語教育におけることわざ導入の意義と効用(浜崎敦弘)

- 796 *日本語と英語 表現の違い(桑野茂彦) 創栄出版 2008-11 B5 395p
- 797 英語学の見える風景(安井稔) 開拓社 2008-3 A5 13, 287p 3500 円
- 798 Pylkkänen, Liina 著 Keyser, Samuel Jay(ed.): Introducing Arguments (Linguistic Inquiry Monographs 49) . --Cambridge, Massachusetts, London, The MIT Press, 2008. A5, 6, 156p.
- 799 「主語」とは何か? 英語と日本語を比べて<中部大学ブックシリーズ Acta11>(大門正幸) 中部大学 2008-12 A5 93p 700 円
- 800 英語・日本語コミュニケーション インセンティブ論(佐藤一昭) 学文社 2008-3 A5 6, 291p 3500 円
- 801 日独の民俗・諺にみる動物比較 序論 ねずみ、狐、カラス、蛇、猿、兎(可知正孝) 鳥影社・ロゴス企画 2008-3 B6 285p 1800 円
- 802 日本語とシンハラ語における動詞連語の対照用例集<安田女子大学言語文化研究叢書 13 日本・東洋研究部門>(宮岸哲也編) 安田女子大学言語文化研究所 2008-3 A5 16, 326p 非売
- 803 ヴォイスの対照研究 東アジア諸語からの視点(生越直樹; 木村英樹; 鷲尾龍一編著) くろしお出版 2008-11 A5 3, 194p 3800 円
東アジア諸語にみるヴォイスの多様性と普遍性 序に代えて(木村英樹; 鷲尾龍一) 1. 概念化と統語表示の問題 日本語・モンゴル語・朝鮮語の比較から見る《風に吹かれる》の本質(鷲尾龍一)

◇翻訳

- 804 内と外からのまなざし 国際日本学とは何か? *From the Inside and the Outside Perspectives: What is International Japanese Studies?*(星野勉編) 三和書籍 2008-3 A5 7, 316p 3500 円
<1. 日本研究、「内」と「外」からのまなざし>文化比較と翻訳 文化社会学的考察(島田信吾著 大橋基訳) <3. 日本文化をひらく>言葉から見える江戸時代の多様な人々(田中優子) <おわりに>「国際日本学」とは何か 「翻訳」から見えてくるものを手がかりに(星野勉)
- 805 「カラマーズフ兄弟」の翻訳をめぐる *Вокруг переводов романа Ф.*

- M. Достоевского* 《*Братья Карамазовы*》(大島一矩) 光陽出版社 2008-2 A5 6, 351p 2000 円
- 806 源氏物語の現代語訳と翻訳〈講座源氏物語研究 12〉(河添房江編 伊井春樹監修) おうふう 2008-6 A5 315p 6800 円
＜1. 海外の翻訳＞末松謙澄の英訳(大内英範) 英訳『源氏物語』の文学空間 ウェイリー訳とサイデンステッカー訳を中心に(木村朗子) ロイヤル・タイラーの英訳について(緑川真知子) ルネ・シフェールの仏訳について(畑中千晶) 豊子愷と林文月の中国語訳について(張龍妹) 柳呈と田溶新の韓国語訳について(金鍾徳) ＜2. 国内の現代語訳＞歌/物語/翻訳 与謝野晶子『新訳源氏物語』が直面したもの(関礼子) 与謝野晶子の『新新訳源氏物語』の執筆・成立の経緯(神野藤昭夫) 現代語訳と近代文学 与謝野晶子と谷崎潤一郎の場合(河添房江) ＜2. 国内の翻訳＞「読みやすさ」の衣をまとって 円地文子訳と瀬戸内寂聴訳(北村結花)
- 807 言葉を育てる 米原万里対談集〈ちくま文庫〉(米原万里) 筑摩書房 2008-9 A6 365p 740 円
- 808 コミュニティー通訳入門 多言語社会を迎えて言葉の壁にどう向き合うか・・・暮らしの中の通訳 *Community-based Interpreter* (水野真木子) 大阪教育図書 2008-8 A5 10, 151p 1800 円
- 809 *実例による対訳の技法 日本語と中国語(崎原麗霞編著刊) ;交友プランニングセンター 2008-4 A5 121p 1714 円
- 810 通訳学入門(ポェヒハッカー, フランツ著 鳥飼玖美子監訳) みすず書房 2008-9 A5 13, 295p 4000 円
[Pöchhacker, Franz: *Introducing Interpreting Studies.*, New York, Routledge, 2004 の翻訳]
- 811 同時通訳における概念化過程の検証(船山仲他研究代表刊) 2008-3 A4 6, 132p
[平成 17～19 年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書]
- 812 日本文学研究ジャーナル 2 *Japanese Literature Research Journal* (伊井春樹研究代表) 国文学研究資料館 2008-3 A5 254p 非売
[平成 19 年度科学研究費補助金基盤研究(A)「日本文学の国際的共同研究基盤の構築に関する調査研究」研究成果報告書]
- 813 翻訳 その歴史・理論・展望〈文庫クセジュ 930〉(ウスティノフ, ミカエル著 服部雄一郎訳) 白水社 2008-11 B6 146, 9p 1050 円
[Oustinoff, Michaël: *La Traduction.*, Paris, Universitaires de France, 2003, 2007 の全訳]
- 814 *翻訳事典 2009 年度版(アルク編刊) アルク 2008-2 B5 355p 1800 円
- 815 *翻訳のココロ(鴻巣友季子) ポプラ社 2008-12 A6 215p 520 円
- 816 無手勝流ロシア語通訳 ジグザグ道をまっしぐら〈ユーラシア・ブックレット 126〉(三浦みどり) 東洋書店 2008-10 A5 63p 600 円
- 817 訳せそうで訳せない日本語 きちんと伝わる英語表現〈ソフトバンク新書 062〉(小松達也) ソフトバンククリエイティブ 2008-1 B40 253p 700 円
[2000 年 12 月にジャパントイムズより刊行された単行本を、新書化にあたって大幅に改稿したもの]

- 818 思想としての翻訳 ゲーテからベンヤミン、ブロッホまで (三ツ木道夫編訳) 白水社 2008-1
2 B6 251p 3400 円

◇言語学研究史

- 819 Swiggers, Pierre Volume Editor: The Collected Works of Edward Sapir 1; General Linguistics. --Berlin, New York, Mouton de Gruyter, 2008. B5, 582p.
- 820 アダム・スミスの道徳哲学と言語論 (大島幸治) 御茶の水書房 2008-8 A5 6, 469, 7p 8000
円
- 821 音と意味についての六章 *Six Leçons sur le Son et le Sens* 新装版 (ヤーコブソン, ロマー
ン著 花輪光訳) みすず書房 2008-11 B6 165p 2800 円
[1977 年刊の新装版]
- 822 言語学の戦後 田中克彦が語る 1 (田中克彦著 安田敏朗; 土屋礼子聞き手) 三元社 2008
-10 B6 3, 198p 1800 円
- 823 対論 言語学が輝いていた時代 (鈴木孝夫; 田中克彦) 岩波書店 2008-1 B6 8, 270p 2200
円
- 824 フェルディナン・ド・ソシュール 一般言語学第一回講義 リードランジェによる講義記録 *Ferdinand de Saussure Premier Cours de Linguistique Generale (1907) (d'après les cahiers d'Albert Riedlinger)* (小松英輔編 相原奈津江; 秋津伶訳) エディット・パルク 2008
-3 A5 317p 3500 円
ソシュールの『一般言語学講義』 エングラー版批判 (小松英輔)
- 825 零度のエクリチュール 新版 (バルト, ロラン著 石川美子訳) みすず書房 2008-4 B6 15
5p 2400 円
[Barthes, Roland: *Le Degré Zéro de L'écriture.*, Paris, Éditions de Seuil, 1953 の翻訳]

□辞典・用語集

◇辞書学・索引（論）

- 826 ウィキペディア革命 そこでは何が起きているのか？（アスリーヌ、ピエールほか著 佐々木勉訳）
岩波書店 2008-7 B6 167p 1700 円
[*La Révolution Wikipédia: Les Encyclopédies Vont-elles Mourir?*, Mille et une nuits, 2007 の翻訳]
- 827 漢和辞典に訊け！〈ちくま新書 756〉（円満宇二郎） 筑摩書房 2008-12 B40 217p 720 円
- 828 国語辞典の名語釈（武藤康史） 筑摩書房 2008-7 A6 221, 16p 950 円
- 829 そうだ、ローカル線、ソースカツ丼（東海林さだお） 文芸春秋 2008-5 B6 263p 1095 円
〈身近雑貨雑物辞典〉その一 広辞苑を引いてプンプン！ その二 鯨の開き≪該当語なし≫ その三 やっぱり辞書はえなかった
- 830 日本語辞書学への序章 *A Prologue to the Japanese Lexicography*（倉島節尚） 大正大学出版会 2008-10 A5 6, 413p 4700 円
序 日本語辞書学への道程 〈第 1 章 日本語辞書学総論〉日本語辞書学の目指すもの 日本語の特性と辞書編集上の問題点 文化史の記録としての辞書 〈第 2 章 日本語辞書学各論〉近代国語辞典の誕生と展開 国語辞典の編集 辞書における規範と慣用 辞書における規範と慣用続考 辞書における規範と慣用続々考 辞書の記述の規範性 語彙選定の方針と方法 辞書の項目数をめぐって 辞書編纂と専門用語 国語辞典の仏教用語 辞書と用例 漢字使用に関する一資料—『大辞林』初版における使用漢字の実態と分析 国語辞典とコンピューター 編集者から見た国語辞典のこれから 〈第三章 外国人による日本語研究 幕末編〉S. R. ブラウン『会話日本語』の日本語 ブラウン『会話日本語』の待遇表現 メドハーストの『英和・和英語彙』の日本語
- 831 国語辞典における多義語の意味記述の比較（柏野和佳子） 柏野和佳子 2008-3 A4 81p
[平成 17～19 年度科学研究費補助金若手研究(B)研究成果報告書]

◇国語辞典

- 832 Murakami, Yutaro ほか訳編: *Từ Điển Mẫu Cầu Tiếng Nhật ;Dùng Cho Giáo Viên và Học Viên* [Nhóm Jammassy] . --Nhà Xuất Bản Giáo Dục, 2008-3. A5, 16, 1015p.
[『教師と学習者のための日本語文型辞典』（くろしお出版 1998 年 2 月刊）のベトナム語版]
- 833 学研現代新国語辞典 *Gakken Japanese Dictionary* 改訂第 4 版（金田一春彦；金田一秀穂編）
学習研究社 2008-1 B6 12, 1683p 2900 円
- 834 広辞苑 第 6 版（新村出編） 岩波書店 2008-1 B5 21, 3049p 8000 円
[付・広辞苑第 6 版付録(B5 版 288, 93p)]
- 835 三省堂国語辞典 第 6 版（見坊豪紀；金田一京助；金田一春彦；柴田武；市川孝；飛田良文）
三省堂 2008-1 B6 16, 1615p 2700 円

◇特殊語辞（事）典

（人名辞典）

- 836 姓氏 4000 歴史伝説事典 増補版（志村有弘編） 勉誠出版 2008-11 A5 1290p 9800 円
[「姓氏家系歴史伝説大事典」（2003 年刊）を増補し、タイトルを変えたもの]
- 837 日本人名関連用語大辞典（荻生待也編著） 遊子館 2008-6 B5 393, 29p 16000 円

838 *平安人名辞典 下 康平三年(槇野広造編) 和泉書院 2008-2 B5 6,325p 12000 円

(地名辞典)

839 *ウソ読みで引ける難読地名(小学館編 篠崎晃一監修) 小学館 2008-3 B6 222p 900 円

840 江戸東京地名辞典 芸能・落語編(講談社学術文庫 1870)(北村一夫) 講談社 2008-4 A6 5
95,25p 1700 円

[原本は『江戸芸能落語地名辞典(上)(下)』(六興出版 1985 年刊)]

841 奈良の地名由来辞典(池田末則編) 東京堂出版 2008-6 B6 310p 2800 円

(動植物辞典)

842 魚介類 2.5 万名前大辞典 *A Name Dictionary of 25,000 Aquatic Animals* (日外アソシエーツ
編刊) 2008-11 A5 6,738p 9333 円

843 植物 3.2 万名前大辞典 *A Name Dictionary of 32,000 Plants* (日外アソシエーツ編刊) 200
8-6 A5 6,772p 9333 円

844 植物の漢字語源辞典(加納喜光) 東京堂出版 2008-6 B6 10,449p 3800 円

(その他の固有名辞典)

845 日本の伝統色 配色とかさねの事典(長崎巖監修) ナツメ社 2008-1 A5 175p 2200 円

846 知っているようで知らない ものの数え方 目からウロコの助数詞もの知り辞典(日文新書 020)
(ことばの文化研究会編) 日本文芸社 2008-8 B40 206p 760 円

847 *気になる!「モノの名前」大事典(宝島社編) 宝島社 2008-11 A6 238p 562 円
[「これってなんていう?大事典 619」(2006 年刊)の改訂]

848 定本 和の色事典 増補特装版(内田広由紀) 視覚デザイン研究所 2008-11 A5 357p 2300
0 円

849 「源氏物語」の色辞典(吉岡幸雄) 紫紅社 2008-11 A5 255p 3300 円

(類語辞典・同意語辞典)

850 ちがいがわかる類語使い分け辞典(松井栄一編) 小学館 2008-4 B6 525p 2400 円

851 早引き類語連想辞典 第 2 版(米谷春彦編 野元菊雄監修) ぎょうせい 2008-6 B6 14,111
4p 4667 円

852 講談社 類語辞典(柴田武;山田進;加藤安彦;初山洋介編) 講談社 2008-12 B6 451,184
6p 3200 円

(反対語辞典)

853 三省堂 反対語便覧 新装版(三省堂編修所編) 三省堂 2008-7 A6 432p 1500 円

(位相語辞典)

854 絵引 民具の事典(工藤員功編 岩井宏実監修) 河出書房新社 2008-9 A5 487,36p 6500
円

855 *マタギ語辞典(板橋義三) 現代図書(星雲社) 2008-2 A5 144p 2300 円

(俗語・隠語辞典)

856 渋谷語事典 2008(TWJ books) *Shibuya Encyclopedia* (渋谷語制作委員会編) トランスワー
ルドジャパン 2008-8 B6 160p 800 円

(方言辞典)

857 *青森県南部地方の方言・民俗(資料集) 1 工藤祐遺稿集 アーサエ(工藤祐著刊 苫米地頭;

- 近藤武吉；近藤吉英編) 2008-8 B5 10,828p 非売
- 858 *青森県南部地方の方言・民俗(資料集) 2 工藤祐遺稿集 サエーババ (工藤祐著刊 苫米地
頭；近藤武吉；近藤吉英編) 2008-8 B5 829-1662p 非売
- 859 *青森県南部地方の方言・民俗(資料集) 3 工藤祐遺稿集 パパーンー (工藤祐著刊 苫米地
頭；近藤武吉；近藤吉英編) 2008-8 B5 1663-2479, 22p 非売
- 860 *七戸方言集 前編(あ、か、さ行) (石田善三郎監修) 槇猛夫 2008-9 A5 294p
- 861 新潟県方言訛語集 (外山正恭編刊) 2008-1 B5 1166p
[「あ〜す」「せ〜ん」の 2 分冊]
- 862 *ふるさとことば辞典 なつかしくてやがて消え行く 上海府の方言 (本間陽一編刊) 2008-7
B5 297p 1500 円
- 863 精撰尾張弁辞典 (伊藤義文) ブックショップマイタウン 2008-5 B6 208p 1905 円
- 864 和具の方言 1 総論・各論 1 あ〜く (鍋島泰著刊) 2008-10 B5 250, 626p
- 865 和具の方言 2 各論 1 け〜な (鍋島泰著刊) 2008-10 B5 840 (p. 627-1466)p
- 866 和具の方言 3 各論 1 に〜ん・各論 2・追補 (鍋島泰著刊) 2008-10 B5 802 (p. 1467-2268)
p
- 867 京ことばの辞典 (大原穰子) 研究社 2008-12 B6 200p 2500 円
[付・CD2 枚]
- 868 薩薩辞典 キーワード 350 を鹿児島弁の例文で解説 (大吉千明) 南方新社 2008-5 B6 202p
1600 円
- 869 残しもんそや川内(せんで)ん方言(ほげん) (福富則義) 高城書房 2008-5 B6 192p 1300 円
(新語・流行語辞典, 現代用語・時事用語辞典, 新聞語辞典)
- 870 3 行でわかる 現代新語情報辞典 *A Dictionary of New Terms* 第 6 版 (学研辞典編集部編)
学習研究社 2008-6 B6 4, 524p 1500 円
- 871 朝日キーワード 2008 *Asahi Keywords* (朝日新聞社編) 朝日新聞社 2008-1 A5 358p 1
100 円
- 872 今がわかる最新時事用語 2009 年版 190 テーマをズバリ解説!! (Seibido Mook) *Most Current
Words 2009* (成美堂出版編集部編) 成美堂出版 2008-3 B5 171p 950 円
- 873 現代用語の基礎知識 2008 年版 *The Encyclopedia of Contemporary Words* (自由国民社編刊)
2008-1 A5 1640p 2667 円
[付・「12 か月のきまりごと歳時記 五感でたのしむ季節の事典」(A5 版, 128p)]
- 874 時事ニュースワード 2008 *Jiji News Word 2008* (時事通信社編著) 時事通信出版局 2008-2
A5 326p 1200 円
- 875 「図解」まるわかり時事用語 絶対押えておきたい、最重要時事を完全図解! 2008→2009 年版
Intelligible Current Term (ニュース・リテラシー研究所編著) 新星出版社 2008-1 B
5 143p 1000 円
- (死語辞典)
- 876 懐かしい日本語辞典 (佐藤勝；小杉商一編著) 東京堂出版 2008-1 B6 4, 311p 2600 円
- (古語辞典)
- 877 旺文社 古語辞典 第 10 版 (松村明；山口明徳；和田利政編) 旺文社 2008-10 B6 1567p

2800 円

[付・別冊『助動詞・助詞の早わかり表と「百人一首」の手引き』(B6 判, 112p)]

878 江戸時代語辞典 (穎原退蔵著 尾形仿編) 角川学芸出版 2008-11 B5 1343p 22000 円

879 日本文学色彩用語集成 中世 新装版 (伊原昭) 笠間書院 2008-4 A5 420p 9500 円

[昭和 50 年刊の新装版]

880 江戸ぢぐち事典 川越の灯ろう絵 (色田幹雄編) 文芸社 2008-5 B6 301p 1500 円

(外来語辞典)

881 日本語を使いさばく カタカナ語の辞典 (現代言語研究会) あすとり出版 2008-4 B6 590p
1900 円

882 マスコミに強くなる カタカナ新語辞典 *A Dictionary of Katakana Words* 第 7 版 (学研辞典
編集部編) 学習研究社 2008-11 B6 650p 1500 円

(慣用句・熟語成句・故事ことわざ辞典)

883 仏教がわかる四字熟語辞典 (森章司; 小森英明編) 東京堂出版 2008-8 B6 25, 316, 16p 33
00 円

884 聞きかじり故事成句 (主婦の友社編刊) 2008-1 B6 287p 1000 円

885 ことわざと故事・名言分類辞典 (野本拓夫編) 法学書院 2008-12 B6 9, 385p 1800 円

886 仏教名言・名句事典 (須藤隆仙) 新人物往来社 2008-12 A5 297p 9000 円

887 *八重山ことわざ事典 新編増補版 (宮城信勇) 沖縄タイムス社 2008-4 A5 544p 6500 円

(語源辞典)

888 暮らしのことば 新 語源辞典 (山口佳紀編) 講談社 2008-11 A5 957p 4500 円

(略語辞典)

889 KY 語辞典 ギャル語からビジネス用語まで欧文略語 1200 語以上収録! (BLOCKBUSTER; 現代略語
研究会編著) 白夜書房 2008-4 B6 207p 505 円

(表現辞典 枕詞辞典)

890 大きな活字 日本の伝統の言葉辞典 (荒木清) 日東書院 2008-6 B6 小 318p 920 円

891 広辞苑一日一語 広辞苑第 6 版刊行記念 (岩波書店辞典編集部編) 岩波書店 2008-1 B6 21
8p 非売

[広辞苑第 6 版予約特典]

892 ザ・俳句十万人歳時記 夏 (松田ひろむ編 有馬朗人; 宇多喜代子; 金子兜太; 広瀬直人監修)
第三書館 2008-8 A5 21, 1224p 3000 円

893 迷解 国語笑辞典 (郡司利男) 東京堂出版 2008-3 B6 213p 1800 円

[外史の名で出版した『迷解笑辞苑』(昭和 56 年開拓社)と『一知半解辞典』(昭和 58 年、開
拓社)の見出し項目を選びなおし、再編纂したもの]

894 笑いの日本語事典 (中村明) 筑摩書房 2008-12 B6 296, 14p 2000 円

895 四季のことば辞典 *The Nine Hundred Essential Japanese Season Words* (西谷裕子) 東京堂
出版 2008-10 B6 397p 2400 円

896 使いたい言葉がわかる早引き俳句用字辞典 (復本一郎監修) 三省堂 2008-6 A6 539p 1500
円

[1998 年 9 月刊『三省堂俳句用字便覧』の改題新装版]

- 897 日本うたことば表現辞典 12 歌枕編 上 (日本うたことば表現辞典刊行会編 大岡信監修) 遊
子館 2008-8 B5 32, 442p 2 冊 36000 円
- 898 日本うたことば表現辞典 13 歌枕編 下 (日本うたことば表現辞典刊行会編 大岡信監修) 遊
子館 2008-8 B5 19, 377(p. 443-819)p
- 899 和歌の歌枕・地名大辞典 (吉原栄徳) おうふう 2008-5 B5 32, 2282p 24000 円
- 900 祝詞大百科事典 (西牟田崇生) 国書刊行会 2008-10 B5 46, 854p 19048 円
- 901 “生きた” 例文で学ぶ! 日本語表現文型辞典 英・中・韓対訳付き (アスク出版編集部編)
アスク出版 2008-9 A5 476p 2400 円

(コミュニケーション関係辞典 (記号辞典など))

- 902 日本語を使いさばく 名言名句の辞典 (現代言語研究会著 文彩; アツミ出版編) あすとろ出
版 2008-4 B6 397p 1600 円

◇文字辞典 (字体・筆順・くずし字, 宛字辞典)

- 903 古典かな字鑑 携帯版 (飯島春敬; 筒井敬玉編) 書芸文化新社 2008-7 B6 266p 2800 円
- 904 基本日本語活字集成 OpenType 版 (アイデア編集部編) 誠文堂新光社 2008-2 A4 638p 4
300 円
[アイデア 2007 年 5 月号別冊「基本 日本語活字見本集成 OpenType 版」をくるみ替えし、
新たに書籍として発行したもの]

- 905 日本古代木簡字典 (奈良文化財研究所編) 八木書店 2008-6 B6 192p 2200 円

◇漢和辞典

- 906 常用漢字読み書き辞典 (氷田光風; 渡辺富美雄編) 学習研究社 2008-5 A5 528p 1700 円
- 907 日本語学習のための よく使う順 漢字 2100 付録 CD-ROM: 漢字語彙 3 万 6 千語—学習指標値
付き *Kanji 2100 Listed According to Frequency and Familiarity with CD-ROM: 36, 000 K
anji Vocabulary with the Study Value Index* (徳弘康代編) 三省堂 2008-4 A5 31, 511
p 2300 円
[付: CD-ROM1 枚(12cm)]

◇対訳辞典

- 908 外国地名よみかた辞典 *Guide to Reading and Spelling of Foreign Geographical Names* (日
外アソシエーツ編刊) (紀伊国屋書店) 2008-8 A5 5, 944p 12000 円
- 909 講談社パックス中日・日中辞典 *Kodansha Pax Zhong-Ri Ri-Zhong Cidian* (相原茂編) 講談
社 2008-4 A6 132, 1483p 3200 円
- 910 *字引 上 日本漢字の全ての読みから中国語(普通話)と(広東語)の発音記号が一目で解る
あ行からさ行 改訂版 (いまひろよ著刊 胡麗明共著) 2008-5 B6 426p 3000 円
- 911 *字引 下 日本漢字の全ての読みから中国語(普通話)と(広東語)の発音記号が一目で解る
あ行からさ行 改訂版 (いまひろよ著刊 胡麗明共著) 2008-5 B6 427-820, 5p 3000 円
- 912 中国語新語辞典 五訂版 (呉侃編著 金丸邦三監修) 同学社 2008-11 B6 7, 455p 4000 円
- 913 中日辞典 新語・情報篇 *Zhong-ri Cidian Xin Ciyu* (宇野和夫; 呉川編集代表) 小学館 20
08-5 B6 7, 31, 633p 3800 円
- 914 超級クラウン中日辞典 *Sanseido's Super Crown Chinese-Japanese Dictionary* (費錦昌; 古川
裕; 樋口靖; 白井啓介; 代田智明編著 松岡栄志編主幹) 三省堂 2008-2 B6 110, 1728p

6000 円

- 915 身につく中日・日中辞典 *Practical Chinese-Japanese Japanese-Chinese Dictionary* (三省堂編修所編 千葉謙悟;熊進監修) 三省堂 2008-3 B6 20, 34, 10, 537, 117p 2800 円
[付・CD1 枚(8cm)]
- 916 ビジネス日本語用例辞典 改訂新版 (JAL アカデミー) アスク出版 2008-1 A5 6, 493p 2400 円
- 917 小学館日韓辞典 *Shogakukan Japanese-Korean Dictionary* (油谷幸利;門脇誠一;松尾勇;高島淑郎編) 小学館 2008-9 B6 6, 1209p 4200 円
- 918 アンカーコズミカ英和辞典 *The Anchor Cosmica English-Japanese Dictionary* (山岸勝栄編者代表) 学習研究社 2008-3 B6 22, 2201p 3300 円
- 919 イメージ活用英和辞典 *A Practical and Illustrative English-Japanese Dictionary* (政村秀実) 小学館 2008-2 B6 701p 2400 円
- 920 ウィズダム和英辞典 *The Wisdom Japanese-English Dictionary* (小西友七編修主幹) 三省堂 2007-1 B6 7, 2097p 5200 円
- 921 英語日記表現辞典 *English Expressions for Your Diary* (ハミヨンオク) アルク 2008-3 A5 578p 2300 円
- 922 英和翻訳表現辞典 基本表現・文法編 *The English-Japanese Translation Dictionary; Basic Expressions and Grammar* (大谷豪見;千代美樹;久保尚美;宮本文著 中村保男編) 研究社 2008-6 B6 12, 273p 2800 円
- 923 オーレックス英和辞典 *O-lex English-Japanese Dictionary* (野村恵造編) 旺文社 2008-10 B6 24, 2279p 3300 円
- 924 *オーレックス和英辞典 *O-lex Japanese-English Dictionary* (野村恵造編) 旺文社 2008-10 B6 2124p 3300 円
- 925 研究社 ふりがな英和辞典 *Kenkyusha's Furigana English-Japanese Dictionary* 改訂増補版 (研究社辞書編集部編) 研究社 2008-7 B6 9, 1235p 2500 円
- 926 最新英語語法辞典 *The Newest Dictionary of English Usage* (福井慶一郎;北山長貴) 朝日出版社 2008-4 A5 12, 302p 2500 円
- 927 新和英大辞典・プラス *Kenkyusha's New Japanese-English Dictionary Plus* (渡辺敏郎;Boyd, Stephenほか編) 研究社 2008-7 A5 455p 2800 円
- 928 ポケットプログレッシブ英和辞典 2色刷 *Pocket Progressive English-Japanese Dictionary* 第3版 (堀内克明編) 小学館 2008-2 B40, B6小 807p 1750 円
- 929 ポケットプログレッシブ和英辞典 2色刷 *Pocket Progressive Japanese-English Dictionary* 第3版 (堀内克明;石山宏一編) 小学館 2008-2 B40, B6小 633p 1750 円
- 930 ライトハウス和英辞典 *Lighthouse Japanese-English Dictionary* 第5版 (小島義郎;竹林滋;中尾啓介編) 研究社 2008-10 B6 12, 1418p 2600 円
- 931 しぐさの英語表現辞典 新装版 (小林祐子編著) 研究社 2008-12 B6 780p 3600 円
- 932 テーマ別 英語ことわざ辞典 *A Dictionary of English Proverbs; Classified by Category and Theme* (安藤邦男) 東京堂出版 2008-9 B6 310p 2200 円
- 933 日本語の決まり文句 英語表現辞典 (竹村日出夫編) 東京堂出版 2008-8 B6 245p 2000 円

- 934 クラウン独和辞典 *Wörterbuch Deutsch-Japanisch Crown* 第 4 版 (信岡資生編集主幹 浜川祥枝監修) 三省堂 2008-2 B6 42,1858p 4200 円
[付・CD1 枚]
- 935 新現代独和辞典 *Wörterbuch der Deutschen und Japanischen Gegenwartssprache* 新装版 (シンチンゲル, ロベルト; 山本明(ドイツ語); 南原実編) 三修社 2008-4 B6 16,1723p 4200 円
- 936 ドイツ語 不変化詞辞典 *Deutsch-Japanisches Wörterbuch der Unflektierbaren Wortarten* 新装版 (岩崎英二郎; 小野寺和夫編) 白水社 2008-9 B6 660p 4700 円
[1969 年刊の新装版]
- 937 旺文社ロワイヤル・ポッシュ仏和・和仏辞典 *Dictionnaire de Poche Français-Japonais Japonais-Français Royal* 第 3 版 (田村毅編) 旺文社 2008-3 A6 4,987p 2400 円
- 938 小学館プログレッシブ仏和辞典 *Shogakukan Dictionnaire Français-Japonais* 第 2 版 (大賀正喜編者代表) 小学館 2008-3 B6 1631p 3600 円
- 939 日本語-フランス語-ドイツ語-英語 4ヶ国語辞典 *Useful Dictionary of Japanese French German English* (国際語学社編集部編) 国際語学社 2008-11 B6 383p 3500 円
- 940 すぐにつかえるスペイン語-日本語-英語辞典 スペイン語・カタカナ・ひらがな・漢字・ローマ字・英語による 3ヶ国語日常生活用語辞典 (国際語学社編刊) 2008-8 B6 403p 3300 円
- 941 和伊中辞典 *Dizionario Shogakukan Giapponese-Italiano* 第 2 版 (西川一郎編 和田忠彦監修) 小学館 2008-3 B6 10,1797p 6900 円
- 942 学校で役立つ 日・タイ対訳 学習語彙・用例集 (日・タイを言葉で結ぶ会ラックパートナーサイ編) 静山社 2008-9 A5 464p 2500 円
- 943 簡明日本語-ポーランド語 ポーランド語-日本語辞典 (渡辺克義編著) 国際語学社 2008-12 B6 323p 3600 円
- 944 新約ギリシヤ語辞典 増補改訂 (岩隈直) 教文館 2008-4 B6 13,630p 6500 円
- 945 すぐにつかえる ベトナム語-日本語-英語辞典 (佐川年秀編著) 国際語学社 2008-7 B6 374p 3300 円
- 946 *トゥヴァ語・日本語小辞典 *Тыва-японь ичеловарь* (中嶋善輝) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 2008-7 A4 4,138p
- 947 日本語-アラビア語動詞用例辞典 (宮本雅行編著) 国際語学社 2008-10 B6 380p 3800 円
- 948 日本語フィンランド語小辞典 *Japanilais-suomalainen Opiskelusanakirja* (荻島崇) 大学書林 2008-7 B6 小 5,669p 8500 円
- 949 補訂 満州語文語辞典 (福田昆之編) F L L 2008-3 A5 3,931p 30000 円
- 950 マレーシア語学習辞典 *Kamus Pelajar Bahasa Malaysia* (川上雄作著 アジアのことばと辞書の会編) ユニウス 2008-3 A5 400p 3810 円
- 951 マレーシア語辞典 *Kamus Bahasa Malaysia-Jepun* ポケット版 (小野沢純; 本田智津絵編著) 大学書林 2008-4 B40 5,798p 8500 円
- 952 すぐにつかえる 日本語-ネパール語-英語辞典 ネパール語・カタカナ・ひらがな・漢字・ローマ字・英語による 3ヶ国語日常生活用語辞典 (プラダナング, ラジェシュ編著) 国際語学

社 2008-6 B6 412p 3500 円

953 すぐにつかえる 日本語-マレーシア語-英語辞典 カタカナ・ひらがな・漢字・ローマ字・マレーシア語・英語による 3ヶ国語日常生活用語辞典 新版(新井卓治編著) 国際語学社 2008-3 B6 482p 3500 円

954 ハンディ 日本語-フィリピン語-英語 フィリピン語-日本語-英語 実用辞典 旅行にも、生活にも使える! *Hapon-Tagalog-Ingles Tagalog-Hapon-Ingles Diksiyonaryo; Japanese-Pilipino (Tagalog)-English/Pilipino (Tagalog)-Japanese-English* (国際語学社編集部編) 国際語学社 2008-9 B6 381p 2700 円

◇各科辞(字)典

955 計量書誌学辞典(ディオダート, ヴァージル著 芳鐘冬樹; 岸田和明; 小野寺夏生訳) 日本図書館協会 2008-6 A5 211p 2500 円

[Diodato, Virgil; *Dictionary of Bibliometrics.*, Haworth Press, 1944 の翻訳]

956 *出版社の日常用語集 第4版(日本書籍出版協会編) 日本書籍出版協会 2008-3 A5 80p 700 円

957 応用倫理学事典(加藤尚武編集代表) 丸善 2008-1 A5 17,990p 20000 円

958 暮らしの仏教語彙事典 上(辻本敬順) 本願寺出版社 2008-8 A6 274p 600 円

959 暮らしの仏教語彙事典 下(辻本敬順) 本願寺出版社 2008-8 A6 237p 600 円

960 真宗聖語大辞典(浅井成海; 渡辺晃純監修) 四季社 2008-5 B5 489p 18000 円

961 新聖書大辞典 *The New Dictionary of The Bible* (馬場嘉市編) キリスト新聞社 2008-2 B5 1570, 236p 45000 円

[1988年刊のオンデマンド版]

962 聖書学用語辞典(樋口進; 中野実) 日本キリスト教団出版局 2008-3 A5 416p 7200 円

963 日本中世史事典(阿部猛; 佐藤和彦編) 朝倉書店 2008-11 A5 7,891, 16p 25000 円

964 行政カタカナ用語辞典(イマジン自治情報センター編 中邨章監修) イマジン出版 2008-8 A5 281p 2200 円

965 教職用語辞典(原聡介編代表) 一藝社 2008-4 B6 3,509p 2500 円

966 発達障害基本用語事典(日本発達障害学会監修) 金子書房 2008-8 B6 5,275p 2700 円

967 カラー版 医学ユーモア辞典 改訂第3版(長谷川栄一) エルゼビア・ジャパン 2008-7 A5 680p 4200 円

968 Makino, Seiichi; Tsutsui, Michio: *A Dictionary of Advanced Japanese Grammar*; 日本語文法辞典 上級編. --Tokyo, The Japan Times, 2008-5. B6, 51, 795p. 3800 円

969 動詞・形容詞・副詞の事典(森田良行) 東京堂出版 2008-10 B6 288p 2800 円

970 Rickmeyer, Jens: *Kleines Japanisches Valenzlexikon 2., Verbesserte Auflage.* --Hamburg, Helmut Buske, 2008. A5, 8, 299p.

[日本語書名「実例・独訳付き 日本語動詞格支配小辞典」]

971 くらべてわかる 日本語表現文型辞典 表現文型765収録 *A Guide to Useful Japanese Sentence Patterns; Comparing and Understanding the Differences* (岡本牧子; 氏原庸子) Jリサーチ出版 2008-8 A5 357p 2000 円

972 沖縄民俗辞典(渡辺欣雄; 岡野宣勝; 佐藤壮広; 塩月亮子; 宮下克也編) 吉川弘文館 2008-7

A5 11, 582, 74p 8000 円

- 973 デジタル人工知能学事典 *Digital Encyclopedia of Artificial Intelligence* (人工知能学会編) 共立出版 2008-5 A5 142p 12000 円
[付・CD-ROM 1 枚]
- 974 世界のことば・辞書の辞典 アジア編 *Languages of the World:A Dictionary of Dictionaries:Asian Languages* (石井米雄編) 三省堂 2008-8 A5 11, 414p 3200 円
- 975 世界のことば・辞書の辞典 ヨーロッパ編 *Languages of the World:A Dictionary of Dictionaries:European Languages* (石井米雄編) 三省堂 2008-8 A5 11, 485p 3200 円
- 976 王朝文化辞典 万葉から江戸まで (山口明穂; 鈴木日出男編) 朝倉書店 2008-11 B5 19, 551, 41p 18000 円
- 977 俳文学大辞典 普及版 (尾形侑; 草間時彦; 島津忠夫; 大岡信; 森川昭編 加藤楸邨; 大谷篤蔵; 井本農一監修) 角川学芸出版 (角川グループパブリッシング) 2008-1 A5 10, 1200p 8000 円
[平成 7 年刊の普及版]
- 978 * 万葉集神事語辞典 (城崎陽子; 国学院大学研究開発推進機構日本文化研究所編 辰巳正明監修) 国学院大学 2008-6 B5 272p
- 979 江戸明治 唐話用例辞典 (小田切文洋編著) 笠間書院 2008-11 B5 10, 587p 15000 円
- 980 川柳 神と仏の辞典 (シリーズ 江戸を識る辞典) (清博美編著) 川柳雑俳研究会 2008-3 A5 269p 4500 円
- 981 川柳 文句取の辞典 (シリーズ 江戸を識る辞典) (清博美編著) 川柳雑俳研究会 2008-3 A5 271p 4500 円
[『江戸川柳 文句取辞典』の増補改訂版]
- 982 現代俳句大事典 *Encyclopedia of Modern Haiku* 普及版 (稲畑汀子; 大岡信; 鷹羽狩行監修) 三省堂 2008-9 B6 7, 665, 91p 4800 円
[付: CD-ROM1 枚]

◇用字用語辞典

- 983 記者ハンドブック 新聞用字用語集 第 11 版 (共同通信社編著刊) 2008-3 B6 740p 1700 円
- 984 読売新聞 用字用語の手引 改訂新版 (読売新聞社編著) 中央公論新社 2008-9 B6 765p 1500 円
- 985 参議院会議録用字例 (参議院記録部編刊) 2008-1 A6 534p
- 986 三省堂 新旧かなづかい便覧 新装版 (三省堂編修所編) 三省堂 2008-7 A6 458p 1500 円
- 987 揺れる日本語どっち? 辞典 (神田龍之介著 篠崎晃一監修) 小学館 2008-2 B6 318p 1400 円

◇索引

- 988 中興禅林風月集抄 総索引 (来田隆) 清文堂出版 2008-9 A5 843p 16000 円
- 989 和刻本『笑府』三種総合索引 (荒尾禎秀編刊) 2008-2 A4 3, 137, 162, 8p
- 990 現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記 全 5 巻 総索引 *The Iwakura Embassy* (水沢周) 慶応義塾大学出版会 2008-7 B6 小 113p 500 円

- 991 訓点語彙集成 4 し～そ (築島裕編) 汲古書院 2008-4 A5 562p 20000 円
- 992 訓点語彙集成 5 た～と (築島裕編) 汲古書院 2008-7 A5 693p 20000 円
- 993 訓点語彙集成 6 な～ひ (築島裕編) 汲古書院 2008-11 A5 717p 20000 円
- 994 定家仮名遣関係索引 アクセント仮名遣索引 東山御文庫本『案秘』翻刻・『僻案抄』声点付語彙索引〈アクセント史資料索引 20〉(坂本清恵; 秋永一枝編) アクセント史資料研究会 2008-9 A5 49, 49p

□参考資料

◇研究情報

- 995 日本語学会大会予稿集 2008 年春季('08. 5. 17~18 日本大学文理学部), 秋季('08. 11. 2~3 岩手大学) (日本語学会編刊) 2008-5, 11 B5 222, 268p

◇目録(書目)・解題

- 996 参考図書解説目録 2003-2007 *Reference Books in Japan 2003-2007* (日外アソシエーツ編集部編刊) (紀伊国屋書店) 2008-7 B5 13, 1290p 28000 円
- 997 翻訳図書目録 3 芸術・言語・文学 2004-2007 *Catalog of Books Translated into Japanese from Foreign Languages 2004-2007; III: Arts, Languages & Literature* (日外アソシエーツ編刊) (紀伊国屋書店) 2008-5 A5 7, 1609p 30000 円
- 998 : LLBA(Linguistics and Language Behavior Abstracts from CSA) 42(2008)-1~5. --Proquest, 2008-2, 4, 7, 10, 12. A4, 5 冊.
- 999 民話・昔話全情報 2000 - 2007 *Complete List of Japanese Books of Myths, Folktales, Legends and Folk Songs 2000-2007* (日外アソシエーツ編刊) (紀伊国屋書店) 2008-2 A5 13, 617p 19000 円
- 1000 「日本語」の本全情報 2003-2007 *Complete List of Japanese Books of Japanese Language 2003-2007* (日外アソシエーツ編刊) (紀伊国屋書店) 2008-4 A5 12, 834p 20000 円
- 1001 *俳諧研究文献目録 連歌・俳諧・雑俳・川柳 (日外アソシエーツ編刊 楠元六男監修) (紀伊国屋書店) 2008-3 B5 594p 42857 円
- 1002 国語教育文献総合目録 1958(昭和33)年~2007(平成19)年 *A Bibliography of Japanese as a First Language; From 1958 to 2007* (浜本純逸編) 溪水社 2008-2 B5 4, 279p 3800 円
- 1003 第二次大戦期以降の日本語教育教材目録 (吉岡英幸編刊) 2008-3 A4 166p
[平成17~19年度科学研究費補助金基盤研究(C)「日本語教育における教材・教授法の史的研究」研究成果報告書]
- 1004 人文書の見取り図と基本図書〈人文書のすすめ4〉(人文会編刊) 2008-10 A5 117, 226p 非売
- 1005 東洋学文献類目 二〇〇五年度 *Annual Bibliography of Oriental Studies for 2005* (京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター編刊) 2008-3 A4 642p
[付・別冊「東洋学文献類目2005年度補遺版」(B5判, 79p)]
15. 言語文字学 論文の部 pp. 398-420 単行本の部 pp. 459-460 European Languages 15. Philology Articles pp. 498-501 Books pp. 531-532
- 1006 吉田巖書誌〈北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書4〉 *A Bibliography of YOSHIDA Iwao* (小川正人編著) 北海道立アイヌ民族文化研究センター 2008-3 B5 68p
- 1007 「日本語学」特集テーマ別ファイル IT 関連 1 普及版 (宮地裕; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008-8 A5 3, 155p 1500 円
[2005年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
インターネット検索技術と日本語研究. メディアリテラシーとことば.
- 1008 「日本語学」特集テーマ別ファイル IT 関連 2 普及版 (宮地裕; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008-8 A5 3, 155p 1500 円

- [2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
コンピュータによる日本語研究の新展開. ブログのことは.
- 1009 「日本語学」特集テーマ別ファイル 意味 1 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008
-5 A5 3, 140p 1200 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
語の意味. 意味と構文
- 1010 「日本語学」特集テーマ別ファイル 意味 2 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008
-5 A5 4, 134p 1200 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
命名. 言語感覚
- 1011 「日本語学」特集テーマ別ファイル 意味 3 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008
-5 A5 3, 160p 1500 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
類義語・多義語. 対義語. 同音語・類音語
- 1012 「日本語学」特集テーマ別ファイル 意味 4 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008
-6 A5 3, 131p 1200 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
擬音語・擬態語. 色彩語
- 1013 「日本語学」特集テーマ別ファイル 漢字・漢語 1 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院
2008-7 A5 3, 159p 1500 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
漢語・漢字の位相. 漢文・漢語の世界
- 1014 「日本語学」特集テーマ別ファイル 漢字・漢語 2 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院
2008-8 A5 3, 122p 1200 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
漢字. 漢字と情報処理
- 1015 「日本語学」特集テーマ別ファイル 語彙 1 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008
-6 A5 4, 178p 1500 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
私の語彙論. 基本語彙. 語彙分類・意味分類
- 1016 「日本語学」特集テーマ別ファイル 語彙 2 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008
-6 A5 3, 164p 1500 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
単語とは何か. 複合語
- 1017 「日本語学」特集テーマ別ファイル 語彙 3 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008
-7 A5 3, 119p 1200 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
語種論. 和語
- 1018 「日本語学」特集テーマ別ファイル 語彙 4 普及版 (宮地裕 ; 甲斐睦朗編) 明治書院 2008

-7 A5 3, 167p 1500 円

[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]

漢語. 洋語

- 1019 「日本語学」特集テーマ別ファイル 国語教育 1 普及版 (宮地裕; 甲斐睦朗編) 明治書院
2008-9 A5 3, 162p 1500 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
教科書の日本語. 国語教科書の理想と現実.
- 1020 「日本語学」特集テーマ別ファイル 国語教育 2 普及版 (宮地裕; 甲斐睦朗編) 明治書院
2008-9 A5 3, 154p 1500 円
学校教育の漢字. 新しい時代の漢字教育
- 1021 「日本語学」特集テーマ別ファイル 国語教育 3 普及版 (宮地裕; 甲斐睦朗編) 明治書院
2008-10 A5 3, 136p 1200 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
ディベート. 敬語教育
- 1022 「日本語学」特集テーマ別ファイル 国語教育 4 普及版 (宮地裕; 甲斐睦朗編) 明治書院
2008-10 A5 3, 155p 1500 円
[2005 年刊のものをベースに点数を増やして普及版とした]
作文教育. 「手紙」教育
- 1023 日本語学論説資料 43 2006(平成 18 年)-2(増刊). 文法 *Collected Articles on the Japanese Language; Grammar* (論説資料保存会編刊 国立国語研究所監修) 2008-10 B5 小 5, 150, 71
1p
- 1024 日本語学論説資料 43 2006(平成 18 年)-1. 国語学一般 国語史 表記 *Collected Articles on the Japanese Language; General Studies, Historical Studies, Writing System* (論説資料保存会編刊 国立国語研究所監修) 2008-10 B5 小 7, 638, 426p
- 1025 日本語学論説資料 43 2006(平成 18 年)-2. 文法 *Collected Articles on the Japanese Language; Grammar* (論説資料保存会編刊 国立国語研究所監修) 2008-10 B5 小 5, 220, 634p
- 1026 日本語学論説資料 43 2006(平成 18 年)-3. 語彙 *Collected Articles on the Japanese Language; Lexicology* (論説資料保存会編刊 国立国語研究所監修) 2008-10 B5 小 7, 439, 624p
- 1027 日本語学論説資料 43 2006(平成 18 年)-4. 文体 音韻 方言 *Collected Articles on the Japanese Language; Stylistics, Phonology, Dialectology* (論説資料保存会編刊 国立国語研究所監修) 2008-10 B5 小 7, 318, 749p
- 1028 日本語学論説資料 43 2006(平成 18 年)-5. コミュニケーション *Collected Articles on the Japanese Language; Communication Studies* (論説資料保存会編刊 国立国語研究所監修) 2008-10 B5 小 9, 56, 1018p
- 1029 日本語学論説資料 43 2006(平成 18 年)-5(増刊). 言語学・対照研究 *Collected Articles on the Japanese Language; Linguistics, Contrastive Studies* (論説資料保存会編刊 国立国語研究所監修) 2008-10 B5 小 5, 12, 840p
- 1030 本文史学の展開 言葉をめぐる精査〈テーマで読む源氏物語論 2〉(上原作和; 陣野英則編 今西祐一郎; 室伏信助監修) 勉誠出版 2008-7 A5 6, 483p 8000 円

- 1031 源氏物語と紫式部 研究の軌跡(紫式部顕彰会編 角田文衛;片桐洋一監修) 角川学芸出版(角川グループパブリッシング) 2008-7 A5 478, 888p 28000 円
[「研究史篇」と「資料篇」の2分冊]
- 1032 英語学論説資料 40 2006(平成18)年-1. 言語学英語学一般 意味論 *Collected Articles on The English Language:General Studies, Semantics* (論説資料保存会編刊) 2008-6 B5 小 6, 848p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1033 英語学論説資料 40 2006(平成18)年-2. 語用論 言語文化 英学 語法 *Collected Articles on The English Language;Pragmatics, Language and Culture, English Studies, Usage* (論説資料保存会編刊) 2008-6 B5 小 6, 841, 8p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1034 英語学論説資料 40 2006(平成18)年-3. 文法 語彙・辞書 *Collected Articles on The English Language:Grammar, Lexicology* (論説資料保存会編刊) 2008-6 B5 小 8, 1057p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1035 英語学論説資料 40 2006(平成18)年-4. 音韻論 比較研究 *Collected Articles on The English Language;Phonology, Contrastive Studies* (論説資料保存会編刊) 2008-6 B5 小 6, 852 p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1036 英語学論説資料 40 2006(平成18)年-5. 文体論 史的研究 諸論 *Collected Articles on The English Language;Stylistics, Historical Studies, Miscellaneous* (論説資料保存会編刊) 2008-6 B5 小 6, 857p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1037 英語学論説資料 40 2006(平成18)年-6. 英語教育 *Collected Articles on The English Language;TEFL* (論説資料保存会編刊) 2008-6 B5 小 6, 853p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1038 中国関係論説資料 48 2006(平成18)年-2(下). 文学 語学 *Collected Articles on China;Literature, Language* (論説資料保存会編刊) 2008-1 B5 小 7, 384, 676p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1039 中国関係論説資料 48 2006(平成18)年-2(増刊). 文学 語学 *Collected Articles on China;Literature, Language* (論説資料保存会編刊) 2008-1 B5 小 7, 355, 715p
[付・CD-ROM1 枚]
- 1040 中国関係論説資料 48 2006(平成18)年-2(上). 文学 語学 *Collected Articles on China;Literature, Language* (論説資料保存会編刊) 2008-1 B5 小 6, 499, 556p
[付・CD-ROM1 枚]

◇年鑑

- 1041 国語年鑑 2008 年版 *Kokugo-Nenkan:Japanese Language Studies:Annual Survey and Bibliography* (国立国語研究所編) 大日本図書 2008-12 A5 674p 7700 円
- 1042 日本語教育年鑑 2008 年版 *Annual Review of Japanese Language Education* (国立国語研究所編) くろしお出版 2008-10 A5 4, 319p 4200 円

1. 特集「生活者としての外国人のための日本語」 2. 日本語教育の動向 3. 資料

- 1043 Permanent International Committee of Linguists(ed.): Linguistic Bibliography for the Year 2004 and Supplement for Previous Years. --Leiden, Boston, Brill, 2008. B5 小, 102, 1282 p.
Eurasianic Languages 1. 2. 6. Japanese pp. 1018-1032 (No. 14265-14425) 2. Ainu pp. 1033 (No. 14426-14430)
- 1044 英語年鑑 2008 年版 *Kenkyusya Yearbook of English* (英語年鑑編集部編) 研究社 2008-3
B6 5, 606p 20000 円
- 1045 文芸年鑑 平成 20 年版 (日本文芸家協会編) 新潮社 2008-6 A5 288, 238p 4200 円
- 1046 読売年鑑 2008 年版 *Yomiuri Yearbook* (読売新聞社編刊) 2008-3 B5 720p 6190 円
[付・別冊「分野別人名録」(B5 判, 626p)]
- 1047 日本新聞年鑑 '08/'09 年版 (日本新聞協会編) 電通 2008-11 B5 711p 12000 円
- 1048 NHK 年鑑 2008 *Radio & Television Yearbook 2008* (NHK 放送文化研究所編) 日本放送出版
協会 2008-10 B5 814p 6700 円

□国語研究資料

◇資料一般

- 1049 図説 日本の辞書 (沖森卓也編) おうふう 2008-10 A5 140p 1800 円
- 1050 「訓読」論 東アジア漢文世界と日本語 (中村春作; 市来津由彦; 田尻祐一郎; 前田勉編) 勉誠出版 2008-10 A5 6, 338, 18p 4800 円
- なぜ、いま「訓読」論か (中村春作) <第 1 部 異文化理解の「課題」としての訓読> 「訓読」の思想史 <文化の翻訳>の課題として (中村春作) 近代における「漢文直読」論の由緒と行方 重野・青木・倉石をめぐる思想状況 (陶徳民) ピジン・クレオール語としての「訓読」 (高津孝) ベトナムの「訓読」と日本の「訓読」 「漢文文化圏」の多様性 (岩月純一)
- <第 2 部 訓読と日本語・日本文化の形成> 日本における訓点資料の展開 主として音読の視点から (沼本克明) 近世における漢文訓読法の変遷と一斎点 (斎藤文俊) 漢文訓読体と敬語 (前田勉) 国語施策と訓点語学 (山東功) <第 3 部 訓読論の地平> <訓読>問題と古文辞学 荻生徂徠をめぐって (田尻祐一郎) 表現文法の代用品としての漢文訓読 (加藤徹)
- 日本漢文の訓読とその将来 (小島毅) 漢文訓読の現象学 文言資料読解の現場から (市来津由彦)

◇上代

- 1051 歌経標式 影印と注釈 (沖森卓也; 佐藤信; 平沢竜介) おうふう 2008-12 A5 365p 9500 円
- 1052 誤解された万葉語 (吉田金彦) 勉誠出版 2008-12 12, 344, 19p 5000 円
1. 誤解された万葉語 2. 地名「草枕」から「草薙剣」「舞草刀」を考える 日本を代表する刀のふるさと 3. 家持の「鈴掛けぬ駄馬」の解釈 4. 山代国の大原野「入野」は歌垣の里 5. 万葉集の東歌に詠まれた壬申の乱 6. 望郷の歌、恋の歌 新田山 7. 地名に託す官人の思い 万葉地名「あごねの原」について 8. 有間皇子の「結び松」「椎の葉」の謎 9. 「水草」と「はだすすき」の研究 10. 万葉「赤土小屋」と地名「丹生」
- 1053 新校注 万葉集 (和泉古典叢書 11) (井手至; 毛利正守校注) 和泉書院 2008-10 A5 7, 534 p 2200 円
- 1054 * 中西進著作集 19 万葉集全訳注原文付 1 (中西進) 四季社 2008-1 A5 513p 5500 円
- 1055 * 中西進著作集 20 万葉集全訳注原文付 2 (中西進) 四季社 2008-3 A5 590p 5500 円
- 1056 * 中西進著作集 21 万葉集全訳注原文付 3 (中西進) 四季社 2008-5 A5 563p 5500 円
- 1057 * 中西進著作集 22 万葉の秀歌 (中西進) 四季社 2008-7 A5 467p 5500 円
- 1058 * 中西進著作集 23 万葉の長歌 (中西進) 四季社 2008-9 A5 405p 5500 円
- 1059 * 中西進著作集 24 鑑賞万葉集 万葉百景 (中西進) 四季社 2008-11 A5 715p 5500 円
- 1060 * 日本書紀「歌」全注釈 (大久間喜一郎; 居駒永幸編) 笠間書院 2008-3 A5 465, 20p 1200 円
- 1061 * 万葉集 (小島憲之; 木下正俊; 東野治之校訂・訳) 小学館 2008-4 B6 318p 1800 円
- 1062 万葉集校注拾遺 (工藤力男) 笠間書院 2008-2 A5 8, 230, 7p 3800 円
- <被枕詞>考 弧字と弧語—万葉集本文批評の一視点 孤立する訓仮名—憶良「老身重病」歌の「裳」 人麻呂の文字法—みやまもさやにまがへども 鶴・西宮の法則の剰余—大宮仕へ安礼衝くや 人麻呂歌集七夕歌読解法 格助詞の射程—のち見むと君が結べる 助字から見た

万葉集一満ち欠けすれそ人の常なき 格支配から読む人麻呂歌集旋頭歌一手力つとめ織れる
ころもぞ <月夜の逢会・雨夜の禁忌>考 歌語さまざま

- 1063 万葉集出典未詳七夕歌 (今泉忠芳) 御津磯夫記念館 2008-10 A5 61p 1000 円
- 1064 *万葉集全歌講義 4 卷第 7・卷第 8 (阿蘇瑞枝) 笠間書院 2008-7 A5 794p 14000 円
- 1065 *和漢・新撰朗詠集の素材研究 (田中幹子) 和泉書院 2008-2 A5 240p 8000 円
- 1066 「古事記」の真実 (文春新書 649) (長部日出雄) 文芸春秋 2008-8 B40 293p 850 円
- 1067 古事記の表現と文脈 (谷口雅博) おうふう 2008-11 A5 401p 12000 円
- 1068 豊後国風土記 肥前国風土記 (沖森卓也; 佐藤信; 矢嶋泉編著) 山川出版社 2008-2 A5 8, 101p 1700 円
- 1069 風土記受容史研究 *A Historical Study on the Acceptance of the Fudoki* (兼岡理恵) 笠間書院 2008-2 A5 8, 429, 10p 9800 円

◇中古

- 1070 古写本和名類聚抄集成 1 諸本解題・関係資料集及び語彙総集 (馬淵和夫編著) 勉誠出版 2008-8 A4 5, 247p 3 冊 65000 円
諸本解題. 和名抄関係資料集. 和名抄関係事項略年表. 語彙総集
- 1071 古写本和名類聚抄集成 2 十卷本系古写本の影印対照 (馬淵和夫編著) 勉誠出版 2008-8 A4 260p
[複製]
真福寺本 名古屋市大須宝生院蔵. 伊勢十卷本 神宮文庫蔵. 松井本 静嘉堂文庫蔵. 前田本 前田家尊経閣文庫蔵.
- 1072 古写本和名類聚抄集成 3 二十卷本系諸本の影印対照 (馬淵和夫編著) 勉誠出版 2008-8 A4 710p
[複製]
伊勢二十卷本 神宮文庫蔵. 元和古活字本. 高山寺本 天理図書館蔵. 天正本 大東急記念文庫蔵.
- 1073 高山寺典籍文書総合調査団研究報告論集 平成 19 年度 (高山寺典籍文書総合調査団編刊) 2008-3 B5 181p
- 1074 金剛寺蔵 観無量寿経 無量寿経優婆提舍願生偈註卷下 (日本古写経善本叢刊 3) *Manuscripts in the Kongō-ji Collection: Guan Wuliangshou Jing Wuliangshou Jing Yupotisheng Ji Zhu, Scroll 2* (国際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会編) 国際仏教学大学院大学学術フロンティア実行委員会 2008-12 A4 364, 5p
<資料編>1. 金剛寺蔵長寛三年写『観無量寿経』 影印・訓読 解題 諸本校異 (金水敏; 広坂直子; 岡崎友子; 箕浦尚美) 2. 金剛寺蔵保延四年写『無量寿経優婆提舍願生偈註』 卷下 カラー図版 影印・翻刻・訓読 解題 (三宅徹誠)
- 1075 菅家文草 明暦二年写藤井懶斎自筆奥書本 (石川県立図書館蔵川口文庫善本影印叢書 1) (柳沢良一編) 勉誠出版 2008-10 A5 20, 462p 12000 円
[複製]
- 1076 *清輔集新注 (芦田耕一) 青簡舎 2008-2 A5 402p 13000 円
- 1077 古今的表現の成立と展開 (研究叢書 375) (岩井宏子) 和泉書院 2008-8 A5 15, 457p 1300

0 円

1. 古今的なるものの生成と展開 2. 古今集時代の歌語の基盤と生成 3. 漢詩と和歌の世界 4. 古今集時代の漢詩世界

1078 *古今和歌集 新古今和歌集 (小沢正夫; 松田成穂校訂・訳) 小学館 2008-9 B6 318p 1800 円

1079 古今和歌集註 (慶応義塾大学附属研究所斯道文庫監修) 勉誠出版 2008-12 A5 307, 5p 10000 円

[宮城県図書館伊達文庫蔵の複製合本]

1080 *後撰和歌集 伝坊門局筆本 (片桐洋一編) 和泉書院 2008-11 A5 193, 189, 8p 50000 円
[複製]

1081 俊頼髓脳 (冷泉家時雨亭叢書 79) (冷泉家時雨亭文庫編 藤本孝一; 鈴木徳男解題) 朝日新聞社 2008-2 A5 576, 52p 30000 円

[複製]

俊頼髓脳 定家本. 俊秘抄

1082 平安私家集 12 (冷泉家時雨亭叢書 64) (冷泉家時雨亭文庫編 片桐洋一; 田中登; 鈴木徳男解題) 朝日新聞社 2008-4 A5 632, 85p 30000 円

[複製 付・冷泉家時雨亭文庫蔵平安私家集系統一覧]

太宰大弐高遠卿集. 家経朝臣集 真観本. 中納言俊忠集. 匡衡朝臣集. 為仲朝臣集 真観本. 元良親王集. 大納言経信集. 顕綱朝臣集 真観本. 侍従大納言成通集. 付録 元輔集表紙 □ 名集表紙. 解題

1083 *紫式部集新注 (田中新一) 青簡舎 2008-4 A5 276p 8000 円

1084 紫式部集大成 実践女子大学本・瑞光寺本・陽明文庫本 *The Compilation of Murasaki-Shikibu ushu* (久保田孝夫; 広田収; 横井孝編著) 笠間書院 2008-5 B5 453p 15000 円

<第一部 紫式部集諸本影印>1. 実践女子大学本『むらさき式部集』影印 2. 瑞光寺本『むらさき式部集』影印 3. 陽明文庫本『紫式部集』影印 <紫式部集翻刻>1. 実践女子大学本『むらさき式部集』翻刻 2. 瑞光寺本『むらさき式部集』翻刻 3. 陽明文庫本『紫式部集』翻刻
<紫式部集解題>1. 『紫式部集』実践女子大学本と瑞光寺本 2. 陽明文庫本『紫式部集』

1085 *頼政集夏部注釈 二〇〇七年度早稲田大学戸山リサーチセンター個別研究課題研究成果 (頼政集輪読会編刊) 2008-1 A5 7, 134p

1086 和歌 2 (大東急記念文庫善本叢刊 中古中世篇 5) (井上宗雄責任編 田中登; 松野陽一; 中村文解題) 大東急記念文庫 (汲古書院) 2008-4 A5 588, 6p 18000 円

[複製]

権大納言家歌合. 中宮権大夫家歌合. 源大納言家歌合. 六百番歌合

1087 *飯島本源氏物語 1 (池田和臣編・解説) 笠間書院 2008-12 A5 751p 18000 円

[書芸文化院春敬記念書道文庫蔵の複製]

桐壺. 帚木. 空蝉. 夕顔. 若紫. 春敬記念書道文庫蔵源氏物語解題

1088 *伊勢物語 (永井和子訳・注) 笠間書院 2008-3 B6 247p 980 円

[創英社 1978 年刊の新版]

1089 源氏物語と文学思想 研究と資料 (古代文学論叢 17) (紫式部学会編) 武蔵野書院 2008-3 A

5 403p 14000 円

『源氏物語』「飽かず」考 物語展開の動因として (高木和子) 複合動詞化する『源氏物語』
ポスト・テキスト論のために (安藤徹) <資料篇>弘安源氏論議 (管見・簡校) (高田信
敬)

1090 源氏物語の本文〈講座源氏物語研究 7〉(伊藤鉄也編 伊井春樹監修) おうふう 2008-2 A5
265p 6800 円

本文研究を再検討する意義 (室伏信助) 表記からみた鎌倉期における本文の書承・流通 (大
内英範) 鎌倉時代の古注と本文 『紫明抄』引用本文を中心に (田坂憲二) 古註釈書に引
用された本文 (松原志伸) 河内本の本文について 尾州家本の本文様態と「伝為家筆本」(大
内英範) 陽明文庫本源氏物語の待遇表現 別本とはどういう本文か (中村一夫) 中世にお
ける源氏物語の本文 了俊筆伊予切「夕顔」巻の本文系統 (新美哲彦) 近世の源氏物語本文
古活字版源氏物語を中心に (上野英子) <河内本群>を指向した下田歌子の校訂本文 『源
氏物語講義(桐壺)』の検討を通して (伊藤鉄也) 転移する不審 本文研究における系統論の
再検討 (中川照将)

1091 *源氏物語別本集成 続 5 松風一少女 (源氏物語別本集成刊行会編) おうふう 2008-5 A5
666p 20000 円

1092 狭衣物語が拓く言語文化の世界 *Sagoromo Monogatari and the Realm of Language and Cultu*
re (狭衣物語研究会編) 翰林書房 2008-10 A5 374p 6800 円

<1. 物語の時空間と言語そして文化>『狭衣物語』における<ことば>としての地名 「唐泊」
を中心として (桜井宏徳) <2. 歌ことばと物語のことばの地平から>『狭衣物語』の表現
歌枕をめぐる (乾澄子) 『狭衣物語』における歌ことばの形成と中世和歌への影響 女二
の宮の屹立する孤独とことば (井上新子) 狭衣物語が拓く歌のことば 「苔のさむしろ」「か
たしき」「巖の枕」における連鎖と連想から (佐藤達子) 『狭衣物語』とことば ことばの
決定不能性をめぐって (鈴木泰恵) 『狭衣物語』巻一の歌ことば受容をめぐる諸相 「あや
め」を詠んだ和歌六首を基点に (野村倫子) 『狭衣物語』の物語世界と和歌の方法 作中和
歌の伝達様式・表出様式に着目して (萩野敦子) 『狭衣物語』の歌の意義 『伊勢物語』六
十五段「在原なりける男」とのかかわりから (宮谷聡美) <3. 平安後期言語文化圏の広がり
に向けて>土地の名の物語史 『狭衣物語』を契機として (木村朗子)

1093 紹巴本竹取物語 原寸影印 (王朝物語史研究会編 秋山虔; 室伏信助監修) 勉誠出版 2008-1
0 B5 168p 9800 円

[複製]

1094 *竹取物語本文集成 (王朝物語史研究会編) 勉誠出版 2008-10 B6 554p 9800 円

1095 *独塊短篇集 (森鷗外訳) ゆまに書房 2008-2 B6 220p 4300 円

[春陽堂昭和 7 年刊の複製]

1096 土佐日記 蜻蛉日記 とはずがたり〈日本の古典をよむ 7〉(菊地靖彦; 木村正中; 伊牟田経久;
久保田淳校訂・訳) 小学館 2008-11 B6 318p 9800 円

1097 *枕草子 能因本 (松尾聡; 永井和子訳・注) 笠間書院 2008-3 B6 685p 2500 円

1098 *紫式部日記の新研究 表現の世界を考える (秋山虔; 福家俊幸編) 新典社 2008-5 A5 44
6p 12800 円

紫式部日記の記述主体（土方洋一） 『紫式部日記』 里居の述懐と「…人」表現（倉田実）

1099 石山寺資料叢書 文学篇 3（石山寺文化財総合調査団編） 法蔵館 2008-6 A5 277p 10000 円

[複製]

1. 大師文章 2. 本朝文粹

1100 大鏡 栄花物語〈日本の古典をよむ 11〉（橘健二；加藤静子；山中裕；秋山虔；池田尚隆校訂・訳） 小学館 2008-11 B6 317p 1800 円

1101 *大鏡全注釈（河北騰） 明治書院 2008-10 A5 583p 16000 円

1102 *大鏡・文選・源氏和歌集・拾遺 1〈冷泉家時雨亭叢書 83〉（冷泉家時雨亭文庫編） 朝日新聞社（朝日新聞出版） 2008-12 A5 790, 68p 30000 円

[複製]

大鏡. 文選. 新後拾遺和歌集. 内裏歌合. 源氏和歌集 上. 源語秘訣. 唯独自見抄. 解題

1103 江談抄〈尊経閣善本影印集成 44〉（前田育徳会尊経閣文庫編） 八木書店 2008-8 B5 8, 137, 25p 21000 円

[複製]

尊経閣文庫所蔵『江談抄』の訓読（山本真吾） 尊経閣文庫所蔵『江談抄』の書誌（吉岡真之）

1104 三宝感応要略録〔非濁編〕〈尊経閣善本影印集成 43〉（前田育徳会尊経閣文庫編） 八木書店 2008-6 B5 5, 296, 40p 26000 円

[複製]

1105 聖徳太子伝〈大東急記念文庫善本叢刊 中古中世篇 16〉（築島裕責任編解題） 大東急記念文庫（汲古書院） 2008-1 A5 673, 43p 20000 円

[複製]

太鏡百鍊鈔. 太鏡底容鈔

1106 *説話とその周辺（池上洵一） 和泉書院 2008-5 A5 664p 15000 円

<難語考証>「野猪」の正体. 「椿 = [木+栗]」の正体. 「たうさかのさへ」の所在地. 「えさい、かさい、とりふすま」の背景 <初期試論集>統計処理による文体研究の課題 一人で「ひしめく」こと.

1107 大日本古記録 中右記 6 長治二年～嘉承元年〔藤原宗忠〕（東京大学史料編纂所編） 岩波書店 2008-3 A5 3, 248p 11000 円

1108 *歎異抄略註（多屋頼俊著 石橋義秀；菊池政和監修） 法蔵館 2008-7 B6 147p 1700 円
[昭和 39 年刊の復刊]

◇中世

1109 京都女子大学図書館吉沢文庫蔵 節用集〈北大寺学術研究書 1〉（木村晟；片山晴賢；相沢貴之編 近藤良一監修） 港の人 2008-3 A5 324p 8200 円

[複製]

『増刊節用集』の原拠調査(六) 辞書編纂過程を探るために（木村晟） 『温故知新書』における『和名類聚抄』の利用（相沢貴之）

1110 続中世・近世辞書論考（菊田紀郎） 港の人 2008-6 A5 269p 7400 円

1. 合刻『倭玉篇』の依拠したもの 寛政八年刊『増補画引玉篇』において 2. 近世前期開板『倭

玉篇』の系譜 3. 弘治二年本『節用集』所載の「付録」考 『運歩色葉集』との関連を中心に
4. 慶長五年本『節用集』所載の田積・郡名順考 「南膳部州図」との比較において 5. <乾・
陰陽デハジマル>開板節用集付載の「付録」考 各国の田数記載を対象に

- 1111 室町時代古鈔本『論語集解』の研究 *Study of "Lunyu Jijie" Manuscript in "Muromachi
" Era* (高橋智) 汲古書院 2008-9 A5 334, 8p 9000 円

前論 1. 序論 室町時代古鈔本『論語集解』の背景と環境 2. 総論 室町時代古鈔本『論語集
解』の梗概と系統 3. 各論 室町時代古鈔本『論語集解』の伝本と意義 結論 講読と興廃

- 1112 * 恵慶百首全釈 (筑紫平安文学会) 風間書房 2008-4 A5 345p 9500 円

- 1113 歌人伝 三代集注 伊勢物語注 (冷泉家時雨亭叢書 80) (冷泉家時雨亭文庫編 片桐洋一; 山本
登朗; 赤瀬信吾解題) 朝日新聞社 2008-8 A5 578, 43p 30000 円

[複製]

三十六人歌仙伝. 歌人系図. 代々集大臣名字他. 三代集注. 伊勢物語山口記. 伊勢物語抄

- 1114 * 秋思歌・秋夢集新注 (岩佐美代子) 青簡舎 2008-6 A5 192p 6800 円

- 1115 * 新勅撰和歌集全釈 8 索引・論攷篇 (神作光一; 長谷川哲夫) 風間書房 2008-6 A5 257p
9000 円

- 1116 * 早歌全詞集 2 版 (外村久江; 外村南都子校注) 三弥井書店 2008-5 A5 360p 7600 円
撰要目録巻. 宴曲集. 巻第 1-5. 宴曲抄. 真曲抄. 究百集. 拾菓集. 拾菓抄. 別紙追加曲. 玉
林苑. 外物. 異説秘抄口伝巻. 撰要両曲巻

- 1117 中世私家集 11 (冷泉家時雨亭叢書 75) (冷泉家時雨亭文庫編 井上宗雄; 久保田淳; 小林一彦;
浅田徹解題) 朝日新聞社 2008-6 A5 618, 75p 30000 円

[複製 付・冷泉家時雨亭文庫蔵中世私家集系統一覧]

法印公順家集. 自葉和歌集. 権僧正道我集. 惟宗光吉朝臣歌. 詠二十首倭歌. 西国紀行

- 1118 * 僻案抄 (慶応義塾大学附属研究所斯道文庫監修) 勉誠出版 2008-11 A5 330, 3p 10000 円
僻案抄(宮内庁書陵部蔵). 僻案抄(慶応義塾大学附属研究所斯道文庫蔵). 解題

- 1119 和歌 3 (大東急記念文庫善本叢刊 中古中世篇 6) (井上宗雄責任編 松野陽一; 中村文; 新藤
協三; 佐々木孝浩; 稲田利徳; 中川博夫; 石川一/解題) 大東急記念文庫 (汲古書院) 20
08-11 A5 676, 35p 20000 円

[複製]

六百番歌合 第四帖(恋中) 第五帖(恋下). 人丸集. 公忠朝臣集. 顕季集. 正徹詠草. 正徹三
首和歌. 正徹和歌短冊「夏夜待風」. 伏見天皇宸翰御集. 百首和歌. 詠十首和歌・詠祝言和歌.
法華経二十八品和歌(釈宗伊). 法華経二十八品和歌(伝慈円).

- 1120 狂言台本とその言語事象の研究 (ひつじ研究叢書 言語編 61) (小林賢次) ひつじ書房 2008
-2 A5 9, 369p 9800 円

序章 狂言台本の研究とその刊行状況・本書の底本 <第 1 部 言語資料としての狂言台本>

1. 大蔵虎明本における狂言詞章の伝承と改訂 本文注記の分析から 2. 天理本『狂言六義』の
用語 3. 鷺流享保教本の用語 4. 和泉流雲形本『狂言六議』の本文の性格について 筆録時
期と言語事象 5. 和泉流雲形本と古典文庫本の本文比較 6. 南大路家旧蔵和泉流狂言台本と
その翻刻本文について 言語資料としての『狂言集成』と『狂言三百番集』 7. 和泉流三百番
集本におけるシャル・サシャル敬語 8. 言語資料としての天理図書館蔵『狂言 大外』『狂言

- 新』 9. 天理図書館蔵『狂言 大外』におけるシャル・サシャル敬語 <第 2 部 狂言台本に関連する言語事象> 10. 条件表現史にみる文法化の過程 11. 完了性仮定と非完了性仮定の分類について 補説・大蔵虎明本の「タラバ」 12. 順接の接続助詞「ト」再考 狂言台本にみる近代語条件表現の流れ 13. 「重宝」と「調法」 狂言台本における使用状況とその語史 14. イソガシ・セハシ・アワタタシとその類語 中世・近世における<多忙><性急>を表す語の展開 15. 狂言台本における謙讓語法 「申サルル」とその周辺 付章 (1)「近代語」とは何か (2)天理本『狂言六義』と同筆の間狂言本について (3)書評 蜂谷清人著『狂言の国語史的研究 流動の諸相』
- 1121 * 中世唱導資料集 2 (臨川書店編刊) 2008-11 A5 380, 28p 9000 円
[複製および翻刻]
<影印篇>富楼那集. 富楼那集紙背文書. 書集作抄. 類聚既驗抄. 本朝諸社記 <翻刻篇>富楼那集. 富楼那集紙背文書. 書集作抄. 類聚既驗抄. 本朝諸社記
- 1122 * 吾妻鏡 1 吉川本 (早川純三郎編) 吉川弘文館 2008-1 A5 520p 10000 円
[国書刊行会大正 4 年刊を原本としたオンデマンド版]
- 1123 * 吾妻鏡 2 吉川本 (早川純三郎編) 吉川弘文館 2008-1 A5 454p 10000 円
[国書刊行会大正 4 年刊を原本としたオンデマンド版]
- 1124 * 吾妻鏡 3 吉川本 (早川純三郎編) 吉川弘文館 2008-1 A5 423p 10000 円
[国書刊行会大正 4 年刊を原本としたオンデマンド版]
- 1125 * 伊勢物語古注釈大成 3 (片桐洋一; 山本登朗責任編) 笠間書院 2008-9 A5 343p 9800 円
伊勢物語愚見抄. 伊勢物語肖聞抄(文明九年本・宗長注書入). 伊勢物語肖聞抄(延徳三年本). 伊勢物語山口記
- 1126 * 上田秋成の紀行文 研究と注解 (加藤裕一) 実践女子学園; 原人舎 2008-2 A5 249, 4p
非売
秋成、城崎への足跡. 『秋山記』・『去年の枝折』解説. 『岩橋の記』解説. 『山[ズト]』注解
- 1127 * 小式部 (石川透編) 三弥井書店 2008-3 A5 78p 1200 円
- 1128 * 後深心院関白記 4 自応安三年至応安七年 [近衛道嗣] (岩波書店編刊) 2008-3 A5 389p
13000 円
- 1129 吾妻鏡必携 (関幸彦; 野口実編) 吉川弘文館 2008-9 B6 4, 335p 3600 円
- 1130 延慶本平家物語の日本語史的研究 (小川栄一) 勉誠出版 2008-2 A5 17, 506p 16500 円
<第 1 部 延慶本の日本語史料的价值> 1. 延慶本の書誌・成立 2. 日本語史料としての延慶本 3. 江戸期書写の三本について 4. 延慶本の言語年代に関する研究 1 5. 延慶本の言語年代に関する研究 2 <第 2 部 延慶本における和漢融合> 1. 機能進化としての日本語史 2. 表現システムの融合 3. 延慶本の文章構造 4. 文字表記の交用と機能的効率化 <第 3 部 延慶本の語彙システムと和漢融合> 1. 延慶本における語彙システムの進化 2. 副詞語彙システムの進化 3. 程度量副詞のシステム 1 4. 程度量副詞のシステム 2 5. 時制副詞のシステム 6. 時間副詞のシステム 1 7. 時間副詞のシステム 2 <第 4 部 和漢融合の背景にあるコミュニケーション> 1. 口頭語における和漢融合 2. 敬語行動と敬語表現体系 3. 和漢融合の背景にあるコミュニケーション
- 1131 『古事談』を読み解く (浅見和彦編) 笠間書院 2008-7 A5 9, 526, 12p 12000 円

- <第三編 古事談からの史的展開> 古代史史料として分析した「長谷寺観音造立縁起」 未翻刻史料の紹介と神亀六年三月太政官符の検討を中心に (田島公) 第四編 古事談鑑賞 (益田勝実)
- 1132 *小右記註釈 長元四年 上巻 (三橋正編 黒板伸夫監修) 小右記講読会 (八木書店) 2008-8 A5 436, 294p 2冊 24000 円
- 1133 *小右記註釈 長元四年 下巻 (三橋正編 黒板伸夫監修) 小右記講読会 (八木書店) 2008-8 A5 439-919, 253p
- 1134 大日本古記録 後深心院関白記 4 応安三年～七年 [近衛道嗣] (東京大学史料編纂所編) 岩波書店 2008-3 A5 4, 389p 13000 円
- 1135 *伝存太平記写本総覧 (長坂成行) 和泉書院 2008-9 A5 235p 8000 円
- 1136 *花園院宸記 24 元亨 3 年自 3 月 1 日至晦 (宮内庁書陵部編刊) 2008-3 規格外 1 軸 p [宮内庁書陵部蔵の複製。箱入]
- 1137 *花園院宸記 26 元亨 3 年自 9 月至 12 月 (宮内庁書陵部編刊) 2008-3 規格外 1 軸 p [宮内庁書陵部蔵の複製。箱入]
- 1138 *平家物語 1 (梶原正昭; 山下宏明校注) 岩波書店 2008-8 B6 398p 1400 円
- 1139 *平家物語 2 (梶原正昭; 山下宏明校注) 岩波書店 2008-9 B6 335p 1200 円
- 1140 *平家物語 3 (梶原正昭; 山下宏明校注) 岩波書店 2008-10 B6 367p 1300 円
- 1141 *平家物語 4 (梶原正昭; 山下宏明校注) 岩波書店 2008-11 B6 419, 18p 1400 円
- 1142 延慶本平家物語 6 <大東急記念文庫善本叢刊 中古中世篇別巻 1> (島津忠夫責任編 佐伯真一解題) 大東急記念文庫 (汲古書院) 2008-5 B5 5, 400p 15000 円 [複製]
十一、第六本. 十二、第六末
- 1143 室町武家関係文芸集 <東京大学史料編纂所影印叢書 3> (東京大学史料編纂所編) 八木書店 2008-5 規格外 3, 246, 37p 25000 円 [複製]
足利尊氏奉納稻荷社詠八首和歌. 源経氏歌集. 耕雲紀行. 飛鳥井雅縁讓状. 飛鳥井雅親消息案. 飛鳥井雅康消息. 蜷川親元筆百首和歌. 蜷川親元詠草. 蜷川親元書状
- 1144 天草版『平家物語』の原拠本、および語彙・語法の研究 <研究叢書 376> (近藤政美) 和泉書院 2008-3 A5 2, 434p 13000 円
<第 1 部 天草版『平家物語』の原拠本の研究> 1. はじめに 2. 原拠本研究史の概観 3. 天草版『平家物語』の原拠本 ([イ] の範囲) 4. 天草版『平家物語』の原拠本 ([ロ] の範囲) 5. 天草版『平家物語』の原拠本 ([ハ] の範囲) 6. むすび <第 2 部 天草版『平家物語』の語彙・語法の考察> 1. はじめに 2. 天草版『平家物語』の基幹語彙 (自立語) の計量的考察 3. 天草版『平家物語』の語彙 (付属語) の計量的考察 4. 天草版『平家物語』の文末語の計量的考察 5. 天草版『平家物語』の語法の考察 6. むすび
- 1145 黒草紙・新黒双紙 (薬師寺所蔵) <奈良文化財研究所史料 78 南都史料叢書 1> (奈良文化財研究所編刊) 2008-3 A5 269p [複製]
黒草紙 (薬師寺典籍文書第一函一号). 黒草紙紙背文書. 新黒双紙 (薬師寺典籍文書第一函一〇

号)

◇近世

- 1146 江戸期女性語辞典 2 『女節用集文字囊』影印と索引(木村晟編著) 港の人 2008-8 A5 38
7p 12000 円
[複製]
- 1147 改編・早引万代節用集 5 ハ～ホ(高梨信博編刊) 2008-11 B5 6, 232p
- 1148 谷川士清自筆本倭訓栞 影印・研究・索引(三沢薫生編著) 勉誠出版 2008-12 A5 4, 1112,
92p 28000 円
[複製]
- 1149 *古今拾穂抄 第 1 冊・第 2 冊(慶応義塾大学附属研究所斯道文庫監修) 勉誠出版 2008-11
A5 371p 10000 円
- 1150 *古今拾穂抄 第 3 冊・第 4 冊(慶応義塾大学附属研究所斯道文庫監修) 勉誠出版 2008-11
A5 405p 10000 円
- 1151 *古今拾穂抄 第 5 冊・第 6 冊(慶応義塾大学附属研究所斯道文庫監修) 勉誠出版 2008-11
A5 347p 10000 円
- 1152 *古今拾穂抄 第 7 冊・第 8 冊(慶応義塾大学附属研究所斯道文庫監修) 勉誠出版 2008-11
A5 374, 12p 10000 円
- 1153 古今集遠鏡 1 [本居宣長]〈東洋文庫 770〉(今西祐一郎校注) 平凡社 2008-1 B6 236p 27
00 円
- 1154 古今集遠鏡 2 [本居宣長]〈東洋文庫 772〉(今西祐一郎校注) 平凡社 2008-3 B6 300p 28
00 円
- 1155 西鶴全句集 解釈と鑑賞(吉江久弥) 笠間書院 2008-2 A5 358, 5, 5p 4200 円
- 1156 *俳諧と紀行文学 研究と資料(小磯純子) 勉誠出版 2008-3 A5 378p 12500 円
〈紀行篇〉『津山紀行』翻刻と校異. 『播州下向道記』解題と翻刻. 西山宗因の紀行について
〈連歌俳諧篇〉宗祇選『下草』翻刻と解説. 『宗祇名所獨吟』翻刻と解題. 『玄仲一座何船百
韻』翻刻と解題. 『天満宮千句三物』について翻刻と解題. 芭蕉と時雨. 芭蕉と虫. 南蔵寺と
大梁. 榎本星布全句集. 榎本星布の俳諧交流. 榎本星布の新出句
- 1157 百人一首増補絵抄(延宝八年刊) 上(翻刻平安文学資料稿 第 3 期別巻 8)(田野慎二編) 広島
平安文学研究会 2008-3 A5 94p 非売
- 1158 *伊勢物語披雲(五十嵐篤好註 金井利浩; 綿拔豊昭校) 桂書房 2008-12 A4 153p 2000
円
- 1159 雨月物語 冥途の飛脚 心中天の網島(高田衛; 阪口弘之; 山根為雄校訂・訳) 小学館 2008
-7 B6 317p 1800 円
- 1160 近世実録の研究 成長と展開(菊池庸介) 汲古書院 2008-2 A5 7, 581, 21p 15000 円
〈第 1 部 論文編〉1. 成長する実録 2. 他ジャンル文芸への展開 3. 実録「作者」堀麦水 <
第 2 部 翻刻編〉1. 『賊禁秘談』 2. 『大岡秘事』
- 1161 世間胸算用 万の文反古 東海道中膝栗毛〈日本の古典をよむ 18〉(神保五弥; 中村幸彦; 棚橋
正博校訂・訳) 小学館 2008-12 B6 317p 1800 円
- 1162 読本事典 江戸の伝奇小説(国文学研究資料館; 八戸市立図書館編) 笠間書院 2008-2 A5

178 図版 8 2800 円

- 1163 *新編荷田春満全集 8 職原抄(おうふう編刊) おうふう 2008-6 A5 534p 12000 円
[國學院大學創立 120 周年記念出版]
荷田春満自筆書入職原抄(複製). 職原抄問答. 職原抄筭記. 自百官至左右馬寮. 職原抄筭記.
自太政官史生至大蔵省織部司. 職原抄筭記. 自弾正台至蔵人所非蔵人. 職原抄筭記. 自百官至
神祇官. 職原抄考証筆記. 解題
- 1164 *鈴木三右衛門日記 幕末江戸町人の記録(東京都編刊) 2008-12 B6 247p
- 1165 よくわかる古文書教室 江戸の暮らしとなりわい(佐藤孝之;実松幸男;宮原一郎) 天野出版
工房(吉川弘文館) 2008-10 A5 238p 2400 円
- 1166 大坂往来 平井文庫本〈地域文化研究叢書 3〉(西崎亨編) 武庫川女子大学大学院文学研究科
日本語日本文学専攻 2008-3 A5 96p
[複製]
- 1167 *重宝記資料集成 19 俗信・年暦 4(長友千代治編) 臨川書店 2008-3 A5 602p 8900 円
[複製]
万用重宝記. 大增補万代重宝記. 掌中年代重宝記(東都須原屋伊八梅柏堂利助板). 永代必用両
面重宝記(寛延四年板). 昼夜懐要両面重宝記再刻(寛延六年板). 人間万代重宝記. 書状算数万
代早見重宝記. 御年掌中調宝記. 新板秘伝日用重宝記. 家伝調方記 <年代重宝記類>太平武
将重宝年代記(安永二年板). 改正中興年号重宝記(文化元年板). 新增改正中興年代重宝記(文
化二年板). 増補新板年号重宝記(文化八年板). 改正中興年号重宝記(天保四年板). 早見年代
重宝記(天保十年板). 文政改正年代重宝記(天保十四年板). 泰平武将年代重宝記(文久元年板)
- 1168 *重宝記資料集成 20 算法・経世 1(長友千代治編) 臨川書店 2008-3 A5 530p 8900 円
[複製]
「古今増補」算法重宝記改成. 早割算法重宝記. 改算重宝記. 秘術改撰算学重宝記. 弘化三年
板. 秘術改撰算学重宝記. 嘉永四年板. 秘術改撰算学重法記. 万延一年板. 算盤調法記. 文政
一年序板. 算盤重宝記. 弘化三年板. 早算調法記. 算術重宝記
- 1169 *重宝記資料集成 36 遊芸・遊里 1(長友千代治編) 臨川書店 2008-1 A5 364p 8900 円
[複製]
好色重宝記. 茶屋諸分調方記. 遊里不調法記. 色道重宝記. 増補新版名代廓法記. 増補新版名
代町法記. 不重宝興面馬鹿念代記. 元治改正恵々=[日夜]頂宝記. 画本調法記
- 1170 *重宝記資料集成 38 遊芸・遊里 3(長友千代治編) 臨川書店 2008-1 A5 444p 8900 円
[複製]
噺子謡重宝記. 重宝記. 日待調法記. 俳諧之重宝記すり火うち. [重宝記]. 稗史家不重宝記.
聞香重宝記. 名物重宝記. 烟草一式重宝記
- 1171 *吉田富夫先生退休記念中国学論集(吉田富夫先生退休記念中国学論集編集委員会編) 汲古書
院 2008-3 A5 28,521p 15000 円
「官話」文体と「教訓」の言語 琉球官話課本と『聖論』をめぐる(木津祐子)

◇近代

- 1172 国語学原論 続編〈岩波文庫 青 N110-3〉(時枝誠記) 岩波書店 2008-3 A6 308,8p 760
円

『国語学原論 続編』(1955 年刊)の復刊]

時枝誠記のプラグマティズム pp. 293-308 (前田英樹)

- 1173 大辞典 上 あ〜く〔山田美妙〕〈明治期国語辞書大系第 2 期 1〉(飛田良文;松井栄一;境田稔
信編) 大空社 2008-10 A5 1380p 4 冊 152000 円
〔嵩山堂明治 4 年刊の複製〕
- 1174 大辞典 上 け〜そ〔山田美妙〕〈明治期国語辞書大系第 2 期 2〉(飛田良文;松井栄一;境田稔
信編) 大空社 2008-10 A5 1202(p. 1385-2586)p
〔嵩山堂明治 4 年刊の複製〕
- 1175 大辞典 下 た〜は〔山田美妙〕〈明治期国語辞書大系第 2 期 3〉(飛田良文;松井栄一;境田稔
信編) 大空社 2008-10 A5 1202(p. 2587-3988)p
〔嵩山堂明治 4 年刊の複製〕
- 1176 大辞典 下 ひ〜を〔山田美妙〕〈明治期国語辞書大系第 2 期 4〉(飛田良文;松井栄一;境田稔
信編) 大空社 2008-10 A5 1068(p. 3987-5056)p
〔嵩山堂明治 4 年刊の複製〕
- 1177 近代日本方言資料集 郡誌編 2 東北 2 (木村晟;古瀬順一;田中宣広編) 港の人 2008-11
A5 410p 11400 円
秋田県. 山形県. 福島県
- 1178 B. H. チェンバレン『文字のしるべ』 影印・研究 *A Practical Introduction to the Study of
f Japanese Writing by Basil Hall Chamberlain* (岡墻裕剛編著) 勉誠出版 2008-12 B5
655p 28000 円
〔複製〕
〈解説編〉B. H. チェンバレン『文字のしるべ』の研究 外国人が作った明治期の常用漢字 (岡
墻裕剛)
- 1179 講談 人情咄集〈新日本古典文学大系 明治編 7〉(延広真治校注) 岩波書店 2008-12 A5
520p 5600 円
天保六花撰. 仇娘好八丈. 百猫伝. 解説
- 1180 アイヌ史新聞年表 『小樽新聞』(大正期Ⅱ・昭和期Ⅰ)編 (河野本道編) 国学院短期大学コ
ミュニティカレッジセンター 2008-3 B5 206p
- 1181 国定教科書編纂趣意書 解説・文献目録 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
335, 54p
〔複製〕
『復刻版 国定教科書編纂趣意書』解説. 『国定教科書編纂趣意書』内容一覧. 国定教科書と
編纂趣意書との対照表(国定教科書刊行一覧). 文部省図書監修官等の編纂趣意論文・講演要旨
目録 教育雑誌掲載記事を中心として. 国定教科書編纂趣意書補遺
- 1182 国定教科書編纂趣意書 1 国定第一期 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5 22
5p 14 冊 126000 円
『国定教科書編纂趣意書』(文部省明治 37 年 2 月刊). 『国定教科書編纂趣意書追加』(文部省
明治 37 年 5 月刊). 『国定教科書編纂趣意書続編』(文部省明治 38 年 4 月刊)
- 1183 国定教科書編纂趣意書 2 国定第二期 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5 30

5p

[複製]

『修正国定教科書編纂趣意書 第一篇』(文部省明治 43 年 2 月刊). 『修正国定教科書編纂趣意書 第二篇』(文部省明治 43 年 4 月刊). 『修正国定教科書編纂趣意書 第三篇』(文部省明治 43 年 8 月刊). 『修正国定教科書編纂趣意書 第四篇』(文部省明治 44 年 12 月刊). 『修正国定教科書編纂趣意書 第五篇』(文部省明治 45 年 3 月刊). 『第二種尋常小学読本 第二種尋常小学書キ方手本編纂趣意書』(文部省大正 5 年 10 月刊)

- 1184 国定教科書編纂趣意書 3 国定第三期(1) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
347p

[複製]

『尋常小学国語読本編纂趣意書 尋常小学国語書キ方手本編纂趣意書』(文部省大正 13 年 7 月刊). 『尋常小学読本修正趣意書 尋常小学書キ方手本修正趣意書』(大正 13 年 8 月刊)

- 1185 国定教科書編纂趣意書 4 国定第三期(2) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
351p

[複製]

『高等小学読本卷一乃至卷四修正趣意書』(文部省昭和 4 年 4 月刊). 『農村用高等小学読本卷一乃至卷四編纂趣意書』(文部省昭和 4 年 12 月刊). 『高等小学修身書編纂趣意書 尋常小学修身書修正趣意書』(文部省大正 13 年 5 月刊). 『尋常小学修身書 複式編制学校用 修正趣意書』(昭和 9 年 9 月刊). 『高等小学修身書編纂趣意書』(昭和 9 年 7 月刊). 『高等小学三年 修身教科書 修正要領』(『帝国教育』第 995 号昭和 7 年 4 月所収)

- 1186 国定教科書編纂趣意書 5 国定第三期(3) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
321p

[複製]

『小学国史編纂趣意書』(文部省昭和 4 年 1 月刊). 『尋常小学地理書卷一児童用修正趣意書 尋常小学理科書第五学年用修正趣意書』(文部省大正 7 年 4 月刊). 『尋常小学地理書卷二児童用修正趣意書 尋常小学理科書第六学年用修正趣意書』(文部省大正 8 年 3 月刊). 『高等小学地理書 卷一卷二第三学年用 修正趣意書 附 尋常小学地理書及附図使用上ノ注意』(文部省大正 10 年 5 月刊). 『尋常小学算術書 教師用児童用 修正趣意書』(文部省大正 13 年 5 月刊). 『高等小学算術書第一第二学年教師用児童用修正趣意書』(文部省大正 13 年 10 月刊). 『尋常小学算術書修正趣意書』(文部省昭和 6 年 4 月刊). 『高等小学算術書第一第二学年 教師用児童用 修正趣意書』(文部省昭和 4 年 8 月刊). 『高等小学算術書第三学年 教師用児童用 修正趣意書 附 小学算術書昭和六年度修正事項』(文部省昭和 6 年 3 月刊). 『小学珠算書 甲種乙種 修正趣意書』(文部省昭和 6 年 8 月刊)

- 1187 国定教科書編纂趣意書 6 国定第四期(1) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
338p

[複製]

『尋常小学修身書卷一編纂趣意書』(文部省昭和 9 年 2 月刊). 『尋常小学修身書卷二編纂趣意書』(文部省昭和 10 年 4 月刊). 『尋常小学修身書卷三編纂趣意書』(文部省昭和 11 年 4 月刊). 『尋常小学修身書卷四編纂趣意書』(文部省昭和 12 年 5 月刊). 『尋常小学修身書卷五編纂趣意書』

(文部省昭和 13 年 6 月刊). 『尋常小学修身書卷六編纂趣意書』(文部省昭和 14 年 6 月刊). 『小学国語読本尋常科用編纂趣意書(一)』(文部省昭和 8 年 7 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷二編纂趣意書 小学書方手本尋常科用編纂趣意書』(文部省昭和 9 年 2 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷三編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第二学年上編纂趣意書』(文部省昭和 9 年 10 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷四編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第二学年下編纂趣意書』(文部省昭和 10 年 2 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷五編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第三学年上編纂趣意書』(文部省昭和 10 年 5 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷六編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第三学年下編纂趣意書』(文部省昭和 10 年 11 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷七編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第四学年上編纂趣意書』(文部省昭和 11 年 5 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷八編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第四学年下編纂趣意書』(文部省昭和 12 年 4 月刊)

- 1188 国定教科書編纂趣意書 7 国定第四期(2) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
406p

[複製]

『小学国語読本尋常科用卷九編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第五学年上編纂趣意書』(文部省昭和 12 年 6 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷十編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第五学年下編纂趣意書』(文部省昭和 12 年 12 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷十一編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第六学年上編纂趣意書』(文部省昭和 13 年 5 月刊). 『小学国語読本尋常科用卷十二編纂趣意書 小学書方手本尋常科用第六学年下編纂趣意書』(文部省昭和 13 年 11 月刊). 『高等小学国語書キ方手本編纂趣意書(一)』(文部省昭和 8 年 7 月刊). 『高等小学 国語書キ方手本第二学年編纂趣意書』(文部省昭和 9 年 7 月刊). 『小学国史尋常科用上卷修正趣意書 高等小学国史上卷修正趣意書』(文部省昭和 15 年 7 月刊). 『小学国史尋常科用下卷修正趣意書』(文部省昭和 16 年 7 月刊). 『小学図画編纂の大意』(文部省昭和 7 年 3 月刊). 『文部省著作新訂高等小学唱歌新訂尋常小学唱歌編纂の趣意並作歌・作曲の方針と解説』(大日本図書株式会社編昭和 11 年 2 月刊). 『高等小学商業教科書第一学年用編纂趣意』(文部省昭和 12 年 4 月、雑誌『小学校教材研究』第 5 卷第 5 号昭和 12 年 5 月所収)

- 1189 国定教科書編纂趣意書 8 国定第五期(1) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
276p

[複製]

『高等科修身一編纂趣意書』(文部省昭和 19 年 9 月刊). 『高等科国語一編纂趣意書』(文部省昭和 19 年 6 月刊). 『高等科国語二編纂趣意書』(文部省昭和 19 年 10 月刊). 『高等科工作一編纂趣意書』(文部省昭和 19 年 10 月刊).

- 1190 国定教科書編纂趣意書 9 国定第五期(2) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
383p

[複製]

『文部省 国民学校教科書編纂趣旨解説』(日本放送協会編昭和 16 年 2 月刊). 『文部省 国民学校三、四年教科書編纂趣旨と取扱ひ方』(日本放送協会編昭和 17 年 7 月刊). 『文部省 国民学校三、四年後期用教科書編纂趣旨と取扱ひ方』(日本放送協会編昭和 17 年 12 月刊).

- 1191 国定教科書編纂趣意書 10 国定第五期(3) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5

366p

[複製]

『文部省 国民学校五、六年教科書編纂趣旨と取扱ひ方』(日本放送協会編昭和 19 年 3 月刊)

- 1192 国定教科書編纂趣意書 11 国定第五期(4) 復刻版(中村紀久二編) 国書刊行会 2008-9 A5
270p

[複製]

『文部省 国民学校高等科 教科書編纂趣旨解説』(日本放送協会編昭和 19 年 9 月刊). 『井上
起 国民学校教科書編纂精神と其取扱法』(石川県女子師範学校附属国民学校昭和 16 年 4 月刊).

『石森延男『コトバノオケイコ』に就いて』(長野県更級郡教育会昭和 17 年 11 月刊)

- 1193 国定教科書編纂趣意書 12 国定教科書使用上ノ注意・修正事項 復刻版(中村紀久二編) 国書
刊行会 2008-9 A5 442p

[複製]

『教材ノ移動ニ関スル 小学地理教科書使用上ノ注意』(文部省明治 40 年 4 月刊). 『教材ノ移
動ニ関スル 国定教科書使用上ノ注意』(文部省明治 42 年 2 月刊). 『小学日本歴史教科書教授
上ノ注意事項』(文部省明治 44 年 3 月刊). 『国定教科書使用上ノ注意[第一篇]』(文部省明治 4
3 年 12 月調). 『国定教科書使用上ノ注意[第二篇]』(文部省明治 45 年 2 月調). 『国定教科書使
用上ノ注意[第三篇] 附録 大正二年度以降使用ノ修正及新刊教科書書目』(文部省大正元年 1
0 月調). 『国定教科書使用上ノ注意(第四篇)』(文部省大正 2 年 3 月調). 『国定教科書使用上ノ
注意(第五篇) 附録 大正三年度以降使用ノ修正及ヒ新刊教科書書目』(文部省大正 2 年 12 月
調). 『小学読本小学書キ方手本(前期用)修正事項』(文部省大正 3 年 11 月刊). 『小学読本小学
書キ方手本(後期用)修正事項 附 小学地理使用上ノ注意 小学算術書使用上ノ注意』(文部
省大正 4 年 4 月刊). 『国定教科書使用上ノ注意』(文部省大正 6 年 9 月調). 『国定教科書使用
上ノ注意』(文部省大正 8 年 10 月刊)

- 1194 国定教科書編纂趣意書 13 国定教科書訂正通牒・正誤表・その他 復刻版(中村紀久二編) 国
書刊行会 2008-9 A5 482p

[複製]

<1. 国定教科書訂正通牒> 『昭和五年度使用国定教科書訂正事項』(雑誌『富山教育』第 198
号、昭和 5 年 5 月刊). 『国定教科書及本省著作教科書発行訂正通牒』(文部省昭和 6 年 7 月刊).
『昭和九年度使用 国定教科書及本省著作教科書訂正通牒』(文部省昭和 9 年 3 月刊). 『昭和
十年度使用 国定教科書及本省著作教科書訂正通牒』(文部省昭和 10 年 3 月刊). 『昭和十一年
度使用 国定教科書及本省著作教科書訂正通牒』(文部省昭和 11 年 3 月刊). 『昭和十二年度使
用 文部省編纂小学校教科用図書訂正通牒』(文部省昭和 12 年 3 月刊). 『昭和十三年度使用
文部省編纂小学校教科用図書訂正通牒 附取扱上ノ注意』(文部省昭和 13 年 3 月刊). 『昭和十
四年度使用 文部省編纂小学校教科用図書訂正通牒 附取扱上ノ注意』(文部省昭和 14 年 3 月
刊). 『昭和十四年度使用 文部省編纂小学校教科用図書訂正通牒』(文部省昭和 14 年 11 月刊).
『昭和十五年度以降使用 文部省編纂小学校教科用図書訂正通牒』(文部省昭和 15 年 3 月刊).

<2. 正誤表・その他> 「国定教科書の訂正」(文部省雑誌『教育時論』第 704 号、明治 37 年
11 月刊). 「尋常小学読本正誤表」(芳賀矢一雑誌『教育時論』第 952 号、明治 44 年 9 月刊).
「小学日本歴史及小学修身書修正事項」(大正 4 年 12 月、雑誌『教育界』第 15 卷第 5 号、大

- 正 5 年 3 月刊). 『高等小学地理巻一の訂正』(文部省昭和 7 年 3 月刊). 『昭和九年度使用国定教科書正誤表』(文部省昭和 9 年). 『高等小学校用理科・算術「教師用」書所収の「凡例」』
- 1195 芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ(山梨県立文学館編刊) 2008-4 A4 72p
- 1196 近代日本文書学研究序説(小池聖一) 現代史料出版(東出版) 2008-9 A5 10,367p 5800 円
- 1197 上司海雲宛 会津八一書簡 図録 奈良大学図書館蔵(浅田隆; 東野治之; 藤本寿彦; 安田真紀子編) 奈良大学図書館 2008-3 A4 88p
- 1198 明治の文人たち 候文と言文一致体〈日本近代文学館資料叢書第 2 期 文学者の手紙 1〉(日本近代文学館編) 博文館新社 2008-3 A5 297p 6600 円

◇現代

- 1199 日本世相語資料事典 昭和戦後編 2 1 (日本図書センター編刊) 2008-6 B5 6,410p 4 冊 64 000 円
[複製]
増補式 新語百科事典(上) 東堀一郎編(光文書院昭和 32 年刊)
- 1200 日本世相語資料事典 昭和戦後編 2 2 (日本図書センター編刊) 2008-6 B5 415p
[複製]
増補式 新語百科事典(下) 東堀一郎編(光文書院昭和 32 年刊)
- 1201 日本世相語資料事典 昭和戦後編 2 3 (日本図書センター編刊) 2008-6 B5 12,176,196,20p
[複製]
放送ことば事典 岩永信吉著(三芽書房昭和 33 年刊) 現代用語辞典 佐藤務著(むさし書房昭和 34 年刊)
- 1202 日本世相語資料事典 昭和戦後編 2 4 (日本図書センター編刊) 2008-6 B5 455,49p
[複製]
現代新語と社会常識 森川三都夫著(金園社昭和 40 年刊)
- 1203 新聞集成昭和編年史 昭和 31 年版 3 5 月~6 月(明治大正昭和新聞研究会編製作) 新聞資料出版 2008-2 B5 38,642,39p 25000 円
- 1204 新聞集成昭和編年史 昭和 31 年版 4 7 月~8 月(明治大正昭和新聞研究会編製作) 新聞資料出版 2008-4 B5 40,672,40p 25000 円
- 1205 新聞集成昭和編年史 昭和 31 年版 5 9 月~10 月(明治大正昭和新聞研究会編製作) 新聞資料出版 2008-7 B5 48,714,46p 25000 円
- 1206 新聞集成昭和編年史 昭和 31 年版 6 11 月~12 月(平野清介編) 明治大正昭和新聞研究会 2008-9 B5 41,702,32p 25000 円
- 1207 新聞集成昭和編年史 昭和 32 年版 1 1 月~2 月(平野清介編) 明治大正昭和新聞研究会 2008-11 B5 33,586,36p 25000 円
- 1208 規範国語読本 新装版(保田与重郎編 佐藤春夫監修) 新学社 2008-3 A5 240p 1200 円
[昭和 38 年刊の新装版]

◇中国辞書・研究

- 1209 * 芸文類聚訓読付索引 81 (大東文化大学東洋研究所著刊) 2008-3 B5 120,37p 5000 円
[中国語併載]

□ 2009 年版追補

◇ 国語 (学)

- 1210 日本総論 2 人文・社会編〈日本の地誌 2〉(山本正三; 谷内達; 菅野峰明; 田林明; 奥野隆史編)
朝倉書店 2006-8 B5 16, 14, 576p 23000 円
<3. 文化>1. 言語 pp. 123-125 2. 地名 pp. 126-131
- 1211 Jin, Changsoo(ed.): Current State of Japanese Studies in Korea. --Hanul Academy, 2007. A5, 197p.
Yi, Kang-min:5. Study of the Japanese Language in Korea. pp. 107-124
- 1212 天運 (亀山孝一著刊) 2002-12 487, 109p 6000 円
わが故郷と方言. 言葉遣いのいろいろ. 『方言は民族の年輪である』. 『木花方言辞典』. 『木花方言辞典 (改訂版)』の刊行.
- 1213 ことばの論文集 安達隆一先生古希記念論文集 (安達隆一先生古希記念論文集刊行委員会編)
おうふう 2007-12 A5 649p 非売
近言語層における「ぞ」係り結び構文 「天草版平家物語」の「ぞ」係り結びを手掛かりとして (安達隆一) 日本古代の使用字体と中国の字書における字体注記との関わりをめぐって 写経・正倉院文書と『干禄字書』『正名要録』を中心に (井上幸) 現代日本共通語の拍体系とかな文字表記 (成田徹男) 日本語のアクチオンスアルト シオワル形をめぐって (仁田義雄) 構文の意味分析をめざして (益岡隆志) 体言文の構造 (石神照雄) 品詞の学習における学習過程とそのしくみ (加藤久雄) 日本語文法 動詞論 (岡崎晃一) 山田孝雄『日本文法論』における開展 (松繁弘之) 詞辞分類の可能性 「れる・られる」を例に (岡村裕美) 形式名詞の構造と意味 「とき、あいだ、ころ、ほど」について (川久保明日香) 終助詞「よ」を伴う平叙文の機能 (松岡みゆき) 「ちょっと」のコミュニケーション機能 ディスコース・ポライトネスの観点から (本間妙) プラハ言語学派 GSP 理論と日本語語順 文の 4 階層構造と Dictum-Modus 連続性を中心として (本城二郎) 『万葉集』における終助詞ゾと係助詞ゾについての考察 (小川明美) 「さればこそ」の二種の用法 主体の感動を表出する用法の成立 (徳永辰通) 源氏物語にみる「をこがまし」と「をこなり」 自省し自制する (岡本美和子) 「コンテムツスムンヂ」の仏教語 ラテン語原典より見た翻訳語の実態 (小島幸枝) 秀吉消息における署名「てんか」について 「天下」か「殿下」か (松浦由起) 味覚表現の諸相 『夏子の酒』の表現から考える (松浦照子) 命名における異なるカテゴリーの属性使用 緑茶飲料水の商品名「うぶ茶」を例に (内山亜紀) 日系外来語の形成及び分類について 中国語の新語から (王春) 日中語彙における女性を表すプラス表現の語彙 容姿の美醜を中心に (林玉恵) 高知アクセントの個人差について (中井幸比古) 仮定条件の全国分布とその特徴 『方言文法全国地図』を資料として (彦坂佳宣) 自然災害による言語行動の変容 雲仙・普賢岳噴火災害の場合 (古瀬順一) 行為の方向性を表す「～テイク」「～テクル」について 共起する動詞との関係を中心に (山本裕子) 日本語教育実習における PAC 分析の有効性 「気づき」の過程とその内容の解釈を通して (渡辺民江) 日本語プログラムにおける教室外活動の意義とその位置付け 言語習得過程から見た活動評価 (上田美紀) 「書く力」を決定づけるものは何か 日本人中学生の作文の観察から (生田裕子) 日本語学習者コーパスを使った助詞の誤用研究 (小森早江子) 日本語予備教育における日本留学試験読解

指導の一案 初級終了レベルの学習者を中心として(鷺見まゆみ) 視線追跡装置による日本語学習の文章読解過程の研究レポート(寺朱美) 動詞の活用形の意味と助動詞の接続・意味から「古典語の文法」を考える(川窪伸祐) 森鴎外『舞姫』の文体 「胸張り肩聳えたる士官の～」を中心に(柴田哲谷) 李範編『きさらき』(連句部) [翻刻と解題] (岡本勝)

- 1214 国際化視野中的日本学研究 东亚日本学国际研讨会论文集 纪念胡振平教授从教 45 周年 *Guoji hua Shiye Zhong De Ribenxue Yanjiu* (王铁桥; 姚灯镇主編) 南开大学出版社 2007-10 A 5 2, 2, 638p

認知言語学と日本語教育(池上嘉彦) 日本語研究と国立国語研究所(宮島達夫) <日语语言篇>中国語・日本語・朝鮮語の東アジア言語におけるある種の「音韻対応」(k・x-p)(安部清哉) 類語辞書にみられる意味のとらえ方(陈露) 日语广告の动态语境分析(董冰) 日语介在性表达和人类转喻认知方式(付红红) 日本語の再帰使役文に関する一考察(傅冰) 中日“拒绝请求” 方式的异同(贾丽) 中国語と日本語におけるオノマトペについて 翻訳の立場から(姜辉) 新しい文法カテゴリーとしての動作パーフェクトの～テイルとその教授法(井上ゆみ) 「V-なくしてほしい」から間接発話行為を見る(李爱华; 赵平) 依頼表現における附加表現の日中対照研究 大学生のアンケートに基づく分析(李倩) 認知言語学对日语词汇学习的启示(刘俊) テ形接续与从句的构造(马兰英) 逆接を表す接続助詞と接続詞の接点 「ところが」を中心に(马燕菁) 「対等ほめ」の語用論的ストラテジーについて(石金花) 日本人の漢字使用における一側面 日本国字、国訓論議(陶友公) 时枝诚记的语言观 语言的本质和“语言过程说”(宛金章) 日语外来語の日本化 兼与汉语外来語的比较(金东; 刘丽芸) 日汉语“上、下”空间隐喻对称性考证 以时间域为中心(王磊) 试论中日四字成语的差异(王锐) 感動詞的な談話標識「まあ」の機能について(魏金美) 日本語対義語の有標性について(吳宏) 日本語と中国語における上・下メタファーの認知的構造について(徐蓮) 日语格助詞の語意解释与深层格(徐曙) モダリティに対する再認識(徐卫) 意向性理论与时枝语法中的语言存在条件(许宗华) 日本語のスピーチレベルシフトに関する一考察 丁寧体から普通体へのシフトと表現意図の関係について(楊敏) 漢日零形回指探析(楊秀云; 胡以南) 親族間の自称のルールについて(姚灯镇) 日中両言語における非言語コミュニケーション表現の対照 視線、ジェスチャー、顔の表情、身体接触を中心に(張韶岩) モダリティ形式の流動性について(張兴) 日语指称关系的功能分析(郑宪信) <日本社会文化編>近代日本語教育黎明期 宏文学院清国留学生を通して(酒井順一郎) <日语教育篇>「大学日本語専攻四級試験」に関する分析 文字・語彙・文法の内容的妥当性を中心に(董杰) 教科書『みんなの日本語』の特徴(鶴尾能子) 聴解教材のデザインをめぐって ある聴解教材を分析しながら(侯仁鋒; 陆曼) スピーチによる発話力の育成法 教室活動を主として(李旭) 国際化の下での日本語音声教育(凌蓉) 物語文の「語り」と「読み」 <共同注意>と<間主観性>の観点から(守屋三千代) 不確実性を表わす文末モダリティに関する一考察(孙晓英) 日语文言语法课教学与教材研究(王军彦) 第二言語習得における言語不安研究の史的考察 その概念と理論(王玲静) 母国語干渉への思考 日本語教科書の実例を中心に(赵平; 浦田千晶)

- 1215 日语研究 5 (《日语研究》編委会編) 商務印書館 2007-12 A5 341p

<特约论文>言語の対照研究の方法(井上伏) 上代日语与先秦汉语指示体系的比较研究(李

长波) 表全称义句式的中日对比研究 论「誰でも+VP」、「誰もが+VP」与“谁+都+VP”、“个个+(都)+VP”的差异(杨凯荣) 日汉韩处所成分的对象化与语言的主观化(朴贞姬) 动词语义制约与「V ないでいる」语义功能(于康;吴松梅) 对日语手段复合动词的副词修饰的考察 再议“词汇性复合动词”与“句法性复合动词”(张超) 从词组学的角度看「遠い」「近い」的多义结构(周彤) 日语「NP+の」的转指问题(黄毅燕) 关于「もっと」和形容词否定式搭配使用的考察(陈建明) 试论语料库调查和问卷调查在语法研究上的异同(杉村泰) 对「ながら」主从句主语问题的语义关系及从句谓语动词类别的考察 基于语料库的实证研究(朱鹏霄) 接续词「それが」的语义特征(苏鹰;张佩霞) 中日 V+N 定中结构二字词的比较(朱京伟) 表示尊敬的前语素及其构词情况的日汉对比研究(纪晓晶) 室町时代末之前的「不便(フベソ)」(1) 词义的形成、变化及其特点(刘玲) 语音学实验研究手段及其成果在日语教学中的应用(朱春跃) 果、假日两摄和现代汉语韵母为“a/ia/ua”的入声字的日语汉字音(陶友公) 关于建立“中国学习者日语语料库”的构想(徐莲) 日译汉时的视角和文脉 「来る」「行く」与“来”“去”(续三义) <书评>评王忻著《中国日语学习者偏误分析》(王婉莹) 许罗莎著《现代日语感情词研究》评介(朱鹏霄)

1216 Frellesvig, Bjarke ; Shibatani, Masayoshi ; Smith, John Charles 編: Current Issues in the History and Structure of Japanese. --東京, くろしお出版, 2007-12. A5, 9, 395p. 4700 円
 <Modern Japanese> Jacobsen, Wesley M. :1. Reference Time, Temporal Adverbials, and the Tense/Aspect Interface in Japanese Kageyama, Taro:2. Explorations in the Conceptual Semantics of Mimetic Verbs Kuno, Susumu:3. Revisiting Subject Raising in Japanese Shibatani, Masayoshi:4. Grammaticalization of Motion Verbs Takubo, Yukinori:5. An Overt Marker for Individual Sublimation in Japanese Vance, Timothy J. :6. Have We Learned Anything about *rendaku* that Lyman Didn't Already Know? <Dialects> Hamano, Shoko: 7. Sound Symbolism in Northern Dialects of Japanese; Its Implications for Historical Linguistics Miyara, Shinsho:8. On the Properties of *wh* and Focus in Okinawan Serafim, Leon A. :9. Progressive Stative Predicate Extensions in Ryukyuan, and Their Relation to Earlier Japonic <Older Japanese> Frellesvig, Bjarke: 10. On the Verb Morphology of Old Japanese Kinsui, Satoshi:11. The Interaction between Argument and Non-argument in the Diachronic Syntax of Japanese Kuroda, S.-Y. :12. On the Syntax of Old Japanese Takeuchi, Lone:13. *Nasake*; A Daoist Notion in Mid-Heian *Wabun* Unger, J. Marshall:14. Dating the Collapse of *Koo-otu* Distinctions and the Status of /mo/ Vovin, Alexander:15. Once Again on Doublets in Western Old Japanese

1217 Ibunka to no deai Sekai no naka no Nihon to Doitsu (BUNKA Tübinger interkulturelle und linguistische Japanstudien11) *Sprache und Kultur. Japan und Deutschland vor der interkulturellen Herausforderung* (Eschbach-Szabo, Viktoria ; Koyama-Siebert, Yoko ; Ebi, Martina) Lit 2005 A5 14, 203 p

物語文の表現と文末形式 芥川作品を通して(藤井俊博) 日本語の指示詞を習得する問題点
 ドイツ人学習者を中心に(Ebi, Martina) 日本語とドイツ語の複合語の対照(玉村文郎)
 ドイツの大学における古典文法の教え方について(Meyer, Eva-Maria) テュービンゲン大学日本語教育者の学習者調査 日本学専攻の学生とその学習状況(初級)(小山洋子) 大学に

おける地域・文化研究の一環としての日本語教育 (久保田浩) 留学志望の学生のための上級英語クラスの指導 学習者のホームページを利用して (北尾謙治) ドイツの日常の中の日本語 (Eschbach-Szabo, Viktoria) ヨーロッパに向かう明治日本 井上哲次郎(1855-1944)と新言語の創造 (Nawrocki, Johann) Iwasaki, Shoichi: The Structure of Internal-State Expressions in Japanese and Korean

- 1218 Japanese Korean Linguistics14 (Vance, Timothy J. ; Jones, Kimberly(eds.)) Center for the Study of Language and Information 2006 A5 10, 452p
- <1. Phonology> Hamano, Shoko: Accent and Sound Symbolism in Japanese Kawahara, Shiget o ; Ono, Hajime ; Sudo, Kiyoshi: Consonant Cooccurrence Restrictions in Yamato Japanese Kubozono, Haruo ; Fukui, Misa: Phonological Structure and Unaccented Nouns in Tokyo and Osaka Japanese Kurisu, Kazutaka: Theoretical Implications of Mimetic Voicing in Japanese Smith, Jennifer L. : Loan Phonology Is Not All Perception; Evidence from Japanese Loan Doublets <2. Psycholinguistics> Kang, Soyoun ; Speer, Shari R. ; Nakayama, Mineharu: Effects of Intonational Phrase Boundaries on Ambiguous Syntactic Clause Boundaries in Japanese Yap, Foong Ha ; Inoue, Yumi ; Shirai, Yasuhiro ; Matthews, Stephen ; Wong, Ying Wai ; Chan, Yi Heng: Aspectual Asymmetries in Japanese; Insights from a Reaction Time Study <3. Historical Linguistics> Nishi, Yumiko: The Emergence of the Complementizer *no* in Japanese Revisited Riggs, Hidemi S. : Semantic Shift from Politeness to Expressive; A Case Study of the Japanese Inferential Auxiliary *soo* <4. Syntax and Semantics> Dubinsky, Stanley ; Hamano, Shoko: Control into Adverbial Predicate PPs Furukawa, Yukio: It's Time to Say Goodbye to Syntactic Analyses of the SIKI-NAI Construction Hara, Yurie: Formal Grammar of Evidentiality and Implicatures; A Case Study of Japanese Contrastive *wa* Jang, Youngjun ; Shi, Chung-Kon: (A) symmetric Nominalization of Measure Expressions in Japanese and Korean Kataoka, Kiyoko: ''Neg-sensitive'' Elements, Neg-c-command, and Scrambling in Japanese Kobuchi-Philip, Mana: The Classifier in Japanese Numeral Quantification Miyagawa, Shigeru: Locality in Syntax and Floated Numeral Quantifiers in Japanese and Korean Oshima, David Y. : On Exceptional *zibun* Binding; An Experimental Approach <5. Discourse> Hudson, Mutsuko Endo ; Sakakibara, Yoshimi ; Kond o, Junko: Zero-Marked Topics, Subjects, and Objects in Japanese Ishihara, Tsuneyoshi ; Horie, Kaoru ; Pardeshi, Prashant: What Does the Korean ''Double Causative'' Reveal about Causation and Korean? A Corpus-Based Contrastive Study with Japanese Kabata, Kaori ; Lee, Jeong-Hwa: Aspectual Markers in Japanese and Korean; A Corpus Linguistics Study Nishi, Yumiko ; Shirai, Yasuhiro: Rethinking the Temporal Approach to Stativity Denoted by *-te iru*; The Application of the Two-Component Theory of Aspect Ono, Tsuyoshi: Postpredicate Elements in Japanese Conversation; Nonmodularity and Panchrony Shimotani, Maki: The Relationship between Prosodic Features and Modal Expressions in Discourse; A Case Study of the Japanese Sentence-Final Particle *yo* Takeda, Tomoko: Obliqueness and Postpositional Marking in Japanese Toratani, Kiyoko: On the Optionality of *to*-Marking on Reduplicated Mimetics in Japanese Yoshida, Nina Azumi: An Analysis of Neg

ative Nominalized Predicates as Prohibitives in Japanese Discourse

1219 McGloin, Naomi Hanaoka ; Mori, Junko (eds.): Japanese Korean Linguistics 15. --Stanford, California, Center for the Study of Language and Information, 2007. B5 小, 12, 458p.

<1. Discourse and Sociolinguistics> Shibatani, Masayoshi ; Chung, Sung Yeo: On the Grammaticalization of Motion Verbs: A Japanese-Korean Comparative Perspective Anderson, Victoria ; Hiramoto, Mie ; Wong, Andrew: Prosodic Analysis of the Interactional Particle *Ne* in Japanese Gendered Speech Inoue, Aya: Grammatical Features of Yokohama Pidgin Japanese; Common Characteristics of Restricted Pidgins Iwasaki, Shimako: Construction of Units and Interactive Turn Spaces in Japanese Conversation Matsumoto, Yoshiko: Dealing with Changes: Discourse of Elderly Japanese Women Pardeshi, Prashant ; Li, Qing-Mei ; Horie, Kaoru: Where, How and Why Do Passives in Japanese and Korean Differ? A Parallel Corpus Account Shimotani, Maki: A Claim-of-Reanalysis Token *e?*/*e-* within the Sequence Structure of Other Repair in Japanese Conversation <2. Grammaticalization> Sawada, Osamu: From Classifier Construction to Scalar Construction: The Case of the Japanese *N Hitotu V-nai* and *N 1-Numeral Classifier V-nai* Constructions Shinzato, Rumiko ; Suzuki, Satoko: From Quotative Conditionals to Emotive Topic Markers: A Case of *tteba* and *ttara* in Japanese <3. Phonology and Morphology> Horiuchi, Hitoshi: Prosodically Conditioned Ellipsis and Lexical Integrity in Sino-Japanese Morphology Tsujimura, Natsuko ; Okamura, Kyoko ; Davis, Stuart: Rock Rhymes in Japanese Hip-Hop Rhymes <4. Processing and Acquisition> Ozeki, Hiromi ; Shirai, Yasuhiro: The Acquisition of Relative Clauses in Japanese: A Comparison with Korean Ueno, Mieko ; Garnsey, Susan: Gap-filling vs. Filling Gaps; Event-Related Brain Indices of Subject and Object Relative Clauses in Japanese <5. Syntax and Semantics> Han, Chung-Hye: In Search of Evidence for the Placement of the Verb in Korean and Japanese Irie, Makiko: Temporal Order in Japanese *Toki-ni* Sentences: An Event-Structural Account Kataoka, Kiyoko: Scrambling, Resumption and Scope of Neg Kaufmann, Stefan ; Takubo, Yukinori: Non-veridical Uses of Japanese Expressions of Temporal Precedence Kim, Ae-Ryung: What Exactly Intervenes What? Kim, Yong-Taek: A Contrastive Study of Resultative Constructions in Korean and Japanese; From the Perspective of Historical and Cognitive Linguistics Kinuhata, Tomohide: Syntactic Change from Connective to Focus Particles in Japanese Kusumoto, Kiyomi: *Until* in English and Japanese McCreedy, Eric: *Sekkaku* Takubo, Yukinori: Two Types of Modal Auxiliaries in Japanese; Two Directionalities in Inference

1220 Cover, Rebecca T. ; Kim, Yuni (eds.): Proceedings of the Thirty-First Annual Meeting of the Berkeley Linguistics Society; General Session and Parasession on Prosodic Variation and Change. --Berkeley, Berkeley Linguistics Society, 2006-2. A5, 7, 524p.

<General Session> Ayano, Seiki: Talmy's Lexical-Semantic Typology and Three Types of Directional PPs in Japanese Hasegawa, Yoko: A Study of Soliloquy in Japanese Hosoi, Hironobu: Japanese *-tachi* Plurals Sugiyama, Yukiko: Not All Verb-Framed Languages Are Created Equal; The Case of Japanese Takeuro, Makiko: Attunement in Sequential Use of

Japanese Honorifics Toratani, Kiyoko: A Cognitive Approach to Mimetic Aspect in Japanese
Tsuji-mura, Natsuko: Mimetic Verbs and Innovative Verbs in the Acquisition of Japanese
<Parasession; Prosodic Variation and Change> Oshima, David Y.: Boundary Tones or Prominent Particles? Variation in Japanese Focus-Marking Contours

◇国語史

- 1221 源氏物語の展望 2 (森一郎; 岩佐美代子; 坂本共展編) 三弥井書店 2007-10 A5 318p 6800 円
光源氏の造型 「ことば」から照射した人物像 (藤田加代) 源氏物語の圧縮・集約表現 巻の冒頭文の名詞的語彙を例にして (神谷かをる)

◇語彙・用語

- 1222 複合語の語構成に関する研究 (国学院大学大学院研究叢書 文学研究科 18) *A Study about Word-formation of Compound Words* (呉海蓮) 国学院大学大学院 2007-12 B5 2, 228p
1223 古語/女房詞 食文化に関する用語集 *Terminology of Dietary Culture; Japanese Obsolescent Terms/ Terms Used by Japanese Ancient Women* (太田泰弘編刊) 2004-6 A4 5, 66p
1224 *いしがきの地名 1 大字・小字・川の方言名・岬の方言名・浜の方言名 (石垣市編) 石垣市総務部市史編集課 1989-3 B5 136p
1225 *奥吉野の地名 古来大峯の謎 (岩野和彦著 奥吉野研究会編刊) 2007-11 A5 240p 2400 円

◇文法

- 1226 日本語文法学会大会発表論文集 第 2 回 ('01. 12. 08~09 和光大学) (日本語文法学会編刊) 日本語文法学会事務局 2001-12 B5 153p
1227 日本語文法学会大会発表論文集 第 4 回 ('03. 11. 29~30 青山学院大学) (日本語文法学会編刊) 日本語文法学会事務局 2003-11 B5 152p
1228 日本語文法学会大会発表予稿集 第 5 回 ('04. 11. 27~28 関西学院大学) (日本語文法学会編刊) 日本語文法学会事務局 2004-11 B5 214p
1229 日本語文法学会大会発表予稿集 第 6 回 ('05. 11. 26~27 明海大学) (日本語文法学会編刊) 日本語文法学会事務局 2005-11 B5 205p
1230 日本語文法学会大会発表予稿集 第 7 回 ('06. 10. 28~29 神戸大学) (日本語文法学会編刊) 日本語文法学会事務局 2006-10 B5 227p
1231 日本語文法学会大会発表予稿集 第 8 回 ('07. 10. 27~28 筑波大学) (日本語文法学会編刊) 日本語文法学会事務局 2007-10 B5 241p
1232 *入門日本語の文法 日本語を一から学び直したい人へ (村田水恵) アルク 2007-10 A5 290p 2400 円
1233 現代日語助詞意義的研究 (吳大剛) 上海外語教育出版社 2000-9 A5 4, 3, 382p
1. 緒論 現代日語助詞意義的研究目的、意義和方法 2. 日語助詞意義の整体研究 3. 日語助詞意義の個別研究

◇文章・文体

- 1234 *文化とレトリック (大阪大学大学院言語文化研究科編刊) 2007-5 A4 122p 1619 円

◇方言・民俗

(方言一般)

- 1235 「声の言語地図」のネットワーク化と「映像の言語地図」開発に関する研究(木部暢子研究代表刊) 2006-3 A4 123p

[平成 15~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(1)研究成果報告書]

(各地の方言)

- 1236 全国アホ・バカ分布考 はるかなる言葉の旅路(新潮文庫)(松本修) 新潮社 1996-12 A6 582p 781 円
[太田出版 1993 年刊を文庫化したもの]
- 1237 *紫波の言葉 岩手県央部 改訂・増補版(山田長耕) 熊谷印刷出版部 2007-6 A5 173p 2200 円
- 1238 立川の方言(立川民俗シリーズ 7)(鈴木為佐生) 立川市教育委員会 1987-3 A5 186p
- 1239 *越後山襲の語りと方言(高橋実) 雑草出版 2007-11 A5 218p 2200 円
- 1240 福井県大野市の生活語彙(天野義広編刊) 2006-8 A5 30,497p
[『大野市第 12 巻 方言編』(大野市役所 2006 年 3 月刊)の別刷]
- 1241 *ふるさとの方言と遊び(岐南町歴史民俗資料館編) 岐南町歴史民俗資料館 1999-11 B5 6 5p
- 1242 生きている岡山弁 新聞・雑誌・交通安全看板などに見られる岡山弁(長尾人志著刊) 2007 B5 36p 非売
- 1243 土佐弁の基礎知識 併載・簡易逆引き土佐弁辞典(一の瀬愚著 おろか工房編) 高知ビデオサービズ 2007-12 B6 286p 1200 円

◇ことばと機械

- 1244 コーパスを利用した国語辞典編集法の研究(荻野綱男編) 文科省科学研究費特定領域研究「日本語コーパス」辞書編集班 2007-3 A4 204p
[平成 18 年度文部科学省科学研究費特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築 21 世紀の日本語研究の基盤整備」研究成果報告書]

◇コミュニケーション

- 1245 異言語・異文化の中で暮らす 情報流通と法律相談の現場から(多言語・多文化ブックレット 4)(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2007-3 A5 66p
- 1246 外国人労働者をどう受け入れるのか? 「くにのかたち」と「まちづくり」(多言語・多文化ブックレット 2)(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2007-3 A5 55p
- 1247 *コミュニケーションの哲学 ハーバーマスの語用論と討議論(遠藤克彦) 世界書院 2007-10 A5 309p 3600 円
- 1248 多文化社会への「構想力」を身に付ける 5 コーディネーターの資質と役割(多言語・多文化ブックレット 5)(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2007-7 A5 69p
- 1249 文化間対立の超克を目指して 現場で考える教育と人材養成(多言語・多文化ブックレット 6)(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2007-7 A5 63p

(言語生活)

- 1250 批判的社会言語学の展開(大阪大学大学院言語文化研究科編刊) 2007-5 A4 45p
- 1251 日本語音声のピッチ平坦化現象に関する社会言語学的研究 北海道方言・鹿児島方言を分析資料

として(高野照司研究代表刊) 高野照司 2007-3 A4 6, 85p

[平成 16~18 年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書]

1252 Toolan, Michael(ed.): Current Debates and New Directions <Critical Discourse Analysis Critical Concepts in Linguistics 4> .--London, New York, Routledge, 2002. B5 小, 8, 520p.

Ohara, Yumiko:63. Ideology of Language and Gender;A Critical Discourse Analysis of Japanese Prescriptive Texts pp.273-286

1253 Suzuki, Toshihiko: A Pragmatic Approach to the Generation and Gender Gap in Japanese Politeness Strategies <Hituzi Linguistics in English 6> .--Tokyo, Hituzi Syobo, 2007-2. A5, 15, 306p. 9800 円

[付・CD-ROM1 枚]

1254 *ことばは壊れない 失語症の言語学(久保田正人) 開拓社 2007-10 B6 198p 1700 円

1255 Miyazaki, Sachie: Japanese Women's Listening Behavior in Face-to-face Conversation;The Use of Reactive Tokens and Nods <Hituzi Linguistics in English 7> .--Tokyo, Hituzi Syobo, 2007-12. A5, 11, 182p. 12000 円

(言語活動)

1256 暗号 この不可思議で魅惑的な世界(日向俊二) カットシステム 2007-10 A5 189p 1800 円

1257 *暗号技術 暗号技術が守る高度情報化社会(情報処理推進機構セキュリティセンター) 情報処理推進機構セキュリティセンター 2007-1 A4 4 枚

1258 点字のレッスン(阿佐博) 視覚障害者支援総合センター(博文館新社) 2006-11 B5 8, 80p 1300 円

1259 わたしたちの手話 新しい手話 2008 *New Signs* (全日本ろうあ連盟出版局編刊) 2007-12 A5 103p 762 円

(言語技術)

1260 これなら使える敬語 13 場面(工藤直子;高木まさき;青山由紀;関根健一編 蒲谷宏監修) 光村教育図書 2007-10 B5 63p 3200 円

1261 四季のことは読む書く知る味わう 日本語を楽しむ脳トレマガジン <Gakken Mook>(堀部泰憲;松橋研編) 学習研究社 2007-10 B5 138p 857 円
[付・「巻末・特別とじこみ付録」]

1262 知っておきたい敬語 9 場面(工藤直子;高木まさき;青山由紀;関根健一編 蒲谷宏監修) 光村教育図書 2007-12 B5 63p 3200 円

◇マス・コミュニケーション

1263 組版/タイポグラフィの廻廊(府川充男;小池和夫;小宮山博史;日下潤一;前田年昭;大熊肇) 白順社 2007-12 B5 251p 3800 円

◇国語問題

1264 漢字出現頻度数調査(ウェブサイト) 漢字関係参考資料集(文化庁文化教育部国語課編刊) 2007-12 A4 9, 496p

◇国語教育

(表現と理解)

- 1265 「聴解力」を鍛える三段階指導 「聴く子」は必ず伸びる〈鍛える国語教室シリーズ 16〉(山中伸之著 野口芳宏監修) 明治図書出版 2007-12 A5 175p 1960 円
- 1266 書く活動が確かな読みの力をつける(白石範孝) 学事出版 2007-11 B6 62p 900 円
- 1267 *音読を大切にする文法・読本(中村啓佑) 朝日出版社 2000-4 B5 45p 2060 円
- 1268 書く力をつける一文マスターカード 低学年(野口芳宏編著) 明治図書出版 2007-11 B5 92p 2060 円
- 1269 書く力をつける一文マスターカード 中学年(野口芳宏編著) 明治図書出版 2007-11 B5 92p 2060 円
- 1270 書く力をつける一文マスターカード 高学年(野口芳宏編著) 明治図書出版 2007-11 B5 92p 2060 円
- 1271 書く力を高める小学校「100 マス作文」入門 題材選択能力の育成と共通・継続・肯定実践(三谷祐児) 明治図書出版 2007-11 A5 163p 1900 円

(海外・帰国子女の言語教育)

- 1272 外国とつながりのある子どもたち 3 多言語・多文化化する教室と心理臨床の現場から〈多言語・多文化ブックレット 3〉(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2007-3 A5 56p

◇外国人に対する日本語教育

- 1273 多言語・多文化社会の到来に向けて 多言語・多文化教育研究センター開所記念シンポジウム〈多言語・多文化ブックレット 1〉(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター編刊) 2007-2 A5 60p
- 1274 Tekmen, Ayşe Nur ; Takano, Akiko Yazar: Japonca Dilbilgisi. --Ankara, Engin Yayınevi, 2005. B5 小, 378p.
- 1275 *新聞で学ぶ日本語 読んで話す現代の日本 改訂新版(水谷修) The Japan Times Ltd. 2007-11 B5 154p 2500 円
- 1276 第 2 言語としての日本語・英語・中国語教育教材の汎用化に関する研究〈広島経済大学地域経済研究所報告書共同研究 04-A〉(三須祐介研究代表) 広島経済大学地域経済研究所 2007-3 A4 45p
- 1277 日本語学習者の習得過程に基づく評価と指導の研究(迫田久美子研究代表刊) 2006-3 A4 211p
[平成 15~17 年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書]
- 1278 留学生のためのやさしい医学用語 1 熊本大学留学生センター開発教材 3(大寺温子) 熊本大学留学生センター 2007-10 A4 108p 非売
- 1279 Byrnes, Heidi: Advanced Language Learning; Strategies for Implementing Intelligent Applications of Language Studies. --New York, Continuum, 2006. B5 小, 10, 268p.
<Part2; Description and Pedagogy> Teruya, Kazuhiro: 5. Grammar as a Resource for the Construction of Language Logic for Advanced Language Learning in Japanese. pp. 109-133
- 1280 植民地の朝鮮と台湾 歴史・文化人類学的研究〈Academic Series New Asia50〉(崔吉城; 原田環編) 第一書房 2007-6 B6 14, 380p 3800 円
植民地朝鮮における日本語教育の近代的側面 日本人から見た、朝鮮人にとっての日本語の意

味 pp. 83-113 (山田寛人) 台湾総督府の「種族」・言語認識 日本統治初期の人口センサス・戸口調査・通訳兼掌手当 pp. 115-148 (富田哲) 『放送教本初等国語講座』に見る「国語」教育 (上田崇仁)

◇言語 (学)

- 1281 *自然言語への理論的アプローチ (大阪大学大学院言語文化研究科編刊) 2007-5 A4 100p
[英語併載]
- 1282 日本言語学会大会予稿集 第134回('07. 6. 16~17 麗沢大学), 第135回('07. 11. 24~25 信州大学)
(日本言語学会編刊) 2007-6, 11 B5 445, 415p
- 1283 *発話と意味解釈 (大津隆広) 九州大学大学院言語文化研究院 2004-2 B5 104p
- 1284 Heine, Bernd ; Kuteva, Tania: The Genesis of Grammar; A Reconstruction (Oxford Linguistics Studies in the Evolution of Language 9) .--Oxford, New York, Oxford University Press, 2007. B5 小, 16, 418p.
- 1285 *言語起源論 旋律および音楽的模倣を論ず *Essai sur L'origine des Langues ou il Est Parle de la Melodie et de L'imitation Musicale* (Rousseau, Jean Jacques 著 小林善彦訳)
現代思潮新社 2007-8 B6 213p 2500 円
[オンデマンド版]
- 1286 Bolton, Kingsley ; Kachru, Braj B. (eds.): World Englishes 4; Critical Concepts in Linguistics. --Abingdon, Routledge, 2006. B5, 10, 326p.
Baxter, James: How Should I Speak English?; American-ly, Japanese-ly, or International ly? Stanlaw, James: Japanese and English; Borrowing and Contact
- 1287 言語間におけるライティング能力の双向性に関する研究 L2 から L1 へ *Transferability of Composing Competence across Languages: from L2 to L1* (小林ひろ江研究代表刊) 2007-11 A4 179p
[平成 16~18 年度科学研究費補助金基盤研究(C) 研究成果報告書]
- 1288 これからの言語文化教育 (大阪大学大学院言語文化研究科編刊) 2007-5 A4 34p
- 1289 「リスニング・ストレス」の構成概念妥当性の検証及びその生起のメカニズムの解明 *Verification of the Psychological Reality of 'Listening Stress' and Elucidation of Its Mechanism* (野呂徳治研究代表刊) 2007-3 A4 2, 54p
[平成 17・18 年度科学研究費補助金基盤研究(C) 研究成果報告書]
- 1290 Bolton, Kingsley ; Kachru, Braj B. (eds.): World Englishes 3; Critical Concepts in Linguistics. --London, New York, Routledge, 2006. B5, 12, 527p.
<4. Regional Profiles; The Expanding Circle> Honna, Nobuyuki: English in Japanese Society; Language within Language
- 1291 *ポストコロニアル国家と言語 フランス語公用語国セネガルの言語と社会 (砂野幸稔) 三元社 2007-12 A5 412, 92p 4800 円
- 1292 Haspelmath, Martin ; Dryer, Matthew S. ; Gil, David ; Comrie, Bernard (eds.): The World Atlas of Language Structures (Oxford Linguistics) .--Oxford, New York, Oxford University Press, 2005. 規格外, 15, 695p.
[付・CD1 枚]

- 1293 Moseley, Christopher (ed.): *Encyclopedia of the World's Endangered Languages*. --London, New York, Routledge, 2007. B5, 16, 669p.
- 1294 テクストの言語と読み 池上恵子教授記念論文集 *Text, Language and Interpretation: Essays in Honour of Keiko Ikegami* (池上恵子教授記念論文集刊行会) 英宝社 2007-12 A5 497p 10000 円
＜6. テクストの言語と読み 比較文学・比較文化＞江戸と中世イギリス 一枚の地図が結んだ日本とイギリス (海老久人) <7. テクストの言語と読み フィロロジの課題と展望＞中世英語英文学への挑戦 特に英語学を中心に (吉野利弘)
- 1295 明治はいかに英語を学んだか 東海地方の英学 (愛知大学総合郷土研究所ブックレット 15) (早川勇著 愛知大学総合郷土研究所編) あるむ 2007-9 A5 80p 800 円
- 1296 * 言語一般 (真田信治 ; 足立正治 ; 内田万里子 ; 小野隆啓著 佐治圭三監修) 東京法令出版 (凡人社) 2004-6 A5 213p 1905 円
- 1297 日中漢字の比較研究 (周錦樟) 輔仁大学日本語文学系 1988-4 A5 91p
- 1298 * 「気」の思想・「こころ」の文化 言語学からみた日本人とタイ人の心のあり方 *Cultural Conception of 'ki' and 'kokoro'* (チャワーリン・サウエッタナン述) 国際日本文化研究センター 2007-10 A5 36p
[会期・会場 : 2007 年 6 月 13 日 キャンパスプラザ京都]
- 1299 Shigemori Bucčar, Chikako: *Voice in Contrast: Japanese and Slovene* (Razprave Filozofske Fakultete) . --Ljubljana, Znanstvenoraziskovalni Inštitut Filozofske Fakultete, 2007. B5 小, 363p.
- 1300 850 語に魅せられた天才 C. K. オグデン (相沢佳子) 北星堂書店 2007-11 A5 291p 2800 円

◇辞典・用語集

- 1301 ジョンソン博士の『英語辞典』 世界を定義した本の誕生 (ヒッチングズ, ヘンリー著 田中京子訳) みすず書房 2007-12 A5 10, 278, 24p 5800 円
[Hitchings, Henry: *Dr. Johnson's Dictionary: The Extraordinary Story of the Book that Defined the World*, London, John Murray, 2005 の全訳]

(国語辞典)

- 1302 デイリーコンサイス国語辞典 *Sanseido's Daily Concise Dictionary* 第 4 版 ; 中型版 (佐竹秀雄 ; 三省堂編修所編) 三省堂 2004-8 B6 886p 2500 円
- 1303 デイリーコンサイス国語・漢字辞典 *Sanseido's Daily Concise Dictionary* 第 2 版 (三省堂編修所編) 三省堂 2004-9 A6 886, 8, 664, 61p 3100 円
[付・「人名用漢字」(4p)]

(特殊語辞(事)典)

- 1304 うろ覚え四字熟語 下二文字でも引ける索引付き (主婦の友社編刊) 2006-12 B6 287p 1000 円
- 1305 * 遠野ことば 精選五百語・標準語引き (阿部順吉) 北の杜編集工房 2006-5 A6 161p 524 円
- 1306 簡易土佐弁辞典 解説付き (一の瀬愚著 おろか工房編) 高知ビデオサービス 2005-11 B6 64p 476 円

(文字辞典(字体・筆順・くずし字, 宛字辞典))

- 1307 漢字くずし方辞典 新装 10 版(児玉幸多編) 東京堂出版 1993-3 B6 4, 539, 63p 3500 円
1308 くずし字解説辞典 毛筆版 4 版(児玉幸多編) 東京堂出版 2006-9 A5 4, 353, 61p 3500 円

(対訳辞典)

- 1309 金禮坤저자: 주머니 속 한일사전;韓日辞典〈Pocket Book〉., 2007-12. A6, 314p.
1310 金禮坤저자: 주머니 속 일한사전;日韓辞典〈Pocket Book〉., 2007-12. A6, 293p.
1311 ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典 2 色刷 *Pocket Progressive Korean Dictionary* (油谷幸利; 門脇誠一; 松尾勇; 高島淑郎編) 小学館 2004-4 B6 小 8, 1447p 3000 円
1312 ウィズダム英和辞典 *The Wisdom English-Japanese Dictionary* 第 2 版(井上永幸; 赤野一郎編) 三省堂 2007-1 B6 16, 2125p 3300 円
1313 グランドセンチュリー英和辞典 *The Grand Century English-Japanese Dictionary* 第 2 版(木原研三監修) 三省堂 2005-1 B6 48, 22, 1833p 2980 円
[付・CD1 枚]
1314 クラウン仏和辞典 *Crown;Dictionnaire Français-Japanais* 第 6 版(天羽均; 大槻鉄男; 佐々木康之; 多田道太郎; 西川長夫; 山田稔; Lamare, Jean Henri/編) 三省堂 2006-1 B6 20, 1802p 3900 円
[付・別冊「CD 収録項目」(B6 版, 10p), CD1 枚]
1315 コンサイス和仏辞典 *Dictionnaire Concise Japonais-Français* 第 3 版(重信常喜ほか編) 三省堂 2003-7 B6 小 7, 1238p 4000 円
1316 小学館西和中辞典 *Shogakukan Diccionario Español-Japonés* 第 2 版(高垣敏博監修) 小学館 2007-4 B6 10, 2165p 6600 円
1317 *ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典 2 色刷 *Dizionario Tascabile Italiano - Giapponese Giapponese - Italiano* (郡史郎; 池田廉編) 小学館 2001-4 B6 小 1015p 3000 円
1318 アルマーヒル 日本語アラビア語辞典 *Almahir;Japanese-Arabic Dictionary* (エルシリビーニー, マーヒル) 2007 B5 小 565p
1319 サハ語会話帳 *Сахалыы Сана Рыах!* (ナヂェーシダ, ポポーヴァ; 藤代節) 九州大学大学院人文科学研究院言語学研究室 2007-3 A5 10, 252p
1320 日本語-フィリピン語実用辞典 *Mapakikinabangang Diksiyonario ng Hapon-Philipinas* 新装普及版(市川恭治編) 日本地域社会研究所 2006-3 A5 245p 3000 円
1321 Krūmiņa, BrigitaBaiba: 和良学習漢字辞典 1. --Rīga, Japāņu Valodas Un Kultūras Studijas 'Gengo' Mācību Laboratorija, 2006. A5, 359p.
1322 Krūmiņa, BrigitaBaiba: 和良学習漢字辞典 2. -- Rīga, Japāņu Valodas Un Kultūras Studijas 'Gengo' Mācību Laboratorija, 2006. A5, 6, 631p.

(各科辞(字)典)

- 1323 歴史考古学大辞典(小野正敏; 佐藤信; 舘野和己; 田辺征夫編) 吉川弘文館 2007-3 B5 5, 1247, 104p 32000 円

(用字用語辞典)

- 1324 旺文社国語実用辞典 新版(旺文社編刊) 1989-5 B40 1087p 2200 円

1325 現代実用辞典 第 2 版 (講談社辞典局編) 講談社 1992-11 B6 4, 996p 1165 円

1326 新修実用辞典 和英併用 第 4 版 (宇野哲人編) 集英社 1998-5 B6 小 667p 1100 円

(索引)

1327 日本古代文学人名索引 別巻 (加納重文; 中村康夫編) 望稜舎 1989-9 B5 376p 5500 円

1328 日本古代文学人名索引 韻文編 (加納重文; 中村康夫編) 望稜舎 1997-3 B5 17, 1120p 16000 円

1329 日本古代文学人名索引 軍記篇 (加納重文; 中村康夫編) 望稜舎 1989-9 B5 354p 6000 円

1330 日本古代文学人名索引 説話篇 (加納重文; 中村康夫編) 望稜舎 1989-9 B5 7, 312p 5500 円

1331 日本古代文学人名索引 物語・日記・随筆・漢文学・その他篇 (加納重文; 中村康夫編) 望稜舎 1989-9 B5 8, 247p 4500 円

1332 日本古代文学人名索引 歴史篇 (加納重文; 中村康夫編) 望稜舎 1989-9 B5 324p 5500 円

◇参考資料

1333 洛陽外国語学院日本学研究センター成立 20 周年記念 東アジア日本学研究国際シンポジウム予稿集 '06. 10. 13~15 洛陽新友誼大酒店, 洛陽雅香国際(公寓)大酒店 (中国日語教学研究会; 洛陽外国語学院日本学研究センター編刊) 中国日語教学研究会; 洛陽外国語学院日本学研究センター 2006-10 A4 6, 230p

[付・別冊「洛陽外国語学院日本学研究センター成立 20 周年記念 東アジア日本学研究国際シンポジウムプログラム」(A4 版, 12p)]

1334 メリーランド大学図書館所蔵 ゴードン W. プラング文庫教育図書目録 占領期検閲教育関係図書 1945-1949 *Guide to the Gordon W. Prange Education Book Collection Occupation-Period Censored Education Books 1945-1949* (野田朱美; 坂口英子編) 文生書院 2007-1 A4 20, 983p 非売

◇国語研究資料

(上代)

1335 上代文学研究論集 付・『千歌』写真版 [楫取魚彦] (万葉叢書 8) (片山武; 星野五彦編著) 万葉書房 2007-12 A5 178p 3200 円

[複製 伊能家資料中の『千歌』]

「もとな」の意味と用法 pp. 5-18 (津田大樹) 「御食国」の訓み pp. 74-83 (小林宗治)

夏目麿著『万葉摘草』について pp. 84-102 (片山武)

1336 * 中西進著作集 6 終わりなき挽歌 命と心を想うエッセイ (中西進) 四季社 2007-11 A5 627p 5500 円

(中世)

1337 * 異名分類抄 翻刻 [入江昌喜] (花園大学入江昌喜研究会編) 花園大学入江昌喜研究会 2007-12 B6 133p 非売

1338 * 九条家本玉葉 6 治承二年冬-治承三年冬 [藤原兼実] (宮内庁書陵部編) 明治書院 2000-4 A5 311p

1339 キリシタン版太平記抜書 1 (キリシタン文学双書 キリシタン研究 44) (高祖敏明校注) 教文館 2007-12 A5 318, 28p 6400 円

巻第一・巻第二・解題・解説・参考(キリシタン版『平家物語』に見られる各種表現との比較
一覧)

(近世)

1340 洞門抄物と国語研究 資料篇 補陀寺蔵円相門参 長年寺蔵門参 長興寺蔵上々之参得 大中
寺蔵本参 (桜楓社) 桜楓社 1976-10 B5 314p

[複製]

(中国辞書・研究)

1341 *説文解字の基礎的研究 段玉裁の説文学(高橋由利子) 六甲出版 1996-7 B5 91p
中央研究院歴史語言研究所蔵『段氏説文補正』について. 『段氏説文補正』と『説文解字讀』.
段玉裁『説文解字注』の成立過程について 1-2. 『説文解字』毛氏汲古閣本について. 段玉
裁『説文解字注』保息局刊本の二種の異本について

雑誌文献一覧

□国語（学）

◇国語（学）一般

- 1 はたして「祖国とは国語」であるのか（檜垣嗣子）
カルチャー（明治学院大学教養教育センター紀要）2-1 2008-3 pp.147-154
- 2 言語、その過去、現在、未来 日本列島の言語を中心に(4)（上村幸雄）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-1 2008-1 pp.211-196
- 3 言語、その過去、現在、未来 日本列島の言語を中心に(5)（上村幸雄）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-7 2008-7 pp.172-163
- 4 〈シンポジウム〉日本文学における〈表現の時間〉（三谷邦明；渡部泰明；大石直記；小泉浩一郎/司会）
国文学 言語と文芸（国文学言語と文芸の会）124 2008-3 pp.5-48
- 5 〈エッセイ〉朗読者の務めと悩み 言語時評(17)（工藤力男）
成城文芸（成城大学）202 2008-3 pp.33-41
- 6 音色のレトリック（樋口桂子）
大東文化大学紀要 人文科学 46 2008-3 pp.95-113
- 7 〈言葉を調査する〉敬語の変化を経年的に明らかにする 愛知県岡崎市における敬語調査から（朝日祥之）
文部科学時報（文部科学省）1587 2008-4 pp.72-73
- 8 〈〃〉漢字情報データベース（高田智和）
文部科学時報（文部科学省）1589 2008-6 pp.60-61
- 9 〈〃〉言語データベース KOTONOHA（前川喜久雄）
文部科学時報（文部科学省）1591 2008-8 pp.48-49
- 10 〈〃〉「生活日本語」の学習をめぐる（金田智子）
文部科学時報（文部科学省）1593 2008-10 pp.76-77
- 11 〈〃〉方言分布の形成過程を知るために（大西拓一郎）
文部科学時報（文部科学省）1595 2008-12 pp.44-45
- 12 特集；敷島の道往還——発せられざる問の行方 国語の現在（8）（駒井鉄平）
あらたま（荒魂之会）66 2008-12 pp.46-49
- 13 文学に描かれた日本の「食」のすがた 古代から江戸時代まで——〈座談会〉食を語る 食と文学
（シラネ、ハルオ；小峯和明；渡辺憲司/司会）
国文学 解釈と鑑賞 別冊（至文堂）2008-10 pp.3-18
- 14 〃——食を語る 古典文学における〈食〉の登場（小峯和明）
国文学 解釈と鑑賞 別冊（至文堂）2008-10 pp.19-29
- 15 連載；言葉を見つめて(10)——「ことば(国語・日本語・言語)」の質問に答える（山田貞雄）
文化庁月報 472 2008-1 p.25

- 16 連載；言葉を見つめて(11)——言語活動を支援するソフトウェアの開発（山口昌也）
文化庁月報 473 2008-2 p. 25
- 17 連載；言葉を見つめて(12・最終回)——方言談話資料を利用して（井上文子）
文化庁月報 474 2008-3 p. 25
- 18 〈学界時評〉国語（近藤泰弘）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-1 2008-1 pp. 170-171
- 19 〈〃〉国語（小野正弘）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-5 2008-4 pp. 192-193
- 20 〈〃〉国語（近藤泰弘）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-12 2008-8 pp. 178-179
- 21 〈〃〉国語（小野正弘）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-15 2008-10 pp. 178-179
- 22 JACET(大学英語教育学会)英語辞書研究会小史(1995年12月-2007年3月)（村田年）
和洋女子大学紀要 人文系編 48 2008-3 pp. 103-118
- 23 2006年・2007年における日本語学界の展望(補遺)——文字・表記(理論・現代)（屋名池誠）
日本語の研究（日本語学会）4-4 2008-10 pp. 70-76
- 24 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(1)——統語論と語用論のはざまから（加藤重広）
言語（大修館書店）37-4 2008-4 pp. 88-89
- 25 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(2)——促音の謎（窪菌晴夫）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 98-99
- 26 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(3)——品詞分類の悩み（中山俊秀）
言語（大修館書店）37-6 2008-6 pp. 100-101
- 27 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(4)——オノマトペと言語の起源（今井むつみ）
言語（大修館書店）37-7 2008-7 pp. 104-105
- 28 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(5)——「言語基礎論」の構築 言語と効率性（町田健）
言語（大修館書店）37-8 2008-8 pp. 8-9
- 29 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(6)——コーパスと容認可能性判断 データ取得の方法論（滝沢直宏）
言語（大修館書店）37-9 2008-9 pp. 8-9
- 30 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(7)——言語の起源・進化研究をめぐって（池内正幸）
言語（大修館書店）37-10 2008-10 pp. 8-9
- 31 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(8)——二十一世紀の言語学（大堀寿夫）
言語（大修館書店）37-11 2008-11 pp. 8-9
- 32 リレー連載；ラングスケープ 言語研究の動向(9)——スポーツと言語行動・言語文化（陣内正敬）
言語（大修館書店）37-12 2008-12 pp. 8-9
- 33 小特集；国立国語研究所の60年——概観及び社会言語学的調査研究（杉戸清樹）

- 日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp. 101-108
- 34 "——方言研究 (佐藤亮一)
日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp. 109-116
- 35 "——語彙・計量研究 (石井正彦)
日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp. 117-124
- 36 "——国語教育・政策 (甲斐睦朗)
日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp. 125-130
- 37 "——日本語教育 (西原鈴子)
日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp. 131-136
- 38 特集 ; 2006 年・2007 年における日本語学界の展望——総説 (月本雅幸)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 1-4
- 39 "——研究史 (高瀬正一)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 5-8
- 40 "——研究資料(史的研究) (米谷隆史)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 9-12
- 41 "——研究資料(現代) (鶴橋俊宏)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 13-16
- 42 "——文法(史的研究) (坪井美樹)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 17-24
- 43 "——文法(理論・現代) (安達太郎)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 25-32
- 44 "——語彙(史的研究) (村田菜穂子)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 33-40
- 45 "——語彙(理論・現代) (新野直哉)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 41-48
- 46 "——音韻(史的研究) (鈴木豊)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 49-57
- 47 "——音韻(理論・現代) (藤本雅子)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 58-66
- 48 "——文字・表記(史的研究) (佐々木勇)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 67-74
- 49 "——文章・文体(史的研究) (土井光祐)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 75-81
- 50 "——文章・文体(理論・現代) (梅林博人)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 82-87
- 51 "——社会言語・言語生活 (宇佐美まゆみ)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 88-97

- 52 // ——地域言語・方言 (中井精一)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 98-106
- 53 // ——数理的研究 (熊谷康雄)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 107-113
- 54 // ——海外における日本語研究 (ナロック, ハイコ; アーウィン, マーク)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 114-119
- 55 特集; 異文化間教育学会 25 年の回顧と展望——異文化間教育学会の設立を回顧して (小林哲也)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 3-12
- 56 // ——陽の目を見、市民権を得た学会の道程と旅先 (星野命)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 13-19
- 57 // ——私と異文化間教育学とのかかわり (佐藤郡衛)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 20-31
- 58 // ——在任期間の活動と本学会の特長・課題 (小島勝)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 32-46
- 59 // ——異文化間教育 25 年間の軌跡 大会発表と学会紀要から見る研究動向 (山田礼子)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 47-61
- 60 特集; 平成 17(2005)年 平成 18(2006)年国語国文学界の動向——国語学 日本語史 1 (大木一夫)
文学・語学 (全国大学国語国文学会) 190 2008-3 pp. 63-67
- 61 // ——国語学 日本語史 2 室町時代以降現代まで (神戸和昭)
文学・語学 (全国大学国語国文学会) 190 2008-3 pp. 68-72
- 62 // ——国語学 方言・音韻 (大橋純一)
文学・語学 (全国大学国語国文学会) 190 2008-3 pp. 73-78
- 63 特集; 平成 17(2005)年 平成 18(2006)年国語国文学界の動向——国語学 国語学(方法論) (金子弘)
文学・語学 (全国大学国語国文学会) 191 2008-7 pp. 81-85
- 64 〈シンポジウム〉日本語・日本文学研究と国際性の問題 (辻英子)
文学・語学 (全国大学国語国文学会) 192 2008-11 pp. 24-36
- 65 中国における万葉集の研究(一九七八年~二〇〇七年) (王華)
万葉古代学研究所年報 6 2008-3 pp. 71-90
- 66 李康民: 韓國에 있어서의 日本語 研究(2005~2006); 専門學術誌의 研究 動向.
日本學報 (韓國日本學會) 74-2, 2 2008 pp. 427-450
- 67 特集; 日本語研究の国際交流——海外の日本語研究の拠点づくり (全亨式)
日本語学 (明治書院) 27-14 2008-12 pp. 12-19
- 68 // ——フランスの日本語研究 (大島弘子)
日本語学 (明治書院) 27-14 2008-12 pp. 20-27
- 69 // ——海外在住の日本語研究者が期待すること (ベケシュ, アンドレイ)
日本語学 (明治書院) 27-14 2008-12 pp. 40-44
- 70 日本語教育をはじめたころのわたしのおもいで (かねこひさかず)

- 国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 6-13
- 71 〈エッセイ〉 聖域って何? (下川浩)
日本のコトバ (日本コトバの会) 27 2008-12 pp. 64-54
- 72 〈リ〉 近頃の日本語 (安嶋彌)
文芸広場 (文芸広場社) 56-8 2008-8 pp. 24-26
- 73 〈リ〉 近頃の日本語 (安嶋彌)
文芸広場 (文芸広場社) 56-9 2008-9 pp. 20-22
- 74 〈シンポジウム〉 日本語日本文学研究の未来 博士課程の目指すもの (半藤英明/コーディネーター;
揖斐高; 近藤泰弘; 鈴木元; 山田俊; 川平敏文/パネリスト)
熊本県立大学大学院文学研究科論集 1 2008-9 pp. 3-47
- 75 特集; 源氏物語研究——国学院大学と源氏物語研究 明治・大正期を中心に (豊島秀範)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-10 2008-10 pp. 189-202
- 76 特集; 日本語研究の国際交流——日本語研究の国際交流 (井上優)
日本語学 (明治書院) 27-14 2008-12 pp. 4-11

◇国語学史

- 77 荷田春満と賀茂真淵 春満の「冠辞」解釈とその継承 (城崎陽子)
国学院大学紀要 46 2008-2 pp. 111-137
- 78 賀茂真淵の初期活動 百人一首注釈をめぐって (高野奈未)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-8 2008-8 pp. 40-54
- 79 近世中期における儒書唐音音読論 平賀中南を中心として (湯沢質幸)
女子大國文 (京都女子大学国文学会) 142 2008-1 pp. 1-27
- 80 宣長手沢本『春秋経伝集解』 堀景山改訓の意義について (高橋俊和)
日本漢文学研究 (二松学舎大学 21 世紀 COE プログラム) 3 2008-3 pp. 119-141
- 81 富士谷御杖の後撰集註釈(承前) 卷十五、十六への記述に見える歌論的要素について (但馬貴則)
日本文芸研究 (関西学院大学日本文学会) 60-1/2 2008-11 pp. 59-75
- 82 『古今集遠鏡』と『古今余材抄』 (西田正宏)
文学史研究 (大阪市立大学) 48 2008-3 pp. 1-10
- 83 〈講演会記録〉 鈴木胤と時枝誠記 (尾崎知光)
文莫 (鈴木胤学会) 30 2008-6 pp. 1-19
- 84 Eto, Hiroyuki: The Philological and Exegetical Approach to Language and Culture in the History of Language Study in Japan.
Language Sciences 30-5, 9 2008 pp. 546-552
- 85 特集; アジアと近代/戦後と文学——漢字文化圏と翻訳システム 景山・宣長の系譜 (大橋敦)
立正大学国語国文 46 2008-3 pp. 43-53
- 86 特集; 翻訳を越えて——雨森芳洲と翻訳 (大西比佐代)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-7 2008-5 pp. 34-41
- 87 神奈川・横浜におけるヘボン式宣教活動の特徴 医療活動と『和英語林集成』を中心に (権田益美)

KGU 比較文化論集 (関東学院大学) 1 2008-7 pp. 93-112

- 88 藤岡勝二・新村出の門下生(1) 明治・大正の言語学(5) (佐藤喜之)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 809 2008-3 pp. 68-76
- 89 藤岡勝二・新村出の門下生(2) 明治・大正の言語学(6) (佐藤喜之)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 811 2008-5 pp. 54-62
- 90 藤岡勝二・新村出の門下生(3) 明治・大正の言語学(7) (佐藤喜之)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 814 2008-8 pp. 35-43
- 91 八杉貞利とロシア語学 明治・大正の言語学(8) (佐藤喜之)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 816 2008-10 pp. 64-72
- 92 松下文法の成立原理 詞の本性論(品詞論) (川田亮一)
熊本学園大学文学・言語学論集 15-1 2008-6 pp. 19-50
- 93 橘守部・純一関係寄贈資料の整理と研究 (5) 橘純一と小林好日の交遊 (町泉寿郎; 鈴木亮)
二松学舎大学人文論叢 80 2008-3 pp. 54-80
- 94 特集; 古代文学と言語論——折口信夫の「言語情調論」(保坂達雄)
武蔵野文学 (武蔵野書院) 56 2008-12 pp. 2-7
- 95 特集; 日本語文法の現在——みなおされる文法論 松下大三郎 『改撰標準日本文法』が発信するもの (鈴木一)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 14-21
- 96 〃——みなおされる文法論 芳賀矢一 形態論の先がけ (宮島達夫)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 22-29
- 97 〃——みなおされる文法論 佐久間鼎の文法研究 (仁田義雄)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 30-38
- 98 〃——みなおされる文法論 三尾砂の文法 文の分類を中心に (小嶋栄子)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 39-46
- 99 〃——みなおされる文法論 田丸卓郎 (根岸亜紀)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 47-52
- 100 〃——みなおされる文法論 宮田幸一の『日本語文法の輪郭』について (須田義治)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 53-61

◇国語史一般

- 101 「東南」から「南東」へ とある言語史論の一例 (尾形佳助)
文林 (神戸松蔭女子学院大学) 42 2008-3 pp. 1-17
- 102 〈特別報告〉南蛮人が長崎にもたらしたもの キリシタンの文化活動 (荻原寛)
ロマンス語研究 (日本ロマンス語学会) 41 2008-5 pp. 61-70
- 103 特集; 古典文学の精髓としての漢詩文 中世・近世・近代——中世から近世へ 中世抄物研究の現在 (堀川貴司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-10 2008-10 pp. 21-27
- 104 東アジアの近代と「翻訳」 近世帝国の解体と学術知 (桂島宣弘)

立命館文学 (立命館大学人文学会) 605 2008-3 pp. 137-146

105 『銀の匙』のことば (鈴木英夫)

国文白百合 (白百合女子大学国語国文学会) 39 2008-3 pp. 1-8

□国語史

◇資料研究

- 106 古代日本における注釈（白藤礼幸）
二松〈二松学舎大学大学院紀要〉22 2008-3 pp. 1-20
- 107 特集；資料研究の現在——古代語資料としての出土物（犬飼隆）
日本語の研究（日本語学会）4-1 2008-1 pp. 1-13
- 108 特集；八世紀の文学——なぜ、『日本書ノ紀』なのか？〈書〉の根源から考える（西條勉）
文学 隔月刊（岩波書店）9-1 2008-1 pp. 87-97
- 109 『図書寮本類聚名義抄』所引『遊仙窟』のテキストと和訓について（高橋宏幸）
都留文科大学大学院紀要 12 2008-3 pp. 1-29
- 110 『新撰字鏡』天治本における「在一部」注記（永井圭司）
名古屋言語研究 Nagoya Linguistics（名古屋大学名古屋言語研究会）2 2008-3 pp. 37-46
- 111 『三宝類字集』の字体注記について 『広韻』との対比（池田寛子）
二松学舎大学論集 51 2008-3 pp. 63-80
- 112 三卷本『色葉字類抄』に収録された長畳字の性質について(1)（藤本灯）
日本語学論集（東京大学大学院）4 2008-2 pp. 16-41
- 113 二卷本色葉字類抄の同音字注（二戸麻砂彦）
山梨国際研究〈山梨県立大学国際政策学部紀要〉3 2008-3 pp. 1-21
- 114 大智度論卷第十六「鹿王」物語（大坪併治）
岡大國文論稿（岡山大学文学部言語国語国文学会）36 2008-3 pp. 1-11
- 115 有鄰館蔵『春秋経伝集解卷第二』积文及び訓読文（小助川貞次）
訓点語と訓点資料（訓点語学会）120 2008-3 pp. 76-122
- 116 仁和寺蔵医心方における訓読語の組成（松本光隆）
訓点語と訓点資料（訓点語学会）121 2008-9 pp. 10-18
- 117 古訓点の改変について 藤原頼長加點「因明論疏」をめぐって（月本雅幸）
国語と国文学（東京大学国語国文学会）85-8 2008-8 pp. 1-13
- 118 訓点資料における訓読語複層性の一様相 東寺観智院蔵大毗盧遮那廣大成就儀軌の場合（松本光隆）
広島大学大学院文学研究科論集 68 2008-12 pp. 69-83
- 119 万葉集伝来史における片仮名訓本の位置 平安期片仮名訓本との関係（田中大士）
美夫君志（美夫君志会）77 2008-12 pp. 1-14
- 120 岩崎本『日本書紀』声点の認定をめぐる問題点（鈴木豊）
論集（アクセント史資料研究会）4 2008-9 pp. 95-109
- 121 特集；資料研究の現在——訓点資料の展開史における有鄰館蔵『春秋経伝集解卷第二』の位置（小助川貞次）
日本語の研究（日本語学会）4-1 2008-1 pp. 15-29
- 122 〃——院政期訓点資料研究の一問題 真言宗における教学的交流を巡って（宇都宮啓吾）

- 日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 203-188
- 123 特集 ; 日本語はここまでわかった——日本語史 日本書紀古訓の諸相 (杉浦克己)
日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp. 14-23
- 124 連載 ; 古写経紹介 (3)——世界最古の写本が京都興聖寺に 現存最古の大唐西域記写本 (高田時雄)
いとくら 学術フロンティア「奈良平安古写経研究拠点の形成」ニュースレター3 20
08-1 pp. 10-11
- 125 特集 ; 文学としての情報/情報としての文学——古今和歌六帖と万葉集の異伝 (新沢典子)
日本文学 (日本文学協会) 57-1 2008-1 pp. 2-11
- 126 玉上<三人の作者>説の語用論的意義 (福沢将樹)
愛知県立大学文学部論集 国文学科編 56 2008-3 pp. 1-15
- 127 語彙・語法からみた『宇津保物語』の本文の性格 (承前-2) (小久保崇明)
桜文論叢 (日本大学) 71 2008-7 pp. 110-88
- 128 『宇津保物語』の本文の性格 (承前-3) (小久保崇明)
桜文論叢 (日本大学) 72 2008-12 pp. 172-146
- 129 特集 ; 絵で読む源氏物語——〈対談〉「源氏」の魅力を探る (伊井春樹 ; 加賀美幸子)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-1 2008-1 pp. 6-27
- 130 特集 ; 資料研究の現在——古代日本語資料としての仮名散文作品研究の課題 語の認定をめぐる原
典批判論的知見について (岡崎和夫)
日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 96-110
- 131 醍醐寺蔵探要法華験記に見る和化漢文の用字 出典との比較から (磯貝淳一)
ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 3-12
- 132 特集 2 ; 檀王法林寺——〈所蔵古写経紹介〉外観だけでなく本文もすばらしい価値をもつ 檀王法林
寺蔵『集諸経礼懺儀』卷下について (上杉智英)
いとくら 学術フロンティア「奈良平安古写経研究拠点の形成」ニュースレター3 20
08-1 pp. 7-8
- 133 高野山大学蔵「大般若経音義」(室町後期写本)について (山本秀人)
高知大国文 (高知大学国語国文学会) 39 2008-12 pp. 1-33
- 134 『和漢通用集』の和漢 (今野真二)
清泉女子大学人文科学研究科紀要 29 2008-3 pp. 23-36
- 135 「弘法字尽」の研究 『瑠玉集』の諸本研究の一として (丁海鈴)
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 38 2008-3 pp. 87-134
- 136 弘治二年本節用集の編纂基礎資料(1) 図書寮零本現存部分の検討 (高橋久子)
日本語と辞書 (古辞書研究会) 13 2008-5 pp. 13-81
- 137 村口本下学集の研究 (崔美月)
日本語と辞書 (古辞書研究会) 13 2008-5 pp. 119-166
- 138 観智院本類聚名義抄の掲出項目数と掲出字数 (池田証寿)
北海道大学文学研究科紀要 124 2008-2 pp. 137-151

- 139 詩学書と語彙類聚 『王沢不渴鈔』と『平他字類抄』(村井宏栄)
三重大学日本語学文学 19 2008-6 pp. 1-11
- 140 特集；漢籍と日本人(2)——鎌倉・室町 日本の古辞書に於ける茶の異名(高橋久子)
アジア遊学(勉誠出版) 116 2008-11 pp. 44-53
- 141 清原家の『論語』解釈 清原宣賢を中心に(水上雅晴)
北海道大学文学研究科紀要 125 2008-6 pp. 65-118
- 142 『毛詩聴塵』の成立 『聞書』の利用を通じて(田中志瑞子)
訓点語と訓点資料(訓点語学会) 120 2008-3 pp. 49-59
- 143 東京大学国語研究室蔵『蒙求抄』について(柳田征司)
訓点語と訓点資料(訓点語学会) 121 2008-9 pp. 60-84
- 144 『謡抄』における「不思議」の注釈をめぐって 能の詞章との関連や注釈者の文体的識別など(小林千草)
東海大学紀要 文学部 88 2008-3 pp. 192-176
- 145 『中華若木詩抄』の配列意識 教育者としての視点から(滝沢安隆)
東洋大学大学院紀要 文学研究科 国文学専攻 44 2008-3 pp. 295-306
- 146 特集；資料研究の現在——資料研究の現在 抄物の場合(柳田征司)
日本語の研究(日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 186-175
- 147 「百人一首応永抄」注釈の成立年代考(沢山修)
語文研究(九州大学国語国文学会) 105 2008-5 pp. 42-53
- 148 天正狂言本抜書(2) 「竹生嶋まふて」「茶くり」「はま千鳥」(内山弘)
国語国文 薩摩路(鹿児島大学) 52 2008-3 pp. 1-10
- 149 形態と文字からみる室町期謡本(中)(安岡充令)
専修国文(専修大学日本語日本文学会) 83 2008-9 pp. 63-85
- 150 世阿弥自筆本の節付を考える 「難波梅」から「盛久」・「江口」まで(高桑いづみ)
無形文化遺産研究報告(東京文化財研究所) 2 2008-3 pp. 286-267
- 151 『西行物語』の源流をめぐって 静嘉堂文庫蔵伝阿仏尼筆本を中心に(礪波美和子)
叙説(奈良女子大学国語国文学会) 35 2008-3 pp. 26-43
- 152 慶応義塾大学附属研究所斯道文庫所蔵 半井本『保元物語』〔翻刻〕(坂詰力治；大村達郎；関明子)
東洋大学大学院紀要 文学研究科 国文学専攻 44 2008-3 pp. 309-358
- 153 特集；源氏物語研究——定家本「源氏物語」の生成過程について 明融臨模本と大島本「花宴」を中心に(渋谷栄一)
国学院雑誌(国学院大学) 109-10 2008-10 pp. 99-110
- 154 醍醐寺所蔵『僧某年譜』考 『壺囊鈔』編者に関する一級資料発見(小助川元太)
国語国文(京都大学) 77-2 2008-2 pp. 44-60
- 155 天草版『平家物語』の「さればこそー已然形」と「さてこそー已然形」「こそー已然形」採用の一要因(徳永辰通)
上越教育大学国語研究 22 2008-2 pp. 60-47

- 156 〈研究報告〉古文書の筆跡の特徴のとらえ方と比較の着眼点について 吉田定房と万里小路宣房の筆跡を中心に (和田幸大)
東京大学史料編纂所研究紀要 18 2008-3 pp. 70-94
- 157 『世継物語』注釈(8) (白石美鈴)
日本女子大学紀要 文学部 57 2008-3 pp. 23-35
- 158 特集；漢籍と日本人(2)——鎌倉・室町 『喫茶養生記』の初治本と再治本 (高橋忠彦)
アジア遊学 (勉誠出版) 116 2008-11 pp. 36-43
- 159 特集；軍記物語——中世軍記物語の表現の古態とは 半井本『保元物語』の累加的記述に着目して (佐倉由泰)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-11 2008-11 pp. 12-24
- 160 『日葡辞書』の肥後方言 (馬場良二)
熊本県立大学大学院文学研究科論集 1 2008-9 pp. 63-79
- 161 宣教を意識した『羅葡日辞書』の日本語訳 (岸本恵実)
訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 121 2008-9 pp. 106-95
- 162 奇特と奇瑞 バレト写本福音書抄における日本語訳から (篠田茜)
叙説 (奈良女子大学国語国文学会) 35 2008-3 pp. 15-25
- 163 仮名書き朝鮮語による 16 世紀末 ‘、’ の音価についての基礎的研究 第 2 音節以下に ‘、’ を含んだ ‘旨’ を中心に (石橋道秀)
朝鮮学報 (朝鮮学会) 209 2008-10 pp. 19-46
- 164 キリシタン・ローマ字文献における s とその異体字について (千葉軒士)
名古屋言語研究 Nagoya Linguistics (名古屋大学名古屋言語研究会) 2 2008-3 pp. 27-36
- 165 『エソポのハブラス』における「シテ+存在詞」形式の意味 (李忠均)
日本語学論集 (東京大学大学院) 4 2008-2 pp. 130-119
- 166 キリシタン版『どちりいな・きりしたん』における“在ます”をめぐって (漆崎正人)
藤女子大学紀要 第 1 部 45 2008-2 pp. 1-32
- 167 『天草版伊曾保物語』における待遇表現の一問題 鶴に対しての、エソポの特異な待遇表現をめぐって (漆崎正人)
藤女子大学国文学雑誌 78 2008-3 pp. 31-44
- 168 キリシタン版『どちりいな・きりしたん』における“御座ます”をめぐって (漆崎正人)
藤女子大学国文学雑誌 79 2008-11 pp. 12-28
- 169 キリシタン版『さるばとるむんち』の連続活字 (鄭炫赫)
論集 (アクセント史資料研究会) 4 2008-9 pp. 1-16
- 170 日本語とハングル資料 沖縄語史とハングル資料 (多和田真一郎)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 37 2008-5 pp. 63-73
- 171 金英玉 : 왜 학서 학습서류의 공통 어휘에 대하여.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22, 9 2008 pp. 109-120

- 172 「和漢通用集」の「語釈」をめぐって（今野真二）
国文学研究（早稲田大学国文学会）156 2008-10 pp. 49-59
- 173 西念寺本類聚名義抄における増補と脱漏 観智院本にないカタカナ注記について（4）（小林恭治）
鶴見大学紀要 1 日本語・日本文学編 45 2008-3 pp. 19-35
- 174 〈短信〉西念寺本類聚名義抄の伝承と史的位置づけ（今西浩子）
日本語の研究（日本語学会）4-4 2008-10 pp. 122-125
- 175 河北景楨筆、谷川清逸書写『和訓栞』稿本について（1）（三沢薫生）
和洋女子大学紀要 人文系編 48 2008-3 pp. 15-31
- 176 特集；古代——お茶の水図書館蔵『万葉書』について（片山武）
解釈（解釈学会）54-3/4 2008-4 pp. 48-53
- 177 特集；資料研究の現在——寿閑本節用集の意義 慶長刊行節用集の記述のために（佐藤貴裕）
日本語の研究（日本語学会）4-1 2008-1 pp. 158-145
- 178 〈研究余滴〉対馬方言書『日暮芥草』の語頭 P 音語（迫野虔徳）
筑紫語文（筑紫女学園大学）17 2008-10 pp. 1-9
- 179 『松前方言考』所載語彙（下）（櫛田朝子；中村美樹子；李玲；青山智恵；夏井邦男）
函館国語（北海道教育大学函館国語会）24 2008-11 pp. 17-35
- 180 特集；越境する文学・語学研究——表層の秘義 入木道伝書を読む試み（浅田徹）
国文学研究（早稲田大学国文学会）153/154 2008-3 pp. 17-25
- 181 物集高世著『弓尔乎波便覧』の一考察（中沢伸弘）
国学院大学日本文化研究所紀要 100 2008-3 pp. 57-88
- 182 黒川本『活語断続譜』（東京大学文学部国語研究室黒川文庫蔵）（山東功）
文莫（鈴木脛学会）30 2008-6 pp. 33-38
- 183 「姉小路式」における文法意識について 『手耳葉口伝』の「はねてにはの事」を中心に（劉志偉）
歴史文化社会論講座紀要（京都大学大学院）5 2008-3 pp. 1-11
- 184 鈴木脛『論語参解』の訓読に於ける国語の語法と字訓（石川洋子）
同朋文化（同朋大学日本文学会・人間文化学会）3(36) 2008-3 pp. 33-57
- 185 三世浅草庵黒川春村の門人たち 解題・翻刻『草庵五百人一首』付、人名索引（石川了）
大妻女子大学紀要 文系 40 2008-3 pp. 45-96
- 186 『百人一首増補絵抄』の注釈 「基箭抄」からの改訂に注目して（田野慎二）
古代中世国文学（広島平安文学研究会）24 2008-3 pp. 48-57
- 187 架蔵「昌程追善千句」断簡と古注釈（黒岩淳）
古代中世国文学（広島平安文学研究会）24 2008-3 pp. 81-88
- 188 平曲〈読物〉のテキストと墨譜（鈴木孝庸）
人文科学研究（新潟大学）122 2008-7 pp. 1-31
- 189 『やつこはいかい』の版本二種とその語法 『雑兵物語』との比較（浅川哲也）
都大論究（東京都立大学国語国文学会）45 2008-6 pp. 15-28
- 190 『天明狂歌合』考 狂歌判者大田南畝（牧野悟資）

- 都大論究（東京都立大学国語国文学会）45 2008-6 pp. 29-41
- 191 富加町郷土資料館蔵『万葉集管見』 解題と翻刻(1)（加藤弓枝；真野道子）
豊田工業高等専門学校研究紀要 41 2008-11 pp. 222-193
- 192 中村知至『古今和歌集遠鏡補正』 翻字と解題（石川裕子；金英燦；徐迎春；森誠子；日高愛子；下
中敦子；藤崎祐二；吉田紗弥香）
文献探究（文献探究の会）46 2008-3 pp. 100-128
- 193 『通俗忠義水滸伝』 翻訳者の問題 正編・拾遺編の相違点を通じて（中村綾）
国語国文（京都大学）77-1 2008-1 pp. 19-36
- 194 土左日記之抄奏覧本（日下幸男）
国語国文（京都大学）77-2 2008-2 pp. 1-14
- 195 陶山南濤『忠義水滸伝解』（第一回～第五回）被注語拼音順一覧（承前）（小田切文洋）
国際関係学部研究年報（日本大学）29 2008-3 pp. 31-50
- 196 『曾呂里物語』 異板二種について 『目覚物語』と大妻本『曾呂里物語』（湯浅佳子）
東京学芸大学紀要 人文社会科学系 159 2008-1 pp. 171-204
- 197 『源氏絵本藤の縁』の本文 梗概書との関わり（岩坪健）
同志社国文学（同志社大学国文学会）69 2008-12 pp. 1-9
- 198 〈研究ノート〉『中朝事実』の欠字と神名に関する用語について（秋山一実）
日本学研究（金沢工業大学日本学研究所）11 2008-12 pp. 97-124
- 199 岩手県立図書館所蔵の『往来物』について（郡千寿子）
弘前大学教育学部紀要 100 2008-10 pp. 1-6
- 200 〈研究資料〉新出「いろはかるた」四種の紹介（吉海直人）
学術研究年報（同志社女子大学）59 2008-12 pp. 162-151
- 201 S. R. ブラウンが *Colloquial Japanese* に描いた居留地貿易（松本隆）
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要 31 2008-9 pp. 44-65
- 202 『改正阿蘭陀語』の位置付けをめぐる 『改正増補蛮語箋』の影響と長音表記（丸山健一郎）
同大語彙研究（同志社大学大学院日本語学研究会）10 2008-3 pp. 12-26
- 203 ベッテルハイムの『英琉辞書』とモリソンの『華英字典』との比較（高橋俊三）
南島文化〈沖縄国際大学南島文化研究所紀要〉30 2008-3 pp. 67-85
- 204 『蝦夷語箋』の研究（成田修一）
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 38 2008-3 pp. 155-172
- 205 苗代川地方伝来の朝鮮語学習書類の日本語について（片茂鎮）
比較文化研究（日本比較文化学会）81 2008-3 pp. 49-57
- 206 『おらんだ語彙控』本文と研究（池田幸恵）
三重大学日本語学文学 19 2008-6 pp. 76-62
- 207 『SENTENCES IN ENGLISH AND JAPANESE COLLOQUIAL.』における授受表現を用いた命令表現 「てく
れる」・「お…なされてください」（岡田薫）
立教大学日本語研究 15 2008-3 pp. 25-38

- 208 朝鮮資料における授受動詞の一考察 ヤル・クレルを中心に (정강철)
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 38 2008-12 pp. 285-304
- 209 권동현: 『침해신어』에 나타난 조건표현에 대한 일고찰(1).
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp. 203-215
- 210 特集; 資料研究の現在——日本語学史におけるシーボルトの位置付け 関係資料からの追求 (カイザー, シュテファン)
日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 31-46
- 211 田代三喜作字資料『三婦一流』影印 (佐藤貴裕)
岐阜大学国語国文学 34 2008-1 pp. 25-47
- 212 『満文金瓶梅』における漢語語彙の表記について (鋤田智彦)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 111-126
- 213 Prémare(1666-1736)の *Notitia Linguae Sinicae*, 1720 (西山美智江)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 14 2008-7 pp. 43-57
- 214 特集; 華夷訳語論文集——『満漢話條』翻刻・ローマ字転写と翻訳 (寺村政男)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 53-98
- 215 真田宝物館蔵書『鹿兒嶋言葉わらひの種』共通語訳文の性格 (山本淳)
山形県立米沢女子短期大学紀要 44 2008-12 pp. 7-23
- 216 真田宝物館所蔵『鹿兒嶋言葉わらひの種』と鹿兒島方言 音韻表記例の検討を中心に (山本淳)
米沢国語国文 (山形県立米沢女子短期大学) 36 2008-3 pp. 80-53
- 217 『金色夜叉』本文の国語学的研究 前編・中編について (北沢尚; 許哲)
東京学芸大学紀要 人文社会科学系 159 2008-1 pp. 1-49
- 218 田中義廉編『小学読本』の位置づけに関する一考察 (西本喜久子)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp. 93-98
- 219 アーネスト・サトウの幕末・明治初期の読書ノート サトウ研究の 20 年 (楠家重敏)
杏林大学外国語学部紀要 20 2008-3 pp. 23-35
- 220 W.G. アストンの口語文典初版における名詞と代名詞 (吉田朋彦)
城西国際大学大学院紀要 11 2008-3 pp. 13-31
- 221 近代日本語資料としての『日韓韓日新会話』(成坑珂)
日本語学論集 (東京大学大学院) 4 2008-2 pp. 118-98
- 222 〈研究ノート〉日本語資料としての朝鮮語会話書〔明治前期〕(成坑珂)
日本語の研究 (日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 61-68
- 223 明治期日欧言語交流史の一研究 『英語節用集』所収二字漢字表記語の『写真石版附音挿図英和字彙』における収載状況をめぐって (坂本浩一)
文芸と思想 (福岡女子大学文学部紀要) 72 2008-2 pp. 1-18
- 224 アーネスト・サトウと日本語研究 『会話篇』を中心に (金沢朱美)
目白大学人文学研究 4 2008-2 pp. 171-181
- 225 幕末の日本語会話書における命令表現の訳し方について 『Kuaiwa Hen』を中心に (安志英)

- 立教大学大学院日本文学論叢 8 2008-8 pp. 214-224
- 226 日対辞典的黎明期 (沈国威)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp. 75-84
- 227 오미영 : 일본 明治譯聖書の 명사번역어 연구.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp. 183-200
- 228 李慈鎬 : 翻譯語句의 單語化 ; 『英和字彙』 초판과 재판의 비교.
日本學報 (韓國日本學會) 75, 5 2008 pp. 73-85
- 229 特集 ; 資料研究の現在——「英和字典直訳」と欧文直訳体 (飛田良文)
日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 48-67
- 230 外国人の漢字教育書としての『文字のしるべ』 (岡墻裕剛)
訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 120 2008-3 pp. 170-157
- 231 关于“‘和文奇字解’”类资料 (沈国威)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 14 2008-7 pp. 117-128
- 232 予讚・内子線、八幡浜発内子經由松山行きワンマン列車のテープ案内放送資料 (清水誠治)
鉄道文学 (日本鉄道文学研究会) 28 2008-1 pp. 2-9
- 233 顧炎武『唐韻正』に見える諧声符と『説文』『広韻』平声支韻を中心に (臼田真佐子)
愛知大学文学論叢 137 2008-2 pp. 258-239
- 234 〈資料〉丁種西番訳語 (川一) 校本 (稿) (太田斎)
アジア言語論叢〈外国学研究〉 (神戸市外国語大学外国学研究所) 7(69) 2008-3 pp. 109-164
- 235 陳景元の音注 『南華真經章句音義』と『上清大洞真經玉訣音義』について (浦山あゆみ)
大谷大学研究年報 60 2008-3 pp. 1-53
- 236 「韻引き字様」としての『干祿字書』 (鳩野恵介)
訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 120 2008-3 pp. 156-132
- 237 〈研究ノート〉『類篇』ほどの『集韻』を用いたのか (水谷誠)
創大中国論集 (創価大学) 11 2008-3 pp. 137-144
- 238 『説文解字繫伝』反切校勘記(1) 三本異同考(上) (東ヶ崎祐一)
東北大学言語学論集 17 2008-11 pp. 111-137
- 239 日本における『文選』の学習 訓点資料に基づく考察 (渡辺さゆり)
比較文化論叢 (札幌大学文化学部紀要) 22 2008-11 pp. 7-31
- 240 原本玉篇の近世写本群と書誌学的ネットワーク (浜田秀)
山辺道 (天理大学国語国文学会) 51 2008-2 pp. 37-72
- 241 『英華萃林韻府』の術語集をめぐって (宮田和子)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp. 97-108
- 242 清中期の袁枚『随園詩話』と市河寛斎編『随園詩鈔』 (松浦章)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp. 125-140
- 243 《四分律音義》俗字拾碎 (梁曉虹 ; 陳五雲)

アカデミア 文学・語学編 (南山大学) 83(291) 2008-1 pp.227-252

244 马礼逊译《大英国人事略说》探究 (李晓杰)

或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp.1-12

245 马礼逊辞典中的新词语 (黄河清)

或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp.13-20

246 第一本宁波方言英汉词汇集 《英华仙尼华四杂字文》(郭红)

或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp.21-28

247 国学扶轮社《文科大辞典》与清末本土经典的‘‘知识资源’’转型 (孙青)

或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp.85-96

248 《说文解字》义界释义方法研究 (张风岭)

汉字文化 85 2008-10 pp.35-37

249 《龙龕手鏡》《类篇》古本考 (杨正业)

辞书研究 (cishu yanjiu) 164 2008-3 pp.141-145

250 《说文解字》单字为训训诂元语言的分析 (吴先文)

辞书研究 (cishu yanjiu) 167 2008-9 pp.120-126

251 特集；日本語はここまでわかった——日本語学史 韻鏡研究の現在 (中沢信幸)

日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp.4-13

◇ 日本語系統論

252 〈資料〉伊波普猷「沖縄人の祖先に就て」(三笥利幸)

九州国際大学教養研究 15-1 2008-7 pp.212-177

253 古代日本語におけるツングース祖語の*(-)e-の反射形 (ルーベン, パーウエルス)

東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp.161-176

□ 音声・音韻

◇ 音声・音韻一般

- 254 〈研究動向〉呼気流・呼気圧と調音音声学（上村幸雄）
人文（学習院大学人文科学研究所）6 2008-3 pp.247-291
- 255 音声言語研究の醍醐味（杉藤美代子）
音声言語（近畿音声言語研究会）6 2008-12 pp.1-4
- 256 特集；正常な発話と逸脱した発話——言い間違い資料による言語産出モデルの検証（寺尾康）
音声研究（日本音声学会）12-3 2008-12 pp.17-27
- 257 議会における質問音声の印象評価（小林孝郎）
拓殖大学日本語紀要 18 2008-3 pp.13-22
- 258 日本語の母音融合に関する覚書（稲田俊明）
文学研究（九州大学大学院）105 2008-3 pp.39-59
- 259 Peperkamp, Sharon ; Vendelin, Inga ; Nakamura, Kimihiro : On the Perceptual Origin of Loanword Adaptations ; Experimental Evidence from Japanese.
Phonology 25-1, 2008 pp.129-164
- 260 Kitahara, Mafuyu : Context of Oppositions for an Estimation of Phonemic Functional Load.
音声研究（日本音声学会）12-1, 4 2008 pp.15-23
- 261 小特集；音で見る，音を見る アコースティックイメージングの現状——音声生成過程の可視化（鏑木時彦；正木信夫；元木邦俊；松崎博季；北村達也）
日本音響学会誌 64-7 2008-7 pp.412-417
- 262 特集；正常な発話と逸脱した発話——/p/に後続する無声化母音を知覚する音響上の手がかり（吉田夏也）
音声研究（日本音声学会）12-3 2008-12 pp.52-58
- 263 日本語における話し手の音節知覚（大和シゲミ）
大阪樟蔭女子大学日本語研究センター報告 15 2008-3 pp.1-20
- 264 箏曲の音象徴性 唱歌の分析を中心に（能登邦之）
大阪大学言語文化学 17 2008-3 pp.83-96
- 265 Kawahara, Shigeto : Phonetic Naturalness and Unnaturalness in Japanese Loanword Phonology.
Journal of East Asian Linguistics 17-4, 12 2008 pp.317-330
- 266 特集；ことばと音楽——発声法と言語（米山文明）
日本語学（明治書院）27-4 2008-4 pp.50-59
- 267 自発的な〈標準語〉音声における〈促音〉化の概観 『日本語話し言葉コーパス』に基づく分析（岡田祥平）
音声言語（近畿音声言語研究会）6 2008-12 pp.105-124
- 268 漢字音の「連濁」は如何なる現象か（榎木久薫）
訓点語と訓点資料（訓点語学会）121 2008-9 pp.1-9
- 269 CV₁CV₂ オノマトペにおける V₁ と V₂ の配列（小野浩司）

佐賀大学文化教育学部研究論文集 13-1 2008-8 pp. 335-341

- 270 文字と音の不思議な関係 (本間猛)

人文学報 (首都大学・東京都立大学) 397 2008-3 pp. 1-26

- 271 現代日本語における和語名詞の音韻構造 語構成との関わりから (入江さやか)

同大語彙研究 (同志社大学大学院日本語学研究会) 10 2008-3 pp. 1-11

- 272 ライマン法則例外の成立過程について 「タカラガイ」(宝貝)を後部成素とする語の連濁 (鈴木豊)

文京学院大学外国語学部文京学院短期大学紀要 7 2008-2 pp. 279-294

- 273 「というか」の文法化に伴う音韻的变化の一考察 縮約形「てか」「つか」をめぐって (田辺和子)

明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp. 55-63

- 274 Sato, Yasushi : Defining the Prosodic Word in Japanese.

カルチュラル (明治学院大学教養教育センター紀要) 2-2, 3 2008 pp. 13-20

- 275 特集 ; おのまとペ——新しく生まれるオノマトペ 新造語の音韻特徴 (那須昭夫)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 80-88

◇音韻史

- 276 撥音史素描 (肥爪周二)

訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 120 2008-3 pp. 12-27

- 277 日本語の原初母音体系について 意味論的アプローチ (小林正憲)

IBU 四天王寺国際仏教大学紀要 大学院・人文社会学部・短期大学部 45 2008-3 pp. 379-410

- 278 日本漢音と閩南方言 中古鼻音声母の非鼻音化を中心に (蔣垂東 ; 舘野由香理 ; 坂上智一)

言語と文化 (文教大学大学院言語文化研究科附属言語文化研究所紀要) 20 2008-3 p. 44-69

- 279 『万葉集防人歌』に見られる東国方言、「浜辺」のへ・「筑紫へ遣りて」のへと中央方言の接点 (平川俊而)

国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-10 2008-10 pp. 56-71

- 280 Bentley, John R. : The Search for the Language of Yamatai.

Japanese Language and Literature (JLL) 42-1, 4 2008 pp. 1-43

- 281 大島本『源氏物語』における動詞ウ音便 「思ひ給ふる」について (奥村和子)

言語文化学研究 日本語日本文学編 (大阪府立大学) 3 2008-3 pp. 1-11

- 282 特集 ; 越境する文学・語学研究——字音平声軽音節の音調についての試案 和語下降拍からの検討 (加藤大鶴)

国文学研究 (早稲田大学国文学会) 153/154 2008-3 pp. 139-130

- 283 日遠『法華経随音句』における「呉音」「漢音」(中沢信幸)

訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 120 2008-3 pp. 60-75

- 284 特集 ; 資料研究の現在——函館市中央図書館蔵「蠣崎文書」に見る松前藩士の音韻状況 (諸星美智直)

日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 173-160

- 285 特集 ; 文楽 人形浄瑠璃への招待——文楽研究とその周辺 近世語と文楽 (坂本清恵)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-15 2008-10 pp. 114-121

286 森鷗外訳「調高矣洋絃一曲」の音訛の実態 (藤田保幸)

国文学論叢 (龍谷大学国文学会) 53 2008-2 pp. 59-77

◇アクセント・イントネーションなど

287 日本語感動詞の音調記述の試み 1 音節感動詞を中心に (須藤潤)

音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 29-52

288 特集 ; ことばと音楽——言語の韻律構造と歌のリズム・メロディー (田中真一)

日本語学 (明治書院) 27-4 2008-4 pp. 18-28

289 「日本語の外来語はアクセント核を(-3)に持つものが多い」の詳細 (長こずえ)

言語文化論叢 (東京工業大学外国語研究教育センター) 13 2008-2 pp. 23-38

290 「高」指定仮説の検証 (佐藤栄作)

論集 (アクセント史資料研究会) 4 2008-9 pp. 39-49

291 Mori, Yôko ; Erickson, Donna : Effects of Accentual Fall on Phrase-Final Vowel Duration in Japanese.

Phonetica 65-3, 2008 pp. 148-172

292 〈研究ノート〉PNLP とよばれる音調変化の実態調査 日本語話し言葉コーパスを資料として (谷口未希)

大阪大学言語文化学 17 2008-3 pp. 253-262

293 絵描写タスクに見る音調変異の考察 (太田一郎 ; 高野照司)

人文学科論集〈鹿児島大学法文学部紀要〉67 2008-2 pp. 1-13

294 音調の変異が示すもの アクセント句の dephrasing と recomposing (太田一郎 ; 高野照司)

人文学科論集〈鹿児島大学法文学部紀要〉68 2008-7 pp. 27-38

295 日本語談話標識「だから」の韻律的特徴に関する一考察 (陳相州)

表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp. 64-73

296 「うん系」感動詞の韻律的特徴に関する一考察 「受け入れ」にかかわる意味・機能をめぐって (須藤潤)

ポリグロシア (立命館アジア太平洋大学) 15 2008-10 pp. 99-108

297 Kawahara, Shigeto ; Shinya, Takahito : The Intonation of Gapping and Coordination in Japanese ; Evidence for Intonational Phrase and Utterance.

Phonetica 65-1/2, 2008 pp. 62-105

298 特集 ; 話し言葉の日本語——話し言葉の語彙と文法 話し言葉の文法と韻律 (郡史郎)

日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 142-152

299 〈研究ノート〉自発音声における大局的な発話速度の知覚に影響を与える要因 (籠宮隆之 ; 山住賢司 ; 槇洋一 ; 前川喜久雄)

音声研究 (日本音声学会) 12-1 2008-4 pp. 54-62

300 「七五調」を支配する日本語の「ムーヴマン」 日本語のリズム原理 (古山和男)

研究紀要 (国立音楽大学) 42 2008-3 pp. 89-100

- 301 特集；日本語はここまでわかった——音韻 日本語のリズム（坂野信彦）
日本語学（明治書院）27-12 2008-10 pp. 32-40

◇アクセント史

- 302 論語古写本における漢字音について（石山裕慈）
日本語学論集（東京大学大学院）4 2008-2 pp. 1-15
- 303 特集；ことばと音楽——譜面から韻律を推測する 平曲譜本の場合（石川幸子）
日本語学（明治書院）27-4 2008-4 pp. 60-69
- 304 貞享版『補忘記』の漢語アクセント（石山裕慈）
国語と国文学（東京大学国語国文学会）85-3 2008-3 pp. 69-80
- 305 平家正節における接続テ形と 1 拍連用形のアクセント（加藤望）
方言・音声研究（方言・音声研究会）1 2008-9 pp. 1-8
- 306 アクセント史から見た『平曲問答書』（上野和昭）
論集（アクセント史資料研究会）4 2008-9 pp. 81-94

◇研究史・学史

- 307 母音・子音の概念と五十音図（内田智子）
名古屋言語研究 Nagoya Linguistics（名古屋大学名古屋言語研究会）2 2008-3 pp.
15-26

□文字・表記

◇文字一般

- 308 〈傍聴記〉「表記」研究に向けての可能性 (深沢愛)

語文 (大阪大学国語国文学会) 91 2008-12 pp. 96-98

(漢字)

- 309 日本語ナショナリズムの典型としての漢字論 近年の俗流言語論点描(5) (ましこひでのり)

社会言語学 (「社会言語学」刊行会) 8 2008-11 pp. 91-109

- 310 融合文化の基底としての日本語 日本語の融合性と難解性 (三浦徹明)

拓殖大学日本語紀要 18 2008-3 pp. 1-11

- 311 常用漢字字体考(2) (岡本直人)

帝京大学文学部紀要 日本文化学 39 2008-3 pp. 148-166

- 312 「又」の漢字系統樹(1/3) (善如寺俊幸)

東京外国語大学留学生日本語教育センター論集 34 2008-3 pp. 43-54

- 313 〈Le Rond-Point〉「当用」漢字の詐術 (古田島洋介)

比較文学研究 (東大比較文学会) 92 2008-11 pp. 176-178

(かな)

- 314 〈講演〉東アジアの角筆文献から見る片仮名の起源 (小林芳規)

比較文化 (東京女子大学比較文化研究所) 54 2008-3 pp. 3-6

(書体)

- 315 絵本の文字表現の可能性を探る 元永定正を中心にして (龍頭茉莉)

筑紫語文 (筑紫女学園大学) 17 2008-10 pp. 10-34

◇文字史

- 316 文字論 書からみた「丙」「丁」字の一考察 (林稔)

日本文学会誌 (盛岡大学日本文学会) 20 2008-3 pp. 58-67

◇表記

- 317 日本橋蛸殻町の「かき」表記 (佐々木絵美)

日本語学 研究と資料 31 2008-4 pp. 14-27

- 318 「皇紀二千六百年」・「八紘一字」と人名漢字 『人事興信録』からのスケッチ (須崎慎一)

日本文化論年報 (神戸大学) 11 2008-3 pp. 155-169

- 319 〈研究所報告〉行政用文字の調査研究 汎用電子情報交換環境整備プログラム (高田智和 ; 井手順子 ; 虎岩千賀子)

日本語科学 (国立国語研究所) 23 2008-4 pp. 95-110

◇表記の歴史

- 320 表記史資料の普遍性と特殊性 (矢田勉)

日本語の研究 (日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 1-11

- 321 『古事記』の音読注に見られる「最少労力の法則」について (伊藤雅光)

計量国語学 (計量国語学会) 26-6 2008-9 pp. 177-195

- 322 万葉集は大伴家持が編纂した(1) 統計的研究の効用 (中村昭)
国文学 言語と文芸 (国文学言語と文芸の会) 124 2008-3 pp. 51-78
- 323 宣命冒頭書式における「現(御)神」「明神」の訓 (根来麻子)
上代文学 (上代文学会) 101 2008-11 pp. 36-51
- 324 〈講演〉韓国の吏読と日本文字の片仮名 (柳尚熙)
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 38 2008-3 pp. 239-247
- 325 写経生の書記 「褻」の場面の文字生活 (西崎亨)
日本語日本文学論叢 (武庫川女子大学大学院) 3 2008-3 pp. 45-60
- 326 「懸詞」と地名表記 七世紀の文字と、「レトリック」としての文字 (八木京子)
日本女子大学紀要 文学部 57 2008-3 pp. 1-21
- 327 『古事記』における「有」「在」「坐」「居」の用法について (刀田絵美子)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 436-429
- 328 古事記における子音韻尾字音仮名について 歌謡以外を中心に (尾山慎)
文学史研究 (大阪市立大学) 48 2008-3 pp. 11-23
- 329 古事記「奉」字考 「マツル」ということば (土居美幸)
万葉 (万葉学会) 200 2008-3 pp. 47-60
- 330 「かほ鳥」をめぐって (井手至)
万葉 (万葉学会) 202 2008-8 pp. 1-6
- 331 日本古代の漢字使用にみられる類化による偏旁冠脚の添加・置換をめぐって 正倉院文書の例を中心に (井上幸)
美夫君志 (美夫君志会) 77 2008-12 pp. 30-40
- 332 古代表記関係構造 吏読・新羅郷歌との比較 (高橋真由美)
立正大学国語国文 46 2008-3 pp. 88-97
- 333 김대성 : 萬葉假名(만요우가나) 氣에 대하여.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 37, 5 2008 pp. 21-41
- 334 特集 ; 八世紀の文学——『懷風藻』地名表記の文字列 表意と表音とのあわい (松田浩)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-1 2008-1 pp. 122-135
- 335 平安初期の仏典における再読字の成立について (大坪併治)
訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 120 2008-3 pp. 1-11
- 336 統紀宣命のケリと来 (栗田岳)
万葉 (万葉学会) 201 2008-6 pp. 26-43
- 337 田中重太郎氏蔵源氏物語断簡のかな「お・を」の「仮名」(西崎亨)
武庫川国文 (武庫川女子大学国文学会) 71 2008-12 pp. 45-54
- 338 陽明文庫蔵二十卷本『類聚歌合』の仮名遣 (長谷川千秋)
山梨大学教育人間科学部紀要 [CD-ROM 版] 9(16) 2008-3 pp. 13-24
- 339 字謎から字体を考える (吉見孝夫)

- 語学文学（北海道教育大学語学文学会）46 2008-3 pp. 1-9
- 340 中世古記録に見える漢字の特殊用法(1) 通用（小杉麻美）
日本語と辞書（古辞書研究会）13 2008-5 pp. 83-117
- 341 伊達政宗の書状・消息類における濁点の表記（岡田薫）
立教大学大学院日本文学論叢 8 2008-8 pp. 201-213
- 342 伊達政宗の消息における〈つ〉の仮名表記（岡田薫）
立教大学日本文学 100 2008-7 pp. 104-117
- 343 金沢文庫本白氏文集『長恨歌』の漢字字体の実態 漢字字体規範データベースを利用して（当山日出夫）
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要（立命館大学）2 2008-3 pp. 51-65
- 344 『僻案抄』の仮名遣い 定家の「乎」について（坂本清恵）
論集（アクセント史資料研究会）4 2008-9 pp. 17-35
- 345 東寺百合文書の平仮名の用字法（鄭炫赫）
日本研究（韓国外國語大學校日本研究所）36 2008-6 pp. 217-237
- 346 山手馬鹿人の方言描写に関する一考察（藤井史果）
青山語文（青山学院大学日本文学会）38 2008-3 pp. 115-125
- 347 江戸中期の俳諧句集における仮名遣いの用法について（寺島徹）
桜花学園大学人文学部研究紀要〔CD-ROM 版〕10 2008-3 pp. 180-172
- 348 『紅梅千句』における振り仮名の一考察（田中巳栄子）
大阪府立大学上方文化研究センター研究年報 9 2008-3 pp. 81-113
- 349 近世整版印刷書体における平仮名字形の変化（矢田勉）
神戸大学文学部紀要 35 2008-3 pp. 25-49
- 350 「仮名ちがい」の諸相 その許容の範囲（遠藤邦基）
国語国文（京都大学）77-9 2008-9 pp. 1-23
- 351 片仮名本『因果物語』の仮名表記について（久保田篤）
成蹊国文（成蹊大学）41 2008-3 pp. 1-21
- 352 特集；「ことば」——江戸時代女性の言語生活に関する一考察 本居宣長母お勝書簡における仮名字体（永井悦子）
十文字国文（十文字学園女子大学短期大学部国語国文学会）14 2008-3 pp. 9-18
- 353 〈研究報告〉近代における会話文特立符号種の消長（鳩野恵介；古田雄佑；岩城佐和；川那邊惟奈）
語文（大阪大学国語国文学会）91 2008-12 pp. 69-77
- 354 嗽石・漱石・漱石（田島優）
日本文学ノート（宮城学院女子大学日本文学会）2008-7 pp. 120-130
- 355 『西国立志編』における外国地名の表記実態（黄美静）
日本語學研究（韓国日本語學會）21 2008-3 pp. 169-182
- 356 外来語表記のゆれと変化（橋本和佳）
同大語彙研究（同志社大学大学院日本語学研究会）10 2008-3 pp. 27-39

- 357 音と訓のはざ間にて 『延喜式』 祝詞に見える「雑物」をめぐって (王小林)
国語国文 (京都大学) 77-8 2008-8 pp. 46-67

◇研究史・学史

- 358 『古事記伝』の「仮字の事」をどう読むか 上代特殊仮名遣の研究史を再検討する (安田尚道)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 1-14

□ 語彙・用語

◇ 語彙・用語一般

- 359 意味分野の観点から見た土居光知「基礎日本語」 「体の類」の語を中心に（饗場淳子）
早稲田日本語研究（早稲田大学日本語学会）17 2008-3 pp.1-12
- 360 조남성 : 2007 년 개정 교육과정의 일본어 기본어휘의 외래어에 대하여.
日本研究（韓國外國語大學校日本研究所）37, 9 2008 pp.333-357
- 361 「神経」第二の意味の派生および日中間における影響関係について（村田和美）
応用言語学研究〈明海大学大学院応用言語学研究科紀要〉10 2008-3 pp.203-212
- 362 〈研究余滴〉「おいしい」の意味と用法をめぐって（梅林博人）
相模国文（相模女子大学国文研究会）35 2008-3 pp.128-129
- 363 特集；言語処理研究の新展開 計算機と言語学の対話に向けて——現代日本語書き言葉均衡コーパスを用いた意味解析 語義の自動特定、新語義の発見（奥村学；白井清昭）
言語（大修館書店）37-8 2008-8 pp.66-73

◇ 語句、語誌・語源など

（語句・語形）

- 364 〈研究ノート〉評価成分「～もので」をめぐって（津留崎由紀子）
文教大学文学部紀要 22-1 2008-9 pp.91-119

（語誌・語源）

- 365 可能性を無くした「かもしれない」（ワンプラディット、アパサラキク）
京都大学言語学研究（京都大学大学院）27 2008-12 pp.189-201
- 366 「有無」の語史 副詞用法発生前史（玉村禎郎）
杏林大学外国語学部紀要 20 2008-3 pp.41-49
- 367 「焦点」の語誌（木村秀次）
国文学 言語と文芸（国文学言語と文芸の会）124 2008-3 pp.96-114
- 368 「言語道断」考（鈴木丹士郎）
専修人文論集（専修大学学会）82 2008-3 pp.1-23
- 369 「療養」の語誌的研究（青木純一；北野与一）
東横学園女子短期大学紀要 42 2008-2 pp.69-82
- 370 ‘‘りんご’’の歴史 近代日本語訳聖書を手がかりに（孫遜）
和漢語文研究（京都府立大学国中文学会）6 2008-11 pp.88-74
- 371 特集；厄除け——厄と大祓え（中村幸弘）
季刊悠久 112 2008-8 pp.66-79

◇ 語構成

- 372 現代日本語の語構成要素 和語を中心にして（山下喜代）
青山学院大学文学部紀要 49 2008-1 pp.141-158
- 373 Irwin, Mark : Homomorphic Diffusion in Japanese Nonce Lexemes.
Japanese Language and Literature(JLL)42-1, 4 2008 pp.45-61

- 374 接辞「～さ」の使用変化（堀尾佳以）
九州大学留学生センター紀要 16 2008-3 pp. 29-38
- 375 日本語における和語起源の一拍接頭辞について（角岡賢一）
龍谷大学国際センター研究年報 17 2008-3 pp. 49-71
- 376 コーパスを利用した複合動詞「～戻る」の意味分析（杉村泰）
言語文化論集（名古屋大学大学院）29-2 2008-3 pp. 405-419
- 377 コーパスを利用した複合動詞「～残す」の意味分析（杉村泰）
言語文化論集（名古屋大学大学院）30-1 2008-10 pp. 47-60
- 378 コーパスを利用した複合動詞「～渋る」の意味分析（杉村泰）
ことばの科学（名古屋大学言語文化研究会）21 2008-12 pp. 45-59
- 379 複合動詞「～出る/～出す」の意味分析(2)（徐民静）
日本言語文化研究（日本言語文化研究会）12 2008-4 pp. 27-44
- 380 総合雑誌に見る名詞「状態」の用法 約 100 年を隔てた 2 誌を比較して（新屋映子）
日本語科学（国立国語研究所）24 2008-10 pp. 55-75
- 381 宋殷美：감정복합동사의 어구조 연구.
日本語学研究（韓国日本語學會）21, 3 2008 pp. 63-78

◇語の種別

（類義語，反対語，同音語など）

- 382 「視線」「視点」と「目線」（嶺田明美）
学苑（昭和女子大学近代文化研究所）809 2008-3 pp. 77-84
- 383 類義語ミトオス・ミヌクの意味分析 心はどこに隠れているのか（鷺見幸美）
言語文化論集（名古屋大学大学院）29-2 2008-3 pp. 361-376
- 384 「切る」の多義分析（許永蘭）
言葉と文化（名古屋大学大学院）9 2008-3 pp. 303-320
- 385 「増加」を表す動詞類義語の意味分析 フエルとマスについて（藤田勝良）
佐賀大國文（佐賀大学国語国文学会）36 2008-3 pp. 73-67
- 386 〈研究ノート〉「割る」と「切る」の意味拡張 数値・数量を表す用法（遠藤裕子）
拓殖大学語学研究 117 2008-3 pp. 57-80
- 387 動詞「重なる」の多義構造（李澤熊）
名古屋大学日本語・日本文化論集 15 2008-3 pp. 61-77
- 388 「折る」の意味分析（八尾紀子）
比較文化研究（日本比較文化学会）82 2008-8 pp. 71-80
- 389 形容詞「甘い」の多義表現について 「辛い」の反義語としてを中心に（鄭丹）
宮城学院女子大学大学院人文学会誌 9 2008-3 pp. 49-62

（位相語）

- 390 役割語としての女性語の研究（中瀬絵美）
筑紫語文（筑紫女学園大学）17 2008-10 pp. 35-57

- 391 スポーツに由来する日常の言葉(2) 「野球」(2) (榎山洋介)
名古屋大学日本語・日本文化論集 15 2008-3 pp. 101-123
- 392 「あたし」考 (山西正子; 山田繭子)
目白大学人文学研究 4 2008-2 pp. 183-200
- 393 葉師 京子: *Taboo Words and Saikū Imikotoba.*
目白大学人文学研究 4, 2 2008 pp. 149-156

(専門用語)

- 394 Kageura, Kyo: *An Analysis of the Motivatedness Structure of Japanese Terminologies.*
計量国語学 (計量国語学会) 26-7, 12 2008 pp. 241-263
- 395 特集; スポーツのことば——陸上競技のことば 競技名を中心に (鎌水兼貴)
日本語学 (明治書院) 27-9 2008-8 pp. 12-20
- 396 // ——テニスのことば スポーツのことばとその背景 (中東靖恵)
日本語学 (明治書院) 27-9 2008-8 pp. 36-50

(擬声語・擬態語)

- 397 擬態語の語尾とその後接成分について (楊淑雲)
国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 40-53
- 398 男女差の視点から見た日本語オノマトペ 雑誌における検証 (吉田麻衣子)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 47-60
- 399 特集; おのまとペ——〈インタビュー〉音の力 オノマトペの力 (谷川俊太郎; 和合亮一/聞き手)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 6-23
- 400 // ——オノマトペとは (石黒圭)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 24-32
- 401 // ——ことばの力 (黒川伊保子)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 42-49
- 402 // ——オノマトペの体系性 (田守育啓)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 70-79
- 403 // ——漢語系オノマトペをどう考えるか (中里理子)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 98-106

(和語, 漢語)

- 404 翻訳語「蒸気」の形成についての試論 (阿川修三)
言語と文化〈文教大学大学院言語文化研究科附属言語文化研究所紀要〉20 2008-3 p
p. 1-20
- 405 日本における中国古典語の受容 『論語』の二字漢語をめぐって (木村秀次)
国際経営・文化研究 (淑徳大学国際コミュニケーション学会) 13-1 2008-11 pp. 278
-258
- 406 漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究 「新築(する)」、「増築(する)」などをめぐって (小林英
樹)

- 語学と文学 (群馬大学語文学会) 44 2008-3 pp. 1-8
- 407 日本語における漢語の来し方と行く末 (中山緑朗)
作新学院大学紀要 文化と科学 18 2008-3 pp. 1-6
- 408 「勉強」という訳語について (深沢助雄)
人文科学研究 (新潟大学) 123 2008-10 pp. 29-59
- 409 「茱萸」と「ぐみ」 (寺井泰明)
日中言語文化 (桜美林大学紀要) 6 2008-3 pp. 19-39
- 410 「もてあそぶ」の変遷 (半藤英明)
文学・語学 (全国大学国語国文学会) 191 2008-7 pp. 10-24
- 411 翻訳語の社会意味空間の変容 (河原清志)
麗沢学際ジャーナル (麗沢大学経済学会) 16-2 2008-9 pp. 35-45
- 412 動脈・静脈の概念の初期的流入に関する日中比較研究 (松本秀士)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 14 2008-7 pp. 59-80
- 413 特集 ; スポーツのことば——スポーツにおける「技」 体操競技のことばを出発点として (小西いずみ)
日本語学 (明治書院) 27-9 2008-8 pp. 4-11
- 414 特集 ; 翻訳を越えて——明治に生まれた翻訳ことば (飛田良文)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-7 2008-5 pp. 12-23
- (新語・流行語, 外来語)**
- 415 日本におけるデジタルアーカイブの成立と課題に関する一考察 (毛利康秀)
研究紀要 (日本大学文理学部人文科学研究所) 75 2008-3 pp. 123-141
- 416 新語「どんだけー」の意味・用法 (中川祐治)
言文 (福島大学国語教育文化学会) 55 2008-3 pp. 2-15
- 417 「和製英語」小考 「和風英語」に注目して (小林千草)
湘南文学 (東海大学日本文学会) 42 2008-3 pp. 92-81
- 418 Ujiie, Yoko : Adoption of Culture-tied Concepts in Japanese Society Concepts Fostered by 'English-based Culture'
清心語文 (ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会) 10 2008-7 pp. 86-79
- 419 「パフォーマンス」のマイナス値派生義について (中道知子)
大東文化大学紀要 人文科学 46 2008-3 pp. 35-41
- 420 社説における外来語の広範囲語彙 (橋本和佳)
同志社国文学 (同志社大学国文学会) 68 2008-3 pp. 95-84
- 421 基本語化する外来語とその類義語 ヒトとヒトとの「トラブル」の場合 (金愛蘭)
待兼山論叢 日本学篇 (大阪大学大学院) 42 2008-12 pp. 19-35
- 422 Ise, Kelly : English Loanwords in Japanese ; From Print to Discourse.
城西国際大学紀要 人文学部 16-2, 3 2008 pp. 41-55
- 423 Otake, Margaret Pine : Gairaigo ; Remodelling Language to Fit Japanese.

東京成徳大学人文学部研究紀要 15, 3 2008 pp. 87-101

- 424 Ito, Yukiko : The Background and Birth of English Words Coined in Japan.
二松学舎大学論集 51, 3 2008 pp. 111-123

(その他)

- 425 「四十七周年」の「四十七」の読み (中村幸弘)
野州国文学 (国学院大学栃木短期大学国文学会) 81 2008-3 pp. 1-9

◇慣用句・ことわざ

- 426 「顔」の意味拡張に対する認知的考察 (有菌智美)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 287-301

◇語彙 (用語) 調査

- 427 〈調査報告〉日本語単語頻度数におけるジップ則 (亀山寛)
計量国語学 (計量国語学会) 26-4 2008-3 pp. 123-138
- 428 新聞投書欄の語彙調査 (佐竹秀雄)
武庫川女子大学言語文化研究所年報 19 2008-12 pp. 37-56
- 429 金榮敏 : 일본어의 자타교체에 관한 일고찰 ; 『分類語彙表』의 동사를 대상으로.
日本學報 (韓國日本學會) 77, 11 2008 pp. 15-32
- 430 特集 ; 新聞はどこへ行く——「天声人語」に見られる語彙の意味分野 一九四六年と二〇〇〇年との語彙比較を通して (宋正植)
日本語学 (明治書院) 27-1 2008-1 pp. 40-53

◇固有名・命名

- 431 戒名の背景および言語的考察 宗教観と戒名の調査を参考にして (矢崎祥子)
言語と交流 (言語と交流研究会) 11 2008-6 pp. 28-43
- 432 Mutsukawa, Masahiko : Phonology, Semantics, and Kanji in Japanese Given Names (1912-2005).
南山大学日本文化学科論集 8, 3 2008 pp. 19-34
- 433 海岸観光地名の分布と変化 (鏡味明克)
愛知学院大学文学部紀要 (愛知学院大学論叢) 37 2008-3 pp. 59-67
- 434 東北地方のアイヌ語地名の復元 (鏡味明克)
人間文化 (愛知学院大学人間文化研究所紀要) 23 2008-9 pp. 368-361
- 435 〈講演〉地名と表現 (鏡味明克)
表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp. 84-88
- 436 〈研究ノート〉秋葉原 地名の由来 (猪口教行)
文学・芸術・文化 (近畿大学文芸学部論集) 19-2 2008-3 pp. 1-10
- 437 植物和名の称源考 (新説・珍説) (8) (横山健三)
ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 33-52
- 438 ジラフがキリンと呼ばれた理由 中国の場合、日本の場合 (麒麟を巡る名物学(1)) (湯城吉信)
人文学論集 (大阪府立大学人文学会) 26 2008-3 pp. 69-96
- 439 商品名の命名メカニズムと再命名 家電製品名の場合 (蓑川恵理子)

計量国語学 (計量国語学会) 26-7 2008-12 pp. 215-240

440 カップラーメンの商品名に見られる語彙的・構造的特徴 (田守育啓)

人文論集 (兵庫県立大学) 43-1/2 2008-3 pp. 1-44

441 「平成の大合併」と駅名 (東日本編) (寺岡太郎)

鉄道文学 (日本鉄道文学研究会) 28 2008-1 pp. 10-13

◇語彙史

442 日本古代における中国口語の受容と展開 (渡辺滋)

訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 120 2008-3 pp. 28-48

443 「むげ」の意味変化 (鳴海伸一)

国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 115-102

444 日本文献における「多少」の意味・用法についての語史 (方香蘭)

国語国文学誌 (広島女学院大学日本文学会) 38 2008-12 pp. 51-66

445 名詞「花見」の確立 (熊田洋子)

国文学論考 (都留文科大学国語国文学会) 44 2008-3 pp. 28-38

446 箸を数える助数詞 双から前、前から膳へ (高橋久子)

東京学芸大学紀要 人文社会科学系 159 2008-1 pp. 159-168

447 形容動詞語幹の内部構造について ヤカ型・ラカ型を中心に (孫貞淑)

日本語教育研究 (韓国日本語教育學會) 15 2008-10 pp. 55-73

448 特集; 資料研究の現在——語彙の量的構造史モデル (伊藤雅光)

日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 112-128

449 肥前国杵島郡の郡名の由来と郡家所在地について (竹生政資; 西晃央)

佐賀大学文化教育学部研究論文集 13-1 2008-8 pp. 203-228

450 「イザ」に当てられる正訓漢字について 『万葉集』に見る「率」と「去来」をめぐって (鄧慶真)

叙説 (奈良女子大学国語国文学会) 35 2008-3 pp. 1-14

451 ヤマトコトバと古代語 (木村紀子)

奈良大学紀要 36 2008-3 pp. 41-58

452 「こし(越)」の来歴 (李国棟)

広島大学大学院文学研究科論集 68 2008-12 pp. 77-92

453 古代日本語の船舶の名称における異文化の要素について 竹籠(『日本書紀』神代下、第十段、一書第一)を中心に (黄當時)

文学部論集 (仏教大学) 92 2008-3 pp. 97-109

454 テ[手]とその周辺 (蜂矢真郷)

待兼山論叢 文学篇 (大阪大学大学院) 42 2008-12 pp. 1-20

455 日本書紀古訓「イロ」に関して 兄弟姉妹の例を中心に (金紋敬)

待兼山論叢 文学篇 (大阪大学大学院) 42 2008-12 pp. 43-57

456 「尋常」考 漢語考証の試み (山崎福之)

万葉 (万葉学会) 200 2008-3 pp. 27-46

- 457 「日晩」という表語 漢字文化圏における万葉歌の位置を探るために (井上さやか)
万葉古代学研究所年報 6 2008-3 pp. 27-46
- 458 上代「あはれ」考 (宗田実)
山形方言 (山形県方言研究会) 38 2008-9 pp. 17-31
- 459 『遊仙窟』の俗語語彙と和訓について 暁語を中心に (張黎)
歴史文化社会論講座紀要 (京都大学大学院) 5 2008-3 pp. 1-12
- 460 『枕草子』のことば 形容詞・形容動詞を中心に (土屋博映)
跡見学園女子大学文学部紀要 41 2008-3 pp. 49-60
- 461 平安文学語彙の研究 『紫式部日記』における「うるはし」 (北村英子)
大阪樟蔭女子大学論集 学芸学部 45 2008-1 pp. 302-293
- 462 『後拾遺和歌集』の動詞アク (小林賢章)
学術研究年報 (同志社女子大学) 59 2008-12 pp. 170-164
- 463 古文書のくけしき > 10 世紀以前の古文書に見られる「気色」の特色 (辛島美絵)
九州産業大学国際文化学部紀要 40 2008-9 pp. 15-34
- 464 「もの」形容詞の意味と用法の発展 源氏物語の果たした役割 (本広陽子)
国語国文 (京都大学) 77-6 2008-6 pp. 17-40
- 465 『狭衣物語』における「うるはし」 (北村英子)
樟蔭国文学 (大阪樟蔭女子大学国語国文学会) 45 2008-3 pp. 1-10
- 466 『今昔物語集』訓積語彙考 巻 26 注釈書訓積異同表を利用した語義比較 (ツツヤク・クジル) (安部清哉/編著; 伊藤真梨子)
人文 (学習院大学人文科学研究所) 6 2008-3 pp. 155-212
- 467 古典作品の形容語使用状況についての考察 古典対照語彙表・分類語彙表を用いて (武山隆昭)
椋山国文学 (椋山女学園大学国文学会) 32 2008-3 pp. 1-24
- 468 和名抄地名新考(6) (工藤力男)
成城芸芸 (成城大学) 204 2008-9 pp. 1-14
- 469 『今昔物語集』における食料関係の漢語 (郭木蘭)
東洋大学大学院紀要 文学研究科 国文学専攻 44 2008-3 pp. 119-139
- 470 源氏物語における「おとど・おほいとど・大臣」について (竹部歩美)
都大論究 (東京都立大学国語国文学会) 45 2008-6 pp. 1-14
- 471 蘭と藤袴 漢語と和名の対応 (吉野政治)
同志社女子大学日本語日本文学 20 2008-6 pp. 1-8
- 472 古文書における「松門」 (高橋忠彦; 高橋久子)
日本語と辞書 (古辞書研究会) 13 2008-5 pp. 1-12
- 473 乳母子の語義 『源氏物語』と乳母・乳母子 (古田正幸)
日本文学文化 (東洋大学日本文学文化学会) 7 2008-2 pp. 24-35
- 474 「ハシタナシ」と「ハシタ(ナリ)」の違いについて (星野佳之)
ノートルダム清心女子大学紀要 日本語・日本文学編 32-1 2008-3 pp. 1-10

- 475 平安和文の役柄語(2) 登場人物のセリフの特性 (関一雄)
梅光学院大学論集 41 2008-1 pp. 1-9
- 476 『枕草子』〈ゆかし〉考 (李泰勳)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 37 2008-5 pp. 109-129
- 477 特集; 源氏物語研究——「追風」考 『源氏物語』の特殊表現 (吉海直人)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-10 2008-10 pp. 85-98
- 478 〃——源氏物語の「御」 自体尊敬の存否 (吉田永弘)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-10 2008-10 pp. 122-133
- 479 城(ジャウ)と城(シロ) (今井正之助)
愛知教育大学大学院国語研究 16 2008-3 pp. 1-20
- 480 天草版『平家物語』の語彙の計量的比較研究 研究方法と資料の作成(上) (近藤政美)
岐阜聖徳学園大学紀要 教育学部編 47(54) 2008-2 pp. 27-72
- 481 〈資料〉軍記物語の形容詞対照語彙表 (村田菜穂子; 前川武; 山崎誠)
国際研究論叢〈大阪国際大学紀要〉21-3 2008-3 pp. 185-197
- 482 徒然草「鼻のほどおこめきて」考 続オゴメク幻想 (白石良夫)
語文研究 (九州大学国語国文学会) 105 2008-5 pp. 54-69
- 483 門流による一遍呼称の変遷について (長沢昌幸)
西山学苑研究紀要 (京都西山短期大学) 3 2008-3 pp. 27-40
- 484 「tei(体)」考 (市井外喜子)
大東文化大学紀要 人文科学 46 2008-3 pp. 197-217
- 485 『中華若木詩抄』の音象徴語 (平弥悠紀)
同志社大学日本語・日本文化研究 6 2008-4 pp. 1-13
- 486 後土御門天皇と水無瀬 神号贈与と文芸活動をめぐって (小森崇弘)
人間文化研究〈京都学園大学人間文化学会紀要〉22 2008-12 pp. 108-77
- 487 〈研究ノート〉善導の尊称について (曾和義弘)
仏教大学総合研究所紀要 15 2008-3 pp. 37-46
- 488 半井本『保元物語』に見る漢語二題 「曳奏」「物怪(勿怪)」 (坂詰力治)
文学論藻〈東洋大学文学部紀要 日本文学文化篇〉82 2008-2 pp. 1-12
- 489 漢語副詞「自然」の変遷 条件表現とのかかわりで (李勇九)
立教大学日本語研究 15 2008-3 pp. 39-52
- 490 山科家記録における「ホク」と「盆山」 (小森崇弘)
立命館文学 (立命館大学人文学会) 605 2008-3 pp. 86-98
- 491 オソロシ(恐)とコハシ(怖・強) 狂言台本における様相 (小林賢次)
早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 122-113
- 492 李英淑 : 기리시탄(吉利支丹) 資料의 「사랑」 의 語彙에 대한 一考察 ; 「愛」「恋」「大切」「大事」의 관계에 대하여.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22, 9 2008 pp. 259-275

- 493 劉相溶：1 字漢語「分(ブン)」의 意味와 用法의 擴大；語構成要素와 接尾辭的인 用法의 發達の 中心으로.
日本語學研究（韓國日本語學會）23, 12 2008 pp.157-172
- 494 特集；軍記物語——『平家物語』と『太平記』のことば（池田敬子）
国語と国文学（東京大学国語国文学会）85-11 2008-11 pp.35-45
- 495 近世料理書におけるイリツケルについて（余田弘実）
神女大國文（神戸女子大学国文学会）19 2008-3 pp.126-134
- 496 近世料理書におけるセンジルについて 『料理物語』を資料として（余田弘実）
西山学苑研究紀要（京都西山短期大学）3 2008-3 pp.17-26
- 497 実語教童子教絵抄左傍訓における漢語の硬軟 付、「女大学絵抄俗語解から見た漢語の硬軟」補正（加藤浩司）
帝塚山学院大学日本文学研究 39 2008-2 pp.43-71
- 498 近世後期俳諧五百題類題句集に於る掲載題概観（相沢泰司）
東洋大学大学院紀要 文学研究科 国文学専攻 44 2008-3 pp.235-279
- 499 「ダンダン」の意味・機能の史的変遷 <累積>から<進展>へ（田和真紀子）
都大論究（東京都立大学国語国文学会）45 2008-6 pp.1-13
- 500 地誌を生みだす和歌 藩主の地名変更をめぐる（錦仁）
文学 隔月刊（岩波書店）9-3 2008-5 pp.157-177
- 501 「一所」から「一緒」へ（鳴海伸一）
文芸研究 文芸・言語・思想（日本文芸研究会）165 2008-3 pp.24-36
- 502 動物を数える助数詞「頭」 近世・近代を中心に（王鼎）
明治大学日本文学 34 2008-8 pp.80-66
- 503 特集；『春雨物語』——『春雨物語』語彙攷 「目ひとつの神」より（山崎英紗子）
国語と国文学（東京大学国語国文学会）85-5 2008-5 pp.50-61
- 504 特集；源氏物語研究——『湖月鈔』の注釈における当代語 桐壺・『細流抄』を中心として（遠藤和夫）
国学院雑誌（国学院大学）109-10 2008-10 pp.134-149
- 505 宮沢賢治、農民活動の心（黒沢勉）
岩手医科大学共通教育研究年報 43 2008-12 pp.138-130
- 506 西周『百学連環』講義における「相生養之道」 維新时期洋学者たちの《society》概念理解（木村直恵）
学習院女子大学紀要 10 2008-3 pp.61-88
- 507 「学術」という近代漢語の成立と意義 西周の『百学連環』を中心に（張厚泉）
言語と交流（言語と交流研究会）11 2008-6 pp.72-86
- 508 漢語「発見・発明」小考 『西国立志編』をめぐる（木村秀次）
国際経営・文化研究（淑徳大学国際コミュニケーション学会）12-2 2008-3 pp.232-217

- 509 特集；敬語研究のフロンティア——〈資料〉近代語における一人称代名詞「よ」「わがはい」 『太陽コーパス』を資料として（近藤明日子）
社会言語科学（社会言語科学会）11-1 2008-8 pp.116-124
- 510 服装語彙から見た婦人雑誌の性格 昭和24年の雑誌を資料として（岡田由紀子）
神女大國文（神戸女子大学国文学会）19 2008-3 pp.135-145
- 511 明治・大正時代に発表された文学作品の表題の計量的分析 連体詞「或」考（金城ふみ子）
東京国際大学論叢 経済学部編 38 2008-3 pp.55-79
- 512 戦時中の日本語の実際 形容詞・形容動詞・副詞を中心に（遠藤織枝）
文教大学文学部紀要 22-1 2008-9 pp.39-67
- 513 明治前半期の時順表現と時長表現（松井利彦）
文林（神戸松蔭女子学院大学）42 2008-3 pp.19-57
- 514 形式名詞「なか」の意味と機能 明治期と現代との用例比較を通じて（方允炯）
日本語学研究（韓国日本語學會）23 2008-12 pp.113-127
- 515 오미영 : 日本 明治譯聖書の 翻譯語 研究 ; 動詞翻譯語와 訓點聖書の 관련을 중심으로.
日本語学研究（韓国日本語學會）23, 12 2008 pp.129-141
- 516 特集；おのまとペ——東北方言的宮沢賢治オノマトペ考察（川越めぐみ）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-14 2008-10 pp.107-115
- 517 連載；近代訳語を検証する(53)——水様液(房水 waterachtig vogt.)・硝子様液(硝子体/glasachtig vogt./lenticonus, Kristal lens.)・水晶様液(水晶体/kristalijnen vocht/crystalline lens)（杉本つとむ）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-1 2008-1 pp.221-225
- 518 連載；近代訳語を検証する(54)——内翳眼・内障眼/白内障(staar, cataracta)/手術(operatiö ope tatie)（杉本つとむ）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-2 2008-2 pp.202-206
- 519 連載；近代訳語を検証する(55)——理科・理学・格致(natuurkunde·physica)(1)（杉本つとむ）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-3 2008-3 pp.204-207
- 520 連載；近代訳語を検証する(56)——理科・理学(natuurkunde·physica)(2)（杉本つとむ）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-4 2008-4 pp.188-195
- 521 連載；近代訳語を検証する(57)——理科・理学 natuurkunde, physica/natural-philosophy,/natural(physical)science)/滑車(takel, pulley)(3)（杉本つとむ）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-5 2008-5 pp.222-229
- 522 連載；近代訳語を検証する(58)——新聞紙/新聞誌(courant, Nieuws, Nieuws blad (papier)/News, News paper)（杉本つとむ）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-6 2008-6 pp.189-197
- 523 連載；近代訳語を検証する(59)——詞品・品詞(Etymologia(羅)·etijmologie/woordgronding(蘭)·etymology(英)/動詞(werkende werkwoord/verb)など（杉本つとむ）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-7 2008-7 pp.180-185

- 524 連載；近代訳語を検証する(60)——詞品・品詞の翻訳(補説)(杉本つとむ)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-8 2008-8 pp.187-193
- 525 連載；近代訳語を検証する(61)——カンテラ(kandelaar)、ランタン(lantaarn)、ランプ(lamp)/メ
ス(mes)・ランセット(lancet)など(杉本つとむ)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-9 2008-9 pp.209-212
- 526 連載；近代訳語を検証する(62)——せびろ(Sack-coat)・ちよつき(Jak)・ずぼん(Jupon)(杉本つと
む)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-10 2008-10 pp.193-198
- 527 連載；近代訳語を検証する(63)——骨膜(been vlies)・頭骨、脳蓋骨、頭蓋骨(bekkeneel, hers(s)
enpan/cranium)・縫合(naad, hechting) 滋養、栄【営】養(voedzaam)(杉本つとむ)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-11 2008-11 pp.178-181
- 528 『窓ぎわのトットちゃん』語彙(12) 中間の語彙に関して(試案)(田島毓堂)
愛知学院大学文学部紀要〈愛知学院大学論叢〉37 2008-3 pp.69-81
- 529 〈報告〉歌謡曲における歌詞の史的変遷(中村一夫；2006、2007 年度日本語学ゼミ生)
国文学論輯(国士館大学国文学会) 29 2008-3 pp.101-112

◇研究史

- 530 擬音語・擬態語の名称変遷について(中里理子)
上越教育大学研究紀要〔電子版〕27 2008-2 pp.137-143
- 531 『西鶴諸国はなし』研究史ノート(2) 昭和 20 年以前の語彙考証と典拠研究(宮沢照恵)
北星学園大学文学部北星論集 45-2 2008-3 pp.196-179
- 532 藤原定家「源氏名所」攷 掲出地名と配列について(寺島修一)
武庫川国文(武庫川女子大学国文学会) 71 2008-12 pp.27-43

◇国語辞典

- 533 加熱料理動詞群の意味記述の分析 明治期国語辞書を中心に(本間美奈子)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 39 2008-3 pp.183-200
- 534 辞書における規範と慣用 続々考(倉島節尚)
国文学踏査(大正大学国文学会) 20 2008-3 pp.147-160
- 535 語釈にはどんな外来語が使用されているか 『例解新国語辞典(第七版)』を調査資料として(大島
中正)
同志社女子大学日本語日本文学 20 2008-6 pp.1-15
- 536 常用辞書における連体詞の認定について(田村泰男)
広島大学留学生教育 12 2008-3 pp.43-50
- 537 『文集』はくもんじゅう>かくぶんしゅう>か(5) 『広辞苑』第六版の記述をめぐって(神鷹徳治)
文芸研究〈明治大学文学部紀要〉105 2008-3 pp.129-134
- 538 国語辞典の小項目を読む(佐々木文彦)
明海大学外国語学部論集 20 2008-3 pp.15-24
- 539 特集；日本語はここまでわかった——語彙 近代国語辞書について 語義記述・用例を中心として

(犬飼守薫)

日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp. 42-51

◇特殊語辞典

540 『NHK 日本語発音アクセント辞典』改訂基本方針決まる (坂本充)

放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-11 2008-11 pp. 76-77

541 アクセント辞典の誕生 放送用語のアクセントはどのように決められてきたのか (塩田雄大)

放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所年報) 52 2008-1 pp. 173-200

◇漢和辞典

542 漢和辞典における慣用音の規範 (鳩野恵介)

語文 (大阪大学国語国文学会) 91 2008-12 pp. 35-46

543 『大漢和辞典』編纂資料としての『新撰支那時文辞典』(橋本行洋)

花園大学文学部研究紀要 40 2008-3 pp. 23-50

544 李京哲; 白惠英: 漢和辞典 慣用音 表記의 実像; 陽声・入声字의 誤記例를 중심으로.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 22, 9 2008 pp. 201-214

◇辞典 (対訳辞典)

545 朝鮮語 Web 辞典の設計について (油谷幸利)

朝鮮学報 (朝鮮学会) 206 2008-3 pp. 1-37

546 特集; 英和辞典の新時代——意味への回帰 (瀬戸賢一)

英語青年 (研究社) 153-12 2008-3 pp. 2-5

547 // —— ‘Natural English’ とは何か (池上嘉彦)

英語青年 (研究社) 153-12 2008-3 pp. 6-9

548 // ——一般英和辞典に求められるもの (馬場彰)

英語青年 (研究社) 153-12 2008-3 pp. 20-22

549 連載; 同時翻訳者が編む難訳日英辞典(1)——型 the box (松本道弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-8 2008-6 pp. 94-106

550 連載; 同時翻訳者が編む難訳日英辞典(2)——のに I was wrong. Even though. (松本道弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-10 2008-7 pp. 116-129

551 連載; 同時翻訳者が編む難訳日英辞典(3)——素直に考えよ Think straight! (松本道弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-11 2008-8 pp. 120-133

552 連載; 同時翻訳者が編む難訳日英辞典(4)——鑑 a role model (松本道弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-13 2008-9 pp. 108-119

553 連載; 同時翻訳者が編む難訳日英辞典(5)——話にならない a joke (松本道弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 116-127

554 連載; 同時翻訳者が編む難訳日英辞典(6)——やっぱり I Knew it. (松本道弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-16 2008-11 pp. 130-143

555 連載; 同時翻訳者が編む難訳日英辞典(7)——道を外すな Do it right. (松本道弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-17 2008-12 pp. 134-146

◇索引

- 556 特集；東アジアの文化と近代化研究——原刊本『捷解新語』の朝鮮語 KWIC 索引 逆順（村田寛）
福岡大学研究部論集 人文科学編 8-3 2008-12 pp. 1-158
- 557 世阿弥自筆『風姿花伝』卷第六 語彙総索引稿（金子彰/編）
東京女子大学日本文学 104 2008-3 pp. 105-144
- 558 西教寺所蔵 摩訶止観難字音義 仮名音訓索引(8)（塩浦林也）
ことばとくらし（新潟県ことばの会）20 2008-10 pp. 13-32
- 559 村口四郎氏蔵下学集単語索引（高橋久子；崔美月）
日本語と辞書（古辞書研究会）13 2008-5 pp. 167-247
- 560 天理図書館蔵「字書」自立語索引（高橋久子；末田かおり）
日本語と辞書（古辞書研究会）13 2008-5 pp. 249-332
- 561 世阿弥自筆能本『柏崎』語彙総索引稿（金子彰；飯沼千智）
ことばとくらし（新潟県ことばの会）20 2008-10 pp. 53-65
- 562 『西国立志編』解題・第六編本文及び語彙索引稿（鈴木丹士郎；松本守）
専修国文（専修大学日本語日本文学会）83 2008-9 pp. 1-112
- 563 七卷本『世俗字類抄』仮名索引(15)（三宅ちぐさ）
就実論叢 1 人文篇（就実大学・就実短期大学）37 2008-2 pp. 33-99
- 564 『難太平記』索引（長谷川端/文責；鈴木友子；磯部佳宗；長友秀暁；小木曾千代子；駒田貴子）
中京大学文学部紀要 43-1 2008-10 pp. 1-28

□文法

◇文法一般

- 565 文とは何か? 「日本語の構文」入門 (たかきかずひこ)
うなびこ (日本語学研究会) 32 2008-9 pp. 9-36
- 566 過程(様態・対象)と結果 個別研究を包括する研究、の一つの試み(1) (糸井通浩)
日本言語文化研究 (日本言語文化研究会) 12 2008-4 pp. 1-15
- 567 ハブ文法による言語研究と教育の連携 (加藤重広)
北海道大学文学研究科紀要 126 2008-11 pp. 93-117
- 568 学校文法から見た新しい文法 (孫蕾)
愛知大学中国交換研究員論叢 25 2008-3 pp. 23-36
- 569 品詞論における言語単位の問題 (小針浩樹)
国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 13-26
- 570 文法論における単語の問題 単語中心主義に対する疑問にこたえて (鈴木重幸)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-1 2008-1 pp. 1-15
- 571 山口明穂氏の所謂「時の助動詞」の説をただす(上) (川上徳明)
札幌大学総合論叢 25 2008-3 pp. 334-251
- 572 山口明穂氏の所謂「時の助動詞」の説をただす(中) (川上徳明)
札幌大学総合論叢 26 2008-10 pp. 254-167
- 573 特集; 日本語文法の現在——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『係り結びの研究』(大野晋)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 62-65
- 574 "——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『新版 文論』のこと (宮地裕)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 66-68
- 575 "——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『現代日本語文法の輪郭』(南不二男)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 69-72
- 576 "——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『活用の研究』について (川端善明)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 73-77
- 577 "——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『言語の時間表現』について (金子亨)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 78-82
- 578 "——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『動詞の意味論的文法研究』を中心として (森田良行)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 83-87
- 579 "——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『「する」と「なる」の言語学』を振り返って (池上嘉彦)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 88-92
- 580 "——日本語文法とその周辺—自著を語るなかから 『概説・古典日本語文法』を中心として (鈴木康之)

国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 93-97

581 何を「前置き」とするのか (小沼喜好)

外国語教育論集 (筑波大学外国語センター) 30 2008-3 pp. 87-98

582 コミュニケーションの組織とテキストにおける人称 人称の様相についての問題提起 (野村真木夫)

上越教育大学研究紀要 [電子版] 27 2008-2 pp. 145-155

583 文章構造における冒頭文と末尾文の統括機能と形態上の特徴 頭括型と尾括型の要約文の分析を通して (木戸光子)

文芸言語研究・言語篇 (筑波大学大学院) 53 2008-3 pp. 33-49

584 文の接続関係の指標としてのノダの機能 (宮沢太聡)

早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 23-34

◇品詞・活用, 表現法

(詞・辞, 活用)

585 字音語サ変動詞の他動詞形 (紙谷栄治)

関西大学文学論集 (関西大学文学会) 57-4 2008-3 pp. 1-37

586 日本語指示詞の認知的研究 ソ系指示詞における「聞き手」の位置づけ再考 (小川典子)

言語科学論集 (京都大学) 14 2008-12 pp. 57-88

587 「程度差」「量差」の位置づけ 程度副詞の体系についての一考察 (佐野由紀子)

高知大国文 (高知大学国語国文学会) 39 2008-12 pp. 75-64

588 生起相修飾成分の認定と分類 (彭玉全)

筑波日本語研究 (筑波大学) 13 2008-12 pp. 51-71

589 形容詞の活用語形(5) (中山昌久)

東京学芸大学紀要 人文社会科学系 159 2008-1 pp. 51-61

590 日本語の名詞をみなおす (村木新次郎)

同志社女子大学大学院文学研究科紀要 8 2008-3 pp. 1-18

591 「上で」に関する考察 (佐野裕子)

日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 53-63

592 属性 Q と日本語助数詞の体系 (岩田一成)

日本語文法 (日本語文法学会) 8-1 2008-3 pp. 68-84

593 動詞テ形に由来する副詞的成分の「副詞度」算出の試み (林雅子)

阪大日本語研究 (大阪大学大学院) 20 2008-2 pp. 33-59

594 形容詞の品詞性について ナ形容詞、第三形容詞、第四形容詞と (町田互)

立教大学日本文学 100 2008-7 pp. 118-129

595 感情形容詞と感情動詞に関する考察 (于艶麗)

立教大学日本文学 101 2008-12 pp. 79-88

596 形容詞(イ形容詞とナ形容詞)の活用とダの活用 (角田三枝)

立正大学国語国文 46 2008-3 pp. 12-24

597 日本語の反復形容詞 形態・意味と機能 (湯廷池)

東呉日語教育學報（東呉大學）31 2008-7 pp. 60-79

（アスペクト・表現）

- 598 使役動詞と有/無対他動詞との交替（趙南弼）
岡大國文論稿（岡山大学文学部言語国語国文学会）36 2008-3 pp. 57-48
- 599 日本語の補助動詞「テイク」「テクル」について(1) 「テイク」のアスペクト性を中心に（渡辺誠治）
活水論文集 現代日本文化学科編 51 2008-3 pp. 90-67
- 600 中間態としての使役表現（朽方修一）
学芸日本語教育（東京学芸大学日本語教育研究会）5 2008-8 pp. 15-25
- 601 〈研究ノート〉日本語構造伝達文法(14) 古代日本語の母音（今泉喜一）
杏林大学外国語学部紀要 20 2008-3 pp. 205-206
- 602 現代語助動詞「た」の原理（半藤英明）
熊本県立大学文学部紀要 14(67) 2008-3 pp. 154-140
- 603 知覚動詞のアスペクトと意味拡張 自他対応と主観性（高嶋由布子）
言語科学論集（京都大学）14 2008-12 pp. 31-55
- 604 ハズダと認知的モダリティのための認知心理的な分析モデル（蔣家義）
言語と交流（言語と交流研究会）11 2008-6 pp. 1-15
- 605 テアル構文と対象の格表示（斎藤茂）
言語と文明〈麗沢大学大学院言語教育研究科論集〉6 2008-3 pp. 113-136
- 606 原点転移システムと準ダイクシス表現（渡辺伸治）
言語文化研究（大阪大学大学院）34 2008-3 pp. 83-92
- 607 日本語ナラ条件節におけるモダリティの形式と機能（陳訪澤；徐淑丹）
神戸女学院大学論集 55-1 2008-6 pp. 1-8
- 608 小説の会話文と地の文に見られる「ようだ」「らしい」のテンス交替 発話主体と発話時の視点から（小野沢佳恵）
国際交流基金日本語教育紀要 4 2008-3 pp. 13-25
- 609 無意志自動詞の可能表現に関わる要因の分析 意志性・主体性・事態の性質を中心に（呂雷寧）
言葉と文化（名古屋大学大学院）9 2008-3 pp. 271-286
- 610 認識のモダリティ形式「ミタイ(ダ)」について 視点の観点から（国沢里美）
ことばの科学（名古屋大学言語文化研究会）21 2008-12 pp. 171-182
- 611 補助動詞「いく/くる」の持つ「視点」についての一考察（大場美穂子）
相模国文（相模女子大学国文研究会）35 2008-3 pp. 103-86
- 612 階層意味論モデルに基づく「(よ)う」の機能拡張の分析（大村光弘）
人文論集〈静岡大学人文学部社会学科・言語文化学科研究報告〉58-2 2008-1 pp. 117-139
- 613 動詞のアスペクト性をめぐって 持続性と限界性を中心に（吉永尚）
園田学園女子大学論文集 42 2008-1 pp. 1-9

- 614 認識的モダリティの再定義 「だろろう」と「推量」から見る認識的モダリティ (蔣家義)
大学院論文集 (杏林大学大学院) 5 2008-3 pp. 29-46
- 615 〈研究ノート〉感情動詞の受身をめぐって (北村よう)
東海大学紀要 留学生教育センター28 2008-3 pp. 123-133
- 616 トキ節の同時性に関わる動詞の完成相について (丹下容子)
名古屋言語研究 Nagoya Linguistics (名古屋大学名古屋言語研究会) 2 2008-3 pp. 1-14
- 617 「～である」に関する一考察 「～ている」との関係において (張賢善)
日本研究教育年報 (東京外国語大学) 12 2008-3 pp. 1-19
- 618 ‘‘タ’’の表す「発見」について (徐雨棻)
日本語・日本文化 (大阪大学日本語日本文化教育センター) 34 2008-5 pp. 23-39
- 619 アスペクト解釈における瞬間事象の下位分類 (浦木貴和)
日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 41-52
- 620 〈研究ノート〉「変化型」アスペクトの「テクル」「テイク」と時間性 タ形「テキタ」と「テイツタ」の非対称的な分布に注目して (沢田淳)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 63-69
- 621 同語反復表現「X という X」について (野呂健一)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 104-120
- 622 アスペクト 「た」と「てしまう」に焦点を当てて (梶原秀夫)
文京学院大学外国語学部文京学院短期大学紀要 7 2008-2 pp. 71-91
- 623 モダリティによる従属句の生起の制限 (鬼山信行)
文教大学文学部紀要 21-2 2008-3 pp. 1-23
- 624 「～テヤル」の派生的な意味機能について (王燕)
北陸大学紀要 32 2008-12 pp. 193-210
- 625 「～と思う」と否定 「～ないと思う」と「～とは思わない」 (阿部二郎)
北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 59-1 2008-8 pp. 33-44
- 626 従属節「ナラ」におけるテンスの考察 (川端芳子)
立教大学日本語研究 15 2008-3 pp. 2-12
- 627 原因・理由の表現 (アナリン, リワナグ)
立教大学日本文学 101 2008-12 pp. 89-97
- 628 テイル文の意味的分析 動詞分類と事象構造の精密化へ向けて (宮腰幸一)
論叢 現代語・現代文化 (筑波大学) 1 2008-10 pp. 1-98
- 629 日本語可能表現の概念規定について 「可能の助動詞・可能動詞」「可能のデキル」「得ル」を中心に (李慶實)
日本研究 (韓国外国語大 日本研究所) 36 2008-6 pp. 319-340
- 630 使役文のアスペクト (權勝林)
日本研究 (韓国外国語大 日本研究所) 36 2008-6 pp. 343-359

- 631 朴敏瑛 : 현대 일본어의 시동을 나타내는 복합동사의 아스펙트.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp. 477-496
- 632 李成圭 : 일본어 의뢰표현의 유형화 및 서열화에 대해 ; <てくれる>계열・<てもらえる>계열을 대상으로 하여.
日本學報 (韓國日本學會) 74-2, 2 2008 pp. 17-34
- 633 Yuasa, Etsuyo : Special Issue; Japanese Language Education—From the Core to the Periphery ; The Tense System in Japanese.
Japanese Language and Literature (JLL) 42-2, 10 2008 pp. 495-510
- 634 特集 ; 日本語研究の国際交流——日本語研究と海外の言語研究のコラボレーション 「た」「ている」をめぐって (定延利之)
日本語学 (明治書院) 27-14 2008-12 pp. 28-38

◇構文

- 635 無生物主語の所属関係の文 (熊鷹)
学習院大学国語国文学会誌 51 2008-3 pp. 126-113
- 636 「～ないか」の用法 (張雅智)
言語科学論集 (東北大学大学院) 12 2008-12 pp. 19-35
- 637 認識する文 (大木一夫)
東北大学文学研究科研究年報 57 2008-2 pp. 1-26
- 638 拡張他動詞文 「何を文句を言ってるの」 (天野みどり)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-1 2008-3 pp. 3-19
- 639 日本語における非行為者主語の他動詞文 構文のタイプとその関連性 (鈴木容子)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 71-87
- 640 随筆中の名詞句独立文について 连接的な観点から (小林由紀)
日本語論叢 (早稲田大学日本語論叢の会) 8 2008-3 pp. 13-24
- 641 ナラ条件文の使い方に関する一考察 前後件に因果関係が見られない文を中心に (安善柱)
日本語学研究 (韓國日本語學會) 21 2008-3 pp. 81-91
- 642 「賢愚」と「吉凶」を表す形容詞述語文の文型と用法 (朴海煥)
日本語学研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp. 185-198
- 643 存在の否定文をめぐって ナイ・イナイを中心に (吉田玲子)
日本語学研究 (韓國日本語學會) 23 2008-12 pp. 143-154
- 644 知覚・認識動詞と実現系可能 (韓静妍)
日本學報 (韓國日本學會) 74-1 2008-2 pp. 121-130
- 645 認知言語学に基づく構文選択の考察 いわゆる壁塗り交替を事例に (永田由香)
言語科学論集 (京都大学) 14 2008-12 pp. 1-14
- 646 文構造論における言語単位の問題 (小針浩樹)
言語科学論集 (東北大学大学院) 12 2008-12 pp. 1-17
- 647 体言文とウナギ文 (石神照雄)

- 人文科学論集 文化コミュニケーション学科編 (信州大学) 42 2008-3 pp. 133-144
- 648 〈エッセイ〉悩ましきくの〉 言語時評(19) (工藤力男)
成城文芸 (成城大学) 204 2008-9 pp. 43-50
- 649 助詞「が」の二つの特殊な用法をめぐって (ヨフコバ四位エレオノラ)
多摩留学生教育研究論集 6 2008-3 pp. 1-9
- 650 「～タリ(スル)」の意外性と配慮効果 依頼文脈における使用を中心に (大和啓子)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 115-125
- 651 テアル構文の動詞構成 存在文との近さから (神永正史)
筑波日本語研究 (筑波大学) 13 2008-12 pp. 33-50
- 652 内容節の構造を持つ「ものだ」文について (高橋雄一)
東海大学紀要 留学生教育センター28 2008-3 pp. 17-36
- 653 日本語「変化自動詞」の〈語レベルでの存立原理〉と〈文レベルでの使用条件〉 (永沢済)
東京大学言語学論集 27 2008-9 pp. 163-185
- 654 〈研究ノート〉条件表現の用法 使用実態の実証的検証 (松崎舞子)
日本研究教育年報 (東京外国語大学) 12 2008-3 pp. 85-99
- 655 複合接続形式「～(よ)うと/(よ)うが」について (藤田保幸)
日本言語文化研究 (日本言語文化研究会) 12 2008-4 pp. 13-28
- 656 「形容詞・形容動詞する」文の構造と意味 (大塚望)
日本語日本文学 (創価大学日本語日文学会) 18 2008-3 pp. 9-36
- 657 変化動詞文と共起するニ・トに関する一考察 トの意味・機能の分析を中心に (菊池律之)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 88-103
- 658 対象 NP の格標示に対する与格成分の影響について (菅井三実 ; 成瀬厚司)
兵庫教育大学研究紀要 32 2008-2 pp. 13-21
- 659 の・が・は・も 象・鼻・長 (宮沢俊雅)
藤女子大学紀要 第 1 部 45 2008-2 pp. 59-80
- 660 与格構文とその周辺 (まつもと, ひろたけ)
類型学研究 (類型学研究会) 2 2008-6 pp. 107-117
- 661 「精神及び行為」を表す形容詞述語文の文型と用法 (朴海煥)
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36 2008-6 pp. 401-427
- 662 全体・部分の「V+(s)ase」構文の緒タイプと所有階層 (康永富)
日本語学研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp. 93-107
- 663 「～(する)代わりに」と「～(しない)代わりに」が交替可能な構文の成立条件について (田惠敬)
日本學報 (韓國日本語學會) 76 2008-8 pp. 129-141
- 664 金英敏 : 外部否定에 관한 考察.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp. 499-513
- 665 朴墉一 : 日本語の 문법현상과 통사구조 보조동사문에 나타나는 재구조화현상을

중심으로.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 23, 12 2008 pp. 97-111

- 666 蔡盛植 : 使役構文의 意味解釋에 작용하는 諸 要因에 관한 考察.
日本學報 (韓國日本語學會) 74-2, 2 2008 pp. 45-57
- 667 蔡盛植 : 日本語의 他動性과 對格性에 관한 考察.
日本學報 (韓國日本語學會) 75, 5 2008 pp. 111-122
- 668 安平鎬 ; 金志娟 : 概言(presumptive)의 意味를 나타내는 「~て見える」에 관한 研究.
日本學報 (韓國日本語學會) 77, 11 2008 pp. 33-43
- 669 田惠敬 : 「~(する)代わりに」構文의 意味 ; 構文論的인 成立條件을 中心으로.
日本學報 (韓國日本語學會) 77, 11 2008 pp. 67-78
- 670 特集 ; [例解]日本語の条件表現 言語に「もし」がなかったら? —— 「もっと時間があつたら、時間さえあれば…」 条件の「たら」と「ば」(前田直子)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 28-35
- 671 〃 —— 「最近の若者ときたら…」 話者の思考と属性叙述 (岩男考哲)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 52-59
- 672 〃 —— 「この壺を買えば、運勢が上昇する」 この壺を買わなければ、運勢が上がらない? (西村香奈絵)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 60-67
- 673 〃 —— 「みだりに車外に出ると危険です」 [ト]の事象性にみる結果指向と公共意識 (田中寛)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 68-75
- 674 〃 —— 「あなたがそう言うから/なら別れることにするわ」 理由も条件も同じコインの裏表 (有田節子)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 76-83
- 675 時間副詞に関する一考察 「とつぜん」と「ふいに」を中心に (江雯薰)
岡大國文論稿 (岡山大学文学部言語国語国文学会) 36 2008-3 pp. 68-58
- 676 否定構文における否定副詞の考察 (丁允英)
學術研究 国語・国文学編 (早稲田大学) 56 2008-2 pp. 37-49
- 677 意味と統語から見たトイウの機能 (真鍋雅子)
言語科学研究 (神田外語大学大学院紀要) 14 2008-3 pp. 49-68
- 678 終助詞「ヨネ・ヨナ」の機能・意味について (吉田雅昭)
言語科学論集 (東北大学大学院) 12 2008-12 pp. 37-48
- 679 現代日本語の格体系から見た原因 NP の格標示について (菅井三実)
言語表現研究 (兵庫教育大学言語表現学会) 24 2008-3 pp. 1-11
- 680 日本語助辞「は」の本質(1) (山内啓介)
言語文化 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会紀要) 16 2008-3 pp. 16-30
- 681 「もっと」と「いっそう」の使い分けに関する考察 (陳建明)
言語文化学研究 言語情報編 (大阪府立大学) 3 2008-3 pp. 177-188

- 682 連体節の接続形式「トノ」の意味機能 非引用名詞が主名詞となる場合を中心に (王彩麗)
神戸市外国語大学研究科論集 11 2008-4 pp. 1-18
- 683 形容詞の連用用法と連体用法 (孫琦)
ことば (現代日本語研究会) 29 2008-12 pp. 92-101
- 684 連体節表現における焦点について (金春女)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 221-236
- 685 「ハ」の主題的意味と対照的意味 (平野尊識)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 295-310
- 686 形式名詞「分」の名詞用法 (江口正)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 375-389
- 687 動詞の限界性を判定するテストセット (畠山真一)
尚絅学園研究紀要 A. 人文・社会科学編 2 2008-3 pp. 27-39
- 688 ことわざの中の助詞モ 犬も歩けば棒に当たる (石神照雄)
信州大学人文社会科学研究 2 2008-4 pp. 34-44
- 689 「にとって」の生起条件と意味機能について (陸丹)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 153-166
- 690 文の成立条件と再帰表現「自分」 (汪宇)
名古屋大学言語学論集 23 2008-5 pp. 1-16
- 691 「{この/その} N {は/が} P」文における「は/が」に関する一考察 指示詞「この/その」と名詞句の性質との相関 (長沢理恵)
名古屋大学国語国文学 101 2008-11 pp. 118-101
- 692 疑問文における終助詞「よ」「ね」と複合終助詞「よね」の働きについて (松岡みゆき)
名古屋大学日本語・日本文化論集 15 2008-3 pp. 1-23
- 693 「君を咲き誇ろう」の意味解釈 複合動詞の他動性をめぐって (斉木美知世)
日本エドワード・サピア協会研究年報 22 2008-3 pp. 23-34
- 694 現代日本語の動詞性名詞と「の」「こと」による名詞化について (佐藤佑)
日本研究教育年報 (東京外国語大学) 12 2008-3 pp. 21-45
- 695 「何度も」が表す反復の意味 (彭玉全)
日本研究教育年報 (東京外国語大学) 12 2008-3 pp. 65-84
- 696 複文における並列関係と意味的異質性 評価性をめぐって (謝福台)
日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 65-74
- 697 二重主題について (タップティム, ナッティラー)
日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 75-83
- 698 クライ・ホド・ナド・ナンカ・ナンテの機能と構造 (井島正博)
日本語学論集 (東京大学大学院) 4 2008-2 pp. 42-97
- 699 後置詞「ついて」と格助辞「を」 (林淳子)
日本語学論集 (東京大学大学院) 4 2008-2 pp. 142-131

- 700 否定述語と呼応する「しか」「以外」「ほか」をめぐって (朴江訓)
日本語と日本文学 (筑波大学国語国文学会) 46 2008-2 pp. 19-33
- 701 状態記述 2 次述部と「で」 (李昇祐)
日本語と日本文学 (筑波大学日本語日本文学会) 47 2008-8 pp. 70-80
- 702 並列事態が想定しにくいモについて (中尾有岐)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-1 2008-3 pp. 36-52
- 703 多機能語「ただ」の分析 (相沢奈穂子; 佐藤琢三)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-1 2008-3 pp. 53-67
- 704 連体修飾節と主節の時間的關係について (大島資生)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-1 2008-3 pp. 101-117
- 705 「場合」に関する考察 接続助辞用法を中心に (佐野裕子)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 140-155
- 706 進展表現の分類と副詞の語順 (宮城信)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 173-189
- 707 「名詞+の」における叙述性の一考察 (三浦晃弘)
阪大日本語研究 (大阪大学大学院) 20 2008-2 pp. 61-90
- 708 「あざやかに」の諸用法と修飾關係の類型 (宮城信)
表現研究 (表現学会) 87 2008-3 pp. 62-71
- 709 原因・理由を表す複合助詞と時制との関わり (三浦佑子)
文芸研究 文芸・言語・思想 (日本文芸研究会) 165 2008-3 pp. 74-62
- 710 「の」の一研究 「名詞+の+名詞」の「の」について (柏木成章)
別科日本語教育 (大東文化大学別科論集) 9 2008-3 pp. 162-166
- 711 副詞「だいたい」の説き起こしの機能 複数の用法をもつ副詞の統語論的考察 (田中里実)
北海道大学留学生センター紀要 11 2008-3 pp. 39-54
- 712 接続詞「だって」と呼応する文末表現 「ものだ」文との関わりをめぐって (玄仙令)
明治大学日本文学 34 2008-8 pp. 49-30
- 713 「N1 のような N2」の例示用法 (光信仁美)
立正大学国語国文 46 2008-3 pp. 1-11
- 714 状況を表すヲ句について (天野みどり)
和光大学表現学部紀要 8 2008-3 pp. 1-13
- 715 「からして」のとりたて性 (白松宗)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 21 2008-3 pp. 43-61
- 716 僅少を表わす修飾語の用法 語彙的制約についての一考察 (石川潔)
日本語教育研究 (韓国日語教育學會) 15 2008-10 pp. 89-99
- 717 時間副詞「いま」について (金英児)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 37 2008-5 pp. 45-61
- 718 類義形式「トキ」「コロ」の分析 時間性と空間性の観点から (河在必)

- 日本文化學報 (韓國日本文化學會) 39 2008-11 pp. 21-38
- 719 「だけ」の多義性 (李俊瑞)
日本學報 (韓國日本學會) 74-1 2008-2 pp. 83-93
- 720 Lee, Duck-Young ; Yonezawa, Yoko : The Role of the Overt Expression of First and Second Person Subject in Japanese.
Journal of Pragmatics 40-4, 4 2008 pp. 733-767
- 721 Nakagawa, Natsuko ; Asao, Yoshihiko ; Nagaya, Naonori : Information Structure and Intonation of Right-Dislocation Sentences in Japanese.
京都大学言語学研究 (京都大学大学院) 27, 12 2008 pp. 1-21
- 722 Yokomori, Daisuke : On Postposed Adverbial Clauses in Japanese Conversation.
言語科学論集 (京都大学) 14, 12 2008 pp. 109-122
- 723 Takano, Yasukuni : A Historical Perspective on the Study of 'Ga' and 'Wa' in Japanese (1).
長崎大学留学生センター紀要 16, 6 2008 pp. 21-42
- 724 Takano, Yasukuni : A Historical Perspective on the Study of 'Ga' and 'Wa' in Japanese (2).
長崎大学留学生センター紀要 16, 6 2008 pp. 43-66
- 725 吳珠熙 : 「いっそ」의 통어적, 의미적 특징.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22, 9 2008 pp. 167-182
- 726 李俊瑞 : 「さえ」의 다의성에 관한 일고찰.
日本學報 (韓國日本學會) 76, 8 2008 pp. 117-127
- 727 シンポジウム特集 ; とりたて研究の可能性——とりたて詞の分布と意味をめぐって 「も」と「だけ」の記述を例に (沼田善子)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 20-36
- 728 〃——とりたて詞の形態的, 統語的, 意味的ふるまいについて 係助詞, 副助詞という分類の有意性を中心に (青柳宏)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 37-53
- 729 特集 ; 日本語はここまでわかった——文法 「も」について (沢田美恵子)
日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp. 24-31

◇文法史

- 730 主体の意図に関わる副詞の意味・用法について (佐々木文彦)
応用言語学研究 (明海大学大学院応用言語学研究科紀要) 10 2008-3 pp. 127-134
- 731 格助詞「ガ」の文法化とその背景にあるもの (山田昌裕)
言語文化研究 (静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会) 7 2008-3 pp. 1-13
- 732 「しもは」考 「はしも」と「しもは」と (小田勝)
国語研究 (国学院大学国語研究会) 71 2008-3 pp. 1-10
- 733 引用文誘導句の変遷 連体形準体法と関連させて (信太知子)

- 神女大国文 (神戸女子大学国文学会) 19 2008-3 pp. 112-125
- 734 形式語の文法化 (日野資成)
福岡女学院大学紀要 人文学部編 18 2008-2 pp. 197-213
- 735 連用修飾の「意外と」の成立について (覃顯勇)
文化継承学論集 (明治大学大学院) 4 2008-3 pp. 11-31
- 736 補助動詞「～オル」の展開 (青木博史)
和漢語文研究 (京都府立大学国中文学会) 6 2008-11 pp. 101-89
- 737 古代日本語の格助詞ヲの標示域とその変化 (竹内史郎)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-4 2008-4 pp. 50-63
- 738 上代における下二段活用動詞「アフ」及び「アヘテ」の意味・用法について 《動詞連用形+接続助詞テ》型副詞の典型としての考察 (小倉健太)
国文学攷 (広島大学国語国文学会) 199 2008-9 pp. 17-34
- 739 助詞シの格助詞性について 非動作格性と品詞分類 (竹内史郎)
語学と文学 (群馬大学語文学会) 44 2008-3 pp. 9-23
- 740 万葉集における不定疑問文について (大牟礼誠)
中央大学国文 (中央大学国文学会) 51 2008-3 pp. 1-10
- 741 「見ゆ」「聞こゆ」「思ほゆ・思ゆ」の格体制 動詞ラレル形との対照の観点から (川村大)
東京外国語大学論集 77 2008-12 pp. 370-352
- 742 青谿書屋本土左日記における使役表現 万葉集との比較を中心に (伊東光浩)
KGU 比較文化論集 (関東学院大学) 1 2008-7 pp. 194-165
- 743 中古和文における助動詞の相互承接について (小田勝)
岐阜聖徳学園大学紀要 外国語学部編 47(55) 2008-2 pp. 85-93
- 744 源氏物語でのタラズ形・ラズ形 ザリキ形・ザリツ形・ザリケリ形との比較を中心に (西田隆政)
甲南女子大学研究紀要 文学・文化編 44 2008-3 pp. 15-22
- 745 打消表現を観察する (中村幸弘)
国学院大学栃木短期大学紀要 42 2008-3 pp. 1-46
- 746 ソ系列指示詞による聞き手領域の形成 (藤本真理子)
語文 (大阪大学国語国文学会) 90 2008-6 pp. 40-53
- 747 『枕草子』の副助詞ダニ 中古における<相対的軽少性>の意義の一確認 (田中敏生)
四国大学紀要 A 人文・社会科学編 30 2008-12 pp. 267-287
- 748 『枕草子』の副助詞バカリとノミ 中古における役割分担の一確認 (田中敏生)
四国大学紀要 A 人文・社会科学編 B 自然科学編 29 2008-3 pp. 253-273
- 749 逆接のモノユエについて (竹部歩美)
人文学報 (首都大学・東京都立大学) 398 2008-3 pp. 1-21
- 750 古代日本語における動詞移動 (小林茂之)
聖学院大学論叢 20-2 2008-3 pp. 139-154
- 751 主語表示の名詞ノと名詞ガ 源氏物語における用法から (高山道代)

- 対照言語学研究 (海山文化研究所) 18 2008-12 pp. 49-62
- 752 中古語完了助動詞の非現实用法 (井島正博)
東京女子大学日本文学 104 2008-3 pp. 23-51
- 753 古代における複合辞「～として」の用法 基本文型を探る (真仁田栄治)
日本言語文化研究 (日本言語文化研究会) 12 2008-4 pp. 16-26
- 754 平安中期のテアリ文における他動詞構文について (神永正史)
日本語と日本文学 (筑波大学日本語日文学会) 47 2008-8 pp. 27-38
- 755 金平江 : 고대일본어의 불가능의 표현.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 38, 12 2008 pp. 267-282
- 756 전형식 : 狂言集에 보이는 「こそ」의 史的 變遷에 대한 考察.
日本學報 (韓國日本學會) 74-2, 2 2008 pp. 35-44
- 757 シンポジウム特集 ; とりたて研究の可能性——副助詞研究の可能性 (小柳智一)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 3-19
- 758 「み給へれ」と「み給へ」 宇治拾遺物語卷七-五「長谷寺參籠男利生にあづかる事」より (近藤明)
金沢大学教育学部紀要 人文科学・社会科学編 57 2008-2 pp. 102-97
- 759 『平家物語』に見る日本語の節名詞化法の変遷過程 (杉浦滋子)
言語と文明 (麗沢大学大学院言語教育研究科論集) 6 2008-3 pp. 25-48
- 760 『新続古今和歌集』の「ラム」(色川大輔)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 39 2008-3 pp. 245-262
- 761 『天草本平家物語』の授受動詞 『百二十句本平家物語』との比較 (吉田弥生)
昭和女子大学大学院日本文学紀要 19 2008-3 pp. 37-48
- 762 中世語の会話文における程度副詞の使用状況をめぐって 「高い程度を表わす」副詞を中心にして (趙宏)
明治大学日本文学 34 2008-8 pp. 65-50
- 763 千葉小百合 : 교겐집(狂言集)의 「ホドニ」의 중단 발화(言いさし)적 사용에 대하여.
日本學報 (韓國日本學會) 74-1, 2 2008 pp. 111-120
- 764 전형식 : 狂言集의 形容詞에 대한 一考察.
日本學報 (韓國日本學會) 77, 11 2008 pp. 57-66
- 765 朧月亭有人『春色恋廻分解』における江戸語について (鶴橋俊宏)
言語文化研究 (静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会) 7 2008-3 pp. 1-10
- 766 『玉勝間』における過去の助動詞 近世文語との比較 (高瀬正一)
国語国文学報 (愛知教育大学) 66 2008-3 pp. 13-21
- 767 近世中期以降上方語・関西語における「評価的複合形式」の推移 (矢島正浩)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-2 2008-2 pp. 55-69
- 768 『雑兵物語』に用いられるベイの特徴 (橋本礼子)
神女大国文 (神戸女子大学国文学会) 19 2008-3 pp. 101-111

- 769 『春色梅児誉美』における否定助動詞の研究 (中沢紀子)
日本語と日本文学 (筑波大学日本語日文学会) 47 2008-8 pp. 13-26
- 770 連結部分に「こと」を含む二重否定表現の意味変化について 江戸時代から昭和初期を中心にして
(渡辺美弥)
広島女学院大学大学院言語文化論叢 11 2008-3 pp. 79-96
- 771 因由形式間の包含関係から見た天理図書館蔵『狂言六義』(松尾弘徳)
文献探究 (文献探究の会) 46 2008-3 pp. 144-130
- 772 咄本における助動詞「やす」について (三原裕子)
論集 (アクセント史資料研究会) 4 2008-9 pp. 69-80
- 773 特集 ; [例解] 日本語の条件表現 言語に「もし」がなかったら? —— 「なめたらあかん」 条件表
現史からみる否定的当為表現の推移 (矢島正浩)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 36-43
- 774 現代語の終助詞「さ」の機能に関する考察 (長崎靖子)
川村学園女子大学研究紀要 19-2 2008-3 pp. 173-186
- 775 明治期日本語教科書『東語会話大成』におけるイルとオルの諸相 (坂本哲平)
国学院大学大学院文学研究科論集 35 2008-3 pp. 51-62
- 776 国定国語教科書の対称詞 (永田高志)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-3 2008-3 pp. 56-68
- 777 近代語形成期の漢語副用語の概観 (趙英姫)
日本語学 研究と資料 31 2008-4 pp. 1-13
- 778 近現代における「推定」のモダリティ副詞の変遷 ドウモとドウヤラを中心に (小池康)
日本語と日本文学 (筑波大学国語国文学会) 46 2008-2 pp. 1-18
- 779 現代語の副詞「かならず」・「きっと」の意味用法について 夏目漱石・志賀直哉・川端康成の作品
を資料として (井上博嗣)
人間文化研究 (京都学園大学人間文化学会紀要) 21 2008-3 pp. 314-277
- 780 〈研究ノート〉 明治と大正の小説に見られる助動詞ウ・ヨウの一用法 意志の尊大な言い方に関し
て (山下和弘)
福岡女子短大紀要 (福岡女子短期大学) 71 2008-7 pp. 45-60
- 781 「ことだろう」の文について (山口佳也)
早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 13-22
- 782 「はずがない」に関する一考察(1) その使用の拡大過程を中心に (金銀淑)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 23 2008-12 pp. 31-45
- 783 特集 ; 「ことば」 —— 「～からだ」の文について (山口佳也)
十文字国文 (十文字学園女子大学短期大学部国語国文学会) 14 2008-3 pp. 1-8
- 784 紀行文の「る」と「た」 (柏木成章)
大東文化大学紀要 人文科学 46 2008-3 pp. 1-20

785 박정근 : 現代日本小説에 나타난 『文末はずだ』에 관한 一考察.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 37, 9 2008 pp. 383-402

786 現代短歌の文法 「言ひてくる」と「言ひくる」(坂梨隆三)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 817 2008-11 pp. 61-67

◇文法研究史

787 複合辞研究史(6) 「複合助詞」の特質(松木正恵)
学術研究 国語・国文学編(早稲田大学) 56 2008-2 pp. 29-35

788 日本語指示詞の意味論と統語論 研究史的概説(田窪行則)
語学教育フォーラム(大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 311-337

789 口語文法論としての小林好日『標準語法精説』の位置(大木一夫)
文芸研究 文芸・言語・思想(日本文芸研究会) 166 2008-9 pp. 12-24

790 『活語断続譜』についての覚書(尾崎知光)
文莫(鈴木脛学会) 30 2008-6 pp. 21-25

791 『活語断続譜』の成立は果して享和三年六月か(古田東朔)
文莫(鈴木脛学会) 30 2008-6 pp. 27-29

792 『活語断続譜』(岡田本・神宮本)成立時期私見(古田東朔)
文莫(鈴木脛学会) 30 2008-6 pp. 30-32

793 松下文法と被動表現の分類 「所有物」が意味するもの(斉木美知世)
論叢 現代文化・公共政策(筑波大学) 7 2008-3 pp. 103-131

794 特集; 品詞分類の多様性——日本語の品詞体系の通言語的課題(加藤重広)
アジア・アフリカの言語と言語学(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
3 2008-9 pp. 5-28

◇敬語

795 〈研究ノート〉日本語の敬語表現は Agreement か?(老岐勝)
九州大学言語学論集(九州大学大学院) 29 2008-11 pp. 53-68

796 敬語と主観性(上) 原田敬語論から考える(中右実)
言語(大修館書店) 37-9 2008-9 pp. 20-27

797 敬語と主観性(中) 敬語の発話行為性(中右実)
言語(大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 20-27

798 敬語と主観性(下) 現代言語学の主観論を背景に(中右実)
言語(大修館書店) 37-11 2008-11 pp. 20-27

799 動詞の敬語形「お/ご〜だ」のテンス・アスペクト(丹羽哲也)
文学史研究(大阪市立大学) 48 2008-3 pp. 67-76

800 美化語の構成と使用様相に関する一考察(金東奎)
日本研究(韓國外國語大學校日本研究所) 38 2008-12 pp. 251-265

801 최창완 : 일본어의 미화어에 대하여.
日本研究(韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp. 551-566

- 802 한미경 :やる, あげる, さしあげる에 대한 고찰 ; 대우표현과 관련해서.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 37, 9 2008 pp. 359-380
- 803 李成圭 : 의뢰표현 <てくださるか>에 관한 개론.
日本學報 (韓國日本學會) 76, 8 2008 pp. 97-115
- 804 李成圭 : 의뢰표현 <てくださらないか>에 관한 재론 ; 시대물을 대상으로 하여.
日本學報 (韓國日本學會) 77, 11 2008 pp. 45-56
- 805 特集 ; 『敬語の指針』を考える——命令表現をめぐる敬語の体系 『敬語の指針』と文法 (森山卓郎)
日本語学 (明治書院) 27-7 2008-6 pp. 18-26
- 806 " —— 『敬語の指針』と敬語理論 (近藤泰弘)
日本語学 (明治書院) 27-7 2008-6 pp. 38-43
- 807 特集 ; 敬語とコミュニケーションの現在——敬語における使用規制不使用規制 (渡辺実)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 2-7
- 808 " ——敬語の現在 敬語史の流れの中で、社会の変化の中で (菊地康人)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 8-23
- 809 " ——なぜ敬語は三分類では不十分なのか (蒲谷宏)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 24-31
- 810 特集 ; 敬語研究のフロンティア——ポライトネスから見た敬語, 敬語から見たポライトネス その
語用論的相対性をめぐって (滝浦真人)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp. 23-38
- 811 " ——敬語研究と実時間的言語変化研究との接点を求めて (朝日祥之 ; 松田謙次郎)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp. 39-50
- 812 「仰せ出さる」小考 複合動詞「仰せ+動詞」+尊敬の助動詞「る(らる)」について (小久保崇明)
桜文論叢 (日本大学) 70 2008-1 pp. 334-319
- 813 「御坐」による尊敬表現について 『権記』に見る (荻窪真夫)
言語と交流 (言語と交流研究会) 11 2008-6 pp. 13-27
- 814 源氏物語別本の性格 待遇表現から見た (中村一夫)
国文学論輯 (国士館大学国文学会) 29 2008-3 pp. 25-45
- 815 今昔物語集の「宣ハク」・「申サク」の用法 (谷光忠彦)
武蔵野学院大学大学院研究紀要 1 2008-4 pp. 68-55
- 816 「今鏡」における「のたまはす」と「仰せらる」 (川岸敬子)
明治大学教養論集 425 2008-1 pp. 177-189
- 817 日蓮遺文における「まゐらせ給ふ」の一考察 (藁谷隆純)
日本語日本文学 (創価大学日本語日本文学会) 18 2008-3 pp. 13-23
- 818 天理図書館蔵『狂言六義』の待遇表現 一人称代名詞と呼応する述語表現の視点から (林弘子)
安田女子大学大学院文学研究科紀要 13 2008-3 pp. 1-15
- 819 『桑名日記』にみる近世末期下級武士の待遇表現 (佐藤志帆子)
日本語の研究 (日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 13-27

- 820 近現代における敬語表現について 「～させていただきます」を中心に (高沢信子)
立教大学日本語研究 15 2008-3 pp. 13-24
- 821 近世後期の対称代名詞「おまへ」「おめへ」「てめへ」についての一考察 (関丞希)
日本研究 (韓国外國語大學校日本研究所) 36 2008-6 pp. 383-398
- 822 金鎔均 : 紀海音의 世話淨瑠璃에 나타나는 ㄹ행下二段活用の 四段化現象에 관한 考察 ;
江戸中期 上方語資料와 비교를 중심으로.
日本研究 (中央大學校日本研究所) 25, 8 2008 pp. 7-24
- 823 『細雪』四姉妹の待遇表現 尊敬語に見られる特徴 (安井寿枝)
日本語の研究 (日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 29-43
- 824 森鷗外訳「調高矣洋絃一曲」の科白の性格 待遇表現と自称・対称代名詞の使用の面から (藤田保幸)
龍谷大学国際センター研究年報 17 2008-3 pp. 33-47

◇敬語研究史

- 825 敬語の新しい区分について (野中映)
研究紀要 (国立音楽大学) 42 2008-3 pp. 79-88
- 826 特集 ; 敬語とコミュニケーションの現在——「敬語」の語り方 山田孝雄が遺したもの (滝浦真人)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 43-50
- 827 特集 ; 敬語研究のフロンティア——ポライトネス理論研究のフロンティア ポライトネス理論研究の課題とディスコース・ポライトネス理論 (宇佐美まゆみ)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp. 4-22

□文章・文体

◇文章表現

- 828 戦後の国会会議録における「カウンセリング」のテキスト分析 (丸山和昭)
東北大学大学院教育学研究科研究年報 57-1 2008-12 pp. 65-85
- 829 列挙法について (伊土耕平)
岡山大学大学院教育学研究科研究集録 138 2008-6 pp. 75-82
- 830 トートロジーが用いられる文脈に関する一考察 (山本尚子)
人間文化研究科年報 (奈良女子大学大学院) 23 2008-3 pp. 105-115
- 831 エッセイにみる「おかしみ」の要素 土屋賢二の作品を例にして (木村寛子)
早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 96-107
- 832 Kosaka, Takashi : The Use of Metaphors in Zen Rhetoric.
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 21, 5 2008 pp. 55-67
- 833 特集 ; ネット広告と日本語——スパムメールのレトリック (秋月高太郎)
日本語学 (明治書院) 27-6 2008-5 pp. 36-47

◇文体

- 834 検証・ネット時代の政治手法 政権 3 代の「言葉の力」首相メールマガジン徹底比較 (木下和寛)
Journalism 223 2008-12 pp. 70-81
- 835 〈調査報告〉総理大臣国会演説における基本的文体特徴量の探索的分析 (鈴木崇史 ; 影浦峽)
計量国語学 (計量国語学会) 26-4 2008-3 pp. 113-122
- 836 「筆者の思考や意見を表す文末表現」についての一考察 (升岡香代子)
言語と交流 (言語と交流研究会) 11 2008-6 pp. 16-27
- 837 友人宛のパソコンメールにおける文体とスピーチレベルの量的分析 (跡部千絵美)
表現研究 (表現学会) 87 2008-3 pp. 30-39
- 838 新聞投書の文体分析 性差を中心に (島崎洵子)
武庫川女子大学言語文化研究所年報 19 2008-12 pp. 5-35
- 839 特集 ; 100 号記念特集一五・七音数律とは何か 字余り研究が拓いたものと拓くべきもの——五・七音数律は誦詠に規定されたものか (品田悦一)
上代文学 (上代文学会) 100 2008-4 pp. 33-46
- 840 特集 ; ケータイ世界——ケータイ小説 ケータイ小説の表現は貧しいか (田中久美子)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-5 2008-4 pp. 38-45
- 841 特集 ; 話し言葉の日本語——総論 話し言葉と書き言葉 (前川喜久雄)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 23-33
- 842 〃——話し言葉の語彙と文法 ウェブ日記に見られる話しことば的文体 (岸本千秋)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 168-176

◇作品・作家の文体

- 843 使役専用辞「シム」を用いた修辞法 万葉集の場合 (伊東光浩)

- 関東学院大学人文科学研究報 31 2008-3 pp. 126-102
- 844 坂上郎女「初月歌」にみる序歌の手法 (相沢京子)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-4 2008-4 pp. 13-22
- 845 序詞とナクニ止め (鉄野昌弘)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-9 2008-9 pp. 1-15
- 846 「かほ鳥」小考 (中嶋真也)
駒沢国文 (駒沢大学文学部国文学研究室) 45 2008-2 pp. 1-21
- 847 万葉集の枕詞「しらぬひ」の解釈について (竹生政資 ; 西晃央)
佐賀大学文化教育学部研究論文集 12-2 2008-1 pp. 75-95
- 848 家持長歌における短歌との交渉 (奥村和美)
万葉 (万葉学会) 200 2008-3 pp. 1-26
- 849 『古事記』の修辞 (速水博司)
目白大学短期大学部研究紀要 44 2008-1 pp. 15-33
- 850 特集 ; 100 号記念特集一五・七音数律とは何か 字余り研究が拓いたものと拓くべきもの——字余りの詩学 声の定型として (西條勉)
上代文学 (上代文学会) 100 2008-4 pp. 18-32
- 851 〃——字余り現象の意味するところを問う (毛利正守)
上代文学 (上代文学会) 100 2008-4 pp. 57-76
- 852 〃——初期万葉における定型化の問題 (梶川信行)
上代文学 (上代文学会) 100 2008-4 pp. 77-92
- 853 特集 ; 八世紀の文学——万葉集巻五への途 (森朝男)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-1 2008-1 pp. 39-49
- 854 〃——大伴家持論 文語体の果て (古橋信孝)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-1 2008-1 pp. 50-61
- 855 『源氏物語』における「百敷」の時空 (飯塚ひろみ)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-7 2008-7 pp. 15-26
- 856 古今和歌集の序詞 (萩野了子)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-7 2008-7 pp. 16-29
- 857 先代旧事本紀の文体的特徴 文末助字を中心に (植田麦)
上代文学 (上代文学会) 100 2008-4 pp. 93-107
- 858 手習の巻の作歌法 (贅裕子)
名古屋大学国語国文学 101 2008-11 pp. 33-48
- 859 手習巻の「引板」歌ことばの喚起するもの (井野葉子)
日本文学 (日本文学協会) 57-8 2008-8 pp. 76-87
- 860 『大和物語』の<歌ことば> 二十四段、六十段の表現から (亀田夕佳)
日本文学 (日本文学協会) 57-9 2008-9 pp. 1-10
- 861 源氏物語「袖ぬるるこひぢ」の歌と農耕歌 (真野道子)

- 文学 隔月刊 (岩波書店) 9-1 2008-1 pp.179-191
- 862 『大鏡』の語りと書くこと 地の文における口承と書承の機制 (桜井宏徳)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-1 2008-1 pp.192-206
- 863 失われた月の喩 延喜元年八月十五夜或所歌合の新出資料をめぐって (池田和臣)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-4 2008-7 pp.152-164
- 864 『竹馬狂吟集』における和歌的要素 『犬筑波集』との比較を中心として (鍛冶光雄)
湘南文学 (東海大学日本文学会) 42 2008-3 pp.12-20
- 865 真淵長歌の表現構造 (田中仁)
学習院大学大学院日本語日本文学 4 2008-3 pp.48-59
- 866 都賀庭鐘『英草紙』の文体意識 中国短篇白話小説集<三言>との関係から (及川茜)
言語・地域文化研究 (東京外国語大学大学院博士後期課程論叢) 14 2008-3 pp.334-316
- 867 馬琴の読本における「候」と「侍り」の使い分け 「俗」の表現として (塚本泰造)
国語国文学研究 (熊本大学文学部国語国文学会) 43 2008-3 pp.60-70
- 868 『繁野話』における<三言>の受容 (及川茜)
中国言語文化論叢 (東京外国語大学中国言語文化研究会) 10 2008-3 pp.101-76
- 869 京伝の読本文体 (佐藤藍子)
東京大学国文学論集 3 2008-5 pp.115-127
- 870 『おくのほそ道』 全体構成と部分構成 (大畑健治)
二松学舎大学論集 51 2008-3 pp.81-111
- 871 擬人法を手がかりとした浜田広介の童謡分析 野口雨情の童謡との比較を通して (小浦啓子)
岩大語文 (岩手大学語文学会) 13 2008-7 pp.1-11
- 872 花圃著『藪の鶯』の文体 統計的分析から (田貝和子)
言語文化研究 (静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会) 7 2008-3 pp.11-21
- 873 谷崎潤一郎の作品における関西方言の変遷 卍, 蓼喰ふ虫, 蘆刈, 春琴抄, 夏菊, 猫と庄造と二人のをんな, 細雪 (安井寿枝)
甲南大学紀要 文学編 153 2008-3 pp.35-55
- 874 夏目漱石『野分』の位置 一人称から三人称への階梯 (矢田純子)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-9 2008-9 pp.53-66
- 875 富沢赤黄男と色彩表現 「青」と「黒」の相克 (神野紗希)
国文 (お茶の水女子大学国語国文学会) 109 2008-7 pp.53-65
- 876 与謝野晶子の短歌における古典の受容 『小扇』所収歌他、古典的情緒摂取の趣向と背景 (加藤美奈子)
就実論叢 1 人文篇 (就実大学・就実短期大学) 37 2008-2 pp.21-31
- 877 二葉亭四迷『浮雲』における文意識 節(Clause)を用いた文体分析の試み(1) (服部隆)
上智大学国文学科紀要 25 2008-3 pp.35-64
- 878 紀行文の書き換えと文体の楽しみ 明治四〇年前後の遅塚麗水の紀行文を中心に (熊谷昭宏)

- 同志社国文学 (同志社大学国文学会) 68 2008-3 pp. 49-62
- 879 夏目漱石『彼岸過迄』前半における語り 語られる出来事と語る時間 (石出靖雄)
日本語論叢 (早稲田大学日本語論叢の会) 8 2008-3 pp. 1-12
- 880 漱石文学における言語遊戯 何が笑いを生み出しているのか (大谷伊都子)
梅花女子大学短期大学部研究紀要 56 2008-3 pp. 59-67
- 881 室生犀星「香爐を盗む」 イメジャリ分析による文体論的接近 (塩田勉)
比較文学年誌 (早稲田大学比較文学研究室) 44 2008-3 pp. 58-75
- 882 『こころ』のレトリック 遺書の文体はどのように作られているか (柳沢浩哉)
表現研究 (表現学会) 87 2008-3 pp. 12-19
- 883 尾崎紅葉『多情多恨』の語りと語法(1) 語りの性格 (揚妻祐樹)
藤女子大学国文学雑誌 79 2008-11 pp. 29-41
- 884 ‘‘声’’の恩寵 泉鏡花『婦系図』本文異同と「談話」の考察を中心に (金子亜由美)
文芸と批評 (文芸と批評の会) 10-8 2008-11 pp. 14-29
- 885 対象化された語り手および「視点人物」 梶井基次郎の小説を資料として (高野敦志)
早稲田大学大学院文学研究科紀要 第3分冊 53 2008-2 pp. 49-57
- 886 横光利一の新感覚派小説における「書き出し」の表現戦略 (金楨薫)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 37 2008-5 pp. 181-198
- 887 特集; 近代——『掌の小説』における音から見た川端文学 「落葉の音」について (張月環)
解釈 (解釈学会) 54-7/8 2008-8 pp. 26-34
- 888 特集; 源氏物語研究——谷崎源氏と玉上琢彌 国学院大学蔵『潤一郎新訳 源氏物語』自筆草稿
から (秋沢互)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-10 2008-10 pp. 174-188
- 889 特集; 詩歌の近代——定型の仮構性 犀星の詩法 (九里順子)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-4 2008-7 pp. 120-131
- 890 特集; 生誕百三十年 与謝野晶子大研究——〈この人に聞く〉和歌の恋と晶子の恋愛 (久保田淳;
今野寿美/聞き手)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-9 2008-9 pp. 10-28
- 891 特集; 太宰治とは誰か——太宰治の表現 自閉する発話空間 (相馬明文)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-4 2008-3 pp. 74-81
- 892 特集; 漱石 ロンドン、中国などで何が起こったか——「薙露行」の修辞文体 ギニヴィアはどの
ように描かれているか (菅原克也)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-9 2008-6 pp. 64-73
- 893 町田康「夫婦茶碗」論 その「饒舌体」をめぐって (矢野利裕)
学芸国語国文学 (東京学芸大学国語国文学会) 40 2008-3 pp. 180-189
- 894 読者をあざむく文体 久生十蘭「湖畔」論 (小林幹也)
近畿大学日本語・日本文学 10 2008-3 pp. 103-112
- 895 田辺聖子作品における関西方言について (小谷博泰)

甲南大学紀要 文学編 153 2008-3 pp. 1-20

- 896 短編小説における連文関係の研究 星新一の初期ショート・ショート作品を資料にして (大阪教育大学国語表現ゼミナール)

国語と教育 (大阪教育大学国語教育学会) 33 2008-3 pp. 24-37

- 897 村上春樹に見る一般架空生物 現実に対象物が存在しない具体名詞 (保田祥)

日本語学 研究と資料 31 2008-4 pp. 28-38

◇ジャンルによる文体

- 898 和漢聯句における恋の素材 (楊昆鵬)

国語国文 (京都大学) 77-10 2008-10 pp. 19-36

- 899 和歌の音数律/等拍律 五音七音の法則 (西條勉)

専修国文 (専修大学日本語日本文学会) 82 2008-1 pp. 21-40

- 900 特集; 古代文学と言語論——「韻」を聴く <内なる耳>をめぐって (西沢一光)

武蔵野文学 (武蔵野書院) 56 2008-12 pp. 14-20

- 901 特集; 俳句——季語の力 それは枷ではなく杖である (坂本宮尾)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-18 2008-12 pp. 128-131

- 902 文学に描かれた日本の「食」のすがた 古代から江戸時代まで——食を語る 詩歌、食文化、魚 (シラネ, ハルオ)

国文学 解釈と鑑賞 別冊 (至文堂) 2008-10 pp. 30-39

- 903 現実的物語言説の構造 記述責任と言説形式について (池宮正才)

コミュニケーション科学 (東京経済大学コミュニケーション学会) 28 2008-12 pp. 3-28

◇文章・文体史

- 904 倭文体の位置づけをめぐって 漢字文化圏の書記を視野に入れて (毛利正守)

万葉 (万葉学会) 202 2008-8 pp. 7-38

- 905 〈研究報告〉会話文におけるト書きとその文体に関する調査報告 (浜田泰彦)

語文 (大阪大学国語国文学会) 91 2008-12 pp. 50-59

- 906 「聞く」ことの表現機構 不可視性の創造力と伝達力 (津田大樹)

一関工業高等専門学校研究紀要 42 2008-2 pp. 50-45

- 907 〈学灯〉歌語「かはづ」の変遷 上代から中古へ (野呂香)

東洋 (東洋大学通信教育部) 45-4/5 2008-7 pp. 57-47

- 908 記紀歌謡の対句表現 進行形式における時間と空間 (田中真理)

日本語と日本文学 (筑波大学国語国文学会) 46 2008-2 pp. 24-40

- 909 『万葉集』「玉敷く」の表現性 (小田芳寿)

論究日本文学 (立命館大学日本文学会) 89 2008-12 pp. 14-24

- 910 特集; 100号記念特集—五・七音数律とは何か 字余り研究が拓いたものと拓くべきもの——字余りの様相と唱詠法 音数律の成立と関わって (山口佳紀)

上代文学 (上代文学会) 100 2008-4 pp. 3-17

- 911 特集；八世紀の文学——〈座談会〉八世紀の文学（森朝男；岡部隆志；古橋信孝；多田一臣/司会）
文学 隔月刊（岩波書店）9-1 2008-1 pp. 2-28
- 912 〃——『歌経標式』から『古今集』へ（多田一臣）
文学 隔月刊（岩波書店）9-1 2008-1 pp. 29-38
- 913 〃——心情語論（岡部隆志）
文学 隔月刊（岩波書店）9-1 2008-1 pp. 62-74
- 914 苔という歌語について 六百番歌合における苔歌と俊成の判詞をめぐって（李世樹）
近畿大学日本語・日本文学 10 2008-3 pp. 27-43
- 915 〈研究報告〉中古和文における会話文と地の文の境界（黒木邦彦；藤本真理子；清田朗裕；森勇太）
語文（大阪大学国語国文学会）91 2008-12 pp. 60-68
- 916 中古王朝物語の会話文 地の文との境界をめぐって（黒木邦彦；藤本真理子；清田朗裕；森勇太）
詞林（大阪大学古代中世文学研究会）43 2008-4 pp. 1-7
- 917 平安時代の記録語への和語の変容 「落子」と「落胤」をめぐって（遠藤好英）
人文社会科学論叢（宮城学院女子大学人文社会科学研究所）17 2008-3 pp. 150-137
- 918 平安日記文学における心理描写（奥村英司）
鶴見大学紀要 1 日本語・日本文学編 45 2008-3 pp. 37-49
- 919 平安期における〈歌ことば〉「百敷」（ももしき）の位相 九重（このへ）との対比から（飯塚ひろみ）
同志社女子大学大学院文学研究科紀要 8 2008-3 pp. 77-95
- 920 和歌における文の構成 平安和歌の転換期に関する一考察（浅岡純朗）
二松学舎大学人文論叢 81 2008-10 pp. 130-140
- 921 三代集恋歌にみる「雲」詠（盧仙淑）
日本研究（韓國外國語大學校日本研究所）37 2008-9 pp. 79-102
- 922 임참수；안신영：八代集 四季歌에 나타난 ‘새벽’ 표현 연구；あかつき・しののめ・あけぼの・あさぼらけ를 중심으로.
日本研究（中央大學校日本研究所）25, 8 2008 pp. 221-238
- 923 特集；古代——『百人一首』行尊歌「もろともに」考（吉海直人）
解釈（解釈学会）54-3/4 2008-4 pp. 43-47
- 924 能の「語り」再考 ケリ文末の表現から（福川雅美）
表現研究（表現学会）88 2008-10 pp. 74-83
- 925 手紙と日記 対話する私/私との対話——〈講演〉中世文学における対話（小島孝之）
国際日本文学研究集會會議録（国文学研究資料館）31 2008-3 pp. 13-24
- 926 格助詞「へ」の使用・不使用 富士谷成章・本居宣長の文章の場合（山本淳）
山形県立米沢女子短期大学紀要 43 2008-1 pp. 91-107
- 927 日本江戸末期至明治、大正時期文話（和田英信）
お茶の水女子大学中国文学会報 27 2008-4 pp. 124-111
- 928 特集；十五世紀の文学——「年中降物」の成立 季語の十五世紀（宮脇真彦）

- 文学 隔月刊 (岩波書店) 9-3 2008-5 pp. 86-98
- 929 近代日本文学における自由間接話法の受容? 田山花袋と井伏鱒二の場合 (鈴木康志)
愛知大学文学論叢 138 2008-8 pp. 230-209
- 930 確立期標準日本語文に現れる従属節の数的特徴 文語文との比較 (福島直恭)
学習院女子大学紀要 10 2008-3 pp. 83-97
- 931 明治期の文学的文語文の種類 (松崎安子)
国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 130-116
- 932 彼等の時代 (谷川恵一)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-7 2008-7 pp. 1-15
- 933 〈研究報告〉近代小説におけるカギカッコと〈読み〉 (斎藤理生)
語文 (大阪大学国語国文学会) 91 2008-12 pp. 86-93
- 934 20 世紀初頭における「いる」と「おる」 尾崎紅葉「硯友社の沿革」と第一期国定読本 (加藤安彦)
専修国文 (専修大学日本語日本文学会) 82 2008-1 pp. 1-14
- 935 「話術」と「雄弁」 佐藤春夫・室生犀星・岸田国士の文章意識を中心に (斎藤勝)
東洋大学大学院紀要 文学研究科 国文学専攻 44 2008-3 pp. 77-97
- 936 「のだ」文におけるル形とタ形の表現上の違い 三島由紀夫『潮騒』と川端康成『雪国』を資料として (石出靖雄)
表現研究 (表現学会) 87 2008-3 pp. 20-29
- 937 近代「日本語」と聖書翻訳について (邢鎮義)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 37 2008-5 pp. 75-90
- 938 명성룡 : 일본 근대 사소설 연구 ; 감정 표현상의 특징을 중심으로.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp. 125-140
- 939 特輯 ; 横光利一——漢字圏文脈のモダニズム文学 近代修辞批評の系譜における横光利一の批評理論について (林少陽)
比較文学研究 (東大比較文学会) 92 2008-11 pp. 47-64
- 940 特集 ; 一人称という方法——〈座談会〉一人称という方法 (猪狩友一 ; 鈴木啓子 ; 日比嘉高 ; 佐藤秀明 ; 安藤宏/司会)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-5 2008-9 pp. 2-31
- 941 // ——一人称の近代 (安藤宏)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-5 2008-9 pp. 32-45
- 942 // ——一人称表現の近代 ‘‘人称’’の発見から独歩まで (猪狩友一)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-5 2008-9 pp. 46-59
- 943 特集 ; 詩歌の近代——〈座談会〉詩歌の近代 (菅聡子 ; 小林幸夫 ; 鈴木健一 ; 勝原晴希/司会)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-4 2008-7 pp. 2-33
- 944 言文一致と井上哲次郎 (山東功)
言語文化学研究 日本語日本文学編 (大阪府立大学) 3 2008-3 pp. 13-22
- 945 和刻小本『笑府』翻訳文の文体 (荒尾禎秀)

- 東京学芸大学紀要 人文社会科学系 159 2008-1 pp.147-156
- 946 欧文脈における「或」の出現状況の計量化 有島武郎の連体詞「或」の用法 (金城ふみ子)
東京国際大学論叢 経済学部編 39 2008-9 pp.155-178
- 947 明治 20 年代の待遇表現について 言文一致体との関わり (中村夫美)
日本學報 (韓國日本學會) 75 2008-5 pp.1-12
- 948 Cockerill, Hiroko : The *-ta* Form as *die reine Sprache* (Pure Language) in Futabatei's Translations.
Japanese Language and Literature(JLL)42-1, 4 2008 pp.171-195
- 949 Königsberg, Matthew : The 'Transparent Narrator' Revisited ; Ozaki Kōyō and *Genbun itchi*.
Japanese Language and Literature(JLL)42-1, 4 2008 pp.197-226
- 950 特集 ; 日本語のスタイル その表現力と創造性——新聞にみる話しことばの変遷 (土屋礼子)
言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp.34-39

□古典の注釈

◇訓読

- 951 『論語』為政篇「温故而知新」について 「温(たづ)ネテ」か「温(あたた)メテ」か (春本秀雄)
大正大学研究紀要 人間学部・文学部 93 2008-3 pp. 75-96
- 952 漢文訓読研究の国際的共有と教育的還元について (小助川貞次)
富山大学国語教育 33 2008-11 pp. 1-14
- 953 いわゆる「(空気が)サメル」のは現代にかぎった現象だろうか 『万葉集』三四七番の漢字「冷」
をめぐる星印つき訓へのこころみ (草場(相磯)裕)
杏林大学外国語学部紀要 20 2008-3 pp. 1-25
- 954 「君が結べる子松が梢を」 人麻呂歌集巻二・一四六歌の結句の訓について (月岡道晴)
滝川国文 (国学院短期大学国文学会) 24 2008-3 pp. 1-22
- 955 『万葉集』巻三・二六二番歌『雪驪朝楽毛』の本文と訓詁 (池原陽斉)
日本文学文化 (東洋大学日本文学文化学会) 7 2008-2 pp. 2-13
- 956 『万葉集』巻七・一一四二番歌の訓読 「摂津にして作る」への収載を視野に (朱璐; 唐璐; 寺町
祐子; 姚潔; 呂慧君; 市瀬雅之)
梅花日文論叢 (梅花女子大学大学院) 16 2008-2 pp. 1-14
- 957 万葉集巻 2・267 番歌「明言」訓読における問題点について (生田朝羽)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 177-190
- 958 『万葉集』五〇一番と二四一五番の比較 (間宮厚司)
法政大学文学部紀要 56 2008-3 pp. 1-11
- 959 「顧眄之間(ミルマサカリニ)」考 (高橋忠彦; 高橋久子)
東京学芸大学紀要 人文社会科学系 159 2008-1 pp. 233-241
- 960 允恭天皇紀にみる訓注の一機能 鬮鷄国造の人物造形と関わらせて (大館真晴)
万葉古代学研究所年報 6 2008-3 pp. 47-57
- 961 「當」・「將」の再読よみの固定化に関する一試論 (王秀梅)
訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 121 2008-9 pp. 19-59
- 962 石山寺本大智度論古点における「誰…者」の訓法について (大坪併治)
訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 121 2008-9 pp. 85-93
- 963 敦煌加点本を巡る研究課題 (小助川貞次)
富山大学人文学部紀要 49 2008-8 pp. 99-111
- 964 訓点資料における「多少」の読みと意味用法 (方香蘭)
広島女学院大学大学院言語文化論叢 11 2008-3 pp. 120-97
- 965 『日本霊異記』の漢文をめぐる 原典を目指しての研究提起 (李銘敬)
日本漢文学研究 (二松学舎大学 21 世紀 COE プログラム) 3 2008-3 pp. 312-278
- 966 室町時代漢籍訓読の一事例 『元秘別録』と言う窓から (石井行雄)
語学文学 (北海道教育大学語学文学会) 46 2008-3 pp. 11-20
- 967 抄物のカタチヨミ (山田潔)

学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 814 2008-8 pp. 24-35

968 夏目夔麿著『万葉摘草』について (片山武)

愛知大学国文学 48 2008-12 pp. 1-10

◇上代

969 万葉集にあらわされた染め (清水裕子 ; 佐々木和也)

宇都宮大学教育学部紀要 第 1 部 58 2008-3 pp. 193-202

970 万葉思ひ草(12) 若草、和草幻想(3) (升田淑子)

学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 809 2008-3 pp. 74-81

971 万葉思ひ草(13) 解釈迷執「ふふむ」(升田淑子)

学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 814 2008-8 pp. 50-59

972 『万葉集』の「国見ればしも、山見れば」という表現 (佐佐木隆)

学習院大学文学部研究年報 54 2008-3 pp. 85-93

973 万葉集の磐姫皇后歌とその歌群の構成 (榎本福寿)

京都語文 (仏教大学国語国文学会) 15 2008-11 pp. 136-168

974 〈研究ノート〉万葉集卷十・二二三四「しぐれ降る見ゆ」について (上森鉄也)

皇学館論叢 (皇学館大学人文学会) 41-2 2008-4 pp. 54-66

975 万葉集卷第十巻頭歌群考 歌語「霞たなびく」を通して (倉住薫)

国学院大学大学院紀要 文学研究科 39 2008-3 pp. 119-132

976 大津皇子の黄葉の歌 (金熙淑)

国学院大学大学院紀要 文学研究科 39 2008-3 pp. 133-146

977 家持の春苑桃李の歌 (鈴木道代)

国学院大学大学院紀要 文学研究科 39 2008-3 pp. 165-183

978 山上憶良の神事語彙と神道理解 (辰巳正明)

国学院大学日本文化研究所紀要 100 2008-3 pp. 3-21

979 天武天皇御製歌の位置 (江富範子)

国語国文 (京都大学) 77-5 2008-5 pp. 1-17

980 赤人一四二四一一四二七番歌の表現方法 春歌四首の語の配置・型の微調整・積層構造に見る工夫
(田口尚幸)

国語国文学報 (愛知教育大学) 66 2008-3 pp. 1-12

981 豊嶋采女の恋の歌 右大臣橘家四首宴席歌考 (影山尚之)

国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-1 2008-1 pp. 16-30

982 ヤマトタケル関係歌謡注釈集成 (記紀歌謡研究会)

古代研究 (早稲田古代研究会) 41 2008-2 pp. 82-157

983 瓜の歌 催馬楽「山城」と和歌 (大木桃子)

語文研究 (九州大学国語国文学会) 105 2008-5 pp. 1-17

984 枕詞「あられ降り」のかかり方について (竹生政資 ; 西晃央)

佐賀大学文化教育学部研究論文集 13-1 2008-8 pp. 229-241

- 985 万葉集 210 番歌の「鳥穂」の解釈について（竹生政資；西晃央）
佐賀大学文化教育学部研究論文集 13-1 2008-8 pp. 243-250
- 986 「允恭記」歌謡の「臥やる臥やりも」 副詞句説は成り立つか（佐佐木隆）
人文（学習院大学人文科学研究所）6 2008-3 pp. 382-360
- 987 石見相聞歌の景観論的考察（神英雄）
人文社会科学論叢（宮城学院女子大学人文社会科学研究所）17 2008-3 pp. 134-120
- 988 〈研究ノート〉「なまよみの甲斐」考（鈴木武晴）
都留文科大学研究紀要 67 2008-3 pp. 166-163
- 989 石見相聞歌における「夏草」と「露霜」（塩沢一平）
東京大学国文学論集 3 2008-5 pp. 37-52
- 990 額田王「春秋競憐歌」の一解釈（山本直子）
同志社国文学（同志社大学国文学会）68 2008-3 pp. 1-11
- 991 「弓削皇子思_レ紀皇女_レ御歌四首」の伝来 一一九番歌・一二一番歌の解釈をめぐって（駒木敏）
同志社国文学（同志社大学国文学会）68 2008-3 pp. 12-23
- 992 「…なれや」の解釈をめぐって 『万葉集』から『古今和歌集』に至るまで（中山幸子）
二松〈二松学舎大学大学院紀要〉22 2008-3 pp. 21-47
- 993 記夷城での望遊唱和歌考 旅人の亡妻とホトトギスをめぐって（高桑枝実子）
日本文学（日本文学協会）57-6 2008-6 pp. 1-10
- 994 河島皇子挽歌の「孀の命」（久保田栄一）
日本文学論集（大東文化大学大学院）32 2008-3 pp. 1-9
- 995 筑前国志賀白水郎の歌十首 犬養孝博士の波動説にふれて（東茂美）
比較文化〈福岡女学院大学大学院人文科学研究科紀要〉5 2008-3 pp. 19-46
- 996 万葉集一四一八番志貴皇子歌（松本尚美）
広島女学院大学大学院言語文化論叢 11 2008-3 pp. 214-191
- 997 万葉にみる女・男（青木生子）
万葉（万葉学会）201 2008-6 pp. 1-25
- 998 「関」歌の様相 『万葉集』における（広岡義隆）
三重大学日本語学文学 19 2008-6 pp. 13-28
- 999 人麻呂歌集七夕歌の「告」（鉄野昌弘）
美夫君志（美夫君志会）76 2008-3 pp. 1-17
- 1000 筑前国の志賀の白水郎の歌十首について（村田右富実）
美夫君志（美夫君志会）76 2008-3 pp. 18-32
- 1001 家持の難波宮讚歌（下）「陳_レ私拙懷_レ一首」の讚美の方法と表現（奥村和美）
美夫君志（美夫君志会）76 2008-3 pp. 46-53
- 1002 『万葉集』の類型表現「のちはあひぬとも」の考察 旅の歌三首（松山匡和）
早稲田大学大学院文学研究科紀要 第3分冊 53 2008-2 pp. 15-27
- 1003 特集；古代——家持の「安けくもなし」小考 文芸心理学の側面から（星野五彦）

解釈 (解釈学会) 54-3/4 2008-4 pp. 2-8

1004 『古事記』におけるクシナダヒメの造型 (浅見沙織)

国文目白 (日本女子大学国語国文学会) 47 2008-2 pp. 10-21

1005 伊都之尾羽張か稜威雄走か 「或る写本」の存在を探る (河原孝夫)

日本文学論究 (国学院大学国文学会) 67 2008-3 pp. 1-11

1006 古事記における死の表現 黄泉国訪問の文脈を中心に (岡田裕香)

日本文学論究 (国学院大学国文学会) 67 2008-3 pp. 12-20

1007 「鷓鴣」という名の天皇 鳥名と易姓革命 (山田純)

日本文学 (日本文学協会) 57-2 2008-2 pp. 1-10

1008 和泉監・芳野監の呼称について (松尾光)

万葉古代学研究所年報 6 2008-3 pp. 15-25

◇中古

1009 菅原道真研究 『菅家後集』全注釈(17) (烧山広志)

有明工業高等専門学校紀要 44 2008-10 pp. 76-64

1010 為信集注釈(3) (笹川博司)

王朝文学研究誌 (大阪教育大学) 19 2008-4 pp. 35-47

1011 『別雷社歌合』注釈(3) (武田元治)

大妻女子大学紀要 文系 40 2008-3 pp. 15-44

1012 『菅家後集』注解稿(18) (柳沢良一)

金沢大学国語国文 33 2008-3 pp. 1-8

1013 『新撰万葉集』注釈稿 上巻・冬部・八一～八二 (半沢幹一; 津田潔)

共立女子大学文芸学部紀要 54 2008-1 pp. 67-80

1014 『夜の寝覚』の新出和歌から 男君の夢と物語の構造 (米田明美)

甲南女子大学研究紀要 文学・文化編 44 2008-3 pp. 45-50

1015 菅原道真研究 『菅家後集』全注釈(16) (烧山広志)

国語国文学研究 (熊本大学文学部国語国文学会) 43 2008-3 pp. 44-59

1016 「三位大進」考 藤原清輔の称をめぐって (兼築信行)

国文学研究 (早稲田大学国文学会) 155 2008-6 pp. 23-32

1017 白き月光 その色相概念の形成過程に関わる貫之・躬恒 (森田直美)

国文目白 (日本女子大学国語国文学会) 47 2008-2 pp. 33-43

1018 『中務集』梅の実盗難事件歌群の解釈 (妹尾好信)

古代中世国文学 (広島平安文学研究会) 24 2008-3 pp. 58-65

1019 『後拾遺集』の特質(下) 詞書の「位」をめぐって (今野厚子)

佐賀大國文 (佐賀大学国語国文学会) 36 2008-3 pp. 42-52

1020 後撰和歌集注釈 卷三、春下(15) (吉川栄治)

滋賀大國文 (滋賀大学) 46 2008-7 pp. 11-18

1021 『躬恒集』注釈(9) (平沢竜介; 大久保寿子; 玉木紗也香; 西村瑠美子; 原口理恵; 町田英美; 渡辺

- 範子；渡辺優子)
白百合女子大学研究紀要 44 2008-12 pp. 1-45
- 1022 〈学習室〉夢の通ひ路人目よくらむ 格助詞「に」の省略 (新藤協三)
東洋 (東洋大学通信教育部) 45-3 2008-6 pp. 78-76
- 1023 古今和歌集の心と表現構造 (林四郎)
日本言語文化研究 (日本言語文化研究会) 12 2008-4 pp. 1-12
- 1024 『本朝麗藻』全注釈(70) 作品(上の20)について(3) (今浜通隆)
武蔵野大学文学部紀要 9 2008-3 pp. 1-16
- 1025 「紅桂」と月光と(2) 平安朝漢文学の注釈的研究 (今浜通隆)
武蔵野日本文学 (武蔵野大学国文学会) 17 2008-3 pp. 40-57
- 1026 大嘗会和歌地名に見る王権と在地 後鳥羽天皇大嘗会を中心に (谷昇)
立命館文学 (立命館大学人文学会) 609 2008-12 pp. 6-29
- 1027 特集；古代——手習巻におけるあま衣歌の解釈 早蕨巻の宇治中君の詠歌との関連性 (早乙女利光)
解釈 (解釈学会) 54-3/4 2008-4 pp. 17-25
- 1028 『枕草子』における「ちご」をめぐる (萩野敦子)
言語文化論叢 (琉球大学言語文化研究会) 5 2008-3 pp. 111-120
- 1029 「女もしてみむとてするなり」『土左日記』の虚構の方法 劣位項の脱構築もしくは象徴的なく女>
への共感の論理 (東原伸明)
高知女子大学紀要 文化学部編 57 2008-3 pp. 1-11
- 1030 『源氏物語』乳母論補遺 少納言の乳母の決断 (吉海直人)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-3 2008-3 pp. 14-25
- 1031 「契り」から疎外された六条御息所 『源氏物語』の鎮魂論理 (本園明宏)
国語国文学研究 (熊本大学文学部国語国文学会) 43 2008-3 pp. 1-15
- 1032 『源氏物語』の「すずし」の考察 (高橋秀子)
国文 (お茶の水女子大学国語国文学会) 110 2008-12 pp. 14-24
- 1033 『枕草子』における表現の重層性 「鳥のそら音」章段における会話と構成から (古瀬雅義)
古代中世国文学 (広島平安文学研究会) 24 2008-3 pp. 1-11
- 1034 他者の視線にさらされる女君たちの宿世 『源氏物語』の宿世 (久慈きみ代)
駒沢国文 (駒沢大学文学部国文学研究室) 45 2008-2 pp. 49-75
- 1035 〈研究報告〉平安和文における、鉤括弧と異文 (加藤昌嘉)
語文 (大阪大学国語国文学会) 91 2008-12 pp. 78-85
- 1036 老鶯と鶯の老い声 (北山円正)
神女大國文 (神戸女子大学国文学会) 19 2008-3 pp. 7-18
- 1037 「みやび」「まめ」など 『伊勢物語』注解ノートから (鈴木日出男)
成蹊国文 (成蹊大学) 41 2008-3 pp. 30-35
- 1038 枕草子「五月ばかり、月もなういと暗きに」章段 放 「呉竹」の機能と〈知的な遊び〉 (中田幸司)
玉川大学リベラルアーツ学部研究紀要 1 2008-3 pp. 114-109

- 1039 『源氏物語』解釈の探究 橋姫巻「簾を短く捲き上げて」より (中尾聡子)
筑紫語文 (筑紫女学園大学) 17 2008-10 pp. 1-24
- 1040 『枕草子』「うつくしきもの」の国語学的解釈 (藤原浩史)
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 101(219) 2008-2 pp. 105-140
- 1041 源氏物語の「つゆ」をめぐる一考察 (片山彩)
中京国文学 (中京大学国文学会) 27 2008-3 pp. 1-12
- 1042 『夜の寝覚』の巻四、第一・二段の時間 (小林賢章)
同志社女子大学日本語日本文学 20 2008-6 pp. 9-18
- 1043 「垣間見」の総合分析 (吉海直人)
同志社女子大学大学院文学研究科紀要 8 2008-3 pp. 57-75
- 1044 大堰山荘の強飯 (末沢明子)
福岡女学院大学紀要 人文学部編 18 2008-2 pp. 1-16
- 1045 『伊勢物語』「第十七段」注疏稿 (河地修)
文学論藻 (東洋大学文学部紀要 日本文学文化篇) 82 2008-2 pp. 13-18
- 1046 『源氏物語』の「端袖」「綻び」「ゆだち」を手がかりに (畠山大二郎)
野州国文学 (国学院大学栃木短期大学国文学会) 81 2008-3 pp. 11-30
- 1047 帯木巻の「つれづれ」 『源氏物語』の長編構造の装置として (都基弘)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 36 2008-2 pp. 177-190
- 1048 『源氏物語』以後の「かすみ」「かすむ」について (平井一博)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 36 2008-2 pp. 211-222
- 1049 特集; 十五世紀の文学——和語を和語で解釈すること 一条兼良における注釈の革新と古典的公共圏 (前田雅之)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-3 2008-5 pp. 109-126
- 1050 平安時代古記録における「障子上」 (今野鈴代)
国文鶴見 (鶴見大学日本文学会) 42 2008-3 pp. 1-11
- 1051 『今鏡』「梅の匂ひ」の「昔の白河の大臣のごとくに…」の意味すること 『公卿補任』の記述を手掛かりにして (陳文瑤)
古代中世国文学 (広島平安文学研究会) 24 2008-3 pp. 12-18

◇中世

- 1052 宝治元年『院御歌合』注釈 「初秋風」題 (位藤邦生; 森下要治; 田野慎二; 山崎真克; 赤迫照子; 藤川功和)
尾道大学芸術文化学部紀要 7 2008-3 pp. 3-21
- 1053 校注『慈鎮和尚自歌合』稿(1) (石川一)
県立広島大学人間文化学部紀要 3 2008-2 pp. 240-220
- 1054 『新古今和歌集』五八三番和泉式部歌について (檜垣泰代)
国文論藻 (京都女子大学大学院文学研究科研究紀要) 7 2008-3 pp. 21-39
- 1055 『百詠和歌』注釈(2) (胡志昂; 山部和喜; 中村文; 山田昭全)

- 埼玉学園大学紀要 人間学部篇 8 2008-12 pp. 288-267
- 1056 『長秋詠藻』評釈(5) (檜垣孝)
大東文化大学紀要 人文科学 46 2008-3 pp. 159-176
- 1057 『瓊玉和歌集』注釈稿 (1) (中川博夫)
鶴見大学紀要 1 日本語・日本文学編 45 2008-3 pp. 51-115
- 1058 定家歌「春の夜の夢の浮橋」考 解釈の成立そして宇治十帖への連関 (森沢真直)
文芸研究 文芸・言語・思想 (日本文芸研究会) 165 2008-3 pp. 11-23
- 1059 『通具俊成卿女歌合』注釈抄 (渡邊裕美子)
文芸と批評 (文芸と批評の会) 10-8 2008-11 pp. 1-13
- 1060 『待賢門院堀河集』注釈(1) (加藤睦; 松本真奈美)
立教大学日本文学 101 2008-12 pp. 2-15
- 1061 『撃蒙抄』注釈(3) (広木一人; 松本麻子; 山本啓介; 田村睦美; 神山瑞生; 一戸裕司; 杉山和也)
緑岡詞林 (青山学院大学日文院生の会) 32 2008-3 pp. 24-90
- 1062 『たまきはる』における夢の表象 (今関敏子)
川村学園女子大学研究紀要 19-2 2008-3 pp. 212-199
- 1063 『無名抄』の「数寄」(比良輝夫)
釧路論集〈北海道教育大学釧路校研究紀要〉40 2008-12 pp. 13-18
- 1064 『海道記』の動物描写について (三角洋一)
国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-2 2008-2 pp. 1-12
- 1065 『八重葎』注釈(1) (田村俊介)
富山大学人文学部紀要 49 2008-8 pp. 376-342
- 1066 連載; 徒然草評釈(335)——陰陽師有宗入道 (久保田淳)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-3 2008-2 pp. 175-178
- 1067 連載; 徒然草評釈(336)——通憲入道、舞の手の中に (久保田淳)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-6 2008-4 pp. 166-173
- 1068 連載; 徒然草評釈(337)——信濃前司行長、稽古の誉れ有りけるが (久保田淳)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-9 2008-6 pp. 182-189
- 1069 連載; 徒然草評釈(338)——六時礼讃は法然上人の弟子 (久保田淳)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-12 2008-8 pp. 182-188
- 1070 連載; 徒然草評釈(339)——何条百日の鯉を切らんぞ (久保田淳)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-15 2008-10 pp. 182-190
- 1071 連載; 徒然草評釈(340)——見ざまなど悪しからぬが (久保田淳)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-18 2008-12 pp. 172-178
- 1072 〈研究ノート〉『古事談抄』選釈(4) (成蹊大学中世文学研究会)
成蹊人文研究 (成蹊大学大学院) 16 2008-3 pp. 71-147
- 1073 蘭溪道隆の法語 (西尾賢隆)
禅学研究 (花園大学) 86 2008-1 pp. 54-77

- 1074 『八幡宇佐宮御託宣集』における「幽玄」について 託宣への注釈と思考 (村田真一)
日本文学 (日本文学協会) 57-4 2008-4 pp. 54-65

◇近世以降

- 1075 〈訳註〉鈴木胤『論語参解』私注 (14) (田尻祐一郎)
東海大学紀要 文学部 88 2008-3 pp. 140-131
- 1076 〈〃〉鈴木胤『論語参解』私注 (15) (田尻祐一郎)
東海大学紀要 文学部 89 2008-9 pp. 160-144
- 1077 「三計塾記」の冒頭文「三計」の背景 (田中司郎)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 267-280
- 1078 芭蕉発句「武蔵野の月の若ばえや松島種」の解釈 (井上敏幸)
佐賀大國文 (佐賀大学国語国文学会) 36 2008-3 pp. 8-17
- 1079 其角発句注解 (17) (白井宏)
四国大学紀要 A 人文・社会科学編 B 自然科学編 29 2008-3 pp. 237-251
- 1080 其角発句注解 (18) (白井宏)
四国大学紀要 A 人文・社会科学編 30 2008-12 pp. 289-310
- 1081 其角と「洒落風」 (牧藍子)
日本文学 (日本文学協会) 57-7 2008-7 pp. 66-75
- 1082 「すゞしさを」歌仙注釈 (上) (深沢真二)
和光大学表現学部紀要 8 2008-3 pp. 196-178
- 1083 『風流宇治頼政』注釈 (5・完) (高島要; 木越治; 高橋明彦; 木越秀子; 杉本紀子)
石川工業高等専門学校紀要 40 2008-3 pp. 90-79
- 1084 <物語>の定義について 『囃物語』における採録の基準 (松本健)
日本學報 (韓國日本學會) 76 2008-8 pp. 257-266
- 1085 『大東世語』「識鑿」篇注釈稿 (堀誠)
学術研究 国語・国文学編 (早稲田大学) 56 2008-2 pp. 1-22
- 1086 大正大学図書館蔵本『除睡鈔』 茶道話群 (卷四・三十二話) 注釈 (上) (由井恭子)
国文学踏査 (大正大学国文学会) 20 2008-3 pp. 63-75
- 1087 『大東世語』「雅量」篇注釈稿 (堀誠; 石本波留子; 丁秋娜; 政岡依子)
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 18 2008-3 pp. 1-21
- 1088 連載; 『注解 色道大鏡』——叙 (1) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 215-220
- 1089 〃——叙 (2) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-2 2008-2 pp. 195-201
- 1090 〃——凡例 (1) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-3 2008-3 pp. 198-203
- 1091 〃——凡例 (2) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-4 2008-4 pp. 180-187

- 1092 〃——凡例(3) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-5 2008-5 pp. 215-221
- 1093 〃——卷第一・名目鈔(1) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-6 2008-6 pp. 181-188
- 1094 〃——卷第一・名目鈔(2) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-7 2008-7 pp. 176-179
- 1095 〃——卷第一・名目鈔(3) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-8 2008-8 pp. 183-186
- 1096 〃——卷第一・名目鈔(4) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-9 2008-9 pp. 205-208
- 1097 連載;『注解 色道大鏡』(10)——卷第一・名目鈔(5) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-10 2008-10 pp. 187-192
- 1098 連載;『注解 色道大鏡』(11)——卷第一・名目鈔(6) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-11 2008-11 pp. 173-177
- 1099 連載;『注解 色道大鏡』(12)——卷第一・名目鈔(7) (渡辺憲司)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-12 2008-12 pp. 171-176
- 1100 子規連句私解 独吟百韻「灯ともさぬ」の巻 (27) <四オ折端~同ウ折立> (大島富朗)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 807 2008-1 pp. 81-96
- 1101 子規連句私解 独吟百韻「灯ともさぬ」の巻 (28) <四ウ二句> (大島富朗)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 809 2008-3 pp. 11-20
- 1102 童謡・わらべ歌新積(上) (若井勲夫)
京都産業大学論集 人文科学系列 38 2008-3 pp. 172-148
- 1103 松前重義博士の心と“東海”ということば 土井晚翠「万里長城の歌」を表現論的に読みなおす
(小林千草)
湘南文学 (東海大学日本文学会) 42 2008-3 pp. 1-11
- 1104 中村正直「敬天愛人説」訳注稿 付解説 儒教とキリスト教の架け橋を探る試み (野村純代)
東洋大学大学院紀要 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・
英語コミュニケーション 44 2008-3 pp. 266-250

□方言・民俗

◇方言一般

1105 調査者に応じた被調査者のモード切替と音声の質的变化 (土岐哲)

論集 (アクセント史資料研究会) 4 2008-9 pp. 1-9

1106 特集; 資料研究の現在——方言資料の現在 (大西拓一郎)

日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 69-80

◇方言の音韻, 語彙, 文法

1107 〈研究ノート〉日本語母語話者の撥音の長さに関する規範意識 首都圏方言話者と近畿方言話者 (山岸智子)

音声研究 (日本音声学会) 12-3 2008-12 pp. 87-97

1108 特集; 話し言葉の日本語——話し言葉の音声 方言音声の音響的特徴とその生成に関わる生理学的要因 東京方言と大阪方言における母音無声化の比較 (藤本雅子)

日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 198-209

1109 方言性向語彙の比喩語 農業地域と漁業地域との対照 (井上博文)

学大國文 (大阪教育大学) 51 2008-3 pp. 21-38

1110 方言終助詞の分析法を考える (玉懸元)

中京国文学 (中京大学国文学会) 27 2008-3 pp. 47-55

1111 方言文法と分布 (大西拓一郎)

日本語文法 (日本語文法学会) 8-1 2008-3 pp. 85-100

1112 特集; 日本語はここまでわかった——方言 方言文法について (井上文子)

日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp. 52-63

◇各地の方言

1113 ワードウォッチングの旅 カメラで集めた方言 (土井清史)

ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 53-56

1114 Ebata, Yoshio: The New Method and Findings of Geolinguistics, Using Linguistic Atlases from Every Decade with regard to the Phrase 'It will be fine tomorrow.'

Dialectologia et Geolinguistica; DiG; Journal of the International Society for Dialectology and Geolinguistics 16, 11 2008 pp. 34-48

1115 リレー連載; 言語学者の道具箱(1)——MANDARA で描く言語地図(1) MANDARA の導入 (大西拓一郎)

言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp. 90-95

1116 リレー連載; 言語学者の道具箱(2)——MANDARA で描く言語地図(2) 白地図を作る (大西拓一郎)

言語 (大修館書店) 37-2 2008-2 pp. 90-95

1117 リレー連載; 言語学者の道具箱(3)——MANDARA で描く言語地図(3) 言語地図を描こう(1) (大西拓一郎)

言語 (大修館書店) 37-3 2008-3 pp. 82-87

1118 リレー連載; 言語学者の道具箱(4)——MANDARA で描く言語地図(4) 言語地図を描こう(2) (大西拓一郎)

- 言語 (大修館書店) 37-4 2008-4 pp. 90-95
- 1119 リレー連載 ; 言語学者の道具箱 (5)——MANDARA で描く言語地図 (5) レイヤを使う (大西拓一郎)
言語 (大修館書店) 37-5 2008-5 pp. 90-95
- 1120 リレー連載 ; 言語学者の道具箱 (6)——MANDARA で描く言語地図 (6・最終回) 分布を比べる (大西拓一郎)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp. 88-93
- 1121 日本語におけるフォーカスの生成と知覚 東京方言と大阪方言を比較して (泉谷聡子)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 53-66
- 1122 撥音の長さとの感情的印象 首都圏方言話者と近畿方言話者 (山岸智子)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 125-138
- 1123 持続時間及びピッチ変動が長音の知覚に与える影響 東京方言話者と熊本市方言話者の比較 (嵐洋子)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 193-208
- 1124 〈資料〉撥音の長さによる知覚の差 首都圏方言話者と近畿方言話者 (山岸智子)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp. 164-169
- 1125 日本語語頭有声閉鎖音の VOT に関する全国的分布パターン (高田三枝子)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 48-61
- 1126 日本語における外来語アクセント型の地域方言の差 (李香蘭)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 36 2008-2 pp. 87-100
- 1127 <葬式>を表す方言分布の形成と社会的要因 (沢村美幸)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 16-30
- 1128 西日本方言における、補助動詞「おく」の非意志的構文の成立と多様化 (山部順治)
ノートルダム清心女子大学紀要 日本語・日本文学編 32-1 2008-3 pp. 1-32
- 1129 特集 ; [例解]日本語の条件表現 言語に「もし」がなかったら?——「そこに車を止めればダメです」 標準語と方言の意味のずれ (日高水穂)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 44-51
- 1130 特集 ; 子どもに向かう元気をもらって 第 57 回作文教育研究大会 (2008 年・大阪)——〈特別講演〉
江戸 (東京) と上方 (大阪) 芸能文化の違いをもたらせたもの (木津川計)
作文と教育 (日本作文の会) 59-13 2008-12 pp. 26-31

(北海道の方言)

- 1131 北海道函館市東部地区方言における風位語彙体系の生業差 (志村文隆)
北海道方言研究会会報 85 2008-9 pp. 1-14

(東北地方の方言)

- 1132 東北方言における基本的時間表現形式について 形式の変化と文法体系との相関 (吉田雅昭)
日本語の研究 (日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 45-59
- 1133 宮城県登米市石越町方言のアクセント 「南奥特殊アクセント」の分析 (佐藤奏)
日本語学論集 (東京大学大学院) 4 2008-2 pp. 154-143

- 1134 談話における「ネ」の機能 仙台方言の説明的場面で使用される談話標識としての機能 (琴鍾愛)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 38 2008-8 pp. 15-28
- 1135 東北シラビーム方言における特殊音素の実現の実際 (大橋純一)
いわき明星大学人文学部研究紀要 21 2008-3 pp. 28-40
- 1136 山形方言雑考(1) (落合晃)
山形方言 (山形県方言研究会) 38 2008-9 pp. 1-8
- 1137 新庄弁あれこれ (菅原文徳)
山形方言 (山形県方言研究会) 38 2008-9 pp. 9-12
- 1138 村山・最上地方の呼称方言(動植物) (原田伝六)
山形方言 (山形県方言研究会) 38 2008-9 pp. 1-16
- 1139 山形市方言の文末詞ジェ ヨ・ズ・バと対比して (渋谷勝己)
阪大社会言語学研究ノート (大阪大学大学院) 8 2008-3 pp. 1-13
- 1140 福島方言の上昇下降調 文末イントネーションの意味記述 (白岩広行)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 157-173
- 1141 〈研究ノート〉福島方言の「バ」「タラ」「ト」 (幡早夏)
言語・地域文化研究 (東京外国語大学大学院博士後期課程論叢) 14 2008-3 pp. 269-281
- 1142 福島方言の伝聞表現トとスケ (白岩広行)
阪大社会言語学研究ノート (大阪大学大学院) 8 2008-3 pp. 30-45
- 1143 福島県郡山市方言の推量・意志表現バイ 若年層における確認要求表現への変化 (白岩広行)
待兼山論叢 日本学篇 (大阪大学大学院) 42 2008-12 pp. 37-54
- 1144 福島県の方言「ナイ」について 福島県北部地域を例として (本多真史)
言文 (福島大学国語教育文化学会) 55 2008-3 pp. 16-28
- 1145 福島方言のノダッケ 実は俺、まだ学生なんだっけ (白岩広行)
阪大社会言語学研究ノート (大阪大学大学院) 8 2008-3 pp. 14-29
- (関東地方の方言)**
- 1146 首都圏方言の形容詞アクセントの複雑さ 「ークナイ」「ークナル」の形を例に (三樹陽介)
国学院雑誌 (国学院大学) 109-7 2008-7 pp. 1-15
- 1147 「気づきにくく変わりやすい方言」 首都圏における I 類動詞連用形尾高型の消失 (田中ゆかり)
論集 (アクセント史資料研究会) 4 2008-9 pp. 51-67
- 1148 Sasaki, Kan : Hardening Alternation in the Mitsukaido Dialect of Japanese.
言語研究 (日本言語学会) 134, 9 2008 pp. 85-117
- 1149 埼玉県方言における文末表現「べー」「ダンべー」について (古瀬順一)
人文学部研究論集 (中部大学) 19 2008-1 pp. 25-40
- 1150 東京方言におけるアクセントの実現度と意味的限定 (郡史郎)
音声研究 (日本音声学会) 12-1 2008-4 pp. 34-53
- 1151 東京語の終助詞の音調と機能の対応について 内省による考察 (轟木靖子)

- 音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 5-28
- 1152 PNLN の音声特徴 首都圏方言話者を例に (田頭(谷口)未希)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 67-80
- 1153 東京方言における平叙文末の下降増大現象 平叙文末は平調か下降調か (郡史郎)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 81-104
- 1154 首都圏方言形容詞アクセントの多様性 (三樹陽介)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 39 2008-3 pp. 171-182
- 1155 首都圏方言における母音の無声化とアクセント核の移動について (木野景子)
国語研究 (国学院大学国語研究会) 71 2008-3 pp. 1-12
- 1156 Shport, Irina A. ; Guion, Susan G. : The Effect of Segmental Structure on F0 Patterns of Words in Tokyo Japanese.
音声研究 (日本音声学会) 12-2, 8 2008 pp. 4-16

(中部地方の方言)

- 1157 岐阜・愛知の若年層方言について(2) 文法的な形式と社会的関係を表す表現 (山田敏弘)
岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 56-2 2008-2 pp. 1-21
- 1158 新潟県の方言における慣用句の由来(2) (柄沢衛)
ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 33-42
- 1159 新潟方言の文末詞「ネッカ」について (吉田雅昭)
ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 21-32
- 1160 新潟市西酒屋方言の格助詞コトについて (野口幸雄)
ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 57-59
- 1161 静岡県大井川上流域におけるアクセント変化 無アクセント地域におけるアクセント獲得 (木川行央)
言語科学研究 (神田外語大学大学院紀要) 14 2008-3 pp. 103-124

(近畿地方の方言)

- 1162 C. J. スミスの言語変化タイポロジーからみた日本の地域語におけるアスペクト形式 (ロング, ダニエル; 梁井久江)
人文学報 (首都大学・東京都立大学) 398 2008-3 pp. 15-37
- 1163 京都方言の形態・文法・音韻 (1) 会話録音を資料として(1) (中井幸比古)
方言・音声研究 (方言・音声研究会) 1 2008-9 pp. 9-200
- 1164 大阪方言における格助詞「から」の音調変化についての一考察 (武田佳子)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 139-156
- 1165 大阪方言における命令形の使用範囲 セエ・シ・シテをめぐって (牧野由紀子)
阪大社会言語学研究ノート (大阪大学大学院) 8 2008-3 pp. 55-74
- 1166 和歌山県方言の「とても(非常に)」語彙の研究 (柏原卓)
和歌山大学教育学部紀要 人文科学 58 2008-2 pp. 1-6

(中国地方の方言)

- 1167 性向語彙をとおしてみた社会的規範・価値観とその変化 広島方言における若年層の性向語彙調査から (灰谷謙二)

尾道大学芸術文化学部紀要 7 2008-3 pp. 23-28

- 1168 山口方言における特殊拍とアクセントの関係 (池田史子)

山口県立大学学術情報 [CD-ROM 版] 1 2008-3 pp. 37-44

(四国地方の方言)

- 1169 対人関係に係わる「仲間外れにする」語に関する一考察 四国地方における地域差・年齢差、近隣地方との影響関係について (相村知美)

比較文化研究 (日本比較文化学会) 81 2008-3 pp. 59-71

- 1170 美馬市木屋平の方言 (仙波光明)

阿波学会紀要 (総合学術調査報告) 54 2008-7 pp. 205-216

- 1171 徳島方言動詞「めげる」の意味分析 意味記述と世代差の分析を中心に (永田良太; 原卓志; 茂木俊伸)

語文と教育 (鳴門教育大学国語教育学会) 22 2008-8 pp. 152-138

- 1172 西日本アスペクト表現の否定形式におけるテナイの考察 (津田智史)

徳島大学国語国文学 21 2008-3 pp. 65-54

- 1173 「式」の基本周波数上の特徴のパラメータ化 香川県観音寺方言のばあい (吉田健二)

論集 (アクセント史資料研究会) 4 2008-9 pp. 11-37

(九州地方の方言)

- 1174 田川郡香春町の炭坑ことば (杉村孝夫)

福岡教育大学国語科研究論集 49 2008-1 pp. 84-63

- 1175 福岡市方言におけるアスペクトマーカではないヨルの用法について (平塚雄亮)

阪大社会言語学研究ノート (大阪大学大学院) 8 2008-3 pp. 101-115

- 1176 福岡市方言における文末詞バイとタイ (平川公子)

阪大社会言語学研究ノート (大阪大学大学院) 8 2008-3 pp. 116-131

- 1177 長崎方言における人名のアクセント型 (松浦年男)

語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 405-421

- 1178 真性テ形現象 (タイプ A 方言) の音韻的説明 (小野浩司)

佐賀大学文化教育学部研究論文集 12-2 2008-1 pp. 145-156

- 1179 長崎県中北部本土方言の動詞テ形における形態音韻現象 (有元光彦)

山口大学教育学部研究論叢 1 人文科学・社会科学 2 自然科学 57 2008-1 pp. 1-13

- 1180 Matsuura, Toshio: Position Sensitivity in Nagasaki Japanese Prosody.

Journal of East Asian Linguistics 17-4, 12 2008 pp. 381-397

- 1181 熊本市およびその周辺地域方言におけるイントネーションとパラ言語情報の表現について (田川恭識)

IBU 四天王寺国際仏教大学紀要 大学院・人文社会学部・短期大学部 45 2008-3 pp.

413-430

- 1182 熊本一型アクセント方言におけるパラ言語情報の表現と知覚 (田川恭識)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 175-191
- 1183 再訪 熊本県天草方言の動詞テ形における形態音韻現象 (有元光彦)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 357-374
- 1184 熊本市方言の推量表現 (竹中洋樹)
福岡大学大学院論集 40-1 2008-8 pp. 1-21
- 1185 大分県日田市方言における「ーてから」の用法 「ーて」「ーきー」「ーけんど」「ーけどが」との比較をとおして (黒木邦彦)
阪大社会言語学研究ノート (大阪大学大学院) 8 2008-3 pp. 89-100
- 1186 西日本諸方言アスペクトの捉え方 宮崎県方言を例にして (津田智史)
言語科学論集 (東北大学大学院) 12 2008-12 pp. 49-60
- 1187 文字に書かれた宮崎方言 (早野慎吾)
地域文化研究 (宮崎地域文化研究会) 2 2008-5 pp. 31-40

(琉球地方の方言)

- 1188 琉球方言のハ行子音 p 音 $\phi > p$ の可能性をさぐる (中本謙)
沖縄文化 (沖縄文化協会) 42-1 2008-5 pp. 100-85
- 1189 琉球方言・九州西岸方言の音調体系をめぐって (崎村弘文)
久留米大学文学部紀要 国際文化学科編 25 2008-3 pp. 1-10
- 1190 〈資料〉沖永良部島方言語彙のアクセント資料(8) (上野善道)
東京大学言語学論集 27 2008-9 pp. 267-307
- 1191 沖縄県伊良部島方言の風位語彙 生業との関係を中心に (志村文隆)
国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 1-12
- 1192 御嶽の神々の領分 竹富島をモデルに (照屋理)
古代学研究所紀要 (明治大学) 6 2008-2 pp. 137-145
- 1193 八重山歌謡に見える動物 (山里純一)
日本東洋文化論集〈琉球大学法文学部紀要〉14 2008-3 pp. 29-134
- 1194 リレー連載;私のフィールドノートから…発見とときめきのフィールド言語学(22)——幸喜方言 (狩俣繁久)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 84-89
- 1195 主語の格形式が二つあること 日本語方言における活格性 (佐々木冠)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp. 80-87
- 1196 琉球方言における助詞<が><の>の用法 (内間直仁)
言語文化論叢 (琉球大学言語文化研究会) 5 2008-3 pp. 1-14
- 1197 奄美大島名音方言のニ格相当格(2) (田畑千秋)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 190-195
- 1198 喜界島方言助詞の研究 (野原三義)

- 南島文化〈沖縄国際大学南島文化研究所紀要〉30 2008-3 pp.1-54
- 1199 沖縄県名護市幸喜方言の名詞の格＝とりたて ga 格、nu 格、ハダカ格、ja のとりたて形（かりまたしげひさ）
日本東洋文化論集〈琉球大学法文学部紀要〉14 2008-3 pp.1-80
- 1200 Shimoji, Michinori : Descriptive Units and Categories in Irabu.
思言〈東京外国語大学記述言語学論集〉4, 11 2008 pp.21-55
- 1201 トン普通語・ウチナーヤマトグチはクレオールか 琉球・クレオール日本語の研究のために（かりまたしげひさ）
南島文化〈沖縄国際大学南島文化研究所紀要〉30 2008-3 pp.55-65
- 1202 鹿児島県大島郡与論町朝戸方言の立ち上げ詞（町博光）
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp.27-34

◇方言の史的研究

- 1203 苗代川地方伝来朝鮮語学習書類の日本語の地域性について（片茂鎮）
比較文化研究（日本比較文化学会）84 2008-9 pp.81-91
- 1204 庄内郷土本『ゆめあはせ』に登場する人物の言葉遣い（山本淳）
米沢国語国文（山形県立米沢女子短期大学）37 2008-12 pp.112-96
- 1205 北海道語に残る古語 その特色を探る（夏井邦男）
語学文学（北海道教育大学語学文学会）46 2008-3 pp.1-8
- 1206 一茶の俳句と信濃方言（川村喬一）
ことばと文化（長野・言語文化研究会）5 2008-3 pp.15-28
- 1207 「琉球官話の資料集成」における「了」に関する考察（兼本敏）
沖縄国際大学日本語日本文学研究 12-2 2008-3 pp.1-11
- 1208 明代・清代中国の日本・琉球語資料における日数表現とその周辺（室井努）
金沢大学国語国文 33 2008-3 pp.40-31

◇民俗

- 1209 「ケガレ」の意味に関する比較宗教学的考察（宮本要太郎）
関西大学文学論集（関西大学文学会）58-1 2008-7 pp.61-80
- 1210 香具師系露店商の「名乗り名」 その継承方法と機能（厚香苗）
日本民俗学（日本民俗学会）254 2008-5 pp.1-24
- 1211 特集；フォークロア研究の最前線——文学とフォークロア 口承文芸研究と文学史 <口承>研究
を視座して（佐藤優）
国文学 解釈と鑑賞（至文堂）73-8 2008-8 pp.173-179

□ことばと機械

◇コンピュータ言語学

- 1212 インターネット・ガバナンス・フォーラム(IGF)から見た情報社会の言語的多様性の課題(上村圭介)
実践女子大学人間社会学部紀要 4 2008-4 pp.157-176

◇言語の機械処理(言語情報処理)

- 1213 複数の分類スコアを用いたクラス所属確率の推定(高橋和子;高村大也;奥村学)
自然言語処理(言語処理学会)15-2 2008-4 pp.3-38
- 1214 同義語辞書作成支援システム(寺田昭;吉田稔;中川裕志)
自然言語処理(言語処理学会)15-2 2008-4 pp.39-58
- 1215 HTML 文書集合からの評価文の自動収集(鍛冶伸裕;喜連川優)
自然言語処理(言語処理学会)15-3 2008-7 pp.77-90
- 1216 要約事例を用例として模倣利用したニュース記事要約(山本和英;牧野恵)
自然言語処理(言語処理学会)15-3 2008-7 pp.115-158
- 1217 言語情報と映像情報の統合による物体のモデル学習と認識(柴田知秀;加藤紀雄;黒橋禎夫)
情報処理学会論文誌 49-3 2008-3 pp.1451-1464
- 1218 特許請求項における多重多数項引用の検出と書き換え(新森昭宏;大屋由香里;谷川英和)
情報処理学会論文誌[CD-ROM版]49-7 2008-7 pp.2692-2702
- 1219 音声とテキストを用いた認識単語辞書の自動構築(倉田岳人;森信介;伊東伸泰;西村雅史)
情報処理学会論文誌[CD-ROM版]49-8 2008-8 pp.2900-2909
- 1220 ラベルなしデータを用いた素性増強による日本語固有表現抽出方法(岩倉友哉;岡本青史)
情報処理学会論文誌[CD-ROM版]49-10 2008-10 pp.3657-3669
- 1221 大域的情報を用いた日本語固有表現認識(笹野遼平;黒橋禎夫)
情報処理学会論文誌[CD-ROM版]49-11 2008-11 pp.3765-3776
- 1222 「漢字情報学の構築」共同研究班報告(安岡孝一)
東方学報(京都大学)83 2008-9 pp.360-349
- 1223 特集;WWWを対象にした日本語研究——WWWを丸ごとデータにすると何がわかるか? 格フレーム辞書を言語研究に利用する(黒田航;李在鎬)
日本語学(明治書院)27-2 2008-2 pp.22-36
- 1224 //——WWWの記事をその内容によって自動的に分類する(新納浩幸)
日本語学(明治書院)27-2 2008-2 pp.38-46
- 1225 特集;ことばと音楽——自動作詞システムの開発(森安美奈子)
日本語学(明治書院)27-4 2008-4 pp.42-49
- 1226 特集;言語処理研究の新展開 計算機と言語学の対話に向けて——言語情報間の含意・矛盾関係の認識(乾健太郎)
言語(大修館書店)37-8 2008-8 pp.30-37
- 1227 大規模な電子資料に見る現代日本語の動態(田野村忠温)
待兼山論叢 文化動態論篇(大阪大学大学院)42 2008-12 pp.55-76

- 1228 マルチセグメントベクトル量子化のコードブックを用いる認識率の高い話者独立単語音声認識システム (坂口豊; 今井聖)
日本音響学会誌 64-5 2008-4 pp. 298-309
- 1229 〈技術報告〉親密度別単語了解度試験用音声データセット (FW03) 単音節音声のラウドネス校正 (長谷芳樹; 橘亮輔; 阪口剛史; 細井裕司)
日本音響学会誌 64-11 2008-11 pp. 647-649
- 1230 Wavelet 解析と線形予測法による音声特徴量抽出に関する研究 (石川陽平; 鄭萬溶)
沼津工業高等専門学校研究報告 42 2008-1 pp. 201-208
- 1231 声帯振動特性の推定に関する研究 (栗田哲也; 鄭萬溶)
沼津工業高等専門学校研究報告 42 2008-1 pp. 209-214
- 1232 リレー連載; 言語学者の道具箱(7)——Praat で音声可視化する(1) まず録音してみよう (北原真冬; 田嶋圭一)
言語 (大修館書店) 37-7 2008-7 pp. 84-89
- 1233 リレー連載; 言語学者の道具箱(8)——Praat で音声可視化する(2) SoundEditor を使ってみよう (北原真冬; 田嶋圭一)
言語 (大修館書店) 37-8 2008-8 pp. 100-105
- 1234 リレー連載; 言語学者の道具箱(9)——Praat で音声可視化する(3) 分節とラベリング (北原真冬; 田嶋圭一)
言語 (大修館書店) 37-9 2008-9 pp. 86-91
- 1235 リレー連載; 言語学者の道具箱(10)——Praat で音声可視化する(4) 音声分析と自動化 (北原真冬; 田嶋圭一)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 90-95
- 1236 リレー連載; 言語学者の道具箱(11)——Praat で音声可視化する(5) 音声の再合成 (北原真冬; 田嶋圭一)
言語 (大修館書店) 37-11 2008-11 pp. 88-93
- 1237 リレー連載; 言語学者の道具箱(12・最終回)——Praat で音声可視化する(6) 音声知覚の実験 (北原真冬; 田嶋圭一)
言語 (大修館書店) 37-12 2008-12 pp. 102-107
- 1238 特集; スポーツのことば——水泳競技のことば 温故知新・二題 (田中彰)
日本語学 (明治書院) 27-9 2008-8 pp. 22-34
- 1239 特集; 学と産の連携による基盤ソフトウェアの先進的開発——情報の高信頼蓄積・検索技術等の開発 人にやさしい音声インタフェース (鹿野清宏; 河原達也; 猿渡洋; 武田一哉; 河原英紀; 徳田恵一; 西浦敬信; 李晃伸)
情報処理 (情報処理学会) 49-11 2008-11 pp. 1297-1301
- 1240 特集; 産学連携論文——音声対話システムにおけるラピッドプロトタイピングを指向した WFST に基づく言語理解 (福林雄一朗; 駒谷和範; 中野幹生; 船越孝太郎; 辻野広司; 尾形哲也; 奥乃博)

- 情報処理学会論文誌〔CD-ROM 版〕 49-8 2008-8 pp. 2762-2772
- 1241 単純再帰結合型ネットワークを用いたテンプレートマッチング方式による文字認識ニューラルネットワーク (篠沢佳久)
情報処理学会論文誌〔CD-ROM 版〕 49-10 2008-10 pp. 3703-3714
- 1242 〈調査〉外字について(3) (村上佳久)
筑波技術大学テクノレポート 15 2008-3 pp. 139-143
- 1243 Web を用いた未知語検索キーワードのシソーラスノードへの割付け手法 (後藤和人; 土屋誠司; 渡部 広一; 河岡司)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-3 2008-7 pp. 91-113
- 1244 コーパスからの形容詞概念階層の構築と評価 実データによる形容詞オントロジーの構築にむけて (神崎享子; 馬青; 山本英子; 白土保; 井佐原均)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-4 2008-9 pp. 59-88
- 1245 基本語ドメイン辞書の構築と未知語ドメイン推定を用いたブログ自動分類法への応用 (橋本力; 黒橋 禎夫)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-5 2008-10 pp. 73-97
- 1246 自動獲得した名詞関係辞書に基づく共参照解析の高度化 (笹野遼平; 黒橋 禎夫)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-5 2008-10 pp. 99-118
- 1247 大規模テキストコーパスを用いた語の類似度計算に関する考察 (相沢彰子)
情報処理学会論文誌 49-3 2008-3 pp. 1426-1436
- 1248 Tamaoka, Katsuo ; Meyer, Peter ; Makioka, Shogo ; Altmann, Gabriel : On the Dynamics of the Compounding of Japanese Kanji with Common and Proper Nouns.
Journal of Quantitative Linguistics 15-2, 5 2008 pp. 136-153
- 1249 特集; 言語処理研究の新展開 計算機と言語学の対話に向けて——言語処理を指向した動詞項構造シソーラス 項関係まで含めた動詞の意味分類 (竹内孔一)
言語 (大修館書店) 37-8 2008-8 pp. 58-65
- 1250 日本語ウェブページに出現するムードの収集, および拡充したムード体系の提案 (大森晃)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-1 2008-1 pp. 53-79
- 1251 文脈的素性を用いた固有表現間の関係性判定 (平野徹; 松尾義博; 菊井玄一郎)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-4 2008-9 pp. 43-58
- 1252 トーナメントモデルを用いた日本語係り受け解析 (岩立将和; 浅原正幸; 松本裕治)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-5 2008-10 pp. 169-185
- 1253 ウェブ検索を利用したしきい値選択型テキストセグメンテーション (阿部直人; 内山俊郎; 内山匡; 奥雅博)
情報処理学会論文誌〔CD-ROM 版〕 49-12 2008-12 pp. 4025-4038
- 1254 特集; 言語処理研究の新展開 計算機と言語学の対話に向けて——日本語 LFG における形容詞連用形の処理 (大熊智子)
言語 (大修館書店) 37-8 2008-8 pp. 74-81

- 1255 決定木を用いた敬語の選択ルールを獲得 (古宮嘉那子; 但馬康宏; 小谷善行)
情報処理学会論文誌 [CD-ROM 版] 49-7 2008-7 pp. 2679-2691
- 1256 文体と難易度を制御可能な日本語機能表現の言い換え (松吉俊; 佐藤理史)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-2 2008-4 pp. 75-99
- 1257 正規圧縮距離を用いた和文小説の著者別分類と圧縮プログラムの妥当性 (石原正道; 佐藤静香)
情報処理学会論文誌 [CD-ROM 版] 49-12 2008-12 pp. 4016-4024
- 1258 『小夜衣』の和歌表現 2音1因子方式による類歌抽出結果の検討を通して (安道百合子)
梅光学院大学論集 41 2008-1 pp. 67-77
- 1259 特集; 言語処理研究の新展開 計算機と言語学の対話に向けて——比喻理解のための言語処理 (徳永健伸; 寺井あすか)
言語 (大修館書店) 37-8 2008-8 pp. 46-53
- 1260 // ——日本語テキストの難易度を測る (佐藤理史)
言語 (大修館書店) 37-8 2008-8 pp. 54-57
- 1261 〈研究報告〉筆記材料と文字のコンピュータ分析 (青木務; 和田彩)
神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要 2-1 2008-9 pp. 185-191
- 1262 自然なコンピュータ会話のための違和感形容表現の検出 (吉村枝里子; 土屋誠司; 渡部広一; 河岡司)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-1 2008-1 pp. 81-102
- 1263 文書に対する大衆の興味の強さの推定 (沢井康孝; 山本和英)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-2 2008-4 pp. 101-136
- 1264 用例利用型による文間接続関係の同定 (山本和英; 斎藤真実)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-3 2008-7 pp. 21-51
- 1265 情報アクセス対話のための質問応答技術評価タスク (加藤恒昭; 福本淳一; 梶井文人; 神門典子)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-3 2008-7 pp. 53-75
- 1266 整合性を考慮した物語要約システムの構築 (横野光)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-5 2008-10 pp. 45-71
- 1267 AdaBoost/LogitBoost による Why テキストセグメント判定と回答抽出の自動化 (田中克幸; 滝口哲也; 有木康雄)
情報処理学会論文誌 [CD-ROM 版] 49-6 2008-6 pp. 2234-2242
- 1268 聴覚障害学生のための講義におけるキーワード提示システムの検討 (加藤伸子; 若月大輔; 河野純大; 村上裕史; 内藤一郎)
筑波技術大学テクノレポート 15 2008-3 pp. 1-4
- 1269 手話映像の臨場感向上のための立体映像撮影とその表示 (若月大輔; 加藤伸子; 河野純大; 村上裕; 皆川洋喜; 西岡知之; 内藤一郎)
筑波技術大学テクノレポート 15 2008-3 pp. 7-10
- 1270 大域的な情報を用いた未知語の品詞推定 (中川哲治; 松本裕治)
情報処理学会論文誌 49-3 2008-3 pp. 1437-1450

- 1271 中間言語を用いたインドネシア語 日本語対訳辞書の拡充 (土屋雅稔; 脇田敏行; Purwarianti, Ayu; 中川聖一)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-5 2008-10 pp. 23-43

◇機械翻訳

- 1272 整合性尺度を用いた構造的アラインメント (中沢敏明; 黒橋禎夫)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-2 2008-4 pp. 59-74
- 1273 翻訳と意志決定 (影浦峯)
情報管理 (科学技術振興機構) 50-12 2008-3 pp. 845-847
- 1274 〈解説〉機械翻訳最新事情 (上)統計的機械翻訳入門 (永田昌明; 渡辺太郎; 塚田元)
情報処理 (情報処理学会) 49-1 2008-1 pp. 89-95
- 1275 〈Ⅱ〉機械翻訳最新事情 (下)評価型ワークショップの動向と日本からの貢献 (塚田元; 永田昌明; 隅田英一郎; 黒橋禎夫)
情報処理 (情報処理学会) 49-2 2008-2 pp. 194-202
- 1276 現代モンゴル語コーパスからの外来語抽出と日蒙対訳辞書の構築 (カルター, バダムオスル; 藤井敦)
情報処理学会論文誌 [CD-ROM 版] 49-11 2008-11 pp. 3777-3788
- 1277 〈テクニカルノート〉多言語音声の同時認識枠組みの提案 (南條浩輝)
情報処理学会論文誌 [CD-ROM 版] 49-12 2008-12 pp. 4044-4048
- 1278 外国語学習に係る速訳用課題提示システムについて 状況的課題選択 (北垣郁雄)
広島大学大学院教育学研究科紀要 3 教育人間科学関連領域 57 2008-12 pp. 335-340
- 1279 Bond, Francis; Ogura, Kentaro: Combining Linguistic Resources to Create a Machine-tractable Japanese-Malay Dictionary.
Language Resources and Evaluation 42-2, 5 2008 pp. 127-136
- 1280 辛碩基: 한국과 일본의 기계번역 예에 관한 비교연구; 한국어의 일본어 역을 중심으로.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 39, 11 2008 pp. 5-18
- 1281 特集; 言語処理研究の新展開 計算機と言語学の対話に向けて——感染症情報処理と否定現象との関わり 社会的なニーズと言語学の接点 (川添愛; コリアー, ナイジェル)
言語 (大修館書店) 37-8 2008-8 pp. 38-45
- 1282 特集; 多言語自動通訳技術の実現に向けて——音声自動翻訳技術の進展 (長尾真)
情報処理 (情報処理学会) 49-6 2008-6 pp. 601-605
- 1283 Ⅱ——ここまできた音声翻訳技術 (中村哲; 隅田英一郎; 清水徹)
情報処理 (情報処理学会) 49-6 2008-6 pp. 606-610
- 1284 Ⅱ——携帯端末用多言語自動通訳システムの実用化に向けて (奥村明俊)
情報処理 (情報処理学会) 49-6 2008-6 pp. 611-616
- 1285 Ⅱ——同時通訳の工学と科学 次世代自動通訳技術の実現に向けて (松原茂樹)

- 情報処理 (情報処理学会) 49-6 2008-6 pp. 617-623
- 1286 // ——ユニバーサルコミュニケーションのための音声翻訳 (田原康生 ; 大塚恵理)
情報処理 (情報処理学会) 49-6 2008-6 pp. 629-633
- 1287 特集 ; 翻訳がつくる日本語——翻訳のアナログ思考をデジタル技術が支える (安藤進)
遠近 (国際交流基金) 23 2008-6 pp. 40-44
- 1288 // ——「プロジェクト杉田玄白」が翻訳の方法を変える (山形浩生)
遠近 (国際交流基金) 23 2008-6 pp. 45-48
- 1289 特集 ; 翻訳を越えて——自動翻訳機はどこまで進むのか (富士秀)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-7 2008-5 pp. 66-75
- 1290 日本語テキストから手話テキストへの機械翻訳の試み (松本忠博 ; 池田尚志)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-1 2008-1 pp. 23-51
- ◇言語情報の検索法
- 1291 顔文字が表す感情と強調に関するデータベース (川上正浩)
大阪樟蔭女子大学人間科学研究紀要 7 2008-1 pp. 67-81
- 1292 日本地名辞書の開発と地名属性からの特徴分析 (桶谷猪久夫 ; 前川武)
国際研究論叢 (大阪国際大学紀要) 21-2 2008-1 pp. 19-39
- 1293 看護学分野の専門用語抽出方法の研究 (木浪孝治 ; 池田哲夫 ; 村田嘉利 ; 高山毅 ; 武田利明)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-3 2008-7 pp. 3-20
- 1294 「医学用語シソーラス」と索引作業 (浜田雅美 ; 佐久間せつ子 ; 三沢一成)
情報管理 (科学技術振興機構) 51-9 2008-12 pp. 642-652
- 1295 〈解説〉 Web 検索における人名の曖昧性解消技術の動向 同姓同名のクラスタリング (関根聡)
情報処理 (情報処理学会) 49-5 2008-5 pp. 573-578
- 1296 単語・意味属性間共起に基づくコーパス概念ベースの生成方式 (別所克人 ; 内山俊郎 ; 内山匡 ; 片岡良治 ; 奥雅博)
情報処理学会論文誌 [CD-ROM 版] 49-12 2008-12 pp. 3997-4006
- 1297 〈解説〉 多言語音声処理に向けた音声資源の現状と課題 (板橋秀一)
日本音響学会誌 64-12 2008-12 pp. 721-726
- 1298 漢字字形情報管理システムの構築と提案 日本漢文学研究への応用 (上地宏一)
日本漢文学研究 (二松学舎大学 21 世紀 COE プログラム) 3 2008-3 pp. 177-199
- 1299 〈調査報告〉 コーパス検索ツール Sketch Engine の日本語版とその利用方法 (スルダノヴィッチエリャヴェッツ, イレーナ ; 仁科喜久子)
日本語科学 (国立国語研究所) 23 2008-4 pp. 59-79
- 1300 MS-Access を利用した漢語アクセントデータベースの概要報告 字音来源情報部分との連携を中心として (加藤大鶴)
論集 (アクセント史資料研究会) 4 2008-9 pp. 111-123
- 1301 Hashimoto, Chikara ; Bond, Francis ; Tanaka, Takaaki ; Siegel, Melanie : Semi-automatic Documentation of an Implemented Linguistic Grammar Augmented with a Treebank.

- Language Resources and Evaluation 42-2, 5 2008 pp.117-126
- 1302 Bond, Francis ; Fujita, Sanae ; Tanaka, Takaaki : The Hinoki Syntactic and Semantic Treebank of Japanese.
Language Resources and Evaluation 42-2, 5 2008 pp.243-251
- 1303 Srdanović Erjavec, Irena ; Erjavec, Tomaž ; Kilgarriff, Adam : A Web Corpus and Word Sketches for Japanese.
自然言語処理 (言語処理学会) 15-2, 4 2008 pp.137-159
- 1304 特集 ; WWW を対象にした日本語研究——WWW をコーパスとして利用する研究 文系と理系の観点から (荻野綱男)
日本語学 (明治書院) 27-2 2008-2 pp.4-9
- 1305 // ——言語コーパスとしての WWW 広がる可能性 (石川慎一郎)
日本語学 (明治書院) 27-2 2008-2 pp.10-21
- 1306 // ——WWW からの知識獲得 自然言語処理における新展開 (乾健太郎 ; 鳥沢健太郎)
日本語学 (明治書院) 27-2 2008-2 pp.48-61
- 1307 // ——WWW の検索技術の現状と将来 (平村昇子 ; 山下達雄)
日本語学 (明治書院) 27-2 2008-2 pp.62-73
- 1308 特集 ; 「漢字字体規範史研究」プロジェクトと HNG データベース——HNG-DB(データベース)の意義と今後の展望 (岡墻裕剛 ; 石塚晴通 ; 池田証寿 ; 高木維 ; 斎木正直)
アジア・アフリカ言語文化研究所通信 (東京外国語大学) 122 2008-3 pp.2-6
- 1309 // ——JIS X 0213 の運用 「康熙別掲字」を中心に (高田智和)
アジア・アフリカ言語文化研究所通信 (東京外国語大学) 122 2008-3 p.8
- 1310 特集 ; 資料研究の現在——KOTONOHA 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の開発 (前川喜久雄)
日本語の研究 (日本語学会) 4-1 2008-1 pp.82-94
- 1311 特集 ; 情報爆発時代におけるわくわくする IT の創出を目指して——情報爆発時代における新しい基盤技術 キーワードサーチを超える情報爆発サーチ 自然言語処理で価値ある未知をマイニング (鳥沢健太郎 ; 中川裕志 ; 黒橋禎夫 ; 乾健太郎 ; 吉岡真治 ; 藤井敦 ; 喜連川優)
情報処理 (情報処理学会) 49-8 2008-8 pp.890-896
- 1312 // ——情報分野研究者のためのオンリーワン共有イノベーションプラットフォーム TSUBAKI 深い言語処理を特長とするオープンサーチエンジン基盤 (黒橋禎夫 ; 新里圭司)
情報処理 (情報処理学会) 49-8 2008-8 pp.931-934
- 1313 特集 ; 新聞はどこへ行く——国立国語研究所の「ことばに関する新聞記事データベース」について (池田理恵子)
日本語学 (明治書院) 27-1 2008-1 pp.64-71
- 1314 特集 ; 図書館サイトに付加価値を(2)——国立音楽大学附属図書館「童謡・唱歌索引データベース」について (南部好江 ; 松浦淳子)
専門図書館 (専門図書館協議会) 231 2008-9 pp.16-20

- 1315 特集；話し言葉の日本語——日本語話し言葉コーパス 『日本語話し言葉コーパス』の設計と実装
(前川喜久雄)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 54-62
- 1316 // ——日本語話し言葉コーパス 『日本語話し言葉コーパス』の転記テキスト (小磯花絵)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 63-71
- 1317 // ——日本語話し言葉コーパス 『日本語話し言葉コーパス』の言語単位 (小椋秀樹)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 72-81
- 1318 // ——日本語話し言葉コーパス 『日本語話し言葉コーパス』の節単位情報 (丸山岳彦)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 82-89
- 1319 // ——日本語話し言葉コーパス 『日本語話し言葉コーパス』の分節音情報 (藤本雅子)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 90-102
- 1320 // ——日本語話し言葉コーパス 『日本語話し言葉コーパス』の韻律情報 (五十嵐陽介)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 103-113
- 1321 // ——日本語話し言葉コーパス 『日本語話し言葉コーパス』の XML 文書 (菊池英明)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 114-128

◇その他

- 1322 英単語入力速度とローマ字単語入力速度の関係 (佐藤竝)
情報処理学会論文誌 49-2 2008-2 pp. 1041-1047
- 1323 TypeAny 言語判別を用いた多言語入力システム (江原遥；田中久美子)
自然言語処理 (言語処理学会) 15-5 2008-10 pp. 151-167

□コミュニケーション

◇コミュニケーション一般

- 1324 トランスナショナルな異文化コミュニケーション 日本企業の国際労働移動における事例研究 (重藤智美)
言語コミュニケーション研究 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会) 8 2008-3
pp. 52-61
- 1325 カルチャー・クエストの実践と協働活動 英語圏の学生たちとの交流を手がかりに (村上郷子)
埼玉学園大学紀要 人間学部篇 8 2008-12 pp. 199-211
- 1326 類似と相違 中日文化の相違を考える (肖爽)
北星学園大学大学院文学研究科北星学園大学大学院論集 4 2008-3 pp. 15-24
- 1327 コミュニケーションにおけるコンテクストについての一考察 (吉井克己)
武蔵野学院大学大学院研究紀要 1 2008-4 pp. 91-100
- 1328 〈研究ノート〉異文化交流における日本人学生のソーシャルスキル 在日外国人留学生との交流の要領に関する分析 (中島美奈子; 田中共子)
留学生教育 (留学生教育学会) 13 2008-12 pp. 63-72
- 1329 〈Ⅱ〉日本人と香港人のコミュニケーションにおける問題 日港留学生のインタビュー結果を中心に (何志明)
留学生教育 (留学生教育学会) 13 2008-12 pp. 73-81
- 1330 〈報告〉国際人養成の観点から見た留学体験の効用 (久保田満里子)
留学生教育 (留学生教育学会) 13 2008-12 pp. 101-108
- 1331 日本語教育における異文化間コミュニケーション能力について 中国人学習者をめぐって (鄭愛莉)
龍谷大学国際センター研究年報 17 2008-3 pp. 21-31
- 1332 Stephens, M. Patrick ; Kamimura, Yumi : Gaining New Cultural Perspectives through Short-term Study Abroad.
言語文化研究所紀要 (茨城キリスト教大学) 14, 6 2008 pp. 77-94
- 1333 Simic, Mira ; Tanaka, Tomoko : Exploratory Factor Analysis of the Willingness to Communicate Scale for the English L2 and Japanese L3 among International Students in Japan.
留学生教育 (留学生教育学会) 13, 12 2008 pp. 31-40
- 1334 特集 ; コミュニケーションの身体性 からだは何を伝えるか——コミュニケーションに埋め込まれた身体性 ロボット研究からのアプローチ (岡田美智男)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp. 56-63
- 1335 Ⅱ——人を引き込む身体的コミュニケーションの不思議さ (渡辺富夫)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp. 64-71

◇言語生活

- 1336 〈研究余滴〉ケータイを使って文を書くと (佐藤栄作)
愛媛国文と教育 (愛媛大学教育学部国語国文学会) 40 2008-1 pp. 11-17

- 1337 〈調査報告〉日本語研究の観点からのサーチエンジンの比較評価 Yahoo! と Google の比較を中心に
(田野村忠温)
計量国語学 (計量国語学会) 26-5 2008-6 pp. 147-157
- 1338 『日本語話し言葉コーパス』に現れる「さ入れ言葉」に関する数量的分析 (佐野真一郎)
言語研究 (日本言語学会) 133 2008-3 pp. 77-105
- 1339 二重可能表現形式にみる意味分節基準 「れ不足言葉」が分節するもの (川岸克己)
国語国文論集 (安田女子大学日本文学会) 38 2008-1 pp. 1-10
- 1340 授業談話データベースによる実態調査 教師は生徒をどう呼ぶか (小林美恵子)
ことば (現代日本語研究会) 29 2008-12 pp. 54-72
- 1341 日本語会話データに見られる対比談話標識の使用実態 (陳相州)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 237-252
- 1342 東京圏の多言語標示 山手線各駅調査と鉄道会社アンケートから (田中ゆかり ; 上倉牧子 ; 新坂望)
語文 (日本大学国文学会) 131 2008-6 pp. 88-74
- 1343 Eメールの交換過程における感情表現の出現パターン テキスト・マイニングを用いた分析 (花井友美 ; 小口孝司)
社会心理学研究 (日本社会心理学会) 24-2 2008-11 pp. 131-139
- 1344 若者が支持する「活字」を見る 「ケータイ小説」「ライトノベル」の実情 (内藤麻里子 ; 石田汗太)
新聞研究 (日本新聞協会) 689 2008-12 pp. 60-65
- 1345 顔文字研究の現状と展望 非言語コミュニケーション研究の視点から (荒川歩)
心理学評論 (心理学評論刊行会) 50-4 2008-3 pp. 361-370
- 1346 〈エッセイ〉一語の時代 言語時評(20) (工藤力男)
成城文芸 (成城大学) 205 2008-12 pp. 44-51
- 1347 親しい友人間での「丁寧さ」に関する考察 メールの長さに着目して (宮寄由美)
専修国文 (専修大学日本語日本文学会) 82 2008-1 pp. 15-26
- 1348 「オ・ゴ〜サレル」に関する考察 インターネットの検索エンジンによる使用実態調査から (吉川香緒子)
待遇コミュニケーション研究 (早稲田大学) 5 2008-1 pp. 67-81
- 1349 大学生の要約文産出における傾向性の検討 (町田洋介)
東北大学大学院教育学研究科研究年報 57-1 2008-12 pp. 241-251
- 1350 関西地域発の新方言 アンケート全国実態調査より (呉婧雅)
徳島大学国語国文学 21 2008-3 pp. 53-45
- 1351 高齢者とヘルパー/ケアマネとの会話について (小野田貴夫)
常葉学園短期大学紀要 39 2008-12 pp. 25-39
- 1352 談話構造から見る「わかまえ方式」の待遇行動 ラジオ健康相談番組の分析を通して (山本貴昭)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp. 21-30
- 1353 古典文学教育について (久保田淳)
日本学士院紀要 62-3 2008-3 pp. 40-44

- 1354 〈研究報告〉大学生の日本語能力の現状・総論 豊橋技術科学大学生の場合（中森康之）
雲雀野〈豊橋技術科学大学人文・社会工学系紀要〉30 2008-3 pp.82-99
- 1355 〈〃〉大学生の日本語能力の現状・各論(中学生程度の漢字) 豊橋技術科学大学生の場合（山田陽子）
雲雀野〈豊橋技術科学大学人文・社会工学系紀要〉30 2008-3 pp.102-119
- 1356 〈〃〉大学生の日本語能力の現状・各論(ことわざ・慣用句・四字熟語・部首) 豊橋技術科学大学生の場合（日比野浩信）
雲雀野〈豊橋技術科学大学人文・社会工学系紀要〉30 2008-3 pp.122-135
- 1357 〈〃〉大学生の日本語能力の現状・各論(敬語・書き順・語彙・表現) 豊橋技術科学大学生の場合（鈴木裕子）
雲雀野〈豊橋技術科学大学人文・社会工学系紀要〉30 2008-3 pp.138-154
- 1358 日本人大学生の敬語使用に関する事例研究（有田由紀子）
福岡女学院大学紀要 人文学部編 18 2008-2 pp.85-99
- 1359 宮崎市周辺の多言語表示について 居住と観光の観点から（藤井久美子；衛藤利絵；永射紀子）
宮崎大学教育文化学部紀要 人文科学 19 2008-9 pp.13-38
- 1360 Tranter, Nicolas : Nonconventional Script Choice in Japan.
International Journal of the Sociology of Language(IJSL)192, 2008 pp.133-151
- 1361 Fukushima, Saeko : Pictographs in Japanese E-mail Requests.
都留文科大学大学院紀要 12, 3 2008 pp.13-29
- 1362 Kato, Shogo ; Kato, Yuuki ; Scott, Douglass J. ; Akahori, Kanji : Analysis of Anger in Mobile Phone Email Communications in Japan.
人間科学研究（早稲田大学人間科学学術院）21-1, 6 2008 pp.29-38
- 1363 朴惠蘭 : 일본 휴대전화소설의 언어학적 특성에 관한 고찰.
日本研究（韓国外國語大學校日本研究所）36, 6 2008 pp.569-590
- 1364 特集；ケータイ世界——ケータイ小説 ケータイ小説の新しさと古くささ（米光一成）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-5 2008-4 pp.22-29
- 1365 〃——ケータイが変えるもの ケータイ時代のコミュニケーション（武田徹）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-5 2008-4 pp.58-65
- 1366 〃——ケータイ表現 ケータイ方言 ハイブリッドな対人関係調整装置（三宅和子）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-5 2008-4 pp.92-103
- 1367 〃——ケータイ表現 「絵文字」の使われ方 メディア論的考察（稻増龍夫）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-5 2008-4 pp.104-111
- 1368 特集；世論調査に見る「日本人の国語力と言葉遣い」——〈概要〉平成一九年度「国語に関する世論調査」の結果（文化庁文化部国語課）
文化庁月報 481 2008-10 pp.22-23
- 1369 特集；日本語のスタイル その表現力と創造性——ケータイ/ウェブの表現スタイル（松田美佐）

- 言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp. 40-45
- 1370 連載;暮らしの中の言葉(1)——語彙調査とコーパス (山崎誠)
文化庁月報 475 2008-4 p. 23
- 1371 連載;暮らしの中の言葉(2)——敬語の本質は何か? (尾崎喜光)
文化庁月報 476 2008-5 p. 27
- 1372 連載;暮らしの中の言葉(3)——聞き取り試験は何を測っているか (森篤嗣)
文化庁月報 477 2008-6 p. 27
- 1373 連載;暮らしの中の言葉(4)——江戸時代における機械的作文システムとしての往来物 (伊藤雅光)
文化庁月報 478 2008-7 p. 27
- 1374 連載;暮らしの中の言葉(5)——辞書にないけど「正しい」言葉 (植木正裕)
文化庁月報 479 2008-8 p. 27
- 1375 連載;暮らしの中の言葉(6)——語種から見た現代の書き言葉 (小椋秀樹)
文化庁月報 480 2008-9 p. 27
- 1376 連載;暮らしの中の言葉(7)——白書の文の特徴を調べる (小磯花絵)
文化庁月報 481 2008-10 p. 27
- 1377 連載;暮らしの中の言葉(8)——「ていたらくな自分」 (新野直哉)
文化庁月報 482 2008-11 p. 27
- 1378 連載;暮らしの中の言葉(9)——コーパスで探る日本語の姿 外来語 (柏野和佳子)
文化庁月報 483 2008-12 p. 29
- 1379 〈研究ノート〉 集団語の研究 菊池恵楓園の場合 (岡村徹)
帝塚山学院大学研究論集 文学部 43 2008-12 pp. 103-120
- 1380 高齢者のコミュニケーションに関する一考察 日本の高齢女性の会話データをもとに (梅本仁美)
大阪大学言語文化学 17 2008-3 pp. 197-212
- 1381 積極的ポライトネスにおける「ほめる」行為 ジェンダーの視点から (瀬田幸人; 木田祥恵)
岡山大学教育学部研究集録 137 2008-2 pp. 103-114
- 1382 〈ノート〉 依頼コストと依頼の相手による依頼表現の変動 (戸嶋祐介; 皆川直凡)
計量国語学 (計量国語学会) 26-5 2008-6 pp. 158-164
- 1383 大阪の若者ことばにおける性向語彙の構造に関する研究 (友野みゆき)
国語と教育 (大阪教育大学国語教育学会) 33 2008-3 pp. 11-23
- 1384 高齢女性の会話に見られる「グループ・アイデンティティ」について (梅本仁美)
国際研究論叢 (大阪国際大学紀要) 21-3 2008-3 pp. 73-85
- 1385 『諺』の実態とその諸課題について 高齢者と児童の受けとめをめぐって (佐藤佳昭)
ことばと文化 (長野・言語文化研究会) 5 2008-3 pp. 29-47
- 1386 吹き替えに見られる男性文末形式の様相 (下條正純)
佐賀大学留学生センター紀要 7 2008-3 pp. 1-12
- 1387 「その」「あの」の使い分けの年代差 その原因の心理学と言語学からの考察 (水野りか; 柳谷啓子)
人文学部研究論集 (中部大学) 19 2008-1 pp. 85-109

- 1388 援助申し出場面における授恵表現「～てやる/～てあげる/～てさしあげる」の使用 (尾崎喜光)
待遇コミュニケーション研究 (早稲田大学) 5 2008-1 pp. 83-94
- 1389 日本語におけるスピーチスタイルの男女差 音の脱落化の観点から (野木園子)
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 38 2008-3 pp. 19-39
- 1390 会話管理の観点から見た「接続表現」における男女差 『日本語話し言葉コーパス(CSJ)』の「対談」
場面分析を中心に (呉秦芳)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp. 11-20
- 1391 「程度の副詞」・「程度を表す語彙」について 新しい語彙・若者言葉を中心に (堀尾佳以)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 133-151
- 1392 〈研究ノート〉日本語の性差についての一考察 その現状と展望を中心に (宮偉)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 321-329
- 1393 若者の世代が使用する動詞に関する考察 「～る」形の動詞に関して (赤嶺幸枝)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp. 45-54
- 1394 若者語におけるル言葉について(2) 第二次アンケート調査の分析 (鄭香蘭)
山口国文 (山口大学人文学部国語国文学会) 31 2008-3 pp. 72-55
- 1395 ポライトネスの観点から見る日本母語母語話者の「文末表現」の男女差 「日本語話し言葉コーパ
ス(CSJ)」の「対談」場面分析を通して (呉秦芳)
銘傳日本語教育 (銘傳大学) 11 2008-10 pp. 22-43
- 1396 Kumaki, Hideyuki : Current Young Japanese Men and Women's Speech.
桜文論叢 (日本大学) 70, 1 2008 pp. 277-291
- 1397 特集 ; 「言葉の力」を育てる——若者言葉を考える (梶原しげる)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 58-64
- 1398 特集 ; どこまで行くの? 若者ことば——〈情報〉「国語に関する世論調査」に見る若者ことば (鈴木
仁也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-1 2008-4 pp. 55-58
- 1399 特集 ; ケータイ世界——ケータイが変えるもの 携帯の普及に見る若者文化の到来 現代若者言葉
と老若共同参画社会の可能性 (加藤主税)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-5 2008-4 pp. 66-75
- 1400 特集 ; 敬語とコミュニケーションの現在——若者のコミュニケーションにおける配慮の現れ方 (辻
大介)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 64-73
- 1401 大阪方言話者の用いる東京アクセント 動詞の後接形式のタイプ別の検討 (出野晃子)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp. 235-254
- 1402 在日中国人の言語使用 挨拶場面について (王秀芳)
国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 68-81
- 1403 接触場面における協働過程の変化に関する考察 母語話者の意識的処理と行動を中心にして (熊井
浩子)

- 静岡大学国際交流センター紀要 2 2008-3 pp.1-22
- 1404 情報通信基盤による多言語環境支援の可能性について 「言語グリッド」構築の実践とその思想 (喜多千草)
多言語多文化 実践と研究 (東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター) 1 2008-3 pp.77-100
- 1405 母語と母国語の相克 在日朝鮮人の言語経験 (徐京植)
東京経済大学人文自然科学論集 126 2008-11 pp.33-55
- 1406 多文化共生を目指したコミュニティ教育研究 (星野洋美)
常葉学園大学研究紀要 教育学部 28 2008-3 pp.95-114
- 1407 ニューカマー支援からコミュニティづくりへ 「語りそして聞く」関係の構築 (中島葉子)
名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学 54-2 2008-3 pp.157-168
- 1408 日系ブラジル子弟のための日本語教科書に見られるポルトガル語借用 (伊志嶺安博)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp.203-212
- 1409 教育機関外で日本語を学ぶ外国人語学教師の自律学習 (吉田愛子)
日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp.137-146
- 1410 韓国高年層日本語の否定表現からみる第二言語の保持 (黄永熙)
阪大日本語研究 (大阪大学大学院) 20 2008-2 pp.119-150
- 1411 小笠原諸島と英語文学研究 <研究>についての覚え書き (斎藤一)
文芸言語研究・文芸篇 (筑波大学大学院) 54 2008-10 pp.15-26
- 1412 接客場面における日本語の語用論について 中国人、韓国人留学生のロールプレイによる談話分析 (木村直美)
山口国文 (山口大学人文学部国語国文学会) 31 2008-3 pp.82-74
- 1413 北関東圏の外国人集住地域における課題 国交省による基礎調査及び地域環境調査から (宮崎里司)
早稲田日本語教育学 (早稲田大学) 2 2008-5 pp.1-14
- 1414 日本国内接触場面のフォリナー・トーク使用に関する一考察 非母語話者日本語教師の会話調査を通して (辛銀眞)
早稲田日本語教育学 (早稲田大学) 3 2008-9 pp.25-38
- 1415 日本語と朝鮮語の接触について サハリン朝鮮人 2 世の事例 (金美貞)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 23 2008-12 pp.15-28
- 1416 Yamamoto, Masayo : Language Use in Interlingual Families ; Do different languages make a difference?
International Journal of the Sociology of Language (IJSL) 189, 2008 pp.133-148
- 1417 Fujioka, R. Ken : Language and Its Impact on the Nikkei during the Internment Years.
恵泉女学園大学紀要 20, 2 2008 pp.203-226
- 1418 한영옥 : 다문화 가정의 언어사용에 관한 연구 ; 한일 국제결혼가정을 중심으로.
日本研究 (中央大學校日本研究所) 25, 8 2008 pp.91-117

- 1419 Shoji, Hiroshi : Is Japan a Multilingual Society? Transnational Migration in East Asia: Japan in a Comparative Focus——Multicultural Japan?
国立民族学博物館調査報告 77, 3 2008 pp.103-111
- 1420 特集；言語権とは何か 多言語時代を生きるために——外国人への「言語保障」 対等・平等な社会参加のために (山田泉)
言語 (大修館書店) 37-2 2008-2 pp.76-83
- 1421 特集；相互行為における言語使用 会話データを用いた研究——「第二言語で話す」ということ カタカナ英語の使用をめぐる (細田由利)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp.146-157
- 1422 特集；地域におけるニューカマー支援と連携 異文化間教育学の視座から——地域におけるニューカマー支援と連携 異文化間教育学の視座から (徳井厚子)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 28 2008-7 pp.2-9
- 1423 〃——ニューカマー支援 NPO と学校・教委・行政の連携 神戸の事例より (野津隆志)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 28 2008-7 pp.10-20
- 1424 〃——異文化間教育学からみたニューカマーの支援と連携 関係性に注目して (佐藤郡衛)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 28 2008-7 pp.44-51
- 1425 特集；日本語のスタイル その表現力と創造性——関西若年層にみる東京語の使用 (高木千恵)
言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp.46-51
- 1426 単言語使用者の個人言語管理 多言語使用者の個人言語管理との比較から (石田由美子)
桜美林言語教育論叢 (桜美林大学言語教育研究所) 4 2008-3 pp.109-124
- 1427 日本人イメージの形成に対する直接経験の影響 韓国人大学生の場合 (呉正培)
言語科学論集 (東北大学大学院) 12 2008-12 pp.61-72
- 1428 男女の一人称代名詞における「本人の意識」と「社会的期待」との比較 相手が初対面の人の場合を中心に (金秀容)
ことば (現代日本語研究会) 29 2008-12 pp.37-53
- 1429 特集；敬語研究のフロンティア——記憶モデルによる敬語意識の変化予測 (横山詔一；朝日祥之；真田治子)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp.64-75
- 1430 現代の青少年の友人関係のコミュニケーションに関する一考察 排他的コミュニケーションを題材にして (広内裕子)
園田学園女子大学論文集 42 2008-1 pp.167-180
- 1431 「まじめ」の原型意味論 大学生質問紙調査に見られる規範意識 (山中信彦；安田美幸)
日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp.31-52
- 1432 香川県東讃地域における高校生の方言意識 (村上敬一)
文林 (神戸松蔭女子学院大学) 42 2008-3 pp.59-74
- 1433 宮崎語話者と東京語話者のイメージ(1) 宮崎県都城市の調査から (早野慎吾)
宮崎大学教育文化学部紀要 人文科学 18 2008-3 pp.43-51

- 1434 日本人の「間」意識 言語行動を中心に (劉金釗 ; 冯裕智)
武蔵野学院大学大学院研究紀要 1 2008-4 pp. 45-54
- 1435 終助詞 ‘‘よ’’ と ‘‘ね’’ の発話が発話者の印象に及ぼす効果 (福島和郎 ; 岩崎庸男 ; 渋谷昌三)
目白大学心理学研究 4 2008-3 pp. 75-83
- 1436 話題・親疎関係と「配慮」の関わり 現代大学生の言語意識調査に基づく「嘘」と「本音」(伊藤由希子)
早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 83-95
- 1437 婉曲用法としてのカモシレナイと視点 (国沢里美)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 37 2008-5 pp. 5-18
- 1438 Ohara, Yumiko : Trivialization, Generalization, and Semanticization in the Representation of ‘‘Comfort Women’’ Issues; The Case of Abe Shinzo, the Former Prime Minister of Japan.
語用論研究 (日本語用論学会) 10, 12 2008 pp. 38-53
- 1439 김은옥 : 젠더스테레오타입표현에 대한 의식조사.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp. 611-625
- 1440 特集 ; 2008 年「春の研究発表」——『目線』『立ち上げる』も日常語に 平成 19 年度「ことばのゆれ」全国調査から (塩田雄大 ; 太田真希恵 ; 山下洋子)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-6 2008-6 pp. 38-54

(言語障害)

- 1441 聴覚障害ソーシャルワークの専門性・独自性と課題 (原順子)
IBU 四天王寺大学紀要 大学院・人文社会学部・教育学部・経営学部・短期大学部 46
2008-9 pp. 139-151
- 1442 視覚障害者問題の特質と支援上の諸課題 (柏倉秀克)
桜花学園大学人文学部研究紀要 [CD-ROM 版] 10 2008-3 pp. 19-35
- 1443 〈総説〉聴覚情報処理障害 (APD) について (福島邦博 ; 川崎聡大)
音声言語医学 (日本音声言語医学会) 49-1 2008-1 pp. 1-6
- 1444 小舌症と小下顎症を伴う 1 症例の構音の検討 下顎歯列弓拡大後の変化について (和田満美子 ; 阿部雅子 ; 松崎雅子 ; 森良之 ; 須佐美隆史 ; 高戸毅)
音声言語医学 (日本音声言語医学会) 49-1 2008-1 pp. 14-22
- 1445 エレクトロパラトグラフィ (EPG) 臨床活用に向けた日本語音韻目標パターンの作成と構音点の定量的評価指標の算定 (藤原百合 ; 山本一郎 ; 前川圭子)
音声言語医学 (日本音声言語医学会) 49-2 2008-4 pp. 101-106
- 1446 日常場面における耳掛け型遅延聴覚フィードバック装置の有効性 成人吃音 1 症例を対象に (酒井奈緒美 ; 森浩一 (音声言語医学) ; 小沢恵美 ; 餅田亜希子)
音声言語医学 (日本音声言語医学会) 49-2 2008-4 pp. 107-114
- 1447 失語症者の能動的態度に関する検討 評価表の作成を試みて (前岡恵美)
音声言語医学 (日本音声言語医学会) 49-4 2008-10 pp. 248-253

- 1448 いわゆる‘脳トレーニング’によって語音明瞭度の改善した感音性難聴症例（五島史行；矢部はる奈）
音声言語医学（日本音声言語医学会）49-4 2008-10 pp. 273-276
- 1449 オープンカレッジにおける知的障害者と大学生との共同学習 話し合い場面における発話率の分析を中心に（杉山章；滝吉美知香；野崎義和；鈴木恵太；北洋輔；田中真理；川住隆一）
教育ネットワークセンター年報（東北大学大学院教育学研究科）8 2008-3 pp. 13-24
- 1450 情報教育における聴覚障害者支援取り組み（釜賀誠一）
尚絅学園研究紀要 B. 自然科学編 2 2008-3 pp. 43-53
- 1451 認知症高齢者の脳機能賦活に及ぼす学習者・学習療法スタッフ間コミュニケーション活動の影響
コホート研究（田島信元；長沼君主；石毛順子）
白百合女子大学研究紀要 44 2008-12 pp. 129-145
- 1452 〈調査〉視覚障害学生の学習教材に関する調査 教科書、参考書の現状と希望教材に関するアンケート調査（吉田次男）
筑波技術大学テクノレポート 15 2008-3 pp. 125-130
- 1453 母音のエネルギー一定常部抑圧による高齢者に対する音節強調の検討（小林敬；安啓一；程島奈緒；荒井隆行；進藤美津子）
日本音響学会誌 64-5 2008-4 pp. 278-289
- 1454 〈資料〉失語症者の談話書字障害の改善過程（柴崎光世；川北淳一郎；吉田律子）
明星大学心理学年報 26 2008-3 pp. 57-63
- 1455 特集；コミュニケーションの身体性 からだは何を伝えるか——身体性なきコミュニケーション
アスペルガー症候群の場合（神尾陽子）
言語（大修館書店）37-6 2008-6 pp. 72-79
- 1456 〈研究ノート〉中・上級日本語学習者の聴解力を予測する語彙力と問題解決能力（前田由樹；松見法男）
留学生教育（留学生教育学会）13 2008-12 pp. 83-90

（その他）

- 1457 特集；目録の現状と未来——東京都立図書館の整理業務について 日本語資料の場合（大串純子；高井君枝）
情報の科学と技術（情報科学技術協会）58-9 2008-9 pp. 448-453

◇言語活動

- 1458 「ほめことば」と「ほめる」の概念 その共通性と相違（石塚京子）
国際交流センター紀要（埼玉大学国際交流センター）2 2008-3 pp. 1-11
- 1459 <主観的把握> 認知言語学から見た日本語話者の一側面（池上嘉彦）
昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究 3 2008-3 pp. 1-6
- 1460 〈資料〉ブログにおける作者の指向性と内容・コミュニケーションとの関連（三浦麻子；松村真宏；北山聡）
心理学研究（日本心理学会）79-5 2008-12 pp. 446-452

- 1461 言語表現に基づく情報の解釈 合成・変成・再成 (高本條治)
上越教育大学国語研究 22 2008-2 pp.14-31
- 1462 事態に対する話者の期待と感情・評価的意味 理想化認知モデルの観点からの考察 (鈴木智美)
東京外国語大学留学生日本語教育センター論集 34 2008-3 pp.27-42
- 1463 〈研究報告〉コトバ送りとコトバ受け 表現と理解 (田中積)
日本のコトバ (日本コトバの会) 27 2008-12 pp.53-50
- 1464 Suzuki, Satoko : Expressivity of Vagueness ; Alienation in the Verb-*tari suru* Construction.
Japanese Language and Literature(JLL)42-1, 4 2008 pp.157-169
- 1465 特集 ; 敬語とコミュニケーションの現在——ネット社会と〈天使的〉コミュニケーション (山内志朗)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp.74-81
- 1466 特集 ; 日本語のスタイル その表現力と創造性——スタイルの使い分けとコミュニケーション (渋谷勝己)
言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp.18-25
- 1467 〃——依頼と謝罪における働きかけのスタイル (熊谷智子)
言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp.26-33
- 1468 〃——コミュニケーション・文法とキャラクターの関わり (金田純平 ; 沢田浩子 ; 定延利之)
言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp.52-59
- 1469 〃——音声による人物像の表現と知覚 (勅使河原三保子)
言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp.60-65
- 1470 〃——汗と涙のシンデレラ サクセス・ストーリーの語り方 (山口治彦)
言語 (大修館書店) 37-1 2008-1 pp.66-71
- 1471 〈研究ノート〉日常出会う理不尽な表現(2) (原不二夫)
アカデミア 文学・語学編 (南山大学) 84(295) 2008-6 pp.95-108
- 1472 ポライトネス理論から見た言語行為 FFA 概念の導入をめぐって (大塚陽子)
言語・文学研究論集 (白百合女子大学言語・文学研究センター) 8 2008-3 pp.1-13
- 1473 「お疲れ」系あいさつの使用場面の拡大 (倉持益子)
言語と交流 (言語と交流研究会) 11 2008-6 pp.37-49
- 1474 特集 ; 敬語研究のフロンティア——「あいさつ」における言語運用上の待遇関係把握 (中西太郎)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp.76-90
- 1475 日本人学生と台湾人学生に見られる敬語誤用の傾向について (黄佩柔)
フェリス女学院大学日文学部紀要 15 2008-3 pp.1-10
- 1476 「お疲れさま」系あいさつの意味の希薄化と拡大 職場での使い方を中心に (倉持益子)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp.65-74
- 1477 日本語話者による相互行為ストラテジーとしての発話行為連鎖構成 (生田少子)
明治学院大学英米文学・英語学論叢 122 2008-12 pp.99-139
- 1478 「待遇コミュニケーション」における「敬語」の捉え方 (蒲谷宏 ; 金東奎 ; 高木美嘉 ; 吉川香緒子)

- 早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 71-82
- 1479 Ohashi, Jun : Linguistic Rituals for Thanking in Japanese ; Balancing Obligations.
Journal of Pragmatics 40-12, 12 2008 pp. 2150-2174
- 1480 特集 ; 敬語とコミュニケーションの現在——話題の選択と展開に見るポライトネス ディスコース
レベルから捉えた相互行為 (三牧陽子)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 32-42
- 1481 〃——伝達の構図にはまらない丁寧さ (定延利之)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 51-61
- 1482 〃——「アサーション」という技法 (平木典子)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 82-87
- 1483 手話も「言語」の一つとする (北村一親)
アルテス リベラレス Artes Liberales (岩手大学人文社会科学部紀要) 82 2008-7
pp. 17-42
- 1484 CMC における感情表現記号の機能に関する考察 (尹祥漢)
国文学攷 (広島大学国語国文学会) 200 2008-12 pp. 15-29
- 1485 指文字学習における認知的変化についての 3 刺激 oddball 課題を用いた検討 (渡辺有香 ; 松本秀彦 ;
諸富隆)
作新学院大学人間文化学部紀要 6 2008-3 pp. 21-32
- 1486 (研究ノート) 盲聾者の指点字と触手話 (近藤碩二)
四国大学紀要 A 人文・社会科学編 B 自然科学編 29 2008-3 pp. 189-192
- 1487 情報・理数点訳ネットワークの開設 重度の視覚障害を持つ大学生等の学習環境の改善を目指して
(長岡英司 ; 大武信之 ; 辰巳公子 ; 光岡裕一 ; 小野瀬正美 ; 納田かがり)
筑波技術大学テクノレポート 15 2008-3 pp. 37-40
- 1488 (解説) 日本点字における医療用語の表記法の研究 文節分から書きの原則について (和久田哲司 ;
光岡裕一)
筑波技術大学テクノレポート 15 2008-3 pp. 209-212
- 1489 日本手話の動詞における人称標示 (神庭真理子)
東京大学言語学論集 27 2008-9 pp. 129-144
- (話す, 聞く)
- 1490 終助詞「ぜ」の機能再考 独話場面での用法を中心に (中崎崇)
STUDIUM; Linguarum et culutuuum mundi (大阪大学大学院) 35 2008-4 pp. 36-50
- 1491 国文学研究範囲の拡大について 小泉総理大臣の演説 (岩下紀之)
愛知淑徳大学論集 文学部・文学研究科篇 33 2008-3 pp. 112-92
- 1492 終助詞「ね」「よ」「よね」の会話における機能についての考察 (中田一志)
大阪樟蔭女子大学日本語研究センター報告 15 2008-3 pp. 35-58
- 1493 「から」の文末表現の種々 (楊宏華)
研究会報告 (日本語文法研究会) 27 2008-3 pp. 5-22

- 1494 日本語のとりたて助詞と並列助詞の接点 「も」と「とか」の用法を中心に (中俣尚己)
言語文化学研究 言語情報編 (大阪府立大学) 3 2008-3 pp.153-176
- 1495 参加者の発話からみた会話への参加のしかたの違い 多様な人間関係の4人によるカフェでの自由
会話の分析 (大場美和子)
国語国文学誌 (広島女学院大学日本文学会) 38 2008-12 pp.1-16
- 1496 言語行動としての高校野球・選手宣誓 スポーツ言語文化論の事例研究 (陣内正敬)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp.339-355
- 1497 会話参加者によるFTA バランス探求行動 (三牧陽子)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp.125-138
- 1498 インストラクションの組織化 マルチモダリティと「共同注意」の観点から (岡田みさを; 柳町智
治)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp.139-150
- 1499 会話セッションの進展に伴う発話の変化 Verbal Response Modes の観点から (小川一美)
社会心理学研究 (日本社会心理学会) 23-3 2008-2 pp.269-280
- 1500 会話者のコミュニケーション参与スタイルを指し示すCOMPASS (藤本学)
社会心理学研究 (日本社会心理学会) 23-3 2008-2 pp.290-297
- 1501 小集団討論場面の相互行為にみる「司会者」の役割化 (徳井厚子)
信大国語教育 (信州大学国語教育学会) 18 2008-11 pp.1-7
- 1502 相互行為空間における参与フレームの形成と維持 医療面接の場面を中心にして (高永茂)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp.1-10
- 1503 会話において「意味」を問うということ (田中妙子)
日本語と日本語教育 (慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター) 36 2008-3 pp.
35-47
- 1504 日本語における<共同主観的>特徴と文法現象 認知言語学の観点より (守屋三千代)
日本語日本文学 (創価大学日本語日本文学会) 18 2008-3 pp.37-48
- 1505 独話における助詞「ネ」の伝達機能 (チューシー, アサダーユット)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp.156-172
- 1506 会話文における「から」の用法 因果関係を表わす文の派生文 (楊宏華)
日本文学論集 (大東文化大学大学院) 32 2008-3 pp.68-60
- 1507 二人の司会者がいるテレビ番組の会話分析 発話の交替・発話の衝突に注目して (川井章弘)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp.1-14
- 1508 講義の談話の話段と全体的構造 (佐久間まゆみ)
表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp.5-14
- 1509 受講者の解釈のゆれから見た講義の談話のレトリック (高橋淑郎)
表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp.15-23
- 1510 講義談話における姿勢、無意味な動作、身ぶりについて (ザトラウスキー, ポリー)
表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp.24-37

- 1511 講義研究の現状と課題 (石田敏子)
表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp. 38-42
- 1512 講義の「話段」におけるスピーチ・レベル・シフトの統括機能 (鈴木香子)
表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp. 43-52
- 1513 要約文における講義の「話段」のパラフレーズ (朴恵煥)
表現研究 (表現学会) 88 2008-10 pp. 53-63
- 1514 日常会話の中のパワーマネジメント (町田佳世子)
北海道東海大学紀要 人文社会科学系 20 2008-3 pp. 35-49
- 1515 独話と対話の連続性について考える (岡田祥平)
龍谷大学国際センター研究年報 17 2008-3 pp. 3-20
- 1516 役割理論と対話分析 (盧青; 米田頼司)
和歌山大学教育学部紀要 人文科学 58 2008-2 pp. 15-25
- 1517 ビジネス関係者のスピーチレベルシフトの要因について 初対面二者の会話から (福島恵美子)
早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 59-70
- 1518 対話における「カナ」の談話機能 (高橋恭子)
東呉日語教育學報 (東呉大學) 31 2008-7 pp. 30-56
- 1519 Saft, Scott : Some Linguistic Resources for Arguing, Japanese Style.
語用論研究 (日本語用論学会) 10, 12 2008 pp. 54-70
- 1520 シリーズ; 私とことば——「対話」の力 (平田オリザ)
AJALT; Association for Japanese Language Teaching (日本語普及協会) 31 2008-6
pp. 4-9
- 1521 特集; ことばと空間 言語に表れる身体性——空間参照枠は会話の中でいかに構成されるか (細馬
宏通)
言語 (大修館書店) 37-7 2008-7 pp. 27-35
- 1522 特集; 相互行為における言語使用 会話データを用いた研究——相互行為の資源としての投射と文
法 指示詞「あれ」の行為投射的用法をめぐって (林誠)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 16-28
- 1523 〃——会話分析を通しての「分裂文」再考察 「私事語り」導入の「～のは」節 (森純子)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 29-41
- 1524 〃——相互行為における協調の問題 相互行為助詞「ね」が明示するもの (森田笑)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 42-54
- 1525 〃——相互行為を整序する手続きとしての受け手の反応 治療的面接場面で用いられる「はい」を
めぐって (高木智世)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 55-69
- 1526 〃——「なにかが欠けている発話」に対する他者開始修復 会話の事例から「文法項の省略」を再
考する (鈴木佳奈)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 70-82

- 1527 〃——発言順番内において分散する文 相互行為の焦点としての反応機会場 (西阪仰)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 83-95
- 1528 〃——指示者が開始する認識探索 認識と進行性のやりくり (串田秀也)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 96-108
- 1529 〃——阿吽の呼吸 暗示的談話の生成 (田中博子)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 109-120
- 1530 〃——選ばれていない参加者が発話するとき もう一人の参加者について言及すること (初鹿野阿
れ; 岩田夏穂)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 121-134
- 1531 〃——糸口質問連鎖 (戸江哲理)
社会言語科学 (社会言語科学会) 10-2 2008-3 pp. 135-145
- 1532 特集; 話し言葉の日本語——総論 話し言葉の性質 (伝康晴)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 34-43
- 1533 〃——話し言葉の語彙と文法 助詞「も」の機能と会話 (沢田美恵子)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 161-167
- 1534 話し言葉の談話における引用の特徴的な型 その種類、機能と成立背景 (加藤陽子)
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要 31 2008-9 pp. 20-43
- 1535 談話の展開とあいづちを誘導する語句 「共話」の底にあるもの (水谷信子)
応用言語学研究 (明海大学大学院応用言語学研究科紀要) 10 2008-3 pp. 143-154
- 1536 「だって」の意味 「埋める」という接続関係 (大津隆広)
言語科学 (九州大学大学院言語文化研究院言語研究会) 43 2008-3 pp. 77-86
- 1537 日本語疑問語疑問文の構文パターンと文末イントネーションとの意味的(不)一致 (渡辺信; 赤沢美
佳)
言語と文明 (麗沢大学大学院言語教育研究科論集) 6 2008-3 pp. 49-60
- 1538 「ではないか」の断定用法 (張雅智)
国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 54-67
- 1539 〈研究ノート〉文末表現「ッテ」の機能 (平田真美)
国際交流センター紀要 (埼玉大学国際交流センター) 2 2008-3 pp. 53-59
- 1540 「ワザワザ」と「セツカク」の語用効果 ポライトネス理論からの一考察 (徳永美暁)
昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究 3 2008-3 pp. 7-21
- 1541 「ほんとう」の意味・機能について (山本裕子)
人文学部研究論集 (中部大学) 19 2008-1 pp. 125-137
- 1542 聞き手の発する「ソ系」のあいづち表現の使用に関する一考察 「そっか」と「そうなんだ」を中
心に (チョイ, ウォンキョン(マリア))
南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 21-42
- 1543 談話中に現れる間投詞アノ(一)・ソノ(一)の使い分けについて (堤良一)
日本語科学 (国立国語研究所) 23 2008-4 pp. 17-35

- 1544 行為指示談話における直接形式の使用 自治会活動での一事例 (牧野由紀子)
日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp. 5-28
- 1545 『日本語話し言葉コーパス』に基づく言い直し表現の機能的分析 (丸山岳彦)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 121-139
- 1546 話しことばの一語文と談話資料の性格 (石川創)
早稲田大学大学院文学研究科紀要 第 3 分冊 53 2008-2 pp. 5-16
- 1547 発話行為の多チャンネル性と発話場面の主体 (杉村洋平)
早稲田大学大学院文学研究科紀要 第 4 分冊 53 2008-2 pp. 145-156
- 1548 講義と雑談の談話における提題表現の比較 (河内彩香)
早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 47-58
- 1549 Sasamoto, Ryoko : Japanese Discourse Connectives *dakara* and *sorede* ; A Re-assessment of Procedural Meaning.
Journal of Pragmatics 40-1, 1 2008 pp. 127-154
- 1550 Takeuchi, Michiko : Japanese Concessives ; KEDO and DEMO in Utterance-initial Use.
神奈川大学言語研究 言語の個別性と普遍性特集号, 3 2008 pp. 171-195
- 1551 Kim, Angela A-Jeoung : Language beyond Grammar(2) ; An Analysis of *-janai* in Japanese as a Marker that Expresses the Speaker's 'definite' Attitude—the Function of *-janai* when Stating Opinion.
日本語と日本語教育 (慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター) 36, 3 2008 pp. 77-113
- 1552 Ochiai, Rumiko : The Japanese Negative Interrogative *ja nai?* and Insubstantial Identity of Japanese Self ; On the Basis of Buddhism Philosophy.
日本女子大学紀要 文学部 57, 3 2008 pp. 99-111
- 1553 特集 ; 話し言葉の日本語——総論 話し言葉の音声 (杉藤美代子)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 8-15
- 1554 〃——話し言葉の語彙と文法 話し言葉の現場性と瞬時性 (岩崎勝一)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 130-141
- 1555 〃——話し言葉の音声 りきむ権利・りきむ義務 (定延利之)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 178-186

(書く, 読む)

- 1556 左手書字をめぐる問題 (なかのまき)
社会言語学 (「社会言語学」刊行会) 8 2008-11 pp. 61-76
- 1557 要約文産出における構成の変更に影響する要因の検討 (町田洋介)
東北大学大学院教育学研究科研究年報 56-2 2008-6 pp. 101-111
- 1558 生活環境の中の書 (影山純夫)
日本文化論年報 (神戸大学) 11 2008-3 pp. 1-12
- 1559 読み手の文章内容に対する受容性と意見文産出との関係 (大関嘉成)

東北大学大学院教育学研究科研究年報 56-2 2008-6 pp. 83-98

- 1560 メタディスコースが包括的なテキストの読解に与える効果 (深谷優子)

東北大学大学院教育学研究科研究年報 56-2 2008-6 pp. 113-120

- 1561 俳句理解における心情把握と読書経験との関連 (深谷優子)

東北大学大学院教育学研究科研究年報 57-1 2008-12 pp. 167-171

◇言語技術

- 1562 文学部共通専門教育科目『実践日本語表現法』の現状と課題 (外山敦子)

愛知淑徳大学論集 文学部・文学研究科篇 33 2008-3 pp. 71-90

- 1563 「言語学 3—国語教育史：近代国語教育史」の授業実践 教材「久田船長」を中心に (安直哉)

岐阜大学国語国文学 34 2008-1 pp. 13-18

- 1564 敬語表現教育の課題 (宮本克之)

月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 430 2008-2 pp. 46-51

- 1565 大学初年次生を対象とした読み書きの指導 (島田康行)

月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 437 2008-9 pp. 50-56

- 1566 〈研究ノート〉基礎学力の分析及び教材開発 (奥村文男; 大仏健一; 中西義子; 小田野郁子; 桂猛;

谷口るり子; 岩田正; 前川昌子; スタインマン, J.; 前川武)

国際研究論叢〈大阪国際大学紀要〉21-3 2008-3 pp. 129-147

- 1567 〈Ⅱ〉コミュニケーション能力開発について (松永満佐子)

四国大学紀要 A 人文・社会科学編 B 自然科学編 29 2008-3 pp. 175-187

- 1568 裁判員に必要な国語力とは(1) (入部明子)

日本語学 (明治書院) 27-8 2008-7 pp. 70-80

- 1569 裁判員に必要な国語力とは(2) (入部明子)

日本語学 (明治書院) 27-9 2008-8 pp. 84-95

- 1570 裁判員に必要な国語力とは(3) (入部明子)

日本語学 (明治書院) 27-10 2008-9 pp. 82-94

- 1571 裁判員に必要な国語力とは(4) (入部明子)

日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp. 74-83

- 1572 裁判員に必要な国語力とは(5) (入部明子)

日本語学 (明治書院) 27-13 2008-11 pp. 64-75

- 1573 裁判員に必要な国語力とは(6) (入部明子)

日本語学 (明治書院) 27-14 2008-12 pp. 48-59

- 1574 読み方が文章理解に及ぼす効果 音読・黙読・朗読聴取の比較 (森田愛子; 松本かすみ)

広島大学大学院教育学研究科紀要 3 教育人間科学関連領域 57 2008-12 pp. 159-166

6

- 1575 大学における日本語学指導の現状と課題 (松木正恵)

早稲田大学大学院教育学研究科紀要 18 2008-3 pp. 59-75

- 1576 小特集; 高校四年生から大学一年生へ 入学前教育・初年次教育の取り組み——日本語リテラシー

- 「言葉力」を鍛える（森下育彦）
大学時報（日本私立大学連盟）57-320 2008-5 pp. 86-91
- 1577 特集；大学生のための言語表現技法 「『伝わることば』」をどう書くか——日本語表現法の意義と今後の展望（筒井洋一）
言語（大修館書店）37-3 2008-3 pp. 18-25
- 1578 〃——工学系学生向け表現授業「日本語力教育」（塚本真也）
言語（大修館書店）37-3 2008-3 pp. 26-33
- 1579 〃——大学生の口語表現能力を伸ばす教育（荒木晶子）
言語（大修館書店）37-3 2008-3 pp. 34-41
- 1580 〃——古典レトリックを生かした言語訓練（佐伯啓）
言語（大修館書店）37-3 2008-3 pp. 42-49
- 1581 〃——総合的コミュニケーションの探究 日本語教育からのアプローチ（門倉正美）
言語（大修館書店）37-3 2008-3 pp. 60-66
- 1582 特集；表現よみと記号づけの実践——表現よみとコトバの力 夏のコトバ総合勉強会・基調講演（渡辺知明）
日本のコトバ（日本コトバの会）27 2008-12 pp. 2-21
- 1583 〈講演〉今日から身につく知的な話し方（樋口裕一）
研究紀要（日本大学文理学部人文科学研究科）75 2008-3 pp. 1-23
- 1584 大学生の音声に関する意識と行動 音声表現訓練の効果における社会人との比較を通して（平野美保）
名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学 54-2 2008-3 pp. 85-94
- 1585 論述能力をいかにして涵養するか 実践と視点（田中宗孝）
日本法学（日本大学）74-2 2008-7 pp. 671-699
- 1586 「漢字の書き取り」から見えるもの(3)（岡内弘子）
香川大学教育学部研究報告 1130 2008-10 pp. 1-10
- 1587 論理リテラシーを高める論文表現演習（細谷美代子）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）431 2008-3 pp. 48-53
- 1588 引用と段落をめぐる閑話（工藤力男）
成城国文学（成城大学成城国文学会）24 2008-3 pp. 64-73
- 1589 日本語文章指導に使用される「中心文」という用語の持つ問題点（田島ますみ；佐藤尚子；小林佳代子）
中央学院大学人間・自然論叢 26 2008-1 pp. 107-119
- 1590 説明的文章の産出における練習方法の比較（岸学；吉川愛弓）
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp. 125-132
- 1591 日本の大学におけるライティングセンターの役割とその可能性（伊藤奈賀子）
名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学 55-1 2008-9 pp. 131-143
- 1592 大学における文章作成支援と初等中等国語「書くこと」教育の課題に関する考察（矢部玲子）

藤女子大学紀要 第 1 部 45 2008-2 pp. 81-99

- 1593 Kobayashi, Hiroe : Task Response and Text Construction across L1 and L2 Writing ; Japanese Overseas High School Returnees.

人間科学研究 (広島大学大学院総合科学研究科紀要 1) 3, 12 2008 pp. 11-27

- 1594 特集 ; 大学生のための言語表現技法 ‘‘伝わることば’’ をどう書くか——書くことから拓ける世界 (向後千春)

言語 (大修館書店) 37-3 2008-3 pp. 50-55

- 1595 〃——論理と説得 詭弁のすすめ (野内良三)

言語 (大修館書店) 37-3 2008-3 pp. 68-75

- 1596 特集 ; 表現よみと記号づけの実践——文章力を高める読書法 (佐藤桂子)

日本のコトバ (日本コトバの会) 27 2008-12 pp. 25-28

- 1597 特集 ; 文章勉強のすすめ——文章を書くことの幸福 ヒルティ『幸福論』『仕事の上手な仕方』(渡辺知明)

あゆみ (日本コトバの会) 64 2008-5 pp. 8-12

- 1598 特集 ; 早稲田と慶応——朗読法論争 逍遙の近代、鷗外の近代 (金井隆典)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-2 2008-2 pp. 62-69

◇言語生活史

- 1599 女子教育雑誌としての『いらつめ』 <児童文学>誕生の水脈をたどる (青木文美)

愛知教育大学大学院国語研究 16 2008-3 pp. 21-33

- 1600 字書の活用 字彙を中心として (高橋良政)

桜文論叢 (日本大学) 70 2008-1 pp. 87-102

- 1601 読書行為の主題化をめぐる 現代女性作家と平安文学の共鳴 (伊藤守幸)

学習院女子大学紀要 10 2008-3 pp. 1-17

- 1602 文字絵資料小考 『源平文字絵』紹介 (小野恭靖)

学大国文 (大阪教育大学) 51 2008-3 pp. 19-43

- 1603 <講演録>九州の地方出版 (中野三敏)

近世文芸 (日本近世文学会) 88 2008-7 pp. 61-82

- 1604 あいさつ言葉の定型化をめぐる 「おはよう」を事例とした定型化の検証 (中西太郎)

国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 82-96

- 1605 『源氏物語』と歌ことばの記憶 (土方洋一)

国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-3 2008-3 pp. 1-13

- 1606 宇治拾遺物語と評語 (野本東生)

国語と国文学 (東京大学国語国文学会) 85-7 2008-7 pp. 30-43

- 1607 <研究ノート>三百年前の中国語 「楽只堂年録」宝永二年二月五日の記事をめぐる (宮川葉子)

国際経営・文化研究 (淑徳大学国際コミュニケーション学会) 13-1 2008-11 pp. 234-226

- 1608 <オアシス>日本文化と遊びの美意識 絵画の中の文字と言葉 (藤沢紫)

- 東洋 (東洋大学通信教育部) 45-2 2008-5 pp. 107-104
- 1609 なぞなぞの後ろにあるもの (伊東玉美)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-5 2008-9 pp. 202-212
- 1610 諺画論序説 諺画の視点から日本の美術と文化を観る (時田昌瑞)
明治大学教養論集 435 2008-3 pp. 89-129
- 1611 南二淑: 일본 하이안문학에 나타난 「해질녘(夕暮れ)」.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 38, 8 2008 pp. 221-238
- 1612 特集; 「ことば」——清少納言の「ことば」意識 (赤間恵都子)
十文字国文 (十文字学園女子大学短期大学部国語国文学会) 14 2008-3 pp. 19-30
- 1613 特集; 絵を読む 文字を見る 日本文学とその媒体——院政時代の装飾経における「女人成仏」 『平家納経』のクリプトグラフィーをめぐって (ブリッセクレール碧子)
アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp. 20-31
- 1614 // ——女房奉書という媒体 (グリオーレ, パスカル)
アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp. 63-73
- 1615 // ——江戸読本に見る造本意識 (高木元)
アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp. 113-124
- 1616 // ——江戸時代のいたづら書き 文字絵を中心に (シモン=及川マリアンヌ)
アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp. 125-136
- 1617 // ——彫り師木村嘉平と筆意彫り (陳捷)
アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp. 168-180
- 1618 // ——ウィーン版『浮世形六枚屏風』の日本語活字 (小宮山博史)
アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp. 181-185
- 1619 // ——レオン・ド・ロニーの書物と『まいにちひらかなしんぶんし』に用いられた仮名活字 (府川充男)
アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp. 186-197
- 1620 特集; 漢籍と日本人(2)——江戸 種子としての『古文真宝後集』 『奥の細道』冒頭の解釈をめぐって (副島一郎)
アジア遊学 (勉誠出版) 116 2008-11 pp. 82-91
- 1621 特集; 古代文学と言語論——「名告り」考 託宣のことばと古代の文学 (吉田修作)
武蔵野文学 (武蔵野書院) 56 2008-12 pp. 8-13
- 1622 // ——古代・仏教的知性の言語認識 (山口敦史)
武蔵野文学 (武蔵野書院) 56 2008-12 pp. 21-26

□マス・コミュニケーション

◇新聞・雑誌

- 1623 近代児童雑誌『金の星』の読者意識（田中卓也）
教育学研究紀要（中国四国教育学会）〔CD-ROM 版〕53 2008-3 pp. 441-446
- 1624 マス・メディアにみられる皇室敬語 新聞と週刊誌を中心に（レスタリ, スリ・ブディ）
言語・地域文化研究（東京外国語大学大学院博士後期課程論叢）14 2008-3 pp. 173-188
- 1625 GHQ/SCAP 占領下の原爆表現 CCD(民間検閲支隊)の検閲をめぐって（岩崎文人）
国語教育研究（広島大学国語教育会）49 2008-3 pp. 1-17
- 1626 「ジェンダー」の語の登場から衰退まで 20 年間の新聞で見るその推移（遠藤織枝）
ことば（現代日本語研究会）29 2008-12 pp. 14-36
- 1627 特集；敬語研究のフロンティア——占領はどのように新聞の天皇への敬語を簡素化させたか 検閲前と出版後の皇室記事と関係者のインタビューの分析（杉森(秋本)典子）
社会言語科学（社会言語科学会）11-1 2008-8 pp. 103-115
- 1628 『読売新聞』の開化と「伝統」 三味線と学問をめぐる議論（石堂彰彦）
成蹊人文研究（成蹊大学大学院）16 2008-3 pp. 49-61
- 1629 〈シンポジウム・東海大学文学部叢書プロジェクト〉「読み物」としての新聞の魅力を探る ジャーナリスト、新聞小説、そして「万朝報」（飯塚浩一；堀啓子；辻原登；尾崎真理子/パネリスト；山城むつみ/司会）
東海大学紀要 文学部 89 2008-9 pp. 142-107
- 1630 新聞社会面・地域面の語彙 2002 年の新聞 3 紙を資料として（岸本千秋）
武庫川女子大学言語文化研究所年報 18 2008-2 pp. 21-36
- 1631 日本語表記の非言語的機能について 雑誌の用例を中心に（吉田敬）
立教大学日本語研究 15 2008-3 pp. 74-84
- 1632 강창임 : 일본 여행 잡지에 나타난 관서요리의 어휘의 특징 ; 한국 잡지에 사용된 일본요리의 어휘와의 대조를 통해.
日本研究（韓國外國語大學校日本研究所）36, 6 2008 pp. 643-664
- 1633 特集；スポーツのことば——新聞でのスポーツのことばの扱い（島津暢之）
日本語学（明治書院）27-9 2008-8 pp. 52-63
- 1634 特集；新聞はどこへ行く——新聞の文章の作り方（臼井敏男）
日本語学（明治書院）27-1 2008-1 pp. 4-11
- 1635 〃——表記の整理・統合を（関根健一）
日本語学（明治書院）27-1 2008-1 pp. 12-18
- 1636 〃——新聞における外来語の基本語化とその要因（金愛蘭）
日本語学（明治書院）27-1 2008-1 pp. 54-62
- 1637 特集；変わる紙面の表情——J 字と新レイアウトの目指すもの 組み版ルールを根本から見直し（糟谷雅章）

新聞研究 (日本新聞協会) 683 2008-6 pp. 40-43

◇放送

- 1638 徹子が黙ったとき テレビトーク番組の相互作用分析 (南保輔)
コミュニケーション紀要 (成城大学大学院) 20 2008-3 pp. 1-74
- 1639 〈エッセイ〉 交通業界の日本語 言語時評(18) (工藤力男)
成城文芸 (成城大学) 203 2008-6 pp. 28-36
- 1640 ‘‘声’’ のプロフェッショナル アナウンサーの職能の変遷 (北出真紀恵)
東海学園大学研究紀要 人文学・健康科学研究編 13 2008-3 pp. 53-69
- 1641 日本のテレビ CM 表現にみる「送り手」と「受け手」のコミュニケーション 2006 年のテレビ CM を
例として (清ルミ)
常葉学園大学研究紀要 外国語学部 24 2008-3 pp. 183-204
- 1642 〈放送用語委員会(福岡)〉 耳で聞いたときのわかりやすさ (塩田雄大)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-1 2008-1 pp. 70-71
- 1643 〈放送用語委員会(札幌)〉 よりわかりやすくするよう文章を練ろう (坂本充)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-1 2008-1 pp. 72-73
- 1644 〈放送用語委員会(名古屋)〉 あいまいにせず, 必要以上に飾らない (小板橋靖夫)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-2 2008-2 pp. 70-71
- 1645 〈放送用語委員会(東京)〉 中国の地名・人名についての再確認 (山下洋子)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-3 2008-3 pp. 100-103
- 1646 〈放送用語委員会(松山)〉 「つなぎ」のことばをきちんと使う効果 (小板橋靖夫)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-4 2008-4 pp. 76-77
- 1647 〈放送用語委員会(東京)〉 数字の書き方について (山下洋子)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-4 2008-4 pp. 78-81
- 1648 〈放送用語委員会(仙台)〉 語の意味を問い直し, 明確な表現をくふうする (太田真希恵)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-5 2008-5 pp. 88-89
- 1649 〈放送用語委員会(関東甲信越)〉 違和感を与える表現を避けるくふう (太田真希恵)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-7 2008-7 pp. 92-93
- 1650 放送用語に関する質問から (太田真希恵)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-7 2008-7 pp. 94-95
- 1651 〈放送用語委員会(広島)〉 自分が使っていることばは, 意図どおりに伝わっているのだろうか (小
板橋靖夫)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-8 2008-8 pp. 104-105
- 1652 〈放送用語委員会(東京)〉 『NHK 新用字用語辞典(第 3 版)』 「許容」の表記について (山下洋子)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-9 2008-9 pp. 86-87
- 1653 〈放送用語委員会(仙台)〉 「○○作りを行う」か「○○を作る」か (小板橋靖夫)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-12 2008-12 pp. 80-81
- 1654 〈放送用語委員会(東京)〉 深夜番組の予告表示の統一 (山下洋子)

放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-12 2008-12 pp. 82-85

1655 ニュース番組で用いられる言語の変化について (轟里香)

北陸大学紀要 32 2008-12 pp. 121-133

1656 テレビのトークコーナーを読む 同一の発話を伴わない文字テロップの実態 (設楽馨)

武庫川女子大学言語文化研究所年報 18 2008-2 pp. 37-61

1657 特集 ; スポーツのことば——放送でのスポーツのことば 外来語の扱いを中心に (塩田雄大)

日本語学 (明治書院) 27-9 2008-8 pp. 64-71

◇広告・宣伝

1658 広告分析における記号論 (下村直樹)

学園論集 (北海学園大学) 138 2008-12 pp. 79-94

1659 Tamori, Ikuhiro ; Tatsuki, Donna Hurst ; Tominaga, Hideo : Rhetorical Devices in Japanese Advertisements ; Towards a Taxonomy.

人文論集 (兵庫県立大学) 43-1/2, 3 2008 pp. 59-115

1660 特集 ; おのまとペ——広告文のオノマトペ キャッチフレーズから、ネーミングまで (岩永嘉弘)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 33-41

1661 特集 ; ネット広告と日本語——ネット広告の日本語表現 (小池康)

日本語学 (明治書院) 27-6 2008-5 pp. 4-12

1662 〃——ネット広告の非言語表現 静止画と動画 (是永論)

日本語学 (明治書院) 27-6 2008-5 pp. 14-23

1663 〃——ブログのアフィリエイト 現状と研究の可能性 (阿部二郎)

日本語学 (明治書院) 27-6 2008-5 pp. 24-35

1664 特集 ; 大学生のための言語表現技法 “‘伝わることば’” をどう書くか——話し上手な広告 (前田 巍)

言語 (大修館書店) 37-3 2008-3 pp. 76-79

◇出版・印刷

1665 謄写印刷に見られる異体字(1) (青山照男)

いわき明星大学大学院人文学研究科紀要 6 2008-1 pp. 34-46

□国語問題

◇国語問題一般

- 1666 〈研究所報告〉「福祉言語学」事始（相沢正夫）
日本語科学（国立国語研究所）23 2008-4 pp.111-123
- 1667 「標準語」の多様性を認める言説についての覚書 特に 1940 年前後に注目して（岡田祥平）
阪大日本語研究（大阪大学大学院）20 2008-2 pp.1-31
- 1668 進行する英語化と学問する言語としてのニッポン語の生き残り方法 漢字が作ったニッポン文化の強みを生かしつつ（岸本建夫）
Roomazi Sekai（日本ローマ字会）780 2008-4 pp.2-9
- 1669 吉本一：특집；다문화 사회와 한국어——일본 다문화·다언어 사회의 정책과 논의.
새국어생활 18-1, 3 2008 pp.87-103
- 1670 特集；世論調査に見る「日本人の国語力と言葉遣い」——〈座談会〉「平成一九年度国語に関する世論調査」 日本人の国語力と言葉遣い（出久根達郎；林史典；井田由美；匂坂克久/司会）
文化庁月報 481 2008-10 pp.14-21

◇言語政策

- 1671 敬語新分類の「指針」と問題点（福間康子）
九州国際大学教養研究 14-2/3 2008-3 pp.37-53
- 1672 第 22 期国語審議会答申「敬意表現」と文化審議会国語分科会答申「敬語の指針」（坂本恵）
待遇コミュニケーション研究（早稲田大学）5 2008-1 pp.103-110
- 1673 文化審議会答申「敬語の指針」ノート その沿革と位置づけ（野村敏夫）
日中言語文化〈桜美林大学紀要〉6 2008-3 pp.81-95
- 1674 敬語における認識と構造の変化 「敬語の指針(答申)」をめぐって（川岸克己）
安田女子大学紀要 36 2008-2 pp.1-12
- 1675 「敬語の指針」をめぐって（磯部佳宏）
山口大学文学会志 58 2008-2 pp.27-45
- 1676 特集；『敬語の指針』を考える——『敬語の指針』について（宮地裕）
日本語学（明治書院）27-7 2008-6 pp.4-9
- 1677 〃——『敬語の指針』を読む（甲斐睦朗）
日本語学（明治書院）27-7 2008-6 pp.10-16
- 1678 〃——『敬語の指針』についての補足・解説（陣内正敬）
日本語学（明治書院）27-7 2008-6 pp.28-37
- 1679 特集；世論調査に見る「日本人の国語力と言葉遣い」——〈文化庁提言〉国語施策と「国語に関する世論調査」（匂坂克久）
文化庁月報 481 2008-10 pp.12-13
- 1680 日本の多言語状況と「複言語主義」 来日ウズベキスタン人の多言語能力と使用領域調査から（福

島青史)

早稲田日本語教育学 (早稲田大学) 2 2008-5 pp. 29-44

◇文体・用語の問題

- 1681 暮らしの中の外来語 新聞紙面別比較を通して (佐竹秀雄)
武庫川女子大学言語文化研究所年報 18 2008-2 pp. 5-20
- 1682 仕事の中での言葉とその周辺 (久保田貢)
Roomazi Sekai (日本ローマ字会) 778 2008-2 pp. 2-7

◇文字・表記・発音の問題

- 1683 言葉の力と日本の未来 文字・活字文化推進機構の基本的考え (肥田美代子)
新聞研究 (日本新聞協会) 678 2008-1 pp. 42-45
- 1684 特集; 新聞はどこへ行く——活字文化推進プロジェクトについて (生島秀樹)
日本語学 (明治書院) 27-1 2008-1 pp. 20-26
- 1685 カナモジカイがめざすもの 漢字廃止論オボエガキ(4) (キクチカズヤ)
カナノヒカリ (カナモジカイ) 938 2008-2 pp. 15-18
- 1686 まだあるカンジのワザワイ 漢字廃止論オボエガキ(5) (キクチカズヤ)
カナノヒカリ (カナモジカイ) 939 2008-5 pp. 6-8
- 1687 カンジのためにニホンゴのカキカタがきまらない 漢字廃止論オボエガキ(7) (キクチカズヤ)
カナノヒカリ (カナモジカイ) 941 2008-11 pp. 8-9
- 1688 「常用漢字表」見直しの動き (小板橋靖夫)
放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 58-9 2008-9 pp. 64-77
- 1689 より良い学術論文を書くための学生用手引き 文化のステレオタイプを超えて (バージェス, クリス)
津田塾大学紀要 40 2008-3 pp. 103-130
- 1690 田中館愛橘・石川啄木・土岐善麿 ローマ字書き日記と和歌を中心に(1) (茅島篤)
Rômazi no Nippon (日本のローマ字社) 635 2008-3 pp. 2-3
- 1691 田中館愛橘・石川啄木・土岐善麿 ローマ字書き日記と和歌を中心に(2) (茅島篤)
Rômazi no Nippon (日本のローマ字社) 2008-4 pp. 6-8

◇国語問題の歴史

- 1692 台湾公学校初期教科書についての一考察 尋常小学読本との比較より (富田真菜)
朝日大学留学生別科紀要 5 2008-3 pp. 47-61
- 1693 台湾における名前の日本化 日本統治下の「改姓名」と「内地式命名」(植野弘子)
アジア文化研究所研究年報 (東洋大学アジア文化研究所) 42 2008-2 pp. 66-55
- 1694 対抗的公共圏の言説編制 『新高新報』日文欄をめぐる (五味渕典嗣)
大妻女子大学紀要 文系 40 2008-3 pp. 97-112
- 1695 近現代韓国の日本語教育 簡易学校について (久保田優子)
九州産業大学国際文化学部紀要 39 2008-3 pp. 123-135
- 1696 「満州国」下の対蒙古民族教育政策に関する一考察 「興安女子国民高等学校」における教育の事

- 例を中心に (劉国彬)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp. 40-45
- 1697 〈研究ノート〉届くという遂行 日本語による営為の一面 (今井祥子)
境界を越えて—比較文明学の現在 (立教比較文明学会紀要) 8 2008-3 pp. 109-120
- 1698 台湾総督府学務部の人的構成について 国家教育社との関係に着目して (山本和行)
京都大学大学院教育学研究科紀要 54 2008-3 pp. 85-96
- 1699 戦前の台湾における学校関係史料の紹介 台湾の小学校に現存する日本時代の学校関係文書類 (泉史生)
言語と交流 (言語と交流研究会) 11 2008-6 pp. 60-71
- 1700 近代学校出立時における〈声〉と〈文字〉の相剋 八重山地域の場合 (村上呂里)
言語文化論叢 (琉球大学言語文化研究会) 5 2008-3 pp. 35-62
- 1701 写生のイデオロギー 坂本四方太、声を写す (杉田智美)
甲南女子大学研究紀要 文学・文化編 44 2008-3 pp. 53-59
- 1702 国語としての日本語から言語としての日本語へ 戦前から戦後に至るまでの台湾人の日本語観に関する一考察 (1895~1946 年) (許時嘉)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 105-126
- 1703 日本統治下の朝鮮における転向者と思想「善導」の構図 (永島広紀)
佐賀大学文化教育学部研究論文集 12-2 2008-1 pp. 374-348
- 1704 『セウル・プレス』 (*The Seoul Press*) と朝鮮植民地統治政策の一考察 (李修京; 朴仁植)
東京学芸大学紀要 人文社会科学系 159 2008-1 pp. 121-129
- 1705 日本の南方占領地「ビルマ」における日本語教育 (川名巻)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 83 2008-9 pp. 65-74
- 1706 「国語」と「国家」 近代日本の言語政策 (中島和男)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 281-298
- 1707 玄海灘を横断する「読書」 植民地主義を超えた「文化接変」の可能性へ (千政煥; 高榮蘭/訳)
文学 隔月刊 (岩波書店) 9-6 2008-11 pp. 108-126
- 1708 新資料による前島密の漢字廃止建白書の再検討 (町泉寿郎)
文学・語学 (全国大学国語国文学会) 190 2008-3 pp. 10-19
- 1709 方言札の使用形態 沖縄本島における体験者世代への調査から (志村文隆)
宮城学院女子大学研究論文集 107 2008-12 pp. 27-45
- 1710 金時鐘の日本語表現 『猪飼野詩集』を中心に (浅見洋子)
百舌鳥国文 (大阪府立大学日本言語文化学会) 19 2008-3 pp. 55-72
- 1711 朝鮮半島における国語教育史についての考察 (朴校熙)
横浜国大国語教育研究 (横浜国立大学国語教育研究会) 29 2008-10 pp. 39-49
- 1712 1930 年代台湾文学における言語問題について 郷土文学論争から『台湾文芸』へ (垂水千恵)
横浜国立大学留学生センター教育研究論集 15 2008-3 pp. 21-31
- 1713 近現代日本の漢字政策 (沖森卓也)

立教大学日本語研究 15 2008-3 pp. 85-94

1714 皇室と国字改革 (茅島篤)

Roomazi Sekai (日本ローマ字会) 777 2008-1 pp. 2-4

1715 田中館愛橘と田丸卓郎の国語・国字問題 (たなかみのる)

Roomazi Sekai (日本ローマ字会) 781 2008-5 pp. 7-12

1716 国語・国字政策のながれ (Simizu, Masayuki)

Rômazi no Nippon (日本のローマ字社) 2008-1 pp. 10-12

1717 〈研究ノート〉近現代日本「国語」的發明 國民國家的興起與語言的關係 (張彧啓; 高橋李玉香)

日本學刊 (香港日本語教育研究会) 12 2008-6 pp. 74-82

1718 민병찬: 일제강점기 조선에서의 일본어 표기법에 대하여; 국정교과서와의 비교를 중심으로.

日本學報 (韓國日本學會) 74-1, 2 2008 pp. 47-60

1719 特集; 『源氏物語』 危機の彼方に——『源氏物語』のポストコロニアリズム 植民地の文教政策と源氏物語・台湾篇 (斎藤正志)

国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-5 2008-5 pp. 192-198

1720 〃——『源氏物語』のポストコロニアリズム 植民地の文教政策と源氏物語・朝鮮篇 (金榮心)

国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-5 2008-5 pp. 199-206

1721 特集; 地方の文学——沖縄編 「オキナワの少年」を探る <南>への道はひらかれたか (村上呂里)

国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-10 2008-7 pp. 68-81

1722 連載; (4・最終回)——標準語励行 (比嘉辰雄)

季刊沖縄 (沖縄協会) 13-1/2 2008-4 pp. 12-16

1723 連載; 終戦直後の国語国字問題(21)——国字ローマ字化運動(4) 『国語審議会報告書』を読む(中) (甲斐睦朗)

日本語学 (明治書院) 27-1 2008-1 pp. 86-92

1724 連載; 終戦直後の国語国字問題(22)——国字ローマ字化運動(5) 『国語審議会報告書』を読む(下) (甲斐睦朗)

日本語学 (明治書院) 27-2 2008-2 pp. 82-88

1725 連載; 終戦直後の国語国字問題(23)——現代仮名遣いの定着と是非論(上) (甲斐睦朗)

日本語学 (明治書院) 27-3 2008-3 pp. 56-62

1726 連載; 終戦直後の国語国字問題(24)——現代仮名遣いの定着と是非論(中) (甲斐睦朗)

日本語学 (明治書院) 27-4 2008-4 pp. 76-83

1727 連載; 終戦直後の国語国字問題(25)——現代仮名遣いの定着と是非論(下) 小泉信三氏の批判をめぐる論 (甲斐睦朗)

日本語学 (明治書院) 27-6 2008-5 pp. 62-68

1728 連載; 終戦直後の国語国字問題(26)——志賀直哉の「国語問題」(上) (甲斐睦朗)

日本語学 (明治書院) 27-7 2008-6 pp. 60-67

- 1729 連載；終戦直後の国語国字問題(27)——志賀直哉の「国語問題」(中) (甲斐睦朗)
日本語学 (明治書院) 27-8 2008-7 pp. 62-68
- 1730 連載；終戦直後の国語国字問題(28)——志賀直哉の「国語問題」(下) (甲斐睦朗)
日本語学 (明治書院) 27-9 2008-8 pp. 76-83
- 1731 連載；終戦直後の国語国字問題(29)——国立国語研究所の創設(上) 国会の議事録を読む (甲斐睦朗)
日本語学 (明治書院) 27-10 2008-9 pp. 74-80
- 1732 連載；終戦直後の国語国字問題(30)——国立国語研究所の創設(中) (甲斐睦朗)
日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp. 66-72
- 1733 連載；終戦直後の国語国字問題(最終回)——国立国語研究所の創設(下) (甲斐睦朗)
日本語学 (明治書院) 27-13 2008-11 pp. 54-61

□国語教育

◇国語教育一般

- 1734 国語科教育の現状と今後 小さな論争でもいいから起これ (根本正義)
学芸国語教育研究 (東京学芸大学) 26 2008-12 pp. 2-7
- 1735 〈インタビュー〉今、この人に聞く (倉沢栄吉; 青山由紀/聞き手・文責; 中島寿/聞き手)
教育研究 (初等教育研究会) 63-2 2008-2 pp. 34-39
- 1736 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 27-11 2008-1 pp. 76-77
- 1737 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 27-12 2008-2 pp. 76-77
- 1738 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 27-13 2008-3 pp. 76-77
- 1739 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-1 2008-4 pp. 92-93
- 1740 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-2 2008-5 pp. 92-93
- 1741 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-4 2008-6 pp. 92-93
- 1742 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-5 2008-7 pp. 92-93
- 1743 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-6 2008-8 pp. 90-91
- 1744 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-7 2008-9 pp. 92-93
- 1745 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-8 2008-10 pp. 92-93
- 1746 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-9 2008-11 pp. 92-93
- 1747 国語教育界の動向 (富山哲也)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-10 2008-12 pp. 92-93
- 1748 〈国語教育展望〉文学教育の新しい位置づけ 感性を豊かにし、思考力を育てる文学教育へ (浜本純逸)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 432 2008-4 pp. 38-39
- 1749 〈Ⅱ〉「新学習指導要領」をどう受けとめるか (田近洵一)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 433 2008-5 pp. 36-37
- 1750 〈Ⅱ〉人間関係を培い、人間関係に培うコミュニケーション能力の育成 (高橋俊三)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 434 2008-6 pp. 38-39

- 1751 〈〃〉国語学習指導のためのコンテクスト論（桑原隆）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）435 2008-7 pp. 36-37
- 1752 〈〃〉国語科教育のあり方を考える まず「基本」事項から（中西一弘）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）436 2008-8 pp. 36-37
- 1753 〈〃〉ある教師像に自分を見る 隠喩を読み解く国語力（小林一仁）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）437 2008-9 pp. 36-37
- 1754 〈講演〉国語教育を求めつづけて（野地潤家）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）438 2008-10 pp. 58-63
- 1755 〈〃〉「言語生活」と「言語活動」（倉沢栄吉）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）438 2008-10 pp. 64-68
- 1756 〈〃〉教科・領域の言語活動に生きる国語教育のこれから（倉沢栄吉；今村久二；小山恵美子）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）439 2008-11 pp. 16-29
- 1757 〈国語教育展望〉小・中・高等学校における古典教材提示方法の開発（世羅博昭）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）440 2008-12 pp. 36-37
- 1758 国語教育とリテラシー 池田晶子「言葉の力」に向けて（高橋大助）
国学院大学教育学研究室紀要 42 2008-3 pp. 93-103
- 1759 国語教育界展望(473)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-1 2008-1 p. 183
- 1760 国語教育界展望(474)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-2 2008-2 p. 195
- 1761 国語教育界展望(475)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-4 2008-3 p. 192
- 1762 国語教育界展望(476)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-6 2008-4 pp. 164-165
- 1763 国語教育界展望(477)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-9 2008-6 pp. 180-181
- 1764 国語教育界展望(478)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-12 2008-8 pp. 180-181
- 1765 国語教育界展望(479)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-15 2008-10 pp. 180-181
- 1766 国語教育界展望(480)（西辻正副）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-18 2008-12 pp. 170-171
- 1767 国語教育改善への視点(続)（吉原英夫）
札幌国語教育研究（北海道教育大学札幌校）16 2008-4 pp. 1-9
- 1768 国文法を利用した英文法教育の試み（小林亜希子）
島大言語文化〈島根大学法文学部紀要言語文化学科編〉25 2008-10 pp. 41-75
- 1769 特集 2；小学校の外国語活動と英語教育——国語教育と英語教育 日本語の構造と制度との関わりか

ら (森本真幸)

教育 (教育科学研究会) 58-5 2008-5 pp. 90-95

- 1770 特集 ; 「伝統的な言語文化」の授業づくり——「伝統的な言語文化」新設の背景 教育基本法と学校教育法と中教審答申 (大熊徹)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-14 2008-12 pp. 24-27
- 1771 特集 ; 学力向上のための指導開発——〈特別レポート〉フィンランド学校訪問記 (河野庸介)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-10 2008-12 pp. 54-57
- 1772 特集 ; 教育課程改善の方向——〈解説〉国語科の課題と改善の方向 (井上一郎)
初等教育資料 (文部科学省) 832 2008-3 pp. 14-17
- 1773 連載 ; これからの国語科教育(10)——「国語力の育成」重視 中教審の検討の推移(8) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-1 2008-1 pp. 127-131
- 1774 連載 ; これからの国語科教育(11)——「国語力の育成」重視 中教審の検討の推移(9) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-2 2008-2 pp. 127-131
- 1775 連載 ; これからの国語科教育(12)——「国語力の育成」重視 中教審の検討の推移(10) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-3 2008-3 pp. 127-131
- 1776 連載 ; 続・これからの国語科教育(1)——国語科改善の考え方と方向性 中教審答申(1) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-4 2008-4 pp. 127-131
- 1777 連載 ; 続・これからの国語科教育(2)——国語科改善の考え方と方向性 中教審答申(2) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-5 2008-5 pp. 127-131
- 1778 連載 ; 続・これからの国語科教育(3)——国語科改善の考え方と方向性 中教審答申(3) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-6 2008-6 pp. 127-131
- 1779 連載 ; 続・これからの国語科教育(4)——国語科改善の考え方と方向性 中教審答申(4) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-8 2008-7 pp. 127-131
- 1780 連載 ; 続・これからの国語科教育(5)——国語科改善の考え方と方向性 中教審答申(5) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-9 2008-8 pp. 127-131
- 1781 連載 ; 続・これからの国語科教育(6)——国語科改善の考え方と方向性 中教審答申(6) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-10 2008-9 pp. 127-131
- 1782 連載 ; 続・これからの国語科教育(7)——国語科改善の内容 改訂学習指導要領(1) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-11 2008-10 pp. 127-131
- 1783 連載 ; 続・これからの国語科教育(8)——国語科改善の内容 改訂学習指導要領(2) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-13 2008-11 pp. 127-131
- 1784 連載 ; 続・これからの国語科教育(9)——国語科改善の内容 改訂学習指導要領(3) (田中孝一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-14 2008-12 pp. 127-131
- 1785 連載講座 ; これからの国語教育の課題と具体化【小学校】(2)——子どもの実態から見えてくる国語教育の方向(1) (井上一郎)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-4 2008-7 pp. 109-114
- 1786 連載講座 ; これからの国語教育の課題と具体化【小学校】(3)——子どもの実態から見えてくる国語

教育の方向(2) (井上一郎)

実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-5 2008-9 pp.109-114

- 1787 連載講座; これからの国語教育の課題と具体化【小学校】(4)——「話すこと・聞くこと」の内容と系統 (井上一郎)

実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-6 2008-11 pp.109-114

- 1788 連載講座; これからの国語教育の課題と具体化【中学校】(2)——「話すこと・聞くこと」の内容 (富山哲也)

実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-4 2008-7 pp.115-120

- 1789 連載講座; これからの国語教育の課題と具体化【中学校】(3)——「書くこと」の内容 (富山哲也)

実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-5 2008-9 pp.115-120

- 1790 連載講座; これからの国語教育の課題と具体化【中学校】(4)——「読むこと」の内容 (富山哲也)

実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-6 2008-11 pp.115-120

- 1791 連載講座; 小学校学習指導要領「国語」の改訂と展開(1)——学習指導要領改訂への課題 (井上一郎)

実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-3 2008-5 pp.109-114

- 1792 連載講座; 中学校学習指導要領「国語」の改訂と展開(1)——改訂の経緯とポイント (富山哲也)

実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-3 2008-5 pp.115-120

◇国語科学習指導一般

- 1793 説明的文章におけるクリティカル・リーディングの方法 「ヤドカリとイソギンチャク」の授業について (山本茂喜)

香川大学国文研究 (香川大学国文学会) 33 2008-9 pp.1-9

- 1794 「国語科教育法」をどのように扱うか 「メタ授業」としての要素を生かすために (町田守弘)

学術研究 国語・国文学編 (早稲田大学) 56 2008-2 pp.1-14

- 1795 国語科における情報活用能力育成の考察 総合単元学習を中心に (重永和馬)

教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM版] 53 2008-3 pp.135-140

- 1796 小学校低学年国語科における「学習の手引き」の特質 国語科単元学習の実践事例の比較を通して (勝見健史)

教科書フォーラム〈中研紀要〉(中央教育研究所) 6 2008-3 pp.12-27

- 1797 〈検証・学習の手引き〉学習の価値を発見させる「手引き」(河野智文)

月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 430 2008-2 pp.32-35

- 1798 〈検証・学習指導案〉進化する学習指導案の行方 (竹長吉正)

月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 431 2008-3 pp.28-33

- 1799 〈Ⅱ〉学習者の学びをとらえる学習指導案へ (成田信子)

月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 431 2008-3 pp.34-37

- 1800 〈検証・発問〉発問研究から、「問い」を生み出す教室づくりへ (沢本和子)

月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 432 2008-4 pp.30-33

- 1801 説明的文章の学習活動の多様性とその特徴 (吉川芳則)

言語表現研究 (兵庫教育大学言語表現学会) 24 2008-3 pp.13-20

- 1802 国語科のカリキュラム開発の課題は何か 日本・フィンランドの説明的文章教育の比較考察 (滝田和也)
言文 (福島大学国語教育文化学会) 55 2008-3 pp. 29-43
- 1803 10年経験者研修「国語科指導法再考」について (吉原英夫)
札幌国語教育研究 (北海道教育大学札幌校) 17 2008-9 pp. 1-20
- 1804 作文指導を基礎とする小学校国語科教師養成カリキュラムの開発(1) 言語理論を拠点として (村井万里子)
鳴門教育大学研究紀要 [CD-ROM 版] 23 2008-3 pp. 173-185
- 1805 ことばの学びとしてのクィア 国語教育におけるクィア・スタディーズの可能性 (永田麻詠)
広島大学大学院教育学研究科紀要 1 学習開発関連領域 57 2008-12 pp. 115-122
- 1806 国語単元学習の実践的方法論に関する考察 (河野智文)
福岡教育大学紀要 1 文科編 57 2008-2 pp. 11-19
- 1807 PISA 型「読解力」や「活用力」を意識した国語科授業における授業改善 (土田恵美子 ; 菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 19 2008-9 pp. 49-78
- 1808 国語の学びを促す授業実践技量の養成 国語科教育実習生の場合 (丸山範高)
和歌山大学教育学部紀要 人文科学 58 2008-2 pp. 7-13
- 1809 特集 2 ; 知識や技能を習得し、活用、探究する学習指導の工夫——国語 知識や技能を習得し、活用、探究する国語科学習指導の工夫 (井上一郎)
初等教育資料 (文部科学省) 831 2008-2 pp. 52-63
- 1810 特集 ; 「言葉の力」を育てる——育てたい「言葉の力」とは何か (梶田叡一)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 2-10
- 1811 // ——思考と言葉の力 メタ認知の育成法 (森敏昭)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 11-16
- 1812 // ——感情のコントロール・内省力と言葉の力 (大河原美以)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 17-21
- 1813 // ——イメージとことばのちから (茂呂雄二)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 22-26
- 1814 // ——人間関係における言葉の役割 (若島孔文)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 34-38
- 1815 // ——今の子どものことばの力 (芳賀明子)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 39-43
- 1816 // ——言葉の力の不足と問題行動 (中村このゆ)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 44-48
- 1817 // ——学力の基盤としての言葉の力 (田中博之)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 65-69
- 1818 // ——体験の中で育つ言葉の力 (羽田紘一)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp. 70-74

- 1819 〃——家庭で言葉の力を育てる 読書を通して言葉の力を育てる (高橋登)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp.109-113
- 1820 特集; 学ぶ意欲を育てる授業づくり——学習者が「みんなで授業をしている」と感じる授業 (田村嘉勝)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-8 2008-10 pp.50-53
- 1821 特集; 言語活動を重視した指導の充実——〈提言〉言語活動についての言語活動を (杉戸清樹)
中等教育資料 (文部科学省) 57-5 2008-5 pp.10-13
- 1822 〃——〈論説〉知識・技能の活用で高める言語活動 (清水静海)
中等教育資料 (文部科学省) 57-5 2008-5 pp.14-19
- 1823 特集; 言語力の育成——言語力の構造と育成の課題 (甲斐睦朗)
日本語学 (明治書院) 27-3 2008-3 pp.4-8
- 1824 〃——自らの考えを深めることで、解釈や説明、評価を論述する力を伸ばす学習指導の構想 (角屋重樹)
日本語学 (明治書院) 27-3 2008-3 pp.18-27
- 1825 特集; 国語ノートの指導・ここを改善したい——これまでの国語ノート指導の問題点 子どもの状況にふさわしいノート学習であるか? (堀江祐爾)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-8 2008-7 pp.20-23
- 1826 〃——これまでの国語ノート指導の問題点 国語ノート指導の課題を探る (町田守弘)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-8 2008-7 pp.24-27
- 1827 〃——中学年の国語ノート指導の改善 ノートの指導は教師の人情味ある人間性から (渡辺知樹)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-8 2008-7 pp.44-47
- 1828 〃——中学生の国語ノート指導の改善 多様な情報を関連づけて収集・整理する力を育てる中学校ノート指導 (折川司)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-8 2008-7 pp.84-87
- 1829 特集; 国語教師の忙中閑——目を転ずる (渡辺洋子)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-6 2008-8 pp.42-45
- 1830 特集; 国語力を育てる単元学習——生活国語力を伸ばす国語活用単元 活用の場で探究・習得を (首藤久義)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 432 2008-4 pp.4-11
- 1831 〃——「ことのは」の単元開発 (松本修)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 432 2008-4 pp.24-28
- 1832 特集; 授業づくり——私の授業づくり 国語を中心に (上條晴夫)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-6 2008-6 pp.9-12
- 1833 〃——私の授業づくり 中学校国語 (岩間正則)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-6 2008-6 pp.26-29
- 1834 特集; 授業と ICT——ICT 活用によるビジュアル・コミュニケーション (桂聖)
教育研究 (初等教育研究会) 63-2 2008-2 pp.22-25

- 1835 特集；授業をデザインする力——授業デザイン力の磨き方（藤川大祐）
月刊国語教育（東京法令出版）28-7 2008-9 pp. 26-29
- 1836 〃——授業設計から授業のデザインへ（浅田匡）
月刊国語教育（東京法令出版）28-7 2008-9 pp. 30-33
- 1837 特集；新学習指導要領における指導と評価(1)——国語、社会、音楽 言語教育を重視した国語科教育の指導と評価（井上一郎）
指導と評価（日本教育評価研究会）54-9 2008-9 pp. 4-7
- 1838 連載；教師に必要な「言葉の力」を見直す(5)——表現力（森山卓郎）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-1 2008-1 pp. 104-107
- 1839 連載；教師に必要な「言葉の力」を見直す(6・最終回)——コミュニケーション力（森山卓郎）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-2 2008-3 pp. 104-107
- 1840 新学習指導要領を踏まえた授業づくり（佐藤明宏）
香川大学国文研究（香川大学国文学会）33 2008-9 pp. 10-19
- 1841 〈検証・学習指導過程〉学習指導過程を検証して、何を提案するのか（渋谷孝）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）434 2008-6 pp. 28-33
- 1842 〈〃〉学習指導過程を検証する 「話すこと・聞くこと」を中心に（藤井治）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）434 2008-6 pp. 34-37
- 1843 〈検証・自己評価〉新しい学習指導要領が求める「自己評価」の実現をめざして（堀江祐爾）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）436 2008-8 pp. 28-31
- 1844 博物学としての言語事項教育（橋本修）
筑波日本語研究（筑波大学）13 2008-12 pp. 1-12
- 1845 現代におけるメディア教育の展開と課題 『中学校学習指導要領(1998)』改訂に至る動向を中心に（滝口美絵）
広島大学大学院教育学研究科紀要 2文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 143-149
- 1846 小特集；新学習指導要領を読む(言語文化)——読書へとつなぐ伝統的な言語文化の指導（鳴島甫）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）437 2008-9 pp. 28-31
- 1847 〃——小学校国語科において言語文化を享受し継承・創造する力を育成する（寺井正憲）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）437 2008-9 pp. 32-35
- 1848 小特集；新学習指導要領を読む<A 話すこと・聞くこと>——「話すこと・聞くこと」の改訂に言語生活の向上を期待する（小久保美子）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）440 2008-12 pp. 32-35
- 1849 特集(2)；新しい教育課程の創造——国語科における新しい教育課程の創造（井上一郎）
初等教育資料（文部科学省）838 2008-9 pp. 62-73
- 1850 特集；「生きる力」をはぐくむ教育の新たな展開(1) [国語，社会(地理歴史，公民)，数学]——〈論説〉「体験」と「言語」と「生きる力」 [国語]（鳴島甫）
中等教育資料（文部科学省）57-8 2008-8 pp. 10-15

- 1851 特集；「伝統的な言語文化」の授業づくり——「伝統的な言語文化」新設の背景 外的要因としての法改正と内的要因としての学力調査（鶴田清司）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-14 2008-12 pp. 20-23
- 1852 特集；学習指導要領の改訂(1)——〈解説(3)〉小学校学習指導要領(国語科)の改訂（井上一郎）
初等教育資料（文部科学省）834 2008-5 pp. 24-35
- 1853 特集；小学校における移行期の展望と実践課題——〈解説(2)〉国語科における移行期の展望と実践課題（井上一郎）
初等教育資料（文部科学省）836 2008-7 pp. 6-9
- 1854 特集；新学習指導要領がめざすもの——国語教育(言語活動) 新しい学習指導要領における国語科のあり方（甲斐睦朗）
指導と評価（日本教育評価研究会）54-5 2008-5 pp. 18-21
- 1855 特集；新学習指導要領が分かるキーワード 16——新学習指導要領小学校「国語」どのように改訂されたか（井上一郎）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-3 2008-5 pp. 5-8
- 1856 〃——新学習指導要領中学校「国語」どのように改訂されたか（富山哲也）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-3 2008-5 pp. 9-12
- 1857 連載；言語文化と国語の特質の理解(1)——新しい[事項]の誕生（島田康行）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-3 2008-5 pp. 104-107
- 1858 連載；言語文化と国語の特質の理解(2)——伝統的な言語文化としての「古典」（島田康行）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-4 2008-7 pp. 104-107
- 1859 連載；言語文化と国語の特質の理解(3)——言語の多様な働き(1)（島田康行）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-5 2008-9 pp. 104-107
- 1860 連載；言語文化と国語の特質の理解(4)——言語の多様な働き(2)（島田康行）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-6 2008-11 pp. 104-107
- 1861 連載；新学習指導要領国語科をどう理解するか(1)——新学習指導要領の功三点 ルビ付き漢字、古典、ローマ字（野口芳宏）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-4 2008-4 pp. 117-121
- 1862 連載；新学習指導要領国語科をどう理解するか(2)——小学校英語の導入に消極的賛成 授業の時数論よりも品質改善論を（野口芳宏）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-5 2008-5 pp. 117-121
- 1863 連載；新学習指導要領国語科をどう理解するか(3)——「表現」よりも「理解」を優先したい（野口芳宏）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-6 2008-6 pp. 117-121
- 1864 連載；新学習指導要領国語科をどう理解するか(4)——「伝統的な言語文化」の教材(上) その積極的な意義と実践事例（野口芳宏）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-8 2008-7 pp. 117-121
- 1865 連載；新学習指導要領国語科をどう理解するか(5)——「伝統的な言語文化」の教材(中) 教材とし

- ての価値の検討 (野口芳宏)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-9 2008-8 pp. 117-121
- 1866 連載; 新学習指導要領国語科をどう理解するか(6)——「伝統的な言語文化」の教材(下) 世田谷区
の『日本語』(五・六年)の教材 (野口芳宏)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-10 2008-9 pp. 117-121
- 1867 連載; 新学習指導要領国語科をどう理解するか(7)——「流行」部分よりも「不易」部分への着目を
(野口芳宏)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-11 2008-10 pp. 117-121
- 1868 連載; 新学習指導要領国語科をどう理解するか(8)——言語活動の「充実」の具現を (野口芳宏)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-13 2008-11 pp. 117-121
- 1869 連載; 新学習指導要領国語科をどう理解するか(9)——敬語指導の重要性 家族間敬語の再生 (野口
芳宏)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-14 2008-12 pp. 117-121
- 1870 文科省一斉学力テスト 知識(A)と活用(B) 格差の原因はどこにあるのか(国語の場合) (板垣昭一)
教育国語 (教育科学研究会・国語部会) 4-10 2008-12 pp. 72-79
- 1871 国語力を高めるための教育方法の研究 (橋本恵子)
純真紀要 (純真女子短期大学) 47 2008-2 pp. 1-15
- 1872 特集; 国語の試験問題——「国語」の試験が測るもの 教育課程との関係から (島田康行)
日本語学 (明治書院) 27-13 2008-11 pp. 4-12
- 1873 // ——国語試験の限界と可能性 (石原千秋)
日本語学 (明治書院) 27-13 2008-11 pp. 14-21
- 1874 // ——<小論文>に求められているもの (石川巧)
日本語学 (明治書院) 27-13 2008-11 pp. 30-45
- 1875 特集; 実生活・実社会に生きる国語技能——実生活・実社会に生きる国語技能とは 「生きる力」
の具体化として (島田康行)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-1 2008-1 pp. 5-8
- 1876 // ——小学生にとっての実生活・実社会に生きる国語技能 社会的存在として生きる子どもに必要な
国語技能とは (小久保美子)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-1 2008-1 pp. 9-12
- 1877 特集; 社会の変化と国語教育の課題 いま『ことばの力』を問い直す——国語学力をこのように考
えてきた (浜本純逸)
早稲田大学国語教育研究 28 2008-3 pp. 1-10
- 1878 特集; 全員参加をめざす授業の工夫——「集団の力」を育て全員参加をめざす 国語の学力を保障
する「集団の力」と「全員参加」(阿部昇)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-1 2008-1 pp. 80-83
- 1879 特集; 評価を見直す——「目標に準拠した評価」を考える (河野庸介)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 431 2008-3 pp. 4-9

- 1880 〃——高等学校における「生徒の学習の評価」の現状と改善の方向（西辻正副）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）431 2008-3 pp. 22-27
- 1881 連載；国語力の向上 算数教育の視点から(5)——計算手続きの表現と実行（銀島文）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-1 2008-1 pp. 128-131
- 1882 連載；国語力の向上 算数教育の視点から(6・最終回)——算数・数学における記述力 全国学力・
学習状況調査の結果から（銀島文）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-2 2008-3 pp. 128-131

◇表現と理解

- 1883 入門期の論理的思考力の育成に関する考察 「どうぶつの赤ちゃん」の授業の参与観察を通して（河
野順子）
教育学研究紀要（中国四国教育学会）〔CD-ROM 版〕53 2008-3 pp. 494-499
- 1884 〈検証・マップ法〉世界標準のマップ法とは（入部明子）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）435 2008-7 pp. 28-31
- 1885 電子メディアにおけるコミュニケーション能力 合意形成の様相に注目して（上田祐二）
国語科教育（全国大学国語教育学会）64 2008-9 pp. 11-18
- 1886 国語科におけるメディア・リテラシー教育の課題 戦後視聴覚教育史の検討を手がかりとして（滝
口美絵）
国語教育研究（広島大学国語教育会）49 2008-3 pp. 97-106
- 1887 高校生のキャリア形成支援に資する国語教育のあり方に関する研究 キャリア教育に求められるコ
ミュニケーション能力の国語科での育成方法の検討（林一；野村泰朗）
埼玉大学紀要 教育学部 57-1 2008-3 pp. 109-122
- 1888 児童における手順文からの学習に及ぼすイラストの効果（久保寺佳奈；山本博樹；岸学）
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp. 135-143
- 1889 多様性からみた日本語コミュニケーションのあり方 ジェンダーからダイバーシティへ（石井三恵）
広島女学院大学論集 58 2008-12 pp. 115-133
- 1890 コミュニケーション学習における個のあり方（谷口直隆）
広島大学大学院教育学研究科紀要 1 学習開発関連領域 57 2008-12 pp. 107-114
- 1891 特集；メディアリテラシー教育の今——読む書き言葉と見る書き言葉（松山雅子）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）437 2008-9 pp. 4-9
- 1892 特集；思考力・判断力・表現力の学習活動——体験から感じ取ったことを表現する（大熊信彦）
日本語学（明治書院）27-8 2008-7 pp. 4-11
- 1893 〃——社会科と国語科の連携による言語力の育成 「事実を正確に理解し伝達する」学習活動を通
して（吉開潔）
日本語学（明治書院）27-8 2008-7 pp. 12-22
- 1894 〃——情報を分析・評価し、論述する ビジネス文書を活用する（入部明子）
日本語学（明治書院）27-8 2008-7 pp. 24-35
- 1895 特集；新聞はどこへ行く——NIE と学習活動（河村好市）

日本語学 (明治書院) 27-1 2008-1 pp. 28-38

- 1896 特集；人間関係に培うコミュニケーション能力の育成——共創的コミュニケーション能力の育成を目指して 教室コミュニケーションの構造 (山元悦子)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 434 2008-6 pp. 4-9
- 1897 特集；読解力を育てる読み書き関連学習——吟味・評価・批判という必然性が読み書き関連指導を再生する (阿部昇)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 433 2008-5 pp. 4-9
- 1898 〃——金子彦二郎の「読み書き関連学習」 昭和前期高等女学校の事例に学ぶ (田中宏幸)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 433 2008-5 pp. 22-27
- 1899 連載；言葉によるコミュニケーション能力を育てる(1)——言葉によるコミュニケーション能力を育てるために (福沢周亮)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-4 2008-4 pp. 46-49
- 1900 連載；言葉によるコミュニケーション能力を育てる(2)——幼児におけることばによるコミュニケーション能力を育てる (藪中征代)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-5 2008-5 pp. 74-77
- 1901 連載；言葉によるコミュニケーション能力を育てる(3)——小学校低学年児童における「言葉」によるコミュニケーション能力を育てる ソーシャルスキルの視点から (渡辺弥生)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-6 2008-6 pp. 56-59
- 1902 連載；言葉によるコミュニケーション能力を育てる(4)——小学校高学年児童におけることばによるコミュニケーション能力を育てる (吉田佐治子)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-7 2008-7 pp. 52-55
- 1903 連載；言葉によるコミュニケーション能力を育てる(5)——中学校生徒における言葉によるコミュニケーション能力を育てる (平沢真名子)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-8 2008-8 pp. 46-49
- 1904 連載；言葉によるコミュニケーション能力を育てる(6)——医療の場における言葉によるコミュニケーション能力を育てる (阿部幸恵)
指導と評価 (日本教育評価研究会) 54-9 2008-9 pp. 37-41
- 1905 連載；国際的なコミュニケーションをどう取り入れるか(10)——どうしたら自分の意見が言える子どもを育てられるか？ (有元秀文)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-1 2008-1 pp. 122-126
- 1906 連載；国際的なコミュニケーションをどう取り入れるか(11)——PISA 型が日本型よりも優れていることの根拠 (有元秀文)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-2 2008-2 pp. 122-126
- 1907 連載；国際的なコミュニケーションをどう取り入れるか(12)——PISA 読解力テストの得点を向上させる十の鉄則 (有元秀文)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-3 2008-3 pp. 122-126
- 1908 連載；思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(1)——思考力・判断力・表現力等の育成のため

- に(序論) どこから「思考力・判断力・表現力等」は誕生したのか(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-4 2008-4 pp.122-126
- 1909 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(2)——思考力・判断力・表現力等の育成のために “‘単独で’” 「思考力・判断力・表現力等」を育成するのか(小林茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-5 2008-5 pp.122-126
- 1910 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(3)——“‘誰が責任者なのか’”、誰が「学力低下問題」の“‘ストッパー’”なのか(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-6 2008-6 pp.122-126
- 1911 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(4)——思考力・判断力・表現力等を育成する「本時の学習指導案」 国語科の“‘二重’”の授業改善(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-8 2008-7 pp.122-126
- 1912 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(5)——思考力・判断力・表現力等を育成する「本時の学習指導案」(2) 「算数」と連携する授業改善(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-9 2008-8 pp.122-126
- 1913 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(6)——思考力・判断力・表現力等を育成する「本時の学習指導案」(3) 「理科」と連携する授業改善(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-10 2008-9 pp.122-126
- 1914 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(7)——思考力・判断力・表現力等を育成する「本時の学習指導案」(4) 「A 話すこと・聞くこと」を拠点とする授業改善(1)(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-11 2008-10 pp.122-126
- 1915 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(8)——思考力・判断力・表現力等を育成する「本時の学習指導案」(5) 「A 話すこと・聞くこと」を拠点とする授業改善(2)(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-13 2008-11 pp.122-126
- 1916 連載;思考力・判断力・表現力等の育成と授業改善(9)——思考力・判断力・表現力等を育成する「本時の学習指導案」(6) 「B 書くこと」を拠点とする授業改善(1)(小森茂)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-14 2008-12 pp.122-126
- 1917 連載;分析批評で「批評力」を育てる(1)——分析批評(井関義久)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-4 2008-4 pp.107-111
- 1918 連載;分析批評で「批評力」を育てる(2)——批評力(井関義久)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-5 2008-5 pp.107-111
- 1919 連載;分析批評で「批評力」を育てる(3)——分析力(井関義久)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-6 2008-6 pp.107-111
- 1920 連載;分析批評で「批評力」を育てる(4)——視点(1)(井関義久)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-8 2008-7 pp.107-111
- 1921 連載;分析批評で「批評力」を育てる(5)——視点(2)(井関義久)
教育科学国語教育(明治図書出版) 50-9 2008-8 pp.107-111

- 1922 連載；分析批評で「批評力」を育てる(6)——^{クリティカル・リーディング}批評読み (井関義久)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-10 2008-9 pp. 107-111
- 1923 連載；分析批評で「批評力」を育てる(7)——視点の変容 (井関義久)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-11 2008-10 pp. 107-111
- 1924 連載；分析批評で「批評力」を育てる(8)——言語文化の「序破急」 (井関義久)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-13 2008-11 pp. 107-111
- 1925 連載；分析批評で「批評力」を育てる(9)——設定 語りの条件 (井関義久)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-14 2008-12 pp. 107-111
- 1926 終助詞「よ」と「ね」の発話に対する聞き手の受けとり方 (福島和郎)
読書科学 (日本読書学会) 51-2 2008-3 pp. 66-72
- 1927 合宿型ロボット製作における中学生のコミュニケーション力の変容 パフォーマンスアセスメント
による評価を用いて (中西良文；村松浩幸；松岡守；奥村元美；吉岡利浩)
三重大学教育学部研究紀要 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学 59 2008-3 p
p. 261-268
- 1928 特集；メタ認知研究のその後の展開——教室談話を通じたメタ認知機能の育成 (秋田喜代美)
心理学評論 (心理学評論刊行会) 50-3 2008-1 pp. 285-296
- 1929 特集；全員参加をめざす授業の工夫——全員参加をめざす授業の問題点 「話す・聞く」授業で工
夫したいこと (吉永幸司)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-1 2008-1 pp. 20-23
- 1930 特集；夢・憧れ・生き方 小学校からのキャリア教育——小学生の時期に育てたいキャリア発達の
基礎 人間関係をつくる力・コミュニケーションの力を育てる (多田孝志)
児童心理 (金子書房) 62-3 2008-2 pp. 65-71
- 1931 特集；話すこと・聞くことのできる力の育成 改訂と具体化——話すこと・聞くことの改訂の意義と具
体化【小学校】 日常生活に生きて働く話す・聞く能力育成の重視 (小久保美子)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-4 2008-7 pp. 5-8
- 1932 〃——話すこと・聞くことの改訂の意義と具体化【中学校】 主体的な話し手の育成を目指す (河
野庸介)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-4 2008-7 pp. 9-12
- 1933 連載；話す力・聞く力の基礎・基本(17)——聞いたことを活用する(2) (井上一郎)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-1 2008-1 pp. 109-113
- 1934 連載；話す力・聞く力の基礎・基本(18・最終回)——話す力・聞く力 基本の基本 (井上一郎)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-2 2008-3 pp. 109-113
- 1935 国語科及び学級運営での「聴く・聞く」ことの学習論 (米谷茂則)
学芸国語教育研究 (東京学芸大学) 26 2008-12 pp. 78-66
- 1936 「聞くこと」の教育における能力観の推移 小学校学習指導要領の目標の検討を通して (藤川和也)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 127-13

- 1937 特集；「一流の聞き手」を育てる——子どものコミュニケーションは、今 優れた「聞き手」を育む
には（岩宮恵子）
教育研究（初等教育研究会）63-1 2008-1 pp. 18-21
- 1938 小学校から大学までの話し合い活動にみられる説得方略の発達過程 「だって」に導かれる理由を
手がかりに（佐々木泰子；楊虹；山本綾；会田祐子）
お茶の水女子大学人文科学研究 4 2008-3 pp. 67-74
- 1939 話し合う力を育成するための台本型手びき(1)（若木常佳）
教育学研究紀要（中国四国教育学会）〔CD-ROM 版〕53 2008-3 pp. 123-128
- 1940 「基本法」をめぐる国語力の「活用」 「話し合い」と作品の「共同批正」（村井万里子）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）432 2008-4 pp. 52-59
- 1941 「つながり」の深化の過程を重視する話し合いの授業に向けて（桜本明美）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）434 2008-6 pp. 52-59
- 1942 掘り下げて、つなぐ 授業の話し合いにおける教師のディスコース方略（小林敬一）
静岡大学教育学部研究報告 教科教育学篇 39 2008-3 pp. 223-235
- 1943 話し合い指導における学習過程上の困難点 状況的認知アプローチからみた事前・事中・事後指導
（長田友紀）
日本語と日本文学（筑波大学日本語日文学会）47 2008-8 pp. 1-12
- 1944 「対話・話し合い活動の充実」に関する歴史的考察と提言（鳴島甫）
文教大学国文（文教大学国文学会）37 2008-3 pp. 12-25
- 1945 特集；新教育課程の課題・どう受け止めるか——「発表・討論力」をどう育てるか 核となる能力
の育成の必要性（光野公司郎）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-4 2008-4 pp. 64-67
- 1946 特集；人間関係に培うコミュニケーション能力の育成——場の空気を読んで話す技能を習熟させる
提案「マイクロディスカッション」（佐藤佐敏）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）434 2008-6 pp. 16-21
- 1947 特集；双方向的な「伝え合う」活動を創る——「伝え合う」言語活動の留意点 「話し合い」の問
題点（村松賢一）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-11 2008-10 pp. 20-23
- 1948 〃——「伝え合う」言語活動の留意点 「討論」の問題点 「討論」が発見的認識・創造的認識を
つくり出す（阿部昇）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-11 2008-10 pp. 24-27
- 1949 〃——「伝え合う」言語活動の留意点 「ディベート」の問題点（甲斐雄一郎）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-11 2008-10 pp. 28-31
- 1950 特集；子どもの読書を再考する——国際学力調査 PISA における読解力と日本の子どもの読書（福田
誠治）
現代の図書館（日本図書館協会）46-1 2008-3 pp. 9-16
- 1951 特集；読むことのできる力の育成 改訂と具体化——読むことの改訂の意義と具体化【小学校】 読書

- 生活を豊かに営み効果的に読む能力・態度を育成する (寺井正憲)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-6 2008-11 pp. 5-8
- 1952 〃——読むことの改訂の意義と具体化【中学校】 改訂 6 つのポイント 意義と具体化の方向性 (高木まさき)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-6 2008-11 pp. 9-12
- 1953 文図をつかった読みの授業 「父ちゃんの凧」のばあい (佐柴信也)
教育国語 (教育科学研究会・国語部会) 4-10 2008-12 pp. 8-32
- 1954 国語の「読解」指導における児童の主体性に関する日中比較 教育課程政策と教科書の分析に焦点をあてて (李霞)
京都大学大学院教育学研究科紀要 54 2008-3 pp. 385-396
- 1955 オータナティブな学習過程を想定した学習活動 「白いぼうし」における読解と読書 (松本修)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 440 2008-12 pp. 50-57
- 1956 「よむ」学習行為論 漱石の『吾輩は猫である』の「よみ」を例として (中瀬正堯)
言語表現研究 (兵庫教育大学言語表現学会) 24 2008-3 pp. 1-12
- 1957 読む力が育つ授業作りの課題 (秋田喜代美)
言文 (福島大学国語教育文化学会) 55 2008-3 pp. 61-67
- 1958 社会科学的説明的文章の指導における「社会認識」の有効性 (中村暢)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 63 2008-3 pp. 43-50
- 1959 読解リテラシーの現代的位相 PISA2000/2003/2006 の理論的根拠に関する一考察 (中村敦雄)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 64 2008-9 pp. 27-34
- 1960 PISA 型読解力と国語授業の改善 (吉原英夫)
語学文学 (北海道教育大学語学文学会) 46 2008-3 pp. 21-30
- 1961 〈基調報告〉この教室に〈言葉〉はありますか? (丹藤博文)
日本文学 (日本文学協会) 57-12 2008-12 pp. 49-57
- 1962 説明的文章の文章構成における段落の役割に関する読者の認知の仕方についての研究 (長崎秀昭)
弘前大学教育学部紀要 100 2008-10 pp. 7-15
- 1963 第二言語教育としての日本語読解教育と国語教育における読解教育の違いはどのように捉えられるか? 言語能力と言語知識の観点から (鹿嶋彰)
弘前大学国語国文学 29 2008-3 pp. 1-20
- 1964 読み聞かせ経験が国語力向上に及ぼす効果 (望木郁代)
三重中京大学短期大学部論叢 45 2008-1 pp. 35-43
- 1965 中学校における説明的文章の指導 自己の認識を再構築する読みを目指して (横山千晶)
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 16-1 2008-9 pp. 27-37
- 1966 特集;教科で育てる読解力——「読解」の基本構造 (西林克彦)
教育研究 (初等教育研究会) 63-6 2008-6 pp. 14-17
- 1967 〃——PISA 型学力はなぜ誤解されたか (谷川彰英)
教育研究 (初等教育研究会) 63-6 2008-6 pp. 18-21

- 1968 特集；視野を広く、アンテナを高く！ 諸外国の国語教育に学ぶ——クリティカル・リーディングのすすめ（有元秀文）
月刊国語教育（東京法令出版）28-9 2008-11 pp. 26-29
- 1969 特集；全員参加をめざす授業の工夫——全員参加をめざす授業の問題点 「読む」授業で工夫したいこと（鶴田清司）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-1 2008-1 pp. 24-27
- 1970 特集；読解力と新聞——「言語力育成」に新聞活用の効果認知 社会性広げ豊かなコミュニケーション（赤池幹）
新聞研究（日本新聞協会）683 2008-6 pp. 10-13
- 1971 〃——吟味の方法を学ばせる指導へ NIE の可能性と教科改革への期待（阿部昇）
新聞研究（日本新聞協会）683 2008-6 pp. 14-17
- 1972 〃——フィンランドにおける読解力の育成 教科と現実をつなぐ新聞の役割（渡辺あや）
新聞研究（日本新聞協会）683 2008-6 pp. 18-21
- 1973 〃——学びの中核となる情報センター NIE における学校図書館の役割（小谷野弘子）
新聞研究（日本新聞協会）683 2008-6 pp. 22-25
- 1974 〃——子どもに新聞を近づける 教育界で新聞社の果たす役割（赤田貞治）
新聞研究（日本新聞協会）683 2008-6 pp. 26-29
- 1975 連載；PISA 型読解力を育てる(1)——PISA 型読解力とは何か、なぜ必要か（福田誠治）
指導と評価（日本教育評価研究会）54-8 2008-8 pp. 42-45
- 1976 連載；PISA 型読解力を育てる(2)——PISA 型「読解力」を育てる趣旨は、学習指導要領にどう反映されたか（河野庸介）
指導と評価（日本教育評価研究会）54-9 2008-9 pp. 46-49
- 1977 連載；PISA 型読解力を育てる(3)——PISA 型読解力を育てる国語教育（有元秀文）
指導と評価（日本教育評価研究会）54-10 2008-10 pp. 42-45
- 1978 連載；PISA 型読解力を育てる(4)——理科で PISA 型読解力を育てる（森本信也）
指導と評価（日本教育評価研究会）54-11 2008-11 pp. 48-51
- 1979 連載；PISA 型読解力を育てる(5)——社会科で PISA 型読解力を育てる（岩田一彦）
指導と評価（日本教育評価研究会）54-12 2008-12 pp. 42-45
- 1980 連載；説明的文章の学習指導における新しい地平(11)——情報活用能力を高める説明的文章の学習指導（寺井正憲）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-1 2008-1 pp. 123-127
- 1981 連載；説明的文章の学習指導における新しい地平(12・最終回)——説明的文章の学習指導における読者の育成（寺井正憲）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-2 2008-3 pp. 123-127
- 1982 連載；読書意欲を高める多読のすすめ(10)——主体的に表現しようとする心が創意工夫を促す（増田信一）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-1 2008-1 pp. 117-121

- 1983 連載；読書意欲を高める多読のすすめ(11)——空想力や批判力の輪を広げて名作を味わう（増田信一）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-2 2008-2 pp.117-121
- 1984 連載；読書意欲を高める多読のすすめ(12)——読書入門の役を果たす、愛情中心の絵本の読書（増田信一）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-3 2008-3 pp.117-121
- 1985 シミュレーション研究における小学生用音読モデル作成の試み（三益亜美；伊集院睦雄；宇野彰；辰巳格）
音声言語医学（日本音声言語医学会）49-2 2008-4 pp.115-123
- 1986 「読む」ことのつまずきと学びによるその克服 「かな文字の音声化」の観点から（長岡由記）
教育学研究紀要（中国四国教育学会）〔CD-ROM 版〕53 2008-3 pp.488-493
- 1987 群読を核とした授業展開（広田隆志）
岐阜聖徳学園大学国語国文学 27 2008-3 pp.11-47
- 1988 沖縄県読書指導の展開 「沖縄県子どもの本研究会」を中心に（志良堂愛）
教育学研究紀要（中国四国教育学会）〔CD-ROM 版〕53 2008-3 pp.99-104
- 1989 小学校国語科における「説明的文章」の娯楽的な読書に関する考察 昭和 43 年版学習指導要領の影響による時代的変遷の一断面から（長崎秀昭）
読書科学（日本読書学会）51-2 2008-3 pp.45-56
- 1990 戦後の高校生が読み継いできた作品 全国読書感想文コンクール入選の読書対象作品の集計及び 5 月読書の統計から（米谷茂則）
読書科学（日本読書学会）51-2 2008-3 pp.74-83
- 1991 生活に根付いた読書指導の構想 読書生活个体史と「学習指導要領」の展開とを照らし合わせて（佐々木容子）
福岡教育大学国語科研究論集 49 2008-1 pp.41-54
- 1992 〈文芸広場インタビュー〉本を読む国・日本へ（肥田美代子；多田統一/聞き手）
文芸広場（文芸広場社）56-9 2008-9 pp.4-11
- 1993 〈報告〉「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第二次）の策定について（文部科学省スポーツ・青少年局青少年課）
文部科学時報（文部科学省）1588 2008-5 pp.50-53
- 1994 特集；子どもの読書を再考する——子ども読書活動推進の傾向と課題（岩崎れい）
現代の図書館（日本図書館協会）46-1 2008-3 pp.3-8
- 1995 〃——子どもの読書と絵本再考（生田美秋）
現代の図書館（日本図書館協会）46-1 2008-3 pp.26-33
- 1996 書くことの教育プロセスアプローチの社会的意義（新垣俊）
言語文化論叢（琉球大学言語文化研究会）5 2008-3 pp.77-94
- 1997 特集；「記述力」を高めるための授業改革——〈提言〉「記述力」をどう高めるか PISA に対応できる記述力をどう高めるか（有元秀文）

- 教育科学国語教育（明治図書出版）50-13 2008-11 pp. 5-8
- 1998 〃——〈〃〉「記述力」をどう高めるか ジャンル意識を育てて記述力を伸ばす（難波博孝）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-13 2008-11 pp. 9-12
- 1999 〃——〈〃〉「記述力」をどう高めるか 『記述力』を高める」ことの意味とその方法（菅原稔）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-13 2008-11 pp. 17-20
- 2000 〃——〈〃〉「記述力」をどう高めるか 場の保障・発問の工夫・型と書き直しを重視した指導（成田雅樹）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-13 2008-11 pp. 21-24
- 2001 〃——「記述力」を高めるための授業改革—小学校上学年 「読解力」と共に論証指導で高める（光野公司郎）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-13 2008-11 pp. 56-59
- 2002 特集；国語教育—国語科「書くこと」領域の学習指導における学習者自立支援（折川司）
解釈（解釈学会）54-5/6 2008-6 pp. 45-54
- 2003 特集；書くことの能力の育成 改訂と具体化—書くことの改訂の意義と具体化【小学校】 日常生活に生きる「書く力」の育成（水戸部修治）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-5 2008-9 pp. 5-8
- 2004 〃——書くことの改訂の意義と具体化【中学校】 指導過程を意識した新しい枠組み（堀江祐爾）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-5 2008-9 pp. 9-12
- 2005 特集；全員参加をめざす授業の工夫—全員参加をめざす授業の問題点 「書く」授業で工夫したいこと 全員参加の授業の工夫と個別指導の手だて（大西道雄）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-1 2008-1 pp. 28-31
- 2006 連載；小・中学校における書くことの領域の系統化(1)—「書くこと」の領域の課題から見た系統化の視点（水戸部修治）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-3 2008-5 pp. 126-130
- 2007 連載；小・中学校における書くことの領域の系統化(2)—言語活動を基点とした系統化の検討（水戸部修治）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-4 2008-7 pp. 126-130
- 2008 連載；小・中学校における書くことの領域の系統化(3)—教科書教材の表現様式の系統（水戸部修治）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-5 2008-9 pp. 126-130
- 2009 連載；小・中学校における書くことの領域の系統化(4)—「順序を考えて書く」ことの系統性とその指導（水戸部修治）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-6 2008-11 pp. 126-130
- 2010 連載；中学校国語科の授業(11)—書くことの指導をどのように展開するか(11)（富山哲也）
実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-1 2008-1 pp. 114-118
- 2011 連載；中学校国語科の授業(12・最終回)—書くことの指導をどのように展開するか(12)（富山哲也）

- 実践国語研究（全国国語教育実践研究会）32-2 2008-3 pp.114-118
- 2012 中学生の意見文作成過程におけるメタ認知方略の教育的妥当性の検討（井口あずさ）
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp.209-218
- 2013 国語科授業構想の提案「表現を工夫して文を書く」 高校一年生を対象に（苅宿紀子）
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 16-1 2008-9 pp.285-295
- 2014 言語教科における書く指導と内容教科における書く指導の差異に関する研究 国語科と理科の場合
を中心に（北川剛司）
教育学研究紀要（中国四国教育学会）〔CD-ROM 版〕53 2008-3 pp.500-505
- 2015 学習者のテキスト生成過程における文脈の相互関連（小林一貴）
岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 56-2 2008-2 pp.23-29
- 2016 〈検証・初発の感想〉柔軟な初発の「感想」指導を（長崎伸仁）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）433 2008-5 pp.28-31
- 2017 相手意識と文章表現力の発達（大阪教育大学言語発達ゼミナール）
国語と教育（大阪教育大学国語教育学会）33 2008-3 pp.38-48
- 2018 新概念 日本語教学法 第 3 部(1)（竹長吉正）
埼玉大学紀要 教育学部 57-2 2008-9 pp.145-156
- 2019 異化の詩教育学 時間型の創作指導（足立悦男）
島根大学教育学部紀要 教育科学・人文・社会科学・自然科学 42 2008-12 pp.22-33
- 2020 授業研究における理論知と実践知の統合に関する研究(1) 理論的根拠にもとづく協同学習と作文
教育の構想（柴田好章；水野正朗；清道垂都子）
名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学 55-1 2008-9 pp.175-186
- 2021 特集；「記述力」を高めるための授業改革——〈提言〉「記述力」をどう高めるか 作文技術の習得
と活用を図る授業づくり（鶴田清司）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-13 2008-11 pp.13-16
- 2022 特集；「作文大好き」を育てる——理解しやすい文章を書くこと 「作文大好き」を育てる前提とし
て（佐野比呂己）
月刊国語教育（東京法令出版）28-2 2008-5 pp.50-53
- 2023 〃——三つの評価で作文大好きに 花丸・通信・批評会（金子泰子）
月刊国語教育（東京法令出版）28-2 2008-5 pp.54-57
- 2024 特集；書く学習における基礎・基本——書くことの学習の基礎・基本の問題 指導コース設定の視
点から（大西道雄）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）435 2008-7 pp.4-9

◇ことばの指導

- 2025 ことばの〈具体—抽象〉に関する指導の観点 中学生・高校生の実態調査をふまえて（佐渡島紗織；
大貫真弘）

- 国語科教育 (全国大学国語教育学会) 63 2008-3 pp. 27-34
- 2026 文化審議会の答申と敬語教育 (郡千寿子)
弘前大学教育学部紀要 99 2008-3 pp. 1-7
- 2027 入学時児童が抱えるコミュニケーションの問題に関する一考察 (木下美和子)
安田女子大学大学院文学研究科紀要 13 2008-3 pp. 59-69
- 2028 特集 ; ことばの文化に親しむ——ことばの文化とは ことばの文化の享受と創造 (水戸部修治)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-2 2008-3 pp. 5-8
- 2029 〃——ことばの文化に親しむ中学校の授業 日本の文化伝統を継承する中学校国語科の在り方 (田中洋一)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-2 2008-3 pp. 13-16
- 2030 小学校国語教科書・漢字辞典で部首の捉え方の異なる学習漢字 (浜千代いづみ)
岐阜聖徳学園大学国語国文学 27 2008-3 pp. 81-62
- 2031 小・中学校における漢字指導試論(3) (安東俊六)
岐阜大学国語国文学 34 2008-1 pp. 19-29
- 2032 万葉集の表記を学ぶ意義 日本語表記の学習のために (富原カンナ)
月刊国語教育 (東京法令出版) 27-12 2008-2 pp. 80-83
- 2033 書字における冗長と欠落とに関する試論 (押木秀樹)
上越教育大学国語研究 22 2008-2 pp. 1-13
- 2034 書の創作についての一考察 高等学校芸術科書道の授業を中心として (大池茂樹)
中京国文学 (中京大学国文学会) 27 2008-3 pp. 57-66
- 2035 高等学校書道教科書における「実用書」から「漢字仮名交じりの書」への変質について (中溝かおる)
二松学舎大学人文論叢 81 2008-10 pp. 113-129
- 2036 小学校入門期における文字教育の基礎的研究 1980 年代の汐見稔幸の理論の検討を通して (長岡由記)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 135-142
- 2037 字形と筆順 (吉沢義和)
文教大学国文 (文教大学国文学会) 37 2008-3 pp. 1-8
- 2038 漢字の表音性と表意性 多音・多訓をめぐる諸課題の再検討 (乗木養一)
横浜国大国語教育研究 (横浜国立大学国語教育研究会) 29 2008-10 pp. 1-38
- 2039 日本語(国語)教育とローマ字教育 (たなかみのる)
Roomazi Sekai (日本ローマ字会) 784 2008-8 pp. 12-15
- 2040 ローマ字はかなと同時に小学 1 年生からの実施を ローマ字つづり方問題とローマ教育を踏まえて (茅島篤)
Roomazi Sekai (日本ローマ字会) 786 2008-10 pp. 1-8
- 2041 特集 ; 「生きる力」をはぐくむ教育の新たな展開(2) [理科, 音楽, 美術, 書道]——〈論説〉「生き

- る力」をはぐくむ書道教育 [書道] “書字過程” の価値と意義 (加藤祐司)
中等教育資料 (文部科学省) 57-9 2008-9 pp. 46-51
- 2042 語彙教育研究における実践史研究の可能性 東京都青年国語研究会による「語い指導」研究(昭和四十九年度)を事例に (中村和弘)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 435 2008-7 pp. 50-57
- 2043 特集; 語彙の研究と教育——学校教育における「語彙」の教育 (森篤嗣)
日本語学 (明治書院) 27-10 2008-9 pp. 4-15
- 2044 特集; 国語教育——豊かな語彙力を目指す授業創り 日中の「同義反復熟語」をめぐって (李軍)
解釈 (解釈学会) 54-5/6 2008-6 pp. 28-36
- 2045 「文の学習」の基本的な基礎 (2) (たかきかずひこ)
うなびこ (日本語学研究会) 31 2008-2 pp. 3-14
- 2046 0 君はなぜ「さいていたコスモスの花」を「さびしそう」と捉えたのか 名詞修飾節の「テイタ」と「テイル」を通して (山田敏弘)
岐阜大学国語国文学 34 2008-1 pp. 1-12
- 2047 子どもにとっての品詞論 (浜野豊美)
研究会報告 (日本語文法研究会) 27 2008-3 pp. 52-70
- 2048 特集; 日本語文法の現在——〈インタビュー〉『文法教育』ができるまで (宮島達夫; 鈴木重幸; 鈴木康之; 高木一彦)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 98-113
- 2049 〃——日本語文法の周辺 言語教育としての普遍性をもった国語教育であるか 品詞の学習から文の学習へ (村上三寿)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 163-177
- 2050 〃——日本語文法の周辺 日本の文法教育 (たかきかずひこ)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 178-189

◇文学教育

- 2051 読みの交流に基づく学習指導構想 詩に親しむことを目指して (知念志穂)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp. 482-487
- 2052 言語感覚を磨く俳句の指導 「切れ」を意識して (藤田万喜子)
岐阜聖徳学園大学国語国文学 27 2008-3 pp. 48-58
- 2053 <なる>活動はいかにして文学作品への理解の深まりをもたらすか 鳥山敏子の実践記録を手がかりに (渡辺貴裕)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 64 2008-9 pp. 19-26
- 2054 リテラシー教育におけるグラフィックノベルの役割 米国における事例を手がかりとして (山元隆春)
国語教育研究 (広島大学国語教育会) 49 2008-3 pp. 33-56
- 2055 昔話を子どもに伝えることの教育的意義 (赤津純子)
埼玉学園大学紀要 人間学部篇 8 2008-12 pp. 151-161

- 2056 詩は何を教えられるか (山本賢一)
埼玉大学国語教育論叢 11 2008-3 pp. 1-15
- 2057 〈シンポジウム〉文学と教育をめぐる <研究>という視座から (田中実; 鶴田清司; 戸田功/シンポジスト; 山本良/司会)
埼玉大学国語教育論叢 11 2008-3 pp. 32-62
- 2058 メディア論の観点で文学を読むことの提案 新しい文学教育の概念を用いて (上松恵理子)
人文科教育研究 (筑波大学人文科教育学会) 35 2008-8 pp. 29-41
- 2059 断想(4) 第三項という根拠 (田中実)
日本文学 (日本文学協会) 57-3 2008-3 pp. 63-74
- 2060 翻訳文学という側面を生かした指導法の研究 「少年の日の思い出」と「クジャクヤママユ」の比較を通して (吉住恵子; 菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 19 2008-9 pp. 79-107
- 2061 リレー連載; 生徒を活かす文学の教室(1)——安部公房「自己犠牲」教材化の試み (小林美鈴)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-1 2008-4 pp. 78-81
- 2062 リレー連載; 生徒を活かす文学の教室(2)——読み手の身体感覚を通すこと (橋本博孝)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-2 2008-5 pp. 64-67
- 2063 リレー連載; 生徒を活かす文学の教室(6)——文学のダイナミズムと『伊勢物語』 (萩野敦子)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-7 2008-9 pp. 78-81
- 2064 リレー連載; 生徒を活かす文学の教室(7)——「否定的な思い」を昇華させるために (助川幸逸郎)
月刊国語教育 (東京法令出版) 28-8 2008-10 pp. 78-81
- 2065 特集; <原文>と<語り>をめぐる 文学作品を読む——なぜ、<原文>と<語り>なのか 「読みの背理」を解く三つの鍵 テキスト、<原文>の影・<自己倒壊>そして《語り手の自己表出》 (田中実)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-7 2008-7 pp. 6-16
- 2066 〃——なぜ、<原文>と<語り>なのか コトバによって現実を創作するということ 文学作品のコトバのすばらしさ (鈴木康之)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-7 2008-7 pp. 17-24
- 2067 〃——なぜ、<原文>と<語り>なのか 読みの学習における「原文」のゆくえ (府川源一郎)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-7 2008-7 pp. 25-34
- 2068 〃——なぜ、<原文>と<語り>なのか 「亡霊退治」の時代へ 「国語のため」に (須貝千里)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-7 2008-7 pp. 35-46
- 2069 特集; 太宰治とは誰か——教科書の中の太宰治 教材としての「清貧譚」 (久保田裕子)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-4 2008-3 pp. 6-13
- 2070 特集; 文学でつける学力を問う——文学でつきたい力、育てたい姿 (加藤明)
月刊国語教育 (東京法令出版) 27-11 2008-1 pp. 28-31
- 2071 〃——他者を思い、自己を見つめる力を育てる (中村孝一)
月刊国語教育 (東京法令出版) 27-11 2008-1 pp. 36-39

- 2072 〃——文学と教育との接点にあるもの（佐久間保明）
月刊国語教育（東京法令出版）27-11 2008-1 pp.40-43
- 2073 特集；文学教育の転回と希望 <文脈>を掘り起こして——「文脈」をめぐる諸問題（山本良）
日本文学（日本文学協会）57-8 2008-8 pp.67-75
- ◇古典教育
- 2074 特集；言語文化に親しむ古典の授業改善——これまでの古典の指導—何が問題か 一人の読み手として古典と相対する力を求めて（松山雅子）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-9 2008-8 pp.20-23
- 2075 〃——これまでの古典の指導—何が問題か 古典学習指導の問題点 学ぶ意味への疑問に応えぬ学習指導（渡辺春美）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-9 2008-8 pp.24-27
- 2076 〃——これまでの古典の指導—何が問題か 到達目標が明確でないのが問題（吉永幸司）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-9 2008-8 pp.28-31
- 2077 〃——古典指導における音読・暗唱の重視 群読は音読も暗唱も成立させる（高橋俊三）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-9 2008-8 pp.88-91
- 2078 〃——古典指導における音読・暗唱の重視 人間教育としての暗唱を（大越和孝）
教育科学国語教育（明治図書出版）50-9 2008-8 pp.92-95
- 2079 『枕草子』の四つの指導案（保戸塚朗）
学芸国語教育研究（東京学芸大学）26 2008-12 pp.8-28
- 2080 古典文学の教育への二三の考察 現代語を用いた学習材を中心に（杉山英昭）
国学院雑誌（国学院大学）109-3 2008-3 pp.1-13
- 2081 助動詞「らる」「さす」の接続（高橋良久）
国学院大学紀要 46 2008-2 pp.163-183
- 2082 高等学校における古典教授の方法 『平家物語』の「宇治川の先陣」を教材に（米山孝子）
国文学踏査（大正大学国文学会）20 2008-3 pp.135-146
- 2083 中学校国語教育における古典学習指導の留意点 『竹取物語』第1時限目の授業案研究（西田直樹）
作新学院大学人間文化学部紀要 6 2008-3 pp.81-92
- 2084 〈研究ノート〉中等国語教育における古典作品の取り扱い方について(1)（田中幹子；及川貴大）
札幌大学総合論叢 26 2008-10 pp.101-117
- 2085 学習古文文法の批判的検討(1)（松繁弘之）
人文学部研究論集（中部大学）19 2008-1 pp.111-124
- 2086 「処女塚」の話型への理解を深めさせる古典の学習指導（平林優子）
東京女子大学日本文学 104 2008-3 pp.53-67
- 2087 人間力・言語力を育む国語科教育の一考察 滝沢村立滝沢第2中学校の授業取材を通して（西俊六）
日本文学会誌（盛岡大学日本文学会）20 2008-3 pp.79-93
- 2088 近世初期怪異小説の教材化の提案 火車譚を中心に（塚野晶子）
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 16-1 2008-9 pp.1-12

- 2089 特集；古典学習材の開発——古典学習材開発・編成の観点 古典学習材の開発・編成个体史を手がかりに（渡辺春美）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）440 2008-12 pp. 4-9
- 2090 特集；古典復活！——古典の世界への扉を用意する 作品づくりで、理解から納得への準備（池田修）
月刊国語教育（東京法令出版）28-4 2008-6 pp. 50-53
- 2091 特集；国語教育——高等学校における「百人一首」の指導 教科書を中心に（小林国雄）
解釈（解釈学会）54-5/6 2008-6 pp. 2-8
- 2092 〃——古典教育の意義 古文を中心として（佐野比呂己）
解釈（解釈学会）54-5/6 2008-6 pp. 18-27
- 2093 連載講座；続・増淵恒吉の「国語講座」に学ぶ(4)——歴史物語の指導 大鏡と栄華物語（小林国雄）
月刊国語教育（東京法令出版）27-11 2008-1 pp. 94-97
- 2094 連載講座；続・増淵恒吉の「国語講座」に学ぶ(5)——西鶴・近松の作品の指導 世間胸算用・女殺油地獄ほか（小林国雄）
月刊国語教育（東京法令出版）27-12 2008-2 pp. 94-97
- 2095 連載講座；続・増淵恒吉の「国語講座」に学ぶ(6・最終回)——俳論・歌論・物語論の指導 去来抄・正徹物語・玉勝間ほか（小林国雄）
月刊国語教育（東京法令出版）27-13 2008-3 pp. 94-97
- 2096 中国における「漢文教育」の特質を探る 日本の漢文教育の改善に向けて（丁秋娜）
学術研究 国語・国文学編（早稲田大学）56 2008-2 pp. 15-28
- 2097 特集；教科書徹底研究——定番教材をあらためて読む 中学校国語教科書における漢文教材について 対句を中心に（大橋賢一）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-13 2008-9 pp. 72-79
- 2098 特集；古典教育再考——古典教材の充実と漢文教材の見直し（吉原英夫）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）430 2008-2 pp. 4-9
- ◇国語教科書（論）・教材（研究）
- 2099 小学校生活科教科書にみられるオノマトペ 国語科教科書との比較から（安部朋世）
月刊国語教育研究（日本国語教育学会）436 2008-8 pp. 50-57
- 2100 特集；教科書徹底研究——教科書への提案 ジェンダーから見る国語教科書（宇佐美毅）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-13 2008-9 pp. 6-15
- 2101 〃——教科書への提案 国語教科書におけるメディア・リテラシー（間瀬茂夫）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-13 2008-9 pp. 16-25
- 2102 〃——海外教育事情 フィンランドの国語教科書と日本の教科書（山本茂喜）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-13 2008-9 pp. 80-88
- 2103 特集；語彙の研究と教育——学校教科書の語彙 語種を観点として（近藤明日子；田中牧郎）
日本語学（明治書院）27-10 2008-9 pp. 26-35
- 2104 物語教材の表現特性(3) 小学校高学年を中心に（船所武志）

IBU 四天王寺大学紀要 大学院・人文社会学部・教育学部・経営学部・短期大学部 46
2008-9 pp. 207-220

2105 教材「大蛇・小蛇」考(1) (佐野比呂己)

釧路論集〈北海道教育大学釧路校研究紀要〉40 2008-12 pp. 1-11

2106 教材研究と教材の扱い方(17) 「ガリヴァーとアリス」外山滋比古(菅原敬三)

文教国文学(広島文教女子大学国文学会) 52 2008-2 pp. 1-10

2107 国語科教育におけるメディア教材の意義(1) ニュース教材を利用した言語能力の育成(宮田好恵;
早野慎吾)

宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 19 2008-9 pp. 147-156

2108 小学校説明文教材系統案作成の試み(1) 説明スキーマの発達とそれを支える表現力、論理的思考力
を観点として(岩永正史)

山梨大学教育人間科学部紀要〔CD-ROM 版〕9(16) 2008-3 pp. 114-121

◇特別支援教育

2109 聴覚障害を有する幼児児童の言語獲得支援について(2) 教育相談における支援事例を通して(井坂
行男; 仲野明紗子; 池谷航介; 内藤志津香; 音川陽介; 中西梓; 加藤愛; 原玲奈; 藤原
新; 渥美央平)

大阪教育大学紀要 4 教育科学 56-2 2008-2 pp. 15-27

2110 難聴児の WPPSI 知能診断検査下位検査プロフィールの特徴について(内山勉; 伊集院亮子; 徳光裕
子)

音声言語医学(日本音声言語医学会) 49-3 2008-7 pp. 155-166

2111 音韻意識の遅れを伴った粘膜下口蓋裂児 1 例の構音訓練(弓削明子; 岡部早苗; 石田宏代; 鈴木恵
子; 正来隆; 西山耕一郎; 岡本牧人)

音声言語医学(日本音声言語医学会) 49-4 2008-10 pp. 265-272

2112 通常の学級における多層指導モデル(MIM)の効果 小学校1年生に対する特殊音節表記の読み書きの
指導を通じて(海津亜希子; 田沼実敏; 平木こゆみ; 伊藤由美; Vaughn, Sharon)

教育心理学研究(日本教育心理学会) 56-4 2008-12 pp. 534-546

2113 乏しい言語環境の中で育ったダウン症女児が友達や教師とのコミュニケーションをとおして 2 語文
使用が可能になった支援事例の検討(駒田武彦; 坂本裕)

岐阜大学教育学部研究報告 教育実践研究 10 2008-2 pp. 197-202

2114 色フィルムが読み及ぼす影響 健常者における Irlen syndrome(川端智世; 村瀬忍; 熊谷恵子)

岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 57-1 2008-10 pp. 197-207

2115 漢字の習得に困難のある児童への漢字書字教材の検討(舟橋宏紀; 村瀬忍)

岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 57-1 2008-10 pp. 209-219

2116 場の状況を読み取り適切な行動をとりにくい聴覚障害児への支援 学校における教育活動を通して
の取り組み(吉田孝弘; 村瀬忍)

岐阜大学教育学部研究報告 人文科学 57-1 2008-10 pp. 221-226

2117 かなえさんが切り拓いた言葉の世界(柴田保之)

- 国学院大学教育学研究室紀要 42 2008-3 pp. 21-37
- 2118 視覚障害者用スクリーンリーダの漢字詳細読みに関する研究 新しい詳細読みによる常用漢字群の書き取り調査 (渡辺哲也; 吉野嘉那子; 渡辺文治; 岡田伸一; 山口俊光; 青木成美)
国立特別支援教育総合研究所研究紀要 35 2008-3 pp. 61-73
- 2119 〈調査資料〉通級による指導(難聴)における言語指導の現状と課題 (松村勘由; 牧野泰美; 横尾俊)
国立特別支援教育総合研究所研究紀要 35 2008-3 pp. 101-121
- 2120 硬口蓋方向への調音点の移動に関する考察 [kʲi]と[tɕi]の音声置換の事例より (今村亜子)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 391-404
- 2121 注意欠陥多動性障害のある幼児とのコミュニケーションに対する保育士の認識 (松山郁夫)
佐賀大学文化教育学部研究論文集 13-1 2008-8 pp. 505-511
- 2122 動作性 IQ 優位の児童の書字障害について 視覚-音声回路と聴覚-運動回路の検討 (園田貴章; 中村理美; 田上麻美子)
佐賀大学文化教育学部研究論文集 13-1 2008-8 pp. 537-547
- 2123 (ディス)コミュニケーションにおける対話的アプローチの重要性 (チョン, ウン; あべやすし/訳)
社会言語学 (「社会言語学」刊行会) 8 2008-11 pp. 111-131
- 2124 特別支援教育における難聴・言語通級担当教員の専門的力量形成に関する研究 新潟県における実態調査から (藤井和子)
上越教育大学研究紀要 [電子版] 27 2008-2 pp. 107-116
- 2125 聴覚障害児の日記文における接続詞の使用状況と指導法に関する考察 小学部低学年の事例から (山本晃)
筑波大学附属聴覚特別支援学校紀要 30(35) 2008-3 pp. 2-7
- 2126 小学部高学年児童を対象にしたきこえに関するおたより作り 『ほちょうだより小学部版』作成について (真田進夫)
筑波大学附属聴覚特別支援学校紀要 30(35) 2008-3 pp. 8-14
- 2127 学校生活の基礎単語リストの試作と LD 児の読み特性に関する研究 10 歳~15 歳の LD 児を対象とした検討 (後藤隆章; 成基香; 小池敏英)
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp. 255-261
- 2128 聴覚障害児の文章における動詞使用の発達的变化 一事例に関する縦断的検討から (沢隆史; 相沢宏充)
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp. 279-285
- 2129 聴覚障害児の読書力と英語の学習効果に関する一研究 (浜田豊彦; 高木恵; 大鹿綾)
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp. 379-384
- 2130 LD を併せ有する聴覚障害児の事例報告と教育的支援に関する一考察 音読の流暢性について (大鹿綾; 浜田豊彦)
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp. 387-392
- 2131 仮名特殊拍の書字困難への指導に関する予備的研究 音韻意識プログラムによる継時的変化 (大伴潔; Hirayama, Monica)

- 東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp. 475-479
- 2132 言葉の表現が困難な児童の関係処理と項目特定処理機能に関する指導事例 (島田恭仁)
鳴門教育大学研究紀要 [CD-ROM 版] 23 2008-3 pp. 155-165
- 2133 〈解説〉新生児聴覚検査と聴覚障害乳幼児・保護者支援 (佐藤正幸)
日本音響学会誌 64-6 2008-6 pp. 355-360
- 2134 聴覚障害児の日本語教育 作文指導の方法について (河野美抄子)
日本語・日本文化研究 (京都外国語大学) 14 2008-3 pp. 49-60
- 2135 知的障害を伴う自閉症児の発達と支援 ある事例から (平田文子)
人間研究 (日本女子大学教育学科の会) 44 2008-3 pp. 37-45
- 2136 聴覚障害児のリテラシーの発達と支援 手話活用の視点から (鳥越隆士)
兵庫教育大学研究紀要 33 2008-9 pp. 39-51
- 2137 知的障害児における偶発的学習行動の研究 (斎藤繁)
弘前学院大学社会福祉学部研究紀要 8 2008-3 pp. 32-39
- 2138 視覚認知上の問題を示した症例の読み書き困難の推移 (松本敏治)
弘前大学教育学部紀要 99 2008-3 pp. 125-135
- 2139 進行性難聴児に対する人工内耳装用指導の留意点 装用年齢の異なる 2 症例での比較 (森寿子; 川崎美香; 森尚彫; 黒田生子; 藤本政明)
北海道医療大学心理科学部研究紀要 3 2008-3 pp. 73-80
- 2140 指導方法の異なる先天性聾児の人工内耳装用効果 言語・認知神経心理学的諸能力の比較 (川崎美香; 森寿子; 森尚彫; 黒田生子; 藤本政明)
北海道医療大学心理科学部研究紀要 3 2008-3 pp. 81-87
- 2141 自閉症合併聾児に対する指導と言語聴覚士の役割 (川崎美香; 森寿子; 森尚彫; 黒田生子; 藤本政明)
北海道医療大学心理科学部研究紀要 3 2008-3 pp. 89-99
- 2142 注意欠陥多動性障害を合併した聾児の人工内耳装用効果と今後の課題 聾単独人工内耳装用児 1 例との比較 (森尚彫; 森寿子; 川崎美香; 黒田生子; 中沢肇; 藤本政明)
北海道医療大学心理科学部研究紀要 3 2008-3 pp. 101-110
- 2143 低出生体重聾児 1 例に対する人工内耳の装用効果 聾単独人工内耳装用児 1 例との比較 (森尚彫; 森寿子; 川崎美香; 黒田生子; 馬場朝子; 藤本政明)
北海道医療大学心理科学部研究紀要 3 2008-3 pp. 111-120
- 2144 〈研究報告〉高い周波数の音に反応を示す傾向がある言語障害児 (山路めぐみ)
北海道医療大学心理科学部研究紀要 3 2008-3 pp. 121-126
- 2145 リーディング・リカバリーの分析と学校教育における導入の可能性 (高本圭子)
横浜国大言語教育研究 (横浜国立大学言語教育研究会) 28 2008-6 pp. 39-52
- 2146 〈シンポジウム〉日本語獲得をめぐるさまざまなアプローチ (松本末男; 阿部敬信; 五瀬浩/提案; 井坂行男/司会)
ろう教育科学 (ろう教育科学会) 49-4 2008-1 pp. 1-31

- 2147 〈講演〉手話の獲得と日本語の獲得（武居渡）
ろう教育科学（ろう教育科学会）49-4 2008-1 pp. 33-42
- 2148 音韻意識の発達とコミュニケーション手段 キュードスピーチと指文字について（長南浩人）
ろう教育科学（ろう教育科学会）49-4 2008-1 pp. 43-49
- 2149 〈報告〉奈良県立ろう学校における手話の活用と日本語獲得のアプローチ 幼稚部から小学部低学年を中心に（中井弘征；中森礼美；安田美佐子；広中嘉隆）
ろう教育科学（ろう教育科学会）50-1 2008-6 pp. 1-29
- 2150 聴覚障害中学生への対話を活用した読解指導の試み（藤田美奈子；鳥越隆士）
ろう教育科学（ろう教育科学会）50-1 2008-6 pp. 31-44
- 2151 聾学校における手話の使用状況に関する研究(3)（我妻敏博）
ろう教育科学（ろう教育科学会）50-2 2008-7 pp. 27-41
- 2152 〈実践報告〉聴覚障害児の読み書き指導に関する実践報告（岩品敦子）
ろう教育科学（ろう教育科学会）50-2 2008-7 pp. 43-48
- 2153 〈講演〉ろう教育科学会の歩みと聴覚障害教育への期待（石原佳敏）
ろう教育科学（ろう教育科学会）50-3 2008-10 pp. 1-7
- 2154 〈報告〉『ろう教育科学』の50年の歩みからみた聴覚障害教育の最近の動向（西山健；守屋国光）
ろう教育科学（ろう教育科学会）50-3 2008-10 pp. 9-29
- 2155 〈シンポジウム〉聴覚障害教育の歴史と展望（福田暉彦/司会；坂井美恵子；藤本裕人；藤井克美/提案）
ろう教育科学（ろう教育科学会）50-3 2008-10 pp. 31-53
- 2156 特集；教育現場から問い直す「評価」——聴覚障害児の言語獲得と日本語能力評価をめぐる諸問題（上農正剛）
日本語教育（日本語教育学会）136 2008-1 pp. 17-26
- 2157 特集；正常な発話と逸脱した発話——音韻理論と構音障害（上田功）
音声研究（日本音声学会）12-3 2008-12 pp. 3-16
- 2158 連載；バベルの呼び声(1)——聴覚障害者の多言語世界（上農正剛）
言語（大修館書店）37-1 2008-1 pp. 12-17
- 2159 連載；バベルの呼び声(2)——最初期段階における医療介入の意味(1)（上農正剛）
言語（大修館書店）37-2 2008-2 pp. 12-17
- 2160 連載；バベルの呼び声(3)——最初期段階における医療介入の意味(2)（上農正剛）
言語（大修館書店）37-3 2008-3 pp. 12-17
- 2161 連載；バベルの呼び声(4)——最初期段階における医療介入の意味(3)（上農正剛）
言語（大修館書店）37-4 2008-4 pp. 12-17
- 2162 連載；バベルの呼び声(5)——聴覚障害児の言語獲得に対する親の影響（上農正剛）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 12-17
- 2163 連載；バベルの呼び声(6)——学校教育が聴覚障害児にもたらすもの(1)（上農正剛）
言語（大修館書店）37-6 2008-6 pp. 12-17

- 2164 連載；バベルの呼び声(7)——学校教育が聴覚障害児にもたらすもの(2) (上農正剛)
言語 (大修館書店) 37-7 2008-7 pp. 12-17
- 2165 連載；バベルの呼び声(8)——学校教育が聴覚障害児にもたらすもの(3) (上農正剛)
言語 (大修館書店) 37-8 2008-8 pp. 14-19
- 2166 連載；バベルの呼び声(9)——学校教育が聴覚障害児にもたらすもの(4) (上農正剛)
言語 (大修館書店) 37-9 2008-9 pp. 14-19
- 2167 連載；バベルの呼び声(10)——多言語状況への分岐(1) (上農正剛)
言語 (大修館書店) 37-10 2008-10 pp. 14-19
- 2168 連載；バベルの呼び声(11)——多言語状況への分岐(2) (上農正剛)
言語 (大修館書店) 37-11 2008-11 pp. 14-19
- 2169 連載；バベルの呼び声(12・最終回)——多言語世界に生きることの意味 (上農正剛)
言語 (大修館書店) 37-12 2008-12 pp. 14-19
- 2170 連載；教育の回廊——読み書き障害と特別支援教育への期待 (藤堂栄子)
初等教育資料 (文部科学省) 838 2008-9 pp. 46-49

◇海外・帰国子女の言語教育

- 2171 帰国生の受け入れクラスに対する意識 受け入れ形態の差異に着目して (岡村郁子)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 28 2008-7 pp. 100-113
- 2172 〈座談会〉帰国子女の外国語保持をサポートするために (服部孝彦；ベイファス, クリス；角井由美)
海外子女教育 (海外子女教育振興財団) 35-1 2008-1 pp. 10-13
- 2173 〈Ⅱ〉企業相談員の語る海外子女教育 (鈴木モト子；藤沢皖；張江幸男；塚本吉紀；山本新治)
海外子女教育 (海外子女教育振興財団) 35-6 2008-6 pp. 6-15
- 2174 Y 市における外国人児童生徒に対する教育支援体制に関する考察 同化教育からの脱却に注目して (于涛)
神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要 2-1 2008-9 pp. 91-102
- 2175 米国補習校に学ぶ児童・生徒の日本語語彙力 習得の特徴と意味の認知・推測ストラテジー (越山泰子)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 5 2008-3 pp. 1-16
- 2176 アメリカの日本語補習校の児童生徒の文型習得状況 (片岡裕子)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 5 2008-3 pp. 18-35
- 2177 アメリカの日本語補習校の児童・生徒の助詞の習得状況 日本の児童・生徒との比較 (柴田節枝)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 5 2008-3 pp. 37-51
- 2178 〈研究ノート〉トランスナショナル下における日本人学校の現状と課題 台湾の日本人学校を事例にして (佐藤郡衛)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 5 2008-3 pp. 53-61
- 2179 海外子女教育の新たな視点 (手塚義雅)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 5 2008-3 pp. 77-85

- 2180 複数文化環境と文化・言語の継承 日系国際児の親の視点から (鈴木一代)
埼玉学園大学紀要 人間学部篇 8 2008-12 pp. 75-89
- 2181 ニューカマーの子ども達の教育課題 学力保障と異文化特性の問題を中心に (島田和幸)
純真紀要 (純真短期大学) 49 2008-12 pp. 159-172
- 2182 蘇州日本人学校における日本語事情 海外子女をとりまく日本語のバリエーション (梶村知美; 林伸一)
山口大学文学会志 58 2008-2 pp. 77-89

◇言語発達研究 (言語能力)

- 2183 新概念日本語教学法第二部(2) (竹長吉正)
埼玉大学紀要 教育学部 57-1 2008-3 pp. 135-148
- 2184 日本語指示詞の直示用法の獲得(2) 女兒 2 歳 0 ヶ月から 2 歳 5 ヶ月までの予備的研究 (大野清幸)
愛知淑徳大学論集 文化創造学部・文化創造研究科篇 8 2008-3 pp. 23-47
- 2185 幼児における因果的推論と語り (山本政人)
学習院大学文学部研究年報 54 2008-3 pp. 211-226
- 2186 〈シンポジウム〉現代社会における書くことの教育の意味と方法 脳のはたらきと母語教育 (リコ, ガブリエーレ)
学大国文 (大阪教育大学) 51 2008-3 pp. 41-53
- 2187 幼児教育の実践における読み聞かせへの期待 幼稚園教諭の語りを中心に (吉岡一志)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp. 453-458
- 2188 幼児は拗音表記習得時に混成規則を利用しているか (垣花真一郎)
教育心理学研究 (日本教育心理学会) 56-4 2008-12 pp. 463-473
- 2189 免疫系における交差反応と免疫記憶の仕組み 幼児期における言語習得との比較 (細川友秀)
京都教育大学紀要 113 2008-9 pp. 115-123
- 2190 〈幼児のことば・保育者のことば〉「子ども心」の言葉づかい (村石昭三)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 437 2008-9 pp. 64-65
- 2191 子どもの言語発達と異文化における多言語教育 (陳惠貞)
言語文化 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会紀要) 16 2008-3 pp. 5-15
- 2192 幼児の音声表現における歌唱様発声 (坂井康子)
甲南女子大学研究紀要 人間科学編 44 2008-3 pp. 29-36
- 2193 早期教育の落とし穴 認知神経科学的見地より (有路憲一)
信州大学人文社会科学研究 2 2008-4 pp. 2-17
- 2194 幼児の連想的虚偽記憶における意味的知識の発達 (鍋田智広; 目久田純一; 神垣彬子; 松井剛太; 朴信永; 山崎晃)
心理学研究 (日本心理学会) 78-6 2008-2 pp. 591-598
- 2195 大正期の幼稚園における「お話」論の受容と展開 東京女子高等師範学校附属幼稚園を中心に (小山みずえ)
上智大学教育学論集 (上智大学総合人間科学部教育学科紀要) 42 2008-3 pp. 115-12

- 2196 母語習得と人間形成 ことば・価値観・文化 (本多優美)
清心語文 (ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会) 10 2008-7 pp. 78-68
- 2197 2 歳児の語彙発達に見られる母子相互作用の働き (佐藤久美子 ; 戸村翠)
玉川大学リベラルアーツ学部研究紀要 1 2008-3 pp. 21-25
- 2198 〈誌上講座〉子どもの第二言語習得過程への社会文化的アプローチ (柴山真琴)
第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp. 195-211
- 2199 子どもの心と絵本 幼い頃読んでもらった絵本をめぐる大学生の語りから考える (谷川賀苗)
帝塚山学院大学人間文化学部研究年報 10 2008-12 pp. 44-55
- 2200 子どもに語る「お話」の方法論に関する研究 岸辺福雄の口演理論 (是沢優子)
東京家政大学研究紀要 1 人文社会科学 48 2008-2 pp. 67-74
- 2201 幼児の条件推論に及ぼす義務および許可条件文の影響 (中道主人)
常葉学園大学研究紀要 教育学部 28 2008-3 pp. 171-181
- 2202 幼児における絵本への情緒的反応に及ぼす読み聞かせ速度の効果 (玉瀬友美)
読書科学 (日本読書学会) 51-2 2008-3 pp. 58-64
- 2203 幼児教育「言葉」の領域における保育者の言葉の教材化の観点 (梅沢実 ; 佐々木晃)
鳴門教育大学研究紀要 [CD-ROM 版] 23 2008-3 pp. 199-207
- 2204 母親の言語と幼児の心の理論 図形伝達課題を用いた検討 (東山薫)
発達研究〈発達科学研究教育センター紀要〉22 2008-7 pp. 83-94
- 2205 自然体験活動の中で見られる幼児のオノマトペの機能に関する一考察 観察事例による検討 (近藤綾 ; 渡辺大介 ; 越中康治)
広島大学大学院教育学研究科紀要 3 教育人間科学関連領域 57 2008-12 pp. 305-312
- 2206 〈資料〉乳幼児の年齢別絵本リスト (吉田照子)
福岡女子短大紀要 (福岡女子短期大学) 71 2008-7 pp. 27-43
- 2207 遊びのなかで交わされる「ね」発話にみる 3 歳児の関係性 (高桜綾子)
保育学研究 (日本保育学会) 46-2 2008-12 pp. 78-88
- 2208 幼児児童生徒とのコミュニケーションおよび教育(保育)・発達支援の基盤としての教師の「聴く力」について 教師を対象とした「聴く力」についての調査から (栗原輝雄)
三重大学教育学部研究紀要 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学 59 2008-3 p. 217-231
- 2209 絵本の読み聞かせが幼児の向社会性の発達に及ぼす効果 (堂野恵子)
安田女子大学紀要 36 2008-2 pp. 81-91
- 2210 子どもに言語的説明を求めることの妥当性と必要性 因果性研究と素朴理論研究に焦点を当てて (永盛善博)
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 16-1 2008-9 pp. 85-94
- 2211 Imai, Mutsumi ; Li, Lianjing ; Haryu, Etsuko ; Okada, Hiroyuki ; Hirsh-Pasek, Kathy ; Golinkoff, Rob

- erta Michnick : Novel Noun and Verb Learning in Chinese-, English-, and Japanese-Speaking Children.
Child Development 79-4, 7/8 2008 pp.979-1000
- 2212 Imai, Mutsumi ; Kita, Sotaro ; Nagumo, Miho ; Okada, Hiroyuki : Sound Symbolism Facilitates Early Verb Learning.
Cognition; International Journal of Cognitive Science 109-1, 10 2008 pp.54-65
- 2213 Watanabe, Eriko : The Analysis on the *-Ni* Marking Errors in Child Japanese.
南山言語科学 (南山大学大学院) 3, 3 2008 pp.1-20
- 2214 特集 ; 「言葉の力」を育てる——言葉の力はどのように発達していくのか (荻野美佐子)
児童心理 (金子書房) 62-13 2008-9 pp.27-32
- 2215 特集 ; コミュニケーションの身体性 からだは何を伝えるか——コミュニケーションの初相と身体性の展開 乳児期を中心に (岡本夏木)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp.18-26
- 2216 特集 ; 家庭で母語を育てるために——子どもの育ちとことば育て (上月素子)
海外子女教育 (海外子女教育振興財団) 35-4 2008-4 pp.4-9
- 2217 小学校低学年児童における語想起課題に関する検討 予備的研究 (恵羅修吉 ; 大庭重治)
香川大学教育学部研究報告 1129 2008-3 pp.71-78
- 2218 〈研究ノート〉双方向バイリンガル教育 日本の初等英語教育での実現可能性と示唆 (カレイラ松崎順子)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 5 2008-3 pp.63-75
- 2219 選言文の真値判断課題に関する発達的研究 (大浦賢治)
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 16-1 2008-9 pp.229-239
- 2220 Takagi, Miyako : Japanese-English Code-switching in L1 and L2 Monolingual Modes.
関西外国語大学研究論集 87, 3 2008 pp.1-18
- 2221 Tsuchihira, Taiko : L2 Working Memory Capacity and L2 Listening Test Scores of Japanese Junior College Students.
文京学院大学外国語学部文京学院短期大学紀要 7, 2 2008 pp.159-175
- 2222 Greer, Tim : Special Issue; Accomplishing Identity in Bilingual Interaction——Accomplishing Difference in Bilingual Interaction ; Translation as Backwards-oriented Medium-repair.
Multilingua; Journal of Cross-Cultural and Interlanguage Communication 27-1/2, 2008 pp.99-127
- 2223 学習者の「そして」使用の実態 「オツベルと象」のあらすじの分析を通して (山下直)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 429 2008-1 pp.46-51

◇国語教育の歴史・研究史

- 2224 特集 ; 絵を読む 文字を見る 日本文学とその媒体——寺子屋の文字教育 (小泉吉永)

- アジア遊学 (勉誠出版) 109 2008-4 pp.137-152
- 2225 所謂「偶成」詩と『雛僧要訓』(加藤一寧)
禅学研究 (花園大学) 86 2008-1 pp.197-208
- 2226 1860年代のアメリカにおける『ウィルソン・リーダー』(*HARPER'S SERIES. School and Family Readers.*)の一評価 *Harper's School and Family Series of Standard Text-Books.* (1864)のばあい (西本喜久子)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 63 2008-3 pp.51-58
- 2227 昭和初期の樟蔭女子専門学校国文科 昭和3年の『教授要目』と『検定ニ関スル試験問題集』から (白川哲郎)
樟蔭国文学 (大阪樟蔭女子大学国語国文学会) 45 2008-3 pp.29-39
- 2228 西尾実と道元(5) (杉哲)
熊本大学教育学部紀要 人文科学 57 2008-12 pp.71-80
- 2229 宮崎県の生活綴方教師・木村寿(8) 児童詩教育における童謡の位置 (菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 18 2008-3 pp.19-9
- 2230 『赤い鳥』に関する研究 大正期日本創作児童文学の一側面として (王瑜)
同志社国文学 (同志社大学国文学会) 69 2008-12 pp.43-57
- 2231 無着成恭編『山びこ学校』の成立とその反響 戦後作文・綴り方教育成立史研究 (菅原稔)
岡山大学大学院教育学研究科研究集録 138 2008-6 pp.67-74
- 2232 戦前における生活教育論に関する一考察 篠原助市「教育即生活」論の観点から (出雲俊江)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM版] 53 2008-3 pp.13-17
- 2233 児童雑誌『鑑賞文選』の研究 (梶村光郎)
言語文化論叢 (琉球大学言語文化研究会) 5 2008-3 pp.15-33
- 2234 峰地光重の郷土教育に関する考察 「生活主義教育」としての郷土教育 (出雲俊江)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 63 2008-3 pp.35-42
- 2235 綴方教育雑誌『鑑賞文選』に見る木村寿の位置 (菅邦男)
地域文化研究 (宮崎地域文化研究会) 2 2008-5 pp.11-20
- 2236 シュミューダー作文教材組織論撰取に関する課題 峰地光重の推理をめぐって (前田真証)
福岡教育大学紀要 1 文科編 57 2008-2 pp.35-59
- 2237 単元「人間とことば」の国語観 (佐野比呂己)
語学文学 (北海道教育大学語学文学会) 46 2008-3 pp.31-46
- 2238 国語教育における三上章の文法教育論の今日的意義と今後への課題 三上章の文法教育批判と中学校教科書に掲載された教材の分析を通して (山室和也)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 63 2008-3 pp.19-26
- 2239 戦後の文法教育成立の経緯 (田中洋一)
横浜国大國語教育研究 (横浜国立大学国語教育研究会) 28 2008-6 pp.1-14
- 2240 アンデルセン童話とグリム童話の本邦初訳をめぐって 明治初期の子ども読み物と教育の接点 (府川源一郎)

- 文学 隔月刊 (岩波書店) 9-4 2008-7 pp.140-151
- 2241 『中等国文』(1943)の研究 編纂理念と指導法を中心に (吉田裕久)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp.117-126
- 2242 田中義廉編『小学読本』巻一第一回に関する一考察 『ウイルソン・リーダー』第 1 読本との比較を通して (西本喜久子)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp.159-168
- 2243 〈資料〉日・台における国語教材の展開(1901~1941) (劉晏君; 甲斐雄一郎)
人文科教育研究 (筑波大学人文科教育学会) 35 2008-8 pp.55-69
- 2244 増補・虚構としての〈あいぬの風俗〉 (竹ヶ原幸朗)
北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要 14 2008-3 pp.89-113
- 2245 特集; 文学としての情報/情報としての文学——国語教材における「失敗者」の系譜 (甲斐雄一郎)
日本文学 (日本文学協会) 57-1 2008-1 pp.86-93
- 2246 戦後古典教育論の展開 昭和四〇年代を中心に (渡辺春美)
沖縄国際大学日本語日本文学研究 12-2 2008-3 pp.37-52
- 2247 生活綴方における峰地光重と東井義雄の比較 学習指導とのかかわりを中心として (シセ, マキア; 中野和光)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp.324-329
- 2248 「言語活動」概念の誕生 小林英夫によるソシユール言語学の導入と 1930 年代におけるその影響 (渡辺哲男)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 63 2008-3 pp.11-18
- 2249 シュミューダー説に基づく綴り方教材組織論提案の経緯 花田甚五郎のばあい (前田真証)
国語科研究紀要 (広島大学附属中・高等学校) 39 2008-10 pp.58-101
- 2250 戦後古典教育実践史の研究 『源氏物語』の実践の場合 (渡辺春美)
語文と教育 (鳴門教育大学国語教育学会) 22 2008-8 pp.89-100
- 2251 増淵恒吉の「話し合い」指導観 1957 年までの「実践」から (熊谷芳郎)
聖学院大学論叢 20-2 2008-3 pp.123-138
- 2252 柳田国男「昔の国語教育」再考 (真有澄香)
同朋文化 (同朋大学日本文学会・人間文化学会) 3(36) 2008-3 pp.13-32
- 2253 『赤い鳥』綴方における鈴木三重吉の人間教育 (出雲俊江)
広島大学大学院教育学研究科紀要 1 学習開発関連領域 57 2008-12 pp.123-130

□外国人に対する日本語教育

◇日本語教育一般

- 2254 「留学生受入れ 10 万人計画」と日本語教員養成 (大沢えり)
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要 31 2008-9 pp. 66-91
- 2255 多文化共生と共生に関するノート (田巻松雄)
宇都宮大学国際学部研究論集 26 2008-10 pp. 141-150
- 2256 〈講演〉ヨーロッパ言語共通参照枠組み (CEFR) と日本語教育 アイデンティティとユニバーサリティをめぐって (嘉数勝美)
応用言語学研究〈明海大学大学院応用言語学研究科紀要〉10 2008-3 pp. 9-16
- 2257 データから見る沖縄県の公立学校における年少者日本語教育の現状と課題 (高橋美奈子)
言語文化論叢 (琉球大学言語文化研究会) 5 2008-3 pp. 63-76
- 2258 〈実践報告〉日本語能力試験における発達性ディスレクシア (読字障害) への特別措置 (上野一彦 ; 大隅敦子)
国際交流基金日本語教育紀要 4 2008-3 pp. 157-167
- 2259 日本語教育における「話題」の扱い (橋本直幸)
人文学報 (首都大学・東京都立大学) 398 2008-3 pp. 58-76
- 2260 多文化社会における教育の国際化の意義 (池田賢市)
人文研紀要 (中央大学人文科学研究所) 64 2008-8 pp. 125-141
- 2261 日本語短期研修の新展開 セメスター制による受け入れについて (飯田透)
拓殖大学日本語紀要 18 2008-3 pp. 33-45
- 2262 外国人留学生の日本社会への適応パターンと日本語教育の課題 (林伸一)
大学教育 (山口大学大学教育機構) 5 2008-3 pp. 109-119
- 2263 言語習得・認知科学両研究成果の生態学的展開に基づく日本語教育方法論 (岡崎敏雄)
筑波大学地域研究 29 2008-3 pp. 129-141
- 2264 〈報告〉2007 年度 REX 事前研修報告 日本の中高の先生が期間付海外日本語教師になるプロセスの中で (鈴木美加)
東京外国語大学留学生日本語教育センター論集 34 2008-3 pp. 169-181
- 2265 国際化戦略としての英語 東京大学短期交換留学プログラムの事例 (恒吉僚子 ; 近藤安月子 ; 丸山千歌)
東京大学大学院教育学研究科紀要 47 2008-3 pp. 87-100
- 2266 日本の小学校における外国人児童の学級適応状態の類型化 (下田薫子)
名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学 55-1 2008-9 pp. 37-46
- 2267 ニューカマー児童生徒の「不就学」問題 実態把握のための諸課題 (白山真澄)
名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学 55-1 2008-9 pp. 115-128
- 2268 定住型外国人対象の自国語能力テストの社会的役割 オランダ、アメリカの事例から (福永由佳 ; 金田智子)
日本言語文化研究会論集 4 2008-9 pp. 1-17

- 2269 ニューカマーの子どもを対象にする教育行政の特徴に関する研究 文部科学省の施策に着目して
(栗原真孝)
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 16-1 2008-9 pp. 177-186
- 2270 〈主題講演〉学習者の多様性と多面性にこたえる日本語教育とは？(金田智子)
日本語教育研究(韓国日本語教育學會) 15 2008-10 pp. 5-14
- 2271 〈座談会〉香港日本語教育研究会 30 周年記念座談会(陳志誠(他 15 氏); 何志明/司会)
日本學刊(香港日本語教育研究会) 12 2008-6 pp. 20-37
- 2272 特集; 「専門日本語教育研究 10 年の歩みから今後へ」——専門日本語の気配り(山崎信寿)
専門日本語教育研究(専門日本語教育学会) 10 2008-12 pp. 19-24
- 2273 特集; みんなで取り組む 働く外国人と日本語——多文化共生の「制度的インフラ」としての日本語教育の推進 新たな段階を迎える外国人政策の改革(井口泰)
AJALT; Association for Japanese Language Teaching(日本語普及協會) 31 2008-6
pp. 12-15
- 2274 特集; 多文化共生社会と日本語教育——多文化共生と地域日本語教育支援 持続可能な協働実践の展開を目指して(野山広)
日本語教育(日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 4-13
- 2275 〃——日本語ボランティア活動を通じた民主主義の活性化 外国人と日本人双方の「自己実現」に向けて(岡崎眸)
日本語教育(日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 14-23
- 2276 〃——日本語を学ぶ人たちのオートノミーを守るために(青木直子)
日本語教育(日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 33-42
- 2277 特集; 特別寄稿 第 7 回 日本語教育国際研究大会——(A) 多文化と日本語教育(山田泉)
日本語教育(日本語教育学会) 139 2008-10 pp. 1-11
- 2278 〃——(B) 学習者の多様化と日本語教育(春原憲一郎)
日本語教育(日本語教育学会) 139 2008-10 pp. 12-23
- 2279 特集; 留学生と日本語教育——大学で学ぶ長期留学生と必要な日本語力(坂本正)
留学交流(日本学生支援機構) 20-3 2008-3 pp. 2-5

◇教授法

- 2280 日本事情の知識 地理、人口、自然編(大川英明)
関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 18 2008-12 pp. 67-81
- 2281 日本語教育施設における日本語能力の評価・測定に関する研究 学習到達度の評価の試み(小野塚若菜)
学芸国語国文学(東京学芸大学国語国文学会) 40 2008-3 pp. 1-10
- 2282 教師教育と教師の成長(小林浩明)
北九州市立大学国際論集 6 2008-3 pp. 47-58
- 2283 学習者はなぜ間違えるのか 学習者の誤用から教え方を学ぶ(迫田久美子)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 1-15

- 2284 龍谷大学国際文化学部日本語チュータリングの手引き (真仁田栄治)
国際文化ジャーナル (龍谷大学国際文化学会) 12 2008-3 pp. 19-27
- 2285 言語指導者の専門性(2) 指導場面に見る統合的言語行為 (宇都宮裕章)
静岡大学教育学部研究報告 教科教育学篇 39 2008-3 pp. 1-15
- 2286 〈報告〉企業が期待する外国人「人材」の能力とビジネス日本語 (山本富美子; 糸川優; 渋谷倫子;
副島健治; 戸坂弥寿美; 星野智子)
専門日本語教育研究 (専門日本語教育学会) 10 2008-12 pp. 47-52
- 2287 共生日本語教育が日本語非母語話者に与える教育的意義に関する一考察 ある教育実習生の事例か
ら (清水寿子)
多言語多文化 実践と研究 (東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター) 1 20
08-3 pp. 123-146
- 2288 教室内における教室活動のバラエティー 海外の中等教育及び予備教育機関調査から (藤森弘子)
東京外国語大学留学生日本語教育センター論集 34 2008-3 pp. 55-69
- 2289 日本語教師のパーソナリティとその関連要因について 養成課程学生との比較とともに (亀川順代)
同志社女子大学大学院文学研究科紀要 8 2008-3 pp. 19-35
- 2290 黒板の利点に着目した電子化黒板の特徴分析と支援システムの提案 日本語教育での効果的な活用
を目指して (佐藤弘毅)
名古屋大学日本語・日本文化論集 15 2008-3 pp. 79-100
- 2291 〈研究ノート〉学習者の日本語運用に対する、日常生活の中での評価 個人の「評価観」の問い直
しのために必要なこと (宇佐美洋)
日本言語文化研究会論集 4 2008-9 pp. 19-30
- 2292 「絵」の中の言語教育(補遺) 季節画とコメニウス (松岡弘)
日本語と日本語教育 (慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター) 36 2008-3 pp.
49-76
- 2293 効果的な日本語教授法の研究 中国人日本語教育者の視点から (王彦花)
日本語日本文学 (創価大学日本語日本文学会) 18 2008-3 pp. 65-76
- 2294 ホリスティック・アプローチと日本語教育理論(5) 「優れた」日本語教師の行動特性を中心に (縫
部義憲)
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp. 17-25
- 2295 短期交換留学生向けインターンシップと研修 グローバル社会における地域ネットワークと大学教
育 (恒松直美)
広島大学留学生センター紀要 18 2008-3 pp. 1-16
- 2296 留学生の就職支援のためのビジネス日本語教育に求められるものは何か (堀井恵子)
武蔵野大学文学部紀要 9 2008-3 pp. 140-132
- 2297 クラスタ分析による学習スタイル分類の試み 台湾人日本語学習者に焦点を当てて (荒井智子)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp. 1-12
- 2298 夜間中学における識字教育 在日朝鮮人女性一世の「経験」に焦点を当てて (岩崎真理)

- 早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 16-1 2008-9 pp.141-151
- 2299 日本語教育学における「実践研究」の意味と課題 (細川英雄)
早稲田日本語教育学 (早稲田大学) 3 2008-9 pp.1-9
- 2300 「意味創り」を目指したことばの支援の可能性 移動する子どもたちが主体的に学習に参加するために (尾関史)
早稲田日本語教育学 (早稲田大学) 3 2008-9 pp.11-24
- 2301 台湾人日本語教師の会話授業の分析 インターアクションの観点から (顔幸月)
東呉日語教育學報 (東呉大學) 31 2008-7 pp.4-26
- 2302 Papers from the Consortium Workshops on Japanese Pedagogy——第二言語習得におけるフィードバックの役割に関する考察 新しいフィードバックとピア・インタラクションを通して (川崎直子)
Nanzan Linguistics (南山大学) Special Issue 4 2008-3 pp.51-86
- 2303 Douglas, Masako O. ; Kataoka, Hiroko C. : Special Issue; Japanese Language Education——Scaffolding in Content Based Instruction of Japanese.
Japanese Language and Literature (JLL) 42-2, 10 2008 pp.337-359
- 2304 特集 ; 「教科書で教える」——日本語教育において「教科書で教える」が意味するもの (丸山敬介)
日本語教育論集 (国立国語研究所) 24 2008-3 pp.3-18
- 2305 特集 ; 「専門日本語教育研究 10 年の歩みから今後へ」——専門日本語教育の 10 年と今後の課題 日本語教育の立場から (仁科喜久子)
専門日本語教育研究 (専門日本語教育学会) 10 2008-12 pp.25-28
- 2306 特集 ; みんなで取り組む 働く外国人と日本語——企業における日本語教師の新たな役割 R 社との協働を通して (中河和子)
AJALT; Association for Japanese Language Teaching (日本語普及協会) 31 2008-6 pp.32-35
- 2307 特集 ; 教育現場から問い直す「評価」——技術研修生のための日本語研修における評価の観点 「技術研修生」が突きつける評価の課題群 (春原憲一郎)
日本語教育 (日本語教育学会) 136 2008-1 pp.4-16
- 2308 // ——日本語学校から見た評価の観点の見直し ヨーロッパ共通参照枠の視点から (山本弘子)
日本語教育 (日本語教育学会) 136 2008-1 pp.38-48
- 2309 特集 ; 多文化共生社会と日本語教育——市民による日本語習得支援を考える (西口光一)
日本語教育 (日本語教育学会) 138 2008-7 pp.24-32
- 2310 特集 ; 第二言語習得研究と教材開発——日本語教育の実践から見た第二言語習得研究 (川口義一)
第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp.5-21
- 2311 特集 ; 地域におけるニューカマー支援と連携 異文化間教育学の視座から——連携におけるコーディネーターの役割と課題 地域における研修やワークショップを事例として (野山広)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 28 2008-7 pp.32-43
- 2312 特集 ; 特別寄稿 第 7 回 日本語教育国際研究大会——(D) 教師と教育現場 (才田いずみ)

- 日本語教育 (日本語教育学会) 139 2008-10 pp. 36-41
- 2313 〈研究ノート〉言語テスト「SPOT」の音声テープの速度と明瞭度が解答に与える影響 (フォード丹羽順子)
佐賀大学留学生センター紀要 7 2008-3 pp. 63-71
- 2314 〈リ〉エジプト人日本語学習者に対する音声教育 アラビア語カイロ方言の特徴と日本語破裂音/p/の指導 (Hanan, Rafik Mohamad)
東京外国語大学論集 76 2008-7 pp. 241-249
- 2315 終助詞の音調における地域差と共通点 東京・大阪・岡山・香川を例として (轟木靖子; 山下直子)
日本語教育 (日本語教育学会) 136 2008-1 pp. 68-77
- 2316 複合語アクセント規則指導における効果 (松崎寛)
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp. 35-41
- 2317 〈研究ノート〉広東語母語学習者の特殊拍の混同に関する問題点の考察と指導法 (望月貴子)
日本學刊 (香港日本語教育研究会) 12 2008-6 pp. 125-137
- 2318 〈調査報告〉日本語教育における「カタカナ教育」の扱われ方 (中山恵利子; 陣内正敬; 桐生りか; 三宅直子)
日本語教育 (日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 83-91
- 2319 平仮名指導における問題点 英国グラマー・スクールの場合 (境匡)
日本語論叢 (早稲田大学日本語論叢の会) 8 2008-3 pp. 25-36
- 2320 日本語能力試験 (JLPT) の評価に対する研究 語彙問題を中心に (崔殷赫)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 61-77
- 2321 特集; 語彙の研究と教育——専門日本語教育における語彙指導の課題 アカデミック・ライティングの例を中心に (村岡貴子)
日本語学 (明治書院) 27-10 2008-9 pp. 60-69
- 2322 終助詞としての「し」の機能 日本語教育の観点から (榊原芳美)
関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 18 2008-12 pp. 33-45
- 2323 〈講演〉日本語のアスペクトについて テキスト研究の視点から (内山潤)
金城日本語日本文化 (金城学院大学日本語日本文化学会) 84 2008-3 pp. 1-11
- 2324 「のだ」に関する先行研究 (朝倉かおり)
言語コミュニケーション研究 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会) 8 2008-3 pp. 1-10
- 2325 中国における日本語学習者の相対自・他動詞の習得状況 より効果的な指導法の模索を目的として (李萍)
国学院大学紀要 46 2008-2 pp. 221-245
- 2326 〈実践・調査報告〉初級学習者のためのイメージ図による教授法 (水野吉徳)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 67-76
- 2327 日本語教育における「～やすい/にくい」の扱いについて 用法の細分化と文脈提示 (近藤裕子)
国文学踏査 (大正大学国文学会) 20 2008-3 pp. 174-161

- 2328 「だけ」の導入をめぐる 少量表現として教えたのはどれか? (山本忠行)
創価大学別科紀要 19 2008-3 pp. 1-28
- 2329 直接受身構文における母語の影響について 上級中国人学習者への調査から (浅野美加)
日本語文化研究 (日本語文化研究会) 12 2008-4 pp. 45-64
- 2330 特集;「教科書で教える」——教科書ができることとできないこと 「文型積み上げ式初級教科書で教える」とは (品田潤子)
日本語教育論集 (国立国語研究所) 24 2008-3 pp. 19-32
- 2331 現代日本語の敬語における主な問題と中国における日本語敬語教育について (姜紅)
愛知大学中国交換研究員論叢 25 2008-3 pp. 1-12
- 2332 日本語学習者の IT リテラシーの変遷と概要 (尾本康裕)
城西国際大学留学生別科紀要 3 2008-3 pp. 1-18
- 2333 留学生の文章のわかりにくさの原因を探る アカデミック・ライティングの効果的指導のために (植田和美; 今井美登里)
桜美林言語教育論叢 (桜美林大学言語教育研究所) 4 2008-3 pp. 25-42
- 2334 〈調査研究報告〉日本語学習者の日本語を聞く際の困難点に関する調査 ベトナム人大学生を対象として (Do, Hoang Ngan)
国際協力研究誌 (広島大学大学院) 14-2 2008-3 pp. 89-101
- 2335 初・中級での書く技能の指導 アカデミック・ジャパニーズを意識して (横田淳子)
東京外国語大学留学生日本語教育センター論集 34 2008-3 pp. 11-26
- 2336 読解ストラテジーと思考過程 (磯貝ひと美)
南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 63-82
- 2337 日本語の次ターン修正誘導発話(NTRI)による「反論」 テレビ討論の自然談話データを基にして (斉藤朗子)
南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 105-124
- 2338 中上級学習者の作文を評価する アカデミック・ライティング評価基準をどう使えばいいか (駒田朋子; 安井朱美; 山田真理)
南山大学国際教育センター紀要 9 2008-12 pp. 71-84
- 2339 論理的文章の中の「と思う」類と「と考える」類 (内田浩)
日本語・日本文化研究 (京都外国語大学) 14 2008-3 pp. 38-48
- 2340 〈授業への提案〉俳優の演技訓練を日本語の授業へ (早矢仕香)
日本語教育センター紀要 (日本学生支援機構) 4 2008-7 pp. 89-95
- 2341 中級の口頭表現能力を伸ばす指導を考える 「申し出」に対する学習者の断り表現と日本語母語話者の評価 (池田優子)
日本語と日本語教育 (慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター) 36 2008-3 pp. 115-151
- 2342 日本語の論理表現と教育 「スピーチ構成図」を活用した日本語コミュニケーション教育 (橋本恵子)

- 東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 15-31
- 2343 ピア・レスポンスにおける教師の役割 (黒田志保; 松崎寛)
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp. 65-70
- 2344 ピア・レスポンスによる「書くこと」の推敲指導 学習者の「着眼点」に焦点を当てて (徳間望)
日本研究 (韓国外國語大學校日本研究所) 36 2008-6 pp. 667-683
- 2345 「行為誘導機能」としてのバの言いさし文 (鄭相美)
日本學報 (韓國日本學會) 75 2008-5 pp. 99-110
- 2346 〈調査報告〉在日外国人児童の学業達成に関わる要因の理解 教師へのアンケートによる調査を通して (川口直巳)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 75-86
- 2347 多言語環境学級における担任教師の働きかけと児童間インターアクションの様相 (矢崎満夫)
静岡大学教育学部研究報告 教科教育学篇 39 2008-3 pp. 17-32
- 2348 日朝両言語における形容詞語彙の分類 (尹貞姫)
ことばの科学 (名古屋大学言語文化研究会) 21 2008-12 pp. 99-119
- 2349 日本語初級教材のイラストに見られる「視点」の分析 (横田隆志)
北陸大学紀要 32 2008-12 pp. 217-224
- 2350 Didi-Ogren, Holly HK; Goebel, Jr., Joseph J. : Special Issue: Japanese Language Education——
The Role of Input in JFL University-Level Teaching Materials; An Examination
of Three Widely Used Textbooks.
Japanese Language and Literature (JLL) 42-2, 10 2008 pp. 439-470
- 2351 特集; 「教科書で教える」——これからの日本語学習を教材で支援するために必要なこと (柴原智代;
島田徳子)
日本語教育論集 (国立国語研究所) 24 2008-3 pp. 33-47
- 2352 日本語と日本文化との接点 日本語教育の立場から (陳俊森)
アジア文化研究所研究年報 (東洋大学アジア文化研究所) 42 2008-2 pp. 132-121
- 2353 韓国人学部留学生の日本語学習における自己評価の変容(2) 学習者と環境との相互作用の観点か
ら (八若寿美子)
茨城大学留学生センター紀要 6 2008-2 pp. 35-46
- 2354 外国語学習スタイル尺度の作成とその検討 (藤田裕子)
桜美林言語教育論叢 (桜美林大学言語教育研究所) 4 2008-3 pp. 43-55
- 2355 協同学習におけるメタ認知活動 大学生の原稿産出プロセスから (富谷玲子; 高木南欧子)
神奈川大学言語研究 30 2008-3 pp. 79-98
- 2356 短期留学生による実践のコミュニティの組織化 (塩入すみ)
京都橘大学研究紀要 34 2008-1 pp. 196-179
- 2357 〈研究ノート〉台湾人大学生が日本人に対して持つイメージ 異文化接触の形態による影響の違い
(林紋守)
言語・地域文化研究 (東京外国語大学大学院博士後期課程論叢) 14 2008-3 pp. 211-

- 2358 多文化を標榜する社会と教育 日本語教育が貢献する項目 (片桐史尚)
言語と交流 (言語と交流研究会) 11 2008-6 pp. 50-59
- 2359 留学経験は学習動機にいかに関わっているか 「自己決定理論」に拠る「甲南大学 Year in Japan
プログラム留学生」の留学と日本語学習の動機の変化 (原田登美)
言語と文化 (甲南大学国際言語文化センター) 12 2008-3 pp. 151-171
- 2360 〈調査報告〉日本と海外の日本語教育機関の教育連携の模索 短期交換留学プログラムの学習者ア
ンケートから (近藤安月子; 丸山千歌; 東伴子; ピッツィコーニ, バルバラ)
小出記念日本語教育研究会論文集 16 2008-3 pp. 69-80
- 2361 〈じんりゅう時評〉「日本語でケアナビ」 介護・看護の現場で働く外国人の日本語教育を支援する
(上田和子)
国際人流 21-7 2008-7 pp. 28-31
- 2362 コース・デザインにおける「時間的余裕」と「他者」の意義 ある上級日本語学習者へのインタビ
ュー・データから (小沢伊久美)
語学研究 ICU Language Research Bulletin (国際基督教大学) 22 2008-2 pp. 103-
117
- 2363 〈研究ノート〉成人学習理論の概観と日本語学習活動の可能性 外国人参加者の成人性に着目して
(久野弓枝)
札幌大学総合論叢 26 2008-10 pp. 87-100
- 2364 社内の日本語 輸送機器製造業とコンピュータソフトウェア制作業 (袴田麻里)
静岡大学国際交流センター紀要 2 2008-3 pp. 39-47
- 2365 特集; 敬語研究のフロンティア——「文脈ニーズの察知」による待遇表現 「文脈スキニング仮
説」(遠藤直子)
社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp. 91-102
- 2366 〈報告〉工学系研究室における博士課程留学生の生活調査 (重田美咲)
専門日本語教育研究 (専門日本語教育学会) 10 2008-12 pp. 35-40
- 2367 〈Ⅱ〉学部で学ぶ留学生の日本語自律学習過程について 縦断的聞き取り調査の分析 (アブドゥハ
ン恭子)
専門日本語教育研究 (専門日本語教育学会) 10 2008-12 pp. 41-46
- 2368 多言語多文化を背景とした教室活動としてのピア・レスポンスの可能性 「協働性」に着目した活
動プロセスの分析 (原田三千代)
多言語多文化 実践と研究 (東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター) 1 20
08-3 pp. 27-53
- 2369 中国人学生は日本語力が低くても日本語で書かれた数学問題が解けるのか (笠原(竹田)ゆう子; 奥
山直樹; 王映哲)
多摩留学生教育研究論集 6 2008-3 pp. 11-21
- 2370 〈特定課題研究報告〉日本語学習者のドラマ視聴に関する調査研究 深圳職業技術学院を例に (徐

- 軍)
日本言語文化研究会論集 4 2008-9 pp. 61-88
- 2371 〈調査報告〉サウジアラビア政府派遣留学生の教育的背景およびレディネス (西沢信夫)
日本語教育センター紀要 (日本学生支援機構) 4 2008-7 pp. 69-77
- 2372 日本語学習者の「日本語」に対するイメージ 成績上位者と成績下位者のイメージに関する調査 (清田薫)
日本語教育論集 (姫路独協大学大学院) 17 2008-3 pp. 17-22
- 2373 日本語学習者の日本人イメージにみられる特徴とその形成要因 韓国の大学における学習者と非学習者の比較 (呉正培)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 35-55
- 2374 グループワークの経験が中国人学習者の言語学習観に及ぼす影響 日本語専攻主幹科目の受講生を対象とする実証的研究 (楊峻)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 113-131
- 2375 香川における日本語学習支援の現状とネットワークの可能性 (山下直子 ; 畑ゆかり)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 81 2008-3 pp. 81-89
- 2376 工学系大学院留学生の「正統的周辺参加」と日本語学習 (重田美咲)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 255-262
- 2377 PAC 分析におけるフェイスシートの開発に向けた課題 日本語教材と学習者のインタラクションの解明に向けた研究のために (丸山千歌 ; 小沢伊久美)
横浜国立大学留学生センター教育研究論集 15 2008-3 pp. 3-19
- 2378 母語話者と非母語話者の固定的役割を超える日本語支援活動を目指して 「2007 春 にほんご わせだの森」に参加した日本語母語話者へのインタビューから (新居知可子)
早稲田日本語教育学 (早稲田大学) 2 2008-5 pp. 45-58
- 2379 学習者の心理類型に関する研究の必要性 (申恩淨)
日本學報 (韓国日本學會) 74-1 2008-2 pp. 61-70
- 2380 韓国人大学生日本語学習者の 4 技能における自信と SPOT との関係に関する研究 (奥山洋子 ; 水口里香)
日本學報 (韓国日本學會) 74-1 2008-2 pp. 71-81
- 2381 Eda, Sanae ; Itomitsu, Masayuki ; Noda, Mari : The Japanese Skills Test as an On-Demand Placement Test ; Validity Comparisons and Reliability.
Foreign Language Annals 41-2, Summer 2008 pp. 218-236
- 2382 Yoshida, Reiko : Learners' Perception of Corrective Feedback in Pair Work.
Foreign Language Annals 41-3, Fall 2008 pp. 525-541
- 2383 Yoshida, Reiko : Teachers' Choice and Learners' Preference of Corrective Feedback Types.
Language Awareness 17-1, 2008 pp. 78-93
- 2384 Egi, Takako : Investigating Stimulated Recall as a Cognitive Measure ; Reactivity and Verbal

- Reports in SLA Research Methodology.
Language Awareness 17-3, 2008 pp.212-228
- 2385 Lassegard, James : The Effects of Language and Host Relations on Cross-Cultural Adjustment ; The Case of International Students in Japan.
南山大学国際教育センター紀要 8, 1 2008 pp.26-44
- 2386 Matsumoto, Hiroshi : Analyzing Learner Language among American University Students Studying Japanese (as a Second) Language ; Focusing on Errors and Other Idiosyncratic Features.
日本語日本文学 (創価大学日本語日本文学会) 18, 3 2008 pp.77-113
- 2387 千晁載 : 일본어 학습법 및 교수법에 대한 한국인 일본어 학습자의 의식.
日本研究 (中央大學校日本研究所) 24, 2 2008 pp.99-119
- 2388 이선희 : 중간언어 화용론 연구의 현황과 과제.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 23, 12 2008 pp.187-198
- 2389 李惠榮 : 교과서에 나타난 젠더표현의 일고찰.
日本語教育研究 (韓國日語教育學會) 15, 10 2008 pp.75-88
- 2390 金玄珠 : 언어자료 추출법에 대한 一考 ; 문법성 판단 및 OPI 에 대한 검토.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 37, 5 2008 pp.93-106
- 2391 特集 ; 特別寄稿 第 7 回 日本語教育国際研究大会——(C)言語研究と日本語教育 ソウル('00), 東京('04)と比べて振り返る釜山大会 2008 (迫田久美子)
日本語教育 (日本語教育学会) 139 2008-10 pp.24-35
- 2392 日本語アクセントの学習における自己モニターの有効性 タイ語母語話者に対するアンケートの分析から (スイリポンパイブーン, ユパカー)
音声研究 (日本音声学会) 12-2 2008-8 pp.17-29
- 2393 韓国人学習者の日本語歯茎破裂音における呼気圧・呼気流量について (鹿島央 ; 橋本慎吾)
音声研究 (日本音声学会) 12-3 2008-12 pp.76-86
- 2394 「平静の問い」と「非難の問い」の知覚におけるイントネーションの影響 日本語母語話者と韓国語を母語とする日本語学習者の比較 (田渕咲子)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp.255-264
- 2395 日本語の特殊拍の自立度と習得の難易度 韓国語を母語とする日本語学習者のリズム習得の状況から (ユン, ヨンファ)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp.265-283
- 2396 母語話者と非母語話者を聞き分ける基準は何であるのか。 成人韓国語話者の L2 日本語習得に見られる外国人訛りを中心に (金菊熙)
外国語教育センタージャーナル (島根大学外国語教育センター) 3 2008-3 pp.53-72
- 2397 自己紹介発話の実験音声学的な分析 (馬場良二)
熊本県立大学文学部紀要 14(67) 2008-3 pp.73-97
- 2398 韓国語母語話者による日本語破裂音の聴覚的認識 (金愛子)

- 言語・地域文化研究〈東京外国語大学大学院博士後期課程論叢〉14 2008-3 pp. 103-117
- 2399 東京語における句アクセントの研究 (竹村和子)
ことばと文化 (長野・言語文化研究会) 5 2008-3 pp. 48-59
- 2400 韓国語を母語とする日本語学習者の「これじゃない」の発話意図とイントネーション 音響分析と聴取に基づく考察 (三木理)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 321-341
- 2401 音声による感情表出とその音響的特徴について 問い返し疑問文に表れる「嫌」「驚き」の感情を例として (中林律子)
ことばの科学 (名古屋大学言語文化研究会) 21 2008-12 pp. 121-141
- 2402 中国語母語話者の長音の生成 長音位置による難易差を中心に (児崎静佳)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 259-273
- 2403 中国語母語話者の日本語発話における助詞の軽声化とその原因 2 モーラ語の単語発話と文節発話の比較 (藤田守)
拓殖大学語学研究 118 2008-10 pp. 13-30
- 2404 韓国人学習者における日本語の書記漢語の音韻推測 Think-aloud法とFollow-up Interview法によるケース・スタディー (鄭聖美)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 73-86
- 2405 フィンランド人・韓国人・中国人日本語学習者による母音長短の範疇知覚化 (栗原通世; 助川泰彦)
東北大学文学研究科研究年報 57 2008-2 pp. 96-79
- 2406 〈調査報告〉サウジアラビア人学習者の母音聞き取りの調査 (田中恵子)
日本語教育センター紀要 (日本学生支援機構) 4 2008-7 pp. 78-88
- 2407 複合名詞アクセントの知識と聞き取りの習得 中国北方方言を母語とする日本語学習者への追跡調査 (柳悦)
日本語研究 (首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会) 28 2008-6 p. 17-29
- 2408 語の聞き取りに関わる撥音の長さ 近畿方言話者と首都圏方言話者 (山岸智子)
阪大日本語研究 (大阪大学大学院) 20 2008-2 pp. 151-166
- 2409 韓国人日本語学習者のアクセント習得における母語干渉 語頭破裂音を含む語のアクセント (福岡昌子)
三重大学国際交流センター紀要 3(10) 2008-3 pp. 45-59
- 2410 日本語学習者の特殊拍生成の習得 リズム型・モーラ数・リズムの複雑さの影響 (木下直子)
日本學報 (韓国日本學會) 76 2008-8 pp. 1-10
- 2411 〈実践・調査報告〉日本語破裂子音の有声性について 台湾人学習者の濁音の認識を中心に (蘇克保)
銘傳日本語教育 (銘傳大學) 11 2008-10 pp. 128-148
- 2412 Tajima, Keiichi ; Kato, Hiroaki ; Rothwell, Amanda ; Akahane-Yamada, Reiko ; Munhall, Kevin G. : Tr

- aining English Listeners to Perceive Phonemic Length Contrasts in Japanese.
The Journal of the Acoustical Society of America 123-1, 1 2008 pp.397-413
- 2413 特集；正常な発話と逸脱した発話——第 2 言語習得過程にみる発話の非流暢性 音韻単位習得に焦点をあてて (氏平明)
音声研究 (日本音声学会) 12-3 2008-12 pp.41-51
- 2414 特集；日本人教師가 본 韓國의 日本語教育——韓國人学習者の日本語発音の問題点 (酒井真弓)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp.45-65
- 2415 オンライン漢字発音学習教材の長期的学習効果の検証 (水本光美；池田隆介)
北九州市立大学国際論集 6 2008-3 pp.59-64
- 2416 日本語学習者のカタカナ語意識とカタカナ語教育 (陣内正敬)
言語と文化 (関西学院大学言語教育研究センター) 11 2008-3 pp.47-59
- 2417 〈研究ノート〉日本語学習者の漢字・語彙の学習方法について (中西泰洋)
神戸大学留学生センター紀要 14 2008-3 pp.21-26
- 2418 中国語母語話者の日本語文表記の諸問題 符号の用い方をめぐって (泉文明；池宮由紀)
国際文化研究 (龍谷大学国際文化学会) 12 2008-3 pp.15-27
- 2419 背景の異なる学習者同士の漢字語彙学習と学習環境のデザイン (太田ミュキ)
拓殖大学日本語紀要 18 2008-3 pp.61-79
- 2420 中国語・朝鮮語話者による日本語表記の誤り 漢字の読み表記を中心に(2) (林謙太郎)
二松学舎大学論集 51 2008-3 pp.1-32
- 2421 中国語・朝鮮語話者による日本語表記の誤り 漢字の読み表記を中心に(3) (林謙太郎)
二松学舎大学人文論叢 81 2008-10 pp.70-90
- 2422 〈実践・事情報告〉マレー人日本語学習者の作文にみられた漢字の書き誤り (佐々木良造)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp.201-213
- 2423 聞き取り調査によるカタカナ語の誤用分析 (畑ゆかり；山下直子)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 84 2008-9 pp.103-110
- 2424 コーパスを用いた論文作成のための漢字および漢字語彙の抽出 (小山真理；伊集院郁子)
文化女子大学紀要 人文・社会科学 16 2008-1 pp.59-74
- 2425 韓國人日本語学習者の作文に見られる漢字の誤用 書き誤りと読みとの関連 (石井奈保美)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp.243-256
- 2426 韓國人学習者における漢字の誤表記の研究 「誤表記への気づき」の視点から (崔廷珉)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp.293-306
- 2427 Allen, Joseph R. : Why Learning to Write Chinese Is a Waste of Time ; A Modest Proposal.
Foreign Language Annals 41-2, Summer 2008 pp.237-251
- 2428 李德培 : 효율적인 일본한자 학습을 위한 教育漢字의 체계화.
日本學報 (韓國日本語學會) 76, 8 2008 pp.85-96
- 2429 初級日本語学習者の語彙知識の量的側面と語彙学習ストラテジーの関わり ハンガリーの日本語学習者を対象に (橋本ゆかり)

- ICU 日本語教育研究 (国際基督教大学日本語教育研究センター) 4 2008-3 pp. 21-35
- 2430 日本語学習者の外来語に対する苦手意識と受容態度 英語母語話者の場合 (堀切友紀子)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 28 2008-7 pp. 74-86
- 2431 ベトナム人日本語学習者の漢越語知識と漢字語彙習得についての一考察 現地における正誤判断テストとインタビュー調査から (中山康弘; 小林学)
桜美林言語教育論叢 (桜美林大学言語教育研究所) 4 2008-3 pp. 75-91
- 2432 「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」に見られるオノマトペの使用層別特徴 (陳志文; 李欣錡)
国語学研究 (東北大学大学院) 47 2008-3 pp. 27-39
- 2433 情報セキュリティ・情報モラル教育に関わる日本語の用語の分析 (浜田美和)
富山大学留学生センター紀要 7 2008-10 pp. 1-14
- 2434 〈特定課題研究報告〉物理教科書『高専の物理』に出現している動詞の分析 (パイー, ロキア)
日本言語文化研究会論集 4 2008-9 pp. 257-273
- 2435 中国人学習者の間違いやすい日本語の漢語表現に関する考察 日本語と中国語における「人間」と「人」の相違をめぐって (任川海)
日本語・日本文化研究 (京都外国語大学) 14 2008-3 pp. 14-24
- 2436 〈研究ノート〉中国語を第一言語とする日本語学習者の同形語の認知処理 同形類義語と同形異義語を対象に (小森和子; 玉岡賀津雄; 近藤安月子)
日本語科学 (国立国語研究所) 23 2008-4 pp. 81-93
- 2437 日本語学習者のテキスト理解における未知語の意味推測 L2 知識と母語背景が及ぼす影響 (山方純子)
日本語教育 (日本語教育学会) 139 2008-10 pp. 42-51
- 2438 第二言語及び外国語としての日本語学習者における現場指示の習得 台湾人の日本語学習者を対象に (孫愛維)
日本語教育論集 (国立国語研究所) 24 2008-3 pp. 49-64
- 2439 ベトナム語母語話者にとって漢越語知識は日本語学習にどの程度有利に働くか 日越漢字語の一致度に基づく分析 (松田真希子; タン, ティ・キム・テュエン; ゴ, ミン・トゥイ; 金村久美; 中平勝子; 三上喜貴)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 21-33
- 2440 コア図式を用いた意味記述の試み 複合動詞「ひっかける」を事例として (松田文子; 白石知代)
表現研究 (表現学会) 87 2008-3 pp. 51-61
- 2441 中国語を母語とする初級日本語学習者における語彙と概念の連合関係 絵—単語カテゴリー—一致性判断課題を用いた実験的検討 (松見法男; 蔡鳳香)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 193-197
- 2442 小学校社会科教科書の他動詞の使用について・連語論の観点から 子どもに対する教科学習の日本語支援のために (宮部真由美)
文教大学文学部紀要 22-1 2008-9 pp. 69-90

- 2443 初級日本語教科書とドラマの脚本に見られる助数詞「つ」の使用 (北川幸子)
無差 (京都外国語大学日本語学科研究会) 15 2008-3 pp. 97-109
- 2444 複合動詞の意味の多様性をめぐって (李暲洙)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 23 2008-12 pp. 175-185
- 2445 韓国語に対応する日本語動詞の意味境界に関する考察 韓日・日韓辞書の用例を中心に (吳守鎮)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 38 2008-8 pp. 31-54
- 2446 日韓辞書における多義動詞「とる」の意味記述について (水口里香)
日本學報 (韓国日本學會) 75 2008-5 pp. 13-24
- 2447 Churchill, Eton : A Dynamic Systems Account of Learning a Word ; From Ecology to Form Relations.
Applied Linguistics 29-3, 9 2008 pp. 339-358
- 2448 Bode, Jeroen : Japanese as a Foreign Language—Yoji jukugo (四字熟語) in Modern Japanese ; Succinct Idiomatic Phrases with Four Characters.
外国語教育論集 (筑波大学外国語センター) 30, 3 2008 pp. 115-131
- 2449 趙南星 : 한국인 일본어 학습자의 한자어 유의어 습득.
日本語学研究 (韓国日本語學會) 21, 3 2008 pp. 131-150
- 2450 特集 ; 語彙の研究と教育——新しい日本語能力試験のための語彙表・漢字表作成中間報告 新語彙表 ver. 3 の完成まで (秋元美晴 ; 押尾和美)
日本語学 (明治書院) 27-10 2008-9 pp. 36-49
- 2451 // ——日本語教育のための語彙リストの作成 (橋本直幸 ; 山内博之)
日本語学 (明治書院) 27-10 2008-9 pp. 50-58
- 2452 特集 ; 日本文学と日本語教育のはざま 女性は何を学び、何を発信してきたか——2. 日本語教育の諸相 日本語会話教材における女性文末詞 教材と実社会の距離 (小山裕美)
かほよとり (武庫川女子大学大学院雑誌) 2008-11 pp. 57-48
- 2453 「～てあげる」「～てくれる」「～てもらう」の文法性判断テスト 学習者の日本語履修歴とのかかわりにおいて (萩原章子)
ICU 日本語教育研究 (国際基督教大学日本語教育研究センター) 4 2008-3 pp. 3-18
- 2454 文脈文の複雑さが文法項目の理解に及ぼす影響 母語背景の異なる第 2 言語学習者の比較から (堀場裕紀江 ; 松本順子)
Scientific Approaches to Language (神田外語大学言語科学研究センター紀要) 7 2008-3 pp. 181-207
- 2455 (研究ノート) 助動詞 活用語としての考察 (Pioch, 和子)
VJV フォーラム紀要 (ドイツ VHS 日本語講師の会) 10 2008-4 pp. 34-40
- 2456 頻度の副詞「よく」をめぐって 文末表現との共起制限を通して見られる「よく」の素性 (森川結花)
大阪樟蔭女子大学日本語研究センター報告 15 2008-3 pp. 21-34
- 2457 日本語母語話者と中韓日本語学習者の持つ格助詞デのカテゴリー構造比較 (森山新 ; 冉愛玲)

- お茶の水女子大学人文科学研究 4 2008-3 pp. 53-66
- 2458 〈研究ノート〉第二言語習得における母語の影響についての覚書 中国語母語話者による日本語の「自分自身」の習得 (吉田智佳)
外国語教育 理論と実践 (天理大学言語教育研究センター) 34 2008-3 pp. 1-17
- 2459 第二言語としての日本語の形容詞習得研究 「イ形容詞+の」の形に注目して (福田規子)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp. 548-553
- 2460 「形容詞+感じる」の周辺 (加藤由紀子)
岐阜大学留学生センター紀要 2007 年 2008-3 pp. 21-31
- 2461 「ヨウダ」の意味に関する認知言語学的考察 (飯干和也)
熊本県立大学大学院文学研究科論集 1 2008-9 pp. 81-96
- 2462 中国語母語話者における「のだから」の誤用傾向とその要因 KY コーパスのデータをもとに (鈴木庸子)
甲南大学紀要 文学編 153 2008-3 pp. 21-33
- 2463 タイ語母語話者における日本語授受動詞の習得研究 「くれる」使用を中心に (甲斐田和子)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 47-56
- 2464 婉曲「ようだ」と聞き手の領域 (山本沙枝)
国文目白 (日本女子大学国語国文学会) 47 2008-2 pp. 1-12
- 2465 教育文法の立場から見た複合助辞「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の誤用分析 (杉村泰)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 167-185
- 2466 タイ人日本語学習者の受身の習得 (テーウィット, サウエットアイヤラム)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 187-204
- 2467 漢語動詞の二格構文に関する誤用調査 中国人日本語学習者を対象に (張善実)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp. 205-220
- 2468 因果関係を表さない接続助詞カラの習得 英語・中国語・韓国語母語話者のデータ比較を通して (斉藤信浩)
ことばの科学 (名古屋大学言語文化研究会) 21 2008-12 pp. 155-170
- 2469 人間関係と接続詞「だって」の使い方 (萩原孝恵)
昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究 3 2008-3 pp. 37-54
- 2470 形態素解析に関する提案 日本語教育の視点から (山内博之)
実践国文学 (実践国文学会) 73 2008-3 pp. 152-141
- 2471 中国語母語話者の日本語習得過程 自由発話文に現れた複文の使用の広がり (原やす江)
城西国際大学紀要 人文学部 16-2 2008-3 pp. 13-37
- 2472 日本語学習者の受益表現の習得について (小森早江子)
人文学部研究論集 (中部大学) 19 2008-1 pp. 191-206
- 2473 ロシア人日本語学習者のテイルの習得研究 「動作の継続」と「結果の状態」を中心に (松井一美)
創価大学別科紀要 19 2008-3 pp. 69-85

- 2474 学習者は形式と意味機能をいかに結びつけていくか 初級学習者の条件表現の習得プロセスに関する事例研究 (大関浩美)
第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp. 122-139
- 2475 韓国人学習者の日本語漢語動詞の習得に関する一考察 韓国で学ぶ学習者と日本で学ぶ学習者を対象に (沢邊裕子; 安井朱美)
第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp. 141-158
- 2476 教室談話における教師の「ハイ」の機能 話題の完成という観点から (山元一晃)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 127-138
- 2477 「日本語教育のための文法」再考 「日本語教育文法」はいつから言われはじめたか (関正昭)
東海大学紀要 留学生教育センター28 2008-3 pp. 1-15
- 2478 「ラシイ」らしさとは 「ヨウダ」との比較において (楠本徹也)
東京外国語大学論集 77 2008-12 pp. 281-295
- 2479 日本語の接尾辞「一的」の意味論および統語論的一考察 (呉人恵; 趙虹)
富山大学人文学部紀要 49 2008-8 pp. 19-43
- 2480 日本語の動詞 qualifier (Roni)
名古屋大学国語国文学 101 2008-11 pp. 100-82
- 2481 「的」付きナ形容詞の統語機能に関して (王娟)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp. 125-134
- 2482 感情形容詞と「がる」との接続 (韓金柱)
日本研究教育年報 (東京外国語大学) 12 2008-3 pp. 47-63
- 2483 タイ人日本語学習者の場所を表す「に」と「で」の習得 言語処理のストラテジーを中心に (ダナサーンソムバット, ジャルナン)
日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 85-94
- 2484 日本語教育における終助詞「ね」の習得の特徴 インタビュー形式の会話における中国語を母語とする学習者を中心に (何桂花)
日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 117-126
- 2485 中国人日本語学習者における「のだ」「のか」の習得 使用条件と非使用条件をめぐって (趙萍)
日本語教育 (日本語教育学会) 137 2008-4 pp. 11-20
- 2486 日本語学習者による初級文型～テモイイのとらえ方について 「初級文型の硬直化」の問題から (遠藤直子)
日本語教育 (日本語教育学会) 137 2008-4 pp. 21-30
- 2487 〈調査報告〉受益表現の誤用と訂正フィードバックに対する中上級日本語学習者の反応 リキャストと自己訂正を促す介入の比較 (菅生早千江)
日本語教育 (日本語教育学会) 139 2008-10 pp. 52-61
- 2488 「のだ」「のか」の習得に日本語能力、および学習環境が与える影響 中国人学習者を対象に (趙萍)
日本語教育研究 (言語文化研究所) 53 2008-3 pp. 81-90
- 2489 可能表現の対象格標示「ガ」と「ヲ」の交替 (青木ひろみ)

- 日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp.133-146
- 2490 第二言語及び外国語としての日本語学習者における非現場指示の習得 台湾人の日本語学習者を対象に (孫愛維)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp.163-184
- 2491 3種類のコーパスを用いた3級4級文法項目の使用頻度調査とその考察 (江田すみれ; 小西円)
日本女子大学紀要 文学部 57 2008-3 pp.1-28
- 2492 否定丁寧形「～ません」と「～ないです」に関する一考察 ことばの「ゆれ」が海外での日本語教育・学習に与える影響 (沢邊裕子; 相沢由佳)
日本文学ノート (宮城学院女子大学日本文学会) 2008-7 pp.183-170
- 2493 第二言語習得支援における文化と認知 (山下明昭)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 81 2008-3 pp.73-79
- 2494 日本語の感情形容詞に見られる概括性について (宋協毅)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp.79-86
- 2495 〈研究ノート〉日本語における総括義を持つ副詞について (肖爽)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp.331-336
- 2496 日本語複文“～て～た”と“～と～た”の比較分析 中国人日本語学習者の誤用を踏まえて (村松由起子; 劉偉)
雲雀野〈豊橋技術科学大学人文・社会工学系紀要〉30 2008-3 pp.28-39
- 2497 文型としての「言いさし文」(白川博之)
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp.1-8
- 2498 中国語との対照による現代日本語の形容詞・形容動詞学習の実態調査 台湾の日本語学科大学生対象アンケートから (潘婉華)
文研会紀要 (愛知学院大学大学院) 19 2008-3 pp.183-169
- 2499 韓国人日本語学習者の「(ら)れる」の使用に見られる誤用分析 (許明子)
文芸言語研究・言語篇 (筑波大学大学院) 53 2008-3 pp.51-61
- 2500 原因・理由を表す「ため」と「によって」(池上素子)
北海道大学留学生センター紀要 11 2008-3 pp.19-37
- 2501 日本語学習者と日本語母語話者の作文における接続助詞の定量的分析 (木山三佳)
明海大学外国語学部論集 20 2008-3 pp.25-33
- 2502 日本語教科書における無助詞の扱い (森川舞子)
日本研究 (韓国外國語大學校日本研究所) 38 2008-12 pp.233-249
- 2503 韓国人学習者の日本語原因・理由表現の切換え能力の習得メカニズム (李吉鎔)
日本研究 (中央大學校日本研究所) 24 2008-2 pp.55-73
- 2504 「わけだ」文の意味について (牟世鍾; 宋洙珍)
日本研究 (中央大學校日本研究所) 25 2008-8 pp.27-42
- 2505 バイリンガル韓国人中高生における「のだ文」の習得状況 (朴良順)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 38 2008-8 pp.91-107

- 2506 格助詞ヲ、ニのカテゴリー構造と韓中日本語学習者のカテゴリー形成 (森山新; 水口里香)
日本學報 (韓國日本學會) 76 2008-8 pp.11-28
- 2507 Solvang, Harry : Approaching the Acquisition of Japanese Conditional Markers from a Proposed Implicational Markedness Hierarchy.
IRAL; International Review of Applied Linguistics in Language Teaching 46-1,
2008 pp.31-59
- 2508 Machida, Nanako : A Note on Nominative Case Omission in Japanese ; A Case Study of an Advanced Learner of Japanese.
南山大学日本文化学科論集 8, 3 2008 pp.5-17
- 2509 Oga, Kyoko ; Nakazora, Yoshie ; Akita, Mamiko-Orii : The Acquisition of Japanese Sentential Modifiers by Adult Chinese Learners.
北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 59-1, 8 2008 pp.17-32
- 2510 全成龍 : 「명사+의+명사」의 고찰; 사람명사+의+사물/사람명사의 경우를 중심으로.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 21, 3 2008 pp.117-128
- 2511 全成龍 : 「명사+의+명사」의 고찰(2) ; 사람명사+사물명사/사물명사+사물명사/사물명사+사람명사를 중심으로.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 38, 8 2008 pp.57-75
- 2512 김양선 : 한국어 ‘VN 하다/되다’ 로 대응하는 일본어 ‘VN する’ ; 기초적인 어휘를 중심으로.
日本學報 (韓國日本學會) 74-1, 2 2008 pp.15-36
- 2513 Papers from the Consortium Workshops on Japanese Pedagogy——中間言語に見られる有生物主語受身ラレル形の使用 台湾人日本語学習者の横断的研究 (徐毓瑩)
Nanzan Linguistics (南山大学) Special Issue 4 2008-3 pp.33-50
- 2514 〃——連体修飾構造習得過程における「の」の過剰使用に関する研究 (了戒直江)
Nanzan Linguistics (南山大学) Special Issue 4 2008-3 pp.131-141
- 2515 Williams, John N. ; Kuribara, Chieko : Special Issue; Current Emergentist and Nativist Perspectives on Second Language Acquisition——Comparing a Nativist and Emergentist Approach to the Initial Stage of SLA ; An Investigation of Japanese Scrambling.
Lingua 118-4, 4 2008 pp.522-553
- 2516 特集 ; 日本語文法の現在——ソトからみた日本語文法 日本語教育からみた日本語文法 (村田美穂子)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp.154-159
- 2517 授受補助動詞の使用制限に与える敬語化の影響について 「くださる」「いただく」を用いた感謝表現を中心に (山口真里子)
国際広報メディア・観光学ジャーナル (北海道大学大学院) 6 2008-3 pp.69-89
- 2518 ポライトネスにおける「から」と「ので」 日本語を母語としない日本語学習者の視点から (楊宏

- 華)
対照言語学研究 (海山文化研究所) 18 2008-12 pp. 7-25
- 2519 言語行動における日本語の敬語教育 (金華)
文研会紀要 (愛知学院大学大学院) 19 2008-3 pp. 194-184
- 2520 〈研究ノート〉謙讓語 1 と謙讓語 2 を巡って (児島慶治)
日本學刊 (香港日本語教育研究会) 12 2008-6 pp. 103-112
- 2521 小村 親英: A Sociocultural Explanation of the Overuse of Japanese Honorific Utterances in Speech Communication.
関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 18, 12 2008 pp. 83-97
- 2522 日语教学中对文字和语言情感表现的探索 (崔平)
北陸大学紀要 32 2008-12 pp. 211-216
- 2523 比喩の構造的特徴と心情的意味 固定的な表現を中心に (橋田滋子)
言語と交流 (言語と交流研究会) 11 2008-6 pp. 28-36
- 2524 文章と複合動詞 論述的な文章ジャンルを特徴づける新たな指標を探して (村田年)
日本語と日本語教育 (慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター) 36 2008-3 pp. 1-33
- 2525 「客観報道」の技法への一考察 新聞の報道記事の文章構成をめぐって (落合由治)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 81 2008-3 pp. 1-15
- 2526 日本語教材としての新聞報道記事の表現技法 見出しにおける「引用」「意見」「レトリック」の問題点 (落合由治)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 84 2008-9 pp. 13-31
- 2527 富山方言「ガ」と共通語「が」「の」との対照 日本語教育への応用 (苗田敏美)
日本語教育論集 (姫路独協大学大学院) 17 2008-3 pp. 23-30
- 2528 多読のための日本語版グレイデッド・リーダー開発への取り組み JGR 語彙チェッカーの特徴と作品制作における有用性 (原田照子; 山形美保子; 中野てい子; 酒井真智子; 宮崎妙子; 三上京子)
桜美林言語教育論叢 (桜美林大学言語教育研究所) 4 2008-3 pp. 57-73
- 2529 〈テクニカルノート〉単語対応付けに基づく日本語学習者による作文の自動識別 (吉見毅彦; 小谷克則; 九津見毅; 佐田いち子)
情報処理学会論文誌 [CD-ROM 版] 49-12 2008-12 pp. 4039-4043
- 2530 電子メールにおける依頼の表現 日本語母語話者とタイ人日本語学習者の対照研究 (宮崎玲子)
STUDIUM; Linguarum et culutum mundi (大阪大学大学院) 35 2008-4 pp. 16-27
- 2531 中国人 JFL 型学習者の感謝場面に使用される詫び表現の調査 詫び表現のバリエーションを中心に (孫守峰)
STUDIUM; Linguarum et culutum mundi (大阪大学大学院) 35 2008-4 pp. 51-61
- 2532 〈研究ノート〉「私は」考 (ヴィッティング・桐淵尚)
VJV フォーラム紀要 (ドイツ VHS 日本語講師の会) 10 2008-4 pp. 30-33

- 2533 韓国人日本語学習者の依頼表現 依頼行為を話し手と聞き手が共に行う場合 (松田勇一; 金英姫; 李周殷; 朴銀南)
茨城大学留学生センター紀要 6 2008-2 pp. 47-60
- 2534 韓国人学習者の指示詞の使用意識に関する一考察 指示詞のテスト後に実施した自由記述の分析から (安龍洙)
茨城大学留学生センター紀要 6 2008-2 pp. 61-76
- 2535 マレー語母語話者の依頼に対する返答 日本語の習得過程を探る試み (伊藤恵美子)
異文化コミュニケーション研究 (神田外語大学異文化コミュニケーション研究所) 20
2008-3 pp. 1-19
- 2536 「慰め・励まし」の様相 シナリオを例として (塩見式子; 米沢昌子)
関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 18 2008-12 pp. 1-15
- 2537 日本語教育とナラティブ (森陽子)
関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 18 2008-12 pp. 17-32
- 2538 〈研究ノート〉日本語学習者を戸惑わせるネイティブ・スピーカーの発話 フォリナー・トークによって生じる誤解 (Vanbaelen, Ruth)
外国語教育論集 (筑波大学外国語センター) 30 2008-3 pp. 159-169
- 2539 第二言語の文章能力の再定義 第二言語の文章能力における母語の文章能力の影響 (金有暲)
九州大学留学生センター紀要 16 2008-3 pp. 23-28
- 2540 日本語学習者の教室内言語不安に関する研究 中国における会話授業を対象として (曾莉芬)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp. 542-547
- 2541 韓国の大学生が考える日本語コミュニケーション能力 中国・台湾の大学生との比較を通して (中川良雄)
京都外国語大学研究論叢 71 2008-7 pp. 205-217
- 2542 第 2 言語学習者の言語知識と読解における母語背景の影響 (堀場裕紀江; 小林ひとみ; 松本順子; 鈴木秀明)
言語科学研究 (神田外語大学大学院紀要) 14 2008-3 pp. 27-48
- 2543 「価値観」の分析とポライトネス 言語教育における社会文化的能力の重要性 「依頼」と「断り」の表現から (稲垣亮子)
言語コミュニケーション研究 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会) 8 2008-3
pp. 11-20
- 2544 コミュニケーションにおいて言葉の大切さを述べる (王偉)
言語コミュニケーション研究 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会) 8 2008-3
pp. 21-30
- 2545 断る場面における「前置き表現」について 中国の日本語学習者と日本語母語話者の比較 (周升干)
言語文化学研究 言語情報編 (大阪府立大学) 3 2008-3 pp. 189-210
- 2546 中国語を母語とする日本語学習者による「前置き表現」の習得 KY コーパスを利用して (陳臻渝; 古江尚美)

- 言語文化学研究 言語情報編 (大阪府立大学) 3 2008-3 pp.211-224
- 2547 若年層日本語母語話者のくだけた会話に現れた技巧の分析 日本語教育の立場から (石川朋子)
小出記念日本語教育研究会論文集 16 2008-3 pp.7-21
- 2548 地域の日本語教室に含まれる対話の機会 「母語話者と非母語話者の接触場面」という安全な枠組みの再考 (福田泉)
小出記念日本語教育研究会論文集 16 2008-3 pp.41-52
- 2549 コーパスを用いた論文作成のための慣用的共起表現の抽出 (三国純子; 小森和子)
小出記念日本語教育研究会論文集 16 2008-3 pp.55-67
- 2550 〈調査報告〉日本語学習者と母語話者における日本語複合動詞使用状況の比較 作文データベースを用いて (陳曦)
小出記念日本語教育研究会論文集 16 2008-3 pp.83-95
- 2551 中国人日本語上級学習者の語用論的転移の一考察 依頼に対する断り表現のポライトネスの表し方から (蒙韞)
国際開発研究フォーラム (名古屋大学大学院) 36 2008-3 pp.241-254
- 2552 日本語学習者の作文の媒体としての下書き (石毛順子)
国際交流基金日本語教育紀要 4 2008-3 pp.1-11
- 2553 <主観的把握>と<客観的把握> 他者行為・心的状態の記述 (姫野伴子)
国際交流センター紀要 (埼玉大学国際交流センター) 2 2008-3 pp.13-22
- 2554 介護福祉士による「日誌」「申し送り」の諸特徴 (石川美和)
ことば (現代日本語研究会) 29 2008-12 pp.73-82
- 2555 日本語母語話者の韓国語作文に見られる誤用とその分析 (延鎮淑)
ことばと文化 (長野・言語文化研究会) 5 2008-3 pp.60-74
- 2556 現代日本語における接続助詞で終わる言いさし表現について 「けど」「から」を中心に (朴仙花)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp.253-270
- 2557 中国人上級日本語学習者の縮約形の使用状況 (東会娟)
言葉と文化 (名古屋大学大学院) 9 2008-3 pp.343-356
- 2558 初級・中級レベルの日本語学習者におけるディベートの意義 (早瀬郁子)
佐賀大学留学生センター紀要 7 2008-3 pp.13-28
- 2559 講義理解に影響したインプットと背景知識 外国人留学生の内省報告から (毛利貴美)
佐賀大学留学生センター紀要 7 2008-3 pp.29-46
- 2560 待遇コミュニケーション教育/学習における「意識」 初級学習段階から「意識」を学びに生かすために (ウォーカー泉)
待遇コミュニケーション研究 (早稲田大学) 5 2008-1 pp.3-18
- 2561 行動展開しない/させないことを「意図」した「行動展開表現」に関する考察 (伴野崇生)
待遇コミュニケーション研究 (早稲田大学) 5 2008-1 pp.35-50
- 2562 待遇コミュニケーション教育における「混合体」に関する考察 日本人ビジネス関係者の会話調査から (福島恵美子)

- 待遇コミュニケーション研究 (早稲田大学) 5 2008-1 pp. 51-66
- 2563 「マージンフリー」を志向して 社会人を対象としたコミュニケーション教育の観点から (清ルミ)
待遇コミュニケーション研究 (早稲田大学) 5 2008-1 pp. 95-101
- 2564 〈研究ノート〉「推測読み」における読解ストラテジーの観察 (中村かおり)
拓殖大学日本語紀要 18 2008-3 pp. 81-95
- 2565 〈Ⅱ〉研究留学生のための総合的初中級教材 (福良直子; 丸山樹里; 山崎深雪)
多文化社会と留学生交流〈大阪大学留学生センター研究論集〉12 2008-3 pp. 33-48
- 2566 〈Ⅱ〉「共生日本語」へのナラティブ・アプローチ (岡崎洋三)
多文化社会と留学生交流〈大阪大学留学生センター研究論集〉12 2008-3 pp. 49-59
- 2567 〈Ⅱ〉日本語学習者の面接場面でみられたまとまり話(Substantive Discourse)の特徴 (馬場真知子)
多摩留学生教育研究論集 6 2008-3 pp. 23-29
- 2568 ブログにおける言いさし文 (林茜茜)
大学院論文集 (杏林大学大学院) 5 2008-3 pp. 47-65
- 2569 日本語学習者の情意面を表すプライベートスピーチ (吉田玲子)
第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp. 101-120
- 2570 日本語学習者を対象とした中間言語語用論研究の問題点と今後の展望 データ収集方法および分析
の観点から (小早川麻衣子)
第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp. 160-179
- 2571 中上級日本語学習者と母語話者の談話展開 会話進行に伴う情報要求表現に着目して (吉田睦)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 139-152
- 2572 未知語が予期的推論生成に与える影響 日本語学習者の読解プロセス (渡辺芙裕美)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 167-178
- 2573 中日接触場面の初対面会話における「ね」の分析 共感構築の観点から (楊虹)
東京成徳大学人文学部研究紀要 15 2008-3 pp. 125-136
- 2574 日本語母語話者の視点の実態について 「視座の統一度と文章のわかりやすさの関係」調査と共に
(坂本勝信; 康鳳麗)
常葉学園大学研究紀要 外国語学部 24 2008-3 pp. 205-217
- 2575 ピア・レスポンスに関する一考察 ピア・フィードバックに注目して (古田一恵)
南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 43-62
- 2576 目的格「ヲ」の無助詞化現象に関わる一考察 (久我瞳)
南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 83-104
- 2577 依頼に対する断り方略の分析 日本語母語話者・韓国人日本語学習者・韓国語母語話者間の比較よ
り (豊田奈津)
南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 125-140
- 2578 予測の要素を含む発話の重なり 接触場面と母語場面を比較して (横沢友乃)
南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 141-160
- 2579 言いさし表現とターン交替に関わる一考察 接続助詞「けど」に着目して (渡辺恭子)

- 南山言語科学 (南山大学大学院) 3 2008-3 pp. 161-180
- 2580 談話の観点から見た留学生の伝言文の分析 (伊藤由香)
南山大学国際教育センター紀要 8 2008-1 pp. 61-73
- 2581 日本語母語話者とドイツ語を母語とする日本語学習者の謝罪行動 謝罪側に直接的な非がない状況の場合 (菅摂子)
日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 127-136
- 2582 OPI 超級・上級話者の普通体会話にみられる終助詞の特徴 (駒井(木寅)裕子)
日本語・日本文化研究 (京都外国語大学) 14 2008-3 pp. 61-71
- 2583 日本語会話とトルコ語会話に見られる繰り返しとその応答について 依頼場面を中心として (アクドーアン, プナル; 大浜るい子)
日本語教育 (日本語教育学会) 137 2008-4 pp. 1-10
- 2584 指示詞系フィラー「あの(一)」・「その(一)」の用法 (大工原勇人)
日本語教育 (日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 53-62
- 2585 ビジネス場面における電話会話終結部の分析 中国語を母語とする日本語学習者(JFL)のクレームへの応対を中心に (服部明子)
日本語教育 (日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 63-72
- 2586 〈調査報告〉実態調査からみた「義務の表現」のバリエーションとその出現傾向 (小西円)
日本語教育 (日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 73-82
- 2587 大学院留学生の文章課題遂行過程における管理プロセス 文法外コミュニケーション行動の分析 (宮崎七湖)
日本語教育研究 (言語文化研究所) 53 2008-3 pp. 65-80
- 2588 「私」と無助詞の関係 (浅津嘉之)
日本語教育論集 (姫路独協大学大学院) 17 2008-3 pp. 1-8
- 2589 「対話的問題提起学習」が母語話者参加者の積極的共生態度に及ぼす影響 PAC 分析を用いた事例検証 (半原芳子)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 147-162
- 2590 韓国人日本語学習者の発話に対する日本語母語話者の印象形成 異なる属性を持つ母語話者の評価の相違 (崔文姫)
日本語研究 (首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会) 28 2008-6 p. 1-15
- 2591 文系論文における引用文の表現方法 (清水まさ子)
日本女子大学大学院文学研究科紀要 14 2008-3 pp. 1-15
- 2592 ある中国語を母語とする日本語学習者の言語的あいづち 日本語の習熟度からみた縦断的分析 (寺尾綾)
阪大日本語研究 (大阪大学大学院) 20 2008-2 pp. 91-117
- 2593 日本語自由作文における接続詞の男女比較 韓国語母語話者の場合 (関山聡之)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 81 2008-3 pp. 27-36

- 2594 日本語学習者の会話能力と「ノダカラ」使用の実態 KY コーパスをデータに (蓮沼昭子)
姫路独協大学外国語学部紀要 21 2008-3 pp. 177-194
- 2595 日本語学習者におけるシャドーイング訓練の有効性 1 ヶ月間の縦断的調査による検討 (岩下真澄)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 219-228
- 2596 日本語シャドーイングにおける文の音韻・意味処理に及ぼす記憶容量, 文の種類, 文脈性の影響 日本語母語話者を対象として (倉田久美子)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 229-235
- 2597 中・上級日本語学習者の聴解力を予測する要因 語彙力, 文法力, 問題解決能力, 作動記憶容量の視点から (前田由樹)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 237-244
- 2598 日本語学習者のコミュニケーション意欲と学習動機の関連 (小林明子)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp. 245-253
- 2599 日本語教育における電子メール活用の有効性に関する研究 (倉地暁美; 古川乃梨子)
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp. 51-55
- 2600 もう一つの勧誘行動 日本人学生による 2 次会への勧誘行為について (倉本美喜子; 大浜るい子)
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp. 57-63
- 2601 日本語学習者の文聴解における予測過程の検討 (古本裕美; 福田倫子)
広島大学日本語教育研究 18 2008-3 pp. 71-77
- 2602 〈研究ノート〉コミュニケーション指導における一考察 アカデミック・ジャパニーズへの応用 (高沢信子)
三重大学国際交流センター紀要 3(10) 2008-3 pp. 61-72
- 2603 談話レベルからみた「すみません」と「ありがとう」 日本語母語話者と台湾人学習者との比較を通して (郭碧蘭)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp. 13-24
- 2604 自然発話における形容詞の使用状況 述部に表出する「いい」に注目して (木下謙朗)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp. 25-32
- 2605 初級学習者の自然会話に見られたコミュニケーション上の問題の分析 (後藤典子; 澤恩嬉; 渡辺文生; 山上龍子)
山形短期大学紀要 40 2008-3 pp. 17-35
- 2606 〈トークルーム〉マレーシアから日本への架け橋 AAJ の学生に必要な日本語とは何か (吉川達)
山口国文 (山口大学人文学部国語国文学会) 31 2008-3 pp. 116-121
- 2607 談話分析から見る「そうですね」 (斉木美紀)
横浜国大國語研究 (横浜国立大学国語・日本語教育学会) 26 2008-3 pp. 60-45

- 2608 日本語の流暢さに対する評価にかかわる要因 (渡部倫子)
留学生教育 (留学生教育学会) 13 2008-12 pp. 11-18
- 2609 中国人留学生の日本語コミュニケーション意欲に関する研究 (小林明子)
留学生教育 (留学生教育学会) 13 2008-12 pp. 41-49
- 2610 初級学習者のスピーチスタイルに関する「気づき」 待遇コミュニケーション教育に関する考察 (ウ
ォーカー泉)
早稲田日本語教育学 (早稲田大学) 2 2008-5 pp. 15-28
- 2611 「(の)ではないか」類の出現形と使用環境の関連について (小西円)
早稲田日本語研究 (早稲田大学日本語学会) 17 2008-3 pp. 35-46
- 2612 日本語授受表現の使用場面における言語意識 日本語母語話者と韓国人日本語学習者との意識差を
中心に (峯崎知子)
日本研究 (韓国外語語大 日本研究所) 36 2008-6 pp. 533-549
- 2613 日本語における確認要求表現「だろう」と「ね」 ポライトネスの観点から (金玉任)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 21 2008-3 pp. 1-11
- 2614 韓国人日本語学習者の「不満表明」発話の構成要素 日韓両言語話者との比較を通して (李善姫)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 21 2008-3 pp. 103-115
- 2615 日本語母語話者と韓国語母語話者である日本語学習者を対象とした日本語発話態度に関する研究
初級日本語学習者と上級日本語学習者の比較より (田渕咲子)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 22 2008-9 pp. 153-164
- 2616 日本語の自称詞切換え能力の習得について (李吉鎔)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 22 2008-9 pp. 217-229
- 2617 接触場面における会話不理解の非調整プロセス 日本語母語話者の問題認識に関する一考察 (今千
春)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 36 2008-2 pp. 143-158
- 2618 無助詞文に対する意識とその使用 中国人日本語学習者と日本語母語話者との比較 (森川舞子)
日本學報 (韓国日本學會) 74-1 2008-2 pp. 37-46
- 2619 韓国人学習者の日本語社会言語能力の習得メカニズム 丁寧形式と普通形式の切換えの場合 (李吉
鎔)
日本學報 (韓国日本學會) 75 2008-5 pp. 49-62
- 2620 中・上級台湾人日本語学習者の依頼文における問題分析 就職あつせんの依頼文を例に (本間美穂)
銘傳日本語教育 (銘傳大學) 11 2008-10 pp. 47-62
- 2621 動能的談話に反映する心的距離・相対的力のあり方 (金秀英)
銘傳日本語教育 (銘傳大學) 11 2008-10 pp. 66-87
- 2622 内容スキーマと日本語能力が日本語読解に及ぼす影響 (封静宜)
銘傳日本語教育 (銘傳大學) 11 2008-10 pp. 91-105
- 2623 〈実践・調査報告〉日本語教育における言語行動研究の課題 (羅素娟)
銘傳日本語教育 (銘傳大學) 11 2008-10 pp. 109-124

- 2624 Taguchi, Naoko : Building Language Blocks in L2 Japanese ; Chunk Learning and the Development of Complexity and Fluency in Spoken Production.
Foreign Language Annals 41-1, Spring 2008 pp.132-156
- 2625 Iwasaki, Noriko ; Kumagai, Yuri : Promoting Critical Reading in an Advanced-Level Japanese Course ; Theory and Practice through Reflection and Dialogues.
Japanese Language and Literature(JLL)42-1, 4 2008 pp.123-156
- 2626 Itakura, Hiroko : Attitudes towards Masculine Japanese Speech in Multilingual Professional Contexts of Hong Kong ; Gender, Identity, and Native-Speaker Status.
Journal of Multilingual and Multicultural Development 29-6, 2008 pp.467-482
- 2627 Strauss, Susan : A Conceptual Approach to Existential Verbs in Japanese ; The Case of *Aru* versus *Iru*.
Language Awareness 17-3, 2008 pp.179-194
- 2628 Yoshida, Reiko : Functions of Repetition in Learners' Private Speech in Japanese Language Classrooms.
Language Awareness 17, 4 2008 pp.289-306
- 2629 Rokotuibau, Serevi Saganalevu ; Yoshida, Shohei : When an instructor inexperienced in deaf education teaches Japanese ; A Short Note.
横浜国立大学留学生センター教育研究論集 15, 3 2008 pp.131-142
- 2630 전성용 : 상급 일본어 학습자의 일본어 오용례 분석.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 36, 2 2008 pp.123-141
- 2631 Papers from the Consortium Workshops on Japanese Pedagogy——あいつちに関する諸考察 あいつち能力の測定・評価・習得、発生率の解釈 (Frommann, Berthold)
Nanzan Linguistics (南山大学) Special Issue 4 2008-3 pp.1-9
- 2632 〃——ピア・レスポンスに関する一考察 (古田一恵)
Nanzan Linguistics (南山大学) Special Issue 4 2008-3 pp.11-31
- 2633 特集 ; 教育現場から問い直す「評価」——日本留学試験「記述問題」におけるトピックの影響 (広瀬香恵)
日本語教育 (日本語教育学会) 136 2008-1 pp.59-67
- 2634 特集 ; 日本人教師가 본 韓國의 日本語教育——韓國人學習者における話しことばの問題点 上級學習者の誤用を通して (峯崎知子)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp.1-12
- 2635 〃——韓國の大学生の日本語作文に関する一考察 (齊藤明美)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp.27-43
- 2636 特集 ; 話し言葉の日本語——総論 話しことばの文法 英語との対照を中心に (水谷信子)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp.16-22
- 2637 〃——総論 日本語教育・英語教育における話す教育について 「自分のこと」を言うために (本

名信行)

日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 44-51

- 2638 // ——話し言葉と日本語教育 話し言葉の教育 (河野俊之)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 212-221
- 2639 // ——話し言葉と日本語教育 聞く教育 (松崎寛)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 229-237
- 2640 // ——話し言葉と日本語教育 会話教育のための会話分析と実践の連携 (中井陽子)
日本語学 (明治書院) 27-5 2008-4 pp. 238-248
- 2641 中国人児童による日本語格助詞の発達過程の記述 来日後 4 ヶ月間の記録 (白畑知彦; 久野美津子)
静岡大学教育学部研究報告 人文・社会科学篇 58 2008-3 pp. 143-158
- 2642 中国人児童による「てある」構造習得に関する予備的調査(2) 「状態」を表す「ている」構造との比較 (久野美津子; 白畑知彦)
静岡大学国際交流センター紀要 2 2008-3 pp. 25-38
- 2643 多言語社会化する学校教育に求められる役割 JSL 児童生徒数に対応した教育支援の研究 (松井洋子)
地域文化研究 (宮崎地域文化研究会) 2 2008-5 pp. 1-10
- 2644 外国人幼児の日本の保育園への適応に関する研究 保護者と保育士の視点の比較を通して (山本菜穂子)
南山大学国際教育センター紀要 8 2008-1 pp. 75-89
- 2645 〈調査報告〉英語母語幼児の日本語におけるテンス・アスペクトの習得 タ形・テイ形の習得状況からみたアスペクト仮説の傾向 (橋本ゆかり)
日本語科学 (国立国語研究所) 24 2008-10 pp. 77-96
- 2646 どのような母語保持努力が母語・日本語の認知面の発達を促すか 中国語を母語とする子どもの場合 (穆紅)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 95-112
- 2647 多言語社会における教科教育 社会科教科書の文章理解に関する研究 (早野慎吾; 松井洋子; 小田原恵美子; 宮田好恵; 佐藤和之; 田中利砂子)
宮崎大学教育文化学部紀要 人文科学 19 2008-9 pp. 39-50
- 2648 日本語非母語話者児童用文字教材開発のための語彙調査 (安藤淑子)
山梨国際研究 (山梨県立大学国際政策学部紀要) 3 2008-3 pp. 55-60
- 2649 中日「慣用句」考 中日両語における猫に関する慣用的表現を中心に (李雯)
愛媛国文と教育 (愛媛大学教育学部国語国文学会) 40 2008-1 pp. 22-30
- 2650 間接受動文と被害性 日本語と韓国語の対照研究 (梁今實)
鶴山論叢 (神戸大学) 8 2008-3 pp. 1-28
- 2651 『日中漢字音対照研究の成果と今後の教学応用への可能性の模索』基礎研究(1) (金子広幸)
教学 (日中学院) 2008-5 pp. 29-41
- 2652 ポライトネスと文末形式の日韓対照 語用論的誤用の原因を探って (李憲卿)

- 言語と文明〈麗沢大学大学院言語教育研究科論集〉6 2008-3 pp. 61-86
- 2653 誉めへの返答ストラテジーの日独対照研究 誉めの解釈・応答にみる文化的差異 (中村香代子)
語学教育研究論叢 (大東文化大学語学教育研究所) 25 2008-1 pp. 219-235
- 2654 〈研究ノート〉日中言語の相違点について 母国語の干渉による影響 (李琦娜)
拓殖大学日本語紀要 18 2008-3 pp. 97-108
- 2655 コーパスを利用した現代日中両国語の複合動詞における対照研究 「完遂や完了」を表す複合動詞
を中心に (黄思璋)
西日本国語国文学会会報平成 20 年度 2008-8 pp. 56-43
- 2656 日本語とトルコ語の語構成・造語法についての対照研究 (Kiziray, Mariko)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp. 153-162
- 2657 日本語とシンハラ語の授受表現の対照研究 「アゲル」「クレル」「モラウ」を中心に (Priyadarsha
ni, R. M. Sandhya ; 浮田三郎)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp. 163-172
- 2658 日本語の「～てあげる・くれる」と韓国語の「-아/어 주다-a/e cwuta」の意味機能 (韓京娥)
日本語教育 (日本語教育学会) 136 2008-1 pp. 78-87
- 2659 「深い」のメタファーにおける日中対照研究 (山田奈弥)
日本語教育論集 (姫路独協大学大学院) 17 2008-3 pp. 55-62
- 2660 日本人学生とトルコ人学生の依頼行動の分析 相手配慮の視点から (アクドーン, プナル ; 大浜
るい子)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 57-72
- 2661 小集団討論場面における話者交替の日中対照研究 (賈琦)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 73-94
- 2662 日本語とアムド・チベット語における使役表現の意味について 日本語教育の視点から (札西才讓)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 185-199
- 2663 電子メールから見た催促のストラテジーの中日対照 (李紅蘭)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 153-160
- 2664 日中両語における接続語句の対照研究 (李宗禾)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp. 33-43
- 2665 脳波実験による日本語モーラ認知の実態 日本語母語話者の場合 (任星)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp. 75-84
- 2666 日・韓両言語における主観述語について 「ている」「がる」を中心にして (黄美玉)
日本研究 (韓国外国語大専攻日本研究所) 36 2008-6 pp. 457-475
- 2667 視点と談話の展開に関するケース・スタディ 日本語と韓国語データの比較から (朴良順)
日本研究 (中央大専攻日本研究所) 25 2008-8 pp. 45-65
- 2668 慣用表現の統語構造上の分類と特徴 日韓両国語の対照分析を中心に (宋誓天)
日本研究 (中央大専攻日本研究所) 25 2008-8 pp. 67-88

- 2669 日韓両学習者にみられる助詞の捉え方の相違をめぐって 「ばかり・だけ・のみ」と「만 man」の対照を通して (朴恩珠)
日本學報 (韓國日本學會) 76 2008-8 pp. 29-43
- 2670 韓日高校生の非言語行動における頭の縦ふりに関する一考察 ロールプレイにおける単数回と複数回を中心に (奥山洋子; 山根智恵)
日本學報 (韓國日本學會) 76 2008-8 pp. 71-83
- 2671 Surarungsikul, Panika : 限定を表す日本語のとりたて詞とタイ語の限定表現の対照研究(泰文).
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5, 9 2008 pp. 17-26
- 2672 鄭嬌婷 : 뇌과학적 방법을 이용한 제 2 언어 습득연구.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 23, 12 2008 pp. 213-224
- 2673 日本語動詞用法辞典について (野田時寛)
人文研紀要 (中央大学人文科学研究所) 63 2008-8 pp. 133-162
- 2674 形容詞の「ク形」を辞書に載せるべきか (バックハウス, アンソニー・E)
北海道大学留学生センター紀要 11 2008-3 pp. 9-17
- 2675 Papers from the Consortium Workshops on Japanese Pedagogy——日韓辞書分析の試み ユーザーフレンドリーの観点から (水口里香)
Nanzan Linguistics (南山大学) Special Issue 4 2008-3 pp. 115-129

◇各国の日本語教育

- 2676 中国の日本語教員と学習者が考える日本語コミュニケーション能力 (中川良雄)
京都外国語大学研究論叢 70 2008-1 pp. 287-296
- 2677 〈研究ノート〉中国の日本語教育の現場における「ら抜きことば」教育の実態調査 中国人の日本語教師及び日本語学習者を対象として (張麗)
言語・地域文化研究 (東京外国語大学大学院博士後期課程論叢) 14 2008-3 pp. 299-314
- 2678 中国青島大学における日本語教育の現状と問題点 カリキュラムを中心に (李萍)
国語研究 (国学院大学国語研究会) 71 2008-3 pp. 13-16
- 2679 タイに於ける日本語教育の現状ならびに動向 増加・深化・高等化・難化 (伊藤孝行)
国語研究 (国学院大学国語研究会) 71 2008-3 pp. 17-20
- 2680 〈報告書〉ベトナムにおける日本語教育の現状と課題 ホーチミン市とハノイ市における聞き取り調査を通して (水野かほる)
国際関係・比較文化研究 (静岡県立大学) 7-1 2008-9 pp. 207-218
- 2681 〈研究ノート〉インドネシアにおける高校日本語教師研修に関する一考察 西ジャワ州・東ジャワ州のピリーフ調査結果を通して (小原亜紀子; 栗原明美)
国際交流基金日本語教育紀要 4 2008-3 pp. 27-40
- 2682 タイ後期中等教育における選択科目としての日本語教育 高校生を対象とした第二言語不安調査からの一考察 (下村朱有美)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 27-36

- 2683 タイ中等教育機関におけるタイ人日本語教師の良い日本語教師観 PAC 分析と半構造化面接より (古別府ひづる)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 37-46
- 2684 〈実践・調査報告〉タイの新しい Admissions 方式大学入試と日本語を受験科目に指定した大学専攻
2007 年の『高等教育機関入学者選抜』(統一入試)の事例を中心に (海老原智治)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 145-154
- 2685 〈Ⅱ〉北部タイ 3 大学の日本語専攻在籍者に対する日本語既習・未習に関する統計調査 北部タイ
日本語教師会による 2008 年 2 月の調査結果 (海老原智治; 小川都恵子; 二口和紀子;
八巻一三男; Kongjit, Saranya; Phalapanya, Saranich; 小浦方理恵; 塚本紘子; 志摩由
美子)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 155-164
- 2686 〈Ⅱ〉タイ国日本語教育小史 (斎藤正雄)
国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要 5 2008-9 pp. 175-184
- 2687 華東政法大学における日本語教育の試み (周英)
ことばの科学 (名古屋大学言語文化研究会) 21 2008-12 pp. 37-44
- 2688 日本におけるバイリンガル教育の可能性 日系ブラジル人集住地域における事例を中心に (野元弘
幸)
人文学報 (首都大学・東京都立大学) 396 2008-2 pp. 27-40
- 2689 〈国際シンポジウム〉中国の日本語教育の現状と課題 (曲維)
人文社会科学論叢 (宮城学院女子大学人文社会科学研究所) 17 2008-3 pp. 5-12
- 2690 〈Ⅱ〉韓国における日本語教育の現状と課題 大学を中心として (李妙熙)
人文社会科学論叢 (宮城学院女子大学人文社会科学研究所) 17 2008-3 pp. 15-26
- 2691 〈調査報告〉地域日本語活動の現場から ボランティアの意識における、「やりがい」の循環と「教
えること」の固定化 (新庄あいみ)
多文化社会と留学生交流 (大阪大学留学生センター研究論集) 12 2008-3 pp. 87-97
- 2692 海外への「日本語普及」事業における「現地主導」主義に関する一考察 大韓民国日本語教員の招
聘研修事業を事例として (嶋津拓)
長崎大学留学生センター紀要 16 2008-6 pp. 1-20
- 2693 〈特定課題研究報告〉韓国の高校における作文授業の現状と改善案 済州外国語高等学校でのピア
推敲活動を通して (李英淑)
日本言語文化研究会論集 4 2008-9 pp. 33-60
- 2694 〈Ⅱ〉ベトナム中南部の中学校日本語教師の意識と教室活動の実態 コミュニケーション能力養成
を目指して (グエン, ホン・トゥー)
日本言語文化研究会論集 4 2008-9 pp. 145-172
- 2695 台湾における「日本語能力試験」の利用現況とその及ぼす影響 (呂惠莉)
日本語教育研究 (言語文化研究所) 54 2008-11 pp. 55-71
- 2696 中国広東省の大学における外国語教育としての日本語教育 日本語学科のカリキュラムの現状 (金

華)

日本語教育研究 (言語文化研究所) 54 2008-11 pp. 72-86

- 2697 アジアにおける母語話者日本語教師の新たな役割 母語話者性と日本人性の視点から (平畑奈美)
日本語教育論集 世界の日本語教育 (国際交流基金) 18 2008-6 pp. 1-19
- 2698 日本留学意識調査 韓国韓瑞大学の場合を例にして (公文素子)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 81 2008-3 pp. 17-26
- 2699 日本人と中国人の「断り」表現比較 日本語によるロールプレイの分析 (木村直美)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 83 2008-9 pp. 85-96
- 2700 高校生を対象とした日韓交流授業のシラバス開発に向けて 韓国における日本語教育と日本における韓国朝鮮語教育の接点から (沢邊裕子)
宮城学院女子大学研究論文集 106 2008-6 pp. 29-42
- 2701 〈Symposium〉韓国の大学における日本学関連科目と「日流」 (片茂鎮)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 36 2008-2 pp. 21-32
- 2702 〈報告〉台湾の日本語学科における政治、経済に関する授業の位置付け (王敏東 ; 吳佳蓁)
日本學刊 (香港日本語教育研究会) 12 2008-6 pp. 138-148
- 2703 Nishigori, Jiro : Three Blended Learning Projects with Overseas Organizations.
人文学報 (首都大学・東京都立大学) 398, 3 2008 pp. 1-14
- 2704 강영부 : 4 년제 대학에서의 한국인 일본어 학습자에 대한 needs 분석.
日本語教育研究 (韓国日語教育學會) 15, 10 2008 pp. 17-32
- 2705 趙大夏 : 韓國 中學校 日本語學習者の 니즈(needs)分析.
日本語教育研究 (韓国日語教育學會) 15, 10 2008 pp. 33-52
- 2706 特集 ; 帰国留学生のネットワークづくり——〈事例紹介〉インド西部における日本語教育と帰国留学生のネットワークづくり (ダムレ, ハリ)
留学交流 (日本学生支援機構) 20-7 2008-7 pp. 16-19
- 2707 特集 ; 中国の教育——中国四川省・西華大学日本語教育事情 (劉玉茹)
大学教育 (山口大学大学教育機構) 5 2008-3 pp. 21-33
- 2708 特集 ; 日本語文法の現在——日本語文法の周辺 ピョンヤン外国語大学における日本語教育およびその研究について (韓南洙)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 160-162
- 2709 特集 ; 日本人教師가 본 韓國의 日本語教育——韓国の日本語教育における評価の問題 (桜井恵子)
日本語學研究 (韓国日本語學會) 22 2008-9 pp. 67-80
- 2710 〃——韓国の日本語教育における教室活動の問題点 「虚構の世界」からの脱却をめざして (近藤有美)
日本語學研究 (韓国日本語學會) 22 2008-9 pp. 83-91
- 2711 〈実践報告〉オーストラリアの初中等教育における外国語教育の現在と国際交流基金シドニー日本文化センターの日本語教育支援 Intercultural Language Teaching and Learning の

- 考え方を中心に (ジョナック, キャシー; 根岸ウッド日実子; 松本剛次)
国際交流基金日本語教育紀要 4 2008-3 pp. 115-130
- 2712 シドニー大「海外日本語教育実習プログラム」への参加招請を受けて 急がれる留学生受け入れ態
勢の整備 (松浦康彦)
コミュニケーション文化論集 (大妻女子大学コミュニケーション文化学会) 6 2008-3
pp. 33-53
- 2713 〈実践・調査報告〉「北方領土」における「ビザなし交流」としての日本語教育 (副島健治)
富山大学留学生センター紀要 7 2008-10 pp. 15-30
- 2714 目標言語圏の文化的知識を通じたカルチュラル・アウェアネスと外国語習得の促進 アメリカの外
国語教育における応用と実践 (山崎祐一)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 82 2008-8 pp. 113-130
- 2715 Papers from the Consortium Workshops on Japanese Pedagogy——ドイツにおける継承日本語教
育の現状と展望 接触場面研究的アプローチからの貢献 (三輪聖)
Nanzan Linguistics (南山大学) Special Issue 4 2008-3 pp. 101-114

◇日本語教育の歴史

- 2716 明治期日本語教科書『日語新編』の仮名づかいについて (中野真樹)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 39 2008-3 pp. 263-279
- 2717 明治期日本語教科書『日語新編』における二人称代名詞 非母語話者の教科書制作意識 (家入博徳)
国学院大学大学院文学研究科論集 35 2008-3 pp. 41-49
- 2718 長沼直兄らによる戦後早期の日本語教育のための調査研究 1945-1946 年「日本語教育振興会」か
ら「言語文化研究所」へ(2) (河路由佳)
日本語教育研究 (言語文化研究所) 53 2008-3 pp. 1-43
- 2719 日本語教育史研究方法論の再検討のために(2) 安田-松岡「論争」その他の問題に寄せて (中村重
穂)
北海道大学留学生センター紀要 11 2008-3 pp. 56-74
- 2720 日本における留学生教育の変遷(1) (鈴木洋子)
武蔵野大学文学部紀要 9 2008-3 pp. 130-120
- 2721 『尋常小学読本』から『普通学校国語読本』へ (関丙燦)
日本學報 (韓国日本學會) 75 2008-5 pp. 25-36
- 2722 Asato, Noriko : Religious Conflict among Hawaii Nikkei and How Japanese Entered the Public
School Curriculum, 1896-1924.
Japanese Language and Literature(JLL)42-1, 4 2008 pp. 63-94

□言語 (学)

◇言語 (学) 一般

- 2723 「サピア=ウォーフの仮説について」補説 (江村裕文)
異文化 論文編 (法政大学) 9 2008-4 pp. 25-29
- 2724 禅において<コトバ>とは何か <詩禅一味>言説を可能にする地平 (山藤夏郎)
日本研究 (広島大学大学院) 21 2008-3 pp. 1-24
- 2725 借用語から見えてくる心の世界 英語と日本語の場合 (葛西清蔵)
文化と言語 (札幌大学外国語学部紀要) 68 2008-3 pp. 29-46
- 2726 ことばと脳の働き (たなかみのる)
Roomazi Sekai (日本ローマ字会) 778 2008-2 pp. 9-11
- 2727 言語野の発見と脳の開発とことば (たなかみのる)
Roomazi Sekai (日本ローマ字会) 787 2008-11 pp. 1-3
- 2728 「デザイン言語」について (川間哲夫)
和光大学表現学部紀要 8 2008-3 pp. 169-176
- 2729 Eschbach-Szabo, Viktoria: Japanese in the European Language Space.
中央大学文学部紀要 言語・文学・文化 102(220), 3 2008 pp. 59-69
- 2730 特集; 言語権とは何か 多言語時代を生きるために——法学的見地からみた言語権の可能性 (渋谷謙次郎)
言語 (大修館書店) 37-2 2008-2 pp. 18-25
- 2731 語彙間の主観的な類似度による感動語の分類 (大出訓史; 今井篤; 安藤彰男; 谷口高士)
NHK 技研 R&D (日本放送協会放送技術研究所) 108 2008-3 pp. 42-53
- 2732 名づけの功罪 (大熊圭子)
桜文論叢 (日本大学) 72 2008-12 pp. 51-68
- 2733 ドイツ語・日本語の言語経済学的価値変動 (井上史雄)
応用言語学研究 (明海大学大学院応用言語学研究科紀要) 10 2008-3 pp. 99-109
- 2734 音声の聞き手が発話者や聞き手自身の気持ちを判断する脳機能 functional MRI による検討 (本間緑; 今泉敏; 丸石正治; 村中博幸)
音声言語医学 (日本音声言語医学会) 49-4 2008-10 pp. 237-247
- 2735 想像した感情に及ぼす比喻の影響 比喻機能の観点から (鎌田智史)
九州大学心理学研究 (九州大学大学院人間環境学研究院紀要) 9 2008-3 pp. 93-99
- 2736 小学生・中学生・高校生における価値観比較 教師にどのようにほめられたいと思っているのか (楢村知美)
教育学研究紀要 (中国四国教育学会) [CD-ROM 版] 53 2008-3 pp. 318-323
- 2737 文字を併記した視覚シンボルによるメッセージの意図理解に及ぼす文脈の効果 (藤沢和子)
教育心理学研究 (日本教育心理学会) 56-3 2008-9 pp. 303-316
- 2738 再声化介入が概念理解の達成を促進する効果 バフチン理論の視点から (田島充士)
教育心理学研究 (日本教育心理学会) 56-3 2008-9 pp. 318-329

- 2739 ポスター会話におけるフィラーと視線の同期について (川田拓也)
京都大学言語学研究 (京都大学大学院) 27 2008-12 pp. 151-167
- 2740 三人集団による協同想起の促進・抑制現象 (佐藤浩一; 内田愛子)
群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 57 2008-2 pp. 199-217
- 2741 感覚記憶におけるトップダウン処理の効果 (喜田安哲)
恵泉女学園大学紀要 20 2008-2 pp. 23-41
- 2742 非母語子音クラスタ発話時のクラスタ中への母音挿入 (船津誠也; 今泉敏; 藤本雅子; 橋詰頭; 栗栖薫)
県立広島大学人間文化学部紀要 3 2008-2 pp. 63-70
- 2743 意味的プライミング効果と音韻的プライミング効果の関連性 (中川陽子; 猪木省三)
県立広島大学人間文化学部紀要 3 2008-2 pp. 121-127
- 2744 大脳新皮質型人工知能による言語獲得モデルについて (酒井純)
神戸親和女子大学研究論叢 41 2008-3 pp. 11-22
- 2745 平易な文における日本語母語話者グループ間の文処理方法の違いについて (沢崎宏一)
国際関係・比較文化研究 (静岡県立大学) 6-2 2008-3 pp. 45-62
- 2746 第一言語処理と第二言語処理における脳活性状態の違い 日本語と英語のリスニングにおいて (大石晴美; 木下徹)
ことばの科学 (名古屋大学言語文化研究会) 21 2008-12 pp. 143-154
- 2747 論争的な複数テキストの理解 発話思考法を用いた分析 (小林敬一)
静岡大学教育学部研究報告 人文・社会科学篇 58 2008-3 pp. 159-169
- 2748 友人に対する冗談関係の認知が冗談行動へ及ぼす影響 (葉山大地; 桜井茂男)
心理学研究 (日本心理学会) 79-1 2008-4 pp. 18-26
- 2749 漢字の形態・音韻・意味符号化の相互作用過程の実験的検討 (水野りか)
人文学部研究論集 (中部大学) 20 2008-7 pp. 1-12
- 2750 「呼びかけと語りかけの言語行為」序説 「二人称の他者」に向けて (守屋唱進)
人文コミュニケーション学科論集〈茨城大学人文学部紀要〉4 2008-3 pp. 151-159
- 2751 表意形成プロセスの内部構造 (永井典子)
人文コミュニケーション学科論集〈茨城大学人文学部紀要〉5 2008-9 pp. 33-48
- 2752 グローバル化の下で変動する世界における言語生態学の課題 持続可能性言語教育原論 (岡崎敏雄)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 1-14
- 2753 偶発記憶に及ぼす情動的精緻化の効果 (豊田弘司; 土田純子)
奈良教育大学紀要 人文・社会科学 57-1 2008-10 pp. 47-58
- 2754 絵と語の記憶の分散効果に関する研究 (藤田正; 加藤理絵)
奈良教育大学紀要 人文・社会科学 57-1 2008-10 pp. 65-72
- 2755 Remember/Know 手続における言語刺激を用いた知覚的要因の効果 (稲森涼子)
奈良教育大学紀要 人文・社会科学 57-1 2008-10 pp. 123-127
- 2756 〈論説〉現代における新ヘーゲル主義の登場 言語論的転回とプラグマティズム的転回をめぐって

(嶋崎隆)

一橋社会科学 (一橋大学大学院社会学研究科) 5 2008-12 pp.1-47

- 2757 認知レトリックと言葉の<創造性/想像性> 認知言語学からの展望 (山梨正明)
表現研究 (表現学会) 87 2008-3 pp.1-11
- 2758 作動記憶容量と文章理解時の眼球運動の関係 (山田恭子; 中條和光)
広島大学大学院教育学研究科紀要 3 教育人間科学関連領域 57 2008-12 pp.213-220
- 2759 視覚刺激による ERP の基礎研究 文字類型の実証的研究(1) (池田潤)
文芸言語研究・言語篇 (筑波大学大学院) 54 2008-10 pp.1-13
- 2760 国旗の計量的文字論素案 (井上史雄)
明海日本語 (明海大学日本語学会) 13 2008-2 pp.93-102
- 2761 「ほめる」使用頻度と「ほめられる」好感度(4) 50-60 代の同性・異性間の差異及び他の世代との比較 (林宇萍; 林伸一)
山口国文 (山口大学人文学部国語国文学会) 31 2008-3 pp.54-38
- 2762 心的辞書における多義語の形態情報, 意味情報, 統語情報の構造 非対称 MDS, INDSCAL, INCLUS による連想反応データの分析 (都築誉史; 岡太彬訓; 久野雅樹; 斎藤洋典)
立教大学心理学研究 50 2008-3 pp.57-65
- 2763 カタカナ文字の形態的類似性に対する主観的評価 医薬品名の類似性要因として (山出康世; 芳賀繁)
立教大学心理学研究 50 2008-3 pp.79-85
- 2764 言語行動研究に関する一試論 (羅素娟)
東呉日語教育學報 (東呉大學) 31 2008-7 pp.84-106
- 2765 Sasaki, Tomomi : Concurrent Think-aloud Protocol as a Socially Situated Construct.
IRAL; International Review of Applied Linguistics in Language Teaching 46-4, 2008 pp.349-374
- 2766 Saito, Satoru ; Logie, Robert H. ; Morita, Aiko ; Law, Anna : Visual and Phonological Similarity Effects in Verbal Immediate Serial Recall ; A Test with Kanji Materials.
Journal of Memory and Language 59-1, 7 2008 pp.1-17
- 2767 Nakatani, Kentaro ; Gibson, Edward : Distinguishing Theories of Syntactic Expectation Cost in Sentence Comprehension ; Evidence from Japanese.
Linguistics 46-1, 2008 pp.63-87
- 2768 Biddle, Rodney : Female Japanese University Students ; The Visuo-Spatial Divide.
群馬県立女子大学紀要 29, 2 2008 pp.27-35
- 2769 Tews, Andrea : Japanese Geminate Perception in Nonsense Words Involving German [f] and [x].
言語研究 (日本言語学会) 133, 3 2008 pp.133-144
- 2770 Tsygalnitsky, Elena : On Beliefs' Structure in Language Learning ; A Case Study of Beliefs about Difficulty in Japanese Language Learning.

筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15, 11 2008 pp. 179-192

- 2771 Chan, Brian Hok-Shing : Special Issue: Formal Syntactic Approaches to Bilingual Code-switching—Code-switching, Word Order and the Lexical/Functional Category Distinction.
Lingua 118-6, 6 2008 pp. 777-809
- 2772 特集 ; ことばと空間 言語に表れる身体性——動く身体と空間表現 生態心理学からのアプローチ (本多啓)
言語 (大修館書店) 37-7 2008-7 pp. 44-51
- 2773 // ——接近可能性に基づく空間認知 (仲本康一郎)
言語 (大修館書店) 37-7 2008-7 pp. 52-57
- 2774 特集 ; コミュニケーションの身体性 からだは何を伝えるか——社会のなかの複合感覚 マルチモーダルに他者と共感する脳 (渡辺克巳)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp. 28-34
- 2775 // ——身振り・手振りを解釈する脳 (鶴谷奈津子 ; 河村満)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp. 36-43
- 2776 特集 ; データマイニングと統計数理——〈研究ノート〉スーパーマーケットにおける顧客動線分析と文字列解析 (矢田勝俊)
統計数理 (統計数理研究所) 56-2 2008-12 pp. 199-212
- 2777 特集 ; 認知言語学の思考法—根源的な問い直しから創造へ——アリストテレス派言語学としての認知文法 (野村益寛)
英語青年 (研究社) 154-3 2008-6 pp. 4-7
- 2778 // ——認知言語学の研究プログラムとその科学哲学的背景 (山梨正明)
英語青年 (研究社) 154-3 2008-6 pp. 8-11
- 2779 // ——〈意味〉の概念の拡がりとは進化 (池上嘉彦)
英語青年 (研究社) 154-3 2008-6 pp. 12-15
- 2780 // ——認知言語学の周辺 学際性と実証性 (辻幸夫)
英語青年 (研究社) 154-3 2008-6 pp. 16-19
- 2781 // ——身体性 「好まれる」事態把握の観点から (吉村公宏)
英語青年 (研究社) 154-3 2008-6 pp. 20-24
- 2782 特集 ; おのまとペ——感性の認知脳科学 擬音語・擬態語の脳内表現 (荻阪直行)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 50-57
- 2783 EPP 素性と wh 移動 (宗正佳啓)
九州大学言語学論集 (九州大学大学院) 29 2008-11 pp. 1-31
- 2784 日英語の受動構文の認知的基盤 「事態把握」の観点から (小野寺美智子)
拓殖大学語学研究 119 2008-12 pp. 11-31
- 2785 世界の言語地図作成・活用状況に見る言語地理学の現状と課題 (福嶋秩子)
日本語科学 (国立国語研究所) 23 2008-4 pp. 5-14

- 2786 特集；学と産の連携による基盤ソフトウェアの先進的開発——情報の高信頼蓄積・検索技術等の開発 100 億規模の Web ページ収集・分析への挑戦（村岡洋一；山名早人；松井くにお；橋本三奈子；赤羽匡子；萩原純一）
情報処理（情報処理学会）49-11 2008-11 pp.1277-1283
- 2787 特集；言語処理研究の新展開 計算機と言語学の対話に向けて——計算機による言語情報処理研究と言語学（辻井潤一）
言語（大修館書店）37-8 2008-8 pp.20-28
- 2788 〃——言語の工学 言語実務専門家の実践と言語の科学の間で（影浦峯）
言語（大修館書店）37-8 2008-8 pp.82-89
- 2789 挿絵がマニュアルの理解を促進する認知プロセス 動機づけ効果と精緻化効果（島田英昭；北島宗雄）
教育心理学研究（日本教育心理学会）56-4 2008-12 pp.474-485
- 2790 特集；敬語研究のフロンティア——敬語の社会学と経済学（井上史雄）
社会言語科学（社会言語科学会）11-1 2008-8 pp.51-63
- 2791 大学生のジェンダー特性語認知の経年変化 テキスト・マイニングによる連想反応の探索的分析から（湯川隆子；清水裕士；広岡秀一）
奈良大学紀要 36 2008-3 pp.131-149
- 2792 「国際コミュニケーション」とは何か その定義を巡って（佐々木隆）
武蔵野学院大学大学院研究紀要 1 2008-4 pp.69-90
- 2793 Yokoyama, Olga T. : Gender-Linguistic Phenomena across Languages ; How universal are they?
神奈川大学言語研究 言語の個別性と普遍性特集号, 3 2008 pp.59-94
- 2794 特集；相互行為における言語使用 会話データを用いた研究——「自分の言葉で語る」こと 言葉の感性的次元をめぐる（宮原浩二郎）
社会言語科学（社会言語科学会）10-2 2008-3 pp.1-12
- 2795 言語研究における 7 つの重要な視点（佐々木一隆）
宇都宮大学国際学部研究論集 26 2008-10 pp.99-102
- 2796 指示・記述・命名・表現 表現論への展望（大月実）
言語の世界（言語研究学会）26-1/2 2008-12 pp.67-75
- 2797 言語変化の S 字カーブ 解析手法の比較とその適用事例（真田治子）
埼玉学園大学紀要 人間学部篇 8 2008-12 pp.1-11
- 2798 デフォルト解釈の見直し（児玉徳美）
立命館文学（立命館大学人文学会）606 2008-3 pp.8-21
- 2799 Feist, Michele I. : Space between Languages.
Cognitive Science; A Multidisciplinary Journal 32-7, 10/11 2008 pp.1177-1199
- 2800 特集 2 ; 19 世紀と神話学——革命とハビトゥス メーヌ・ド・ビランの『習慣論』とフランス・スピリチュアリズムの伝統（香田芳樹）

19 世紀学研究 1 2008-3 pp. 64-76

- 2801 特集；ことばと空間 言語に表れる身体性——「ことばと空間」研究のグラウンド（井上京子）
言語（大修館書店）37-7 2008-7 pp. 18-26
- 2802 特集；言語学最新キーワード 12 最前線からの眺望——意味類型論 自然言語処理における言語表現の意味と型（池原悟）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 18-23
- 2803 〃——Evo-Devo 生成生物言語学の中心命題（藤田耕司）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 24-29
- 2804 〃——Origo 一般コミュニケーション論の確立に向けて（小山亘）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 30-35
- 2805 〃——間主観化 文法の語用論的基盤のタイポロジーに向けて（堀江薫）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 36-41
- 2806 〃——時間的限定性 アスペクト・テンス・ムード分化の根底にあるもの（八亀裕美）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 42-47
- 2807 〃——身体性 認知意味論との関連から（鍋島弘治朗）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 48-53
- 2808 〃——生物言語学 未知の次元を目指す生成文法（渡辺明）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 54-59
- 2809 〃——適用形 動詞が担う意味役割の多様性（梶茂樹）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 60-65
- 2810 〃——不透明性 音韻理論における例外現象の取り扱い（田中伸一）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 66-71
- 2811 〃——Pre-Pre 会話分析における言語と行為（西阪仰）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 72-77
- 2812 〃——遍在性 言語接触はどこにでも起こる（西光義弘）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 78-83
- 2813 〃——役割語 文法論とコミュニケーション論を横断する新概念（金田純平）
言語（大修館書店）37-5 2008-5 pp. 84-89
- 2814 日本語名詞述語文の記述的分類の再分析 機能論的観点から（今田水穂）
筑波応用言語学研究（筑波大学大学院）15 2008-11 pp. 15-29
- 2815 音韻象徴・音象徴と身体性 言語認知過程研究をベースとした実験的アプローチの提案（平田佐智子；浮田潤）
人文論究（関西学院大学人文学会）58-2 2008-9 pp. 49-63
- 2816 特集；話し言葉の日本語——話し言葉の音声 「あ」という声を聞いて母音「あ」と同定する能力は音声言語運用に必要か？ 音声認識研究からの一つの提言（峯松信明）
日本語学（明治書院）27-5 2008-4 pp. 187-197
- 2817 常用漢字の認知文字論的考察 認知情報単位の類型と分布（千種真一）

類型学研究 (類型学研究会) 2 2008-6 pp.141-183

- 2818 Honda, Keisuke : *Okurigana* ; An Analysis from the Viewpoint of Decoding.
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15, 11 2008 pp.87-100
- 2819 Schmitz, Christoph : Chinese Characters—A World View ; Translating, Introducing and Inviting to Shirakawa Shizuka's Kanji Dictionary '*Explanation of Common Use Kanji*' and Shirakawa Kanji Science *An Appreciation of the Historical Method in Oriental Studies*.
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要 (立命館大学) 2, 3 2008 pp.1-26
- 2820 特集 ; 人文無双 天地の間を駆けめぐれ——タイポグラフィ 言語造形の規格化と定数化の軌跡 (白井敬尚)
言語社会 (一橋大学大学院) 2 2008-3 pp.39-79
- 2821 「公理」の語用論 グライス式 'Maxim' の訳語と言語表現の誤解誘起効果 (芝原宏治)
関西外国語大学研究論集 88 2008-9 pp.21-40
- 2822 国際医療用語集 SNOMED-CT の成立と概要, 日本への影響 (柏木公一)
情報管理 (科学技術振興機構) 51-4 2008-7 pp.243-250
- 2823 中国語空間辞 '上' の意味拡張及びその動機付け 中、日、英語空間辞の意味拡張におけるタイポロジー的特徴を試みる (韓涛)
大学院論文集 (杏林大学大学院) 5 2008-3 pp.67-92
- 2824 否定辞と共起する表現の意味論 (郡司隆男)
トークス TALKS (神戸松蔭言語科学研究所) 11 2008-3 pp.1-23
- 2825 〈Forum〉 Fukushima, Kazuhiko : On the Type-wise Productivity of Lexical V-V Compounds in Japanese ; A Thematic Proto-role Approach.
言語研究 (日本言語学会) 134, 9 2008 pp.119-139
- 2826 特集 ; おのまとペ——音と意味の間に (野間秀樹)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp.58-69
- 2827 「マス」についての覚書 (依田悠介)
STUDIUM; Linguarum et culutum mundi (大阪大学大学院) 35 2008-4 pp.28-35
- 2828 「の」の特性と統語構造 (山田昌史)
Scientific Approaches to Language 〈神田外語大学言語科学研究センター紀要〉 7 2008-3 pp.151-179
- 2829 日本語のゼロ代名詞再考 文内照応における二種類の判断形式 (阿部泰明)
アカデミア 文学・語学編 (南山大学) 83(291) 2008-1 pp.1-33
- 2830 日本語の分裂文と照応形の束縛 (有元将剛)
アカデミア 文学・語学編 (南山大学) 83(291) 2008-1 pp.35-69
- 2831 日本語の時間表現 根源領域と目標領域の関係と不変性原理 (伊藤創)
大阪大学言語文化学 17 2008-3 pp.31-43
- 2832 〈研究ノート〉 寄生空所の再構築現象に関する覚え書き (小町将之)

- 慶応義塾大学言語文化研究所紀要 39 2008-3 pp.203-213
- 2833 〈フォーラム〉日本語に「長距離」の例外的格付与はあるのか? Ura(2007)の批判的検討(畠山雄二; 本田謙介; 田中江扶)
言語研究(日本言語学会) 134 2008-9 pp.141-153
- 2834 いわゆる非分析的な否定疑問文の分析(山森良枝)
神戸大学文学部紀要 35 2008-3 pp.53-85
- 2835 応用認知言語学の観点から見たモダリティの意味変化の類型論的研究(玉地瑞穂)
高松大学紀要 49 2008-2 pp.59-77
- 2836 分散形態論による活用への統語論的アプローチ 現代日本語における動詞連用形の形態統語論的分析(田川拓海)
筑波応用言語学研究(筑波大学大学院) 15 2008-11 pp.59-72
- 2837 使役構文における主格目的語の生起制限 Nominative Objects Restriction in Japanese Causative Constructions(松井晴子)
筑波応用言語学研究(筑波大学大学院) 15 2008-11 pp.101-114
- 2838 Theticity と日本語知覚構文 イベント意味論の観点から(井川寿子)
津田塾大学紀要 40 2008-3 pp.131-147
- 2839 ゼロ項側置詞と語彙範疇間の対称性(西田瑞生)
名古屋大学日本語・日本文化論集 15 2008-3 pp.25-60
- 2840 任意の解釈をもつゼロ要素と代名詞の交替(王丹丹)
日本語文法(日本語文法学会) 8-1 2008-3 pp.20-35
- 2841 日本語の動詞句前置構文 畠山・本田・田中(2007)の批判に答える(高見健一; 久野暲)
日本語文法(日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp.54-70
- 2842 情報抽出装置と束縛条件 D 効果(上山あゆみ)
文学研究(九州大学大学院) 105 2008-3 pp.61-86
- 2843 定形節からの目的語への繰り上げと位相理論(大野公裕)
メディア・コミュニケーション研究(北海道大学大学院) 54 2008-3 pp.35-45
- 2844 日本語における否定極性と否定一致現象に関する一考察(朴江訓)
日本學報(韓国日本學會) 75 2008-5 pp.37-48
- 2845 Haspelmath, Martin: Frequency vs. Iconicity in Explaining Grammatical Asymmetries.
Cognitive Linguistics 19-1, 2008 pp.1-33
- 2846 Haiman, John: In Defence of Iconicity.
Cognitive Linguistics 19-1, 2008 pp.35-48
- 2847 Tsai, Wei-Tien Dylan: Left Periphery and *how-why* Alternations.
Journal of East Asian Linguistics 17-2, 6 2008 pp.83-115
- 2848 Kishimoto, Hideki: Ditransitive Idioms and Argument Structure.
Journal of East Asian Linguistics 17-2, 6 2008 pp.141-179
- 2849 Beavers, John: On the Nature of Goal Marking and Delimitation; Evidence from Japanese.

- Journal of Linguistics (JL)44-2, 7 2008 pp.283-316
- 2850 Kishimoto,Hideki : On the Variability of Negative Scope in Japanese.
Journal of Linguistics (JL)44-2, 7 2008 pp.379-435
- 2851 Takahashi, Daiko : Quantificational Null Objects and Argument Ellipsis.
Linguistic Inquiry 39-2, Spring 2008 pp.307-326
- 2852 Vermeulen, Reiko : Nonconstituent Coordination in Japanese ; A Case of Phonological Reordering.
Linguistic Inquiry 39-2, Spring 2008 pp.345-354
- 2853 Ito, Chizuru : The Syntax of Quasi-existential Construction in Japanese ; Complex Predicates and Argument Structure.
OUPEL; Osaka University Papers in English Linguistics (大阪大学) 12, 3 2008 pp.1-77
- 2854 Machida, Akira : Reference Point Structure in Japanese Adversative Passives.
OUPEL; Osaka University Papers in English Linguistics (大阪大学) 12, 3 2008 pp.79-98
- 2855 Minami, Yusuke : Notes on Controllability.
OUPEL; Osaka University Papers in English Linguistics (大阪大学) 12, 3 2008 pp.111-128
- 2856 Hasegawa, Nobuko : Licensing a Null Subject at CP ; Imperatives, the 1st Person, and PRO.
Scientific Approaches to Language 〈神田外語大学言語科学研究センター紀要〉 7, 3 2008 pp.1-34
- 2857 Inoue, Kazuko : On Subjects Marked with *ga* in Japanese.
Scientific Approaches to Language 〈神田外語大学言語科学研究センター紀要〉 7, 3 2008 pp.35-62
- 2858 Kuwabara, Kazuki : On the Choice of Complementizers in Japanese Wh-Questions and the Structure of the Left Periphery.
Scientific Approaches to Language 〈神田外語大学言語科学研究センター紀要〉 7, 3 2008 pp.79-102
- 2859 Uchibori, Asako : A Short Note on Japanese Politeness Verb *-des/mas* in Embedded Contexts.
Scientific Approaches to Language 〈神田外語大学言語科学研究センター紀要〉 7, 3 2008 pp.103-122
- 2860 Ueda, Yukiko : Person Restriction and Syntactic Structure of Japanese Modals.
Scientific Approaches to Language 〈神田外語大学言語科学研究センター紀要〉 7, 3 2008 pp.123-150
- 2861 Ikawa, Hajime : On the Semantic Properties of *Naze*(why) in Japanese.
青山国際政経論集 (青山学院大学国際政治経済学会) 74, 1 2008 pp.63-80
- 2862 Sato, Hiromi : Verbal Noun Complements and Complex Predicates in Japanese.

- 神奈川大学言語研究 30, 3 2008 pp.1-26
- 2863 Takagi, Miyako : Japanese Morpheme Classification Using the 4-M Model.
関西外国語大学研究論集 88, 9 2008 pp.1-19
- 2864 Inagaki, Daisuke : Remarks on Quantificational Null Arguments in Japanese.
杏林大学外国語学部紀要 20, 3 2008 pp.165-203
- 2865 Nishikawa, Morio : A Cognitive and Pragmatic Study of Diminutives.
熊本大学教育学部紀要 人文科学 57, 12 2008 pp.59-69
- 2866 Hosoi, Hironobu : The Japanese Floating Quantifier Construction and Collectivity.
群馬県立女子大学紀要 29, 2 2008 pp.37-46
- 2867 Hoshi, Koji : Decomposing Association with Focus in Japanese.
言語・文化・コミュニケーション〈慶応義塾大学日吉紀要〉40, 12 2008 pp.1-88
- 2868 Mizuguchi, Manabu : Some Remarks on Extraction out of Subjects.
国学院大学紀要 46, 2 2008 pp.161-195
- 2869 Oda, Toshiko : Multihead Comparatives in Japanese.
東京経済大学人文自然科学論集 126, 11 2008 pp.3-31
- 2870 Nishigauchi, Taisuke ; Kishida, Maki : Reflexive Binding and Attitudes *de se*.
トークス TALKS (神戸松蔭言語科学研究所) 11, 3 2008 pp.67-89
- 2871 Kato, Yasuhiko : Economy in Language and Its Equilibrium ; Sapir, Grice, and Horn.
日本エドワード・サピア協会研究年報 22, 3 2008 pp.35-46
- 2872 Sakaguchi, Mari : Anaphoric Relations in Conditional Clauses and Embedded Clauses.
ノートルダム清心女子大学紀要 外国語・外国文学編 32-1, 3 2008 pp.108-119
- 2873 Izumi, Tomoko ; Sato, Yoshifumi : Japanese Referring Expressions and Accessibility Theory ; The Examination of a Cross-Linguistic Applicability of Accessibility Theory.
北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 58-2, 2 2008 pp.101-114
- 2874 박용일 : [Vている]문의 통사구조와 문법현상.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp.239-257
- 2875 Branigan, Holly P. ; Pickering, Martin J. ; Tanaka, Mikihiro : Special Issue; Animacy, Argument Structure, and Argument Encoding—Contributions of Animacy to Grammatical Function Assignment and Word Order during Production.
Lingua 118-2, 2 2008 pp.172-189
- 2876 Iida, Masayo ; Sells, Peter : Special Section; Morphosyntactic Mismatches in Lexical Categories—Mismatches between Morphology and Syntax in Japanese Complex Predicates.
Lingua 118-7, 7 2008 pp.947-968
- 2877 Spencer, Andrew : Negation in Japanese ; Special Section; Morphosyntactic Mismatches in Lexical Categories—A Case of Morphosyntactic Mismatch.
Lingua 118-7, 7 2008 pp.997-1017

- 2878 特集；ことばと空間 言語に表れる身体性——空間移動の言語表現とその類型（松本曜）
言語（大修館書店）37-7 2008-7 pp. 36-43
- 2879 特集；生成文法への 8 つの質問 開かれた議論から今後を展望する——生成文法では何をデータとして扱うべきか（上山あゆみ）
言語（大修館書店）37-11 2008-11 pp. 48-53
- 2880 二重像の詩学 比喻と対句と掛詞（川本皓嗣）
大手前大学論集 8 2008-3 pp. 1-22
- 2881 発話機能論の歴史（山岡政紀）
日本語日本文学（創価大学日本語日文学会）18 2008-3 pp. 49-64
- 2882 Dewaele, Jean-Marc : The Emotional Weight of *I love you* in Multilinguals' Languages.
Journal of Pragmatics 40-10, 10 2008 pp. 1753-1780
- 2883 Crain, Stephen : Special Double Issue; Phonological, Lexical, and Syntactic Components of L
anguage Development——The Interpretation of Disjunction in Universal Gramma
r.
Language and Speech 51-1/2, 2008 pp. 151-169

◇言語史

- 2884 言語進化の迷宮（出世直衛）
国学院雑誌（国学院大学）109-7 2008-7 pp. 1-14
- 2885 〈研究ノート〉アジアとアメリカの絆 言語間相対距離測定を試み（三浦康司）
日本エドワード・サピア協会研究年報 22 2008-3 pp. 47-58
- 2886 言語変化と高齢化の限界効用低減 言語年齢学への一道程（井上史雄）
明海大学外国語学部論集 20 2008-3 pp. 1-13
- 2887 読「釈文」 白川文字学の原点に還る（高島敏夫）
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要（立命館大学）2 2008-3 pp. 1-15
- 2888 時間観念の発生に寄せて（山口巖）
類型学研究（類型学研究会）2 2008-6 pp. 1-51
- 2889 Kiyose, Gisaburo N. ; Beckwith, Christopher I. : On the Words for Animals in the Japanese Zodi
ac.
語学教育フォーラム〈アルタイ語研究〉（大東文化大学語学教育研究所）15(2), 3 20
08 pp. 1-18
- 2890 银雀山汉简字形与汉字发展源流论（张会）
アジア研究所紀要（亜細亜大学アジア研究所）34 2008-3 pp. 277-291
- 2891 特集；古典語・古代語の世界 ‘世界言語遺産’をめぐると旅——古代中国語 漢字文化圏をつな
ぐ文字の原点（松枝到）
言語（大修館書店）37-12 2008-12 pp. 68-71

◇言語教育

（言語教育一般）

- 2892 第二言語話者の「能力」 能力観の変遷と第二言語習得研究のパラダイム・シフト (義永美央子)
CHAT Technical Reports (関西大学人間活動理論研究センター) 7 2008-3 pp.143-157
- 2893 TOEIC®テスト対策としてのビジネス基礎知識の授業研究 企業人の視点からの考察 (塚原雄二)
Journal of Hospitality and Tourism (明海大学) 4-1 2008-12 pp.63-77
- 2894 CEFR を通して「外国語能力」を考える (岡秀夫)
Language, Information, Text (東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻紀要) 15 2008-7 pp.71-84
- 2895 〈シンポジウム〉日本の外国語教育における学習スタンダードのあり方をめぐって (寺内一; 荻原稚佳子; 加藤晴子; 川成美香)
応用言語学研究 (明海大学大学院応用言語学研究科紀要) 10 2008-3 pp.67-98
- 2896 関係代名詞の制限的用法と非制限的用法 (小寺茂明)
大阪教育大学紀要 1 人文科学 56-2 2008-2 pp.39-52
- 2897 発音練習の形式の差異が人工言語の獲得に与える効果 (長井克己)
音声言語 (近畿音声言語研究会) 6 2008-12 pp.225-233
- 2898 日本人の特性を活かす英語の習得法 (水野晴光)
神奈川大学心理・教育研究論集 27 2008-3 pp.29-49
- 2899 〈研究ノート〉外国語学習における「楽しさ」について 教育手法改善への一考察 (久保哲男)
京都外国語大学 COSMICA37 2008-1 pp.251-275
- 2900 英語教育と文化 日本の英語教育における文化の位置づけ (足立匡行)
紀要 英語英米文学研究 (桜美林大学) 48 2008-3 pp.1-13
- 2901 日本人の中国語の仮定複文の学習における問題点について 日本人の学習者を対象として (高健)
言語コミュニケーション研究 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会) 8 2008-3 pp.31-41
- 2902 〈研究ノート〉日本人学生に自律学習に役立つ考え方(メタ認知能力)を芽生えさせるにはどのようにすればよいか (デーゲン, ラルフ)
言語文化 (一橋大学) 45 2008-12 pp.71-78
- 2903 中国語学習の動機づけに関する調査研究 日本人大学生の場合 (任利)
言語文化研究所紀要 (茨城キリスト教大学) 14 2008-6 pp.107-125
- 2904 高英語力大学生群における逐次通訳時の脳活性 fMRI 実験の結果から (辰巳桂子; 出口弘; 長尾ひろみ; 杉浦元亮; ジョン, ヒョンジョン; 生田奈穂; 橋爪寛; 松縄順子; 川島隆太)
神戸女学院大学論集 55-1 2008-6 pp.89-104
- 2905 ことばの豊穡性と国際理解教育 ことばとからだのかかわりを中心に (横田和子)
国際理解教育 (日本国際理解教育学会) 14 2008-6 pp.46-63
- 2906 英語運用能力向上のために 産学共同研究の結果から (宇田和子)
埼玉大学紀要 教育学部 57-2 2008-9 pp.47-54
- 2907 日本人英語学習者による主語の習得について 中学生を対象とした調査から (壺倉恵子; 縄田裕幸)

- 島根大学教育学部紀要 教育科学・人文・社会科学・自然科学 42 2008-12 pp. 45-54
- 2908 英語単語の読みにおける母語の影響 日本語と中国語の話者の比較 (王 = [崙の簡体字]; 阿部純一)
心理学研究 (日本心理学会) 79-4 2008-10 pp. 342-350
- 2909 企業における効果的な英語教育の具体化 言語監査的アプローチの活用 (辻勢都)
自由が丘産能短期大学紀要 41 2008-6 pp. 55-66
- 2910 〈研究ノート〉ESP ニーズ分析 ファッション・デザイン及び制作に関わる英語使用経験者の視点から (乳井暁絵)
杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部紀要 7(45) 2008-12 pp. 49-58
- 2911 コミュニケーションを重視した大学英語教育における新たな評価モデルの構築 「説得・主張のための発信型コミュニケーション評価モデル」の提示を通して (山中司)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 21 2008-5 pp. 113-134
- 2912 日本に溢れるカタカナ語とその影響 大学生のカタカナ語の認識と英語学習 (森光有子; 中島寛子)
相愛大学研究論集 24(59) 2008-3 pp. 67-97
- 2913 第二言語場面相互行為実践と教師の役割 ダイアロジカルな言語コミュニケーション観の視点 (西口光一)
多文化社会と留学生交流 (大阪大学留学生センター研究論集) 12 2008-3 pp. 25-32
- 2914 英語学習動機と自己評価の関係 日本の高校生の場合 (奥川育子)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 31-44
- 2915 日本人大学生の中国語学習に対する動機 因子分析を用いた探求 (任利)
筑波日本語研究 (筑波大学) 13 2008-12 pp. 13-32
- 2916 日中対照文法を媒介とした初級中国語教育の試み ‘是’ 構文・形容詞述語文・動詞述語文について (永井鉄郎)
二松学舎大学論集 51 2008-3 pp. 33-45
- 2917 日英語比較に基づく英語プロソディーの習得法 (梅田紘子)
日欧比較文化研究 (日欧比較文化研究会) 10 2008-10 pp. 13-28
- 2918 児童のコミュニケーション能力を育む外国語活動と文化間理解 認知言語学と社会言語学からのアプローチ (山下明昭)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 84 2008-9 pp. 93-101
- 2919 メディア英語が言語習得に与える影響 (池田祐子; 野中昭彦)
福岡大学人文論叢 40-1 2008-6 pp. 39-64
- 2920 ハワイにおけるピジン英語の発達に見る日本の英語教育の可能性(4) ハワイ英語と日本語との類似性の検証 (本多吉彦; 鈴木邦成)
文化女子大学紀要 人文・社会科学研究 16 2008-1 pp. 75-85
- 2921 持続可能性教育とその要としての言語教育のためのカリキュラム論 アクロス・カリキュラムのデザイン (岡崎敏雄)

- 文芸言語研究・言語篇 (筑波大学大学院) 53 2008-3 pp. 17-32
- 2922 英語のリズム、日本語のリズム 言語と音楽の相関性 (真田亮子)
目白大学人文学研究 4 2008-2 pp. 201-207
- 2923 〈調査報告〉韓国語の「パンマル」と日本語の「ため口」の違いに関する一考察 待遇表現の指導
方法と関連して (長嶺聖子)
留学生教育〈琉球大学留学生センター紀要〉5 2008-3 pp. 19-32
- 2924 Sakaki, Satoru : Integration of feedback, additional study, and repeated retrieval is crucial for learning.
Journal of Hospitality and Tourism (明海大学) 4-1, 12 2008 pp. 78-85
- 2925 Araki, Kazumi : Methods for Improving Japanese University Students' English Pronunciation.
The Tsuda Review (津田塾大学) 53, 11 2008 pp. 73-85
- 2926 Hobbs, James : Freedom of Speech in the Classroom ; A Materials-free Approach to Non-credit
Conversation Classes.
岩手医科大学共通教育研究年報 43, 12 2008 pp. 63-69
- 2927 McOmie, William : The Structure of Meaning in English and Japanese ; Pedagogical Implications
of Some Preliminary Investigations.
神奈川大学言語研究 30, 3 2008 pp. 27-53
- 2928 Taura, Hideyuki (他 22 氏) : Age Effects on Bilingual Stroop Interference ; A Test to Demystify
Competing Hypotheses—the Inhibitory Mechanism and the Reserve Hypothesis.
言語文化学研究 言語情報編 (大阪府立大学) 3, 3 2008 pp. 33-48
- 2929 Robertson-Mashiko, Lindsay : Using Audio Visual Materials Effectively in the EFL Classroom.
言語文化研究所紀要 (茨城キリスト教大学) 14, 6 2008 pp. 95-106
- 2930 Yue, Sorrell : Challenging Gairaigo ; Original vs Current Borrowed Meanings.
言語文化論究 (九州大学大学院言語文化研究院) 23, 2 2008 pp. 27-41
- 2931 Tanaka, Miyuki : A Study of a College Interpreting Class in Japan ; The Influence of Basic
Interpreting Training on Introductory Level Students.
大東文化大学紀要 人文科学 46, 3 2008 pp. 301-317
- 2932 Kuwana, Yasutomo : Beyond L1/L2.
文化と言語 (札幌大学外国語学部紀要) 69, 11 2008 pp. 35-48
- 2933 Bossaer, Alan : Using the Keyword Mnemonic to Enhance Vocabulary Recall in the Foreign
Language Classroom.
文化と言語 (札幌大学外国語学部紀要) 69, 11 2008 pp. 131-151
- 2934 漢日漢字詞研究 兼談対外汉语教学 (李冰)
汉语学习 (hanyu xuexi) 168 2008-12 pp. 99-105
- 2935 特集 ; ALT とできるこんなこと, あんなこと—JET プログラムを活かした新しいつき合い方—
アメリカの日本語教育に学ぶ理想的なティームティーチング (米原幸大)
英語教育 (大修館書店) 57-2 2008-5 pp. 34-36

- 2936 特集；英語学習と脳科学——英語(L2)の学習は日本語(L1)の語彙辞書を変える！ マルチコンピテ
ンス研究が示唆するもの（村端佳子；村端五郎）
英語教育（大修館書店）56-11 2008-1 pp.14-17
- 2937 〃——私たちは日本語や外国語の文をどのように理解しているか（中野陽子）
英語教育（大修館書店）56-11 2008-1 pp.29-32
- 2938 特集；教育現場から問い直す「評価」——英語教育における最近の評価の動向（根岸雅史）
日本語教育（日本語教育学会）136 2008-1 pp.49-58
- 2939 特集；国語教育——大学における中国語教育についての一考察（臧世俊）
解釈（解釈学会）54-5/6 2008-6 pp.55-61
- 2940 特集；翻訳を越えて——翻訳という名のアート 言葉の置き換えから創作へ（江藤裕之）
国文学 解釈と教材の研究（学燈社）53-7 2008-5 pp.108-115
- （各国の言語政策とその教育）**
- 2941 〈研究ノート〉現代ドイツにおける人文主義の状況 エアハルト・ヴィージンクの論文を手がかり
に（曾田長人）
19世紀学研究 1 2008-3 pp.155-174
- 2942 東アジアにおける英語教育政策の観点（原隆幸）
Journal of Hospitality and Tourism（明海大学）4-1 2008-12 pp.86-92
- 2943 中国の語文教育 語文課程標準を基礎資料として（三野園子）
アジア社会文化研究 9 2008-3 pp.49-75
- 2944 漢字の国のハングル 中華人民共和国・延辺朝鮮族自治州における言語条例をめぐって（李守）
学苑（昭和女子大学近代文化研究所）811 2008-5 pp.44-53
- 2945 モンゴル語近代語彙登場の母体—『蒙話報』誌(6) 資料比較にみる外国語固有名詞のモンゴル語表
記（フフバートル）
学苑（昭和女子大学近代文化研究所）816 2008-10 pp.31-39
- 2946 ウクライナの現代言語状況と言語問題（芳之内雄二）
北九州市立大学文学部紀要 74 2008-1 pp.47-61
- 2947 ナバラ自治州のバスク語話者 住民と制度の交差する言語空間（石井久生）
共立国際研究〈共立女子大学国際学部紀要〉25 2008-3 pp.65-92
- 2948 台湾における言語政策及び言語の実際使用状況 台湾語・中国語・日本語を中心に（彭瓊儀）
言語コミュニケーション研究（愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会）8 2008-3
pp.93-102
- 2949 多様性を越えた統合へ ボリビアの教育改革・異文化間二言語教育の例（岡村美由規）
国際教育協力論集（広島大学教育開発国際協力研究センター）11-2 2008-10 pp.175
-186
- 2950 中国少数民族の子どもと漢語受容 新疆都市部における言語接触と人間形成（坂元一光；アナトラ、
グリジャナティ）
国際教育文化研究（九州大学大学院）8 2008-6 pp.19-33

- 2951 ノルウェーの移民に対する言語政策の転換 「脱商品化」と矛盾しない移民の統合 (岩崎昌子)
国際広報メディア・観光学ジャーナル (北海道大学大学院) 6 2008-3 pp. 91-111
- 2952 インドネシアにおける国語の形成過程 ムラユ語からインドネシア語へ (戸津正勝; アンバリ, カルティカ・ハンダヤニ)
国士館大学教養論集 63 2008-3 pp. 1-26
- 2953 マレーシアにおける教育の国際化と国民教育政策の課題 「教育 5 ヶ年計画」(PIPP2006-2010)に対する華文教育関係者の意見 (杉村美紀)
上智大学教育学論集〈上智大学総合人間科学部教育学科紀要〉42 2008-3 pp. 45-58
- 2954 〈研究ノート〉欧州共通参照枠をめぐるヨーロッパの言語政策 (木戸紗織)
セミナリウム Seminarium〈ドイツ文学・語学論集〉(大阪市立大学) 30 2008-12 p. 73-83
- 2955 〈Ⅱ〉日本生まれのニューカマーの子どもたちへの継承語教育について考える (高橋朋子)
多文化社会と留学生交流〈大阪大学留学生センター研究論集〉12 2008-3 pp. 61-74
- 2956 中国黒龍江省ドルブットモンゴル族の言語教育実態 (包聯群)
東北アジア研究 (東北大学東北アジア研究センター) 12 2008-3 pp. 57-78
- 2957 越境家族の子どもたち 新移住者二世代の言語とアイデンティティ (関口知子)
南山短期大学紀要 36 2008-12 pp. 75-101
- 2958 メキシコの言語政策における一考察 (片桐瑞季)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 82 2008-8 pp. 171-185
- 2959 〈報告〉ニュージーランド・オークランドの多言語性と英語に対する印象 (早川治子)
文教大学文学部紀要 21-2 2008-3 pp. 49-65
- 2960 メキシコにおける多文化主義と教育 1970 年代の先住民教育・農村教育を中心に (青木利夫)
文明科学研究〈広島大学大学院総合科学研究科紀要 3〉3 2008-12 pp. 1-15
- 2961 クレオール社会言語学的考察 特にトクピシンとビスラマの状況 (野瀬昌彦)
麗沢大学紀要 87 2008-12 pp. 91-113
- 2962 在日朝鮮学校の「国語」教科書についての考察 「初級部」の新旧教科書の比較分析を中心に (朴校熙)
日本學報 (韓国日本學會) 75 2008-5 pp. 271-286
- 2963 Humphreys, Gillian; Spratt, Mary: Many Languages, Many Motivations; A Study of Hong Kong Students' Motivation to Learn Different Target Languages.
System 36-2, 6 2008 pp. 313-335
- 2964 Yamaguchi, Michiyo: Spelling Reformers in Britain, 1834-1975; National and International Ambitions for English Orthography.
京都府立大学学術報告 人文・社会 60, 12 2008 pp. 51-78
- 2965 Yoshida, David C.: CMC Implementation in Korean and Japanese Classrooms; Considerations on Social Language.
言語文化研究所紀要 (茨城キリスト教大学) 14, 6 2008 pp. 55-75

- 2966 Khanarat, Sodsai ; Nomura, Tairo : The Analysis of English Teaching Methods as the Second Language in Thailand and Japan.
埼玉大学紀要 教育学部 57-2, 9 2008 pp. 91-103
- 2967 Miyawaki, Hiroyuki : Language Punishment ; Corporal Punishment upon Users of Non-norm Languages.
宮城学院女子大学研究論文集 107, 12 2008 pp. 79-89
- 2968 中國簡化字有問題 復興漢字文化 (高山景行)
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要 (立命館大学) 2 2008-3 pp. 31-49
- 2969 임홍빈 : 특집; 외래어표기 반성—외래어의 개념과 범위의 문제.
새국어생활 18-4, 12 2008 pp. 5-32
- 2970 심재기 : " —외래어표기법의 문제점과 그 해결책.
새국어생활 18-4, 12 2008 pp. 105-124
- 2971 리레어連載;私のフィールドノートから…発見とときめきのフィールド言語学(19)—オーストラリアの言語教育 (松田陽子)
言語 (大修館書店) 37-7 2008-7 pp. 98-103
- 2972 特集;『敬語の指針』を考える—北朝鮮の敬語政策 (梅田博之)
日本語学 (明治書院) 27-7 2008-6 pp. 46-55
- 2973 特集;言語権とは何か 多言語時代を生きるために—米国における二言語教育と言語権 (石原昌英)
言語 (大修館書店) 37-2 2008-2 pp. 60-67
- 2974 特集;多文化共生社会と日本語教育—ドイツにおける移民の受け入れと言語教育 ドイツ語教育を中心として (平高史也)
日本語教育 (日本語教育学会) 138 2008-7 pp. 43-52

◇関連外国語の研究・資料等

- 2975 東アジアにおける「日本語新聞」の将来(1) (渋沢重和)
学苑 (昭和女子大学近代文化研究所) 809 2008-3 pp. 85-97
- 2976 ブラーフミー文字で音注を付した漢文經典について 北大 D020『金剛般若波羅蜜經』(武内康則)
京都大学言語学研究 (京都大学大学院) 27 2008-12 pp. 169-187
- 2977 通訳・翻訳の視点から見た中国語の新外来語 日本語からの受容(1) (張弘(宮首弘子))
杏林大学外国語学部紀要 20 2008-3 pp. 321-334
- 2978 1950年代中国におけるモンゴル語の借用語問題 (テグス)
言語社会 (一橋大学大学院) 2 2008-3 pp. 422-411
- 2979 アイヌ語の人称接辞体系の変遷について (板橋義三)
語学教育フォーラム (大東文化大学語学教育研究所) 16 2008-10 pp. 275-294
- 2980 〈講演〉中国における日本文学 1920, 30年代の翻訳文学及びその影響を中心に (田鳴)
人文学部研究論集 (中部大学) 19 2008-1 pp. 207-214
- 2981 中国における外国会社名の研究 (左咏梅)

- 大学院論文集 (杏林大学大学院) 5 2008-3 pp. 15-28
- 2982 〈研究ノート〉台湾における日本語クレオールについて (真田信治; 簡月真)
日本語の研究 (日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 69-76
- 2983 アイヌ語古文獻における言語学的諸問題 (佐藤知己)
北海道大学文学研究科紀要 124 2008-2 pp. 153-180
- 2984 伊達地方のアイヌ語方言の言語的特徴 (佐藤知己)
北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要 14 2008-3 pp. 1-53
- 2985 アイヌ語十勝方言の接続助詞 wa, tek, ahinne について (沢井春美)
北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要 14 2008-3 pp. 55-86
- 2986 アイヌ語千歳方言における合成名詞の構造 (佐藤知己)
北方人文研究 (北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター) 1 2008-3 pp. 5-67
- 2987 〈研究ノート〉アイヌ語厚別方言の基礎語彙 (高橋靖以)
北方人文研究 (北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター) 1 2008-3 pp. 105-112
- 2988 〈共同研究報告〉アイヌの葬送儀礼について 死亡から湯灌までの流れ (藤村久和)
万葉古代学研究所年報 6 2008-3 pp. 99-176
- 2989 台湾における日本メディア文化の普及と「日本イメージ」の形成 (松下慶太)
目白大学人文学研究 4 2008-2 pp. 121-134
- 2990 韓国における残存日本語の変容をめぐって (木口政樹)
日本研究 (中央大 学校 日本研究所) 24 2008-2 pp. 39-53
- 2991 Silva, David J. : Missionary Contributions toward the Revaluation of Hangeul in Late Nineteenth-century Korea.
International Journal of the Sociology of Language (IJSLS) 192, 2008 pp. 57-74
- 2992 Kang, Yoonjung ; Kenstowicz, Michael ; Ito, Chiyuki : Hybrid Loans ; A Study of English Loanwords Transmitted to Korean via Japanese.
Journal of East Asian Linguistics 17-4, 12 2008 pp. 299-316
- 2993 Kim, Hyunsoon : Loanword Adaptation between Japanese and Korean ; Evidence for L1 Feature-driven Perception.
Journal of East Asian Linguistics 17-4, 12 2008 pp. 331-346
- 2994 Bugaeva, Anna : Reported Discourse and Logophoricity in Southern Hokkaido Dialects of Ainu.
言語研究 (日本言語学会) 133, 3 2008 pp. 31-74
- 2995 ‘‘国民性’’ 一词在日本 (李冬木)
文学部論集 (仏教大学) 92 2008-3 pp. 111-135
- 2996 作为 national language 对译词的“国语”一词在近代中国是何时开始使用的? (张向东)
汉字文化 86 2008-12 pp. 74-76

- 2997 이기문 : <어원 탐구> ‘신라(新羅)’ 의 어원.
새국어생활 18-2, 6 2008 pp.141-149
- 2998 임영철 ; 윤사연 : 캠퍼스 언어에 대한 일고찰.
사회언어학 16-1, 6 2008 pp.241-264
- 2999 リレー連載 ; 私のフィールドノートから…発見とときめきのフィールド言語学(17)——台湾客家語
海陸方言 (遠藤雅裕)
言語 (大修館書店) 37-5 2008-5 pp.100-105
- 3000 リレー連載 ; 私のフィールドノートから…発見とときめきのフィールド言語学(18)——台湾の日本語クレオール (真田信治 ; 簡月真)
言語 (大修館書店) 37-6 2008-6 pp.94-99
- 3001 日本語新聞に見るハワイ日本語の特徴 (島田めぐみ ; 本田正文)
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 59 2008-2 pp.513-524
- 3002 英語俳句試論(1) 日本語俳句の受容と展開 (宮地信弘)
三重大学教育学部研究紀要 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学 59 2008-3 p
p.67-91
- 3003 Davis, Henry : WH-in-Situ ; Japanese Meets Salish.
神奈川大学言語研究 言語の個別性と普遍性特集号, 3 2008 pp.17-58
- 3004 Zushi, Mihoko : Approaching the *Tokoro*-construction from a Romance Perspective.
神奈川大学言語研究 言語の個別性と普遍性特集号, 3 2008 pp.151-170
- 3005 Warren, Nicholas W. : Hidden Japanese Contributions to the English Lexicon.
福岡女子短大紀要 (福岡女子短期大学) 71, 7 2008 pp.1-16
- 3006 Sarale, Jean-Marc : Processus de Lexicalisation de Quelques Emprunts au Japonais.
Neologica; Revue Internationale de Néologie 2, 2008 pp.149-167
- 3007 Жданов Владимир Н. ; Судzuki Дзюнъити : Русский язык на Хоккайдо.
文化と言語 (札幌大学外国語学部紀要) 68, 3 2008 pp.129-137
- 3008 Lins, Ulrich : Esperanto as Language and Idea in China and Japan.
Language Problems & Language Planning 32-1, Spring 2008 pp.47-59
- 3009 Usui, Hiroyuki : Interlinguistics and Esperanto Studies in the Social Context of Modern Japan.
Language Problems & Language Planning 32-2, Summer 2008 pp.181-202
- 3010 日本人が好む英語学習方略 高橋五郎著「最新英語教習法」を読む (多田洋子)
城西国際大学大学院紀要 11 2008-3 pp.1-11

◇対照研究

- 3011 〈研究ノート〉嗅覚の快感を表す日中表現のあり方について (戦慶勝)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp.301-311
- 3012 〈〃〉中国語と日本語における婉曲的表現について 表現形式の異同を中心に (胡小春)

東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 345-355

- 3013 日語当用漢字与中国簡化漢字的比較研究(崔曉飛)
漢字文化 85 2008-10 pp. 55-57
- 3014 日本語「迷惑」と中国語「麻煩」の意味・用法の対照的考察(近藤明; 邢叶青)
金沢大学教育学部紀要 人文科学・社会科学編 57 2008-2 pp. 31-40
- 3015 日中両語の「食」に関する諸表現(林翠芳)
高知大学総合教育センター修学・留学生支援部門紀要 2 2008-3 pp. 42-57
- 3016 日本語と中国語における「金銭」に関する諺対照比較研究(1)(銭清)
ニダバ(西日本言語学会) 37 2008-3 pp. 183-192
- 3017 動作動詞の日中対照研究 「にぎる」・「つかむ」と「握」・「攥」・「抓」(水落いづみ)
日本語教育センター紀要(日本学生支援機構) 4 2008-7 pp. 1-12
- 3018 日本と台湾の嫁と姑についての諺の対照比較研究(伍維誼)
比較文化研究(日本比較文化学会) 80 2008-3 pp. 17-28
- 3019 日中語彙比較研究 複合動詞におけるコード付けについて(廖秋紅)
文研会紀要(愛知学院大学大学院) 19 2008-3 pp. 146-128
- 3020 中国における西洋解剖学の受容について 解剖学用語の変遷から(松本秀士)
或問(近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp. 29-44
- 3021 〈研究ノート〉日中両国語における慣用句構造のゆれ(方韻)
日本學刊(香港日本語教育研究会) 12 2008-6 pp. 84-93
- 3022 漢日語中人体詞語的文化意蘊 以“足(脚)”为中心(靳衛衛)
関西外国語大学研究論集 88 2008-9 pp. 113-122
- 3023 中国語と日本語の一人称代名詞について 省略をめぐって(朱薇娜)
愛知大学国文学 48 2008-12 pp. 47-61
- 3024 時に関する表現の習得(中国語)について “‘经常’”を中心に(玄宜青)
異文化 論文編(法政大学) 9 2008-4 pp. 71-79
- 3025 日中対照言語学に関する一考察 「必要性」を表す中国語助動詞の日本語訳を例に(布和)
桜花学園大学人文学部研究紀要〔CD-ROM 版〕 10 2008-3 pp. 143-150
- 3026 中日対訳コーパスにみる「こ、そ、あ」と“‘这、那’”の非対応(加藤晴子)
応用言語学研究(明海大学大学院応用言語学研究科紀要) 10 2008-3 pp. 117-126
- 3027 複文における主題と主語 日本語と中国語の場合(王克西)
外国語教育論集(筑波大学外国語センター) 30 2008-3 pp. 99-113
- 3028 助詞の「の」と「虚詞」の「的」(李蓮花; 劉麗芸)
岩大語文(岩手大学語文学会) 13 2008-7 pp. 49-44
- 3029 「名詞 1+の+名詞 2」型における「の」の省略性について 中国語との対照研究を踏まえて(鄭榮愛)
研究会報告(日本語文法研究会) 27 2008-3 pp. 23-40
- 3030 中国語の“‘了’”と日本語の「夕」についての比較研究(邵寧寧)

- 言語コミュニケーション研究 (愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会) 8 2008-3
pp. 71-82
- 3031 ‘有’ と「ある」との対応関係の検討 ‘A 有 B’ 構造を中心に (白愛仙)
語学教育研究論叢 (大東文化大学語学教育研究所) 25 2008-1 pp. 91-111
- 3032 ‘正’ の表す「ちょうど」とは何か? ‘正想 VP₁ 的时候 VP₂’ の訳し方をめぐって (伊藤加奈子)
人文科学論集 文化コミュニケーション学科編 (信州大学) 42 2008-3 pp. 69-81
- 3033 「動詞+ ‘上’」と空間詞との関係について (高橋弥守彦)
大東文化大学紀要 人文科学 46 2008-3 pp. 77-94
- 3034 中国語結果構文と非対格性 英語・日本語結果構文との比較を通じて (崔玉花)
筑波応用言語学研究 (筑波大学大学院) 15 2008-11 pp. 45-58
- 3035 日本語と中国語における使役起動交替 中国語の単音節動詞の場合を中心に (崔玉花)
日本語と日本文学 (筑波大学日本語日文学会) 47 2008-8 pp. 54-69
- 3036 日本語と中国語の対照研究 主語の省略をめぐって (王鳳莉)
人間文化研究科年報 (奈良女子大学大学院) 23 2008-3 pp. 79-89
- 3037 日本語の「だろう」と中国語の「吧」 (王其莉)
文芸研究 文芸・言語・思想 (日本文芸研究会) 166 2008-9 pp. 50-39
- 3038 日中両言語における「疑いの表現」についての対照的研究 (丹保健一; 陳瑩)
三重大学教育学部研究紀要 自然科学・人文科学・社会科学・教育科学 59 2008-3 p
p. 57-65
- 3039 「你」≠「あなた」? (梁継国)
立教大学日本語研究 15 2008-3 pp. 53-64
- 3040 Saito, Mamoru ; Lin, T. -H. Jonah ; Murasugi, Keiko : N' -ellipsis and the Structure of Noun Phrases in Chinese and Japanese.
Journal of East Asian Linguistics 17-3, 9 2008 pp. 247-271
- 3041 特集; 日本語文法の現在——ソトからみた日本語文法 中国語から見た日本語文法 使役表現を中心に (方美麗)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 114-130
- 3042 // ——ソトからみた日本語文法 中国語研究者の見た日本語文法 連語 (高橋弥守彦)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 141-147
- 3043 日中両言語の待遇表現における人称代名詞の制約 一人称、二人称代名詞を中心に (付敏)
人間文化研究科年報 (奈良女子大学大学院) 23 2008-3 pp. 133-141
- 3044 不満表明ストラテジーの比較研究 日台大学生の DCT 調査結果をもとに (呉岳樺)
表現研究 (表現学会) 87 2008-3 pp. 40-50
- 3045 日中両国における広告のキャッチフレーズについて 女性誌と男性誌の広告を中心に (王敏東; 李志偉; 仙波光明)
言語文化研究 徳島大学総合科学部 16 2008-12 pp. 231-251

- 3046 小学生における言語能力と学習達成の認知との関係に関する研究 沖縄と中国の比較 (林艶華; 島袋恒男)
琉球大学教育学部紀要 73 2008-8 pp.135-150
- 3047 時間的限定性について 済州市方言を中心に (鄭相哲)
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 38 2008-12 pp.213-230
- 3048 Utsugi, Akira ; Jeon, Yoonshil ; Kim, Heesung : Toward Determining Discreteness in Downtrends of Japanese and Korean ; An Approach from a Categorical Perception Experiment.
音声研究 (日本音声学会) 12-2, 8 2008 pp.30-42
- 3049 李有振 ; 閔光準 : 한국어와 일본어의 모음 지속시간에 미치는 음절구조의 영향.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 23, 12 2008 pp.201-211
- 3050 日本語と韓国語の強意表現の形態的特徴 機能化された強意語を中心に (金賢珍)
愛知淑徳大学論集 コミュニケーション学部・コミュニケーション研究科篇 8 2008-3 pp.41-54
- 3051 日本語と韓国語の漢字表記語の対照研究 漢語動名詞を中心に (若生正和)
大阪教育大学紀要 1 人文科学 56-2 2008-2 pp.69-82
- 3052 日韓社会の人間関係における「兄」について 呼称と名称を中心とした特徴の比較 (金泰虎)
言語と文化 (甲南大学国際言語文化センター) 12 2008-3 pp.123-150
- 3053 韓国語の副詞的成分일 짝 [ilt ʃ'ik]と빨리 [p'alli]の意味分析 日本語の「早(速)く」との対照の観点から (李澤熊)
言語文化論集 (名古屋大学大学院) 29-2 2008-3 pp.377-390
- 3054 日韓語の複合動詞形成システムの相違 対義語同士の組み合わせを中心に (李忠奎)
国語国文研究 (北海道大学国語国文学会) 134 2008-3 pp.72-56
- 3055 日本語のオソロシイ/コワイと朝鮮語の tulyɔpta/musɔpta について (深見兼孝)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp.173-182
- 3056 活用するオノマトペ 日本語と韓国語の対照研究 (伊東真美)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp.101-116
- 3057 海外の大学から見た国際交流の現状と問題点<韓国編> 仁済大 학교 日語日文学科の取り組みを中心に (園田博文; 全成燁; 国実久美子; 百留康晴; 百留恵美子)
山形大学紀要 人文科学 16-3 2008-2 pp.38-26
- 3058 下方移動を表す「내리다」の意味拡張 認知意味論的観点から (李羽済)
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36 2008-6 pp.279-298
- 3059 韓日慣用語の変異形に関する小考 (權益湖)
日本研究 (中央大學校日本研究所) 24 2008-2 pp.21-37
- 3060 日本語・韓国語の「触覚」を表す擬態語の意味領域の考察 (沢田信恵)
日本學報 (韓國日本語學會) 76 2008-8 pp.45-55
- 3061 科学技術の受容過程と学術用語制定に関する韓日対照研究 機械工学用語の借用形態を中心に (黄奎大; 金恒汨)

- 日本學報 (韓國日本學會) 76 2008-8 pp.143-156
- 3062 高恩淑 : 한·일 양국어 형용사의 분류 체계에 관한 연구.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 35, 3 2008 pp.289-307
- 3063 金姬廷 : 한일 유행가의 주제별 어휘 고찰 ; 1925 년부터 1944 년까지를 중심으로.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 35, 3 2008 pp.309-329
- 3064 金光泰 : 신체적 증상을 통한 한일 양언어의 감정표출 ; 오노매토피어를 중심으로.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp.361-380
- 3065 宋殷美 : 한일 양언어의 복합동사의 의미구조 ; 「보다/見る」를 중심으로.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 37, 9 2008 pp.311-331
- 3066 임영철 ; 성민희 : 한·일 신어(新語) 의 언어적 특징 ; 접사(接辭, affix)를 중심으로.
日本研究 (中央大學校日本研究所) 24, 2 2008 pp.75-97
- 3067 金姬廷 : 한일 유행가의 희비를 나타내는 어휘의 비교고찰 ; 1925 년부터 1944 년까지를 중심으로.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 23, 12 2008 pp.47-57
- 3068 안증환 : 통시적 대조자료가 되는 한국과 일본의 성서.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 36, 2 2008 pp.61-85
- 3069 日本語と韓国語の受動表現の対照研究 日本の文学小説から韓国語訳を中心に (李恩我)
STUDIUM; Linguarum et culutuum mundi (大阪大学大学院) 35 2008-4 pp.62-71
- 3070 「主観化・間主観化」の観点から見た日本語・韓国語の文法現象 Elizabeth C. Traugott 教授の文法化研究の新展開 (堀江薫 ; 金廷珉)
言語 (大修館書店) 37-2 2008-2 pp.84-89
- 3071 日韓両言語における事態把握 「V ていく/くる」と「Ve kata/ota」(徐珉廷)
昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究 3 2008-3 pp.55-70
- 3072 現代韓国語と日本語における「o/この+X」の範疇解釈を導く名詞と述語について (金善美)
朝鮮学報 (朝鮮学会) 207 2008-4 pp.39-60
- 3073 韓国語の文末表現「것이다」のスコープ機能 (丁仁京)
朝鮮学報 (朝鮮学会) 208 2008-7 pp.29-64
- 3074 韓国語における補助動詞について (滝口恵子)
徳島大学国語国文学 21 2008-3 pp.80-66
- 3075 移動動詞の格表示とアスペクト形式との関係 韓国語との対照の観点から (許宰碩)
日本語と日本文学 (筑波大学日本語日文学会) 47 2008-8 pp.39-53
- 3076 開化期の韓国語における時間表現について 中国語・日本語の時間表現との比較から (梁淑珉)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 14 2008-7 pp.17-42
- 3077 日・韓両語の表現構造の対照研究 態表現を中心として (林八龍)
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36 2008-6 pp.429-455
- 3078 反事実条件文の述語構造について 韓・日比較を中心に (鄭相哲)
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36 2008-6 pp.515-531

- 3079 「思う」と「생각하다」の用法について (李鳳)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 22 2008-9 pp.231-240
- 3080 間接使役文の日・韓対照研究 使役行為の間接性を中心として (權勝林)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 36 2008-2 pp.45-58
- 3081 受動化の過程からみた日韓受動文の対照分析 (林憲燦)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 36 2008-2 pp.103-119
- 3082 日韓両言語における「反復相」を表すアスペクト形式について 韓国語のアスペクト形式の文法化
を中心に (安平鎬; 田惠敬)
日本學報 (韓国日本學會) 74-2 2008-2 pp.1-15
- 3083 日・韓両国語における「スル」形と「hanta」形 「概念構成」の形式としての把握 (李泓馥)
日本學報 (韓国日本學會) 74-1 2008-2 pp.95-109
- 3084 日本語の「タ」のムード的意味用法について 韓国語との対照の観点から (許宰碩)
日本學報 (韓国日本學會) 74-1 2008-2 pp.131-142
- 3085 「しなければならない」形式に関する日韓対照研究 (張根壽)
日本學報 (韓国日本學會) 75 2008-5 pp.87-98
- 3086 홍영주 : 선행명사의 구조적 위치와 「의/의」의 실현 여부에 대해서.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp.301-316
- 3087 金恩希 : 타동성 표지에 대한 일한 대조연구.
日本語学研究 (韓国日本語學會) 21, 3 2008 pp.13-25
- 3088 南英福 : 「선행명사+을+하다」 형식과 「先行名詞+을+やる」 형식의 대조연구 ; 선행명
사가 비동작성인 경우.
日本語学研究 (韓国日本語學會) 23, 12 2008 pp.79-95
- 3089 特集 ; 品詞分類の多様性——日本語と朝鮮語における品詞と言語現象のかかわり 対照言語学から
のアプローチ (塚本秀樹)
アジア・アフリカの言語と言語学 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
3 2008-9 pp.29-46
- 3090 後期洒落本と『春香伝』に見える滑稽化方法について 「落ち」を中心に (康志賢)
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 35 2008-3 pp.149-163
- 3091 韓日の国会討論の修辭学的比較分析 説得戰略の比較 (徐洪; 柳沢浩哉)
日本學報 (韓国日本學會) 76 2008-8 pp.57-70
- 3092 日本語東北方言と韓国語の<過去>の表現について (高田祥司)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp.32-46
- 3093 説得場面におけるコミュニケーション・スタイルの日韓比較 セールス談話の分析から (吳惠卿)
大阪大学言語文化学 17 2008-3 pp.97-113
- 3094 日韓の大学生の敬語行動に見られる男女差 (魚秀禎)
研究紀要 (日本大学文理学部人文科学研究) 75 2008-3 pp.39-53
- 3095 日・韓両言語の「断り」・シフト 大学生対象の調査から (權英秀)

- ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 1-19
- 3096 方言意識の日韓対照 役割語翻訳の観点から (鄭惠先)
日本語科学 (国立国語研究所) 23 2008-4 pp. 37-57
- 3097 日本語と韓国語の第三者待遇表現 聞き手の違いが他称詞と述語待遇選択に及ぼす影響 (林炫情 ; 玉岡賀津雄 ; 宮岡弥生)
山口県立大学学術情報 [CD-ROM 版] 1 2008-3 pp. 56-69
- 3098 呼びかけ表現の使用パタンの日韓比較 インターネットサイト上のメッセージを例に (尹秀美)
論文集〈金沢大学経済学部社会言語学演習研究論集〉3 2008-3 pp. 37-48
- 3099 日韓の自然会話に見られるヘッジ (李恩美)
日本研究 (韓国外國語大學校日本研究所) 36 2008-6 pp. 259-277
- 3100 指示詞と証拠性表現に関する日韓対照研究 (李美賢)
日本語学研究 (韓國日本語學會) 21 2008-3 pp. 93-101
- 3101 日本語と韓国語における「丁寧度を示すマーカのない発話」の対照研究 発話文タイプを中心に (李恩美)
日本語学研究 (韓國日本語學會) 22 2008-9 pp. 277-291
- 3102 新聞勧誘に対する「断り」表現 日・韓両大学生を対象に (権英秀)
日本學報 (韓國日本學會) 74-1 2008-2 pp. 1-13
- 3103 フェイス複合現象からみる「断り」表現 日・韓両大学生を対象に (権英秀)
日本學報 (韓國日本學會) 77 2008-11 pp. 1-13
- 3104 윤수미 : 한·일 부부간 직접호칭표현 ; 선행연구의 문제점과 앞으로의 전망.
論文集〈金沢大学経済学部社会言語学演習研究論集〉3, 3 2008 pp. 49-62
- 3105 강영부 : 일본인과 한국인의 커뮤니케이션 차이 ; , 인사표현, 「どうも」, 「どうぞ」와 그에 대한 한국어표현에서 나타나는 콘텍스트 의존도의 차이.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 39, 11 2008 pp. 41-55
- 3106 現代日英比較表現の研究(承前-17) (井上清)
目白大学人文学研究 4 2008-2 pp. 209-215
- 3107 二重母音と二母音連続 (御園和夫 ; 平坂文男)
関東学院大学文学部紀要 113 2008-7 pp. 87-103
- 3108 音象徴日英比較 日本語話者と英語オノマトペ (城戸真由美)
福岡女学院大学紀要 人文学部編 18 2008-2 pp. 151-172
- 3109 Nishi, Kanae ; Strange, Winifred ; Akahane-Yamada, Reiko ; Kubo, Rieko ; Trent-Brown, Sonja A. : Acoustic and Perceptual Similarity of Japanese and American English Vowels.
The Journal of the Acoustical Society of America 124-1, 7 2008 pp. 576-588
- 3110 Iversen, John R. ; Patel, Aniruddh D. ; Ohgushi, Kengo : Perception of Rhythmic Grouping Dependence on Auditory Experience.
The Journal of the Acoustical Society of America 124-4, 10 2008 pp. 2263-2271

- 3111 〈調査報告〉日本語と英語の語彙における使用率とカバー率 (亀山寛; 長谷川哲子)
計量国語学 (計量国語学会) 26-6 2008-9 pp. 196-210
- 3112 味覚語「甘い」と sweet にみるメトニミー (長谷川明香)
東京大学言語学論集 27 2008-9 pp. 1-13
- 3113 イメージによる日英語比較 犬と猫 (熊抱ゆかり)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 82 2008-8 pp. 103-112
- 3114 共感覚の日英比較研究 (岡本恵美子)
文京学院大学外国語学部文京学院短期大学紀要 7 2008-2 pp. 43-69
- 3115 特集; おのまとペ——日英語オノマトペ表現の比較 (村田忠男)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-14 2008-10 pp. 90-97
- 3116 川端康成の作品にみられる人称詞(2) (早川勇)
愛知大学文学論叢 137 2008-2 pp. 238-219
- 3117 法助動詞の発達の普遍性と個別性 英語・日本語・韓国語の対照に基づいて (守屋哲治)
金沢大学教育学部紀要 人文科学・社会科学編 57 2008-2 pp. 1-12
- 3118 日本語主観移動表現のコーパス分析 英語との比較から (小原京子)
言語・文化・コミュニケーション (慶応義塾大学日吉紀要) 40 2008-12 pp. 107-122
- 3119 N after N 構文と日本語の関連構文 形式と意味の< mismatching >との関連から (坪本篤朗)
ことばと文化 (静岡県立大学) 11 2008-2 pp. 67-79
- 3120 there 構文と俳句 (葛西清蔵)
札幌大学総合論叢 25 2008-3 pp. 133-139
- 3121 「の(だ)」構文に対応する世界の諸言語の構文 今後の「の(だ)」構文研究の可能性を求めて (大竹芳夫)
信州大学教育学部紀要 120 2008-3 pp. 27-38
- 3122 比較と類似を表す構文に関する対照研究 日本語, 英語とトクピシン (野瀬昌彦)
東北大学言語学論集 17 2008-11 pp. 139-152
- 3123 前置詞 to から to 不定詞への文法化 日本語後置詞「に」との比較における考察 (井上朋子)
常葉学園大学研究紀要 外国語学部 24 2008-3 pp. 81-100
- 3124 「強意」表現をめぐって 日英対照研究の視点から (山内信幸)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 80 2008-3 pp. 1-15
- 3125 Francis, Elaine J. ; Yuasa, Etsuyo : A Multi-modular Approach to Gradual Change in Grammaticalization.
Journal of Linguistics (JL)44-1, 3 2008 pp. 45-86
- 3126 Kitabayashi, Toshiharu : Two Modes of Visual Expressions ; A Comparative Study of English and Japanese.
京都橘大学研究紀要 34, 1 2008 pp. 236-218
- 3127 Baika, Tadashi : Unagi-Sentences and Pseudo Unagi-Sentences in Japanese and English.
コミュニティ振興研究 (常磐大学コミュニティ振興学部紀要) 8, 3 2008 pp. 69-83

- 3128 Ueyama, Yasuo ; Crawford, Michael J. : English Specific and Generic *you* ; Compared with the Japanese Second Person Pronouns.
人文論究 (北海道教育大学函館人文学会) 77, 3 2008 pp.17-36
- 3129 Ogata, Takafumi : Cognate Objects as Categorical Expressions.
筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要 3, 1 2008 pp.1-14
- 3130 Kobayashi, Mayumi : Light Verbs in English and Japanese.
津田塾大学言語文化研究所報 23, 7 2008 pp.36-48
- 3131 Fujii, Kazuma : A Cognitive Approach to the 'Understood Agent'.
沼津工業高等専門学校研究報告 42, 1 2008 pp.375-382
- 3132 Isse, Yoko : On Psych Verbs in English and Japanese.
福岡大学人文論叢 39-4, 3 2008 pp.967-984
- 3133 Kobukata, Yuko : The Definiteness Effect in English and Japanese Possessive Constructions.
文芸言語研究・言語篇 (筑波大学大学院) 54, 10 2008 pp.65-91
- 3134 日本語と英語の敬意表現について 意味論的・語用論的観点からの考察 (中井延美)
Journal of Hospitality and Tourism (明海大学) 4-1 2008-12 pp.1-11
- 3135 Obana, Yasuko : Politeness Begins ; Its Underlying Meaning and Psychological Analysis.
言語と文化 (関西学院大学言語教育研究センター) 11, 3 2008 pp.17-32
- 3136 Mao, JunLing : Explicating Anger in Different Cultures and Languages ; Comparative Perspectives in English, Chinese and Japanese.
文芸研究 (近畿大学大学院) 5, 3 2008 pp.120-82
- 3137 呼び掛け語としての親族名称が持つコミュニケーション機能 日英比較を通して (小田希望)
就実論叢 1 人文篇 (就実大学・就実短期大学) 37 2008-2 pp.147-163
- 3138 「共有情報」に関わる言語表現の対照研究 (岩畑貴弘)
人文研究 (神奈川大学人文学会) 165 2008-9 pp.61-76
- 3139 診療開始コミュニケーション日米比較 (大滝祥子)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 83 2008-9 pp.51-63
- 3140 Anderson, Fred E. : Cross-cultural Perspectives on Education and Language Socialization.
CHAT Technical Reports (関西大学人間活動理論研究センター) 7, 3 2008 pp.91-108
- 3141 Tanaka, Hiroko : Delaying Dispreferred Responses in English ; From a Japanese Perspective.
Language in Society 37-4, 9 2008 pp.487-513
- 3142 Fujii, Yasunari : 'You must have a wealth of stories' ; Cross-linguistic Differences between Addressee Support Behavior in Australian and Japanese.
Multilingua; Journal of Cross-Cultural and Interlanguage Communication 27-4, 2008 pp.325-370
- 3143 Kamiya, Noboru : The Structure and Derivation of an Answer to a *Yes/No* Question in English and Japanese.

- Scientific Approaches to Language 〈神田外語大学言語科学研究センター紀要〉 7,
3 2008 pp.63-78
- 3144 Berendt, Erich A. : The Concepts of Death and Dying ; A Discourse Analysis of English and Japanese Contemporary Religious Discourse.
清泉女子大学人文科学研究紀要 29, 3 2008 pp.153-164
- 3145 李庸憲 : 호주 대학생의 문자메시지 사용 실태 분석.
日本學報 (韓國日本學會) 75, 5 2008 pp.63-72
- 3146 物語としての新聞記事の日英比較 日本語と英語の物語構造と好まれる言い回し (多々良直弘)
紀要 英語英米文学研究 (桜美林大学) 48 2008-3 pp.105-117
- 3147 Kiyomi, Setsuko ; Matsumoto, Yumi : A Study on Advertising Headlines ; A Comparison between Japanese and English Headlines in Commercial Advertisements.
津田塾大学言語文化研究所報 23, 7 2008 pp.62-72
- 3148 Hoshino, Noriko ; Kroll, Judith F. : Cognate Effects in Picture Naming ; Does cross-language activation survive a change of script?.
Cognition; International Journal of Cognitive Science 106-1, 1 2008 pp.501-511
- 3149 Onnis, Luca ; Christiansen, Morten H. : Lexical Categories at the Edge of the Word.
Cognitive Science; A Multidisciplinary Journal 32-1, 1/2 2008 pp.184-221
- 3150 Berducci, Domenic F. : Change versus Development in External Speech ; Truck-Puzzle Experiments Re-evaluated.
Culture & Psychology 14-2, 6 2008 pp.181-201
- 3151 Takahashi, Noboru : Mother-Child Interaction Reconsidered ; Commentary on Berducci.
Culture & Psychology 14-2, 6 2008 pp.203-210
- 3152 表音文字の符号化過程 国際比較研究概観 (水野りか ; 松井孝雄)
人文学部研究論集 (中部大学) 20 2008-7 pp.13-27
- 3153 コミュニケーション行動制御慣用表現の日独対照研究のために 視点の違い (西嶋義憲)
論文集 〈金沢大学経済学部社会言語学演習研究論集〉 3 2008-3 pp.63-78
- 3154 日独モダリティの意味論的対照研究をするための共通基盤を求めて 1995年版と2006年版Dudenのsollenの意味記述を比較する (末松淑美)
研究紀要 (国立音楽大学) 42 2008-3 pp.49-58
- 3155 分岐的時間の表象を用いた時制・モダリティの連関の説明の試み (渡辺淳也)
文芸言語研究・言語篇 (筑波大学大学院) 54 2008-10 pp.15-44
- 3156 比較ことわざ学の可能性 (鄭芝淑)
言語文化論集 (名古屋大学大学院) 29-2 2008-3 pp.433-447
- 3157 飲み物の容器の表現について フランス語の場合と言語間に見られる差異 (平塚徹)
京都産業大学論集 人文科学系列 38 2008-3 pp.34-48
- 3158 『共感覚的比喩』の一方方向性仮説」における反例の検証と課題 7つの言語を対象とした「視覚を

- 表す語」に関する予備調査の結果から (酒井彩加)
留学生教育〈琉球大学留学生センター紀要〉5 2008-3 pp.1-17
- 3159 特集；正常な発話と逸脱した発話——日本語とブラジル・ポルトガル語の外国語訛り 加工音声と
原音声の知覚的評価 (小松雅彦)
音声研究 (日本音声学会) 12-3 2008-12 pp.28-40
- 3160 アラビア文字の表音単位と形態素表示 日本語の仮名と対照して (桑本裕二)
東北大学言語学論集 17 2008-11 pp.79-89
- 3161 語彙の対照研究のための多義構造の記述モデル (三好準之助)
京都産業大学論集 人文科学系列 38 2008-3 pp.1-32
- 3162 日本語・イタリア語比較対照研究 「父/母」vs「padre/madre」(古浦敏生)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp.135-142
- 3163 トルコにおける名づけに関する考察(1930-2007) 世代間、男女間、日本における名付けとの比較研
究 (クズライ真理子)
比較文化研究 (日本比較文化学会) 83 2008-9 pp.117-129
- 3164 エジプトと日本における政治語彙の造語 ネーション概念の言語的な考察とその対応語 (サーレ,
アーデルアミン)
横浜国立大学留学生センター教育研究論集 15 2008-3 pp.33-74
- 3165 Pauwels, Ruben: Natural Tendencies of Semantic Change and the Search for Tungusic Elements
in Japanese Body-part Terms.
語学教育フォーラム〈アルタイ語研究〉(大東文化大学語学教育研究所) 15(2), 3 20
08 pp.71-103
- 3166 ペルシア語の新しい可能表現に見る、日本語との共通性 (五十嵐小優粒)
STUDIUM; Linguarum et culutuuum mundi (大阪大学大学院) 35 2008-4 pp.83-94
- 3167 モンゴル語と日本語の終助詞の対照研究 siü, de と「よ」「ね」について (ジンガン)
言語・地域文化研究〈東京外国語大学大学院博士後期課程論叢〉14 2008-3 pp.153-
171
- 3168 伝説文体に見られる景頗語(Kachin)の主題マーカー 日本語の「は」との対照研究の立場から (張
麟声)
言語文化学研究 言語情報編 (大阪府立大学) 3 2008-3 pp.17-31
- 3169 日本語とシンハラ語の接触動詞 (宮岸哲也)
国語国文論集 (安田女子大学日本文学会) 38 2008-1 pp.11-22
- 3170 日本語とモンゴル語の受身文の対照比較研究 (アリオナ, ブヤン)
国際協力研究誌 (広島大学大学院) 14-2 2008-3 pp.37-48
- 3171 日本語とトルコ語における「物・行為の授受を表す表現」の比較 (Akkus, Derya)
ことばの科学 (名古屋大学言語文化研究会) 21 2008-12 pp.61-79
- 3172 サオ語(台湾)における現場指示表現 日本語との対照から (新居田純野)
人文 (学習院大学人文科学研究所) 6 2008-3 pp.213-231

- 3173 日本語とモンゴル語の存在表現の対照研究 (張麟声; 青格乐图)
人文学論集 (大阪府立大学人文学会) 26 2008-3 pp. 149-162
- 3174 「と・たら・ば」の時間及び原因・理由の意味と用法 セルビア語との対照の立場から (ヤンコヴィッチ, スネジャナ)
対照言語学研究 (海山文化研究所) 18 2008-12 pp. 27-48
- 3175 〈研究ノート〉ベトナム語指示詞 *dây, đó, kia* の直示用法と照応用法 日本語指示詞との対照を基に (安達真弓)
東京大学言語学論集 27 2008-9 pp. 207-215
- 3176 日本語とベトナム語の中間構文 (千晃載)
東北大学言語学論集 17 2008-11 pp. 91-110
- 3177 語形式と文法範疇の図像的關係について 日露のアスペクト形式をもとに (下郡健志)
名古屋大学言語学論集 23 2008-5 pp. 31-58
- 3178 非意志性の表し方 シンハラ語と日本語を中心に (ラトナーヤカ, ディルルクシ)
名古屋大学人文科学研究 37 2008-2 pp. 43-62
- 3179 チェコ語の小詞の形式と機能構造 日本語との平行性および中心 vs. 周辺理論を中心として (本城二郎)
ニダバ (西日本言語学会) 37 2008-3 pp. 143-152
- 3180 「～てもらう」表現とタイ語における強制性 (ムニンタラウオン, シリワン)
日本語・日本文化 (大阪大学日本語日本文化教育センター) 34 2008-5 pp. 67-86
- 3181 日本語とヒンディー語の関係節の対照研究 関係節の種類と特徴, 関係節化の可能性について (今村泰也)
麗沢大学紀要 87 2008-12 pp. 15-38
- 3182 特集; ことばと空間 言語に表れる身体性——日本語のニ/デとインドネシア語の pada/di 空間認識、その普遍性と個別性 (湯浅章子)
言語 (大修館書店) 37-7 2008-7 pp. 70-75
- 3183 特集; 日本語文法の現在——ソトからみた日本語文法 ポーランド語からみた日本語 語形変化と文法的なカテゴリーをとおして (マーチン, ホウダ)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 131-140
- 3184 〃——ソトからみた日本語文法 アルタイ語学者からみたニホン語文法 (竹内和夫)
国文学 解釈と鑑賞 (至文堂) 73-1 2008-1 pp. 148-153
- 3185 〈研究ノート〉ペルシア語における敬語表現 素材敬語を中心に (Sohrab, Azarparand)
言語社会 (一橋大学大学院) 2 2008-3 pp. 456-438
- 3186 ポライトネスにおける日蒙対照 電話会話ストラテジーの考察を通して (ボロルツェツェグ)
東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 117-132
- 3187 Gervain, Judit ; Nespor, Marina ; Mazuka, Reiko ; Horie, Ryota ; Mehler, Jacques : Bootstrapping World Order in Prelexical Infants ; A Japanese-Italian Cross-linguistic Study.
Cognitive Psychology 57-1, 8 2008 pp. 56-74

◇翻訳

- 3188 『源氏物語』の和歌の英訳についての考察 サイデンステッカー訳とタイラー訳を比較して (吳小
 璿)
 愛知大学中国交換研究員論叢 25 2008-3 pp. 49-57
- 3189 英訳『源氏物語』つれづれ 追悼エドワード・G・サイデンステッカー教授 (小田桐弘子)
 大手前大学論集 8 2008-3 pp. 57-68
- 3190 日本語訳におけるケントの ‘unmannerly’ なせりふ (富原裕二)
 九州産業大学国際文化学部紀要 41 2008-12 pp. 17-28
- 3191 朝鮮の詩心の行方 金素雲訳『朝鮮詩集』の翻訳の問題と可能性 (吳世宗)
 言語社会 (一橋大学大学院) 2 2008-3 pp. 274-293
- 3192 昭和 20 年代の英文学翻訳と英文学研究 『英語青年』誌における翻訳規範の形成とそのコンテクス
 ト (佐藤美希)
 国際広報メディア・観光学ジャーナル (北海道大学大学院) 7 2008-11 pp. 119-144
- 3193 〈じんりゅう時評〉多言語・多文化社会にいかに向き合うか 増加する外国人とコミュニティー通
 訳 (水野真木子)
 国際人流 21-11 2008-11 pp. 16-19
- 3194 日・英小説の語りに表れる「声」 自由間接話法とその翻訳 (伊原紀子)
 社会言語科学 (社会言語科学会) 11-1 2008-8 pp. 151-163
- 3195 高品質の特許翻訳のために 海外での特許訴訟に強い明細書作成をめざして (倉増一)
 情報管理 (科学技術振興機構) 50-11 2008-2 pp. 727-737
- 3196 放送通訳学習者におけるエラーの分類 ニュース吹き替え演習の実例から (内藤稔)
 東京外国語大学論集 77 2008-12 pp. 265-279
- 3197 明治前期の学術書の翻訳 矢野恒太郎編輯『自由教育論』について (鈴木直枝)
 東北生活文化大学東北生活文化大学短期大学部紀要 38 2008-3 pp. 43-49
- 3198 外国映画の台詞の日本語訳における異文化コミュニケーションと翻訳の問題点 (ミヤンマルティン,
 アルベルト)
 日本語・日本文化研究 (大阪大学) 18 2008-11 pp. 105-116
- 3199 シェイクスピア翻訳学 ソネット十二番の三つの日本語翻訳 (ガリモア, ダニエル)
 日本女子大学紀要 文学部 57 2008-3 pp. 77-87
- 3200 長谷詣での宿 英訳・独訳で読む『枕草子』 (津田克巳)
 比較文化研究 (日本比較文化学会) 82 2008-8 pp. 23-33
- 3201 翻訳と解釈の狭間で 古典和歌翻訳の問題について (スピアーズ, スコット)
 比較文学年誌 (早稲田大学比較文学研究室) 44 2008-3 pp. 16-29
- 3202 『道原精萃図』の翻訳から見える問題 (林楽常)
 東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 87-100
- 3203 〈研究ノート〉曖昧な日本語表現の訳し方について (孟海霞)
 東アジア日本語教育・日本文化研究 11 2008-3 pp. 313-320

- 3204 翻訳タスクにおける思考発話法の反作用 翻訳のプロセス研究のための基礎的研究 (石原知英)
広島大学大学院教育学研究科紀要 2 文化教育開発関連領域 57 2008-12 pp.183-191
- 3205 ‘‘This’’・‘‘That’’ vs. 「これ」・「あれ」 シェイクスピアの作品を中心とする言語文化論 (芝史朗)
文学・芸術・文化〈近畿大学文芸学部論集〉19-2 2008-3 pp.142-126
- 3206 現代小説から見た従属節「～て」の中国語翻訳の傾向 句読点の加訳・変換・減訳を中心として (林彦伶)
文研会紀要 (愛知学院大学大学院) 19 2008-3 pp.127-108
- 3207 同時通訳における訳出方略 (河原清志)
麗沢大学紀要 87 2008-12 pp.59-79
- 3208 中国近代新聞と日本新漢字語の導入 日本語記事「清国膠州湾」の中訳を例として (秦春芳)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp.109-124
- 3209 Tanita, Keiko : Shift of Metaphoric Conceptualization Patterns in Translation in the Field of Death and Dying.
清泉女子大学人文科学研究科紀要 29, 3 2008 pp.165-178
- 3210 Ikee, Reiko : Speech and Thought Presentation in Haruki Murakami's 'All God's Children Can Dance'; A Comparative Corpus-based Approach to the Japanese and English Texts.
専修人文論集 (専修大学学会) 83, 10 2008 pp.29-80
- 3211 论日本读本小说《忠臣水浒传》(赵苗)
或問 (近代東西言語文化接触研究会) 15 2008-12 pp.45-53
- 3212 정하준 : 「韓⇔日日번역」에서의 「と思う」 연구.
日本研究 (韓國外國語大學校日本研究所) 36, 6 2008 pp.593-608
- 3213 강영부 ; 李左知子 ; 이상연 : 한국어의 일본어 외래어 역에 대한 고찰 ; 한일어판 조선일보 서설을 중심으로.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 23, 12 2008 pp.1-13
- 3214 양호성 : 일본어 수동문의 등가번역고찰 ; 요시모토 마나나의 『키친』 의 용례를 중심으로.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 36, 2 2008 pp.161-175
- 3215 왕숙영 : 움직이는 중심점 ; 렌가(連歌) 의 해석과 번역.
日本學報 (韓國日本語學會) 75, 5 2008 pp.205-216
- 3216 手紙と日記 対話する私/私との対話——〈講演〉『源氏物語』のトルコ語訳について (Erkin, H. Can)
国際日本文学研究集會會議録 (国文学研究資料館) 31 2008-3 pp.1-12
- 3217 特集 ; ことばと音楽——洋楽を日本語で歌うための歌詞 言葉を語るように歌うということ (今泉志奈子)
日本語学 (明治書院) 27-4 2008-4 pp.30-41
- 3218 特集 ; 近現代文学における〈交通〉——翻訳者・三島由紀夫と村上春樹の文化戦略 (久保田裕子)

- 日本文学 (日本文学協会) 57-11 2008-11 pp. 36-43
- 3219 特集 ; 現代日本文学の翻訳・普及事業——〈事業紹介〉いま、日本文学が世界を目指す (広瀬恵子)
文化庁月報 477 2008-6 pp. 13-21
- 3220 特集 ; 言語権とは何か 多言語時代を生きるために——言語権の保証としての「コミュニティー通訳」 (水野真木子)
言語 (大修館書店) 37-2 2008-2 pp. 68-75
- 3221 特集 ; 翻訳がつくる日本語——〈鼎談〉日本語は翻訳によっていかに鍛えられたか (鹿島茂 ; 亀山郁夫 ; 鴻巣友季子)
遠近 (国際交流基金) 23 2008-6 pp. 10-21
- 3222 〃——翻訳は人間関係を表現する日本語の宝庫である (中村桃子)
遠近 (国際交流基金) 23 2008-6 pp. 22-25
- 3223 〃——人間は言語が違っていても同じことに惹きつけられる (パルバース, ロジャー ; 上杉隼人/訳)
遠近 (国際交流基金) 23 2008-6 pp. 26-30
- 3224 〃——「輸入翻訳大国」「無断翻訳大国」という誤解を解く (宮田昇)
遠近 (国際交流基金) 23 2008-6 pp. 31-35
- 3225 特集 ; 翻訳を越えて——シェイクスピア翻訳史の端緒と現在 漱石の逍遙批判をめぐって (河合祥一郎)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-7 2008-5 pp. 24-32
- 3226 〃——同時翻訳の難しさ (松本道弘)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-7 2008-5 pp. 54-65
- 3227 〃——誤訳の名作 アメリカ文学作品邦題再検証 (舌津智之)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-7 2008-5 pp. 92-99
- 3228 〃——夢の詩学 不断の創造的な裏切り (樋口覚)
国文学 解釈と教材の研究 (学燈社) 53-7 2008-5 pp. 100-107

◇言語学研究史

- 3229 英語圏の単語中心主義 (宮島達夫)
対照言語学研究 (海山文化研究所) 18 2008-12 pp. 1-6
- 3230 ソシユールにおける絶対的多様性の概念 サピアとの比較を視野に (鷲尾竜一)
日本エドワード・サピア協会研究年報 22 2008-3 pp. 1-22
- 3231 Naito, Masako : Chao Yuen Ren and Tokieda Motoki ; From the Point of View of Pragmatics.
早稲田大学大学院文学研究科紀要 第 2 分冊 53, 2 2008 pp. 227-251
- 3232 Ueda, Yasunari : Zur Entwicklung der Sprachtheorie Karl Bühlers nach der Emigration in den U. S. A.
広島大学大学院文学研究科論集 68, 12 2008 pp. 37-54
- 3233 임경화 : 주제 ; 新羅 郷歌의 綜合的 檢討——식민지기 일본인 연구자들의 향가 해독 ; 차용체 (借用體) 에서 국문으로.
國語學 (國語學會) 51, 4 2008 pp. 365-384

□参考資料

◇目録（書目）・解題

- 3234 新潟県方言関係全資料目録 2007 年(平成 19)9 月～2008 年(平成 20)8 月 (外山正恭)
ことばとくらし (新潟県ことばの会) 20 2008-10 pp. 43-52
- 3235 文体に関わる接続詞研究文献とその概要 (馬場俊臣)
語学文学 (北海道教育大学語学文学会) 46 2008-3 pp. 9-29
- 3236 文学に描かれた日本の「食」のすがた 古代から江戸時代まで——「食」研究文献目録抄 (目黒将史; 森暁子)
国文学 解釈と鑑賞 別冊 (至文堂) 2008-10 pp. 294-303
- 3237 ちりめん本研究文献目録 (田嶋研究室/編)
いわき明星大学大学院人文学研究科紀要 6 2008-1 pp. 47-53
- 3238 現代日本語接続詞研究文献一覧(中) (馬場俊臣)
札幌国語研究 (北海道教育大学国語国文学会・札幌) 13 2008-8 pp. 21-34
- 3239 〈資料紹介〉アイヌ文献目録 2006 (アイヌ文献目録編集会)
北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要 14 2008-3 pp. 115-157
- 3240 明治大正期古今集注釈書・研究書略解 (川上新一郎)
斯道文庫論集 (慶応義塾大学附属研究所斯道文庫) 42 2008-2 pp. 91-129
- 3241 「武藤文庫(仮)」目録 (藤川雅恵)
青山語文 (青山学院大学日本文学会) 38 2008-3 pp. 98-114
- 3242 木村正辞旧蔵本の考証と復元 大東急記念文庫蔵『櫛斎蔵書目録』をてがかりとして(下) (大沼宜規)
かがみ (大東急記念文庫) 38 2008-3 pp. 54-116
- 3243 〈研究ノート〉日本関係洋古書の我が国での所蔵状況について (斎藤ひさ子; 蛭田顕子; 渡辺富久子)
参考書誌研究 (国立国会図書館) 68 2008-3 pp. 9-49
- 3244 抄物目録稿(原典国書一、日本書紀)(下) (柳田征司)
抄物の研究 (抄物研究会) 15 2008-3 pp. 1-40
- 3245 ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について (8) (虎尾達哉)
人文学科論集 (鹿児島大学法文学部紀要) 67 2008-2 pp. 39-56
- 3246 〈研究報告〉大阪大学附属図書館蔵 小野文庫目録 資料名索引, 附・小野文庫 422 [忍頂寺務宛書簡] 差出人別リスト (青田寿美/責任編集; 内田宗一; 大内瑞恵; 太田路枝; 神林尚子; 佐山美佳; 丹羽みさと)
調査研究報告 (国文学研究資料館調査収集事業部) 28 2008-1 pp. 1-73
- 3247 ライデン大学蔵のホフマン蔵書について (金子弘)
日本語日本文学 (創価大学日本語日本文学会) 18 2008-3 pp. 1-7
- 3248 「楠壁書」の生成_付正成関係教訓書分類目録(稿) (今井正之助)
日本文化論叢 (愛知教育大学) 16 2008-3 pp. 55-91

- 3249 立教大学人文図書館特別書庫所蔵古典籍目録(韻文篇) (安原真琴/編)
立教大学日本文学 101 2008-12 pp. 128-101
- 3250 〈研究ノート〉橘屋治兵衛の出版目録について 付『俳諧書籍目録』(東京大学総合図書館酒竹文庫蔵)翻刻 (鹿島美千代)
図書館情報メディア研究 6-1 2008-10 pp. 43-67
- 3251 柴田武先生主要著作目録 (熊谷康雄/作成)
言語研究 (日本言語学会) 133 2008-3 pp. 176-177
- 3252 藤原与一博士追悼——藤原与一博士年譜および著述目録 (江端義夫/編)
日本語の研究 (日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 84-91
- 3253 特集 ; 文学としての情報/情報としての文学——流通・所蔵情報をとらえる文学研究へ 米議会図書館所蔵の占領期被接收文献について (和田敦彦)
日本文学 (日本文学協会) 57-1 2008-1 pp. 56-67

□書評・紹介

◇国語(学)

- 3254 〈新刊紹介〉杉本つとむ著『市民のための国語の授業』(寺田智美)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂)73-1 2008-1 p.213
- 3255 〈書評〉渋谷謙次郎・小嶋勇編『言語権の理論と実践』(歌田英;小嶋勇;渋谷謙次郎)
社会言語学(「社会言語学」刊行会)8 2008-11 pp.145-165
- 3256 〈新刊クローズアップ〉『シリーズ《現代日本語の世界》全6巻』佐藤武義編/田島優著「現代漢字の世界」・佐藤武義編/大西拓一郎著「現代方言の世界」(佐藤武義)
日本語学(明治書院)27-13 2008-11 p.63
- 3257 〈書評〉中村桃子著『「女ことば」はつくられる』(菅聡子)
日本文学(日本文学協会)57-6 2008-6 pp.66-67
- 3258 〈新刊・寸感〉松田謙次郎編著『国会会議録を使った日本語研究』;石川慎一郎著『英語コーパスと言語教育—データとしてのテキスト』(田中牧郎)
日本語学(明治書院)27-10 2008-9 pp.98-99
- 3259 〈書評〉藤田大誠著『近代国学の研究』(星原大輔)
大倉山論集(大倉精神文化研究所)54 2008-3 pp.485-499
- 3260 〈〃〉岩田隆著『宣長学論究』(千葉真也)
国語と国文学(東京大学国語国文学会)85-12 2008-12 pp.82-85

◇国語史

- 3261 〈新刊・寸感〉金水敏・乾善彦・渋谷勝己著『シリーズ日本語史(4)日本語史のインタフェース』;
定延利之著『煩惱の文法』(相沢正夫)
日本語学(明治書院)27-13 2008-11 pp.88-89
- 3262 〈書評〉桑川光樹著『上代日本の文学と時間』(森朝男)
国語と国文学(東京大学国語国文学会)85-1 2008-1 pp.72-76
- 3263 〈〃〉小谷博泰著『木簡・金石文と記紀の研究』(沖森卓也)
日本語の研究(日本語学会)4-3 2008-7 pp.134-139
- 3264 〈〃〉犬養隆著『木簡による日本語書記史』(蜂矢真郷)
万葉(万葉学会)200 2008-3 pp.61-70
- 3265 〈〃〉橋本雅之著『古風土記の研究』(中川ゆかり)
万葉(万葉学会)200 2008-3 pp.71-80
- 3266 〈紹介〉浅見徹著『万葉集の表現と受容』(坂本信幸)
万葉(万葉学会)201 2008-6 pp.44-46
- 3267 〈書評〉陣野英則著『源氏物語の話声と表現世界』(安藤徹)
国語と国文学(東京大学国語国文学会)85-10 2008-10 pp.71-77
- 3268 〈新刊紹介〉高橋亨著『源氏物語の詩学—かな物語の生成と心的遠近法』(小嶋菜温子)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂)73-3 2008-3 p.197
- 3269 〈書評〉神尾暢子著『落窪物語の表現論理』(畑恵里子)

古代文学研究 第 2 次 17 2008-10 pp. 57-62

- 3270 〈〃〉高橋亨著『源氏物語の詩学』(神田龍身)
名古屋大学国語国文学 101 2008-11 pp. 119-127
- 3271 〈〃〉堀畑正臣著『古記録資料の国語学的研究』(山本真吾)
日本語の研究(日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 77-82
- 3272 〈新刊紹介〉北田幸恵著『書く女たち 江戸から明治のメディア・文学・ジェンダーを読む』(宇佐美毅)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-2 2008-2 p. 192
- 3273 〈新刊書紹介〉岡田袈裟男著『江戸異言語接触 蘭語・唐話と近代日本語』(近藤信義)
立正大学文学部論叢 127 2008-3 pp. 59-61
- 3274 〈新刊紹介〉遠藤織枝・黄慶法編著『中国人学生の綴った日本語日記』(加藤陽子)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-1 2008-1 p. 214

◇音声・音韻

- 3275 〈書評〉藤村靖著『音声科学原論』(北原真冬)
音声研究(日本音声学会) 12-1 2008-4 pp. 63-69

◇文字・表記

- 3276 〈書評〉日本国字研究的杰出成果 《国字の位相と展開》評介(何华珍)
汉字文化 82 2008-4 pp. 91-92
- 3277 〈書評〉釘貫亨著『近世仮名遣い論の研究 五十音図と古代日本語音声の発見』(遠藤和夫)
国学院雑誌(国学院大学) 109-4 2008-4 pp. 41-44
- 3278 〈〃〉釘貫亨著『近世仮名遣い論の研究 五十音図と古代日本語音声の発見』(中沢信幸)
名古屋大学国語国文学 101 2008-11 pp. 135-143

◇語彙・用語

- 3279 〈〃〉語構成原論一語が作り出される理論的プロセス 斎藤倫明著『語彙論的語構成論』(勝田耕起)
文芸研究 文芸・言語・思想(日本文芸研究会) 165 2008-3 pp. 80-81
- 3280 〈〃〉石井正彦著『現代日本語の複合語形成論』(玉村文郎)
国語と国文学(東京大学国語国文学会) 85-4 2008-4 pp. 72-77
- 3281 〈新刊・寸感〉日本弁護士連合会裁判員制度実施本部法廷用語の日常化に関するプロジェクトチーム編『やさしく読み解く裁判員のための法廷用語ハンドブック』; 子安増生・西村和雄編『経済心理学のすすめ』(横山詔一)
日本語学(明治書院) 27-7 2008-6 pp. 72-73
- 3282 〈新刊・再版紹介〉大坪併治著『擬声語の研究』(大坪併治著作集(12))(岩崎真梨子)
岡大國文論稿(岡山大学文学部言語国語国文学会) 36 2008-3 pp. 78-79
- 3283 〈書架〉京都地名研究会編『京都の地名 検証(2)一風土・歴史・文化をよむ』(内田忠賢)
地理(古今書院) 53-7 2008-7 p. 129
- 3284 〈〃〉今尾恵介著『地名の社会学』(影山穂波)
地理(古今書院) 53-12 2008-12 p. 109

- 3285 〈書評〉築島裕編『訓点語彙集成』 第一巻刊行に際して (前田富祺)
訓点語と訓点資料 (訓点語学会) 120 2008-3 pp. 123-131
- 3286 〈新刊紹介〉糸井通浩・神尾暢子編『王朝物語のしぐさとことば』 (西原志保)
名古屋大学国語国文学 101 2008-11 pp. 153-154
- 3287 〈書評〉小久保崇明著『水鏡とその周辺の語彙・語法』 (坂詰力治)
語文 (日本大学国文学会) 132 2008-12 pp. 40-41
- 3288 〈〃〉高野繁男著『近代漢語の研究—日本語の造語法・訳語法』 (服部隆)
国文学論集 (上智大学国文学会) 41 2008-1 pp. 59-65
- 3289 〈〃〉瀬戸賢一 (編) 『英語多義ネットワーク辞典』 (前編) (千田孝)
応用言語学研究 (明海大学大学院応用言語学研究科紀要) 10 2008-3 pp. 135-141

◇文法

- 3290 〈新刊クローズアップ〉八亀裕美著『日本語形容詞の記述的研究 類型論的視点から』 (八亀裕美)
日本語学 (明治書院) 27-6 2008-5 p. 69
- 3291 〈書評〉馬場俊臣著『日本語の文連接表現—指示・接続・反復』 (高崎みどり)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 95-102
- 3292 〈〃〉益岡隆志著『日本語モダリティ探究』 (杉村泰)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 103-108
- 3293 〈〃〉有田節子著『日本語条件文と時制節性』 (前田直子)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 83-88
- 3294 〈書評論文〉丹羽哲也著『日本語の題目文』 (天野みどり)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 199-206
- 3295 〈書評・紹介〉中島悦子著『条件表現の研究』 (奥津敬一郎)
国文目白 (日本女子大学国語国文学会) 47 2008-2 pp. 104-105
- 3296 〈書評〉宮地朝子著『日本語助詞シカに関わる構文構造史的研究—文法史構築の一試論』 (小柳智一)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 89-94
- 3297 〈書評論文〉金水敏著『日本語存在表現の歴史』 (福嶋健伸)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 207-214
- 3298 〈〃〉小田勝著『古代語構文の研究』 (青木博史)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 127-133
- 3299 〈〃〉坂梨隆三著『近世語法研究』 (矢島正浩)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 120-126
- 3300 〈新刊クローズアップ〉国立国語研究所編『新「ことば」シリーズ 21 私たちと敬語』 (日本語学編集部)
日本語学 (明治書院) 27-7 2008-6 p. 45

◇文章・文体

- 3301 〈書評〉中園篤典著『発話行為的引用論の試み—引用されたダイクシスの考察』 (藤田保幸)
日本語の研究 (日本語学会) 4-3 2008-7 pp. 146-140

- 3302 〈〃〉藤井貞和著『詩的分析』(関根賢司)
古代文学研究 第 2 次 17 2008-10 pp. 96-103
- 3303 〈〃〉高橋亨著『源氏物語の詩学 かな物語の生成と心的遠近法』を読む(高木信)
古代文学研究 第 2 次 17 2008-10 pp. 63-75
- 3304 〈〃〉山本真吾著『平安鎌倉時代に於ける表白・願文の文体の研究』(藤井俊博)
日本語の研究(日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 130-136
- 3305 〈〃〉遠藤好英著『平安時代の記録語の文体史的研究』(堀畑正臣)
日本語の研究(日本語学会) 4-2 2008-4 pp. 98-104
- 3306 〈〃〉永井聖剛著『自然主義のレトリック』(深津謙一郎)
日本文学(日本文学協会) 57-10 2008-10 pp. 68-69

◇古典の注釈

- 3307 〈紹介〉松本直樹著『出雲国風土記注釈』(兼岡理恵)
国語と国文学(東京大学国語国文学会) 85-7 2008-7 pp. 76-78
- 3308 〈書評〉松本直樹著『出雲国風土記注釈』(青木周平)
国文学研究(早稲田大学国文学会) 156 2008-10 pp. 60-63
- 3309 〈紹介〉室城秀之編『ビギナーズ・クラシックス うつほ物語』(三浦則子)
国文白百合(白百合女子大学国語国文学会) 39 2008-3 pp. 60-61
- 3310 〈書評〉今井上著『源氏物語 表現の理路』(増田繁夫)
日本文学(日本文学協会) 57-11 2008-11 pp. 86-87
- 3311 〈〃〉渡邊裕美子著『最勝四天王院障子和歌全釈』(田淵句美子)
国文学研究(早稲田大学国文学会) 156 2008-10 pp. 68-70

◇方言

- 3312 〈新刊・寸感〉真田信治・陣内正敬・井上史雄・日高貢一郎・大野真男(著)『シリーズ方言学(3) 方言の機能』(吉岡泰夫)
日本語学(明治書院) 27-8 2008-7 pp. 84-85
- 3313 〈新著紹介〉浜野博著『日生の方言 岡山弁の異端』(浜野博)
方言・音声研究(方言・音声研究会) 1 2008-9 pp. 201-205
- 3314 〈新刊紹介〉名護市史編さん委員会・名護市史「言語」編専門部会『名護市史本編(10) 言語一やんばるの方言』(松本泰丈)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-7 2008-7 p. 173
- 3315 〈〃〉岡村隆博著『奄美方言一カナ文字での書き方』(田畑千秋)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂) 73-7 2008-7 p. 174
- 3316 〈書評〉崎村弘文著『琉球方言と九州方言の韻律論的研究』(松森晶子)
日本語の研究(日本語学会) 4-1 2008-1 pp. 137-143

◇ことばと機械

- 3317 〈書評・新刊紹介〉藤田節子著『キーワード検索がわかる』(長屋俊)
情報の科学と技術(情報科学技術協会) 58-2 2008-2 p. 90

◇コミュニケーション

- 3318 〈新刊・寸感〉町淳二・宮城征四郎(編著)『日米比較に学ぶ「国民主役」医療への道 セルフケアが健康を創る、医療を救う!』;日本プライマリ・ケア学会(編)『私を変えてくれた患者さんのこの一言!』(吉岡泰夫)
日本語学(明治書院)27-1 2008-1 pp.96-97
- 3319 〈書籍紹介〉遠藤織枝編著『ことばとジェンダーの未来図—ジェンダー・バッシングに立ち向かうために』(佐竹久仁子)
ことば(現代日本語研究会)29 2008-12 pp.102-105
- 3320 〈書評〉クレア マリィ著『発話者の言語ストラテジーとしてのネゴシエーション行為の研究』(遠藤織枝)
切りぬける・交渉・談判・掛け合い
日本語の研究(日本語学会)4-4 2008-10 pp.109-115
- 3321 〈〃〉橋内武『ディスコース—談話の織りなす世界』(江村裕文)
異文化(法政大学)9 2008-4 pp.57-62
- 3322 〈〃〉岡本真一郎編『ことばのコミュニケーション 対人関係のレトリック』(石井敬子)
社会心理学研究(日本社会心理学会)24-2 2008-11 p.164
- 3323 〈新刊紹介〉国立国語研究所編『言語行動における「配慮」の諸相』(趙彦志)
国文学 解釈と鑑賞(至文堂)73-1 2008-1 p.212
- 3324 〈書評〉井出祥子著『わきまへの語用論』(滝浦真人)
日本語の研究(日本語学会)4-2 2008-4 pp.92-97
- 3325 〈書評論文〉砂川有里子著『文法と談話の接点—日本語の談話における主題展開機能の研究』(石黒圭)
日本語文法(日本語文法学会)8-2 2008-9 pp.190-198
- 3326 〈文献・図書紹介〉渡部淳著『大学生のための知のスキル表現のスキル』(渡部淳)
異文化間教育(異文化間教育学会)27 2008-4 pp.99-100
- 3327 〈図書紹介〉渡部淳著『大学生のための知のスキル表現のスキル』(平野正久)
教育学雑誌(日本大学教育学会)43 2008-3 pp.137-144
- 3328 〈新刊紹介〉内田啓一著『大江戸カルチャーブックス 江戸の出版事情』(岩切信一郎)
学苑(昭和女子大学近代文化研究所)814 2008-8 pp.62-63
- 3329 〈書評〉リチャード・ルビンジャー著『日本人のリテラシー1600—1900年』(八鍬友広)
社会言語学(「社会言語学」刊行会)8 2008-11 pp.167-174

◇国語問題

- 3330 〈新刊・寸感〉安田敏朗著『国語審議会 迷走の60年』;佐藤稔著『読みにくい名前はなぜ増えたか』(田中牧郎)
日本語学(明治書院)27-3 2008-3 pp.66-67
- 3331 〈〃〉国立国語研究所編『新「ことば」シリーズ 21 私たちと敬語』;笹原宏之著『訓読みのはなし 漢字文化圏の中の日本語』(小椋秀樹)
日本語学(明治書院)27-9 2008-8 pp.98-99

- 3332 〈〃〉 円満字二郎著『昭和を騒がせた漢字たち 当用漢字の事件簿』; 道浦俊彦著『スープの冷めな
い距離—辞書に載らない言い回し 56』(小椋秀樹)
日本語学 (明治書院) 27-2 2008-2 pp. 92-93
- 3333 新刊「かなづかい入門」をよんで (ワタナベサトシ)
カナノヒカリ (カナモジカイ) 940 2008-8 pp. 8-9
- 3334 〈書評〉 植民地主義批判としてのろう文化のたたかい ハーラン・レイン著『善意の仮面 聴能主義
とろう文化の闘い』(富田哲)
社会言語学 (「社会言語学」刊行会) 8 2008-11 pp. 133-144
- 3335 〈〃〉 藤井貞和著『言葉と戦争』(浦田義和)
日本文学 (日本文学協会) 57-6 2008-6 pp. 68-69

◇国語教育

- 3336 〈〃〉 瀬川栄志著『国語教育立国論(2) 国語科教育の原点追究と改革課題』(花田修一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-6 2008-6 p. 97
- 3337 〈〃〉 渋谷孝著『国語科教育はなぜ言葉の教育になり切れなかったのか』(市毛勝雄)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-8 2008-7 p. 97
- 3338 〈新刊紹介〉 森島久雄著『いま、国語にできること「生きる力」を考える』(萩原敏行)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 435 2008-7 p. 69
- 3339 〈書評〉 長野藤夫・TOSS 中学網走みみずくの会著『授業で「集団を動かす」技術の開発—中学校』
(斎藤勉)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-1 2008-1 p. 97
- 3340 〈〃〉 大森塾編集委員会編『大森塾の提案シリーズ(4) グレーゾーンの子どもに分かる授業の条件
—国語科編』(岩下修)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-3 2008-3 p. 96
- 3341 〈〃〉 平松孝治郎編著『「プロの技術」を学ぶ(4) 板書構成・板書の仕方』(須田実)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-5 2008-5 p. 95
- 3342 〈〃〉 東田昌樹・TOSS 鹿本著『到達度を明確にした一時間の授業開発(1) 国語科の授業はこう変わ
る』(神谷祐子)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-10 2008-9 p. 96
- 3343 〈〃〉 山田高広著『現場からの国語教育改革シリーズ(1) 言葉を鍛える授業のアイデア—中学編』
(佐藤佐敏)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-14 2008-12 p. 97
- 3344 〈〃〉 井上雅彦著『伝え合いを重視した高等学校国語科カリキュラムの実践的研究』(田中宏幸)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 64 2008-9 pp. 35-38
- 3345 〈Book Guide 《この本がおもしろい》〉 井上一郎編著『コンピュータを活用した国語力の育成』(吉
田裕久)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-4 2008-7 p. 98
- 3346 〈書評〉 国語教育研究所編『国語教育 2008 年 6 月号臨時増刊 新学習指導要領国語科の長所・短所』

(堀江祐爾)

教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-13 2008-11 p. 97

- 3347 〈〃〉岩間正則編著『文科省全国学力調査 中学校国語 B 問題を授業する』(高木展郎)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-6 2008-6 p. 96
- 3348 〈新刊紹介〉卯月啓子著『ことばがおどる 2 年生』(成家亘宏)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 432 2008-4 p. 70
- 3349 〈書評〉浜上薫著『教師修業への挑戦(16) 「分析批評」で思考力を育てる』(鶴田清司)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-9 2008-8 p. 97
- 3350 〈〃〉児童言語研究会・言語論理教育編集委員会編『今から始める言語論理教育』(市毛勝雄)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-13 2008-11 p. 96
- 3351 〈〃〉岡田健治・小林幸雄監修/石本康一郎編『子どもの発言を引き出す基本技—国語科』(神谷祐子)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-2 2008-2 p. 96
- 3352 〈〃〉甲本卓司著『甲本卓司提言集(12)「向山型分析批評」で討論授業を組み立てる』(浜上薫)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-3 2008-3 p. 97
- 3353 〈〃〉須田実編著『わかる板書で読解力を高める—小学 1-2 年』(吉永幸司)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-4 2008-4 p. 96
- 3354 〈〃〉有元秀文著『必ず「PISA 型読解力」が育つ七つの授業改革—「読解表現力」と「クリティカル・リーディング」を育てる方法』(鶴田清司)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-8 2008-7 p. 96
- 3355 〈〃〉鶴田清司著『「読解力」を高める国語科授業の改革—PISA 型読解力を中心に』(井上尚美)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-9 2008-8 p. 96
- 3356 〈〃〉野口芳宏編著『書く力をつける—文マスターカード—低・中・高学年』(松野孝雄)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-5 2008-5 p. 96
- 3357 〈Book Guide 《この本がおもしろい》〉井上一郎編著『書く力の基本を定着させる授業』(森山卓郎)
実践国語研究 (全国国語教育実践研究会) 32-2 2008-3 p. 98
- 3358 〈書評〉市毛勝雄編著『論理的文章の書き方指導—中学校編』(佐藤洋一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-4 2008-4 p. 97
- 3359 〈新刊紹介〉田中宏幸著『金子彦二郎の作文教育—中等教育における発想力・着想力の指導』(大内善一)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 434 2008-6 p. 70
- 3360 〈〃〉白石寿文・権藤順子編著『小学校作文の生活』—子どもを育て、教師と保護者の絆を深める日記指導 (大越和孝)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 434 2008-6 p. 71
- 3361 〈書評〉花田修一編著『心を育てる敬語指導—心ある言葉の使い手をめざして』(佐藤洋一)
教育科学国語教育 (明治図書出版) 50-14 2008-12 p. 96
- 3362 〈新刊紹介〉藤森裕治著『バタフライ・マップ法—文学で育てる〈美〉の論理力』(石塚修)

- 月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 437 2008-9 p. 69
- 3363 〈書評〉浜本純逸著『ロシア・ソビエト文学教育史研究』(土山和久)
国語科教育 (全国大学国語教育学会) 64 2008-9 pp. 39-42
- 3364 Yamakoshi, Kyoko : Two Perspectives on the Acquisition of Complex Sentences: Innateness and Learning ; The Acquisition of Complex Sentences, by Holger Diessel.
English Linguistics (日本英語学会) 25-1, 6 2008 pp. 315-339
- 3365 〈新刊クローズアップ〉桶谷仁美編著『家庭でバイリンガルを育てる—0歳児からのバイリンガル教育』(西原鈴子)
日本語学 (明治書院) 27-1 2008-1 p. 39
- 3366 〈書評〉石川巧著『「国語」入試の近現代史』(渡邊正彦)
立教大学日本文学 100 2008-7 pp. 164-167
- 3367 〈新刊紹介〉益地憲一著『大正期における読み方教授論—友納友次郎の場合を中心に』(山本茂喜)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 435 2008-7 p. 68

◇外国人に対する日本語教育

- 3368 〈書評〉縫部義憲監修倉地暁美編集『講座日本語教育第5巻 多文化間の教育と近接領域』(西原鈴子)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 28 2008-7 pp. 125-127
- 3369 〈〃〉田尻英三・田中宏・吉野正・山西優二・山田泉著『外国人の定住と日本語教育[増補版]』(塚原信行)
社会言語学 (「社会言語学」刊行会) 8 2008-11 pp. 213-216
- 3370 〈〃〉蒲谷宏・川口義一・坂本恵・清ルミ・内海美也子著『敬語表現教育の方法』(布尾勝一郎; 蒲谷宏; 坂本恵)
社会言語学 (「社会言語学」刊行会) 8 2008-11 pp. 175-185
- 3371 〈〃〉徳井厚子著『日本語教師の「衣」再考—多文化共生への課題』(斎藤ひろみ)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 94-97
- 3372 〈新刊・寸感〉鈴木智美・春原憲一郎・星野恵子・松本隆・靱山洋介著『ことばの説明・文例集 この言葉、外国人にどう説明する?』; 国際交流基金著『日本語教師必携 すぐに使える「レリアリア・生教材」コレクション CD-ROMブック』(金田智子)
日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 pp. 94-95
- 3373 〈書評〉児島明著『ニューカマーの子どもと学校文化—日系ブラジル人生徒の教育エスノグラフィ—』; 清水睦美著『ニューカマーの子どもたち—学校と家族の間の日常世界』(箕浦康子)
異文化間教育 (異文化間教育学会) 27 2008-4 pp. 90-93
- 3374 〈新刊・寸感〉小川貴士編著『日本語教育のフロンティア—学習者主体と協働』; 笠井淳子・篠崎佳子・二瓶知子著『外国人のためのケータイメール@につぼん(∠▽∠)』(金田智子)
日本語学 (明治書院) 27-4 2008-4 pp. 86-87
- 3375 〈書評論文〉杉浦まそみ子著『引用表現の習得研究—記号論的アプローチと機能的統語論に基づいて』(鎌田修)

第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp. 181-194

◇言語 (学) その他

- 3376 〈書評〉藤井貞和著『言葉と戦争』(山下太郎)
古代文学研究 第 2 次 17 2008-10 pp. 104-110
- 3377 〈書架〉町田健著『言語世界地図』(斎藤清嗣)
地理 (古今書院) 53-9 2008-9 p. 121
- 3378 〈新刊クローズアップ〉山梨正明編/深田智・仲本康一郎著『講座認知言語学のフロンティア(3) 概念化と意味の世界』(大月実)
日本語学 (明治書院) 27-10 2008-9 p. 81
- 3379 〈〃〉山梨正明編/上原聡・熊代文子著『音韻・形態のメカニズム—認知音韻・形態論のアプローチ』(村尾治彦)
日本語学 (明治書院) 27-2 2008-2 p. 77
- 3380 〈新刊・寸感〉鈴木孝夫・田中克彦著『対論 言語学が輝いていた時代』; 藤村靖著『音声科学原論—言語の本質を考える』(相沢正夫)
日本語学 (明治書院) 27-6 2008-5 pp. 72-73
- 3381 〈本の紹介〉田中克彦・鈴木孝夫著『対論 言語学が輝いていた時代』(前橋太郎)
Rōmazi no Nippon (日本のローマ字社) 635 2008-3 p. 4
- 3382 〈新刊クローズアップ〉三原健一著『開拓社言語・文化選書(6) 構造から見る日本語文法』(三原健一)
日本語学 (明治書院) 27-12 2008-10 p. 73
- 3383 Ishii, Toru : On the Nature and Structure of Principles and Parameters ; Theoretical Comparative Syntax: Studies in Macroparameters, by Naoki Fukui.
English Linguistics (日本英語学会) 25-1, 6 2008 pp. 151-174
- 3384 Moriya, Tetsuharu : Typological Generalizations and the Locus of Their Explanation ; Possible and Probable Languages: A Generative Perspective on Linguistic Typology, by Frederick J. Newmeyer.
English Linguistics (日本英語学会) 25-1, 6 2008 pp. 240-270
- 3385 Miyoshi, Nobuhiro : The Role of the Cycle in a Derivational Approach ; Derivations in Minimalism, by Samuel David Epstein and T. Daniel Seely.
English Linguistics (日本英語学会) 25-2, 12 2008 pp. 499-518
- 3386 Shimada, Masaharu : *WH*-Movement and Linguistic Theory ; On *WH*-Movement: Moving On, Edited by Lisa Lai-Shen Cheng and Norbert Corver.
English Linguistics (日本英語学会) 25-2, 12 2008 pp. 519-540
- 3387 〈書評・紹介〉伊藤智ゆき(著)『朝鮮漢字音研究』(遠藤光暁)
言語研究 (日本言語学会) 133 2008-3 pp. 163-170
- 3388 〈新刊紹介〉白井恭弘著『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』(迫田久美子)
第二言語としての日本語の習得研究 11 2008-12 pp. 224-226

- 3389 〈新刊・寸感〉白井恭弘著『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』; 山本豊著『キーワード心理学シリーズ(4) 学習・教育』; 佐藤浩一・越智啓太・下島裕美編著『自伝的記憶の心理学』(横山詔一)
日本語学 (明治書院) 27-14 2008-12 pp. 76-77
- 3390 Barry, William J. ; Trouvain, Jürgen ; Ocke-Schwen Bohn, Murray J. Munro (eds), Language Experience in Second Language Speech Learning: In Honor of James Emil Flege.
Phonetica 65-4, 2008 pp. 272-276
- 3391 Tonkin, Humphrey ; Edmond Privat. Vivo de Zamenhof. Ed. Ulrich Lins.
Language Problems & Language Planning 32-2, Summer 2008 pp. 213-214
- 3392 〈新刊クローズアップ〉陳力衛著『日本の諺・中国の諺—両国の文化の違いを知る』(日本語学編集部)
日本語学 (明治書院) 27-8 2008-7 p. 57
- 3393 〈書評・紹介〉中島悦子著『日中対照研究 ヴォイス—自・他の対応・受身・使役・可能・自発』(奥津敬一郎)
国文目白 (日本女子大学国語国文学会) 47 2008-2 pp. 102-104
- 3394 〈書評論文〉鄭聖汝著『韓日使役構文の機能的類型論研究—動詞基盤の文法から名詞基盤の文法へ』(堀江薫)
日本語文法 (日本語文法学会) 8-2 2008-9 pp. 215-222
- 3395 〈リ〉村上呂里著『日本・ベトナム比較言語教育史—沖縄から多言語社会をのぞむ』(山本真弓)
日本文学 (日本文学協会) 57-10 2008-10 pp. 78-79
- 3396 〈この人のこの一冊〉竹内敏晴著『ことばが劈かれるとき』(飯田奈美子)
国際人流 21-11 2008-11 pp. 48-49

◇辞典・索引

- 3397 〈書評〉国広哲弥著『日本語の多義動詞—理想の国語辞典 2』(山崎誠)
日本語の研究 (日本語学会) 4-4 2008-10 pp. 116-121
- 3398 〈新刊クローズアップ〉中村明著『日本語の文体・レトリック辞典』(中村明)
日本語学 (明治書院) 27-3 2008-3 p. 47
- 3399 〈紹介〉庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴著『日本語表現法』(林伸一)
山口国文 (山口大学人文学部国語国文学会) 31 2008-3 p. 115
- 3400 〈新刊クローズアップ〉倉持保男編『日本語力を高める現代用字用法辞典』(木村義之)
日本語学 (明治書院) 27-4 2008-4 p. 71

□ 2009 年版追補

◇ 国語 (学)

- 3401 日本語の泉(3) (山崎馨)
親和国文 (神戸親和女子大学国語国文学会) 42 2007-12 pp. 83-110
- 3402 総特輯 ; 書物の魅力——書物への案内三十年余 国語の現在(7) (駒井鉄平)
あらたま (荒魂之会) 64 2007-12 pp. 52-58
- 3403 本居宣長の語学研究と本居春庭『詞の八衢』との関係 (松繁弘之)
人文学部研究論集 (中部大学) 11 2004-1 pp. 31-46
- 3404 鈴木胤『活語断続譜』と本居宣長の語学研究(1) (松繁弘之)
人文学部研究論集 (中部大学) 13 2005-1 pp. 55-73
- 3405 鈴木胤『活語断続譜』と本居宣長の語学研究(2) (松繁弘之)
人文学部研究論集 (中部大学) 15 2006-1 pp. 1-15
- 3406 本居宣長『てにをは紐鏡』のレトリック (松繁弘之)
人文学部研究論集 (中部大学) 17 2007-1 pp. 17-28
- 3407 本居宣長『うひ山ふみ』のエクリチュール 宣長文の言語学的検証 (岡田袈裟男)
立正大学大学院紀要 22 2006-3 pp. 1-19
- 3408 特集 ; 解釈——夏目麿麿の万葉集研究 『万葉摘草』を例として (片山武)
解釈 (解釈学会) 51-11/12 2005-12 pp. 2-3
- 3409 特集 ; 古代——夏目麿麿著『万葉摘草』について (片山武)
解釈 (解釈学会) 51-3/4 2005-4 pp. 55-61
- 3410 山田孝雄の『日本文法学概論』を読む 山田の論理をたどりつつ(未完) (北原美紗子)
清泉女子大学紀要 55 2007-12 pp. 1-18
- 3411 特集 ; 近代——柳田国男・国語観形成の一側面 (佐野比呂己)
解釈 (解釈学会) 53-1/2 2007-2 pp. 29-34

◇ 国語史

- 3412 特集 ; 漢籍と日本人——奈良・平安 『童蒙頌韻』の表現 中国の古典との関わりを中心として
(高橋忠彦)
アジア遊学 (勉誠出版) 93 2006-11 pp. 68-78
- 3413 飛鳥井雅経の『鳥羽百首』・『詠五十首和歌 正治元年九月四日』詠 (稲葉美樹)
十文字学園女子大学短期大学部研究紀要 38 2007-12 pp. 26-16
- 3414 特集 ; 解釈——『宇治拾遺物語』の「猶」字と「犯」字 (藁谷隆純)
解釈 (解釈学会) 50-11/12 2004-12 pp. 26-27
- 3415 「天草版平家物語」の構成と言語(1) 問答形式の特性について (安達隆一)
人文学部研究論集 (中部大学) 5 2001-1 pp. 334-299
- 3416 「天草版平家物語」の構成と言語(2) 問答形式の特性について (安達隆一)
人文学部研究論集 (中部大学) 7 2002-1 pp. 128-96
- 3417 『立正安国論』写本の研究 「国」を中心として (佐藤妙晃)
大学院年報 (立正大学大学院) 23 2006-3 pp. 1-19
- 3418 「愚管抄」についての小見 (河北騰)

立正大学大学院紀要 13 1997-3 pp. 39-54

- 3419 節用集の出版と普及過程 乾本(易林本)を中心に (石山秀和)
大学院年報 (立正大学大学院) 15 1998-3 pp. 15-36
- 3420 森島中良改編本『俗語解』について (大橋敦)
大学院年報 (立正大学大学院) 23 2006-3 pp. 67-75
- 3421 〈研究ノート〉伊藤仁斎の訓読法と『論語古義』の成立過程に関する研究(1) (丸谷晃一; 片岡龍)
人文学部研究論集 (中部大学) 3 2000-1 pp. 216-199
- 3422 〈リ〉伊藤仁斎の訓読法と『論語古義』の成立過程に関する研究(2) (丸谷晃一; 片岡龍)
人文学部研究論集 (中部大学) 4 2000-7 pp. 232-205
- 3423 〈リ〉伊藤仁斎の訓読法と『論語古義』の成立過程に関する研究(3) (丸谷晃一; 片岡龍)
人文学部研究論集 (中部大学) 5 2001-1 pp. 224-206
- 3424 特集; 解釈——ノートルダム清心女子大学蔵特殊文庫中の『万葉集千歌』の訓について (片山武)
解釈 (解釈学会) 50-11/12 2004-12 pp. 15-17
- 3425 特集; 中世・近世——『おくのほそ道』曾良本の墨訂・素龍説の検討 (藤原マリ子)
解釈 (解釈学会) 50-9/10 2004-10 pp. 35-41
- 3426 特集; 国語学——語彙集団形式の往来物 往来物を辞書史に位置付ける (西崎亨)
解釈 (解釈学会) 53-11/12 2007-12 pp. 36-43
- 3427 武藤文庫本『交隣須知』について (片茂鎮)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 15 2002-11 pp. 25-38
- 3428 李鍾姫: 『捷解新語』의 「態度副詞」에 대하여.
日本語學研究 (韓国日本語學會) 18, 3 2007 pp. 177-194
- 3429 佐々木弘綱の俚言解 (永田信也)
語学文学 (北海道教育大学語学文学会) 45 2007-3 pp. 47-52
- 3430 『日本館訳語』と近世北方音 韻類篇 (蔣垂東)
文教大学文学部紀要 14-1 2000-10 pp. 1-22
- 3431 符山堂蔵板広韻重刊をめぐって (渡邊大)
文教大学文学部紀要 19-1 2005-9 pp. 214-197
- 3432 顧炎式にとっての古音研究 「音学五書敘」および「答李子徳書」から (渡邊大)
文教大学文学部紀要 20-2 2007-3 pp. 100-78

◇音声・音韻

- 3433 Kuroda, S. -Y. : Feature Geometry and Phonetic Features ; A Case Study in Voicing and Coda Nasalization in Japanese.
言語研究 (日本言語学会) 129, 3 2006 pp. 91-133
- 3434 Labrune, Laurence : Patterns of Phonemic Preferences in Japanese non-headed Binary Compo unds ; What *waa-puro*, *are-kore* and *mecha-kucha* Have in Common.
言語研究 (日本言語学会) 129, 3 2006 pp. 3-40
- 3435 特集; 解釈——清むと濁るの違い (岩井護)
解釈 (解釈学会) 51-11/12 2005-12 pp. 24-25

- 3436 両唇摩擦音以降の日本語ハ行音の発達に関する一考察 (石原淳也)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 15 2002-11 pp. 87-95
- 3437 金正彬; 李京哲: 重紐二元論의 가능성에 대하여; 經典釋文과 日本吳音의 齒音を 중심
으로.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 20, 12 2007 pp. 169-183
- 3438 強調表現の位置と効果についての覚え書き 現代日本語の形容詞の場合 (松本恵美子)
言語科学論集 (京都大学) 4 1998-12 pp. 55-68
- 3439 Kawahara, Shigeto: Half Rhymes in Japanese Rap Lyrics and Knowledge of Similarity.
Journal of East Asian Linguistics 16-2, 6 2007 pp. 113-144
- 3440 特集; 国語学・国語教育——百人一首女流歌人恋歌の音声学的考察 (日野資成)
解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 39-41
- 3441 日本語アクセントの再建 (上野善道)
言語研究 (日本言語学会) 130 2006-12 pp. 1-41
- 3442 Heffernan, Kevin: The Role of Phonemic Contrast in the Formation of Sino-Japanese.
Journal of East Asian Linguistics 16-2, 6 2007 pp. 61-86

◇文字・表記

- 3443 〈エッセイ〉若者文字の考察 平仮名の学習から (吉沢義和)
文教大学文学部紀要 11-2 1998-1 pp. 252-262
- 3444 表音的表記 (今野真二)
清泉女子大学紀要 55 2007-12 pp. 21-32
- 3445 特集; 古代——『万葉集』の「怨」と「恨」 「うらむ」と「うらめし」 (寺窪健志)
解釈 (解釈学会) 53-3/4 2007-4 pp. 7-15
- 3446 『日本霊異記』の上代特殊仮名遣 (岩井護)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 37 2006-3 pp. 245-262
- 3447 桂本万葉集における真仮名から草仮名への移行 (当波ゆう子)
大学院年報 (立正大学大学院) 22 2005-3 pp. 59-77
- 3448 〈研究ノート〉日本人のローマ字表記について 歴史的考察 (大門正幸)
人文学部研究論集 (中部大学) 7 2002-1 pp. 43-53
- 3449 特集; 国語学・国語教育——山田美妙の白ゴマ点 (岡崎晃一)
解釈 (解釈学会) 52-5/6 2006-6 pp. 49-54

◇語彙・用語

- 3450 攻撃力と抵抗力を表わす形容詞 主体性という概念をめぐる (仲本康一郎)
言語科学論集 (京都大学) 4 1998-12 pp. 69-81
- 3451 小さな量を表わす表現の意味的性質について (服部匡)
言語研究 (日本言語学会) 125 2004-3 pp. 83-108
- 3452 固有名の意味論 (上林洋二)
文教大学文学部紀要 14-1 2000-10 pp. 44-53
- 3453 形式動詞「つく(付く・附く)」に関する一考察 (陳明霞)
フェリス学院大学日文学部大学院紀要 13 2006-3 pp. 24-33

- 3454 「旅」の語史 (石塚令子)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 20 2007-12 pp. 219-233
- 3455 もう一つの「待ち遠さ」 (中村幸弘)
野州国文学 (国学院大学栃木短期大学国文学会) 80 2007-10 pp. 1-9
- 3456 上昇・下降を表す動詞との結合による感情の複合動詞について (宋殷美)
文化 (東北大学文学会) 70-3/4 2007-3 pp. 351-334
- 3457 形容詞<重い>の多義性に関する認知言語学的考察 (新地綾)
言語科学論集 (京都大学) 3 1997-12 pp. 77-104
- 3458 オノマトペの多義性に関するスキーマ的分析 (呂佳蓉)
言語科学論集 (京都大学) 9 2003-12 pp. 83-117
- 3459 〈研究報告〉近代漢語訳語再考 (陳力衛)
日本比較文学会東京支部研究報告 4 2007-9 pp. 38-45
- 3460 「個性」、「individuality」、「Individualität」についての覚え書 (片桐芳雄)
人間研究 (日本女子大学教育学科の会) 43 2007-3 pp. 117-126
- 3461 特集 ; 国語学——聖書用語「Revelation」 「黙示」から「啓示」へ (加藤早苗)
解釈 (解釈学会) 53-11/12 2007-12 pp. 44-51
- 3462 外来語に関する基礎的研究(13) 「若氣」にかかわる外来系「な」形容詞の意味用法 (戸田利彦)
比治山大学現代文化学部紀要 11 2005-3 pp. 23-32
- 3463 サッカー中継で用いられる外来語 (渡辺ゆかり)
広島女学院大学日本文学 18 2007-7 pp. 1-38
- 3464 助数詞「本」の多義性に関する認知言語学的考察 (浜野寛子)
言語科学論集 (京都大学) 12 2006-12 pp. 77-93
- 3465 「シル」と「知」 日中両語における語義変化の相関について (陳贇)
西山学苑研究紀要 (京都西山短期大学) 1 2006-3 pp. 91-100
- 3466 古代における神社数の一考察 「八百万神」という用語を中心として (三橋健)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 37 2006-3 pp. 1-18
- 3467 「霞」の色彩感 色彩語を伴った場合について (布村浩一)
大学院年報 (立正大学大学院) 22 2005-3 pp. 47-58
- 3468 万葉集の「をとめ」・「をとこ」考 (太田真理)
フェリス女学院大学日文学部紀要 11 2004-3 pp. 1-9
- 3469 「めづらし」考 動詞「めづ」との関係から (山口直子)
フェリス女学院大学日文学部紀要 11 2004-3 pp. 10-18
- 3470 特集 ; 古代——万葉語「霜+〜」考 (佐藤武義)
解釈 (解釈学会) 52-3/4 2006-4 pp. 2-10
- 3471 〃——哀傷表現の系譜 「はや」「はも」の表現 (津田大樹)
解釈 (解釈学会) 52-3/4 2006-4 pp. 11-18
- 3472 「ミドロの空」と「アヲキ空」 色相論を超えて (山口誠)
言語科学論集 (京都大学) 9 2003-12 pp. 119-135

- 3473 「あぢきなし」の基本的語義 (宮武利江)
文教大学文学部紀要 20-1 2006-10 pp.100-77
- 3474 複合動詞の後項に関する一考察 「～サス」動詞を中心に (朴花美)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 20 2007-12 pp.185-198
- 3475 特集 ; 古代——『日本靈異記』の「諺」 (岩井護)
解釈 (解釈学会) 53-3/4 2007-4 pp.37-45
- 3476 特集 ; 国語学——散文における重層表現 『大鏡』『ひよ』・『平家物語』『あたあた』を例として
(竹林一志)
解釈 (解釈学会) 53-11/12 2007-12 pp.11-19
- 3477 特集 ; 国語学・国語教育——「仰せられ掛く」小考 (小久保崇明)
解釈 (解釈学会) 52-5/6 2006-6 pp.34-39
- 3478 「あと(跡)」考 兼好論への序章として (丸山陽子)
フェリス女学院大学日文学大学院紀要 9 2002-3 pp.9-18
- 3479 劉相溶 : 狂言에 나타나는 「分(ブン)」의 用法 變遷 ; 大藏流狂言 3 種을 中心으로.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 20, 12 2007 pp.129-142
- 3480 特集 ; 国語学——日蓮の消息の漢語サ変動詞について (奥野真紀子)
解釈 (解釈学会) 53-11/12 2007-12 pp.20-29
- 3481 特集 ; 国語学・国語教育——助数詞の観点による天草版『平家物語』と『平家物語』<高野本>
との比較 (浜千代いづみ)
解釈 (解釈学会) 52-5/6 2006-6 pp.40-48
- 3482 特集 ; 中世・近世——「すべる」 中世女房日記における (田村忠士)
解釈 (解釈学会) 51-9/10 2005-10 pp.33-38
- 3483 式亭三馬の語彙 「飯」を表す語彙からの考察 (土井利夫)
大学院年報 (立正大学大学院) 23 2006-3 pp.77-86
- 3484 日本における「怎～」系列の疑問詞 (羅工洙)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 20 2007-12 pp.17-38
- 3485 戦時下のラジオドラマの内容分析 キーワードの相互関係に注目して (早川治子)
文教大学文学部紀要 20-1 2006-10 pp.25-38
- 3486 『西国立志編』の漢語の問題 両ルビ付き漢語を中心に (尹錫南)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 19 2003-11 pp.11-23
- 3487 近代語における一、二人称代名詞の変遷について (房極哲)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 21 2004-5 pp.1-15
- 3488 特集 ; 国語学——『坊っちゃん』における「このつぎ」と「こんど」 夏目漱石の用語の探求に
ついて (岡崎和夫)
解釈 (解釈学会) 53-11/12 2007-12 pp.52-58
- 3489 李京珪 : 日本 字音語에 관련된 用語에 관한 考察.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 15, 11 2002 pp.75-85
- 3490 特集 ; 古代——『日本国語大辞典』における「かざし」の語釈について (中山幸子)
解釈 (解釈学会) 51-3/4 2005-4 pp.31-37

- 3491 『大阪ことば事典』のアクセント (中井幸比古)
神戸外大論叢 (神戸市外国語大学研究会) 58-2 2007-9 pp. 21-41
- 3492 《日台大辞典》與《新訂日台大辞典》的比較 (樋口靖; 王順隆)
文教大学文学部紀要 13-1 1999-10 pp. 1-18
- ◇文法
- 3493 テンスとモダリティのあいだ 話者の意識表示マーカ―としての「タ」「ル」 (山本雅子)
言語科学論集 (京都大学) 2 1996-12 pp. 1-28
- 3494 「あっ! こんなところにあつた」 意味構造と「過去」 (山本雅子)
言語科学論集 (京都大学) 3 1997-12 pp. 45-59
- 3495 <主観性>の指標としての「～テイク」「～テクル」 (山本裕子)
人文学部研究論集 (中部大学) 17 2007-1 pp. 67-81
- 3496 局面解釈とアスペクト現象 生態心理学の観点から (仲本康一郎)
日本語・日本文化 (大阪外国語大学日本語日本文化教育センター) 33 2007-5 pp. 17-35
- 3497 予定的な条件をさしだす場合における「と」「ば」「たら」の用法 (李仁揆)
文教大学文学部紀要 11-1 1997-10 pp. 36-50
- 3498 「と」「ば」「たら」による条件句節のモダリティ (李仁揆)
文教大学文学部紀要 12-2 1999-3 pp. 76-92
- 3499 「のに」節とモダリティ (鬼山信行)
文教大学文学部紀要 13-2 2000-1 pp. 1-21
- 3500 発話・伝達のモダリティの体系について (鬼山信行)
文教大学文学部紀要 16-2 2003-1 pp. 45-84
- 3501 Maynard, Senko K. : Expression of Appeal in the Utterance Design of Japanese Conversational Language.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 17, 6 1989 pp. 28-44
- 3502 「とする」構文についての覚書 (岩男考哲)
日本語・日本文化 (大阪外国語大学日本語日本文化教育センター) 33 2007-5 pp. 1-15
- 3503 日本語の授受構文が表す恩恵性の本質 「てくれる」構文の受益者を中心として (沢田淳)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 83-100
- 3504 特集; 国語学・国語教育——与益構文と受益構文の非対称性 与益者・受益者の表現をめぐって (竹林一志)
解釈 (解釈学会) 52-5/6 2006-6 pp. 55-60
- 3505 特集; 名詞句の文法——分裂文の文法と機能 (砂川有里子)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 20-36
- 3506 二重ヲ格構文の一側面 所謂「目的語所有者上昇構文」について (竹林一志)
解釈 (解釈学会) 51-11/12 2005-12 pp. 41-46
- 3507 事態認知に基づく構文の定義 コーパスベースアプローチ (李在鎬)

- 言語科学論集 (京都大学) 10 2004-12 pp. 19-40
- 3508 構文文法に基づく日本語他動詞文の分析 壁塗り交替を事例に (永田由香)
言語科学論集 (京都大学) 11 2005-12 pp. 35-58
- 3509 日本語の他動詞構文の事象構造に関する認知言語学的考察 非動作主-主語の他動詞構文を中心に (沢田淳)
言語科学論集 (京都大学) 12 2006-12 pp. 19-34
- 3510 「～がある」文の多機能性 (大塚望)
言語研究 (日本言語学会) 125 2004-3 pp. 111-142
- 3511 「と」「ば」「たら」による条件文の前件(条件節)のモダリティと後件(帰結節)のモダリティの一考察 (李仁揆)
大学院年報 (立正大学大学院) 15 1998-3 pp. 205-218
- 3512 時間的に逆行している推論に関する一考察 (幸松英恵)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 120-136
- 3513 ノダの文法的意味の記述に向けた試み(1) 果たしてノダは「説明のモダリティ」か (名嶋義直)
文化 (東北大学文学会) 71-1/2 2007-9 pp. 132-112
- 3514 文の構造と臨時の特徴 (鬼山信行)
文教大学文学部紀要 9-1 1995-10 pp. 32-46
- 3515 「新から旧への原則」と指定 (上林洋二)
文教大学文学部紀要 12-1 1998-10 pp. 99-109
- 3516 複文構造から見た接続表現の分類について (長谷川守寿)
文教大学文学部紀要 15-2 2002-3 pp. 18-39
- 3517 Koizumi, Masatoshi ; Tamaoka, Katsuo : Cognitive Processing of Japanese Sentences with Ditransitive Verbs.
言語研究 (日本言語学会) 125, 3 2004 pp. 173-189
- 3518 Miyamoto, Edson T. ; Nakamura, Michiko : Unscrambling Some Misconceptions ; A Comment on Koizumi and Tamaoka (2004).
言語研究 (日本言語学会) 128, 12 2005 pp. 113-128
- 3519 Tamaoka, Katsuo ; Koizumi, Masatoshi : Issues on the Scrambling Effects in the Processing of Japanese Sentences ; Reply to Miyamoto and Nakamura (2005) Regarding the Experimental Study by Koizumi and Tamaoka (2004).
言語研究 (日本言語学会) 129, 3 2006 pp. 181-225
- 3520 金恩希 : 처소격 교체구문에 대한 통사 의미론적 고찰.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 18, 3 2007 pp. 81-93
- 3521 比較副詞の容認可能性と文脈 (高水徹)
言語科学論集 (京都大学) 9 2003-12 pp. 137-149
- 3522 定量的分析に基づく「が/の」交替再考 (南部智史)
言語研究 (日本言語学会) 131 2007-3 pp. 115-148
- 3523 移動を表す日本語動詞の意味と格表示 「わたる」を例として (鷺見幸美)
人文学部研究論集 (中部大学) 10 2003-7 pp. 113-132

- 3524 結果句の定義と分類について 意味・機能的アプローチ (宮腰幸一)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 101-119
- 3525 [向き]を表す副詞的成分をめぐって 「机に茶碗をさかさまに置いた」の成立条件 (井本亮)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 137-153
- 3526 「しか…ない」の「多重 NPI」現象について (朴江訓)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 154-170
- 3527 「トキニハ」に関する一考察 「トキニ」との置き換えを通して (葉懿萱)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 188-204
- 3528 従属節の階層性と時制面のふるまい (鬼山信行)
文教大学文学部紀要 10-2 1997-3 pp. 1-18
- 3529 従属節と時制の概念 (鬼山信行)
文教大学文学部紀要 15-2 2002-3 pp. 1-17
- 3530 程度副詞「ちょっと」について (朴美淑)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 18 2007-3 pp. 131-145
- 3531 全成龍 : 동사 중지형 「~して」의 기능과 의미 (2) ; 先行句節과 後続句節의 주어 (動作主)가 다른 경우를 중심으로.
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 21, 5 2004 pp. 47-58
- 3532 特集 ; 名詞句の文法——名詞句の意味機能について (西山佑司)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 3-19
- 3533 Hashimoto, Shirlei Lica Ichisato : Evolução do Auxiliar Verbal Tempo-Aspectual *TA* ; Da Língua Clássica à Moderna.
Estudos Japoneses 26, 2006 pp. 97-109
- 3534 「てむ・なむ」と係結び (青野順也)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 37 2006-3 pp. 199-212
- 3535 Serafim, Leon A. ; Shinzato, Rumiko : On the Old Japanese *Kakari* (Focus) Particle *k_os_o* ; Its Origin and Structure.
言語研究 (日本言語学会) 127, 3 2005 pp. 1-48
- 3536 特集 ; 名詞句の文法——古代語名詞句の意味解釈について 「始ム/始マル」構文の場合 (高山善行)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 37-50
- 3537 『今昔物語集』のヤウナリとヤウアリ (近藤要司)
親和国文 (神戸親和女子大学国語国文学会) 42 2007-12 pp. 41-61
- 3538 『源氏物語』係結小考 第 28 卷「野分」卷 (山口雄輔)
文教大学文学部紀要 11-2 1998-1 pp. 356-341
- 3539 『源氏物語』係結考 「若菜上」における (山口雄輔)
文教大学文学部紀要 15-2 2002-3 pp. 132-114
- 3540 特集 ; 国語学——「つ」「ぬ」小考 (山田裕次)
解釈 (解釈学会) 53-11/12 2007-12 pp. 2-10
- 3541 特集 ; 国語学・国語教育——「つ」と「ぬ」 「見つ」「見えつ」「見ぬ」「見えぬ」の場合 (山

田裕次)

解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 26-32

3542 〃——「ぬ」小考 (山田裕次)

解釈 (解釈学会) 52-5/6 2006-6 pp. 27-33

3543 指定の表現形式「ニテ」は「ニシテ」の縮約形か 中世の用法を中心として (安元實)

大学院年報 (立正大学大学院) 17 2000-3 pp. 205-218

3544 流布本『徒然草』の係り結び 分布の型と用法の展開 (山口雄輔)

文教大学文学部紀要 5 1991-12 pp. 210-181

3545 否定疑問文と、その応答詞 『鹿の巻筆』『無事志有意』『浮世風呂』『東海道中膝栗毛』のアイ・ハイとイヤ・イ、へとなど (中村幸弘)

国学院大学大学院紀要 文学研究科 37 2006-3 pp. 19-36

3546 近世から近代にかけて見る接尾語「めく」(杉本裕子)

国学院大学大学院紀要 文学研究科 37 2006-3 pp. 223-243

3547 特集 ; 国語学・国語教育——江戸小咄本におけるアスペクト・テンス表現 (八亀裕美)

解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 51-57

3548 戦時中家庭雑誌の用語の特徴 現代語への移行過程の例証として (遠藤織枝)

文教大学文学部紀要 21-1 2007-9 pp. 151-169

3549 係助辞「こそ」の活用呼応の形成 (藤井貞和)

立正大学大学院紀要 23 2007-3 pp. 17-38

3550 Kikuchi, Wataru : Pronomes Pessoais da Língua Japonesa Moderna ; Um Panorama das Teorias Clássicas.

Estudos Japoneses 26, 2006 pp. 111-127

3551 Nakazato, Yuji : Formality, Respect and Politeness in Japanese.

比治山大学現代文化学部紀要 12, 3 2006 pp. 63-76

3552 特集 ; 国語学・国語教育——四段「給ふ」と下二段「給ふる」の混乱 (吉田弥生)

解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 33-38

3553 都基禎 : 『とはずがたり』의 敬語研究 ; 「侍り」와 「候ふ」를 中心으로.

日本文化學報 (韓國日本文化學會) 15, 11 2002 pp. 59-73

3554 特集 ; 解釈——日蓮遺文における「給ふ」・「給はる」(藁谷隆純)

解釈 (解釈学会) 52-11/12 2006-12 pp. 26-27

3555 特集 ; 国語学——『御伽草子』における「たぶ」の考察 (吉田弥生)

解釈 (解釈学会) 53-11/12 2007-12 pp. 30-35

3556 特集 ; 国語学・国語教育——蓬左本『水鏡』に見える二、三の語法(承前) (小久保崇明)

解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 42-44

3557 戦時中の敬語 家庭雑誌『家の光』のグラビアから (遠藤織枝)

文教大学文学部紀要 20-1 2006-10 pp. 1-23

3558 特集 ; 国語学・国語教育——『文づかひ』における「聞えさせ玉ふ」「おほとのごもり玉ふ」(藁谷隆純)

解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 45-50

- 3559 尊敬表現の変遷についての考察 補助動詞「ている」を添加する形態を中心として (海野輪華見)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 20 2007-12 pp. 201-217

◇文章・文体

- 3560 2つの中心と上下のメタファー (梅本孝)
文教大学文学部紀要 12-1 1998-10 pp. 80-98
- 3561 現代日本語文章における字音接辞の用法について (木坂基)
尾道大学芸術文化学部紀要 2 2003-3 pp. 38-51
- 3562 文体研究における文の要素 主題「私」を中心に (趙宣映)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 15 2002-11 pp. 97-110
- 3563 特集；古代——万葉挽歌の心情表現 「悔し」の表現性 (津田大樹)
解釈 (解釈学会) 51-3/4 2005-4 pp. 19-24
- 3564 特集；中世・近世——芭蕉俳諧における「恋の詞」 (福田真久)
解釈 (解釈学会) 50-9/10 2004-10 pp. 42-46
- 3565 一葉の和歌 「歌語」の用法をめぐって (愛知峰子)
人文学部研究論集 (中部大学) 5 2001-1 pp. 352-335
- 3566 西洋文明の認識、受容と日本の近代化 福沢諭吉『文明論之概略』の「緒言」のレトリック分析
(平井一弘)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 24 1996
pp. 1-23
- 3567 平塚らいてうの「元始、女性は太陽であった」におけるレトリック (鈴木志のぶ)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 29 2001
pp. 45-55
- 3568 枕詞「泣く兒なす」の位相 (江見沢洋祐)
大学院年報 (立正大学大学院) 18 2001-3 pp. 67-82
- 3569 枕詞の歌語化と平安和歌の表現 万葉集から平安和歌へ (篠崎央子)
大学院年報 (立正大学大学院) 20 2003-3 pp. 49-60
- 3570 古代の鏡と枕詞の世界 「鏡なす」の原景 (近藤信義)
立正大学大学院紀要 15 1999-3 pp. 15-33
- 3571 特集；古代——古代和歌の哀傷表現 「あはれ」の語法 (津田大樹)
解釈 (解釈学会) 53-3/4 2007-4 pp. 2-6
- 3572 〃——和歌の分節法と字余り・非字余り (坂野信彦)
解釈 (解釈学会) 53-3/4 2007-4 pp. 16-23
- 3573 翻訳序文に見る明治の英文学翻訳 (佐藤美希)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 49-68

◇古典の注釈

- 3574 特集；解釈——額田王の万葉集九番歌の訓みについて(下) (桂重俊)
解釈 (解釈学会) 50-11/12 2004-12 pp. 32-36
- 3575 琴酒の歌 万葉集卷十六・三八七五番歌の成立と解釈 (橋本亜佳子)
国学院大学大学院紀要 文学研究科 37 2006-3 pp. 103-121

- 3576 家持の難波宮讃歌(上) 「陳_二私拙懷_一一首」の讃美の方法と表現 (奥村和美)
美夫君志 (美夫君志会) 75 2007-11 pp. 35-46
- 3577 特集; 古代——「言ひてしものを」の行方 『万葉集』巻四・六五七番歌小考 (鈴木真弓)
解釈 (解釈学会) 52-3/4 2006-4 pp. 19-24
- 3578 大同(平城天皇)期宴歌考 (近藤信義)
立正大学大学院紀要 21 2005-3 pp. 11-22
- 3579 特集; 解釈——梁塵秘抄四三八番歌の「みよ」と「みたれ」(近藤明)
解釈 (解釈学会) 50-11/12 2004-12 pp. 24-25
- 3580 特集; 中世・近世——『住吉社歌合』『広田社歌合』の解釈 問題点を主として (武田元治)
解釈 (解釈学会) 51-9/10 2005-10 pp. 13-19
- 3581 〃——『百人一首』道真歌「手向け山」考 (吉海直人)
解釈 (解釈学会) 52-9/10 2006-10 pp. 2-7
- 3582 『源氏物語』における「まめ」と「まめ人」(下山真理子)
大学院年報 (立正大学大学院) 15 1998-3 pp. 65-74
- 3583 『源氏物語』の恋愛表現 「わが心ながら」を中心に (小林美和子)
比治山大学現代文化学部紀要 11 2005-3 pp. 242-232
- 3584 「思ひ隈なし」の語義について 源氏物語を中心として (朝日真美子)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 15 2002-11 pp. 145-159
- 3585 特集; 解釈——『源氏物語』「朝顔」巻における「あながち」考 (中山幸子)
解釈 (解釈学会) 51-11/12 2005-12 pp. 4-5
- 3586 特集; 古代——『源氏物語』「真木柱」の巻の一考察 「げに、そこら心苦しげなることどもを、
…」の解釈をめぐって (浜橋頭一)
解釈 (解釈学会) 52-3/4 2006-4 pp. 48-54
- 3587 『明恵上人伝記』所収和歌注釈(2) (平野多恵)
十文字学園女子大学短期大学部研究紀要 38 2007-12 pp. 38-28
- 3588 特集; 中世・近世——『百人一首』持統天皇歌の「春過ぎて夏来」表現 (吉海直人)
解釈 (解釈学会) 50-9/10 2004-10 pp. 4-8
- 3589 〃——「ひとりさめたる松」考 「兼好自撰家集」の一齣 (稲田利徳)
解釈 (解釈学会) 50-9/10 2004-10 pp. 21-27
- 3590 〃——「水は心にまかせやはせぬ」考 『兼好自撰家集』の一齣 (稲田利徳)
解釈 (解釈学会) 51-9/10 2005-10 pp. 20-26
- 3591 〃——「来む世の海人」考 西行和歌の解釈 (稲田利徳)
解釈 (解釈学会) 52-9/10 2006-10 pp. 8-14
- 3592 千本釈迦堂の花見 『春のみやまち』注解稿(3) (佐藤恒雄)
広島女学院大学日本文学 18 2007-7 pp. 1-11
- 3593 特集; 解釈——文脈と係り結び (佐野比呂己)
解釈 (解釈学会) 52-11/12 2006-12 pp. 28-29
- 3594 〃——「ありつるやうに筵道敷きて」(『中務内侍日記』) 連体詞「ありつる」の時間 (田村忠士)

解釈 (解釈学会) 52-11/12 2006-12 pp. 40-44

3595 特集；漢籍と日本人——鎌倉・室町 源氏物語注釈書に見える中国古典 (岩坪健)

アジア遊学 (勉誠出版) 93 2006-11 pp. 79-89

3596 特集；中世・近世——‘衣笠大路’小考 (渡辺達郎)

解釈 (解釈学会) 51-9/10 2005-10 pp. 27-32

3597 『風流宇治頼政』注釈 (2) (高島要；木越治；高橋明彦；木越秀子；杉本紀子)

石川工業高等専門学校紀要 36 2004-3 pp. 214-203

3598 〈翻訳〉任訥撰『作詞十法疏證』〔訳注 1〕 (舟部淑子)

文教大学文学部紀要 16-2 2003-1 pp. 169-201

◇方言

3599 秋田方言の仮定表現をめぐる バ・タラ・タバ・タッキヤの意味記述と地域的標準語の実態 (日高水穂)

秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 54 1999-3 pp. 45-55

3600 秋田県大潟村移住者の言語変容 本格的調査に向けての準備調査報告 (佐藤稔；日高水穂)

秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 54 1999-3 pp. 9-17

3601 茨城方言の談話展開の方法 『全国方言資料』自由会話を対象として (二宮愛)

フェリス女学院大学日文学部紀要 9 2002-3 pp. 45-49

3602 群馬出身若年層の形容詞活用体系 (宮田真理子)

フェリス女学院大学日文学部紀要 12 2005-3 pp. 29-34

3603 平成版『越後土産』初編 国詞鄙辞 (外山正恭)

高志路 (新潟県民俗学会) 308 1993-7 pp. 1-7

3604 静岡県松崎町における連母音融合の音響音声学的考察 (会田祐子)

フェリス女学院大学日文学部紀要 13 2006-3 pp. 8-12

3605 静岡県南伊豆町方言における音調バリエーションと基本周波数曲線 有核型の下降に関する形状と聞こえ (亀田裕見)

文教大学文学部紀要 11-2 1998-1 pp. 119-132

3606 静岡県南伊豆町方言における無核型音調の音響学的特徴と聞こえ (亀田裕見)

文教大学文学部紀要 12-1 1998-10 pp. 1-17

3607 〈講演〉暮らしの中のことばをとらえよう 西播南部・中播の方言調査をもとに (都染直也)

西播国語 37 2007-11 pp. 57-67

3608 藍住町の方言 (仙波光明)

阿波学会紀要〈総合学術調査報告〉52 2006-7 pp. 157-166

3609 三好市「旧東祖谷山村」の方言 (仙波光明；岸江信介；津田智史)

阿波学会紀要〈総合学術調査報告〉53 2007-7 pp. 183-193

3610 沖縄県国頭村浜方言と今帰仁村与那嶺方言の音調体系について 語声調方言の例として (崎村弘文)

西日本国語国文学会会報平成 16 年度 2004-8 pp. 54-39

3611 方言との接触による標準語形式の意味・用法の変容 奄美におけるとりたて形式「ナンカ」の用法の拡張 (水谷美保；斉藤美穂)

日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 65-82

◇ことばと機械

3612 中古散文 22 作品の類似度の測定 (前川武)

国際研究論叢〈大阪国際大学紀要〉21-1 2007-10 pp. 111-125

3613 尹榮珉 : 한·일 병렬코퍼스의 형태소 분석상의 문제에 대하여 ; 고려대 ‘한·일 병렬코퍼스’ 의 일본어 코퍼스를 중심으로.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 19, 9 2007 pp. 105-123

3614 McHugh, Charles : ‘Pocket Bell’ Messages between Japanese Males and Females.

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 11, 1998 p. 59-73

3615 デジタルメディアとコミュニケーション 隠喩によるリアリティの形成 (杉本巧)

ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 32, 2004 pp. 155-174

◇コミュニケーション

3616 ラカンの視点を応用したコミュニケーション教育の方法論を考える (北本晃治)

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 20 2007-3 pp. 81-118

3617 「異文化コミュニケーション論」を再考する 「文化ナショナリズム」を越えて (丸山真純)

ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 30 2002 pp. 69-90

3618 Miyahara, Akira : Cross-cultural Views on Interpersonal Communication Competence ; A Preliminary Study Proposal.

ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 20, 1992 pp. 129-143

3619 Nishiyama, Kazuo : Japanese Negotiators ; Are they deceptive or misunderstood?

ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 22, 1994 pp. 164-176

3620 Ishii, Satoshi ; Thomas, Candice ; Klopff, Donald : A Further Analysis of Communicator Style among Japanese and American Communicators.

ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 23, 1995 pp. 39-56

3621 Hidasi, Judit : On the Capacity to Communicate in Intercultural Settings ; Reflections on Japanese Communication Strategies.

ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 31, 2003 pp. 81-90

3622 Hirase, Kiyoshi ; Lee, Kyoung Won ; Kusano, Katsuhiko : Inter-cultural Experiences of Foreign Students in Their Daily Lives ; Proposal of Topics for Debates and Discussions.

宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 12, 3 2005 pp. 51-58

- 3623 携帯電話の普及と若者のコミュニケーション・スタイル (大坂京子)
大学院年報 (立正大学大学院) 19 2002-3 pp.157-166
- 3624 現代日本における文字の諸相とメディア教育・試論 文字としての絵、あるいは絵としての文字
(渡辺哲男)
人間研究 (日本女子大学教育学科の会) 42 2006-3 pp.29-38
- 3625 談話資料に見られる敬語動詞と敬語成分の運用実態 (白同善)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 20 2007-12 pp.81-97
- 3626 Aizawa, Marie : Word-of-Mouth ; A Form of Strategic Communication in Creating Fads.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 27, 1999
pp.1-20
- 3627 박용구 : 間人主義의 관점에서 본 일본인의 커뮤니케이션 양식.
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 21, 5 2004 pp.229-244
- 3628 Kuno, Makoto : Os Dialeto e os Jovens.
Estudos Japoneses 26, 2006 pp.59-66
- 3629 歯科医学教育における医療コミュニケーション教育 異文化トレーニングを応用した事例研究
(塚越博史)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 15 2002 pp.
13-32
- 3630 Aizawa, Marie : Making Organizations Work ; An Analysis of Japanese Business Organization
s.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 19, 1991
pp.21-43
- 3631 Reinelt, Rudolf : Linguistic Expressions of Alienations ; An Experiment behind the BAR Co
unter.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 19, 1991
pp.133-161
- 3632 Fox, Michael H. : Communicative Methods of the Zen Masters.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 21, 1993
pp.91-102
- 3633 褒め言葉への応答 学生と中高年の世代差 (糸井江美)
文教大学文学部紀要 13-1 1999-10 pp.40-51
- 3634 若者ことばにおける「ぼかし語」に関する一考察 (北沢昭彦)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 18 2007-3 pp.31-46
- 3635 定住外国人の現状と地域コミュニティの課題 秋田県羽後町の外国人妻に関する聞きとり調査
を事例にして (石沢真貴)
秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 59 2004-3 pp.63-72
- 3636 Naruke, Nobuo : Intercultural Perception Gaps between Japan and the United States ; A Stu
dy of Cultural Semantics.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 19, 1991

pp. 97-116

- 3637 Repass, Mary Eva : A New Home, A New Country, A New Communication Challenge ; Japanese Wives in America.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 20, 1992
pp. 144-163
- 3638 Sargent, Trevor : Cross-cultural Adjustment of Westerners in Japan ; Comparing Expatriates with 'Overseas Experiencers' .
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 32, 2004
pp. 109-127
- 3639 曹永湖 ; 朴恩智 : 관매직 종사자의 사죄 및 감사표현에 관한 연구 ; 공손전략의 관점에서.
日本語學研究 (韓國日本語學會) 19, 9 2007 pp. 143-161
- 3640 高齢者は赤ちゃんに戻るのか 幼児言葉に対する高齢者の反応 (野中昭彦)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 17 2004 pp. 71-88
- 3641 地方出身大学生における方言使用意識と言語変化 (渡辺恵子 ; 三浦明子 ; 那須真弓)
人間研究 (日本女子大学教育学科の会) 32 1996-3 pp. 13-23
- 3642 金聖京 : 日本語名詞의 次元性.
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 35, 11 2007 pp. 23-33
- 3643 人工内耳装用者の実生活での使用状況 日常生活のアンケート調査から (武田篤)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 60 2005-3 pp. 45-50
- 3644 上下関係ファクターにおける敬語行動 謙讓表現を中心に (李侖珍)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 18 2007-3 pp. 161-174
- 3645 発話に伴う身振りの補足的コミュニケーション機能 でたらめ語による発声条件を用いて (池田瑠璃子 ; 森和彦)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 60 2005-3 pp. 65-69
- 3646 相互行為としての「笑い」 自・他の領域に注目して (早川治子)
文教大学文学部紀要 14-1 2000-10 pp. 23-43
- 3647 「笑い」の分類に基づく数量的分析 (早川治子)
文教大学文学部紀要 14-2 2001-1 pp. 1-24
- 3648 Fujimoto, Donna : Head Movements and Response Tokens ; Interaction between Japanese and North Americans.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 31, 2003
pp. 111-143
- 3649 Yasuhara, Kazuya : Riddles in Cognitive Linguistics ; Exploring the Meaning Construction of Japanese Riddles.
言語科学論集 (京都大学) 10, 12 2004 pp. 55-97
- 3650 情報伝達文における直接形/間接形の選択 ポライトネスのストラテジーとしての文末表現の使用 (小山哲春)

言語科学論集 (京都大学) 2 1996-12 pp. 37-61

- 3651 接続助詞の文末用法をもたらす要因 相互行為における参加者の認知の観点から (横森大輔)
言語科学論集 (京都大学) 12 2006-12 pp. 57-76
- 3652 初対面の二者間の会話の構造と話者による会話のストラテジー 話者間の力関係による相違—
日本語の場合 (宇佐美まゆみ)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 21 1993
pp. 25-40
- 3653 Okuda, Hiroko : The Ideological Turn of Japan's Official Narrative ; Prime Minister Muray
ama's August 15, 1995 Memorial Speech as a Case Study.
秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 59, 3 2004 pp. 47-56
- 3654 McHugh, Charles ; Truwichien, Aim-on ; Tong, Duong Thieu ; Ross, Roseanna ; Zhang, Quan : Respon
se Strategies among Americans and Four Asian Culture Groups on Thirteen Di
verse Topics.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 24, 1996
pp. 117-139
- 3655 日本語日常会話における「からかい表現」のフレーム分析 (水島梨紗)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 34 2006
pp. 53-72
- 3656 「このように」の意味と用法 談話をまとめる機能に着目して (俵山雄司)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 205-221
- 3657 文末の「もの(もん)」に関する一考察 終助詞としての観点から (玄仙令)
日本語學研究 (韓国日本語學會) 18 2007-3 pp. 197-210
- 3658 Reinelt, Rudolf : Strategies for closing-Lexicon and Discourse Grammar of How to Get Cus
tomers Out ; With Hints for Learning Difficulties.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 23, 1995
pp. 105-124
- 3659 Imai, Chikage : Deconstructing and Reconstructing Misunderstanding.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 25, 1997
pp. 153-180
- 3660 音韻意識と読み能力との関係 成人の読み自己評価と音韻意識課題成績の検討 (武田篤)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 62 2007-3 pp. 71-76
- 3661 コミュニケーション形式としての〈ディベート〉 日本における〈ディベート〉概念とその問
題点 (矢野善郎)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 9 1996 pp.
1-7
- 3662 生活綴方とディベート 認識を育む言語コミュニケーション教育 (中沢美依)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 12 1999 pp.
1-27
- 3663 日本語ディベートにおける「わかりやすさ」に関する考察 (松本茂)

- スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 12 1999 pp. 29-41
- 3664 学校における日本語パブリック・スピーキング教育への提言 『多様な言語観』に根ざした教育方針の重要性 (臼井直人)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 15 2002 pp. 1-11
- 3665 医者のバッドニューステリング・ストラテジーについての一考察 模擬患者演習の事例をもとに (灘光洋子)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 17 2004 pp. 51-70
- 3666 〈特別企画〉公共哲学とコミュニケーション教育の接点を探る (山脇直司/講演者; 青沼智/討論者; 松本茂/司会・討論者・編集)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 20 2007-3 pp. 33-58
- 3667 Ishibashi, Yoshikazu: An Analysis of Selected Speeches of Prime Minister Koizumi; A Case Study in Effective Political Speaking in Modern Japan.
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 17, 2004 p. 29-50
- 3668 Kakita, Hideki: Argumentation and Debate in Japan; Rhetoric of Cultural Ideology.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 22, 1994 pp. 177-208
- 3669 特集; コミュニケーション研究としてのディベート教育 ディベートとコミュニケーション教育の可能性——ディベート教育・公共の構造転換・「勝ち組」の論理、あるいは福沢(グランド)チルドレンの逆襲 (青沼智)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 19 2006 pp. 9-22
- 3670 // ——非形式論理学とディベート (小西卓三)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 19 2006 pp. 23-44
- 3671 // ——「価値分節型ディベート」による社会科学教育 「三つどもえディベート」にみるディベート教育の更なる可能性 (矢野善郎)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 19 2006 pp. 45-64
- 3672 // ——日本におけるディベート教育のあり方 青沼論文・小西論文・矢野論文に応じて (松本茂)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 19 2006 pp. 65-75
- 3673 コミュニケーション教育と教育パラダイム 「書くこと」を軸とした有機的コミュニケーション教育 (北本晃治)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 13 2000 pp.

1-16

- 3674 Nakazato, Yuji ; Noro, Ikuko : Applying SAM's Readability Component to the Japanese Language.
比治山大学現代文化学部紀要 13, 3 2007 pp. 79-83
- 3675 和紙を巡る言葉 (鈴木すゝ江)
青山学院女子短期大学総合文化研究所年報 14 2006-12 pp. 21-32
- 3676 特集 ; 漢籍と日本人——奈良・平安 平安文人たちと『白氏文集』 (静永健)
アジア遊学 (勉誠出版) 93 2006-11 pp. 57-67
- 3677 日本におけるディベートの適応 『會議辯』を中心としたディベート関連書の分析 (大野秀樹)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 16 2003 pp. 1-18
- 3678 福沢諭吉とコミュニケーション (平井一弘)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 20 1992
pp. 52-66

◇国語問題

- 3679 〈特別分科会報告〉コミュニケーションの平等と英語支配 3つの視点 (中村敬 ; 水野義明 ; 中山行弘/パネリスト ; 津田幸男/報告)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 4 1991 pp. 137-152
- 3680 日本における英語教育と英語公用語化問題 (八田洋子)
文教大学文学部紀要 16-2 2003-1 pp. 107-136
- 3681 検証 ; 地域語 「地域語」 グローバリゼーションに抗するために (村上呂里)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 394 2005-2 pp. 28-31
- 3682 北一輝の<エスペラント採用論>に見る近代日本の<英語問題><国語問題> (臼井裕之)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 20 2007-3
pp. 59-79
- 3683 日治時期台湾漢文教育的時代意義 (王順隆)
文教大学文学部紀要 12-2 1999-3 pp. 47-62

◇国語教育

- 3684 検証 ; 地域語 「ことばの学び」を阻害する「教室語」 (相沢秀夫)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 394 2005-2 pp. 32-35
- 3685 平成 10 年度公示の幼稚園教育要領の分析と課題 (3) 領域「環境」・「言葉」・「表現」を中心に (坂田和子 ; 立元真)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 1 1999-9 pp. 143-154
- 3686 アニマシオンを生かした説明文の授業構想 第 1・3・5 学年の説明文教材を通して (川見晶子 ; 菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 15 2006-9 pp. 63-92
- 3687 特集 ; 国語学・国語教育——言語化能力を育てる表現指導 映像を用いた授業構想 (町田守弘)
解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 2-7

- 3688 〈余滴〉聴覚と視覚の活用 (岡田誠)
解釈 (解釈学会) 52-9/10 2006-10 pp. 42-45
- 3689 学校図書館と「読書の自由」 学校図書館問題研究会「のぞましい貸出方式が備えるべき五つの条件」の再検討 (山口真也)
沖縄国際大学日本語日本文学研究 12-1 2007-10 pp. 1-26
- 3690 特集 ; 国語教育——小学校国語科における読書指導 (中村孝一)
解釈 (解釈学会) 53-5/6 2007-6 pp. 34-39
- 3691 知的感動を味わうための説明的文章指導の実際 小学校低・中学年における写真やメタ言語を活用した推論指導の具体化 (中西信行)
語学文学 (北海道教育大学語学文学会) 45 2007-3 pp. 1-12
- 3692 国語科教育における地域言語教育(1) 方言・標準語・共通語 (早野慎吾)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 16 2007-3 pp. 137-152
- 3693 国語科教育における地域言語教育(2) 方言の役割について (早野慎吾)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 17 2007-9 pp. 119-128
- 3694 小学校国語科専門用語の理解度調査と考察 (成田雅樹)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 60 2005-3 pp. 1-10
- 3695 特集 ; 語彙を増やす国語教育——学習者の側から発想する語彙拡充の方法 (塚田泰彦)
月刊国語教育研究 (日本国語教育学会) 394 2005-2 pp. 4-9
- 3696 生徒の着眼点を生かす指導方法の開発 文学的文章「走れメロス」の場合 (土肥哲也 ; 菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 15 2006-9 pp. 43-62
- 3697 特集 ; 国語教育——翻訳文学教材の問題点を探る 「故郷」(魯迅)の場合 (丁秋娜)
解釈 (解釈学会) 53-5/6 2007-6 pp. 18-26
- 3698 高校国語古典教育における和歌文学 (森沢真直)
解釈 (解釈学会) 51-11/12 2005-12 pp. 47-53
- 3699 特集 ; 国語学・国語教育——小学校・中学校における「百人一首」の指導 教科書を中心に (小林国雄)
解釈 (解釈学会) 52-5/6 2006-6 pp. 2-8
- 3700 特集 ; 国語教育——国語科の教材開発に向けて 中等教育現場へのアンケート調査に即して (町田守弘)
解釈 (解釈学会) 53-5/6 2007-6 pp. 2-10
- 3701 人工内耳使用者の電氣的アブミ骨筋反射 小児の C レベル推定への応用 (武田篤)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 58 2003-3 pp. 57-63
- 3702 特異的言語発達遅滞児の予後 発達検査を用いた予後の予測 (武田篤)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 59 2004-3 pp. 21-25
- 3703 知的障害児のかな文字学習のレディネスに関する研究 (大城英名 ; 笠原貴子)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 60 2005-3 pp. 33-43
- 3704 盲児童生徒の触覚情報処理スピード(STIP)検査における触覚処理速度の検討 (大城英名)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 62 2007-3 pp. 65-70
- 3705 在日外国人子弟への言語教育に対する多文化教育的一考察 大宮市における外国人子弟への日

本語教育を事例として (野山広)

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 6 1993 pp. 1-22

- 3706 外国人児童に対する教育支援の現状 宮崎地区の調査から (井上佳代; 早野慎吾)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 14 2006-3 pp. 43-51
- 3707 Chapman, Damon E. ; Davis, Daniel Cochece : Cultural Costs of Studying Abroad ; Relationships between Culture Shock, Re-entry Shock & Social Support Networks in Japanese Student Sojourners.
比治山大学現代文化学部紀要 13, 3 2007 pp. 85-109
- 3708 幼児の読字能力の発達促進を意図した環境設定保育の試み (土屋貴代; 荒武知絵; 立元真)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 7 2002-9 pp. 27-35
- 3709 Ueda, Isao : Some Formal and Functional Typological Properties of Developing Phonologies.
言語研究 (日本言語学会) 127, 3 2005 pp. 115-138
- 3710 特集; 言語獲得——日本の子どもの初期の語彙発達 (小椋たみ子)
言語研究 (日本言語学会) 132 2007-9 pp. 29-52
- 3711 〃——単一項文の理解から探る幼児の格助詞発達 (鈴木孝明)
言語研究 (日本言語学会) 132 2007-9 pp. 55-75
- 3712 Mazuka, Reiko : 特集; 言語獲得——The Rhythm-based Prosodic Bootstrapping Hypothesis of Early Language Acquisition ; Does it work for learning for all languages?
言語研究 (日本言語学会) 132, 9 2007 pp. 1-13
- 3713 Matsuoka, Kazumi : 特集; 言語獲得——Case/Focus Interaction in Young Children's Interpretation of *dake* (only) in Japanese.
言語研究 (日本言語学会) 132, 9 2007 pp. 15-28
- 3714 聞き手の視線の遮蔽が話し手の発話・身振りに及ぼす影響について 幼稚園年長児, 小学校 5 年生, 大学生における発達心理学的考察 (畠山まどか; 森和彦)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 56 2001-3 pp. 69-75
- 3715 単語読みプロセスにおける潜在特性モデル (植野真臣; 吉村宰; 繁榊算男)
行動計量学 (日本行動計量学会) 21-1 1994-3 pp. 48-56
- 3716 国語教師・青木幹勇の形成過程(1) 生活綴り方教師・木村寿との関わり (大内善一)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 54 1999-3 pp. 11-20
- 3717 国語教師・青木幹勇の形成(3) 国語教育の先達・古田拓との関わり (大内善一)
秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学 55 2000-3 pp. 1-11
- 3718 生活綴り方教育 日本で生まれた総合的コミュニケーション教育 (中沢美依)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 6 1993 pp. 23-40
- 3719 宮崎県における「赤い鳥・児童自由詩」の展開 宮崎県児童詩教育史 (菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 9 2003-9 pp. 89-137
- 3720 宮崎県における児童生活詩の展開(1) 昭和戦前期の綴り方教師 (菅邦男)

- 宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 10 2004-2 pp. 109-198
- 3721 宮崎県における児童生活詩の展開(2) 昭和戦前期の綴方教師(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 11 2004-9 pp. 46-31
- 3722 宮崎県の生活綴方教師・木村寿 南方小・岡富小・延岡小(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 11 2004-9 pp. 72-48
- 3723 宮崎県の生活綴方教師・木村寿(2) 土々呂小学校・学級文集『光』(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 12 2005-3 pp. 77-115
- 3724 宮崎県の生活綴方教師・木村寿(3) 土々呂の詩(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 12 2005-3 pp. 117-151
- 3725 宮崎県の生活綴方教師・木村寿(4) 文集『光』における「調べる綴方」の展開(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 13 2005-9 pp. 53-72
- 3726 宮崎県の生活綴方教師・木村寿(5) 文集『ひかり』における童話指導(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 14 2006-3 pp. 53-63
- 3727 宮崎県の生活綴方教師・木村寿(6) 井伏鱒二の「かばん調べ」評をめぐって(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 14 2006-3 pp. 65-72
- 3728 宮崎県の生活綴方教師・木村寿(7) 文集『光』の終焉(菅邦男)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 17 2007-9 pp. 106-101
- 3729 特集；国語学・国語教育——明治期における話し方教育について 明治三十三年の「小学校令」改正を中心として(清水登)
解釈(解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 8-12
- 3730 特集；国語教育——昭和初期における朗読教育 神保格を中心として(有働玲子)
解釈(解釈学会) 53-5/6 2007-6 pp. 47-53
- 3731 昭和 10 年代における文法教科書にみられる学習者への配慮 文部省『中等文法』の検討を中心に(森田真吾)
月刊国語教育研究(日本国語教育学会) 394 2005-2 pp. 46-51
- 3732 特集；国語学・国語教育——明治期における綴り方の指導法について 上田万年と保科孝一の指導理念をめぐって(清水登)
解釈(解釈学会) 52-5/6 2006-6 pp. 15-19

◇外国人に対する日本語教育

- 3733 社会参加支援としての定住外国人教育の役割と課題 秋田県羽後町の日本語教育を事例として(石沢真貴)
秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 62 2007-3 pp. 61-70
- 3734 他の言語との比較で日本語を見直す 学習者をどのように日本語の世界に導くか(2)(ミッチ, 昌子)
VJV フォーラム〈ドイツ VHS 日本語講師の会 e.V 紀要〉 7 2002-3 pp. 45-50
- 3735 JSL/JFL における社会語用論的知識の教育について(武原美穂)
大分大学国際教育研究センター紀要 1 2007-12 pp. 51-59
- 3736 効果的な‘‘Lektion 0 (null)’’のすすめ 初級日本語との戦い…学習者をどのように日本語の世界に導くか(Mitsch, 昌子)

ドイツ VHS 日本語講師の会 e. V 紀要 6 2001-3 pp. 37-50

- 3737 日本語中上級における教師発話の分析(2) 経験者と実習生の比較 (早川治子)
文教大学文学部紀要 15-1 2001-10 pp. 55-68
- 3738 マイノリティ言語話者への教育支援 JSL 児童生徒多人数地域での取り組み (佐藤和之 ; 早野慎吾)
宮崎大学教育文化学部紀要 教育科学 17 2007-9 pp. 129-143
- 3739 ドイツ語話者に対する音声指導 VHS の授業から (Nembach, 敬子)
ドイツ VHS 日本語講師の会 e. V 紀要 6 2001-3 pp. 53-58
- 3740 Komori, Saeko : Exploring the Effectiveness of Kanji Stroke Order Instruction.
人文学部研究論集 (中部大学) 10, 7 2003 pp. 67-98
- 3741 上級教材に現れたオノマトペの一考察 統語的特徴の分析と指導の観点 (新井理恵)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 20 2007-12 pp. 115-126
- 3742 ドイツ人に授受動詞を教える場合 その問題点と解決策 (Paul, 礼子)
VJV フォーラム <ドイツ VHS 日本語講師の会 e. V 紀要> 7 2002-3 pp. 22-27
- 3743 指示詞コソアの指導の現状と運用能力調査 韓国における日本語学習者を対象にして (宋晩翼 ; 迫田久美子)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 21 2004-5 pp. 75-85
- 3744 挨拶の言葉 誤用例から見た教え方の提案 (Witting-桐淵, 尚)
ドイツ VHS 日本語講師の会 e. V 紀要 6 2001-3 pp. 98-102
- 3745 日本語教員にとっての「異文化理解」とは何か フランスにおける移民への教育を参考に (野口恵子)
文教大学文学部紀要 12-2 1999-3 pp. 93-112
- 3746 会話授業におけるクラス活性化への提案 グループ・全体活動を取り入れる意義 (奈呉真理)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 19 2007-9 pp. 47-62
- 3747 外国人児童生徒教育に関する教員研修の現状と課題 (臼井智美)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 4 2007-3 pp. 17-33
- 3748 日本語教科書と教授法への影響 中国高校日本語教科書作成を通して (加納陸人)
文教大学文学部紀要 15-2 2002-3 pp. 40-52
- 3749 提案「誤用系統樹」 誤用分析から、語の用法と誤用を系統的に整理 (ミッチ, 昌子)
ドイツ VHS 日本語講師の会紀要 1998 年度 pp. 21-27
- 3750 誤用の分析と添削 「何故重要か」「どう対処すべきか」教授と学習に生かす道を探る (ミッチ, 昌子)
ドイツ VHS 日本語講師の会紀要 1998 年度 pp. 3-10
- 3751 Komori, Saeko : Network-Based Japanese Language Learning Curriculum Design.
人文学部研究論集 (中部大学) [CD-ROM 版] 12, 7 2004 pp. 49-66
- 3752 無意味語による日本語のリズムおよびリズムパタンの特徴 韓国語を母語とする学習者との比較の場合 (尹英和)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 20 2007-12 pp. 145-167
- 3753 韓国人日本語学習者の漢字書き誤りの分類の試み (東ヶ崎祐一)

- 日本語學研究 (韓國日本語學會) 18 2007-3 pp. 113-129
- 3754 韓国人日本語学習者の漢字学習方略観の一例 情報処理モデルの視点から (石井奈保美)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 18 2007-3 pp. 147-159
- 3755 日本語語彙学習支援システムとその構築の背景となった学習理論をめぐって (隈本・ヒーリー,
順子)
大分大学国際教育研究センター紀要 1 2007-12 pp. 1-10
- 3756 活用語としての形容詞を考察する 教師が把握しておくことと便利なことなど (Pioch-成田, 和子)
VJV フォーラム 〈ドイツ VHS 日本語講師の会 e.V 紀要〉 7 2002-3 pp. 14-21
- 3757 動詞的な言い方と名詞的な言い方 (谷口秀治)
大分大学国際教育研究センター紀要 1 2007-12 pp. 61-70
- 3758 活用語としての動詞を考察する 教師が把握しておくことと便利なことなど (Pioch-成田, 和子)
ドイツ VHS 日本語講師の会 e.V 紀要 6 2001-3 pp. 63-70
- 3759 外国人日本語学習者の比況表現の認知とその指導 形式副詞「ヨウ」と共起する構文について (山
下吉友)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 17 1989-6
pp. 128-142
- 3760 中国人学習者のテンス・アスペクトの誤用 連体修飾節を中心に (菅谷有子)
文教大学文学部紀要 13-1 1999-10 pp. 19-39
- 3761 日本語 L2 学習者によるかき混ぜ文理解のメカニズム 日本語上級者(韓国人・中国人)を対象と
して (金倩浩 ; 小泉政利)
日本語學研究 (韓國日本語學會) 18 2007-3 pp. 95-110
- 3762 韓国人学習者における「こと・の」の使い分けの使用実態および誤用分析 (金銀淑)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 15 2002-11 pp. 41-57
- 3763 日本語における本動詞としての授受動詞と視点 その日本語教育への応用 (伊東克洋)
日本文化學報 (韓國日本文化學會) 15 2002-11 pp. 113-122
- 3764 황영희 : 한국 노년층 일본어의 존재표현을 통해 본 제 2 언어 보존의 언어 내적·
외적 요인.
사회언어학 15-2, 12 2007 pp. 215-238
- 3765 Hattori, Catherine ; van Wershofen, Thomas : Petite Étude des Constructions Verbales Japon
aises à l'Usage des Occidentaux.
秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 59, 3 2004 pp. 9-19
- 3766 生活日本語コミュニケーション能力の構成要素 映像教材調査分析からの一考察 (松岡洋子 ; 宮
本律子)
秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 58 2003-3 pp. 17-22
- 3767 コミュニケーション能力は育つか 「禁止表現」からみた日本語教材 (清ルミ)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 18 2005 pp.
41-54
- 3768 日本語学習者によるアーギュメントの特徴 上級者・超級者間の差異 (鈴木志のぶ)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 19 2006 pp.

95-112

- 3769 ノダによる「強調」「やわらげ」の内実 (藤城浩子)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 171-187
- 3770 日本語非母語話者の自然談話による言語コミュニケーションの方法の一考察 (田中香織)
フェリス女学院大学日文学院紀要 12 2005-3 pp. 17-28
- 3771 「若者ことば」の学習現状と教育価値に関する中日対照研究 (秦石美)
フェリス女学院大学日文学院紀要 12 2005-3 pp. 35-40
- 3772 「依頼」に対する「断り」に関する一考察 「待遇コミュニケーション」の観点から (蔡胤柱)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 35 2007-11 pp. 53-68
- 3773 在日ベトナム人年少者の日本語・母語の語彙能力に関する一考察 (山口恵理)
人間研究 (日本女子大学教育学科の会) 34 1998-3 pp. 51-56
- 3774 日中両言語のローマ字表記と発音記号 (謝信之)
大学院年報 (立正大学大学院) 20 2003-3 pp. 171-179
- 3775 黄美玉: 일본어와 한국어의 표현구조; 시점(視點)의 관점을 중심으로.
日本語學研究 (韓国日本語學會) 20, 12 2007 pp. 1-14
- 3776 これでも辞書?!これしかないの? (筑紫俊子; 松永令子)
ドイツ VHS 日本語講師の会紀要 1998 年度 pp. 28-32
- 3777 〈エッセイ〉日本語教育を思う バングラのルパル先生、別科へ勉強に来る (近藤功)
文教大学文学部紀要 11-2 1998-1 pp. 263-273
- 3778 韓国における日本語教育の現状と課題 学校教育のあり方を中心に (宋晩翼)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 35 2007-11 pp. 35-49
- 3779 語学教育の視点から見た豪州高等教育における日本語教育の評価制度の報告 報告 (竹内明弘)
Working Papers on Language Acquisition and Education (国際大学) 15 2006-3
pp. 41-47
- 3780 윤사연: 호주 일본어 학습자의 일본어 의식; 시드니대학과 호주국립대학을 중심으로.
사회언어학 15-2, 12 2007 pp. 117-139
- 3781 ニコライの日本語教師 木村謙斎 (持田行雄)
秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学 57 2002-3 pp. 15-30
- 3782 〈研究報告〉井上靖の『おろしや国酔夢譚』 漂流民と日本語教育 (梅本順子)
日本比較文学会東京支部研究報告 4 2007-9 pp. 19-25
- 3783 戦前・戦中の在日留学生に対する直接法による予備教育用日本語教科書国際学友会編『日本語教科書 基礎編・(1)~(5)』 その編纂・内容・使われ方 (河路由佳)
文教大学文学部紀要 10-1 1996-10 pp. 121-156

◇言語 (学) その他

- 3784 ことばの被制約性と表現主体 (和佐谷維昭)
尾道大学芸術文化学部紀要 2 2003-3 pp. 28-37
- 3785 発話行為の潜在的人称構造 (岡本雅史)
言語科学論集 (京都大学) 3 1997-12 pp. 1-15

- 3786 展開法の確率モデルによる意味空間の分析 (岡本安晴)
行動計量学 (日本行動計量学会) 21-1 1994-3 pp. 66-74
- 3787 多言語使用の主体の内的葛藤の精神分析的考察 単一言語の中の「他者」(信友建志)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 19 2006 pp. 77-94
- 3788 〈特別企画〉ポストコロニアル時代のコミュニケーション学 本橋哲也氏との対話 (本橋哲也/
ゲスト; 藤巻光浩/ホスト・編集)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 20 2007-3
pp. 5-31
- 3789 文章産出における認知心理学的一考察 (関口元子)
人間研究 (日本女子大学心理・教育学会) 28 1992-3 pp. 103-118
- 3790 Silva, Willetta Wyatt : Mind and Brain ; The Vital Connection.
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 8, 1995 pp. 131-154
- 3791 Szulmajster-Celnikier, Anne : L'expression de la Peur à Travers les Langues.
La Linguistique; Revue de la Société Internationale de Linguistique Fonctionnelle 43-1, 5 2007 pp. 89-116
- 3792 Ura, Hiroyuki : Long-Distance Case-Assignment in Japanese and Its Dialectal Variation.
言語研究 (日本言語学会) 131, 3 2007 pp. 1-41
- 3793 〈강연〉実験音声学研究方法論考 科学研究における帰納的方法論の再評価 (城生佰太郎)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 18 2007-3 pp. 1-10
- 3794 Lawrence, Wayne P. : High Vowels, Glides, and Japanese Phonology.
言語研究 (日本言語学会) 125, 3 2004 pp. 1-29
- 3795 英語のオノマトペの象徴メカニズム (呂佳蓉)
言語科学論集 (京都大学) 10 2004-12 pp. 99-116
- 3796 コトバの意味問題 クオリアを中心に前言語的な観点から (渡邊美代子)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 33 2005
pp. 67-98
- 3797 格助詞「の」の認知プロセス 彼女の飼っている猫は茜です (尾谷昌則)
言語科学論集 (京都大学) 4 1998-12 pp. 11-27
- 3798 意味構造記述のための有意義に制約された図法を求めて 概念化の ID 追跡モデルの提案 (黒田航)
言語科学論集 (京都大学) 9 2003-12 pp. 19-56
- 3799 空間から時間へ 写像の動機付けと制約 (碓井智子)
言語科学論集 (京都大学) 10 2004-12 pp. 1-17
- 3800 「意味」と「言語形式」の関係を創発・拡張・破綻させる「認知モード」における「主観」の存在 (中野研一郎)
言語科学論集 (京都大学) 11 2005-12 pp. 1-34
- 3801 Neg を c-統御する不定語+モ (片岡喜代子)

- 言語研究 (日本言語学会) 131 2007-3 pp. 77-111
- 3802 日本語の動詞句前置構文の分析をめぐって 高見・久野(2006)の批判的検討 (畠山雄二; 本田謙介; 田中江扶)
日本語文法 (日本語文法学会) 7-2 2007-9 pp. 51-64
- 3803 Kato, Sachiko : Derivational Theta-Marking ; A Minimalist Approach to the Complex Predicate Constructions in Japanese.
言語研究 (日本言語学会) 124, 11 2003 pp. 37-95
- 3804 Niinuma, Fumikazu : Unaccusativity and Honorification in Japanese.
言語研究 (日本言語学会) 127, 3 2005 pp. 51-80
- 3805 Hirata, Ichiro : 〈Forum〉 Predicate Coordination and the Phrase Structure in Japanese.
言語研究 (日本言語学会) 127, 3 2005 pp. 141-156
- 3806 Hayashishita, J. -R. : *Izyoo (ni)*-and *Gurai*-comparatives ; Comparisons of Deviation in Japanese.
言語研究 (日本言語学会) 132, 9 2007 pp. 77-109
- 3807 Shindo, Mika : An Analysis of Metaphorically Extended Concepts Based on Bodily Experience ; A Case Study of Temperature Expressions(1).
言語科学論集 (京都大学) 4, 12 1998 pp. 29-54
- 3808 古代日本と韓国における文字世界の始まり (権静)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 19 2003-11 pp. 205-219
- 3809 韓・日の 5 世紀から 6 世紀にかけての文字の内部化 (権静)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 21 2004-5 pp. 213-226
- 3810 Hosokawa, Shuhei : Expressando-se na Língua do Antípoda ; Fantasia Nipo-Brasileira acerca da Origem das Línguas.
Estudos Japoneses 26, 2006 pp. 25-47
- 3811 英語学習者の言語習得に関するデータとその言語理論的位置付け (大門正幸 ; 柳朋宏)
人文学部研究論集 (中部大学) [CD-ROM 版] 12 2004-7 pp. 79-106
- 3812 日本人英語の分析とそれが示唆するもの (鳥飼慎一郎)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 2 1989 pp. 1-16
- 3813 大学英語教育における文化教育 異文化トレーニングの応用についての考察 (町恵理子)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 4 1991 pp. 1-14
- 3814 国際理解のための英語教育 文部省の刊行物との関連において (中山行弘)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 6 1993 pp. 41-52
- 3815 仙台市子ども外国語学習推進協議会の 3 年間の取り組み 生涯学習と地域の教育力をめぐって (会沢まりえ ; 宮曾根美香)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 17 2004 pp. 1-27

- 3816 通訳教育の新しいパラダイム 異文化コミュニケーションの視点に立った通訳教育のための試論 (稲生衣代 ; 染谷泰正)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 73-109
- 3817 〈調査報告〉わが国の大学・大学院における通訳教育の実態調査 (染谷泰正 ; 斎藤美和子 ; 鶴田知佳子 ; 田中深雪 ; 稲生衣代)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 285-310
- 3818 大学院における医療通訳教育とその課題 大阪外国語大学大学院の取り組みからの考察 (堀朋子)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 155-173
- 3819 協同学習を導入した映像翻訳教育に関する考察 (稲生衣代)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 147-165
- 3820 日本における中国語学習に生じる諸問題についての一考察 「二つの学習」の観点から (朱全安)
文教大学文学部紀要 5 1991-12 pp. 51-72
- 3821 中国語教育 一つの試み (李永寧)
文教大学文学部紀要 9-1 1995-10 pp. 47-63
- 3822 学生の英語学習に対する一所感 文教大学越谷校舎英語クラスの授業から (宮廻和男)
文教大学文学部紀要 10-1 1996-10 pp. 166-180
- 3823 英語学習に関する学生のビリーフ (糸井江美)
文教大学文学部紀要 16-2 2003-1 pp. 85-100
- 3824 〈研究ノート〉生涯学習として英語を学ぶ人たちのニーズ分析 (糸井江美)
文教大学文学部紀要 21-1 2007-9 pp. 171-189
- 3825 McDonough, Terence J. : Coactive Pedagogy in Japan ; Exploiting Cultural Proclivities.
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 3, 1990 pp. 31-46
- 3826 Dunham, Rodney A. : Motivation or Luck ; A Western Bias in Causal Attribution of Communication Success.
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 5, 1992 pp. 100-121
- 3827 Miyahira, Katsuyuki : Plotting a Course of Action ; Ritual Coordination of Intercultural Directive-Response Sequence in Team-Taught English Classes.
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 11, 1998 p. 151-172
- 3828 Walsh, Daniel M. : Questions or Answers ; Which are easier? .
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 12, 1999 p. 97-110
- 3829 Yashima, Tomoko ; Viswat, Linda : An Analysis of Communication Problems of Japanese High School Students and their Host Families.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 21, 1993 pp. 181-196

- 3830 McCormack, Bruce : Using Songs in the Second Language Classroom ; Creative Feast? Or Snack Bar Learning?
文教大学文学部紀要 5, 12 1991 pp. 83-90
- 3831 Graham, James : Storms of Lead ; The History Essay Goes to War.
文教大学文学部紀要 21-1, 9 2007 pp. 1-106
- 3832 カナダの言語教育政策に関する一考察 ブリティッシュ・コロンビア州の多文化主義政策と学校教育における「第二言語」(村井典子)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 4 2007-3 pp. 1-15
- 3833 オーストラリアの学校教育における多様性への視座の変容 クイーンズランド州の教育政策に着目して (本柳とみ子)
国際教育評論 (東京学芸大学国際教育センター) 4 2007-3 pp. 35-49
- 3834 フィリピン共和国における歴史的言語事情 (古山修一)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 6 1993 pp. 53-63
- 3835 異文化間コミュニケーションのための外国語教育 国際英語及び英語支配の視点から (吉武正樹)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 13 2000 pp. 81-100
- 3836 〈調査報告〉海外調査報告 ニュージーランドの通訳事情 (水野真木子)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 229-236
- 3837 メディアの言語政策 その変遷 (金野伸雄)
比治山大学現代文化学部紀要 11 2005-3 pp. 133-145
- 3838 世界における英語の位置 (八田洋子)
文教大学文学部紀要 14-2 2001-1 pp. 57-82
- 3839 Silva, Willetta Wyatt : Bilingual Reforms, the Key to Kokusai-ka.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 18, 6 1990 pp. 17-30
- 3840 〈フォーラム〉アイヌ語の 1 を示す数詞 (切替英雄)
言語研究 (日本言語学会) 129 2006-3 pp. 227-241
- 3841 レトリックと精神的宗教性の関係について アイヌ叙事詩「ユーカラ」を例に (臼井直人)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 24 1996 pp. 25-38
- 3842 国際交流 その理論と実践 (李永寧 ; 志村和久)
文教大学文学部紀要 10-1 1996-10 pp. 57-69
- 3843 『皇明馭倭録』の「寄語畧」について (蔣垂東)
文教大学文学部紀要 15-1 2001-10 pp. 38-54
- 3844 日本語を記載する『倭情考略』『籌海重編』(蔣垂東)
文教大学文学部紀要 16-1 2002-10 pp. 27-41
- 3845 日治時代台語漢字用法 (樋口靖)

文教大学文学部紀要 11-1 1997-10 pp.1-14

- 3846 양명희 : 한국인의 언어 의식의 변화.
사회언어학 15-1, 6 2007 pp.107-128
- 3847 채완 : 1950 년대 광고 카피에 나타난 국어의 양상.
사회언어학 15-2, 12 2007 pp.163-185
- 3848 최형강 : 신문의 어휘와 문자 사용 양상 ; 외래어, 외국어와 로마자, 한자의 사용 양상을 중심으로.
사회언어학 15-2, 12 2007 pp.187-213
- 3849 Miyajima, Tatsuo : *GAIKŌGO*; As Palavras Japonesas que se Tornaram Estrangeiras.
Estudos Japoneses 26, 2006 pp.49-58
- 3850 스피치 커뮤니케이션 활동의言語教育への応用 英語会(the ‘English Speaking Society’) : ESS)における取り組みの歴史的検討 (三熊祥文)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 13 2000 pp.63-80
- 3851 日本人の「英会話症候群」に関する一考察 (津田幸男)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 17 1989-6 pp.150-161
- 3852 ^{オランダ}阿蘭陀通詞の歴史的貢献とマージナル性について 異文化コミュニケーションの仲介人としての位置付けを中心として (灘光洋子)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 35 2007-3 pp.77-91
- 3853 「人情 Renqing」的交換行為の分析 「義理 Giri」との比較を手がかりに (李明伍)
文教大学文学部紀要 11-1 1997-10 pp.51-73
- 3854 日中複合語構成特質の対照研究 形容詞語基を含む複合語を中心に (馬小兵)
文教大学文学部紀要 17-1 2003-10 pp.37-55
- 3855 Becker, Carl : Language and Logic in Modern Japan.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 19, 1991 pp.45-55
- 3856 中国語の ‘対+N₁+的+N₂’ と日本語の「N₁+に対する+N₂」について (馬小兵)
文教大学文学部紀要 16-1 2002-10 pp.64-107
- 3857 中国語の介詞 ‘对’ と日本語の複合格助詞「に対して」 (馬小兵)
文教大学文学部紀要 16-2 2003-1 pp.1-44
- 3858 分節音か? プロソディーか? 韓国語の子音と日本語の促音・非促音の音響的特徴から (高慧禎)
日本語学研究 (韓国日本語學會) 18 2007-3 pp.11-28
- 3859 日本語と韓国語との対照 慶南方言と九州方言を中心にして (朴寶根)
大学院年報 (立正大学大学院) 18 2001-3 pp.153-167
- 3860 語種から見た現代日韓語彙の意味分野 (張元哉)
日本文化學報 (韓国日本文化學會) 21 2004-5 pp.61-73
- 3861 金良宣 : 한국어 ‘VN 하다’ 로만 대응하는 일본어 ‘VN する’ ; 기초적 어휘를 중심

으로.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 18, 3 2007 pp. 65-79

- 3862 李明珠 : 인간활동을 나타내는 한·일어 어휘의 대조연구 ; 단어의 의미 대응 관계를 중심으로.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 19, 9 2007 pp. 87-103

- 3863 金姬廷 : 한일 유행가의 남성을 나타내는 어휘의 비교고찰 ; 1925 년부터 1960 년까지 를 중심으로.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 20, 12 2007 pp. 41-49

- 3864 권영성 : 한·일 양 언어의 색채표현에 관한 대조연구 ; 『雪国』를 중심으로.

日本文化學報 (韓國日本文化學會) 21, 5 2004 pp. 17-28

- 3865 韓·日兩語の対照研究の方法論再考 「してくる/いく」と「해 오다/가다」を例として (李美淑)

日本語學研究 (韓國日本語學會) 20 2007-12 pp. 99-113

- 3866 金玟弟 : 일본어와 한국어의 술부구조 대조연구.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 18, 3 2007 pp. 49-63

- 3867 宋善愛 : 반사실적 조건표현의 한·일 대조연구.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 19, 9 2007 pp. 65-84

- 3868 日本語と韓国語の授受表現使用領域に関する一考察 恩恵の授与を表さない補助動詞用法を中心に (石山哲也)

日本語學研究 (韓國日本語學會) 20 2007-12 pp. 51-64

- 3869 안증환 : 기도문 비교에서 본 한국어와 일본어 ; ‘주기도문’ 과 ‘사도신경’ 의 비교를 중심으로.

日本文化學報 (韓國日本文化學會) 21, 5 2004 pp. 31-45

- 3870 韓国人と日本人のコミュニケーション行動に関する比較対照研究 依頼行動における依頼主の意識に注目して (姜錫祐)

日本語學研究 (韓國日本語學會) 19 2007-9 pp. 13-27

- 3871 金順任 : 강조접두사 「초(超)」에 관한 일한비교연구 ; 언어 접촉의 관점에서.

日本語學研究 (韓國日本語學會) 19, 9 2007 pp. 29-45

- 3872 音調句 韻律構造と統語構造 (中村光宏)

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 8 1995 pp. 1-17

- 3873 未分化な意味の分化 形容詞における主体/客体関係を中心に (深田智)

言語科学論集 (京都大学) 10 2004-12 pp. 117-147

- 3874 <身分け>に基づく<言分け構造> 自然言語の法則的発生にみる視点と理解 (渡辺美代子)

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 8 1995 pp. 47-74

- 3875 3つの命令文 日英語の命令文と潜在型/既存型スケール (森英樹)

言語研究 (日本言語学会) 129 2006-3 pp. 135-159

- 3876 言語行動における ‘politeness’ の日米比較 談話レベルにおける ‘politeness’ の普遍理

論確立への模索 (宇佐美まゆみ)

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 7 1994 pp. 30-41

- 3877 Goldman, Alan : Cultural Abyss at the Negotiating Table ; An Examination of Japanese-U.S. Communicative Styles.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 18, 6 1990 pp. 101-115
- 3878 Klopff, Donald W. ; Ishii, Satoshi : Comparative Studies of Japanese Communication Practices.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 19, 1991 pp. 57-76
- 3879 Goldman, Alan : A Bicultural Approach to Public Speaking ; Facilitating Japanese-U.S. Communication.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 20, 1992 pp. 67-81
- 3880 McHugh, Charles ; Ross, Roseanna ; Truwichien, Aim-on : 'Good' and 'Bad' Conversation Topics among Americans, Japanese, and Thais.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 21, 1993 pp. 128-146
- 3881 Casteel, Beth ; Ishii, Satoshi ; Klopff, Donald : A Comparison of Japanese and Americans on Touch Avoidance.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 21, 1993 pp. 147-169
- 3882 Saeki, Mimako : A Comparison of Verbal Responses of Japanese and American College Students in Ingroup and Outgroup Request Situations.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 25, 1997 pp. 61-96
- 3883 Pardeshi, Prashant ; Hook, Peter ; Masica, Colin P. ; Babai, Hajar ; Ido, Shinji ; Horie, Kaoru ; Dorjkhand, Jambalsuren ; Kim, Joungmin ; Mori, Kanako ; Chandralal, Dileep ; Koul, Omkar N. ; Liang, Hsin-hsin ; Murakami, Yutaro ; Thepkanjana, Kingkarn ; Li, Qing-Mei ; Vasireddi, Prasad ; Varma, Terry : Toward a Geotypology of EAT-expressions in Language of Asia ; Visualizing Areal Patterns through *WALS*.
言語研究 (日本言語学会) 130, 12 2006 pp. 89-106
- 3884 日本語とベンガル語における対称詞の対照研究 親族に関する対称詞を中心に (ウッディン, エムディ・モニル)
日本語・日本文化 (大阪外国語大学日本語日本文化教育センター) 33 2007-5 pp. 37-53
- 3885 「心の貧しき者」は「幸い」か 聖書和訳についての一考察 (延岡繁)
人文学部研究論集 (中部大学) 2 1999-7 pp. 53-84

- 3886 判決文の通訳における等価性保持の可能性と限界 (水野真木子)
スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 19 2006 pp. 113-131
- 3887 通訳ノートテイキングの理論のための試論 認知言語学的考察 (染谷泰正)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 1-29
- 3888 通訳における情報表示 日本語を起点言語として (楊承淑)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 31-52
- 3889 TIT 通訳理論と作業記憶 (Bergerot 伊藤宏美)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 53-72
- 3890 同時通訳者の身振りに関する研究 (古山宣洋 ; 野辺修一 ; 染谷泰正 ; 関根和生 ; 林浩司)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 111-136
- 3891 同時通訳における聴きやすさとポーズの関係 同時通訳コーパスを用いた被験者実験による分析 (遠山仁美 ; 松原茂樹)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 137-155
- 3892 各種通訳倫理規定の内容と基本理念 会議、コミュニティー、法廷、医療通訳の倫理規定を比較して (水野真木子)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 157-172
- 3893 〈研究ノート〉 Foreignization(異化)—理論と実際 訳文の語彙を中心に (玉置祐子)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 239-254
- 3894 〈調査報告〉 B 言語への通訳—日本の経験 アンケート調査報告 (近藤正臣)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 261-283
- 3895 〈パネル・ディスカッション〉 プロの通訳者とボランティア通訳者—その折り合いをどうつけるか 通訳教育とコミュニティー通訳の現場から考える (近藤正臣/司会 ; 水野真木子 ; 石崎正幸 ; 田中深雪 ; 浅野輝子 ; 中村幸子/討論者)
通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 311-325
- 3896 翻訳における「名詞化」という文法的比喩 (長沼美香子)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 15-28
- 3897 中日・日中翻訳における文の「出発点」の選択に関する研究 (鄧敏君)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 29-48
- 3898 同時通訳者の身振りに関する研究(2) 訓練生による英日同時通訳に関する事例研究 (古山宣洋 ; 野辺修一 ; 染谷泰正 ; 関根和生 ; 鈴木美緒 ; 林浩司)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 91-112
- 3899 訳出遅延時間と訳出開始タイミングに着目した同時通訳者の原発話追従ストラテジーに関する分析 (遠山仁美 ; 松原茂樹)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 113-128
- 3900 日本のビジネス通訳についての一考察 大手企業のグローバル人事を背景として (辻和成)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 129-142
- 3901 AUSIT 倫理規定と通訳者の行動 ビジネス分野におけるダイアログ通訳の場合 (滝本真人)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 143-154

- 3902 〈研究ノート〉 法廷ディスコース分析 コーパス言語学からのアプローチ (中村幸子)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 197-206
- 3903 〈講演〉 裁判及び弁護活動からみた法廷通訳 (大山貞雄)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 237-250
- 3904 法廷相互行為を通訳する 法廷通訳人の役割再考 (吉田理加)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 19-38
- 3905 英日同時通訳者発話におけるフィラーの出現と聴きやすさとの関係 (遠山仁美 ; 松原茂樹)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 39-49
- 3906 大規模音声コーパスを用いた日英・英日同時通訳における訳出遅延の比較分析 (小野貴博 ; 遠山仁美 ; 松原茂樹)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 51-64
- 3907 異文化コミュニケーション能力の修得プロセス 通訳演習参加者の事例より (新崎隆子)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 65-88
- 3908 逐次通訳の基本プロセスの検討 (ベルジュロ伊藤宏美)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 89-115
- 3909 独英日間翻訳における「視点」の考察 *Momo* を題材に (加藤久佳)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 117-146
- 3910 〈研究ノート〉 聞き手・話し手としての通訳者 ミーティングにおける通訳場面の一考察 (滝本真人)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 205-218
- 3911 〈シンポジウム〉 司法通訳にとっての等価性とは 正確な通訳の可能性と限界 (吉田理加 ; 毛利雅子 ; 津田守/シンポジスト ; 水野真木子/司会)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 295-305
- 3912 翻訳コミュニケーションにおいてメディアがその内容に施す加工について (福住幸代)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 27 1999
pp. 21-41
- 3913 Katori, Yoshikazu : Translating Cohesion in Journalistic Texts, between Japanese and English.
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7), 12 2006 pp. 69-89
- 3914 Kondo, Masaomi : Multiple Layers of Meaning ; Toward a Deepening of the 'Sense' Theory of Interpreting.
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7), 12 2006 pp. 175-182
- 3915 Paulk, Sheri ; Nadamitsu, Yoko : The Turn-Taking Mechanism of Interpreter-aided Conversation ; A Search for *Translation-Onset Places*.
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 25, 1997
pp. 97-131
- 3916 対話的コミュニケーション論構築へ向けて ソシユールとウィトゲンシュタインに学ぶ (吉武正樹)
ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 33 2005

pp. 121-148

3917 応用言語学のみちすじ (土屋澄男)

文教大学文学部紀要 11-2 1998-1 pp. 34-42

3918 Miller, Ted : Teacher-Student Interaction ; A Cross-cultural Perspective.

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 8, 1995 pp. 155-172

3919 Sakai, Jiro : Semiotic Review of Intercultural Communication.

スピーチ・コミュニケーション教育 (日本コミュニケーション学会) 11, 1998 p. 75-104

◇参考資料

3920 白子長谷川家旧蔵書目録(読本の部) (岡本勝)

人文学部研究論集 (中部大学) 13 2005-1 pp. 214-198

3921 藤掛和美先生の研究業績 (武山隆昭)

人文学部研究論集 (中部大学) 5 2001-1 pp. 11-26

3922 藤掛和美教授略歴・著述目録 (杉本和弘 ; 高木徹/編)

人文学部研究論集 (中部大学) 5 2001-1 pp. 27-36

◇書評・紹介

3923 〈書評〉大野晋著『日本語練習帳』(宮川-Giraud 三保)

ドイツ VHS 日本語講師の会 e. V 紀要 6 2001-3 pp. 131-132

3924 〈〃〉竹林一志著『現代日本語における主部の本質と諸相』(天野みどり)

解釈 (解釈学会) 51-5/6 2005-6 pp. 60-61

3925 〈〃〉武田元治著『住吉社歌合全釈』(吉海直人)

解釈 (解釈学会) 52-11/12 2006-12 p. 46

3926 〈紹介〉西村義樹編『シリーズ言語科学 2 認知言語学 I : 事象構造』(服部匡)

言語研究 (日本言語学会) 124 2003-11 pp. 179-182

3927 〈〃〉伊藤たかね編『シリーズ言語科学 1 文法理論 : レキシコンと統語』(前田広幸)

言語研究 (日本言語学会) 124 2003-11 pp. 175-178

3928 〈書評〉Conditionals and Prediction: Time, Knowledge, and Causation in Conditional Constructions, by Barbara Dancygier (有田節子)

言語研究 (日本言語学会) 124 2003-11 pp. 155-174

3929 Kara, György : Is Japanese Related to Korean, Tungusic, Mongolic, and Turkic? Martine Irma Robbeets.

Anthropological Linguistics 49-1, Spring 2007 pp. 95-98

3930 〈書評〉Kenji Kitao and Kathleen Kitao, Intercultural Communication Between Japan and the United States (石井敏)

ヒューマン・コミュニケーション研究 (日本コミュニケーション学会) 18 1990-6 pp. 195-197

3931 〈〃〉Interpretation: Techniques and Exercises, by James Nolan (鶴田知佳子)

通訳研究 (日本通訳学会) 5(6) 2005-12 pp. 328-329

- 3932 〈〃〉 Note-Taking for Consecutive Interpreting—A Short Course, by Andrew Gillies (鶴田知佳子)
通訳研究 (日本通訳学会) 6(7) 2006-12 pp. 251-252
- 3933 〈〃〉 鳥飼玖美子著『通訳者と戦後日米外交』(古家聡)
通訳研究 (日本通訳学会) 7(8) 2007-12 pp. 269-272
- 3934 〈新刊紹介〉 真田信治・庄司博史編著『事典・日本の多言語社会』(新井郁男)
国際理解教育 (日本国際理解教育学会) 12 2006-6 pp. 226-227

総合雑誌／特集・連載・対談目録

◆は、他の欄にも掲載されていることを示す。

／は、連載の場合に、掲載号の切れ目を示す。

特集

特集名 雑誌名 巻号 年月 記事タイトル(著者)

- ◇**特集；黄金世代の勉強術 12人の賢者が勧める** 文芸春秋 86-1 2008-1
メールをやめて手紙を書こう(佐藤愛子) 通勤電車読書術(丹羽宇一郎) 自分史の書き方(保阪正康) 国語辞典で遊ぶ(金田一秀穂) ウェブは知識の宝の山(梅田望夫) 俳句で日本語を究める(林望)
- ◇**特集；落ち込んだときに救われたあの一言** 文芸春秋 SPECIAL〈季刊冬号〉 2-1 2008-1
リキエ先生の一言(篠沢秀夫)
- ◆**特集；劇的に変わる世界** Voice 361 2008-1
〈対談〉強い！日本 自由と繁栄のパワーで世界を席卷しはじめた(麻生太郎；日下公人)
- ◇**特集；心の重荷を軽くする，ささやかな工夫** 文芸春秋 SPECIAL〈季刊冬号〉 2-1 2008-1
ラジオと脳のいい関係(板倉徹)
- ◇**特集；混乱するネット論を読み解く** 論座 152 2008-1
インターネット「集合知」の可能性と限界(西田宗千佳)
- ◇**特集；人生相談大特集** 文芸春秋 SPECIAL〈季刊冬号〉 2-1 2008-1
〈生活〉字が下手で恥ずかしい(猪塚恵美子)
- ◇**特集；眠られぬ夜のために** 文芸春秋 SPECIAL〈季刊冬号〉 2-1 2008-1
本を通して先人と会う(鶴ヶ谷真一)
- ◇**特集；私が選んだ3冊・2007年の収穫本** 論座 152 2008-1
〈読書空間〉内沢句子著『世界屠畜紀行』；加藤晴久著『憂い顔の「星の王子さま」—続出誤訳のケーススタディと翻訳者のメチエ』；田中美穂著『苔とあるく』(木村衣有子) 〈読書空間〉蜂飼耳著『空を引き寄せる石』；内沢句子著『世界屠畜紀行』；荻生待也編著『図説 ことばあそび遊辞苑』(清水良典) 〈読書空間〉石山茂利夫著『国語辞書 誰も知らない出生の秘密』；佐滝剛弘著『郵便局を訪ねて1万局一東へ西へ「郵ちゃん」が行く』；魚住昭著『証言 村上正邦 我，国に裏切られようとも』(武田徹)
- ◇**特集；私を支えたひと言** 潮 587 2008-1
妻・みな子との第二のハネムーン。(大庭利雄)
- ◇**特集；ザ・メーカー・オブ・広辞苑** 論座 153 2008-2
新語候補10万語から1万語に絞るまでの舞台裏(神田憲行) 広辞苑は簡潔，明瞭が美学 国語項目の総括責任者 山口明穂さんに聞く(神田憲行) 收拾がつかなくなる料理“語” 辻静雄料理教育研究所が手がけた2500語(著者表示なし) 「もち肌のような紙」を求めて 王子特殊紙が開発した第六版の紙(著者表示なし)
- ◇**特集；人文書の未来を求めて** 論座 153 2008-2
「読書共同体」を構築するために 「読む」行為が生む知的活力(龍沢武；中島美奈/聞き手)

◆特集；ふたたび“輝く雲”をつかむために(2) 正論 431 2008-2

＜大型対談＞いかにして、心意気を取り戻すか (石原慎太郎；松平康隆) 「江戸の教え」
はこんなにも豊かでした (浦井正明) 私の「大好きなこの国」はどこへ向かおうとしている
のか (ペマ・ギャルポ) ＜異色対談＞去勢された若者たちに告ぐ (宮嶋茂樹；野口健)

◇特集；平成二十年 偉大なる昭和の面影 諸君！ 40-2 2008-2

昭和天皇、秘められし「言語空間」 (保阪正康) 下町のおっちゃんは声に出して読んだ！
昭和の性典「カストリ雑誌」の謎を追う (出久根達郎；井上章一)

◆特集；新書大賞ベスト 30 中央公論 123-3 2008-3

＜座談会＞新たなる「黄金時代」の予感 (永江朗；宮崎哲弥；渡辺十絲子) 名著と現場か
ら振り返る新書史 なぜ、かくも変貌したのか (鷲尾賢也)

◇特集；ああ、失敗。 論座 155 2008-4

＜ショートエッセー＞忘れられない、あの思い出 思わず読んでしまった「あたまがき」(新井
素子)

◇特集；ポジティブな大人になる！ジーンズフィフティ 現代 42-4 2008-4

「自費出版」で失敗しない方法 ブームの陰でトラブルも増加中 (関口苑生) これが本当
の都々逸入門 駄洒落に猥談なんでもござれ (柳家紫文)

◆特集；落語の「通」になりたい 中央公論 123-4 2008-4

名人不在の落語界に未来はあるか ＜連載＞連続企画 知的生活への誘い (京須偕充) 落
語の歴史がスイスイわかる CD&DVD 特選 30 ＜連載＞連続企画 知的生活への誘い (長
井好弘)

◇特集；理想の書評 論座 155 2008-4

理想的な書評に追求してほしいもの (小野寺健)

◆特集；学校の教師はダメなのか 中央公論 123-5 2008-5

＜教育業界匿名座談会＞彼らに生徒は任せられません (元教科書編集者；小学教師；中学教
師) PISA 型教育狂想曲を嗤う 「〇〇力」幻想はもう捨てよ (佐藤俊樹)

◇特集；ゼロ年代の言論 Are you ready? 論座 156 2008-5

言論のハイパーインフレ畑でつかまえて (水無田気流) 共感なんていらねえぜ！×100 (本
谷有希子) 「空気」に抗う批評 (酒井信) ＜インタビュー＞「誰が読むのかを常に意識
しないと雑誌は長続きしません」 (山口昭男)

◆特集；知的整理法革命 中央公論 123-5 2008-5

日本で知の産業革命は起こらない ＜連載＞連続企画 知的生活への誘い (野口悠紀雄) グ
ーグルに淘汰されない知的生産術 ＜連載＞連続企画 知的生活への誘い (梅田望夫) 何
歳になっても思考力は鍛えられる ＜連載＞連続企画 知的生活への誘い (外山滋比古) 達
人が明かすスーパー情報術 獄中で会得した読書ノート作成の極意 ＜連載＞連続企画 知的
生活への誘い (佐藤優) 達人が明かすスーパー情報術 あなたのパソコンを「補助脳」化
する方法 ＜連載＞連続企画 知的生活への誘い (勝間和代) 達人が明かすスーパー情報
術 すべてを脳に任せよう ＜連載＞連続企画 知的生活への誘い (茂木健一郎)

◇特集；脳力革命 文芸春秋 86-6 2008-5

「前頭前野」が思考力向上の鍵 (川島隆太)

◇特集；中国古典の叡智に学ぶ 中央公論 123-6 2008-6

明治維新を可能にした日本独自の漢文訓読文化 <連載>連続企画 知的生活への誘い (加藤徹)

◇特集；福田「漂流政権」の断末魔 現代 42-6 2008-6

言語学者が福田「他人事語録」を丸裸にする (東照二)

◇記念号・特別企画；明日の日本人をつくる読書指南 中学教師に薦める 必携・現代教養の一〇〇冊 諸君！ 40-7 2008-7

漢文は知性を映し出す鑑 官吏に読ませたい『漢文 素読のすすめ』 (平川祐弘；渡部昇一；鹿島茂)

◇総力特集；平成皇室 二十年の光と影 諸君！ 40-7 2008-7

われらの天皇家、かくあれかし 琉歌四十首のノート (外間守善)

◇大特集；日本への遺言 文芸春秋 SPECIAL (季刊夏号) 2-3 2008-7

文章語という故里 (渡辺京二) 言葉への畏怖ということ (藤原智美) 日本語の何という誇らしさ (中西進)

◆特集；平成文学の可能性を探る 中央公論 123-7 2008-7

ネット社会と多様化する文学空間 春樹&ばななブーム, 2ちゃんねる, ヴィジュアル重視… <連載>連続企画 知的生活への誘い (加藤典洋；尾崎真理子/聞き手・構成)

◇特集；日本に必要なもの, いらぬもの 文芸春秋 SPECIAL (季刊夏号) 2-3 2008-7

古典の英知 (佐藤優) 必要なのは日本語のインフラ (野口悠紀雄) 郵便切手と携帯電話 (矢野誠一)

◇特集；オリンピックで自滅するか中国 Voice 368 2008-8

“天罰”を忘れた中国人 日本人は「五千年の知恵」を彼らに授けよ (宮脇淳子)

◇特集；日本は二流国へ墮ちる！ Voice 368 2008-8

ドイツも苦悩 ストップ！学力低下 エリート教育の行き過ぎは国を滅ぼす (川口マーン恵美)

◆特集；この夏読みたい文庫 100 冊 中央公論 123-9 2008-9

<対談>何でもありの玉手箱を開けよう 女優・漫画カバー, 新訳, 古本, 夏のフェア <連載>連続企画 知的生活への誘い (岡崎武志；永江朗)

◇特集；ネット規制で子どもが守れるか 論座 160 2008-9

「学校裏サイト」で娘が攻撃されたとき ある父親の記録 (吉田賢治郎)

◇特集；美しい日本語の話し方 文芸春秋 SPECIAL (季刊秋号) 2-4 2008-10

自然な発声とイントネーション (山根基世) 言葉は発してこそ, 価値がある (福田健) ことばに命を吹きこむ 演劇と朗読 (久米明) 論理的な日本語は美しい (吉村達也)

◇特集；漢字の世界 文芸春秋 SPECIAL (季刊秋号) 2-4 2008-10

「代用」でなく「本物」の漢字を (土屋秀宇) 国字に込められた日本人の表現 (笹原宏之) 篆書から漢字を感じる (高橋政巳) 難読あて字の世界 (松井高志)

◇特集；気分は共産主義 諸君！ 40-10 2008-10

ブログ論客かく語りき これが<格差>の現実だ (佐々木俊尚；essa；天漢日乗)

◇特集；手紙を書いてみよう 文芸春秋 SPECIAL (季刊秋号) 2-4 2008-10

私の文房四宝 硯・墨・筆・紙 (中島誠之助) その日, 生きた証しとして (黒田杏子) 私の「手紙のススメ」 (坂川栄治) 知っておきたい筆ペンのマナー (猪塚恵美子) 自

由な絵てがみ (土屋淑子)

◇特集；日本語で遊ぶ 文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉 2-4 2008-10

ボケ防止のための言葉遊び (今井弘雄) 落語は駄洒落から始まる？ (小佐田定雄) 悪妻盆に帰らず ことわざパロディの愉しみ (森真紀) 言葉遊びで広がる癒しの世界 (荻生待也)

◇特集；日本語の世界 文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉 2-4 2008-10

語源・曼陀羅 (杉本つとむ) 「さざれ水」「忘れ水」 (久保田淳) 武士語が運ぶ武士の遺伝子 (野火迅) 日本語と女性のことば (遠藤織枝) 一〇〇年目の女ことば (小林千草) 「優しい日本語」は粹！ (清ルミ) 卑弥呼が話していた日本語 (安本美典) 古語・方言を映す地名 (今尾恵介) 若者言葉と方言への期待 (佐藤貴裕) ケータイ語 ことば遊び文化の落とし子 (三宅和子) 「華のある新語」を探して (亀井肇) 詠み人知らずの国の未来 (都築響一)

◇特集；わがお国ことば讃 文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉 2-4 2008-10

道産子のはどかでゆるい (久田恵) あずましい (長部日出雄) 言葉の原点 (高橋克彦) 古語のラテン風動態保存 (西木正明) お初さんのサスケネ (田部井淳子) 栃木弁の微妙さ (立松和平) お晩です (出久根達郎) 尿瓶権 (池部良) 浜ことば 幕張・船橋 (高橋義夫) ベトにバイちっくりさす (藤田宜永) 相手によって使い分ける (清水義範) 大阪弁の面白味 (藤本義一) 七条と四条 (井上章一) 出雲にて (松本侑子) 岡山弁の四大特徴 (土屋賢二) 「ちばける」子供 (高樹のぶ子) ぼくの母国語 (芦原すなお) 日本でいちばんのんびりした方言 (黒川博行) 二刀流ぜよ。(山本一力) 篤姫さま、もっと鹿児島弁を (黒田勝弘) 沖縄は言語チャンプルー文化 (池上永一)

◇特集；私が好きな日本語 文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉 2-4 2008-10

気難しい恋人との付き合い方 (ピーターセン, マーク) 日本語の素晴らしさ (フランク・ル, ピーター) さすが！日本語の魅力 (ドルヌ, フランス) 日本語に流される心地よさ (キャンベル, ロバート) ハルピン学院の教えを胸に生きて (ソヨルジャブ)

◇特集；私の文章読本 日本語の達人が選ぶ古今の名文 文芸春秋 SPECIAL〈季刊秋号〉 2-4 2008-10

陶淵明の宇宙 (浅田次郎) 「美しい日本語」という固定観念 (木田元) 森鷗外『於母影』 (高橋睦郎) 私の文章勉強 (伊藤桂一) 個人的な体験 (阿刀田高) 中国古典の鋭さとユーモア感覚 (井波律子) ふしぎに雅量あることば (長田弘) 共振する言葉 (林望) 分析はいらない (連城三紀彦) 露伴の口述 (鴨下信一) 芸の日本語 (矢野誠一) およぐひとのたましひは (北村薫) 小林秀雄と藤沢周平 (児玉清) 自然に重ねる人生賛歌 (清川妙) 梶井基次郎体験 (高田宏) 文は人なり (後藤正治) 落花の歌句 (中西進) 和魂漢才の系譜 (中村彰彦) 粘りのある水のように (小池昌代) 文語の力 (愛甲次郎) 言葉が中性的であることの難しさ (赤瀬川原平) 名文は氷山の水面下にあり (森福都) 一語の使い方 (池内紀) 二大巨匠のラブシーン (諸田玲子) 逢坂と枕草子と男女の仲 (酒井順子) 正確明晰 (山口翼) 歌と言葉 (小椋佳) 素読以前 (花村万月) 語る言葉 (平野啓子)

◆特集；あえていま教養のスタンダードを探る 中央公論 123-11 2008-11

<対談>ぼくらはなぜ全集を立ち上げたのか (池沢夏樹；坂本龍一)

◇特集；朝日新聞「ジャーナリズム再興」の空虚 正論 440 2008-11

嗚呼、本日も虚報なり 差別語狩りに見るかくも鈍感な差別意識 (呉智英)

◆特集；これであなたも作家になれる 中央公論 123-12 2008-12

物書きの夢と現実を語ろう “超遅咲き” ベストセラー作家からのメッセージ <連載>連続企画 知的生活への誘い (加藤広) 私小説のすすめ 作家見習いの記 <連載>連続企画 知的生活への誘い (小谷野敦) 本当に書きたい人のための実践的ブックガイド <連載>連続企画 知的生活への誘い (清水良典)

◇特集；老後を壊す政治 中央公論 123-12 2008-12

いまの 4K 職場では、外国人介護士からも見捨てられる もはや限界点の看護・介護現場 (中島恵)

連載

連載名 雑誌名 巻号 年月 記事タイトル(著者)

◇短期集中連載；恋愛単語で知るアメリカ(1), (2) 新潮 45 27-11, 12 2008-11, 12

『ドット・コム・ラヴァーズ』著者が解き明かす／お手軽な関係と真剣な交際 (吉原 真里)

◇連載；1963(11) 新潮 45 27-11 2008-11

二つの「運動」 (山口文憲)

◇連載；KY 世代の秘密(1)～(3) 潮 596～598 2008-10～12

(タイトルなし)／地元から一時間半のお台場に行くのが“旅行”!?／「ネットワーク格差」が始まった。(原田曜平)

◇連載；NHK ウオッチング(129), (130), (138) 正論 432, 433, 441 2008-3, 4, 12

(中村粲)

◇連載；遺書, 拝読(59) 中央公論 123-11 2008-11

<中公読書室>大野晋著『日本語の起源 新版』 (長藪安浩)

◇連載エッセイ；大人の流儀(18) 潮 596 2008-10

地図を描いて道を教える (村松友視)

◇連載；大型ノンフィクション チャイニーズ世界の旅—新華僑の未来図(1) 現代 42-9 2008-9

史上初の中国人芥川賞作家・楊逸「純文学への一撃」 (野村進)

◇連載；思い出の人, 思い出の時(4) Voice 364 2008-4

イギリス留学 (寛仁親王；工藤美代子/聞き手)

◇連載；温泉の街(30) 論座 154 2008-3

嬉野 (染谷学)

◇連載；価格往来(24) 論座 155 2008-4

3059 円(税込) (小田嶋隆)

◇連載；河合隼雄ラストインタビュー(下) 論座 153 2008-2

日本人が自分を見直すためには 責任そっちのけの“他罰の時代”に (河合隼雄)

◇連載；巻末御免(280), (282), (288) Voice 364, 366, 372 2008-4, 6, 12

項目瞥見／サンسكريット原典と漢訳／万人詠歌観 (谷沢永一)

- ◇連載；岸本葉子の「刺激的生活」(47) 潮 597 2008-11
使われない携帯 (岸本葉子)
- ◆連載；吉坊が聞く芸の世界(4) 論座 155 2008-4
竹本住大夫 (竹本住大夫；桂吉坊)
- ◆連載；現代の古典(4) 論座 160 2008-9
＜読書空間＞佐竹昭広著『万葉集抜書』 戦時下に始まった万葉集の革新的読解 (龍沢武)
- ◇連載；現代用語クロニクル(10)～(17) 論座 152～159 2008-1～8
情報，チェックした？／リアルにヴァーチャルな脳内??／「平等」喪失の時代／けしからぬメディア／××離れ／うざい？結構！／「世紀末」の寿命／つらさを測る (長沖竜二)
- ◇連載；古今東西の著名人に学ぶテクニク 恋愛書簡術(25)，(26) 中央公論 123-5，6 2008-5，6
谷崎潤一郎(4)／谷崎潤一郎(5) (中条省平)
- ◇連載；国家の嘘(5) 現代 42-2 2008-2
「ヒトラー暗殺計画」の影 「沖縄密約を証言した男」吉野文六の半生 (佐藤優)
- ◇連載；言の葉のしずく(149)～(160) 諸君！ 40-1～12 2008-1～12
ぼうぶら／メートル／ちゃらっぼけ／玉子／金瓶大黒／後期高齢者／獺祭／バック・シャン／沢庵のしっぽ／掛け逃げ／故郷の火事／油 (出久根達郎)
- ◇連載；言葉と世界(90)～(94)，(97)，(98)，(100)，(101) 諸君！ 40-1～5，8，9，11，12 2008-1～5，8，9，11，12
比較／朗読／付箋の色／なんのこと／世界の名作／駅から来た男／無理／小熊秀雄／出典のなかの読書 (荒川洋治)
- ◇連載；コラム10の眼 新潮 45 27-6 2008-6
テレビ 外国語の敷居 (岩切徹)
- ◇連載；さすらいの仏教語(32)～(43) 中央公論 123-1～12 2008-1～12
利益／藪と野暮／ゴタゴタ／ご馳走／出世／自由／一大事／老婆心／不思議／おぼん／彼岸／玄関 (玄侑宗久)
- ◇連載；作家が読む『古事記』(8)，(12) 諸君！ 40-1，5 2008-1，5
須佐之男命とは何者か(1)／日本人にとって「カミ」とは何か (長部日出雄)
- ◇連載；作家の日常，私の仕事(2) 新潮 45 27-11 2008-11
シンナーとミルフィーユ (曾野綾子)
- ◇連載；主婦の眼 ママの声 正論 437，439 2008-8，10
ジェンダーフリーの愚／小学生の夏季合宿 (えみこ)
- ◇連載；小説家の四季 世界 777，780 2008-4，7
二〇〇八年 冬／二〇〇八年 春 (佐藤正午)
- ◇連載；昭和のことば(8)～(19) 文芸春秋 86-1～4，6～11，13，15 2008-1～12
草／声／東京／北／背・背中／肉体／巴里／大衆／リンゴ／カタカナのエ／閩／英語 (鴨下信一)
- ◆連載；進化する教育現場(3) Voice 363 2008-3
＜対談＞日本公文教育研究会 子育てを応援する「第二の母親」 (大竹洋司；和田秀樹)

◇連載；新書の森を歩く 現代 42-8 2008-8

＜本のエッセンス＞宇田賢吉著『電車の運転』；野村進著『調べる技術・書く技術』（稲泉連）

◇連載；潜思録 現代 42-9 2008-9

“ごかし” 社会 （辺見庸）

◇連載；ソウル―ベルリン 玉突き書簡(10) 世界 773 2008-1

動物 （徐京植；多和田葉子）

◇連載；退屈老人日記(1)，退屈老人雑録(4)，(5)，(7)，(9)～(12) 諸君！ 40-1，4，5，7，9～12 2008-1，4，5，7，9～12

＜Book Plaza＞漢字で書く日本語の辞書／＜Book Plaza＞「たそがれ清兵衛」武士のセリフ／＜Book Plaza＞漱石と秋山さんと小生と／＜Book Plaza＞放哉と山頭火／＜Book Plaza＞漢字についてのよけいなおせわ／＜Book Plaza＞「工具書」の話／＜Book Plaza＞「工具書」のはなし(つづき)／＜Book Plaza＞日本語が亡びる？ （高島俊男）

◆連載対談；新しき地球社会の創造へ 平和の文化と国連を語る(1) 潮 591 2008-5 （チョウドリ，アンワルル・K；池田大作）

◇連載；嘆息書房 正論 441 2008-12

勝間和代著『読書進化論』（清洲橋三郎）

◇連載；特別企画 Port Story シリーズ「ミナトと文化」(5) 中央公論 123-4 2008-4

江戸のくらしと港

◇連載；納得！日本の言葉 現代 42-1～7 2008-1～7

シュガー社員；感覚環境；ノックアウトマウス；遣る瀬ない；ライダーズマンション；救急搬送トリアージ；発泡清酒；ヨーネ病；正念場；ネットスーパー；産業遺産群；フリーハグ運動；下手の考え；スローワーク；シロダーラ；ヒト性融合胚；嫌気が差す；ポストク；犬弁；カクテルリング；風の便り；メノポーズ；仮面うつ病；コンパクトシティ；有機牛乳；確信犯；ブチボラ；光触媒；廃鶏；いきなりエイズ；クライメート・セキュリティー／地域猫；フードドライブ；ウェブファースト；一泡吹かせる；マークアップ；人工多能性幹細胞；メタルジャケット弾；アドバゲーム；姑息；オーガニック・ギルド；造成温泉；モンスターペイシエント；アリバイ会社；スマートドラッグ；明るみになる；ゆるキャリ；白ロム；くるみんマーク；タワーマンション；檄を飛ばす；イエナプラン；第三国定住；エコリュックサック；ぎこちない；新華僑；塩スイーツ；成田買い；愛嬌を振りまく；チャイルド・ライフ・スペシャリスト；韓方化粧品；科学的リテラシー／ダイポールモード現象；観食植物；オーバードーズ；耳障り；スマートパワー；ロー・コスト・キャリア；直観像記憶；イルミネーター；お訴えさせていただく；オラニャン；中東の笛；還暦野球；ディグリー・ミル；十二月病；汚名をそそぐ；パラサイト虐待；腹パン；恐らく；ウイドマーク法；ドキュガンダ；アーバン・マイン；二の舞を演じる；ゴールラインテクノロジー；黄金株；心筋シート；イマージョンプログラム；悪びれた様子もなく；電気ケトル；ムンプス／ゴーストフィッシング；太陽炉；セカンドステップ；御託を並べる；美ジョガー；原田ウイルス；モノライン；社会起業家；伯仲；エシカル；緑提灯運動；外こもり；パーティカルサーチ；期待外れ；セブンサミッター；樹木葬；ヘビロテ；農家ステイ；脚光を浴びる；夜スペ；環境家計簿；ブラック会社；アポ電詐欺；蘊蓄を傾ける；ステルス自転車；ジャンクスタイル；かくれ糖尿病；二の句が継げない；エコフィード；レモンカード；赤ちゃんのオアシス／放虫ゲリラ；デカップリング論；絆が強い；タジン鍋；乳酸

菌農薬；セレウス菌；浮足立つ；森の幼稚園；クレド；予測市場；インビジブル・ファミリー；白ハマグリ；悲喜こもごも；モスキート音；ハリアアップ症候群；KY 語；ボトックス注射；采配を振る；ビーバイシー；笑い療法士；寄り回り波；ヒブ；まなじりを決する；肩パン；インペアード・パフォーマンス；抜群教授；心血を注ぐ；SWF；薬物指紋；移動郵便局／ニワトリ症候群；ソフトカー；メディカルツーリズム；慎ましい；木質バイオマス；ウマウマダンス；イメージ臭；重無期刑；すべからく；パワー半導体；6 次産業；枯れ専；エグゼクティブサーチ；名前負け；スカベンジ；電子私書箱；介護予防公園；プレストレス・コンクリート；雨模様；プレパンデミックワクチン；健康会計；シャクルート；敷居が高い；ブラッドリー効果；内定長者；ビタミンカラー；WOM；業腹；地下アイドル；JDR；生活景／ゆるキャラ；フリーガン；農家レストラン；デコルテ；雪辱を果たす；ピストバイク；金融士；パブリック・インボルブメント；なし崩し；グリーンカード兵士；人体通信；CCS；さわり；ゴールドリボン；専ら派遣；手足口病；足を掬われる；スコップケーキ；地絡；スノーアルジー；恨み骨髄に徹する；クロックス；萎縮医療；盗り鉄；シガテラ中毒；けんもほろろ；デコ・バギー；食識；JAXA COSMODE PROJECT；グリーン熱

◇連載；西館好子の**につぼん子守唄紀行(12)～(21)** 正論 430~439 2008-1~10

命の絆を作る・小名浜の子守唄／怪しげなレトリックの産物・大阪天満の子守唄／日本一の抱擁ソング・静岡沼津の子守唄／親鸞と賢治と・宗教の中の子守唄／命の詩・竹田の子守唄／唄喧嘩・宇目の子守唄／子守娘の悲哀の叫び・五木の子守唄／雪の長岡・強い女が歌い継ぐ子守唄／海女のいる風景・千葉房州の子守歌／岐阜の子守唄「岐阜のわらべうたいまむかし」(西館好子)

◇連載；日本語・雑学 現代 42-8~12 2008-8~12

ガス壊疽；コンシューマライゼーション；吹きこぼれ；脚色；コピペ；熱雷；老舗；宏観異常現象；スイッチ薬；カンガルーケア；畝須；ゴキブリ；グリーンシート；浴育；ファッションセラピー；土壇場；ロコ・ロンドン金取引；ネリカ米；餌付け商法；ネイチャー・テクノロジー；爪弾き；PTCA；隣人祭り；ダビング 10；でっちあげる；ツリーイング；オープンコースウェア；おから工事；不埒；コンビニ受診；ワクチン・ギャップ／チリメンモンスター；冥王星型天体；破天荒；IP テレビ；婚活；Is 値；8020 運動；井；犬の保育園；エネファーム；父権訴訟；リア充；天麩羅；ホームステージング；里帰りウナギ；ぬいぐるみ病院；チャイルドマインダー；横綱；駅ダンジョン；カーボン・フットプリント；ダガーナイフ；胡麻をする；自転車 BMX；ドメインテイスティング；オートプシー・イメージング；発熱外来；三下；ドッグダンス；エコファンド；三角波；勝手サイト／モンスター銀河；タイムシェア型住宅；トランスファージェット；相棒；エコキャンドル；画嬢；ホールクロップサイレージ；稽古；ガストフロント；認認介護；ラチェット効果；DMAT(ディーマット)；無鉄砲；レイマン・コントロール；フリーゲージトレイン；相撲健康体操；アグロフォレストリー；根回し；宇宙葬；キャニオニング；バイオコークス；お払い箱；バイオミメティクス；環境エンリッチメント；溶解スラグ；月並み；クッキングトイ；備車；石綿肺；直流給電／グリーンカラー；ムペンバ効果；臍を噛む；ヒールスニーカー；情報商材；行動ターゲティング広告；やきとりじいさん体操；三枚目；フレキシキュリティ；地頭力；インディペンデントコントラクター；ほくそ笑む；ミュー粒子；男前オンナ；リステリア症；グリーンニー；卑怯；受信時トリアージ；森ガール；スクバ盛り；ゲリラ豪雨；アーリーハーベスト；ちゃんぽん；ストリートビュー；不落随

契；ミセス・ワタナベ；ペチパンツ；有頂天；エコクッキング；スラムボール；乳幼児揺さぶられ症候群／2 人目不妊；モンスターチルドレン；霞が関文学；腐れ縁；未来技術遺産；ゼロゼロ物件；ごねる；電子タバコ；エコ・ファースト制度；ペイリン眼鏡；渋谷語；御の字；宇宙エレベーター；CDS；さもしい；エクステラ；暗黒物質；電子耳装置；ヒト化マウス；アンサンプル予報；鞍替え；7K；アルティメット；VIX 指数；誘導雷；蓮っ葉；コミカライズ；名ばかり正社員；ICT 教育；サイレントディスク

◇連載；日本語万華鏡(4)～(15) 新潮 45 27-1～12 2008-1～12

自分の子供に何と呼びかけるか／漢字の音読みと訓読みって何なの？／虹にはいくつの色があるのか／指示語と自己中心語のしくみ／形容詞の中身はなに？／蝶と蛾と鯨の関係について／日本語の「人称代名詞」を巡る問題／人間のことばと動物の「ことば」／太陽は世界のどこでも赤いのか／文化によって異なる羞恥心／ラジオ型言語とテレビ型言語(1)／ラジオ型言語とテレビ型言語(2) (鈴木孝夫)

◇連載；日本人の教養(52)，(57)，(58) 新潮 45 27-3, 8, 9 2008-3, 8, 9

いいぞ，社長室に絵本！／脳を壊すケータイ 親よ学校よ気づけ／子どもの心発見 ノーテレビ・デー (柳田邦男)

◇連載；日本人の「自由」の歴史 精神史の一視点としての試み(2)，(3) 諸君！ 40-11, 12 2008-11, 12

無法者に対する非難の言辞だった「自由」は，やがて天皇をも束縛する高貴な格律と結びつく／平安朝盛期，白氏文集における「自由」の一語に，従来と異なる含蓄を見た恐るべき炯眼の主がいた (小堀桂一郎)

◇連載；日本人へ(62) 文芸春秋 86-8 2008-7

漢字の美しさ (塩野七生)

◇連載；日本の顔 文芸春秋 86-6 2008-5

亀山郁夫 (亀山郁夫)

◇連載；によつ記 文芸春秋<別冊> 273 2008-1 (穂村弘)

◇連載；にんげんどキュメント(22) 潮 596 2008-10

下地勇 (鳥越一枝)

◇連載；ネット論壇時評(6)，(7)，(9)，(10)，(14) 諸君！ 40-1, 2, 4, 5, 9 2008-1, 2, 4, 5, 9

「ANY 連合」は時代に逆行した愚かな戦略／「ブログ限界論」集中砲火の舞台裏／孫正義がパソコン不要論でアジアを翻弄？／志位和夫の国会質疑がネットで大喝采？／毎日新聞低俗記事配信で抗議殺到 (佐々木俊尚)

◇連載；バカ親につける薬(2) 現代 42-7 2008-7

子どもをペット化する親。処方箋は「想像力」。 (丸山タケシ)

◇連載；ビジネスマン必読 インテリジェンス交渉術(8)，(14) 文芸春秋 86-3, 10 2008-3, 9

上司と部下の危険な関係／総理の女性スキャンダル (佐藤優)

◇連載；福田恆存と三島由紀夫の「戦後」(21)～(23) 正論 434～436 2008-5～7

「虚無」からの生還／「生き方」としての国語／「領土拡張」への愛護と苦勞 (遠藤浩一)

◇連載；ベストセラー温故知新 中央公論 123-7 2008-7

<中公読書室>小栗左多里・トニー・ラズロ著『ダーリンは外国人 with BABY』;岸恵子著『巴里の空はあかね雲』 (岡崎武志)

◇連載;抱腹舌倒 人生道中膝栗毛(39), (43) 現代 42-7, 11 2008-7, 11

軽んじられる九条 消える風情 尽きぬ下ネタ／ホンモノとニセモノの見分け方教えます (永六輔;矢崎泰久)

◇連載;本棚拝見(65) 論座 154 2008-3

こぐれひでこ (品川裕香)

◇連載;ほんのおツマミ 現代 42-7 2008-7

<本のエッセンス>立川談春著『赤めだか』 (南伸坊)

◇連載;ユーカリの木の蔭で 文芸春秋<別冊> 275 2008-5

新橋と札幌 (北村薫)

◇連載;夜明けの新聞の匂い 新潮 45 27-1 2008-1

複眼的視野 (曾野綾子)

◇連載;葎の髓から(133)~(135), (137) 文芸春秋 86-6~8, 10 2008-5~7, 9

凍結された日本語／奈良茶／方言の面白さ／忘れてみたドイツ語 (阿川弘之)

◇連載;世はこともなし?(38) 正論 437 2008-8

「枯木灘」の呪力 (石井英夫)

◇連載;乱蟬亭漫筆(7)~(9) 諸君! 40-5~7 2008-5~7

『論語』解体新書／靖国の春／美しき日本の言霊だより (古田博司)

◇連載;流行語辞典 潮 587~598 2008-1~12

カレー鍋;プチマフラー;陸(おか)マイラー;クリティシューマー;フルセグ;ショートネタ芸人/ブランド携帯;スクールガーディアン;バブルガムカラー;ケータイ DV;ステルス自転車;はなせんせ/内定長者;コンビニ自販機;プレミアム緑茶;糖質ゼロビール;八王子ラーメン;野菜ショコラ/taspo;いえそば;年収崩壊;ドラ旅;ゴールラインテクノロジー;赤いコシヒカリ/デパ弁;哲学カフェ;低カロリーパン;ドラマーシャル;姫系;エコフル/カーリング型新入社員;ENKA シンガー;ジェネレーション Z;グリーンベースボール;塾弁/浴育;コンビニ受診;ランドレ;女子飲み;オンデマンド婚;氷河期社員;ラララライ体操/宇宙ビール;エコジレンマ;蟹工船ブーム;銚子風夏おでん;あいのリッチ;少人数婚;デニンス/アクアソムリエ;消ちゃん;ヒトカラ;ホメドライブ;フロヨー;Iライン;ジョロキア/マイ神社;迷路絵本;ペコロジーボトル;ナロータイ;カーバイト;ステイケーション;使い切りデジカメ/ヤメちゃった婚;グリーン IT;冷ター;点字カラオケ;オタクツーリズム;ラテドラ/朝バナナダイエット;ブレンドエクササイズ;ホットママ;デジタルネイティブ;コアリズム;名ばかり正社員 (亀井肇)

◇連載;臨床政治学 永田町のウラを読む(23) 中央公論 123-12 2008-12

胡散臭いマニフェスト (伊藤惇夫)

◆連載;連続企画 知的生活への誘い 中央公論 123-4~7, 9, 12 2008-4~7, 9, 12

名人不在の落語界に未来はあるか <特集>落語の「通」になりたい (京須借充) 落語の歴史がスイスイわかる CD&DVD 特選 30 <特集>落語の「通」になりたい (長井好弘) /日本で知の産業革命は起こらない <特集>知的整理法革命 (野口悠紀雄) グーグルに淘汰されない知的生産術 <特集>知的整理法革命 (梅田望夫) 何歳になっても思考力は

鍛えられる <特集>知的整理法革命 (外山滋比古) 達人が明かすスーパー情報術 獄中で会得した読書ノート作成の極意 <特集>知的整理法革命 (佐藤優) 達人が明かすスーパー情報術 あなたのパソコンを「補助脳」化する方法 <特集>知的整理法革命 (勝間和代) 達人が明かすスーパー情報術 すべてを脳に任せよう <特集>知的整理法革命 (茂木健一郎) / 明治維新を可能にした日本独自の漢文訓読文化 <特集>中国古典の叡智に学ぶ (加藤徹) / ネット社会と多様化する文学空間 春樹&ばななブーム, 2ちゃんねる, ヴィジュアル重視… <特集>平成文学の可能性を探る (加藤典洋; 尾崎真理子/聞き手・構成) / <対談>何でもありの玉手箱を開けよう 女優・漫画カバー, 新訳, 古本, 夏のフェア <特集>この夏読みたい文庫 100 冊 (岡崎武志; 永江朗) / 物書きの夢と現実を語ろう “超遅咲き” ベストセラー作家からのメッセージ <特集>これであなたも作家になれる (加藤広) 私小説のすすめ 作家見習いの記 <特集>これであなたも作家になれる (小谷野敦) 本当に書きたい人のための実践的ブックガイド <特集>これであなたも作家になれる (清水良典)

◇連載; 私の仕事場(35) 中央公論 123-4 2008-4

松浦寿輝 (松浦寿輝)

対 談

対談名 雑誌名 巻号 年月 (対談者)

- ◇対談; 『最後の親鸞』からはじまりの宗教へ 中央公論 123-1 2008-1 (吉本隆明; 中沢新一)
- ◇特別対談; 読書, あるいは優雅なる孤独 文芸春秋<別冊> 273 2008-1 (角田光代; 桜庭一樹)
- ◆対談; 強い! 日本 自由と繁栄のパワーで世界を席卷しはじめた <特集>劇的に変わる世界 Voice 361 2008-1 (麻生太郎; 日下公人)
- ◆異色対談; 去勢された若者たちに告ぐ <特集>ふたたび“輝く雲”をつかむために(2)正論 431 2008-2 (宮嶋茂樹; 野口健)
- ◆大型対談; いかにして, 心意気を取り戻すか <特集>ふたたび“輝く雲”をつかむために(2)正論 431 2008-2 (石原慎太郎; 松平康隆)
- ◆対談; 下町のおっちゃんは声に出して読んだ! 昭和の性典「カストリ雑誌」の謎を追う <特集>平成二十年 偉大なる昭和の面影 諸君! 40-2 2008-2 (出久根達郎; 井上章一)
- ◆座談会; 新たなる「黄金時代」の予感 <特集>新書大賞ベスト 30 中央公論 123-3 2008-3 (永江朗; 宮崎哲弥; 渡辺十絲子)
- ◆対談; 日本公文教育研究会 子育てを応援する「第二の母親」 <連載>進化する教育現場(3) Voice 363 2008-3 (大竹洋司; 和田秀樹)
- ◆対談; 竹本住大夫 <連載>吉坊が聞く芸の世界(4) 論座 155 2008-4 (竹本住大夫; 桂吉坊)
- ◇鼎談; 団塊世代 懐かしの詩を読む 文芸春秋 86-4 2008-4 (小池真理子; 道浦母都子; 鹿島茂)
- ◆教育業界匿名座談会; 彼らに生徒は任せられません <特集>学校の教師はダメなのか中央公

論 123-5 2008-5 (元教科書編集者；小学教師；中学教師)

- ◆連載対談；新しき地球社会の創造へ 平和の文化と国連を語る(1) 潮 591 2008-5 (チョウドリ, アンワルル・K；池田大作)
- ◇言葉をめぐる憂国鼎談；「KY」が日本語なんて… 文芸春秋 86-7 2008-6 (大野晋；丸谷才一；井上ひさし)
- ◇対談；いま、憲法をどう語るか 世界 779 2008-6 (加藤周一；ビナード, アーサー)
- ◇対談；国語, 道徳, そして教養 真の独創性を育むには何を学ばせるべきか 中央公論 123-6 2008-6 (梅原猛；藤原正彦)
- ◇てい談；「女性力」と「英語力」が日本発展の要。 潮 592 2008-6 (中村邦夫；竹中平蔵；片山修)
- ◇熱血対談；いまだ古くさいとは言わせない 教師の奮起こそ教育再生の原動力だ 正論 435 2008-6 (馳浩；義家弘介)
- ◆対談；軽んじられる九条 消える風情 尽きぬ下ネタ <連載>抱腹舌倒 人生道中膝栗毛(39) 現代 42-7 2008-7 (永六輔；矢崎泰久)
- ◇対談；平日・特別篇 スーパー吟行 5 番勝負。 文芸春秋<別冊> 276 2008-7 (石田千；吉田戦車)
- ◇座談会；ことばの輝く国づくりをめざして 活字文化の現在と未来 中央公論 123-8 2008-8 (青木保；小泉今日子；福原義春)
- ◇対談；杉並教育改革の衝撃 親も塾も学校の味方 「地域本部」と「夜スペシャル」は何を変えたか Voice 368 2008-8 (藤原和博；山田宏)
- ◇対談；“爽やか”だった大東亜戦争 戦前の日本は取るに足りない国家なのか Voice 369 2008-9 (上坂冬子；鶴見俊輔)
- ◆対談；何でもありの玉手箱を開けよう 女優・漫画カバール, 新訳, 古本, 夏のフェア <特集>この夏読みたい文庫 100 冊 <連載>連続企画 知的生活への誘い 中央公論 123-9 2008-9 (岡崎武志；永江朗)
- ◇鼎談；劇団四季の 55 年 美しい日本語を守り続けて 文芸春秋 86-10 2008-9 (浅利慶太；日下武史；小谷真生子)
- ◇対談；“越境の思考”で問い直す日本文化。 潮 596 2008-10 (鶴見俊輔；四方田犬彦)
- ◇対談；がんばれ！日本語 文芸春秋 SPECIAL<季刊秋号> 2-4 2008-10 (丸谷才一；井上ひさし)
- ◇対談；身体的日本語論 文芸春秋 SPECIAL<季刊秋号> 2-4 2008-10 (斎藤孝；武田双雲)
- ◇対談；「弱肉強食」はもう古い 進化論で読み解く人間観と現代社会 Voice 370 2008-10 (養老孟司；渡部昇一)
- ◇達人対談；箸には魂が宿る 新潮 45 27-10 2008-10 (浦谷兵剛；ビートたけし)
- ◆鼎談；ブログ論客かく語りき これが<格差>の現実だ <特集>気分は共産主義 諸君！40-10 2008-10 (佐々木俊尚；essa；天漢日乗)
- ◆対談；ぼくらはなぜ全集を立ち上げたのか <特集>あえていま教養のスタンダードを探る 中央公論 123-11 2008-11 (池沢夏樹；坂本龍一)
- ◆対談；ホンモノとニセモノの見分け方教えます <連載>抱腹舌倒 人生道中膝栗毛(43)現代

42-11 2008-11 (永六輔；矢崎泰久)

◇対談；未熟な日本語こそが最大の武器になる 中国人芥川賞作家に迫る 中央公論 123-11
2008-11 (筒井康隆；楊逸)

◇鼎談；私たちの日本語練習ノート 文芸春秋 86-13 2008-11 (楊逸；ジローラモ，パンツ
ェッタ；ゾペティ，デビット)

◇対談；21 世紀図書館 必読の教養書二百冊 科学の最先端から禅問答まで—資本論から SM 小
説まで— 文芸春秋 86-15 2008-12 (立花隆；佐藤優)

◇対談；幸せな「老い」を迎えるために。 潮 598 2008-12 (鶴見俊輔；重松清)

あとがき

独立行政法人としての国立国語研究所は 2009 年 9 月末をもって解散し、10 月より大学共同利用機関法人人間文化研究機構に移管され、同機構の中の研究所の一つとなること、関係する法律の成立により平成 21 年 3 月に正式に決定いたしました。

これに関連して、印刷媒体による書籍としての『国語年鑑』は刊行が停止されることになりました。この経緯は、(参考)として掲載した、『国語年鑑の刊行停止に関するお知らせ』(名簿アンケートに御協力いただいている皆様にお送りしたもの)に記したとおりです。また、そこにも記したように、研究文献や研究論文等の情報は、2009 年 10 月以降も、インターネット・ウェブ上での公開などの形で、今後とも継続して提供されることになっています。

この『国語年鑑』2009 年版(電子版)は、2008 年版刊行当時(平成 20 年 12 月)には、決定されていなかった上記の事情も踏まえ、また、データベースとは別の、編集された目録体の機能、利用のされ方、これまでの目録利用者の存在などを考慮して、電子版として編集、作成したものです。

また、2008 年版までは「動向」「文献」「名簿」の三部に分けて編集していましたが、この電子版には「名簿」は掲載しておりません。

『国語年鑑』の編集は、すべての文献情報を入力した編集用データベースを作成し、その出力を印刷媒体の『国語年鑑』やデータベース等に展開するしくみになっております。この『国語年鑑』2009 年版(電子版)は、この編集用データベースからの簡易出力をもとに、短時間の間に可能な範囲での対応で完成させたものです。多くの皆様に御利用いただければ幸いです。

今後とも、国立国語研究所に御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 21 年 9 月
独立行政法人国立国語研究所
所長 杉戸清樹

(参考)

以下は、名簿アンケートにご協力いただいている皆様に平成 21 年 4 月にお送りしたお知らせを参考として掲載するものです。

平成 21 年 4 月

各 位

『国語年鑑』の刊行停止に関するお知らせ

拝啓 時下ますます御清栄のこととおよろこび申し上げます。

このたびは、『国語年鑑』に関する重要なお知らせがあり、お便りを差し上げます。

『国語年鑑』は昭和 29 (1954) 年の創刊以来、半世紀以上にわたり刊行を続けてまいりました。ひとえに皆様の御協力・御支持のおかげと存じ、心から御礼申し上げます。

マスコミの報道等により御承知の方も多いかと存じますが、国による独立行政法人整理合理化の一環として、独立行政法人としての国立国語研究所を大学共同利用機関法人へ移管することが平成 19 年 12 月に閣議決定されました。平成 21 年 3 月には、このことに関する法律が、衆議院による一部修正、衆参両院での附帯決議を経て可決・成立いたしました。これにより、平成 21 年 9 月末に独立行政法人としての国立国語研究所は解散し、10 月より大学共同利用機関法人人間文化研究機構に移管され、同機構の中の研究所の一つとなることが正式に決まりました。

『国語年鑑』は毎年 12 月に刊行してまいりましたが、平成 21 年度の刊行時期は、人間文化研究機構への移管後となります。この国立国語研究所の移管に向けて、人間文化研究機構内に設けられた設置準備室における検討の結果、移管後は『国語年鑑』の本の形での出版は行わないこととなりました。

このため、昨年 12 月刊行の 2008 年版が最後の書籍体の『国語年鑑』の刊行ということになりました。皆様にとっては急なお知らせとなり、誠に申し訳ございませんが、なにとぞ御了承いただきたく存じます。

このお知らせは 2008 年版の名簿アンケートに御協力いただいた皆様にお送りしております。名簿アンケートは例年この時期に実施してまいりましたが、『国語年鑑』刊行停止に伴い、こちらも本年以降は実施しないこととなりました。これまで御協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

なお、書籍体の『国語年鑑』の刊行は停止いたしますが、研究文献や研究論文等の情報は、インターネット・ウェブ上での公開などの形で提供を継続していく予定でございます。

ます。引き続き御協力と御支持をいただければ幸いです。

最後に、長年にわたり『国語年鑑』に御協力・御支持をいただきましたことに、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

敬具

独立行政法人国立国語研究所

所長 杉戸清樹

以下は、名簿アンケートにご協力いただいている皆様に平成 21 年 4 月にお送りした 2008 年版の訂正に関するお知らせです。

平成 21 年 4 月

『国語年鑑』2008 年版の訂正

『国語年鑑』2008 年版の「第 1 部動向 1. 刊行図書の動向」15 ページ 2 行目の「旧版にあった「安愚楽鍋」が削除される一方」という箇所を削除いたします。

「安愚楽鍋」は旧版『国語学研究事典』の「五十音順項目一覧」ではこの書名で「あ」の項に掲載されていましたが、新版『日本語学研究事典』の「五十音順項目一覧」では「牛店うしや雑談安愚楽鍋」という書名で「う」の項に掲載されています。この点の確認が不十分でした。

お詫びすると共に訂正いたします。

国語年鑑編集室

国語年鑑 2009年版 —電子版—
KOKUGO-NENKAN 2009—electronic publication—

Japanese Language Studies : Annual Survey and Bibliography

2009年9月25日発行

編集・発行 独立行政法人 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2

電話(042)540-4300
